

表ト-W3建-1 第3廃棄物貯蔵棟 仕様

技術基準に基づく仕様	安全避難通路等	[13.1-F2] 加工施設には、非常用照明、誘導灯とは別に、設計基準事故が発生した場合の現場操作が可能となるように、専用電源を備えた{8038-4}緊急設備可搬型照明を設置する。 {8038-4}緊急設備 可搬型照明の仕様を表リ-他-1に示す。
	安全機能を有する施設	[14.1-B1] 設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。 [14.1-F1] 設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。 [14.2-B1] 当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。 [14.2-F1] 当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。
	材料及び構造	—
	搬送設備	—
	核燃料物質の貯蔵施設	—
	警報設備等	[18.1-F1] 早期に火災を検知し報知するために、消防法施行令第二十一条、消防法施行規則第二十三条、消防法施行規則第二十四条に基づき、{8009-3}火災感知設備 自動火災報知設備(感知器)を有効に火災の発生を感知、報知することができるように設け、{8009-13}火災感知設備 自動火災報知設備(受信機)を設置し、火災を検知した場合に警報を発する。 {8009-13}火災感知設備 自動火災報知設備(受信機)には、第5廃棄物貯蔵棟の{8009-4}火災感知設備 自動火災報知設備(感知器)を接続し、第5廃棄物貯蔵棟で火災を検知した場合に警報を発する。 火災感知設備 自動火災報知設備の系統図を図リ-他-1 2(3)に示す。
	放射線管理施設	—
	廃棄施設	—
	核燃料物質等による汚染の防止	—
	遮蔽	[22.1-B1] 貯蔵施設には最大貯蔵能力に見合うウランが、保管廃棄施設には最大保管廃棄能力に見合う放射性固体廃棄物が存在するものとして、直接線及びスカイシャイン線の線量を評価し、周辺監視区域境界における線量が、線量告示に定める線量限度年間1 mSvより十分に低減できるような建物の壁厚さ等とする。 周辺監視区域境界の位置を図ト-1-1-1に示す。

表ト-W3建-1 第3廃棄物貯蔵棟 仕様

技術基準に基づく仕様	遮蔽	<p>○第3廃棄物貯蔵棟の遮蔽機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮蔽能力を有する壁、床及び天井の位置、構造、寸法、材料を別表ト-W3建-1-3及び図ト-W3建-21に示す。 ・壁、床及び天井の厚さは図ト-W3建-21に示す設計確認値以上。 ・コンクリートの気乾単位容積質量≥ 2400以上 <p>[22.2-B1] 管理区域その他事業所内の人が立ち入る場所において、壁、屋根により放射線業務従事者等の外部放射線の影響を可能な限り低減する。</p>
	換気設備	—
	非常用電源設備	<p>[24.2-F1] {8007-4}通信連絡設備 所内通信連絡設備（放送設備（スピーカ））には、停電時に備えて非常用電源設備が稼働するまでの間の電源を確保するためのバッテリーを内蔵している{8007-10}通信連絡設備 所内通信連絡設備（放送設備（アンプ））から給電することにより、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。（{8007-10}通信連絡設備 所内通信連絡設備（放送設備（アンプ））は、第3次申請にて申請済み。）</p> <p>{8009-3}火災感知設備 自動火災報知設備（感知器）及び第5廃棄物貯蔵棟の{8009-4}火災感知設備 自動火災報知設備（感知器）には、停電時に備えて非常用電源設備が稼働するまでの間の電源を確保するためのバッテリーを内蔵している{8009-13}火災感知設備 自動火災報知設備（受信機）から給電することにより、外部電源が期待できない場合であっても警戒可能とする。（{8009-4}火災感知設備 自動火災報知設備（感知器）は、第4次申請にて申請済み。）</p> <p>{8036}緊急設備 非常用照明、{8036-2}緊急設備 誘導灯は、停電時に備えて非常用電源設備が稼働するまでの間の電源を確保するためのバッテリーを内蔵し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。</p> <p>[24.2-F2] 以下の設備は、{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・{8009-13}火災感知設備 自動火災報知設備（受信機） ・{8036}緊急設備 非常用照明 ・{8036-2}緊急設備 誘導灯 <p>{8007-4}通信連絡設備 所内通信連絡設備（放送設備（スピーカ））には、{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続している{8007-10}通信連絡設備 所内通信連絡設備（放送設備（アンプ））から給電することにより、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。</p> <p>{8009-3}火災感知設備 自動火災報知設備（感知器）及び第5廃棄物貯蔵棟の{8009-4}火災感知設備 自動火災報知設備（感知器）には、{8009-13}火災感知設備 自動火災報知設備（受信機）から給電することにより、外部電源が期待できない場合であっても警戒可能とする。</p> <p>電源に係る結線図を図リ-他-11（3）、図リ-他-11（5）に、非常用電源接続の系統図を図リ-他-11（8）に、所内通信連絡設備の系統図を図リ-他-12（1）に、自動火災報知設備の系統図を図リ-他-12（3）に示す。</p>

表ト-W3建-1 第3廃棄物貯蔵棟 仕様


技術基準に基づく仕様	非常用電源設備	<p>以上を次表に示す。 (○：該当、－：該当なし)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備・機器名称 機器名</th> <th>バッテリーに 接続</th> <th>非常用電源 設備に接続</th> <th>設備からの 給電で動作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>{8007-10} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (アンプ))</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>－</td> </tr> <tr> <td>{8007-4} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (スピーカ))</td> <td>－</td> <td>－</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>{8009-13} 火災感知設備 自動火災報知設備 (受信機)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>－</td> </tr> <tr> <td>{8009-3} {8009-4} 火災感知設備 自動火災報知設備 (感知器)</td> <td>－</td> <td>－</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>{8036} 緊急設備 非常用照明</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>－</td> </tr> <tr> <td>{8036-2} 緊急設備 誘導灯</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>－</td> </tr> </tbody> </table>	設備・機器名称 機器名	バッテリーに 接続	非常用電源 設備に接続	設備からの 給電で動作	{8007-10} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (アンプ))	○	○	－	{8007-4} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (スピーカ))	－	－	○	{8009-13} 火災感知設備 自動火災報知設備 (受信機)	○	○	－	{8009-3} {8009-4} 火災感知設備 自動火災報知設備 (感知器)	－	－	○	{8036} 緊急設備 非常用照明	○	○	－	{8036-2} 緊急設備 誘導灯	○	○	－
	設備・機器名称 機器名	バッテリーに 接続	非常用電源 設備に接続	設備からの 給電で動作																										
{8007-10} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (アンプ))	○	○	－																											
{8007-4} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (スピーカ))	－	－	○																											
{8009-13} 火災感知設備 自動火災報知設備 (受信機)	○	○	－																											
{8009-3} {8009-4} 火災感知設備 自動火災報知設備 (感知器)	－	－	○																											
{8036} 緊急設備 非常用照明	○	○	－																											
{8036-2} 緊急設備 誘導灯	○	○	－																											
通信連絡設備	<p>[25.1-F1] 第3廃棄物貯蔵棟には、多様性を備えた所内通信連絡設備を設置する。 {8007-4} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (スピーカ)) を設置し、{8007-10} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (アンプ)) に接続し、{8007-10} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (アンプ)) に付属するマイクにより建物内における放送が可能とする。</p> <p>{8007-10} {8007-12} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (アンプ)) に付属するマイクによる、{8007} {8007-3} {8007-4} {8007-5} {8007-7} {8007-15} {8007-21} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (スピーカ)) からの事業所内建物間における相互の放送が可能とする。 マイクは第1加工棟、第2加工棟、事務棟 (緊急対策本部)、保安棟に設置する。マイクの配置を図り-他-10 (1) に示す。</p> <p>PHS アンテナに付属する所内携帯電話機 (PHS) により、設計基準事故が発生した場合に、緊急対策本部等から事業所内の人に対して、操作、作業又は退避の指示等の連絡が可能とする⁽¹³⁾。</p> <p>{8007-4} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (スピーカ)) の配置を図り-他-2 (1)、図り-他-2 (2) に、系統図を図り-他-12 (1) に示す。</p> <p>○設備の員数 (通信連絡設備) ・ {8007-4} 所内通信連絡設備 (放送設備 (スピーカ)) : 3 台</p> <p>[25.2-F1] 加工施設には、外部への通信連絡のための多様性を確保した {8008} 通信連絡設備 所外通信連絡設備を備える。 {8008} 通信連絡設備 所外通信連絡設備の仕様を表り-他-1 に、配置を図り-他-10 (2) に示す。</p>																													

表ト-W3建-1 第3廃棄物貯蔵棟 仕様

<p>その他許可で求める仕様</p>	<p>[99-B1] 積雪及び降下火砕物の除去を行う作業員が屋根に上るために第3廃棄物貯蔵棟の屋根にアクセス可能とする。 屋根へのアクセスルートを図ト-W3建-13に示す。</p> <p>[99-B4] 第3廃棄物貯蔵棟は、F3竜巻荷重を十分に上回る保有水平耐力を確保し、F3竜巻荷重による倒壊を防止する。</p>
<p>添付図</p>	<p>図ト-1-1-1、図ト-W3建-1～図ト-W3建-21、図リ-他-2、図リ-他-10、図リ-他-11(3)、図リ-他-11(5)、図リ-他-11(8)、図リ-他-12(1)～図リ-他-12(3)</p>

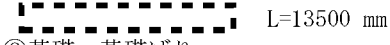



















- (1) 第3廃棄物貯蔵棟の竜巻対策として、留め具、枠、扉の一式をF1竜巻対策扉に改造するため、加工事業変更許可申請書に記載している「留め具の補強」のみを実施する扉はない。
- (2) 具体的には、建築基準法施行令第八十八条に規定する標準せん断力係数 C_0 を0.2として、地震地域係数 Z (大阪府の場合1.0)、建物・構築物の振動特性に応じて地震層せん断力の高さ方向の分布を表す A_i 、建物・構築物の振動特性と地震の種類を考慮して算出する R_t から求めた地震層せん断力係数 C_i に、当該建物・構築物の部分を支える重量を乗じ、さらに耐震重要度に応じた割り増し係数1.0を乗じた静的地震力を算定し、常時作用している荷重と静的地震力を組み合わせ、その結果発生する応力に対して、建築基準法等適切と認められる規格及び基準による許容応力度を許容限界とする。
- (3) 必要保有水平耐力は、標準せん断力係数 C_0 を1.0として、建物の減衰性及び変形能力による構造特性係数 D_s と、剛性率、偏心率に応じて定める形状特性係数 F_{es} を乗じて求める必要保有水平耐力 Q_{un} に、耐震重要度分類に応じた割り増し係数を乗じた値とする。
- (4) 本加工施設の敷地は海拔約48mにあり、基準津波の最大遡上高さ6mと比べて十分高く、遡上波は到達しないことを確認している。
- (5) 高さがGL+13.95mであることから建築基準法第三十三条にある高さ20m以上の建物に該当せず、また危険物の規制に関する政令第十条第一項第十四号に定める指定数量の10倍を超える危険物の屋内貯蔵所ではないため、法令上避雷針の設置は必要ない。
- (6) 第3廃棄物貯蔵棟に極低温(凍結)の影響を受けるおそれのある消火設備 屋内消火栓、消火設備 屋外消火栓の配管はない。
- (7) 第3廃棄物貯蔵棟の建物は、鉄筋コンクリート造の建物であり生物学的事象の影響を受けるおそれはない。第3廃棄物貯蔵棟は、気体廃棄設備がないため、第3廃棄物貯蔵棟内部の付属設備は生物学的事象の影響を受けるおそれはない。
- (8) 「実用発電用原子炉施設への航空機落下確率の評価基準について」に基づいて本加工施設への航空機落下確率を評価し、航空機落下確率の総和が 10^{-7} (回/施設・年)を超えないことから、想定する外部事象として航空機の墜落を想定する必要がないことを加工事業変更許可申請書に示すとおり確認している。
- (9) 第3廃棄物貯蔵棟は、航空機落下火災の影響評価対象ではない。
- (10) 第3廃棄物貯蔵棟の建物本体、付属設備にインターロックを有する設備がないため、電磁的障害の影響を受けるおそれはない。
- (11) 一般道路から距離が離れているため、交通事故の影響を受けるおそれはない。第3廃棄物貯蔵棟と町道の位置関係を図ト-W1建-19に示す。
- (12) 粉末消火器の必要能力単位6となるのに対して、設置する粉末消火器の能力単位の合計は18となる。
- (13) 通信連絡設備 所内通信連絡設備(所内携帯電話機(PHSアンテナ))は、隣接する第1廃棄物貯蔵棟に設置する。

別表ト-W3建-1-1 第3廃棄物貯蔵棟の改造の仕様（外部扉の改造）

改造項目	部位	断面（単位：mm）使用材料	員数	対応図
外部扉の改造	1階 鋼製の外部扉-廃棄物貯蔵室北側 扉番号：91		20	図ト-W3建-8
			2	図ト-W3建-9
			6	図ト-W3建-10
			1	図ト-W3建-11
	3階 鋼製の外部扉-廃棄物貯蔵室北側、南側 扉番号：92、93		3×2	
			3×2	
	1×2			

別表ト-W3建-1-2 第3廃棄物貯蔵棟の改造の仕様（W3防護壁の新設）

改造項目	位置・部位	使用材料	員数	対応図
W3防護壁の新設	第3廃棄物貯蔵棟北側		1	図ト-W3建-8 図ト-W3建-12
	壁部			

<p>建物</p>	<p>基礎：独立基礎（PHC杭） 地上部：鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造（バルコニー部） 床：鉄筋コンクリート造、土間コンクリート 壁：鉄筋コンクリート造 屋根：鉄筋コンクリート造</p>
<p>主要な構造材等 （既設材料）</p>	<p>①杭  L=13500 mm ②基礎・基礎ばり コンクリート：Fc =  N/mm² 鉄筋： ③柱、大ばり（鉄骨鉄筋コンクリート造部分） 鉄骨： 鉄筋： コンクリート：Fc =  N/mm² ④小ばり（鉄筋コンクリート部分） 鉄筋： コンクリート：Fc =  N/mm² ⑤柱、大ばり（鉄骨造部分）  ⑥小ばり（鉄骨造部分）  ⑦床（鉄筋コンクリート床スラブ） 鉄筋： コンクリート：Fc =  N/mm² 気乾単位容積質量  g/cm³ ⑧床（1階土間コンクリート部分） コンクリート（鉄筋入り）コンクリート：Fc =  N/mm² ⑨壁（鉄筋コンクリート） 鉄筋： コンクリート：Fc =  N/mm² 気乾単位容積質量  g/cm³ ⑩屋根スラブ（鉄筋コンクリート） 鉄筋： コンクリート：Fc =  N/mm² 気乾単位容積質量  g/cm³ アスファルト防水層⁽¹⁾（押さえコンクリート） ⑪ガラリ（防火板付：温度ヒューズ式） ・ガラリ本体 アルミニウム ・防火板 鋼板 ⑫ベンチレータ ステンレス製 ⑬階段 鋼製 ⑭梯子 鋼製</p>
<p>主要な構造材の寸法</p>	<p>① 杭：図ト-W3建-18（1）、図ト-W3建-20（1）（2） ② 基礎・基礎ばり：図ト-W3建-20（1）（2）（4） ③ 柱、大ばり（鉄骨鉄筋コンクリート造部分）：図ト-W3建-20（3）（4） ④ 小ばり（鉄筋コンクリート造部分）：図ト-W3建-20（4） ⑤ 柱、大ばり（鉄骨造部分）：図ト-W3建-20（3）（4） ⑥ 小ばり（鉄骨造部分）：図ト-W3建-20（4） ⑦ 床（鉄筋コンクリート床スラブ）：図ト-W3建-20（5） ⑧ 床（1階土間コンクリート部分）：図ト-W3建-20（5） ⑨ 壁（鉄筋コンクリート）：図ト-W3建-20（5） ⑩ 屋根スラブ（鉄筋コンクリート）：図ト-W3建-18（3）、図ト-W3建-20（5） ⑪ ガラリ（防火板付：温度ヒューズ式）：図ト-W3建-9</p>

(1) 建築基準法第二十二條に適合する難燃性を有している。

別表ト-W3建-1-4 第3廃棄物貯蔵棟の各部位の仕様(1/2)

階	部位	部位位置番号	境界位置	区画	材質	呼び寸法 (mm) t:厚さ	図番号	工事内容
1階	外壁・外部扉	外壁1-1	(C通り/1-4通り間) 図ト-W3建-16(1) 参照	鉄筋コンクリート造壁	鉄筋コンクリート	-	図ト-W3建-17(1)	工事なし
				扉(扉:91)	鉄(特定防火設備)		図ト-W3建-8(1)	改造
							図ト-W3建-9 図ト-W3建-11(1)	
		外壁1-2	(4通り/A-C通り間) 図ト-W3建-16(1) 参照	鉄筋コンクリート造壁	鉄筋コンクリート	-	図ト-W3建-17(1)	工事なし
				ガラリ(AG-1)	アルミニウム		図ト-W3建-8(1)	工事なし
				防火板 ⁽²⁾ (AG-1)	鋼		図ト-W3建-8(1) 図ト-W3建-9	工事なし
		外壁1-3	(A通り/1-4通り間) 図ト-W3建-16(1) 参照	鉄筋コンクリート造壁	鉄筋コンクリート	-	図ト-W3建-17(1)	工事なし
		外壁1-4	(1通り/A-C通り間) 図ト-W3建-16(1) 参照	鉄筋コンクリート造壁	鉄筋コンクリート	-	図ト-W3建-17(1)	工事なし
				ガラリ(AG-1)	アルミニウム		図ト-W3建-8(1)	工事なし
				防火板 ⁽²⁾ (AG-1)	鋼		図ト-W3建-8(1) 図ト-W3建-9	工事なし
2階	外壁・外部扉	外壁2-1	(C通り/1-4通り間) 図ト-W3建-16(1) 参照	鉄筋コンクリート造壁	鉄筋コンクリート	-	図ト-W3建-17(1)	工事なし
		外壁2-2	(4通り/A-C通り間) 図ト-W3建-16(1) 参照	鉄筋コンクリート造壁	鉄筋コンクリート	-	図ト-W3建-17(1)	工事なし
				ガラリ(AG-1)	アルミニウム		図ト-W3建-8(1)	工事なし
				防火板 ⁽²⁾ (AG-1)	鋼		図ト-W3建-8(1) 図ト-W3建-9	工事なし
		外壁2-3	(A通り/1-4通り間) 図ト-W3建-16(1) 参照	鉄筋コンクリート造壁	鉄筋コンクリート	-	図ト-W3建-17(1)	工事なし
		外壁2-4	(1通り/A-C通り間) 図ト-W3建-16(1) 参照	鉄筋コンクリート造壁	鉄筋コンクリート	-	図ト-W3建-17(1)	工事なし
				ガラリ(AG-1)	アルミニウム		図ト-W3建-8(1)	工事なし
				防火板 ⁽²⁾ (AG-1)	鋼		図ト-W3建-8(1) 図ト-W3建-9	工事なし
3階	外壁・外部扉	外壁3-1	(C通り/1-4通り間) 図ト-W3建-16(2) 参照	鉄筋コンクリート造壁	鉄筋コンクリート	-	図ト-W3建-17(2)	工事なし
				扉(扉:92)	鉄(特定防火設備)		図ト-W3建-8(2)	改造
							図ト-W3建-9 図ト-W3建-11(2)	
		外壁3-2	(4通り/A-C通り間) 図ト-W3建-16(2) 参照	鉄筋コンクリート造壁	鉄筋コンクリート	-	図ト-W3建-17(2)	工事なし
				ガラリ(AG-1)	アルミニウム		図ト-W3建-8(2)	工事なし
				防火板 ⁽²⁾ (AG-1)	鋼		図ト-W3建-8(2) 図ト-W3建-9	工事なし

別表ト-W3建-1-4 第3廃棄物貯蔵棟の各部位の仕様(2/2)

階	部位	部位位置番号	境界位置	区画	材質	呼び寸法 (mm) t:厚さ	図番号	工事内容
3階	外壁・外部扉	外壁3-3	(A通り/1-4通り間) 図ト-W3建-16(2) 参照	鉄筋コンクリート造壁	鉄筋 コンクリート	-	図ト-W3建-17(2)	工事なし
			(1通り/A-C通り間) 図ト-W3建-16(2) 参照	扉(扉:93)	鉄(特定防火設備)		図ト-W3建-8(2) 図ト-W3建-9 図ト-W3建-11(2)	改造
				鉄筋コンクリート造壁	鉄筋 コンクリート		図ト-W3建-17(2)	
		外壁3-4	ガラリ (AG-1)	アルミニウム	図ト-W3建-8(2) 図ト-W3建-9		工事なし	
			防火板 ⁽²⁾ (AG-1)	鋼	図ト-W3建-8(2) 図ト-W3建-9			
			図ト-W3建-16(3)	土間コンクリート	コンクリート (鉄筋入り)			図ト-W3建-16(3)
1階	床	S1-1	図ト-W3建-16(3) 参照					
2階	床	S2-1	図ト-W3建-16(3) 参照	鉄筋コンクリート床スラブ	鉄筋 コンクリート		図ト-W3建-16(3)	工事なし
3階	床	S3-1	図ト-W3建-16(4) 参照	鉄筋コンクリート床スラブ	鉄筋 コンクリート		図ト-W3建-16(4)	工事なし
		S3-2	図ト-W3建-16(4) 参照	鉄筋コンクリート床スラブ	鉄筋 コンクリート		図ト-W3建-16(4)	工事なし
R階	屋根	SR-1	図ト-W3建-16(4) 参照	鉄筋コンクリート屋根スラブ	鉄筋 コンクリート		図ト-W3建-16(4)	工事なし
階段	1階~2階 2階~3階	階段-1 階段-2	図ト-W3建-16(3) 参照	鉄骨造階段	鋼		図ト-W3建-16(3)	工事なし
			図ト-W3建-16(3)、 (4) 参照	鉄骨造階段	鋼		図ト-W3建-16(3) 図ト-W3建-16(4)	工事なし

(1) 安全機能に対して厚さの要求はないため「-」とする。

(2) 防火板は温度ヒューズ式を示す。



表ト-W3設-1 保管廃棄設備 廃棄物保管区域 仕様

許可との対応	許可番号 (日付) 施設名称	原規規発第 1803284 号 (平成 30 年 3 月 28 日付け) 保管廃棄設備
設備・機器名称 機器名	{6154} 保管廃棄設備 廃棄物保管区域	
変更内容	変更なし	
設置場所		
員数	1	
一般仕様	型式	—
	主要な構造材	—
	寸法 (単位 : m)	概略寸法 :
	その他の構成機器	—
	その他の性能	保管廃棄能力 : ドラム缶 (200 L 缶、3 段積み以下) 及び大型金属容器 (1 段置き) で保管廃棄する。 保管廃棄設備 廃棄物保管区域を床面にペイントで明示する。 の放射性廃棄物を収納する。
核燃料物質の状態	固体廃棄物	
技術基準に基づく仕様	核燃料物質の臨界防止	—
	安全機能を有する施設の地盤	[5.1-F1] 安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第3廃棄物貯蔵棟の床に設置する。
	地震による損傷の防止	—
	津波による損傷の防止	—
	外部からの衝撃による損傷の防止	—
	加工施設への人の不法な侵入等の防止	—
	閉じ込めの機能	[10.1-F3] 固体廃棄物を汚染の広がりを防止する措置を講じてドラム缶その他の金属製容器に収納し密閉した状態で保管廃棄する。
	火災等による損傷の防止	—
	加工施設内における溢水による損傷の防止	—
	安全避難通路等	—
	安全機能を有する施設	[14.1-F1] 設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。 [14.2-F1] 当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。
	材料及び構造	—
	搬送設備	—
核燃料物質の貯蔵施設	—	
警報設備等	—	
放射線管理施設	—	

表ト-W3設-1 保管廃棄設備 廃棄物保管区域 仕様

技術基準に基づく仕様	廃棄施設	<p>[20.1-F1] 保管廃棄設備 廃棄物保管区域では、の保管廃棄能力を有する。</p> <p>[20.1-F2] 保管廃棄設備 廃棄物保管区域は放射性廃棄物以外の廃棄物を廃棄する設備と区別し、放射性廃棄物を保管廃棄する区域を床面にペイントで明示する。</p>
	核燃料物質等による汚染の防止	—
	遮蔽	—
	換気設備	—
	非常用電源設備	—
	通信連絡設備	—
その他許可で求める仕様	<p>[99-F5] 200 L ドラム缶は、耐震重要度分類第1類相当の転倒防止策（固縛措置含む。）を講じる。 大型金属容器は、耐震重要度分類第1類相当の転倒防止策を講じる。</p> <p>200 L ドラム缶は、F3 竜巻によって飛散することのないよう空力パラメータが0.0032以下となるように固縛する措置を講じる。</p>	
添付図	図ト-W3設-1、図ト-W3設-2	


表ト-W3設-2 ホイストクレーン 1トンチェンブロック 仕様

許可との対応	許可番号 (日付) 施設名称	原規規発第 1803284 号 (平成 30 年 3 月 28 日付け) ホイストクレーン
設備・機器名称 機器名	{6151} ホイストクレーン 1トンチェンブロック	
変更内容	変更なし	
設置場所	第3廃棄物貯蔵棟 第3廃棄物貯蔵室	
員数	1式 (2台)	
一般仕様	型式	1トン電動式
	主要な構造材	鋼
	寸法 (単位: mm)	概略寸法: 
	その他の構成機器	ストップ (車止め)、レール
	その他の性能	—
	核燃料物質の状態	固体廃棄物
技術基準に基づく仕様	核燃料物質の臨界防止	—
	安全機能を有する施設の地盤	[5.1-F1] 安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第3廃棄物貯蔵棟の床、壁等に固定する。
	地震による損傷の防止	[6.1-F1] 耐震重要度分類を第3類とする。 レールを据付ボルトで天井に固定する。
	津波による損傷の防止	—
	外部からの衝撃による損傷の防止	—
	加工施設への人の不法な侵入等の防止	—
	閉じ込めの機能	—
	火災等による損傷の防止	[11.3-F1] 設備本体を構成する主架構 (強度部材) は不燃性材料である鋼製とし、それ以外の主要な材料については不燃性又は難燃性材料とする。 [11.3-F2] 配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。
	加工施設内における溢水による損傷の防止	—
	安全避難通路等	—
	安全機能を有する施設	[14.1-F1] 設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。 [14.2-F1] 当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。
	材料及び構造	—
	搬送設備	[16.1-F1] ドラム缶 2 個を搬送する能力を有する。 [16.1-F2] 停電時保持機構を有する。 停電時保持能力: 
	核燃料物質の貯蔵施設	—



表ト-W3設-2 ホイストクレーン 1トンチェンブロック 仕様

技術基準に基づく仕様	警報設備等	—
	放射線管理施設	—
	廃棄施設	—
	核燃料物質等による汚染の防止	—
	遮蔽	—
	換気設備	—
	非常用電源設備	—
	通信連絡設備	—
その他許可で求める仕様		—
添付図	図ト-W3設-1、図ト-W3設-3、図ト-W3設-3-1	

追第4次 表ト-4-1 第5廃棄物貯蔵棟 仕様

許可との対応	許可番号 (日付)	原規規発第 1803284 号 (平成 30 年 3 月 28 日付け)	
	施設名称	第 5 廃棄物貯蔵棟 所内通信連絡設備 自動火災報知設備 消火器 避難通路 非常用照明、誘導灯	
建物・構築物名称又は設備・機器名称 機器名	(本体) {1006} 第 5 廃棄物貯蔵棟 —	(付属設備) {8007-5} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (スピーカ)) {8007-6} 通信連絡設備 所内通信連絡設備 (所内携帯電話機 (PHS アンテナ)) {8009-4} 火災感知設備 自動火災報知設備 (感知器) {8010-4} 消火設備 消火器 {8034} 緊急設備 避難通路 {8037} 緊急設備 非常用照明 {8037-2} 緊急設備 誘導灯	
	建物・構築物の区分	本体、付属設備	
変更内容	(本体) 新設 撤去する第 2 廃棄物貯蔵棟の代替施設として第 5 廃棄物貯蔵棟を新設する。第 5 廃棄物貯蔵棟の各部位の仕様を別表ト-4-1-4 に示す。 ①杭工事 杭を設置する。 ②基礎・壁・柱・はり・屋根スラブ工事 基礎・壁・柱・はり・屋根スラブを設置する。 ③屋根防水工事 屋根防水を施工する。 ④建具工事 扉を設置する。 (仕様を別表ト-4-1-1 に示す。) (付属設備) 付属設備については、リ. その他の加工施設の項で示す。		
設置場所	第 5 廃棄物貯蔵棟		
員数	(建物) 1 (付属設備の員数は、技術基準に基づく仕様欄に示す。)		
一般仕様	型式	鉄筋コンクリート造 ⁽¹⁾ (付属設備の型式は、技術基準に基づく仕様欄に示す。)	
	主要な構造材	(建物) 別表ト-4-1-1、別表ト-4-1-2 に示す。	
	寸法 (単位: mm)	(建物) 概略寸法:  建築面積: 約 65 m ² 延床面積: 約 65 m ²	
	その他の構成機器	—	
	その他の性能	消防法第十条、危険物の規制に関する政令第二条、危険物の規制に関する規則第十六条の二の三第 2 項、同第三十四条第 1 項第二号に基づく危険物特定屋内貯蔵所とする ⁽¹⁾ 。 建築基準法第二条第九号の二に定める耐火建築物とする。 ⁽¹⁹⁾ 貯蔵する液体廃棄物のうち、油類廃棄物は危険物第四類の廃油とする。 危険物としての貯蔵量は、最大 20000 L (指定数量の倍数 5 未満) とする。	
核燃料物質の状態	—		
核燃料物質の臨界防止	—		
技術基準に基づく仕様	安全機能を有する施設の地盤	[5.1-B1] 第 5 廃棄物貯蔵棟 (本体) の基礎構造は杭基礎とし、自重及び通常時に作用する荷重に加えて、耐震重要度分類に応じて算定する地震力が作用した場合においても、第 5 廃棄物貯蔵棟を十分に支持することができる地盤に設ける。 また、杭基礎の支持層は、N 値 30 以上の洪積層である大阪層群とする。	

追第4次 表ト-4-1 第5廃棄物貯蔵棟 仕様

技術基準に基づく仕様	安全機能を有する施設の地盤	<p>○支持地盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支持方法 N値30以上の洪積層（シルト混じり砂～粘土質砂）に杭で支持させる。 ・杭材料  ・杭先端深さ⁽²⁾  ・杭伏図 図ト-4-1-5 ・土質柱状図 図ト-4-1-2 <p>第5廃棄物貯蔵棟は基礎（マットスラブ）が1階の床を兼用しており、基礎を介して杭に荷重を伝達する。</p> <p>[5.1-F1]</p> <p>以下の設備は、安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第5廃棄物貯蔵棟に設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・{8007-5} 通信連絡設備 所内通信連絡設備（放送設備（スピーカ）） ・{8007-6} 通信連絡設備 所内通信連絡設備（所内携帯電話機（PHSアンテナ）） ・{8009-4} 火災感知設備 自動火災報知設備（感知器） ・{8034} 緊急設備 避難通路 ・{8037} 緊急設備 非常用照明 ・{8037-2} 緊急設備 誘導灯
	地震による損傷の防止	<p>[6.1-B1]</p> <p>第5廃棄物貯蔵棟の耐震重要度分類は第3類とする。</p> <p>第5廃棄物貯蔵棟は、以下に示す一次設計、二次設計により、地震による損傷を防止する。</p> <p>位置、構造、寸法、材料を別表ト-4-1-1、別表ト-4-1-2及び図ト-4-1-6～図ト-4-1-8に示す。</p> <p>○一次設計</p> <p>常時作用している荷重と耐震重要度分類に応じて算定する静的地震力を組み合わせ、その結果発生する応力に対して、建築基準法等適切と認められる規格及び基準による許容応力度を許容限界とする⁽³⁾。</p> <p>○二次設計</p> <p>建築基準法施行令第八十二条の三に規定する保有水平耐力の確認を行い、第5廃棄物貯蔵棟の保有水平耐力が、耐震重要度分類に応じた割り増し係数を考慮した必要保有水平耐力を上回る⁽⁴⁾。</p> <p>[6.1-F1]</p> <p>以下の設備は、耐震重要度分類を第3類とし、第5廃棄物貯蔵棟にボルト等で固定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・{8007-5} 通信連絡設備 所内通信連絡設備（放送設備（スピーカ）） ・{8007-6} 通信連絡設備 所内通信連絡設備（所内携帯電話機（PHSアンテナ）） ・{8009-4} 火災感知設備 自動火災報知設備（感知器） ・{8037} 緊急設備 非常用照明 ・{8037-2} 緊急設備 誘導灯
	津波による損傷の防止	— ⁽⁵⁾

追第4次 表ト-4-1 第5 廃棄物貯蔵棟 仕様

技術基準に基づく仕様	外部からの衝撃による損傷の防止	<p>(竜巻) [8.1-B2] 第5 廃棄物貯蔵棟は、F1 竜巻による竜巻荷重を上回る保有水平耐力を有する。 第5 廃棄物貯蔵棟の外壁、屋根は F1 竜巻の荷重に耐えるとともに、F1 飛来物の貫通を防止する厚さを有する。 外部扉は F1 竜巻の風荷重に耐える扉 (F1 竜巻対策扉) とする⁽⁶⁾。 位置、構造、寸法、材料を別表ト-4-1-1、別表ト-4-1-2、図ト-4-1-3 及び図ト-4-1-9～図ト-4-1-11 に示す。</p> <p>(落雷) —⁽⁷⁾</p> <p>(極低温 (凍結)) —⁽⁸⁾</p> <p>(火山活動 (降下火砕物)) [8.1-B3] 屋根は、湿潤密度 1.5 g/cm³ とした降下火砕物の厚さ 12 cm 分の重量に耐える。</p> <p>(積雪) [8.1-B4] 屋根は、大阪府建築基準法施行細則に定める 29 cm の積雪に耐える。</p> <p>(生物学的事象) —⁽⁹⁾</p> <p>(航空機落下) —⁽¹⁰⁾</p> <p>(外部火災 (森林火災、近隣工場等の火災、近隣工場等の爆発))⁽¹¹⁾ [8.1-B5] [8.2-B2] 原子力発電所の外部火災影響評価ガイドに基づいて、想定する森林火災、近隣工場等の火災の火災源に対する離隔距離が危険距離以上とする。また、想定する近隣工場等の爆発の爆発源に対する離隔距離が危険限界距離以上とする。 防護対象施設と想定する火災源、爆発源の位置を図ハ-2-1-5-2～図ハ-2-1-5-5 に示す。</p> <p>(電磁的障害) —⁽¹²⁾</p> <p>(交通事故 (自動車)) —⁽¹³⁾</p>
------------	-----------------	---

追第4次 表ト-4-1 第5廃棄物貯蔵棟 仕様

<p>技術基準に基づく仕様</p>	<p>加工施設への人の不法な侵入等の防止</p>	<p>[9.1-B1] 加工施設を設置する事業所には、周辺監視区域を設け、周辺監視区域境界にはフェンス等を設置し、所定の出入口以外からの人の立入りを禁止するとともに、加工施設の建物は鉄筋コンクリート造、鉄扉等の堅固な障壁を有することにより人の不法な侵入を防止する。 管理区域を設定する加工施設の建物へのIDカードによる出入管理を行うとともに、監視装置による集中監視を行うことにより人の不法な侵入を防止する。 手順に基づく承認を得てから核燃料物質等の移動を実施し、持出し点検及び監視を行うことにより核燃料物質等の不法な移動を防止する。 周辺監視区域への立入時には、点検を行うことにより加工施設に不正に爆発性又は可燃性を有する物件等が持ち込まれることを防止する。 第5廃棄物貯蔵棟は、別表ト-4-1-2に示す材料を用いて、図ト-4-1-7～図ト-4-1-10に示すとおり鉄筋コンクリート造の外壁、鉄扉等の堅固な障壁を有する。 図ト-4-1-12に示す管理区域入口において、管理区域を設定する加工施設の建物への人の出入りを監視する。</p>
	<p>閉じ込めの機能</p>	<p>[10.1-B1] 線量告示に基づき1.3 mSv/3月間を超えるおそれのある場所を管理区域として設定し、管理区域は、ウランを密封して取り扱い又は貯蔵し、汚染の発生するおそれのない区域（第2種管理区域）とそうでない区域（第1種管理区域）とに区分する。 第5廃棄物貯蔵棟には、汚染の発生するおそれのない区域である第2種管理区域のみを設定する⁽¹⁴⁾。 管理区域の設定範囲を、図ト-4-1-12に示す。</p> <p>[10.1-B2] 第5廃棄物貯蔵棟は、万一、液体状の核燃料物質の漏えいが発生した場合でも外部に繋がる流出経路がないピットを設けることにより、核燃料物質等の閉じ込めの機能を維持する。</p> <p>○ピットの仕様（設計確認値） ・容積：400 L以上</p>
	<p>火災等による損傷の防止</p>	<p>[11.1-F1]⁽¹⁶⁾⁽¹⁷⁾ 第5廃棄物貯蔵棟には、以下の消火設備を設置する。</p> <p>第5廃棄物貯蔵棟は危険物特定屋内貯蔵所であるため、{8010-4}消火設備 消火器は、危険物の規制に関する政令第二十条第1項第二号及び危険物の規制に関する規則第三十条第二号、同第三十四条第2項第一号に基づく設置基準に対して、裕度を見込んで設置する。 {8010-4}消火設備 消火器は、消防法施行令第十条第2項第二号に基づき、通行又は避難に支障がなく、使用に際して容易に持ち出すことができる屋外に設置する。消火器格納箱に格納し、転倒防止策を講じて設置する。</p> <p>○設備の員数（{8010-4}消火設備 消火器） ・ABC粉末消火器50型：2本 ・ABC粉末消火器10型：1本</p> <p>{8010-4}消火設備 消火器の配置を図リ-2-1-6に示す。</p> <p><u>{8012-8}消火設備 可搬消防ポンプは、消防法施行令第二十条に準拠して、屋外に設置する。{8012-8}消火設備 可搬消防ポンプは本加工施設内に2基配置する。</u></p> <p><u>{8012-8}消火設備 可搬消防ポンプの仕様を表リ-他-3に示す。⁽¹⁶⁾</u></p>

追第4次 表ト-4-1 第5 廃棄物貯蔵棟 仕様

<p>技術基準に基づく仕様</p>	<p>火災等による損傷の防止</p>	<p>[11.1-F2]⁽¹⁷⁾</p> <p>早期に火災を検知し報知するために、消防法施行令第二十一条、消防法施行規則第二十三条、危険物の規制に関する政令第二十四条第1項第十三号に基づき防爆型の{8009-4}火災感知設備 自動火災報知設備(感知器)を設置し、<u>第3 廃棄物貯蔵棟に設置する{8009-13}火災感知設備 自動火災報知設備(受信機)に接続する。</u></p> <p>○設備の員数({8009-4}火災感知設備 自動火災報知設備(感知器))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱感知器(スポット型、防爆型):3台 <p>{8009-4}火災感知設備 自動火災報知設備(感知器)の配置を図リ-2-1-1-6に示す。火災感知設備 自動火災報知設備の系統図を図リ-2-1-1-2に示す。</p> <p><u>第3 廃棄物貯蔵棟に設置する{8009-13}火災感知設備 自動火災報知設備(受信機)の仕様を「表ト-W3建-1」に示す。</u>⁽¹⁶⁾</p> <p>[11.3-B1]</p> <p>第5 廃棄物貯蔵棟は不燃性材料である鉄筋コンクリートで造り、耐火性の高い設計とすることにより、火災の発生を防止する。また、第5 廃棄物貯蔵棟は消防法第十条、危険物の規制に関する政令第二条、危険物の規制に関する規則第十六条の二の三第2項、同第三十四条第1項第二号に基づく危険物特定屋内貯蔵所とし、消防法第十条で定める危険物に該当する放射性廃棄物の保管廃棄に適合した構造とする。屋根のアスファルト防水層は難燃性を有する。</p> <p>第5 廃棄物貯蔵棟に使用する材料を別表ト-4-1-2に示す。</p> <p>[11.3-B2]</p> <p>第5 廃棄物貯蔵棟は、建物全体を1つの火災区域として設定する。また、火災区域境界と同一の境界を持つ火災防護上の火災区画を設定する。</p> <p>火災区画の燃焼時間は火災区画の耐火時間を超えない。</p> <p>第5 廃棄物貯蔵棟の火災区画を図ト-4-1-1-3に示す。</p> <p>火災区画ごとの材料及び厚さを別表ト-4-1-1、別表ト-4-1-2、図ト-4-1-8、図ト-4-1-9及び図ト-4-1-11に示す。</p> <p>○火災区画 W5の仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象部材 <ul style="list-style-type: none"> 区画境界壁及び特定防火設備(防火戸) ・耐火時間:1.0時間以上 <ul style="list-style-type: none"> 区画境界壁(鉄筋コンクリート壁 厚さ100mm以上:2時間) 特定防火設備(防火戸)(骨組を鉄材又は鋼材で造り、両面に厚さが0.5mm以上の鉄板又は鋼板を貼ったもの:1時間) <p>第5 廃棄物貯蔵棟屋内にケーブルを使用する場合には、難燃性ケーブルを使用し、危険物の規制に関する政令第二十四条第1項第十三号、電気設備に関する技術基準を定める省令第六十九条第1項第一号に基づき、金属管に収容し、電気火災の発生を防止する。</p> <p>電源に接続する設備は、電気設備に関する技術基準を定める省令第十四条に基づき、分電盤に配線用遮断器を設ける。第5 廃棄物貯蔵棟に設置する分電盤は、分電盤を金属製とするとともに、屋外に設置することから防水性能を有するものとし、水の侵入による電気火災の発生を防止する。</p>
-------------------	--------------------	---

追第4次 表ト-4-1 第5 廃棄物貯蔵棟 仕様

技術基準に基づく仕様	火災等による損傷の防止	<p>[11.3-B3] 第5 廃棄物貯蔵棟は危険物特定屋内貯蔵所であり、外壁面のケーブル又は金属管が貫通する箇所には、危険物の規制に関する政令第十条第1項第六号に基づき、耐熱シール材等の国土交通大臣の認定を受けたもの又はモルタルその他の不燃材料を施工する。</p> <p>[11.3-F2] {8037}緊急設備 非常用照明、{8037-2}緊急設備 誘導灯は、電気設備に関する技術基準を定める省令第十四条に基づき、配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。 分電盤の配置図を図リ-2-1-6に、配線用遮断器の結線図を図リ-2-1-8に示す。</p>
	加工施設内における溢水による損傷の防止	<p>[12.1-B1] 第5 廃棄物貯蔵棟内には溢水源はない。</p>
	安全避難通路等	<p>[13.1-F1]⁽¹⁸⁾ 第5 廃棄物貯蔵棟に容易に識別できる{8034}緊急設備 避難通路を設ける。{8034}緊急設備 避難通路は非常口を含み、屋外へ避難できるよう誘導する。1箇所の扉が、非常口となる。 危険物の規制に関する政令第二十四条第1項第十三号、建築基準法施行令第二百二十六条の四に基づき照明装置の設置を通常要する部分には防爆型の{8037}緊急設備 非常用照明を、消防法施行令第二十六条、消防法施行規則第二十八条の三に基づき防火対象物に防爆型の{8037-2}緊急設備 誘導灯を設ける。</p> <p>○設備の員数（緊急設備） ・{8037}非常用照明：3台（防爆型） ・{8037-2}誘導灯：1台（防爆型）</p> <p>{8034}緊急設備 避難通路、{8037}緊急設備 非常用照明及び{8037-2}緊急設備 誘導灯の配置を図リ-2-1-6に示す。</p> <p>[13.1-F2] <u>加工施設には、非常用照明、誘導灯とは別に、設計基準事故が発生した場合の現場操作が可能となるように、専用電源を備えた{8038-4}緊急設備 可搬型照明を設置する。{8038-4}緊急設備 可搬型照明は本加工施設内に分散して配置する。</u> <u>{8038-4}緊急設備 可搬型照明の仕様を表リ-他-1に示す。⁽¹⁶⁾</u></p>
安全機能を有する施設	<p>[14.1-B1] 設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮することができるよう設置する。</p> <p>[14.1-F1] 設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮することができるよう設置する。</p> <p>[14.2-B1] 当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。</p> <p>[14.2-F1] 当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。</p>	

追第4次 表ト-4-1 第5廃棄物貯蔵棟 仕様

技術基準に基づく仕様	材料及び構造	—
	搬送設備	—
	核燃料物質の貯蔵施設	—
	警報設備等	[18.1-F1] 早期に火災を検知し報知するために、消防法施行令第二十一条、消防法施行規則第二十三条、危険物の規制に関する政令第二十四条第1項第十三号に基づき防爆型の{8009-4}火災感知設備 自動火災報知設備(感知器)を有効に火災の発生を感知することができるように設置し、 <u>第3廃棄物貯蔵棟に設置する{8009-13}火災感知設備 自動火災報知設備(受信機)に接続して火災を検知した場合に警報を発する。</u> ⁽¹⁶⁾
	放射線管理施設	—
	廃棄施設	—
	核燃料物質等による汚染の防止	—
	遮蔽	[22.1-B1] 貯蔵施設には最大貯蔵能力に見合うウランが、保管廃棄施設には最大保管廃棄能力に見合う放射性固体廃棄物が存在するものとして、直接線及びスカイシャイン線の線量を評価し、周辺監視区域境界における線量が、線量告示に定める線量限度年間1 mSv より十分に低減できるような建物の壁厚さ等とする。 周辺監視区域境界の位置を図ハ-1-1-1に示す。 ○第5廃棄物貯蔵棟の遮蔽機能 ⁽¹⁵⁾ ・遮蔽能力を有する壁の位置、構造、寸法、材料を別表ト-4-1-1、図ト-4-1-7及び図ト-4-1-8に示す。 ・壁厚さは、図ト-4-1-1 4に示す設計確認値以上。 ・コンクリートの気乾単位容積質量 ≥ 2.3 以上 [22.2-B1] 管理区域その他事業所内の人が立ち入る場所において、壁、屋根により放射線業務従事者等の外部放射線の影響を可能な限り低減する。
	換気設備	—
	非常用電源設備	[24.2-F1] {8007-5}通信連絡設備 所内通信連絡設備(放送設備(スピーカ))は、停電時に備えて非常用電源設備が稼働するまでの間の電源を確保するためのバッテリーを内蔵している第1加工棟の{8007-10}通信連絡設備 所内通信連絡設備(放送設備(アンプ))から給電することにより、外部電源が期待できない場合でも動作可能。 {8007-6}通信連絡設備 所内通信連絡設備(所内携帯電話機(PHSアンテナ))は、 <u>停電時に備えて非常用電源設備が稼働するまでの間の電源を確保するためのバッテリーを内蔵している事務棟(周辺監視区域)の{8007-16}通信連絡設備 所内通信連絡設備(電話交換機)から給電することにより、外部電源が期待できない場合でも動作可能。</u> <u>{8007-16}通信連絡設備 所内通信連絡設備(電話交換機)の仕様を表リ-他-1に示す。</u> ⁽¹⁶⁾ {8009-4}火災感知設備 自動火災報知設備(感知器)は、 <u>停電時に備えて非常用電源設備が稼働するまでの間の電源を確保するためのバッテリーを内蔵している第3廃棄物貯蔵棟の{8009-13}火災感知設備 自動火災報知設備(受信機)から給電することにより、外部電源が期待できない場合でも無警戒とならない。</u> <u>第3廃棄物貯蔵棟に設置する{8009-13}火災感知設備 自動火災報知設備(受信機)の仕様を「表ト-W3建-1」に示す。</u> ⁽¹⁶⁾ {8037}緊急設備 非常用照明、{8037-2}緊急設備 誘導灯は、停電時に備えて非常用電源設備が稼働するまでの間の電源を確保するためのバッテリーを内蔵し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。

非常用電源設備

[24. 2-F2]

{8007-5}通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (スピーカ)) は、{8001}非常用電源設備 No. 1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No. 2 非常用発電機に接続している第1加工棟の{8007-10}通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (アンプ)) から給電し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。

{8009-4}火災感知設備 自動火災報知設備 (感知器) は、{8001}非常用電源設備 No. 1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No. 2 非常用発電機に接続している第3廃棄物貯蔵棟の{8009-13}火災感知設備 自動火災報知設備 (受信機) から給電し、外部電源が期待できない場合でも無警戒とならないようにする。

{8037}緊急設備 非常用照明、{8037-2}緊急設備 誘導灯は、{8001}非常用電源設備 No. 1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No. 2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。

{8001}非常用電源設備No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備No.2 非常用発電機、{8009-13}火災感知設備 自動火災報知設備 (受信機) の仕様を表リー設-2-1、表リー設-2-2、表リー他-1に示す。⁽¹⁶⁾

{8007-6}通信連絡設備 所内通信連絡設備 (所内携帯電話機 (PHS アンテナ)) は、{8005}非常用電源設備A 非常用発電機に接続している{8007-16}通信連絡設備 所内通信連絡設備 (電話交換機) に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。

{8007-16}通信連絡設備 所内通信連絡設備 (電話交換機)、{8005}非常用電源設備A 非常用発電機の仕様を表リー他-1、表リー設-2-2に示す。⁽¹⁶⁾

電源に係る結線図を図リー-2-1-8、図リー-2-1-13に、非常用電源設備接続の系統図を図リー-2-1-14に示す。

以上を次表に示す。

(○: 該当、-: 該当なし)

設備・機器名称 機器名	バッテリー を内蔵	非常用発電 機に接続	設備からの 給電で動作
通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (アンプ)) *1	○	○	-
通信連絡設備 所内通信連絡設備 (放送設備 (スピーカ))	-	-	○
通信連絡設備 所内通信連絡設備 (電話交換機) *2	○	○	-
通信連絡設備 所内通信連絡設備 (所内携帯電話機 (PHS アンテナ))	-	-	○
火災感知設備 自動火災報知設備 (受信機) *3	○	○	-
火災感知設備 自動火災報知設備 (感知器)	-	-	○
緊急設備 非常用照明	○	○	-
緊急設備 誘導灯	○	○	-

*1: 所内通信連絡設備 (放送設備 (アンプ)) は第1加工棟に設置する。

*2: 所内通信連絡設備 (電話交換機) は事務棟に設置する。

*3: 自動火災報知設備 (受信機) は第3廃棄物貯蔵棟に設置する。

追第4次 表ト-4-1 第5廃棄物貯蔵棟 仕様

<p>技術基準に基づく仕様</p>	<p>通信連絡設備</p>	<p>[25.1-F1]</p> <p>第5廃棄物貯蔵棟には、多様性を備えた所内通信連絡設備を設置する。 {8007-5}通信連絡設備 所内通信連絡設備(放送設備(スピーカ))を設置し、{8007-10}通信連絡設備 所内通信連絡設備(放送設備(アンプ))に付属するマイクにより建物内における放送が可能となるようにする。 ({8007-10}通信連絡設備 所内通信連絡設備(放送設備(アンプ))は、第3次申請にて申請済み。)</p> <p><u>{8007-10}{8007-12}通信連絡設備 所内通信連絡設備(放送設備(アンプ))に付属するマイクによる、{8007}{8007-3}{8007-4}{8007-5}{8007-7}{8007-15}{8007-21}通信連絡設備 所内通信連絡設備(放送設備(スピーカ))からの事業所内建物間における相互の放送が可能とする。</u></p> <p><u>{8007-10}通信連絡設備 所内通信連絡設備(放送設備(アンプ))、{8007-7}通信連絡設備 所内通信連絡設備(放送設備(スピーカ))の仕様を追第3次表へ-2-1に示し、{8007-3}{8007-4}{8007-5}通信連絡設備 所内通信連絡設備(放送設備(スピーカ))の仕様を表ト-W1建-1、表ト-W3建-1、追第4次表ト-4-1に示し、{8007-15}{8007-21}通信連絡設備 所内通信連絡設備(放送設備(スピーカ))の仕様を表リ-建-1、表リ-他-1に示す。⁽¹⁶⁾</u></p> <p>{8007-5}通信連絡設備 所内通信連絡設備(放送設備(スピーカ))の配置を図リ-2-1-6に、系統図を図リ-2-1-9に示す。</p> <p>{8007-6}通信連絡設備 所内通信連絡設備(所内携帯電話機(PHSアンテナ))を設置し、PHSアンテナに付属する所内携帯電話機(PHS)により、設計基準事故が発生した場合に、緊急対策本部等から事業所内の人に対して、操作、作業又は退避の指示等の連絡が可能となるようにする。</p> <p>{8007-6}通信連絡設備 所内通信連絡設備(所内携帯電話機(PHSアンテナ))は、<u>{8007-16}通信連絡設備 所内通信連絡設備(電話交換機)</u>に接続する。</p> <p><u>{8007-16}通信連絡設備 所内通信連絡設備(電話交換機)の仕様を表リ-他-1に示す。⁽¹⁶⁾</u></p> <p>{8007-6}通信連絡設備 所内通信連絡設備(所内携帯電話機(PHSアンテナ))の配置を図リ-2-1-6に、系統図を図リ-2-1-10に示す。</p> <p>○設備の員数(通信連絡設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・{8007-5}所内通信連絡設備(放送設備(スピーカ)):1台 ・{8007-6}所内通信連絡設備(所内携帯電話機(PHSアンテナ)):1台 <p>[25.2-F1]</p> <p><u>加工施設には、外部への通信連絡のための多様性を確保した{8008}通信連絡設備 所外通信連絡設備を備える。</u></p> <p><u>{8008}通信連絡設備 所外通信連絡設備の仕様を表リ-他-1に示す。⁽¹⁶⁾</u></p>
<p>その他許可で求める仕様</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>添付図</p>	<p>図ト-4-1-1~図ト-4-1-14、図リ-2-1-6、図リ-2-1-8~図リ-2-1-10、図リ-2-1-12、図リ-2-1-13、図リ-2-1-14、図ハ-2-1-5-2~図ハ-2-1-5-6</p>	<p>—</p>

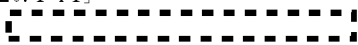
- (1) 第5廃棄物貯蔵棟の屋根は、加工事業変更許可申請書に示していた一部鉄骨造(金属屋根)に代えて、消防法に基づく危険物特定屋内貯蔵所とすることで、より堅固な鉄筋コンクリート造の屋根とし、鉄筋コンクリート造とする。
- (2) 杭の杭先端深さについては、施工管理により多少変動する場合がある。
- (3) 具体的には、建築基準法施行令第八十八条に規定する標準せん断力係数 C_0 を 0.2 として、地震地域係数 Z (大阪府の場合 1.0)、建物・構築物の振動特性に応じて地震層せん断力の高さ方向の分布を表す A_i 、建物・構築物の振動特性と地盤の種類を考慮して算出する R_t から求めた地震層せん断力係数 C_i に、当該建物・構築物の部分を支える重量を乗じ、さらに耐震重要度に応じた割り増し係数 1.0 を乗じた静的地震力を算定し、常時作用している荷重と静的地震力を組み合わせ、その結果発生する応力に対して、建築基準法等適切と認められる規格及び基準による許容応力度を許容限界とする設計。

- (4) 必要保有水平耐力は、標準せん断力係数 C_o を 1.0 として、建物の減衰性及び変形能力による構造特性係数 D_s と、剛性率・偏心率に応じて定める形状特性係数 F_{es} を乗じて求める必要保有水平耐力 Q_{un} に、耐震重要度分類に応じた割り増し係数を乗じた値とする。
- (5) 本加工施設の敷地は海拔約 48 m にあり、基準津波の最大遡上高さ 6 m と比べて十分高く、遡上波は到達しないことを確認している。
- (6) 第 5 廃棄物貯蔵棟の外部扉は東面に配置するため、F1 飛来物は到達しない。
- (7) 建築基準法第三十三条にある高さ 20 m 以上の建物に該当せず、また危険物の規制に関する政令第十条第一項第十四号に定める指定数量の 10 倍を超える危険物の屋内貯蔵所ではないため、法令上避雷針の設置は必要ない。
- (8) 水配管がないため極低温（凍結）の影響を受けるおそれはない。
- (9) 第 5 廃棄物貯蔵棟の建物は、鉄筋コンクリート造の建物であり生物学的事象の影響を受けるおそれはない。第 5 廃棄物貯蔵棟は気体廃棄設備がないため、第 5 廃棄物貯蔵棟内部の付属設備は生物学的事象の影響を受けるおそれはない。
- (10) 「実用発電用原子炉施設への航空機落下確率の評価基準について」に基づいて本加工施設への航空機落下確率を評価し、航空機落下確率の総和が 10^{-7} (回/施設・年) を超えないことから、想定する外部事象として航空機の墜落を想定する必要がないことを加工事業変更許可申請書に示すとおり確認している。
- (11) 第 5 廃棄物貯蔵棟は、航空機落下火災の影響評価対象ではない。
- (12) 第 5 廃棄物貯蔵棟の建物、付属設備にインターロックを有する設備がないため、電磁的障害の影響を受けるおそれはない。
- (13) 一般道路から距離が離れているため、交通事故の影響を受けるおそれはない。第 5 廃棄物貯蔵棟と町道の位置関係を示したものを図ハ-2-1-5-6 に示す。
- (14) 加工事業変更許可申請書の加工の方法の記載に基づき、第 5 廃棄物貯蔵棟では液体の放射性廃棄物の保管廃棄のみを行い、ドラム缶を開封して詰め替える等の取扱いは行わない。
- (15) 遮蔽評価において第 5 廃棄物貯蔵棟建物の屋根厚さを考慮していない。
- (16) 先行申請において、次回以降の申請で適合性を確認する予定の範囲表(次回表)に記載していた技術基準に基づく仕様。
- (17) 危険物特定屋内貯蔵所であり、危険物の規制に関する政令第二十条第 1 項第二号、危険物の規制に関する規則第三十条第二号、同第三十四条第 2 項第一号に基づき、基準延床面積 150 m^2 に対して延床面積約 65 m^2 であることから A 火災用 1 能力単位以上の大型消火器 (50 型) を 1 本、貯蔵量の基準倍数 10 に対して貯蔵量の倍数は 5 未満であることから B 火災用 1 能力単位以上の小型消火器 (10 型) を 1 本設置必要とする。この必要数に裕度を見込んで {8010-4} 消火設備 消火器として大型消火器 (50 型) を 2 本、小型消火器 (10 型) を 1 本設置する。
- (18) {8010-4} 消火設備 消火器、{8009-4} 火災感知設備 自動火災報知設備 (感知器)、{8037-2} 緊急設備 誘導灯の配置は、公設消防と協議済み。
- (19) 第 5 廃棄物貯蔵棟は(1)に示すとおり、危険物特定屋内貯蔵所として屋根を鉄筋コンクリート造の耐火構造としたことにより、建築基準法第二条第九号の二に定める耐火建築物の要件を満たしたことから、同法第六条の建築確認において、耐火建築物として確認済証を得ている。

追第4次 表ト-5-1 保管廃棄設備 廃棄物保管区域 仕様

許可との対応	許可番号（日付）	原規規発第 1803284 号（平成 30 年 3 月 28 日付け）
	施設名称	保管廃棄設備
設備・機器名称 機器名	{6137} 保管廃棄設備 廃棄物保管区域	
変更内容	新設 ①保管廃棄設備 廃棄物保管区域工事	
設置場所	第 5 廃棄物貯蔵棟	
員数	1	
一般仕様	型式	—
	主要な構造材	—
	寸法（単位：m）	概略寸法：
	その他の構成機器	受け皿付きスキッド
	その他の性能	保管廃棄能力： ドラム缶（200 L 缶、2 段積み以下）で保管廃棄する。 保管廃棄設備 廃棄物保管区域を床面にペイントで明示する。 の放射性廃棄物を収納する。
核燃料物質の状態	放射性液体廃棄物（油類廃棄物）	
技術基準に基づく仕様	核燃料物質の臨界防止	—
	安全機能を有する施設の地盤	[5.1-F1] 安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 5 廃棄物貯蔵棟の床に設置する。
	地震による損傷の防止	—
	津波による損傷の防止	—
	外部からの衝撃による損傷の防止	—
	加工施設への人の不法な侵入等の防止	—
	閉じ込めの機能	[10.1-F3] 液体廃棄物をドラム缶に収納し密閉した状態で、受け皿付きスキッド（容積 200 L 以上）を用いて保管廃棄する。
	火災等による損傷の防止	[11.3-F1] 受け皿付きスキッドは不燃性材料である鉄製とする。
	加工施設内における溢水による損傷の防止	—
	安全避難通路等	—
	安全機能を有する施設	[14.1-F1] 設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮する。 [14.2-F1] 当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。
	材料及び構造	—
搬送設備	—	
核燃料物質の貯蔵施設	—	
警報設備等	—	
放射線管理施設	—	

追第4次 表ト-5-1 保管廃棄設備  廃棄物保管区域 仕様

技術基準に基づく仕様	廃棄施設	[20.1-F1]  の保管廃棄能力を有する。 [20.1-F2] 放射性廃棄物以外の廃棄物を廃棄する設備と区別し、放射性廃棄物を保管廃棄する区域を床面にペイントで明示する。
	核燃料物質等による汚染の防止	—
	遮蔽	—
	換気設備	—
	非常用電源設備	—
	通信連絡設備	—
その他許可で求める仕様	[99-F5] 200 L ドラム缶は、耐震重要度分類第1類相当の転倒防止策（固縛措置含む。）を講じる。 200 L ドラム缶は、F3 竜巻によって飛散することのないよう空力パラメータが0.0032以下となるように固縛する措置を講じる。	
添付図	図ト-5-1-1	

追第4次 表ト-2-1 第2廃棄物貯蔵棟 仕様

許可との対応	許可番号 (日付)	原規規発第 1803284 号 (平成 30 年 3 月 28 日付け)	
	施設名称	第 2 廃棄物貯蔵棟 非常用通報設備 火災警報設備 消火設備 消火器 非常用設備 非常灯	
建物・構築物名称又は設備・機器名称 機器名		(本体) {1014} 第 2 廃棄物貯蔵棟 —	(付属設備) {8009-10} 火災感知設備 自動火災報知設備 (感知器) {8010-8} 消火設備 消火器 {8038-3} 緊急設備 非常用照明
建物・構築物の区分		本体、付属設備	
変更内容		撤去 ①第 2 廃棄物貯蔵棟撤去工事	
設置場所		第 2 廃棄物貯蔵棟	
員数		1	
一般仕様	型式	補強コンクリートブロック造	
	主要な構造材	コンクリートブロック、カラー鉄板 (折板葺)	
	寸法 (単位: mm)	概略寸法: 	
	その他の構成機器	—	
	その他の性能	—	
技術基準に基づく仕様	核燃料物質の状態	—	
	核燃料物質の臨界防止	—	
	安全機能を有する施設の地盤	—	
	地震による損傷の防止	—	
	津波による損傷の防止	—	
	外部からの衝撃による損傷の防止	—	
	加工施設への人の不法な侵入等の防止	—	
	閉じ込めの機能	—	
	火災等による損傷の防止	—	
	加工施設内における溢水による損傷の防止	—	
	安全避難通路等	—	
	安全機能を有する施設	—	
	材料及び構造	—	
	搬送設備	—	
	核燃料物質の貯蔵施設	—	
	警報設備等	—	
	放射線管理施設	—	
	廃棄施設	—	
	核燃料物質等による汚染の防止	—	
	遮蔽	—	
換気設備	—		
非常用電源設備	—		
通信連絡設備	—		
その他許可で求める仕様	[99-B3] [99-F3] 第 2 廃棄物貯蔵棟を撤去する。第 2 廃棄物貯蔵棟の付属設備である {8009-10} 火災感知設備 自動火災報知設備 (感知器)、{8038-3} 緊急設備 非常用照明及び {8010-8} 消火設備 消火器を撤去する。		
添付図	図ト-4-1-1		

追第4次 表ト-3-1 保管廃棄設備 廃棄物保管区域 仕様

許可との対応	許可番号 (日付) 施設名称	原規規発第 1803284 号 (平成 30 年 3 月 28 日付け) [6137-2] 保管廃棄設備 廃棄物保管区域
設備・機器名称 機器名		
変更内容	撤去 ①放射性液体廃棄物の移動 ②保管廃棄設備 廃棄物保管区域撤去工事	
設置場所	第 2 廃棄物貯蔵棟	
員数	1	
一般仕様	型式	—
	主要な構造材	—
	寸法 (単位: mm)	概略寸法: [6137-2]
	その他の構成機器	—
	その他の性能	保管廃棄能力: [6137-2]
技術基準に基づく仕様	核燃料物質の状態	放射性液体廃棄物 (油類廃棄物)
	核燃料物質の臨界防止	—
	安全機能を有する施設の地盤	—
	地震による損傷の防止	—
	津波による損傷の防止	—
	外部からの衝撃による損傷の防止	—
	加工施設への人の不法な侵入等の防止	—
	閉じ込めの機能	—
	火災等による損傷の防止	—
	加工施設内における溢水による損傷の防止	—
	安全避難通路等	—
	安全機能を有する施設	—
	材料及び構造	—
	搬送設備	—
	核燃料物質の貯蔵施設	—
	警報設備等	—
	放射線管理施設	—
	廃棄施設	—
	核燃料物質等による汚染の防止	—
	遮蔽	—
換気設備	—	
非常用電源設備	—	
通信連絡設備	—	
その他許可で求める仕様	[99-F3] 保管廃棄設備 廃棄物保管区域を撤去する。	
添付図	—	

4. 添付図一覧表

番号	名称
図ト-2P設-1	第2加工棟の主要な部屋配置
図ト-2P設-1-1(1)	本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図(1階)(1/2)
図ト-2P設-1-1(2)	本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図(1階)(2/2)
図ト-2P設-1-1(3)	本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図(3階及び4階)
図ト-2P設-1-1(4)	本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図(設備・機器一覧表)(1/2)
図ト-2P設-1-1(5)	本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図(設備・機器一覧表)(2/2)
図ト-2P設-1-2	第2加工棟の給排気設備全体系統図(気体廃棄設備No.1)
図ト-2P設-1-3(1)	第2加工棟廃液配管全体系統図
図ト-2P設-1-3(2)	第2加工棟 廃液処理設備 廃液配管平面図(1/3)
図ト-2P設-1-3(3)	第2加工棟 廃液処理設備 廃液配管平面図(2/3)
図ト-2P設-1-3(4)	第2加工棟 廃液処理設備 廃液配管平面図(3/3)
図ト-2P設-2-1-1(1)	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(系統図)
図ト-2P設-2-1-1(2)	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(系統I(部屋排気系統))
図ト-2P設-2-1-1(3)	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(系統II(部屋排気系統))
図ト-2P設-2-1-1(4)	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(系統V(局所排気系統))
図ト-2P設-2-1-1(5)	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(系統I系統II系統V(給気系統))
図ト-2P設-2-1-1(6)	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(設備・機器一覧表)
図ト-2P設-2-1-1(7)	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(局所排気系統 接続設備・機器一覧表)
図ト-2P設-2-1-2(1)	気体廃棄設備No.1 系統I(部屋排気系統) 排風機(301-F)
図ト-2P設-2-1-2(2)	気体廃棄設備No.1 系統II(部屋排気系統) 排風機(302-F)
図ト-2P設-2-1-2(3)	気体廃棄設備No.1 系統V(局所排気系統) 排風機(305-F)
図ト-2P設-2-1-2(4)	気体廃棄設備No.1 系統I(部屋排気系統) フィルタユニット(FU-401)
図ト-2P設-2-1-2(5)	気体廃棄設備No.1 系統II(部屋排気系統) フィルタユニット(FU-402)
図ト-2P設-2-1-2(6)	気体廃棄設備No.1 系統V(局所排気系統) フィルタユニット(FU-405)
図ト-2P設-2-1-2(7)	気体廃棄設備No.1 系統I系統II系統V(給気系統) 給気ユニット(201AC)
図ト-2P設-2-1-3	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統) 差圧計及び警報盤 配置図
図ト-2P設-2-1-4(1)	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統) インターロック信号系統図(送排風機の起動停止時)
図ト-2P設-2-1-4(2)	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統) インターロック信号系統図(送排風機異常時)
図ト-2P設-2-1-4(3)	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統) インターロック信号系統図(ダンパー開度異常時)
図ト-2P設-2-1-4(4)	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統) インターロック信号系統図(室内負圧異常時)
図ト-2P設-2-1-5	気体廃棄設備No.1(系統I、系統II、系統V、給気系統) 改造図(①ダクトルートの変更)

番号	名称
図ト-2P設-2-2-1 (1)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統図)
図ト-2P設-2-2-1 (2)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅲ (部屋排気系統))
図ト-2P設-2-2-1 (3)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅵ (局所排気系統))
図ト-2P設-2-2-1 (4)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅲ系統Ⅵ (給気系統))
図ト-2P設-2-2-1 (5)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (設備・機器一覧表)
図ト-2P設-2-2-1 (6)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (局所排気系統 接続設備・機器一覧表)
図ト-2P設-2-2-2 (1)	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ (部屋排気系統) 排風機 (303-F)
図ト-2P設-2-2-2 (2)	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅵ (局所排気系統) 排風機 (306-F)
図ト-2P設-2-2-2 (3)	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-403)
図ト-2P設-2-2-2 (4)	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅵ (局所排気系統) フィルタユニット (FU-406)
図ト-2P設-2-2-2 (5)	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ系統Ⅵ (給気系統) 給気ユニット (202AC)
図ト-2P設-2-2-3	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) 差圧計及び警報盤 配置図
図ト-2P設-2-2-4 (1)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機の起動停止時)
図ト-2P設-2-2-4 (2)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)
図ト-2P設-2-2-4 (3)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)
図ト-2P設-2-2-4 (4)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) インターロック信号系統図 (室内負圧異常時)
図ト-2P設-2-3-1 (1)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅳ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統図)
図ト-2P設-2-3-1 (2)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅳ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅳ (部屋排気系統))
図ト-2P設-2-3-1 (3)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅳ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅳ (給気系統))
図ト-2P設-2-3-1 (4)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅳ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (設備・機器一覧表)
図ト-2P設-2-3-2 (1)	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅳ (部屋排気系統) 排風機 (304-F)
図ト-2P設-2-3-2 (2)	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅳ (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-404)
図ト-2P設-2-3-2 (3)	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅳ (給気系統) 給気ユニット (203SU)
図ト-2P設-2-3-3	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅳ、給気系統) 差圧計及び警報盤 配置図
図ト-2P設-2-3-4 (1)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅳ、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機の起動停止時)
図ト-2P設-2-3-4 (2)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅳ、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)
図ト-2P設-2-3-4 (3)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅳ、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)
図ト-2P設-2-3-4 (4)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅳ、給気系統) インターロック信号系統図 (室内負圧異常時)
図ト-2P設-2-4-1 (1)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統図)
図ト-2P設-2-4-1 (2)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅶ (部屋排気系統))
図ト-2P設-2-4-1 (3)	気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅷ (局所排気系統))

番号	名称
図ト-2P設-2-4-1(4)	気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統VII系統VIII (給気系統))
図ト-2P設-2-4-1(5)	気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (設備・機器一覧表)
図ト-2P設-2-4-1(6)	気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (局所排気系統 接続設備・機器一覧表)
図ト-2P設-2-4-2(1)	気体廃棄設備 No.1 系統VII (部屋排気系統) 排風機 (307-F)
図ト-2P設-2-4-2(2)	気体廃棄設備 No.1 系統VIII (局所排気系統) 排風機 (308-F)
図ト-2P設-2-4-2(3)	気体廃棄設備 No.1 系統VII (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-407)
図ト-2P設-2-4-2(4)	気体廃棄設備 No.1 系統VIII (局所排気系統) フィルタユニット (FU-408)
図ト-2P設-2-4-2(5)	気体廃棄設備 No.1 系統VII系統VIII (給気系統) 給気ユニット (204AC)
図ト-2P設-2-4-3	気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) 差圧計及び警報盤 配置図
図ト-2P設-2-4-4(1)	気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機の起動停止時)
図ト-2P設-2-4-4(2)	気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)
図ト-2P設-2-4-4(3)	気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)
図ト-2P設-2-4-4(4)	気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) インターロック信号系統図 (室内負圧異常時)
図ト-2P設-2-4-5	気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) 改造図 (①ダクトルートの変更)
図ト-2P設-2-5	気体廃棄設備 No.1 改造図 (金属製カバーの設置)

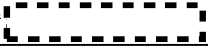
番号	名称
図ト-2P設-3-1	第1 廃液処理設備 廃液系統図
図ト-2P設-3-2 (1)	第1 廃液処理設備 配置図 (1/2)
図ト-2P設-3-2 (2)	第1 廃液処理設備 配置図 (2/2)
図ト-2P設-3-3	第1 廃液処理設備 補強詳細図
図ト-2P設-4-1	分析廃液処理設備 廃液系統図
図ト-2P設-4-2 (1)	分析廃液処理設備 配置図 (1/2)
図ト-2P設-4-2 (2)	分析廃液処理設備 配置図 (2/2)
図ト-2P設-4-3	分析廃液処理設備 スラッジ乾燥機
図ト-2P設-5-1	開発室廃液処理設備 廃液系統図
図ト-2P設-5-2 (1)	開発室廃液処理設備 配置図 (1/2)
図ト-2P設-5-2 (2)	開発室廃液処理設備 配置図 (2/2)
図ト-2P設-6-1	第2 廃液処理設備 廃液系統図
図ト-2P設-6-2 (1)	第2 廃液処理設備 配置図 (1/2)
図ト-2P設-6-2 (2)	第2 廃液処理設備 配置図 (2/2)
図ト-2P設-6-3	第2 廃液処理設備 集水槽 No. 2
図ト-2P設-6-4	第2 廃液処理設備 沈殿槽 No. 1
図ト-2P設-6-5	第2 廃液処理設備 沈殿槽 No. 2
図ト-2P設-6-6	第2 廃液処理設備 スラッジ乾燥機
図ト-2P設-7	第2 廃液処理設備 及び 第2 廃液処理設備貯留設備 配置図

番号	名称
図ト-1-1-1	敷地内における主要な加工施設の位置
図ト-W1建-1	第1廃棄物貯蔵棟 平面図（1階・中2階）
図ト-W1建-2	第1廃棄物貯蔵棟 平面図（2階・3階）
図ト-W1建-3	第1廃棄物貯蔵棟 平面図（R階）
図ト-W1建-4	第1廃棄物貯蔵棟 立面図
図ト-W1建-5	第1廃棄物貯蔵棟 断面図
図ト-W1建-6	第1廃棄物貯蔵棟 管理区域区分図
図ト-W1建-7	第1廃棄物貯蔵棟 安全機能を有する施設の地盤（土質柱状図）
図ト-W1建-8（1）	第1廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止（1階・中2階）
図ト-W1建-8（2）	第1廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止（2階・3階）
図ト-W1建-8（3）	第1廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止（1通り、2通り軸組図）
図ト-W1建-8（4）	第1廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止（3通り軸組図）
図ト-W1建-8（5）	第1廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止（A通り、B通り軸組図）
図ト-W1建-8（6）	第1廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止（C通り、D通り軸組図）
図ト-W1建-9（1）	第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃（竜巻）による損傷の防止（1階・中2階）
図ト-W1建-9（2）	第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃（竜巻）による損傷の防止（2階・3階）
図ト-W1建-9（3）	第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃（竜巻）による損傷の防止（R階）
図ト-W1建-9（4）	第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃（竜巻）による損傷の防止（北東立面）
図ト-W1建-9（5）	第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃（竜巻）による損傷の防止 飛来物影響範囲
図ト-W1建-10	第1廃棄物貯蔵棟 建具表
図ト-W1建-11	第1廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具 姿図
図ト-W1建-12（1）	第1廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具（扉71）詳細図 部材表
図ト-W1建-12（2）	第1廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具（扉76）詳細図 部材表
図ト-W1建-12（3）	第1廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具（扉77）詳細図 部材表
図ト-W1建-12（4）	第1廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具（扉78）詳細図 部材表
図ト-W1建-13（1）	第1廃棄物貯蔵棟 W1防護壁 土質柱状図
図ト-W1建-13（2）	第1廃棄物貯蔵棟 W1防護壁 詳細図
図ト-W1建-13（3）	第1廃棄物貯蔵棟 W1防護壁 配筋図
図ト-W1建-14（1）	第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃（降下火砕物・積雪）による損傷の防止（3階・R階）
図ト-W1建-14（2）	第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃（降下火砕物・積雪）による損傷の防止（東南立面）
図ト-W1建-15	防護対象施設と敷地内の竹林、隣接B事業所雑木林及び敷地内の危険物施設の位置
図ト-W1建-16	防護対象施設と敷地内の高圧ガス貯蔵施設の位置
図ト-W1建-17	敷地内の燃料輸送車両の走行経路と火災発生位置
図ト-W1建-18	敷地内の高圧ガス輸送車両の走行経路と爆発位置
図ト-W1建-19	加工施設と町道の位置関係
図ト-W1建-20（1）	第1廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止（1階・中2階）
図ト-W1建-20（2）	第1廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止（2階・3階）
図ト-W1建-20（3）	第1廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止（北東立面）
図ト-W1建-20（4）	第1廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止（断面）

番号	名称
図ト-W1建-21(1)	第1廃棄物貯蔵棟 溢水による損傷の防止(1階・中2階)
図ト-W1建-21(2)	第1廃棄物貯蔵棟 溢水による損傷の防止(2階・3階)
図ト-W1建-22(1)	第1廃棄物貯蔵棟 溢水対策一覧表
図ト-W1建-22(2)	第1廃棄物貯蔵棟 溢水対策2
図ト-W1建-22(3)	第1廃棄物貯蔵棟 溢水対策3
図ト-W1建-22(4)	第1廃棄物貯蔵棟 地下貯槽ピット 配置図
図ト-W1建-22(5)	第1廃棄物貯蔵棟 地下貯槽ピット 詳細図1
図ト-W1建-22(6)	第1廃棄物貯蔵棟 地下貯槽ピット 詳細図2
図ト-W1建-23(1)	第1廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止(1階・中2階)
図ト-W1建-23(2)	第1廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止(2階・3階)
図ト-W1建-23(3)	第1廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止(R階)
図ト-W1建-23(4)	第1廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止(北東立面)
図ト-W1建-24(1)	第1廃棄物貯蔵棟 部位位置図 1階・中2階壁
図ト-W1建-24(2)	第1廃棄物貯蔵棟 部位位置図 2階・3階壁
図ト-W1建-24(3)	第1廃棄物貯蔵棟 部位位置図 1階・中2階スラブ
図ト-W1建-24(4)	第1廃棄物貯蔵棟 部位位置図 2階・3階スラブ
図ト-W1建-24(5)	第1廃棄物貯蔵棟 部位位置図 R階スラブ
図ト-W1建-25(1)	第1廃棄物貯蔵棟の安全機能を有する部位の位置、構造(材料、厚さ)図(1階・中2階)
図ト-W1建-25(2)	第1廃棄物貯蔵棟の安全機能を有する部位の位置、構造(材料、厚さ)図(2階・3階)
図ト-W1建-26(1)	第1廃棄物貯蔵棟 杭伏図・地下貯槽ピット床伏図兼構造区分図
図ト-W1建-26(2)	第1廃棄物貯蔵棟 1階・中2階はり伏図兼構造区分図
図ト-W1建-26(3)	第1廃棄物貯蔵棟 2階・3階はり伏図兼構造区分図
図ト-W1建-26(4)	第1廃棄物貯蔵棟 R階床はり伏図兼構造区分図
図ト-W1建-27(1)	第1廃棄物貯蔵棟 軸組図A通り、B通り
図ト-W1建-27(2)	第1廃棄物貯蔵棟 軸組図C通り、D通り
図ト-W1建-27(3)	第1廃棄物貯蔵棟 軸組図1通り、2通り
図ト-W1建-27(4)	第1廃棄物貯蔵棟 軸組図3通り
図ト-W1建-28(1)	第1廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 基礎断面
図ト-W1建-28(2)	第1廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 柱・柱配置図
図ト-W1建-28(3)	第1廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 大ばり
図ト-W1建-28(4)	第1廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 小ばり
図ト-W1建-28(5)	第1廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト スラブ・壁
図ト-W1建-29(1)	第1廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井(平面図 1階、中2階)
図ト-W1建-29(2)	第1廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井(平面図 2階、3階)
図ト-W1建-29(3)	第1廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井(断面図 1通り、2通り)
図ト-W1建-29(4)	第1廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井(断面図 3通り)
図ト-W1建-29(5)	第1廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井(断面図 A通り、B通り)
図ト-W1建-29(6)	第1廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井(断面図 C通り、D通り)

番号	名称
図ト-W1設-1-1(1)	本申請で適合性を確認する第1廃棄物貯蔵棟の設備及び機器の配置詳細図(1階及び焼却設備 焼却炉 架台上の設備及び中2階及び2階及び3階)
図ト-W1設-1-1(2)	本申請で適合性を確認する第1廃棄物貯蔵棟の設備及び機器の配置詳細図(設備・機器一覧表)
図ト-W1設-1-2	第1廃棄物貯蔵棟の給排気全体系統図(気体廃棄設備No.2)
図ト-W1設-2-1(1)	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(系統1(部屋排気系統))
図ト-W1設-2-1(2)	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(系統2(局所排気系統))
図ト-W1設-2-1(3)	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(系統3(局所排気系統))
図ト-W1設-2-1(4)	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(系統4(局所排気系統))
図ト-W1設-2-1(5)	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(系統1系統2系統3系統4(給気系統))
図ト-W1設-2-1(6)	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(系統4(急冷塔給気)、系統3(フィルタ冷却給気)、系統1系統2系統3系統4(自然給気))
図ト-W1設-2-1(7)	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(設備・機器一覧表)
図ト-W1設-2-1(8)	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統)の設備及び機器の配置詳細図(局所排気系統 接続設備・機器一覧表)
図ト-W1設-2-2(1)	気体廃棄設備No.2 系統1(部屋排気系統) No.1 排風機
図ト-W1設-2-2(2)	気体廃棄設備No.2 系統2(局所排気系統) No.2 排風機
図ト-W1設-2-2(3)	気体廃棄設備No.2 系統3(局所排気系統) No.3 排風機
図ト-W1設-2-2(4)	気体廃棄設備No.2 系統3(局所排気系統) No.4 排風機
図ト-W1設-2-2(5)	気体廃棄設備No.2 系統4(局所排気系統) No.5 排風機
図ト-W1設-2-2(6)	気体廃棄設備No.2 系統4(局所排気系統) No.6 排風機
図ト-W1設-2-2(7)	気体廃棄設備No.2 系統1(部屋排気系統) No.1 フィルタユニット
図ト-W1設-2-2(8)	気体廃棄設備No.2 系統2(局所排気系統) No.2 フィルタユニット
図ト-W1設-2-2(9)	気体廃棄設備No.2 系統3(局所排気系統) No.5 フィルタユニット
図ト-W1設-2-2(10)	気体廃棄設備No.2 系統4(局所排気系統) No.8 フィルタユニット
図ト-W1設-2-2(11)	気体廃棄設備No.2 系統3(局所排気系統) No.3 フィルタユニット
図ト-W1設-2-2(12)	気体廃棄設備No.2 系統3(局所排気系統) No.4 フィルタユニット
図ト-W1設-2-2(13)	気体廃棄設備No.2 系統1系統2系統3系統4(給気系統) 給気フィルタ
図ト-W1設-2-2(14)	気体廃棄設備No.2 系統4(急冷塔給気) 給気フィルタ
図ト-W1設-2-2(15)	気体廃棄設備No.2 系統3(フィルタ冷却給気) 給気フィルタ
図ト-W1設-2-2(16)	気体廃棄設備No.2 系統1系統2系統3系統4(自然給気) 給気フィルタ
図ト-W1設-2-2(17)	気体廃棄設備No.2 系統1系統2系統3系統4(給気系統) 給気ファン
図ト-W1設-2-3	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) 差圧計及び警報盤 配置図
図ト-W1設-2-4(1)	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) インターロック信号系統図(送排風機の起動停止時)
図ト-W1設-2-4(2)	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) インターロック信号系統図(故障時の排風機起動機構)
図ト-W1設-2-4(3)	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) インターロック信号系統図(送排風機異常時)
図ト-W1設-2-4(4)	気体廃棄設備No.2(系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) インターロック信号系統図(ダンパー開度異常時)

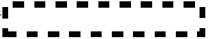
番号	名称
図ト-W1設-2-4 (5)	気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) インターロック信号系統図 (室内負圧異常時)
図ト-W1設-2-5	気体廃棄設備 No.2 改造図 (㊸金属製カバーの設置)

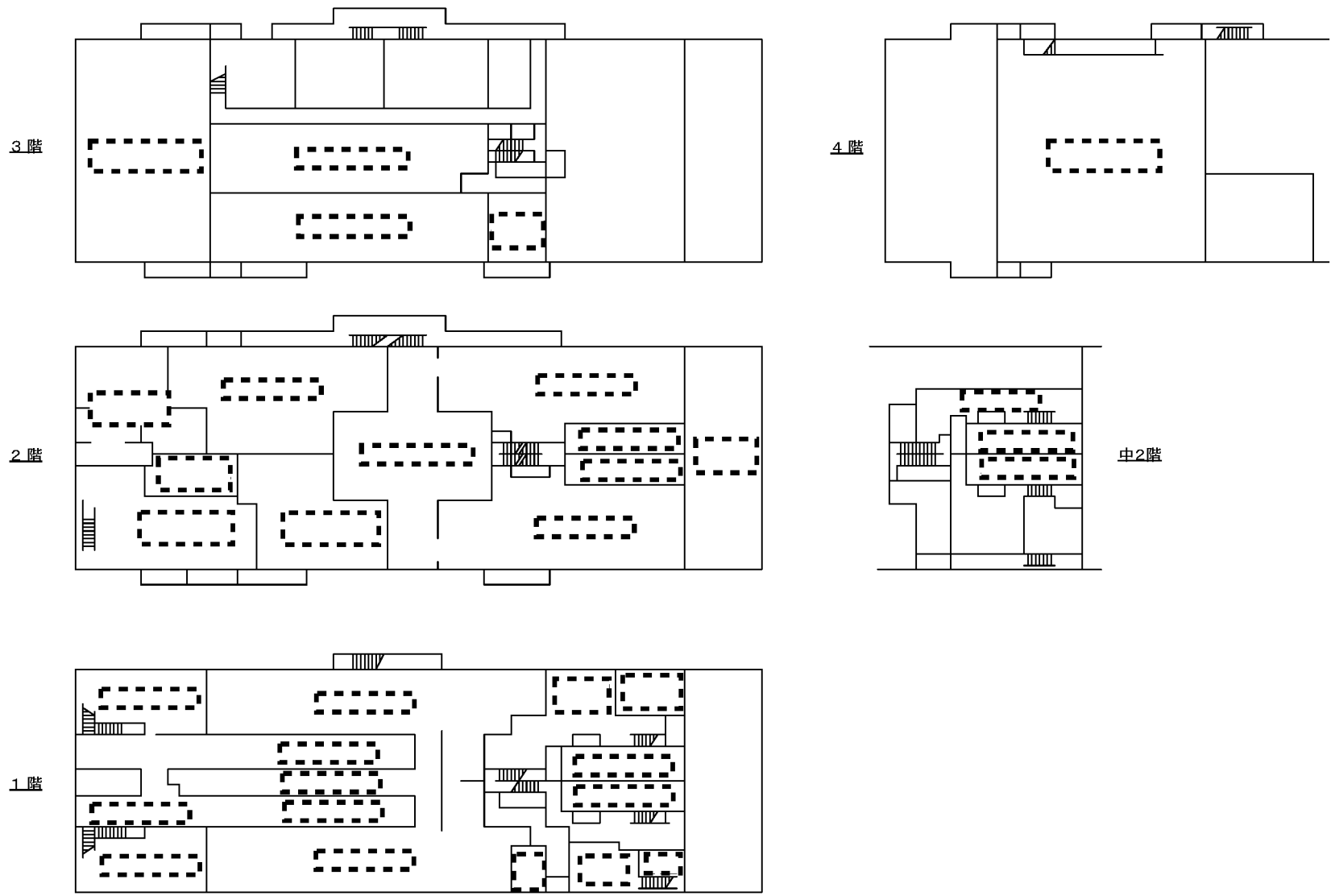
番号	名称
図ト-W1設-3-1(1)	W1 廃液配管全体系統図
図ト-W1設-3-1(2)	W1 廃液配管平面図
図ト-W1設-3-1(3)	W1 廃液処理設備 廃液系統図
図ト-W1設-3-2(1)	W1 廃液処理設備 配置図(1/3)
図ト-W1設-3-2(2)	W1 廃液処理設備 配置図(2/3)
図ト-W1設-3-2(3)	W1 廃液処理設備 配置図(3/3)
図ト-W1設-3-3	W1 廃液処理設備 凝集沈殿槽
図ト-W1設-3-4	W1 廃液処理設備 タンク No.3
図ト-W1設-3-5	W1 廃液処理設備 スラッジ乾燥機
図ト-W1設-4-1	保管廃棄設備  廃棄物保管区域
図ト-W1設-5(1)	焼却設備 系統図
図ト-W1設-5(2)	焼却設備 配置図(1/2)
図ト-W1設-5(3)	焼却設備 配置図(2/2)
図ト-W1設-5-1-1(1)	焼却設備 焼却炉
図ト-W1設-5-1-1(2)	焼却設備 焼却炉(灰出フード)
図ト-W1設-5-1-1(3)	焼却設備 焼却炉 架台(1/5)
図ト-W1設-5-1-1(4)	焼却設備 焼却炉 架台(2/5)
図ト-W1設-5-1-1(5)	焼却設備 焼却炉 架台(3/5)
図ト-W1設-5-1-1(6)	焼却設備 焼却炉 架台(4/5)
図ト-W1設-5-1-1(7)	焼却設備 焼却炉 架台(5/5)
図ト-W1設-5-1-2(1)	焼却設備 焼却炉 付帯安全系 機器及び警報盤 配置図
図ト-W1設-5-1-2(2)	焼却設備 焼却炉 付帯安全系 ガス配管 安全系機器構成概要図
図ト-W1設-5-1-2(3)	焼却設備 焼却炉 付帯安全系 可燃性ガス配管 配置図
図ト-W1設-5-1-3(1)	焼却設備 焼却炉 付帯安全系 インターロック信号系統図(可燃性ガス緊急遮断)(1/2)
図ト-W1設-5-1-3(2)	焼却設備 焼却炉 付帯安全系 インターロック信号系統図(可燃性ガス緊急遮断)(2/2)
図ト-W1設-5-1-3(3)	焼却設備 焼却炉 付帯安全系 インターロック信号系統図(失火検知機構)
図ト-W1設-5-1-3(4)	焼却設備 焼却炉 付帯安全系 インターロック信号系統図(過加熱防止機構)
図ト-W1設-5-2(1)	焼却設備 バグフィルタ
図ト-W1設-5-2(2)	焼却設備 バグフィルタ(集塵灰フード)
図ト-W1設-5-3	焼却設備 投入プッシャ
図ト-W1設-5-4	焼却設備 前処理フード
図ト-W1設-5-5	焼却設備 フィルタ処理フード
図ト-W1設-5-6	焼却設備 投入リフタ
図ト-W1設-5-7	焼却設備 急冷塔
図ト-W1設-6-1	湿式除染機 湿式除染部
図ト-W1設-6-2	湿式除染機 水洗除染タンク
図ト-W1設-7-1	乾式除染機
図ト-W1設-8	ホイストクレーン 配置図

番号	名称
図ト-W1 設-8-1	ホイストクレーン 2トンチェンブロック
図ト-W1 設-8-2	ホイストクレーン 1トンチェンブロック

番号	名称
図ト-W3建-1	第3廃棄物貯蔵棟 平面図 (1階・2階)
図ト-W3建-2	第3廃棄物貯蔵棟 平面図 (3階・R階)
図ト-W3建-3	第3廃棄物貯蔵棟 立面図
図ト-W3建-4	第3廃棄物貯蔵棟 断面図
図ト-W3建-5	第3廃棄物貯蔵棟 管理区域区分図
図ト-W3建-6	第3廃棄物貯蔵棟 安全機能を有する施設の地盤 (土質柱状図)
図ト-W3建-7 (1)	第3廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止 (1階・2階)
図ト-W3建-7 (2)	第3廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止 (3階・R階)
図ト-W3建-7 (3)	第3廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止 (1通り、4通り軸組図)
図ト-W3建-7 (4)	第3廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止 (A通り、C通り軸組図)
図ト-W3建-8 (1)	第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃 (竜巻) による損傷の防止 (1階・2階)
図ト-W3建-8 (2)	第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃 (竜巻) による損傷の防止 (3階・R階)
図ト-W3建-8 (3)	第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃 (竜巻) による損傷の防止 (南西立面)
図ト-W3建-8 (4)	第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃 (竜巻) による損傷の防止 (北東立面)
図ト-W3建-8 (5)	第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃 (竜巻) による損傷の防止 飛来物影響範囲
図ト-W3建-9	第3廃棄物貯蔵棟 建具表
図ト-W3建-10	第3廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具 姿図
図ト-W3建-11 (1)	第3廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具 (扉91) 詳細図 部材表
図ト-W3建-11 (2)	第3廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具 (扉92、93) 詳細図 部材表
図ト-W3建-12 (1)	第3廃棄物貯蔵棟 W3防護壁 土質柱状図
図ト-W3建-12 (2)	第3廃棄物貯蔵棟 W3防護壁 詳細図
図ト-W3建-12 (3)	第3廃棄物貯蔵棟 W3防護壁 配筋図
図ト-W3建-13 (1)	第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃 (降下火砕物・積雪) による損傷の防止 (3階・R階)
図ト-W3建-13 (2)	第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃 (降下火砕物・積雪) による損傷の防止 (北西立面)
図ト-W3建-14 (1)	第3廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止 (1階・2階)
図ト-W3建-14 (2)	第3廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止 (3階・R階)
図ト-W3建-14 (3)	第3廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止 (南西立面)
図ト-W3建-14 (4)	第3廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止 (北東立面)
図ト-W3建-14 (5)	第3廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止 (断面)
図ト-W3建-15 (1)	第3廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止 (1階・2階)
図ト-W3建-15 (2)	第3廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止 (3階・R階)
図ト-W3建-15 (3)	第3廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止 (南西立面)
図ト-W3建-15 (4)	第3廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止 (北東立面)
図ト-W3建-16 (1)	第3廃棄物貯蔵棟 部位位置図 1階・2階壁
図ト-W3建-16 (2)	第3廃棄物貯蔵棟 部位位置図 3階・R階壁
図ト-W3建-16 (3)	第3廃棄物貯蔵棟 部位位置図 1階・2階スラブ
図ト-W3建-16 (4)	第3廃棄物貯蔵棟 部位位置図 3階・R階スラブ
図ト-W3建-17 (1)	第3廃棄物貯蔵棟の安全機能を有する部位の位置、構造 (材料、厚さ) 図 (1階・2階)

番号	名称
図ト-W3建-17(2)	第3廃棄物貯蔵棟の安全機能を有する部位の位置、構造(材料、厚さ)図(3階・R階)
図ト-W3建-18(1)	第3廃棄物貯蔵棟 杭伏図兼構造区分図
図ト-W3建-18(2)	第3廃棄物貯蔵棟 1階・2階はり伏図兼構造区分図
図ト-W3建-18(3)	第3廃棄物貯蔵棟 3階・R階はり伏図兼構造区分図
図ト-W3建-19(1)	第3廃棄物貯蔵棟 軸組図A通り、B通り
図ト-W3建-19(2)	第3廃棄物貯蔵棟 軸組図C通り
図ト-W3建-19(3)	第3廃棄物貯蔵棟 軸組図1通り、2・3通り
図ト-W3建-19(4)	第3廃棄物貯蔵棟 軸組図4通り
図ト-W3建-20(1)	第3廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 基礎断面1
図ト-W3建-20(2)	第3廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 基礎断面2
図ト-W3建-20(3)	第3廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 柱・柱配置図
図ト-W3建-20(4)	第3廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 大ばり・小ばり
図ト-W3建-20(5)	第3廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト スラブ・壁
図ト-W3建-21(1)	第3廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井(平面図 1階、2階)
図ト-W3建-21(2)	第3廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井(平面図 3階)
図ト-W3建-21(3)	第3廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井(断面図 1通り、2・3通り)
図ト-W3建-21(4)	第3廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井(断面図 4通り)
図ト-W3建-21(5)	第3廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井(断面図 A通り、B通り)
図ト-W3建-21(6)	第3廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井(断面図 C通り)

番号	名称
図ト-W3設-1	本申請で適合性を確認する第3廃棄物貯蔵棟の設備及び機器の配置詳細図 (1階及び2階及び3階)
図ト-W3設-2	保管廃棄設備  廃棄物保管区域
図ト-W3設-3	ホイストクレーン 配置図
図ト-W3設-3-1	ホイストクレーン 1トンチェンブロック






図トー 2 P 設-1 第 2 加工棟の主要な部屋配置

1199



1F 平面図


  : 本申請に係る設備・機器
 : 撤去

図トー2 P設ー1ー1 (1) 本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図 (1階) (1 / 2)

1200



1 F 平面図

 : 本申請に係る設備・機器


図トー2 P設ー1ー1 (2) 本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図 (1階) (2 / 2)

1201



3F 平面図

4F 平面図

 : 本申請に係る設備・機器

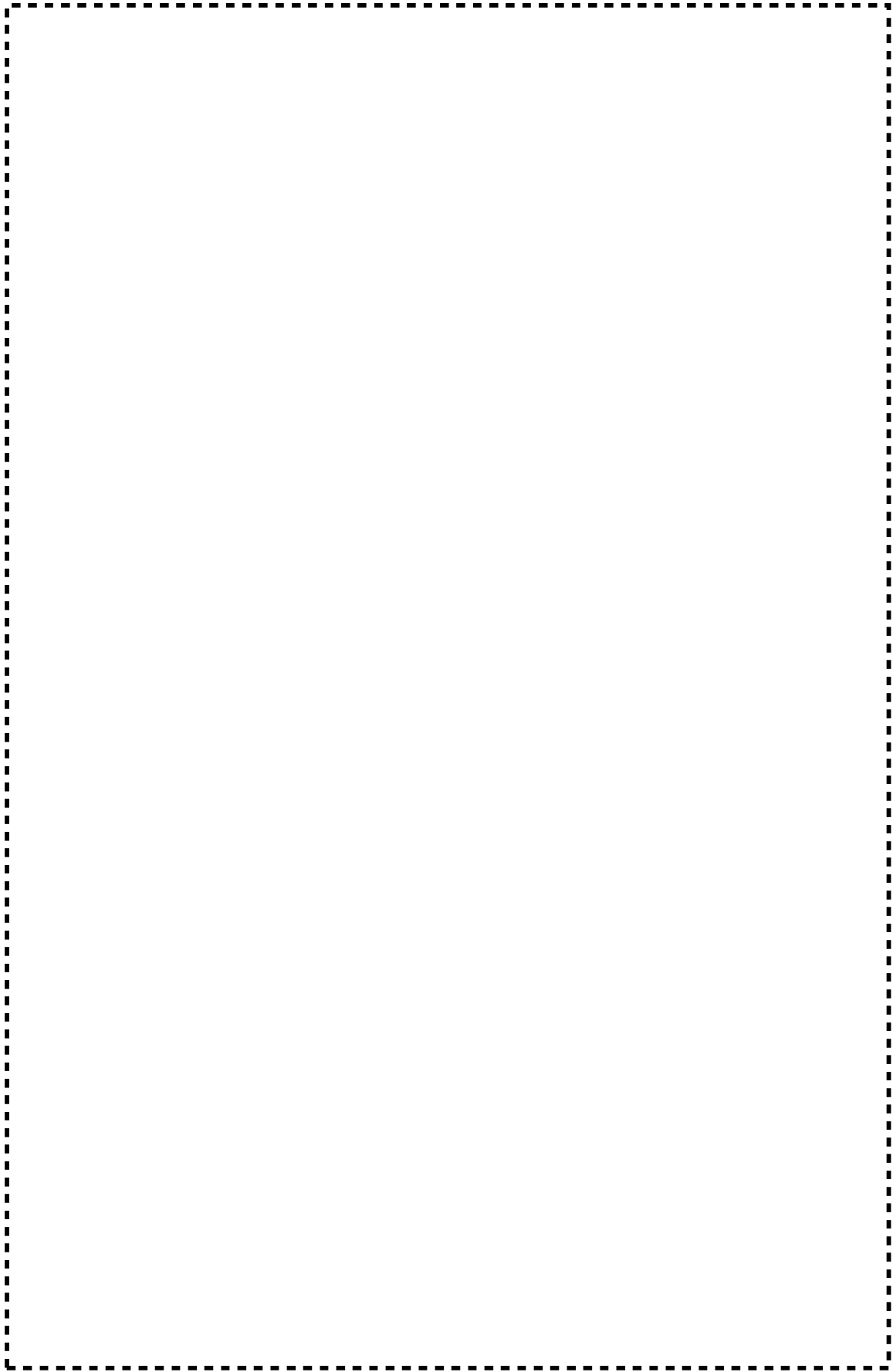
図トー2 P設ー1ー1 (3) 本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図 (3階及び4階)

番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称
6001	気体廃棄設備 No. 1 系統 I (部屋排気系統) 排風機 (301-F)	6011	気体廃棄設備 No. 1 系統 III (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-403)	6081	第 1 廃液処理設備 凝集沈殿槽 No. 1
6002	気体廃棄設備 No. 1 系統 II (部屋排気系統) 排風機 (302-F)	6012	気体廃棄設備 No. 1 系統 IV (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-404)	6082	第 1 廃液処理設備 凝集沈殿槽 No. 2
6003	気体廃棄設備 No. 1 系統 III (部屋排気系統) 排風機 (303-F)	6013	気体廃棄設備 No. 1 系統 V (局所排気系統) フィルタユニット (FU-405)	6083	第 1 廃液処理設備 凝集沈殿槽 No. 3
6004	気体廃棄設備 No. 1 系統 IV (部屋排気系統) 排風機 (304-F)	6014	気体廃棄設備 No. 1 系統 VI (局所排気系統) フィルタユニット (FU-406)	6084	第 1 廃液処理設備 凝集沈殿槽 No. 4
6005	気体廃棄設備 No. 1 系統 V (局所排気系統) 排風機 (305-F)	6015	気体廃棄設備 No. 1 系統 VII (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-407)	6087	第 1 廃液処理設備 遠心分離機 No. 1
6006	気体廃棄設備 No. 1 系統 VI (局所排気系統) 排風機 (306-F)	6016	気体廃棄設備 No. 1 系統 VIII (局所排気系統) フィルタユニット (FU-408)	6088	第 1 廃液処理設備 遠心分離機 No. 2
6007	気体廃棄設備 No. 1 系統 VII (部屋排気系統) 排風機 (307-F)	6046	気体廃棄設備 No. 1 系統 I 系統 II 系統 V (給気系統) 給気ユニット (201AC)	6089	第 1 廃液処理設備 遠心分離機 No. 3
6008	気体廃棄設備 No. 1 系統 VIII (局所排気系統) 排風機 (308-F)	6046-2	気体廃棄設備 No. 1 系統 III 系統 VI (給気系統) 給気ユニット (202AC)	6090	第 1 廃液処理設備 遠心分離機 No. 4
6009	気体廃棄設備 No. 1 系統 I (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-401)	6046-3	気体廃棄設備 No. 1 系統 IV (給気系統) 給気ユニット (203SU)	6091	第 1 廃液処理設備 遠心ろ過機 No. 1
6010	気体廃棄設備 No. 1 系統 II (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-402)	6046-4	気体廃棄設備 No. 1 系統 VII 系統 VIII (給気系統) 給気ユニット (204AC)	6092	第 1 廃液処理設備 遠心ろ過機 No. 2

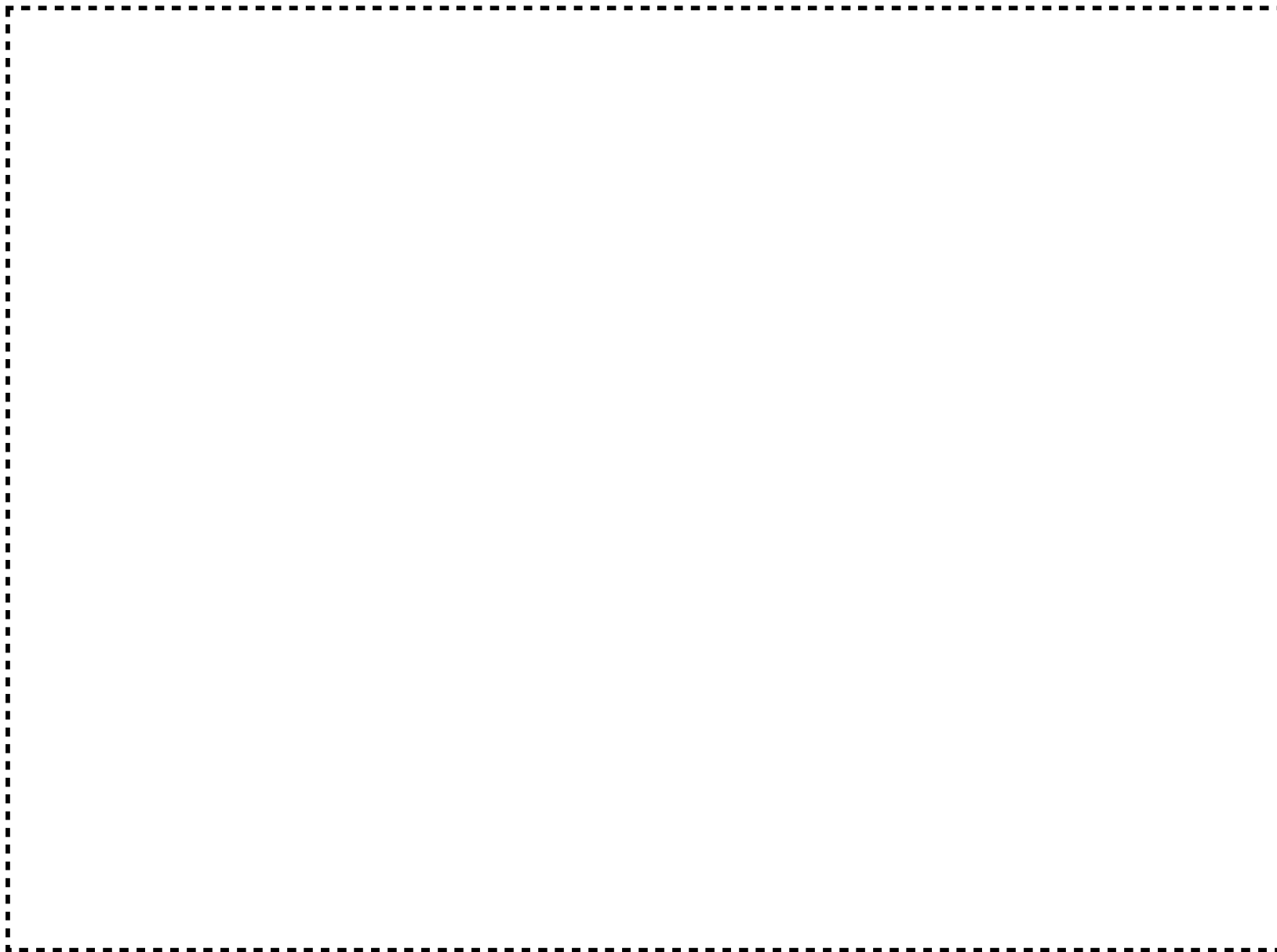
図トー 2 P 設ー 1 - 1 (4) 本申請で適合性を確認する第 2 加工棟の設備及び機器の配置詳細図 (設備・機器一覧表) (1 / 2)

番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称
6093	第1 廃液処理設備 ろ過水槽 No. 1	6104	開発室廃液処理設備 遠心分離機	6113	第2 廃液処理設備 スラッジ乾燥機
6094	第1 廃液処理設備 ろ過水槽 No. 2	6105	開発室廃液処理設備 貯槽	6114	第2 廃液処理設備 ろ過装置 No. 1
6095	第1 廃液処理設備 処理水槽 No. 1	6107	第2 廃液処理設備 集水槽	6115	第2 廃液処理設備 ろ過装置 No. 2
6096	第1 廃液処理設備 処理水槽 No. 2	6108	第2 廃液処理設備 集水槽 No. 2	6117	第2 廃液処理設備 受水槽 No. 1
6097	第1 廃液処理設備 処理水槽 No. 3	6109	第2 廃液処理設備 凝集槽	6119	第2 廃液処理設備貯留設備 貯留槽 No. 1
6098	第1 廃液処理設備 処理水槽 No. 4	6110	第2 廃液処理設備 沈殿槽 No. 1	6120	第2 廃液処理設備貯留設備 貯留槽 No. 2
6100	分析廃液処理設備 反応槽	6110-2	第2 廃液処理設備 タンク No. 1	6121	第2 廃液処理設備貯留設備 貯留槽 No. 3
6100-2	分析廃液処理設備 ろ過水貯槽	6111	第2 廃液処理設備 沈殿槽 No. 2	6122	第2 廃液処理設備貯留設備 貯留槽 No. 4
6101	分析廃液処理設備 スラッジ乾燥機	6111-2	第2 廃液処理設備 タンク No. 2		
6103	開発室廃液処理設備 凝集沈殿槽	6112	第2 廃液処理設備 加圧脱水機		

図トー2 P設-1-1 (5) 本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図 (設備・機器一覧表) (2/2)



図ト－２ P設－１－２ 第２加工棟の給排気設備全体系統図（気体廃棄設備 No. 1）



図卜-2 P設-1-3 (1) 第2加工棟廃液配管全体系統図

1206

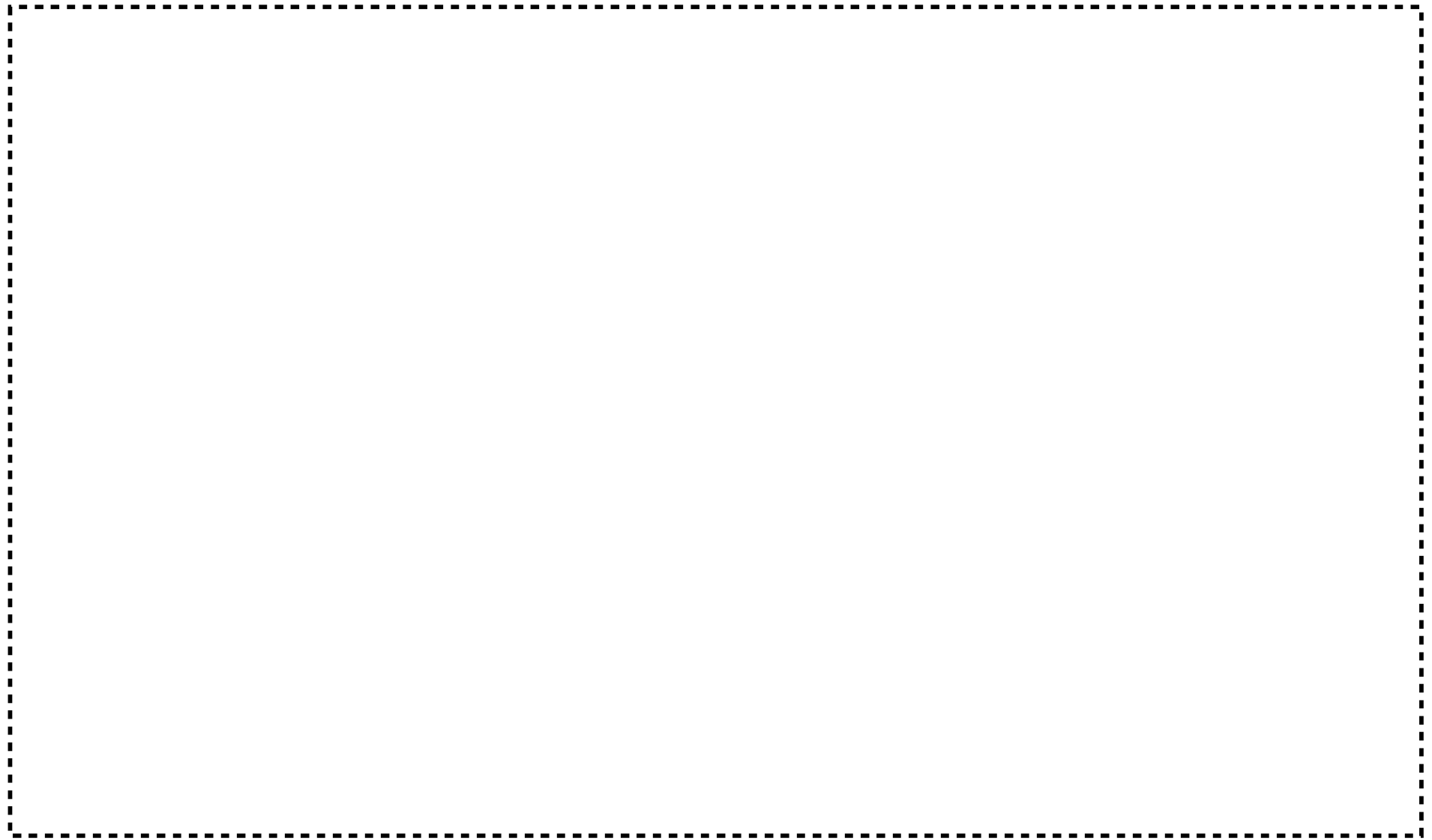


図卜-2 P設-1-3 (2) 第2加工棟 廃液処理設備 廃液配管平面図 (1 / 3)

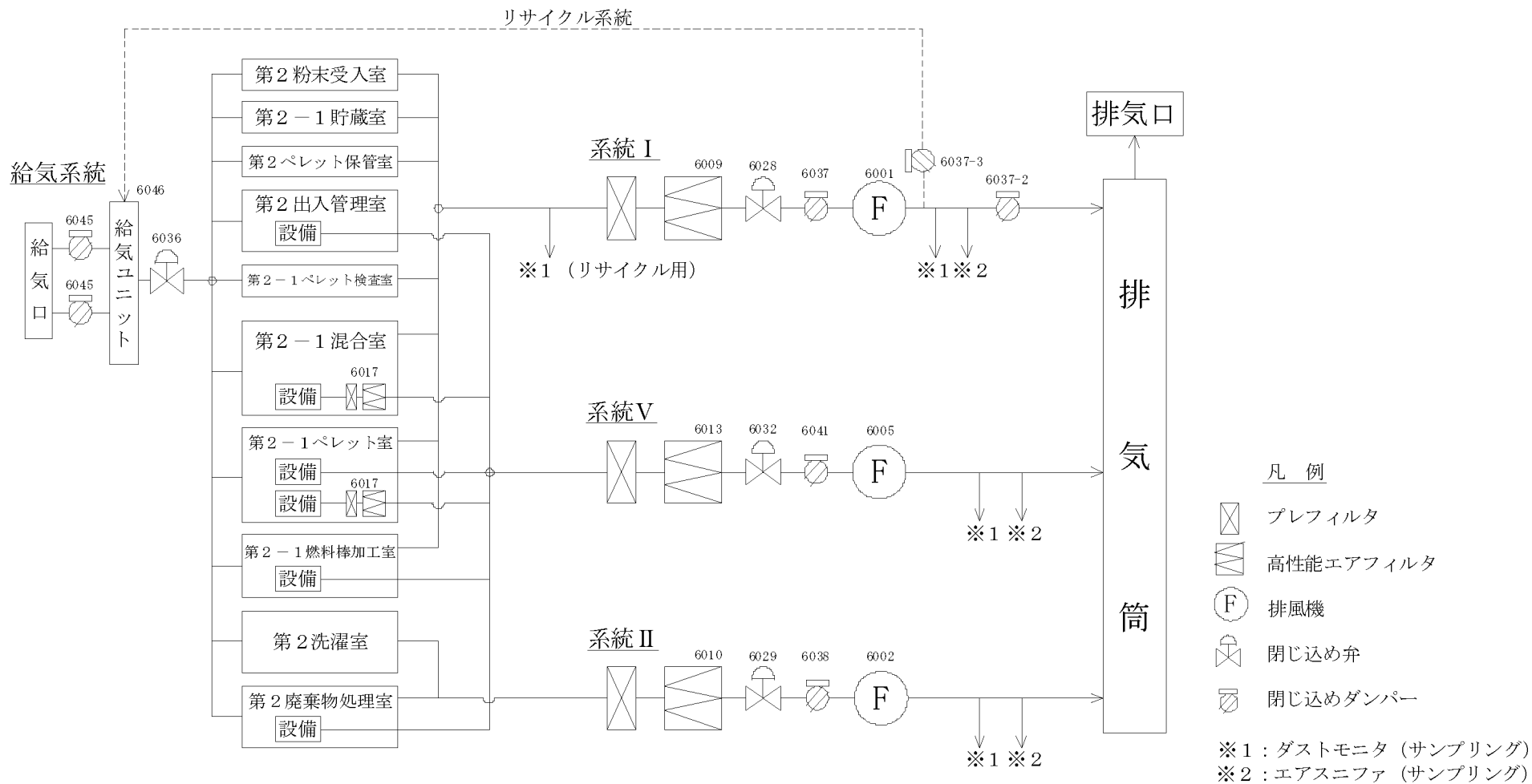


図卜-2 P設-1-3 (3) 第2加工棟 廃液処理設備 廃液配管平面図 (2/3)

1208










図卜-2 P設-1-3 (4) 第2加工棟 廃液処理設備 廃液配管平面図 (3 / 3)



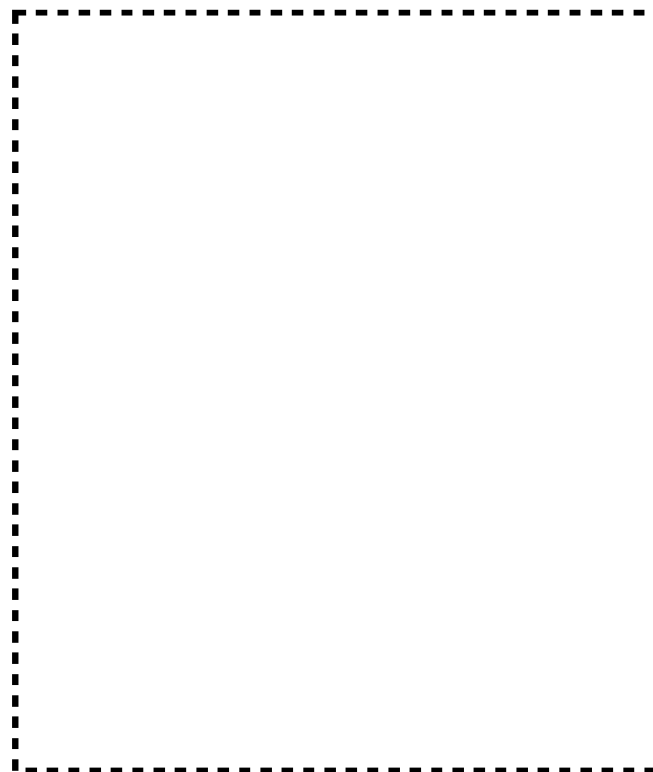
図ト-2 P設-2-1-1 (1) 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統図)





【凡例】

- | | | |
|--|--|-------------------|
|  : 既設部 |  : 防火ダンパー | 1 類 : 耐震重要度分類第1 類 |
|  : 新設・移設・更新・改造部 |  : 閉じ込めダンパー | 2 類 : 耐震重要度分類第2 類 |
|  : 撤去部 |  : 閉じ込め弁 | 3 類 : 耐震重要度分類第3 類 |
| |  : フィルタユニット (設備排気用) | |

図ト-2 P 設-2-1-1 (2) 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 I (部屋排気系統))










【凡例】		
	: 既設部	
	: 新設・移設・更新・改造部	
	: 撤去部	
	: 防火ダンパー	1類：耐震重要度分類第1類
	: 閉じ込めダンパー	2類：耐震重要度分類第2類
	: 閉じ込め弁	3類：耐震重要度分類第3類
	: フィルタユニット（設備排気用）	

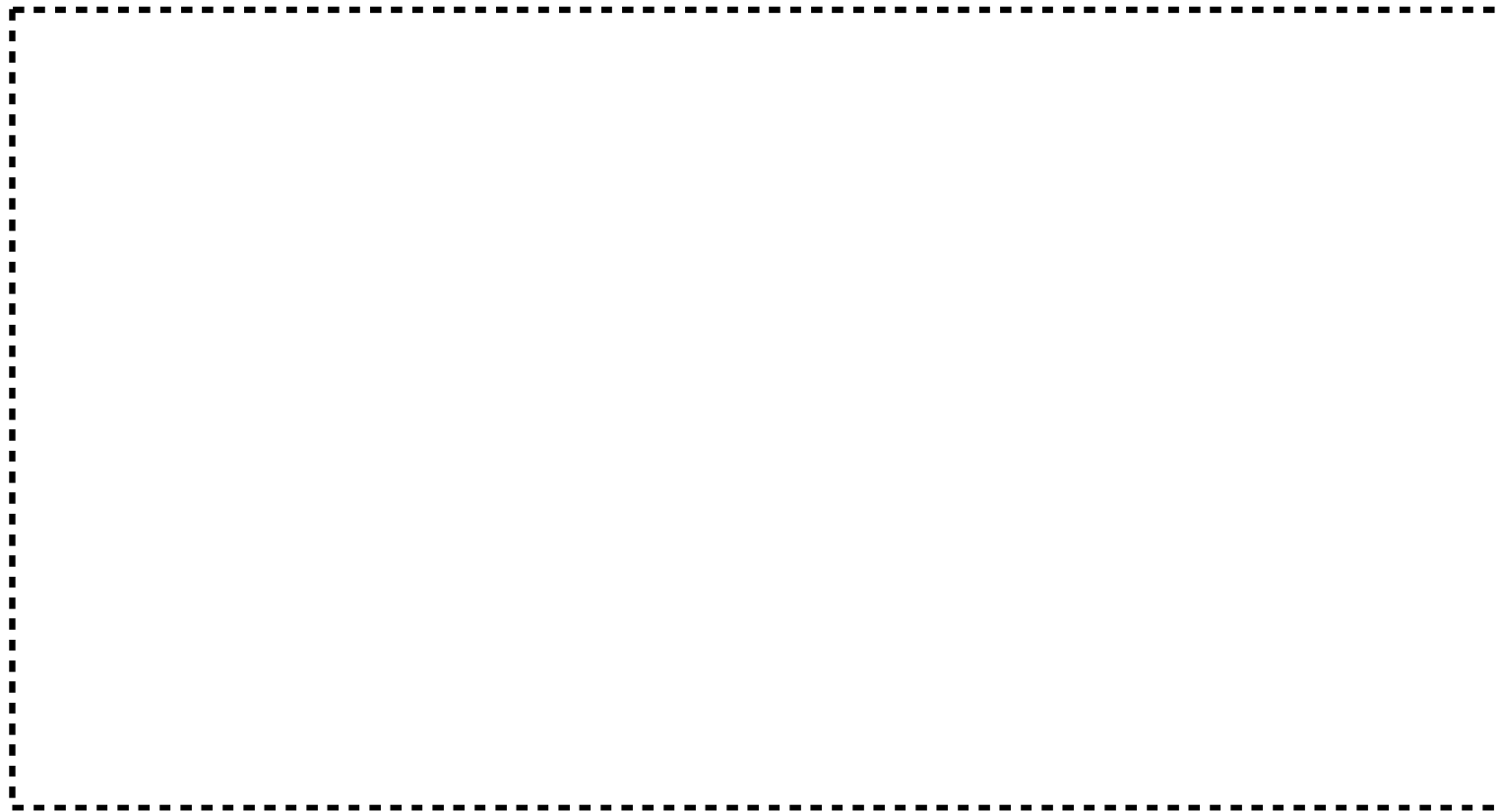
図トー2 P設ー2ー1ー1 (2) 気体廃棄設備 No.1 (系統I、系統II、系統V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統I (部屋排気系統))
(2 / 5)










【凡例】

- | | | | | |
|---|----------------|---|--------------------|-----------------|
|  | : 既設部 |  | : 防火ダンパー | 1類 : 耐震重要度分類第1類 |
|  | : 新設・移設・更新・改造部 |  | : 閉じ込めダンパー | 2類 : 耐震重要度分類第2類 |
|  | : 撤去部 |  | : 閉じ込め弁 | 3類 : 耐震重要度分類第3類 |
| | |  | : フィルタユニット (設備排気用) | |








図トー2 P設ー2ー1ー1 (2) 気体廃棄設備 No.1 (系統I、系統II、系統V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統I (部屋排気系統))



【凡例】			
	: 既設部	 : 防火ダンパー	1 類 : 耐震重要度分類第 1 類
	: 新設・移設・更新・改造部	 : 閉じ込めダンパー	2 類 : 耐震重要度分類第 2 類
	: 撤去部	 : 閉じ込め弁	3 類 : 耐震重要度分類第 3 類
		 : フィルタユニット (設備排気用)	

図トー 2 P 設ー 2 - 1 - 1 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 I (部屋排気系統))
(4 / 5)



【凡例】			
	: 既設部	 : 防火ダンパー	1 類 : 耐震重要度分類第 1 類
	: 新設・移設・更新・改造部	 : 閉じ込めダンパー	2 類 : 耐震重要度分類第 2 類
	: 撤去部	 : 閉じ込め弁	3 類 : 耐震重要度分類第 3 類
		 : フィルタユニット (設備排気用)	

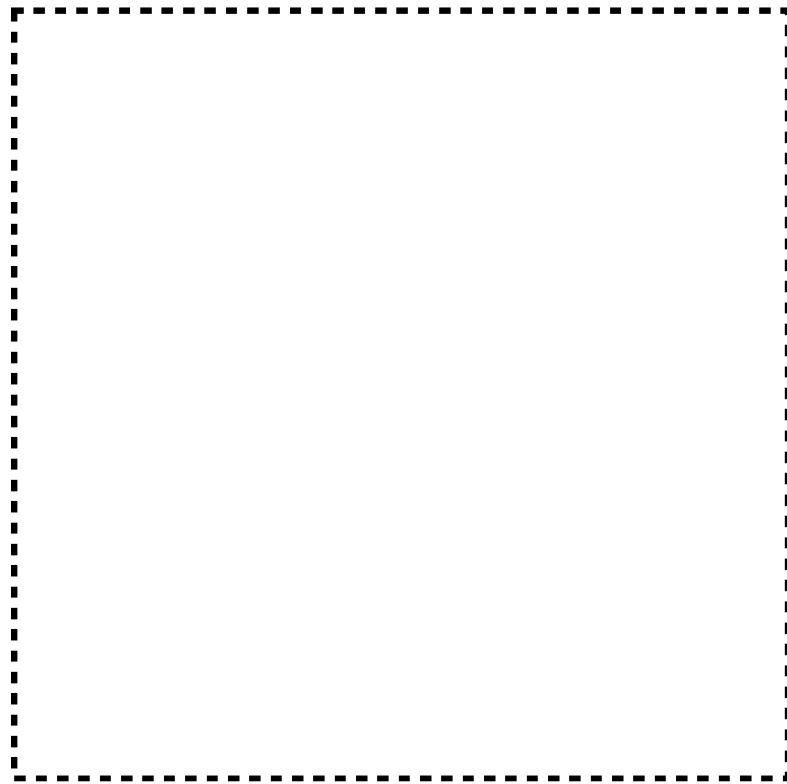
図トー 2 P 設ー 2ー 1ー 1 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 I (部屋排気系統))






【凡例】

- | | | |
|------------------|----------------------|--------------------|
| — : 既設部 | ● : 防火ダンパー | 1 類 : 耐震重要度分類第 1 類 |
| — : 新設・移設・更新・改造部 | ○ : 閉じ込めダンパー | 2 類 : 耐震重要度分類第 2 類 |
| : 撤去部 | ⊗ : 閉じ込め弁 | 3 類 : 耐震重要度分類第 3 類 |
| | ⊞ : フィルタユニット (設備排気用) | |

図トー 2 P 設ー 2ー 1ー 1 (3) 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 II (部屋排気系統))
(1 / 4)



【凡例】		
	: 既設部	 : 防火ダンパー
	: 新設・移設・更新・改造部	 : 閉じ込めダンパー
	: 撤去部	 : 閉じ込め弁
		 : フィルタユニット (設備排気用)
		1 類 : 耐震重要度分類第 1 類
		2 類 : 耐震重要度分類第 2 類
		3 類 : 耐震重要度分類第 3 類

図トー 2 P 設ー 2ー 1ー 1 (3) 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 II (部屋排気系統))
(2 / 4)



【凡例】

— : 既設部

— : 新設・移設・更新・改造部

⋯ : 撤去部

● : 防火ダンパー

○ : 閉じ込めダンパー

⊥ : 閉じ込め弁

⊞ : フィルタユニット（設備排気用）

1 類：耐震重要度分類第 1 類

2 類：耐震重要度分類第 2 類

3 類：耐震重要度分類第 3 類

図トー 2 P 設ー 2 - 1 - 1 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 II (部屋排気系統))

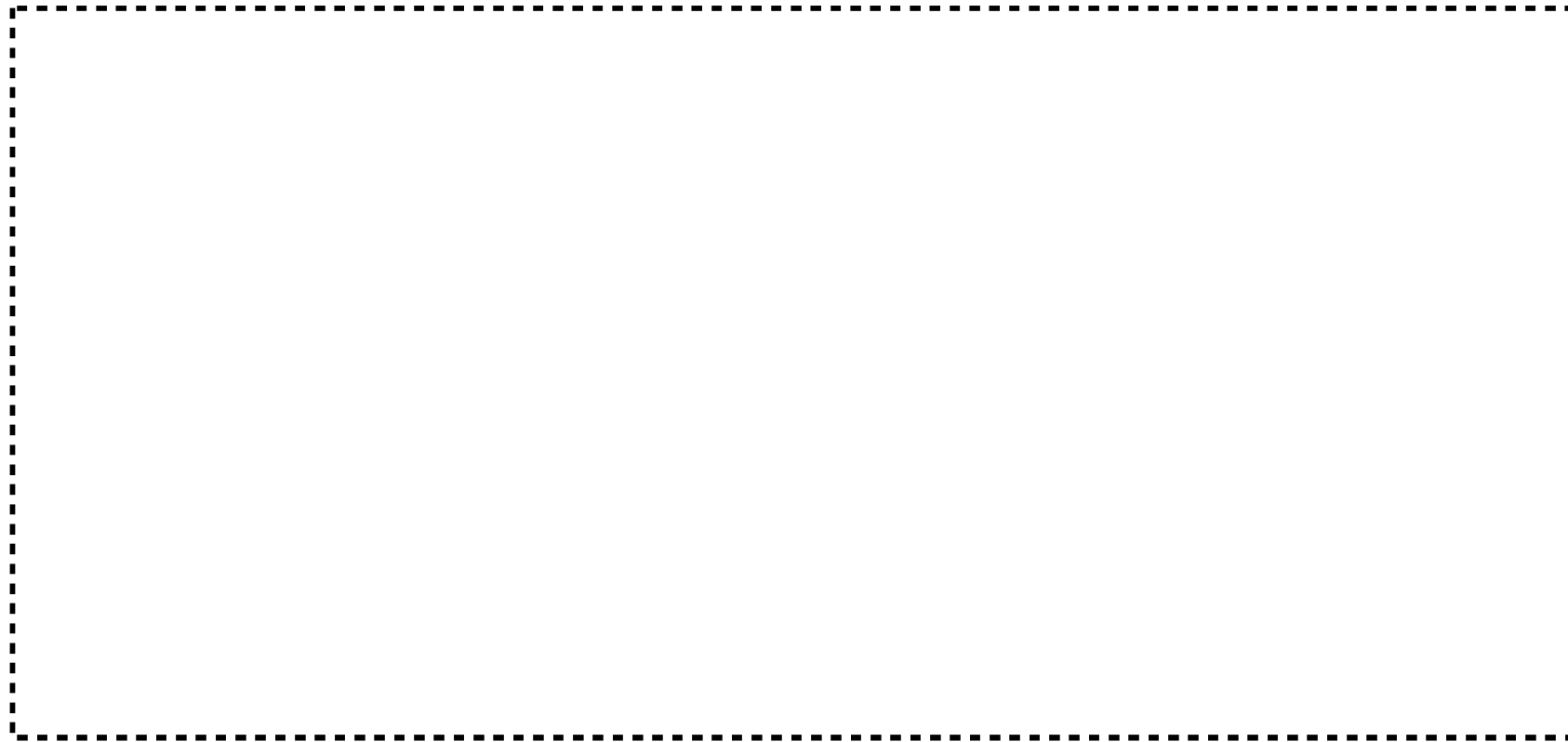
(3 / 4)



【凡例】

- | | | |
|------------------|----------------------|--------------------|
| — : 既設部 | ● : 防火ダンパー | 1 類 : 耐震重要度分類第 1 類 |
| — : 新設・移設・更新・改造部 | ⊗ : 閉じ込めダンパー | 2 類 : 耐震重要度分類第 2 類 |
| ⋯ : 撤去部 | ⊠ : 閉じ込め弁 | 3 類 : 耐震重要度分類第 3 類 |
| | ⊞ : フィルタユニット (設備排気用) | |

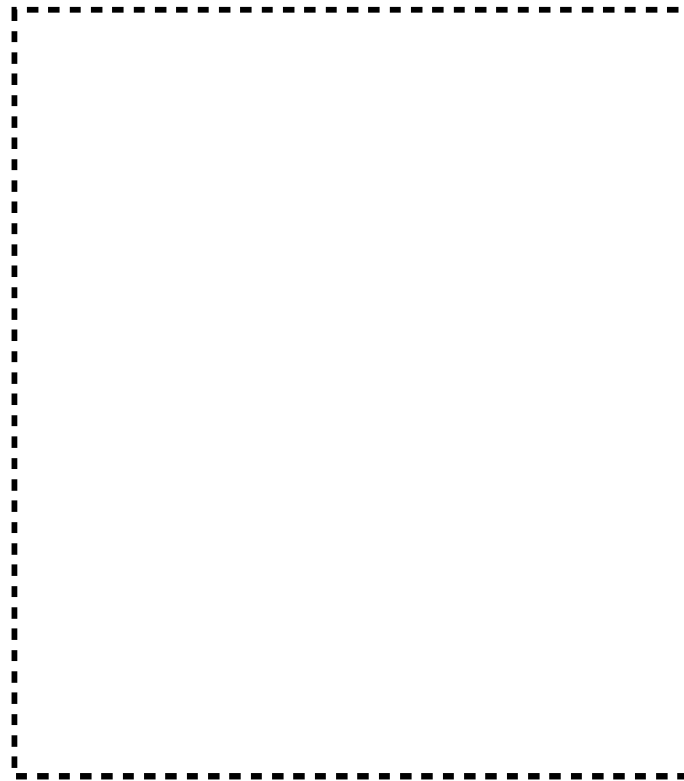
図トー 2 P 設ー 2 - 1 - 1 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 II (部屋排気系統))
(4 / 4)





【凡例】

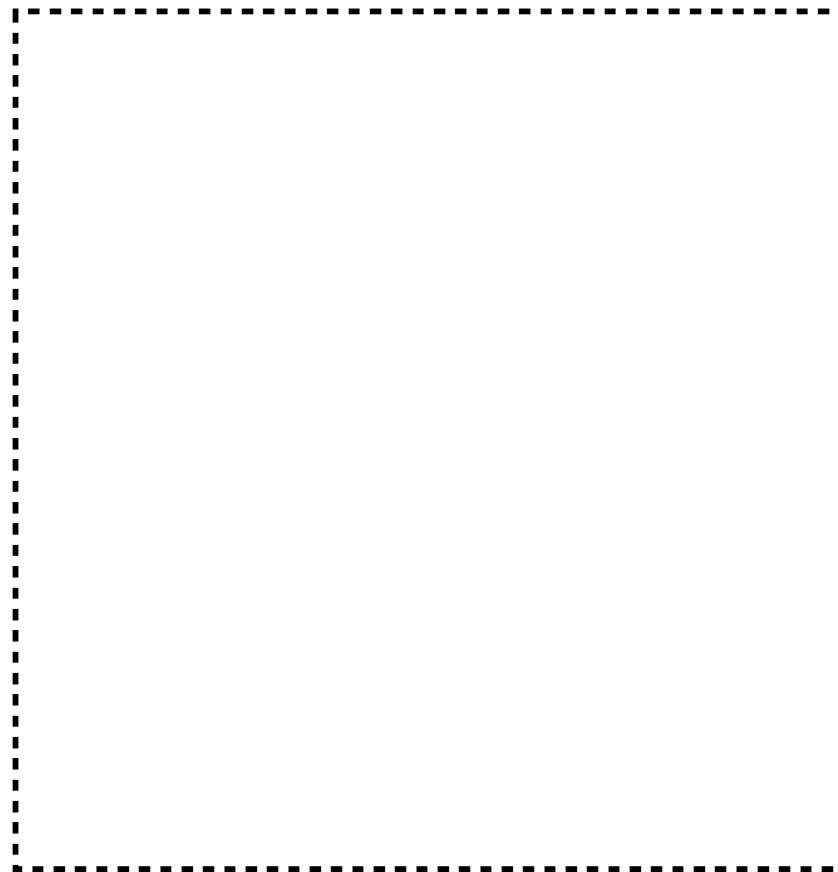
— : 既設部	—●— : 防火ダンパー	1 類 : 耐震重要度分類第 1 類
— : 新設・移設・更新・改造部	—○— : 閉じ込めダンパー	2 類 : 耐震重要度分類第 2 類
..... : 撤去部	—X— : 閉じ込め弁	3 類 : 耐震重要度分類第 3 類
	—[]— : フィルタユニット (設備排気用)	

図トー 2 P 設ー 2ー 1ー 1 (4) 気体廃棄設備 No. 1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 V (局所排気系統))










【凡例】			
	: 既設部	 : 防火ダンパー	1 類 : 耐震重要度分類第 1 類
	: 新設・移設・更新・改造部	 : 閉じ込めダンパー	2 類 : 耐震重要度分類第 2 類
	: 撤去部	 : 閉じ込め弁	3 類 : 耐震重要度分類第 3 類
		 : フィルタユニット (設備排気用)	

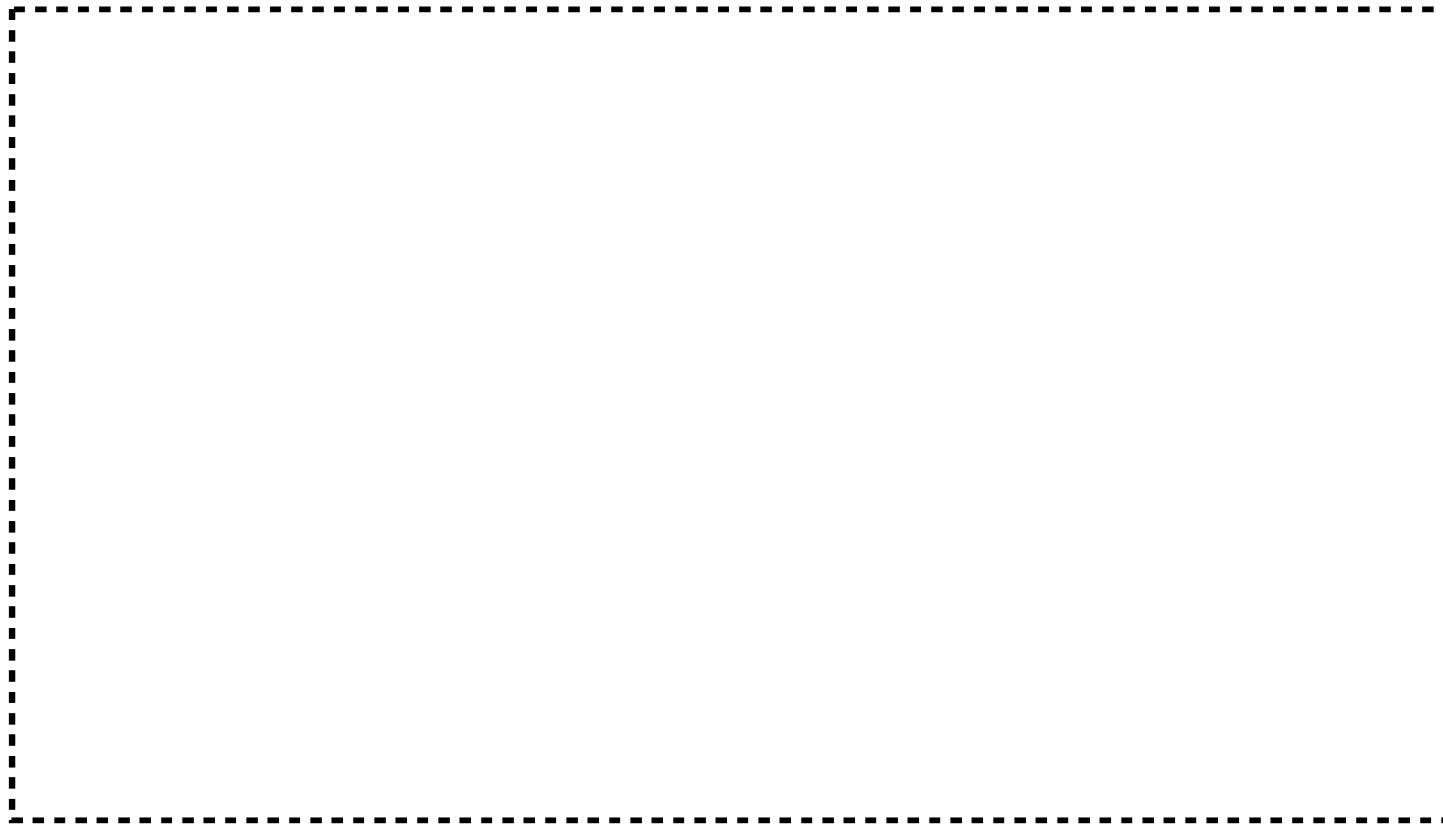
図トー 2 P 設ー 2ー 1ー 1 (4) 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 V (局所排気系統))
(2 / 5)



【凡例】

- | | | | | |
|---|----------------|---|--------------------|-----------------|
|  | : 既設部 |  | : 防火ダンパー | 1類 : 耐震重要度分類第1類 |
|  | : 新設・移設・更新・改造部 |  | : 閉じ込めダンパー | 2類 : 耐震重要度分類第2類 |
|  | : 撤去部 |  | : 閉じ込め弁 | 3類 : 耐震重要度分類第3類 |
| | |  | : フィルタユニット (設備排気用) | |

図トー2 P設ー2ー1ー1 (4) 気体廃棄設備 No.1 (系統I、系統II、系統V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統V (局所排気系統))



【凡例】

- | | | |
|------------------|----------------------|--------------------|
| — : 既設部 | ● : 防火ダンパー | 1 類 : 耐震重要度分類第 1 類 |
| — : 新設・移設・更新・改造部 | ○ : 閉じ込めダンパー | 2 類 : 耐震重要度分類第 2 類 |
| ⋯ : 撤去部 | ⊥ : 閉じ込め弁 | 3 類 : 耐震重要度分類第 3 類 |
| | ≡ : フィルタユニット (設備排気用) | |

図トー 2 P 設ー 2 - 1 - 1 (4) 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 V (局所排気系統))










【凡例】			
	: 既設部	 : 防火ダンパー	1 類 : 耐震重要度分類第 1 類
	: 新設・移設・更新・改造部	 : 閉じ込めダンパー	2 類 : 耐震重要度分類第 2 類
	: 撤去部	 : 閉じ込め弁	3 類 : 耐震重要度分類第 3 類
		 : フィルタユニット (設備排気用)	

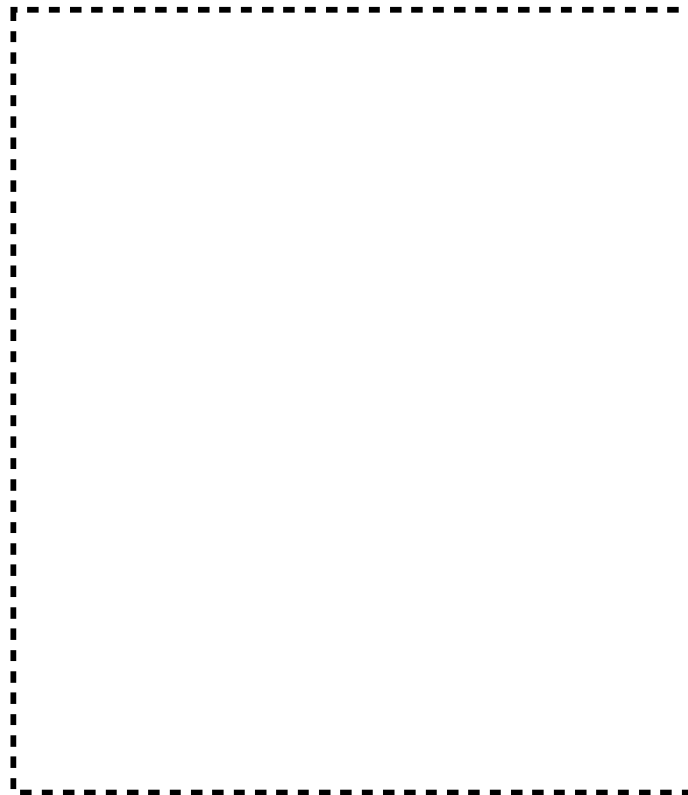
図トー 2 P 設ー 2 - 1 - 1 (4) 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 V (局所排気系統))



【凡例】

 : 既設部	 : 防火ダンパー	1 類 : 耐震重要度分類第 1 類
 : 新設・移設・更新・改造部	 : 閉じ込めダンパー	2 類 : 耐震重要度分類第 2 類
 : 撤去部	 : 閉じ込め弁	3 類 : 耐震重要度分類第 3 類
	 : フィルタユニット (設備排気用)	

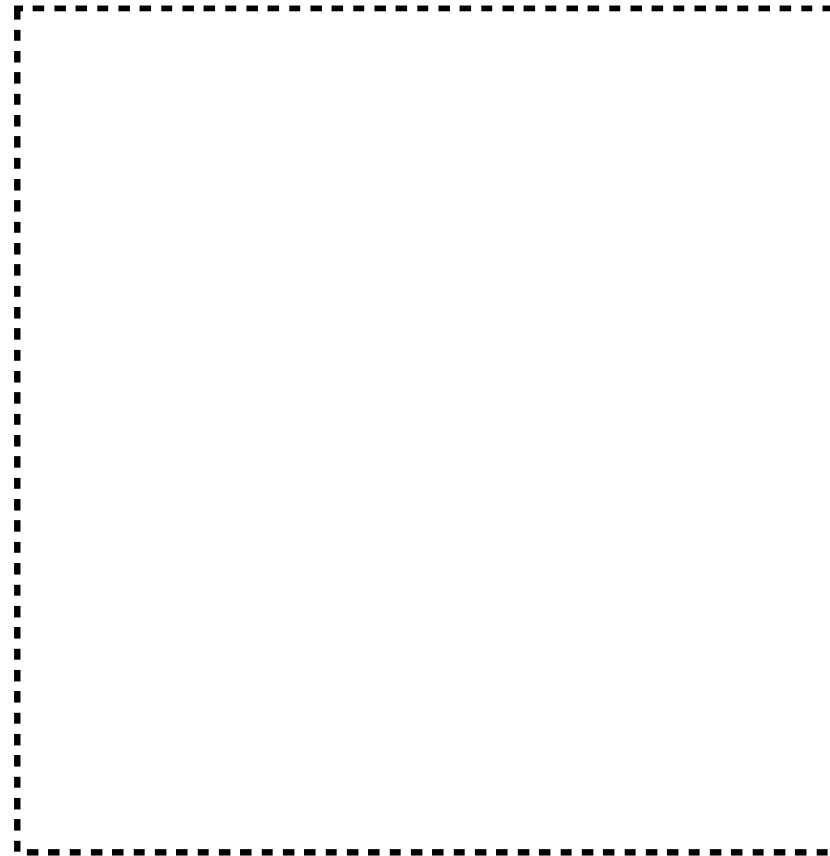
図トー 2 P 設ー 2ー 1ー 1 (5) 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 I 系統 II 系統 V (給気系統)) (1 / 4)



【凡例】

- | | | | | |
|-------|----------------|-------|--------------------|--------------------|
| — | : 既設部 | —●— | : 防火ダンパー | 1 類 : 耐震重要度分類第 1 類 |
| — | : 新設・移設・更新・改造部 | —○— | : 閉じ込めダンパー | 2 類 : 耐震重要度分類第 2 類 |
| | : 撤去部 | —T— | : 閉じ込め弁 | 3 類 : 耐震重要度分類第 3 類 |
| | | —[]— | : フィルタユニット (設備排気用) | |

図トー 2 P 設 - 2 - 1 - 1 (5) 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統 I 系統 II 系統 V (給気系統)) (2 / 4)










【凡例】

- | | | |
|------------------|----------------------|-----------------|
| — : 既設部 | ● : 防火ダンパー | 1類 : 耐震重要度分類第1類 |
| — : 新設・移設・更新・改造部 | ○ : 閉じ込めダンパー | 2類 : 耐震重要度分類第2類 |
| : 撤去部 | ⊥ : 閉じ込め弁 | 3類 : 耐震重要度分類第3類 |
| | ⊞ : フィルタユニット (設備排気用) | |

図トー2 P 設ー2ー1ー1 (5) 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図
(系統Ⅰ系統Ⅱ系統Ⅴ (給気系統)) (3 / 4)



【凡例】		
	: 既設部	 : 防火ダンパー
	: 新設・移設・更新・改造部	 : 閉じ込めダンパー
	: 撤去部	 : 閉じ込め弁
		 : フィルタユニット (設備排気用)
		1 類 : 耐震重要度分類第 1 類
		2 類 : 耐震重要度分類第 2 類
		3 類 : 耐震重要度分類第 3 類

図トー 2 P 設 - 2 - 1 - 1 (5) 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図
(系統 I 系統 II 系統 V (給気系統)) (4 / 4)

管理番号	名 称	管理番号	名 称	管理番号	名 称
{6001}	気体廃棄設備 No.1 系統 I (部屋排気系統) 排風機 (301-F)	{6021}	気体廃棄設備 No.1 系統 II (部屋排気系統) ダクト	{6037-3}	気体廃棄設備 No.1 系統 I (部屋排気系統) 閉じ込めダンパー (リサイクル運転切替用)
{6002}	気体廃棄設備 No.1 系統 II (部屋排気系統) 排風機 (302-F)	{6024}	気体廃棄設備 No.1 系統 V (局所排気系統) ダクト	{6038}	気体廃棄設備 No.1 系統 II (部屋排気系統) 閉じ込めダンパー
{6005}	気体廃棄設備 No.1 系統 V (局所排気系統) 排風機 (305-F)	{6028}	気体廃棄設備 No.1 系統 I (部屋排気系統) 閉じ込め弁	{6041}	気体廃棄設備 No.1 系統 V (局所排気系統) 閉じ込めダンパー
{6009}	気体廃棄設備 No.1 系統 I (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-401)	{6029}	気体廃棄設備 No.1 系統 II (部屋排気系統) 閉じ込め弁	{6045}	気体廃棄設備 No.1 系統 I 系統 II 系統 V (給気系統) 閉じ込めダンパー
{6010}	気体廃棄設備 No.1 系統 II (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-402)	{6032}	気体廃棄設備 No.1 系統 V (局所排気系統) 閉じ込め弁	{6046}	気体廃棄設備 No.1 系統 I 系統 II 系統 V (給気系統) 給気ユニット (201AC)
{6013}	気体廃棄設備 No.1 系統 V (局所排気系統) フィルタユニット (FU-405)	{6036}	気体廃棄設備 No.1 系統 I 系統 II 系統 V (給気系統) 閉じ込め弁	{6047}	気体廃棄設備 No.1 系統 I 系統 II 系統 V (給気系統) ダクト
{6017}	気体廃棄設備 No.1 系統 V (局所排気系統) フィルタユニット (設備排気用)	{6037}	気体廃棄設備 No.1 系統 I (部屋排気系統) 閉じ込めダンパー	{8045}	緊急設備 防火ダンパー
{6020}	気体廃棄設備 No.1 系統 I (部屋排気系統) ダクト	{6037-2}	気体廃棄設備 No.1 系統 I (部屋排気系統) 閉じ込めダンパー (ワンスルー運転切替用)		

図ト-2 P設-2-1-1 (6) 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (設備・機器一覧表)

管理番号	名称	{6017}フィルタユニット（設備排気用）への接続	備考
{2003}	粉末投入台	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2004}	粉末混合機 No. 1	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2005}	大型供給瓶	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2006}	粉末取出し台	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2007}	粉末集塵機（粉末混合機）	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2008}	焙焼炉 No. 1 グローブボックス No. 1	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2009}	焙焼炉 No. 1 焙焼炉	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2010}	粉末搬送配管（粉末投入台～粉末混合機間）	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2011}	粉末搬送配管（大型供給瓶～プレス No. 1 間）	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2012}	粉末搬送配管（大型供給瓶～粉末取出し台間）	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2014}	粉末供給機	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2015}	粉末集塵機（プレス）	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2016}	プレス No. 1	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2017}	ペレット搬送設備 No. 1 ペレット搬送コンベア ペレット採取検査装置部	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2018}	ペレット搬送設備 No. 1 ペレット搬送コンベア 採取ペレット移載部	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2019}	ペレット搬送設備 No. 1 ペレット搬送コンベア ペレット搬送コンベア部	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2020}	ペレット搬送設備 No. 1 ペレット搬送コンベア 圧粉ペレット移載部	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2021}	ペレット搬送設備 No. 1 ボート段積装置 ボート搬送部	—	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2022}	ペレット搬送設備 No. 1 ボート段積装置 段積部	—	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2023}	ペレット搬送設備 No. 1 ボート段積装置 移載部	—	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2024}	連続焼結炉 No. 1	—	—
{2025}	ペレット搬送設備 No. 1 解体装置 解体部	—	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2027}	セントレス研削設備 No. 1 ペレット供給機	—	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2028}	セントレス研削設備 No. 1 セントレス研削部	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2029}	セントレス研削設備 No. 1 ペレット洗浄部	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2030}	ペレット乾燥機 No. 1	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。

図トー 2 P 設ー 2ー 1ー 1（7） 気体廃棄設備 No. 1（系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統）の設備及び機器の配置詳細図（局所排気系統 接続設備・機器一覧表）

（1 / 2）

管理番号	名称	{6017}フィルタユニット（設備排気用）への接続	備考
{2031}	ペレット搬送設備 No. 1-2 ペレット移載装置 ペレット搬送部	—	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2032}	ペレット搬送設備 No. 1-2 ペレット移載装置 ペレット移載部	—	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2033}	ペレット搬送設備 No. 1-2 ペレット移載装置 ペレット抜取検査部	—	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2034}	ペレット搬送設備 No. 1-2 波板搬送装置 外観検査装置部	—	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2039}	センタレス研削設備 No. 1 研磨屑回収装置	○	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{2040}	センタレス研削設備 No. 1 研磨屑乾燥機	—	設備をダクトから切り離した後、閉止する。
{3001}	ペレット編成挿入機 No. 1 ペレット保管箱置台部	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{3002}	ペレット編成挿入機 No. 1 ペレット保管箱搬送部	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{3003}	ペレット編成挿入機 No. 1 波板移載部	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{3004}	ペレット編成挿入機 No. 1 ペレット編成挿入部	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{3006}	燃料棒解体装置 No. 1	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{3008}	脱ガス設備 No. 1 真空加熱炉部	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{3011}	第二端栓溶接設備 No. 1 第二端栓溶接 No. 1-1 部	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{3012}	第二端栓溶接設備 No. 1 第二端栓溶接 No. 1-2 部	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{6081}	第1廃液処理設備 凝集沈殿槽 No. 1	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{6082}	第1廃液処理設備 凝集沈殿槽 No. 2	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{6083}	第1廃液処理設備 凝集沈殿槽 No. 3	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{6084}	第1廃液処理設備 凝集沈殿槽 No. 4	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{6091}	第1廃液処理設備 遠心ろ過機 No. 1	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{6092}	第1廃液処理設備 遠心ろ過機 No. 2	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{6108}	第2廃液処理設備 集水槽 No. 2	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{6109}	第2廃液処理設備 凝集槽	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{6112}	第2廃液処理設備 加圧脱水機	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{6113}	第2廃液処理設備 スラッジ乾燥機	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。

図ト-2 P設-2-1-1 (7) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (局所排気系統 接続設備・機器一覧表)

(2/2)



図ト-2 P設-2-1-2 (1) 気体廃棄設備 No.1 系統 I (部屋排気系統) 排風機 (301-F)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図卜一 2 P 設一 2 - 1 - 2 (2) 気体廃棄設備 No. 1 系統 II (部屋排気系統) 排風機 (302-F)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1233



図ト-2 P設-2-1-2 (3) 気体廃棄設備 No.1 系統V (局所排気系統) 排風機 (305-F)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1234



図トー 2 P 設 - 2 - 1 - 2 (4) 気体廃棄設備 No.1 系統 I (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-401)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1235



図トー 2 P 設 - 2 - 1 - 2 (5) 気体廃棄設備 No.1 系統 II (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-402)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図トー 2 P 設 - 2 - 1 - 2 (6) 気体廃棄設備 No.1 系統 V (局所排気系統) フィルタユニット (FU-405)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図ト-2 P設-2-1-2 (7) 気体廃棄設備 No.1 系統 I 系統 II 系統 V (給気系統) 給気ユニット (201AC)

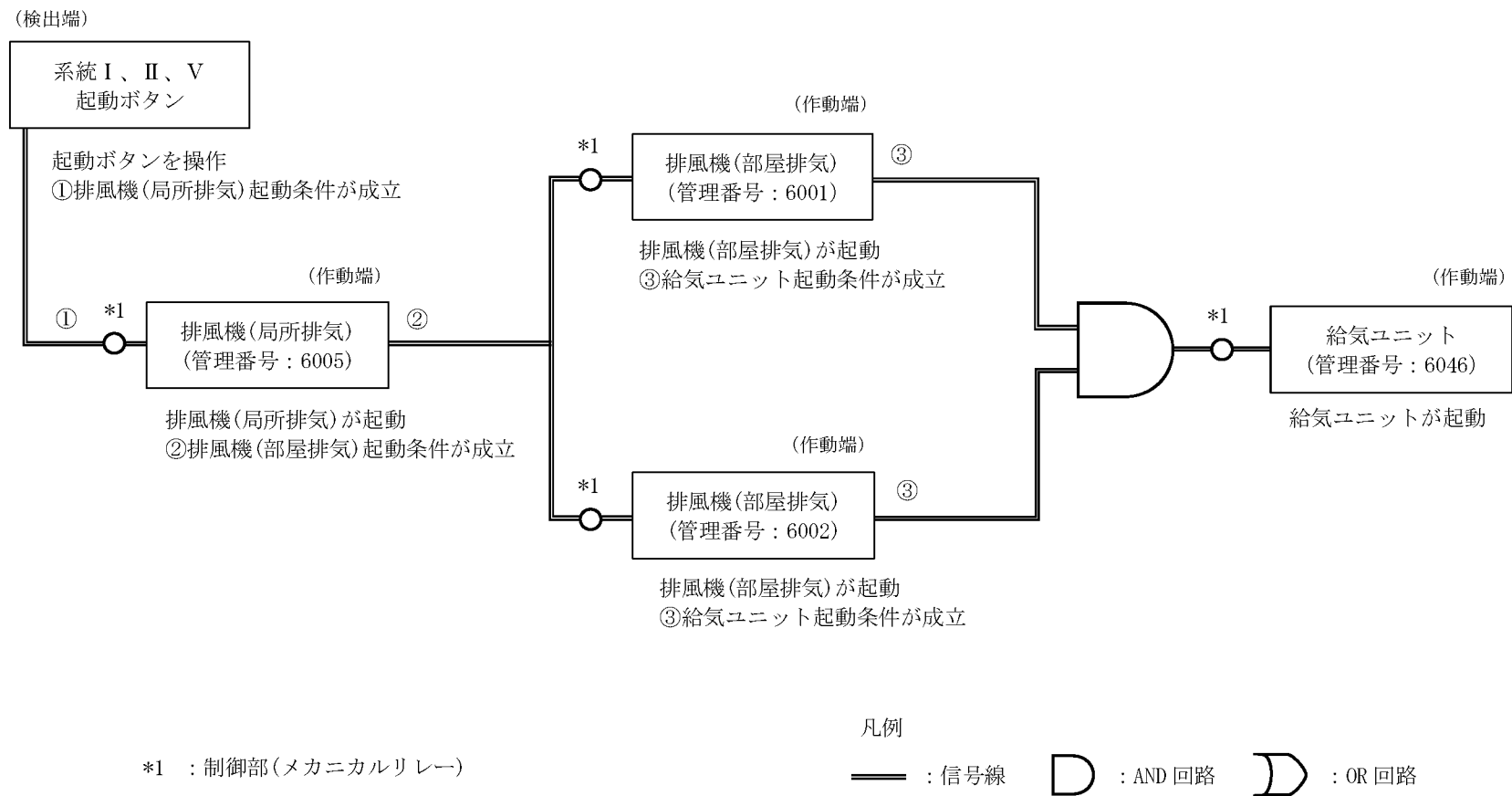
赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図卜- 2 P設- 2 - 1 - 3 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) 差圧計及び警報盤 配置図

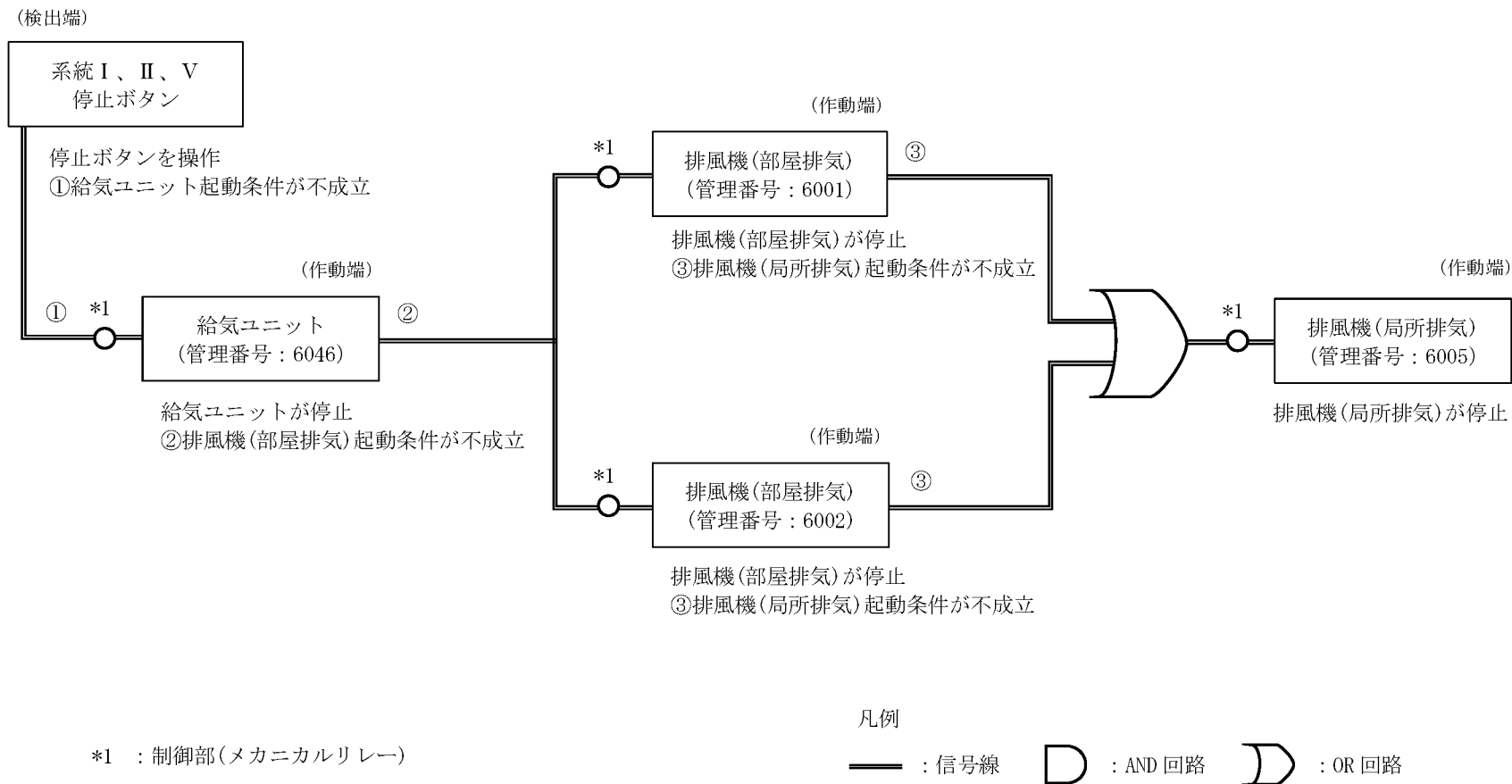
気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) 起動時



1239

図ト-2 P設-2-1-4 (1) 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機の起動停止時)
(1/2)

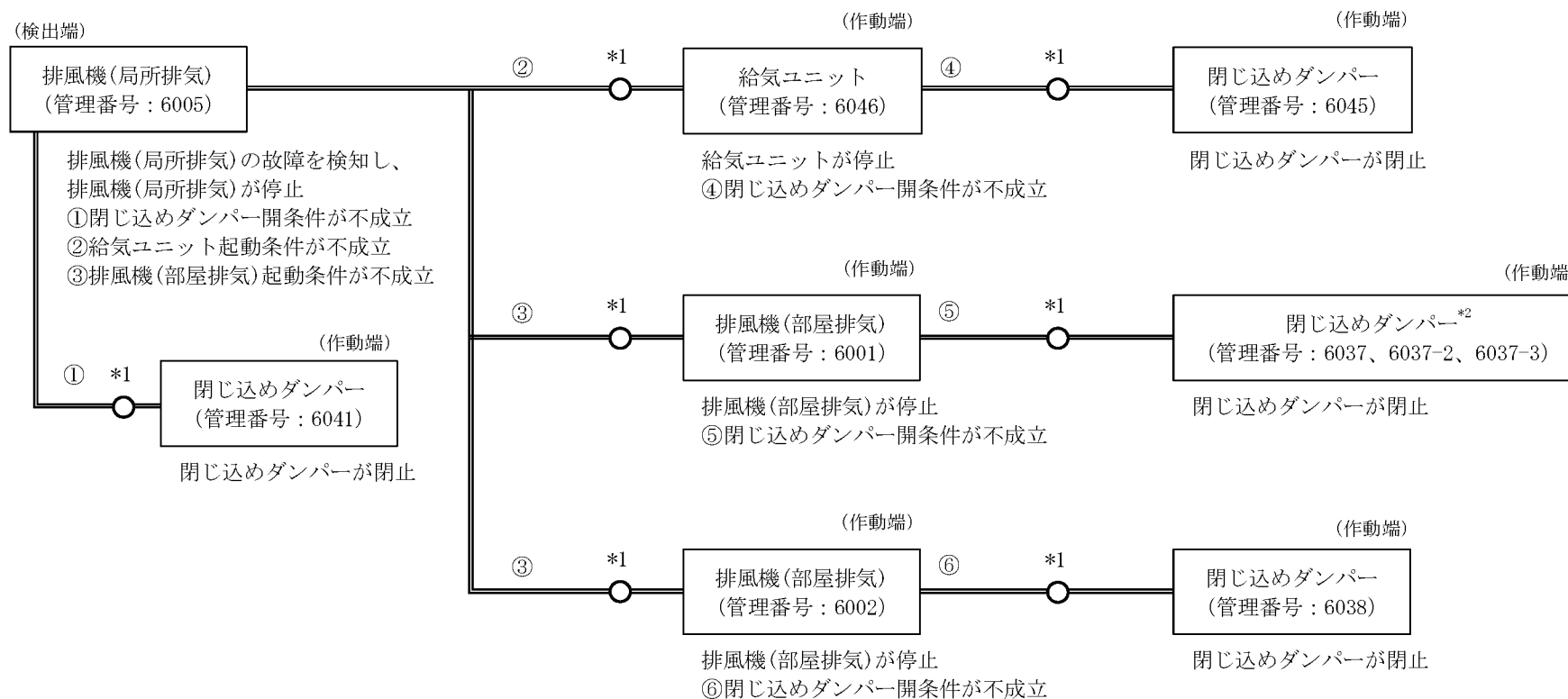
気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) 停止時



1240

図トー2 P設ー2ー1ー4 (1) 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機の起動停止時)
(2/2)

気体廃棄設備 No. 1 系統V (局所排気系統) 排風機異常時



*1 : 制御部(メカニカルリレー)

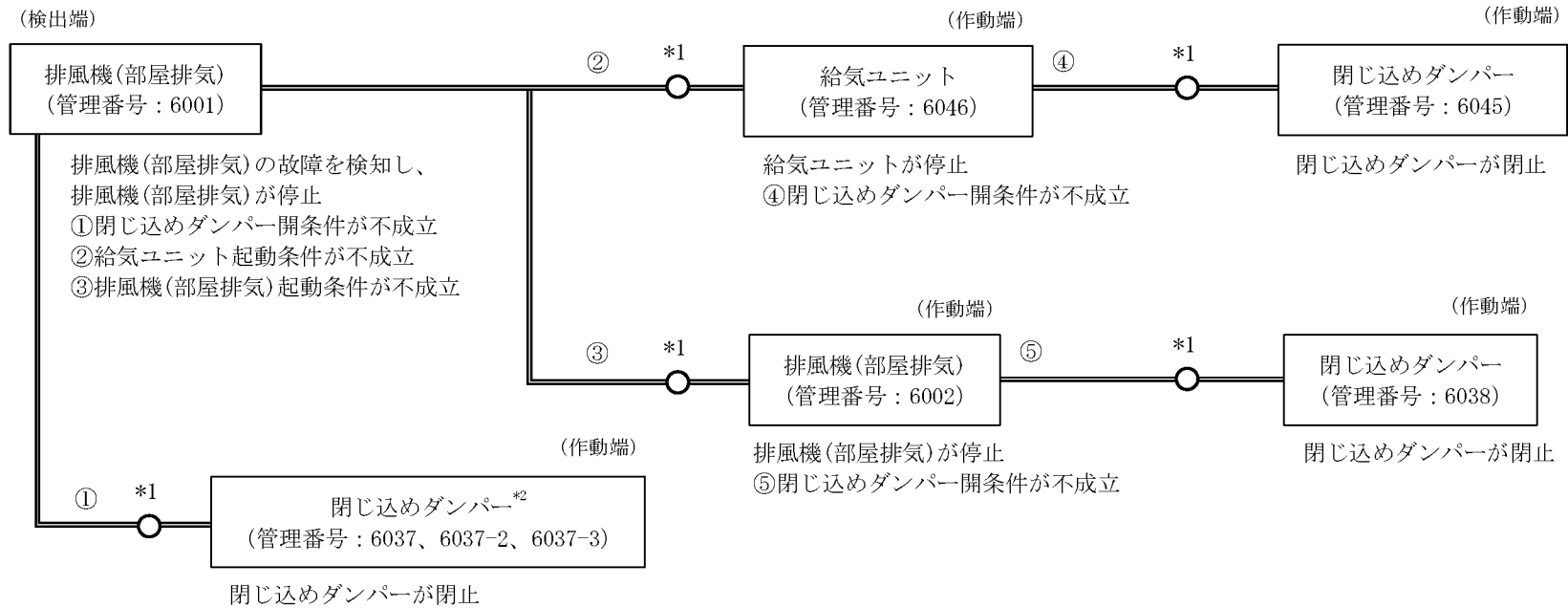
*2 : 閉じ込めダンパー (ワンスルー運転切替用) (管理番号: 6037-2) 及び
閉じ込めダンパー (リサイクル運転切替用) (管理番号: 6037-3) は
切替運転のため、開放している閉じ込めダンパーが閉止

凡例

— : 信号線 D : AND 回路 D : OR 回路

図ト-2 P設-2-1-4 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)

気体廃棄設備 No. 1 系統 I (部屋排気系統) 排風機異常時



*1 : 制御部(メカニカルリレー)

*2 : 閉じ込めダンパー(ワンスルー運転切替用)(管理番号：6043-2)及び
閉じ込めダンパー(リサイクル運転切替用)(管理番号：6043-3)は
切替運転のため、開放している閉じ込めダンパーが閉止

凡例

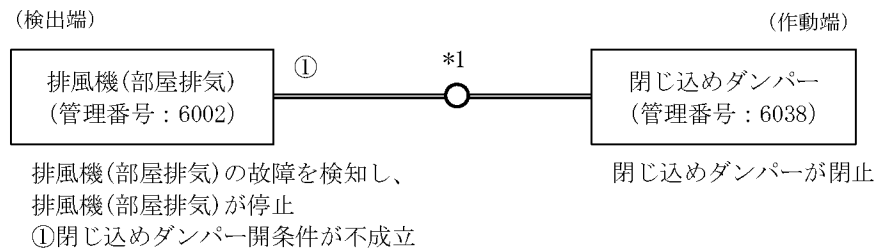
— : 信号線

D : AND回路

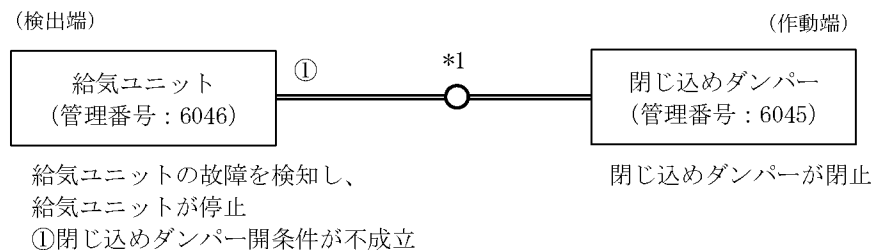
D : OR回路

図ト-2 P設-2-1-4 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)

気体廃棄設備 No. 1 系統 II (部屋排気系統) 排風機異常時



気体廃棄設備 No. 1 系統 I 系統 II 系統 V (給気系統) 給気ユニット異常

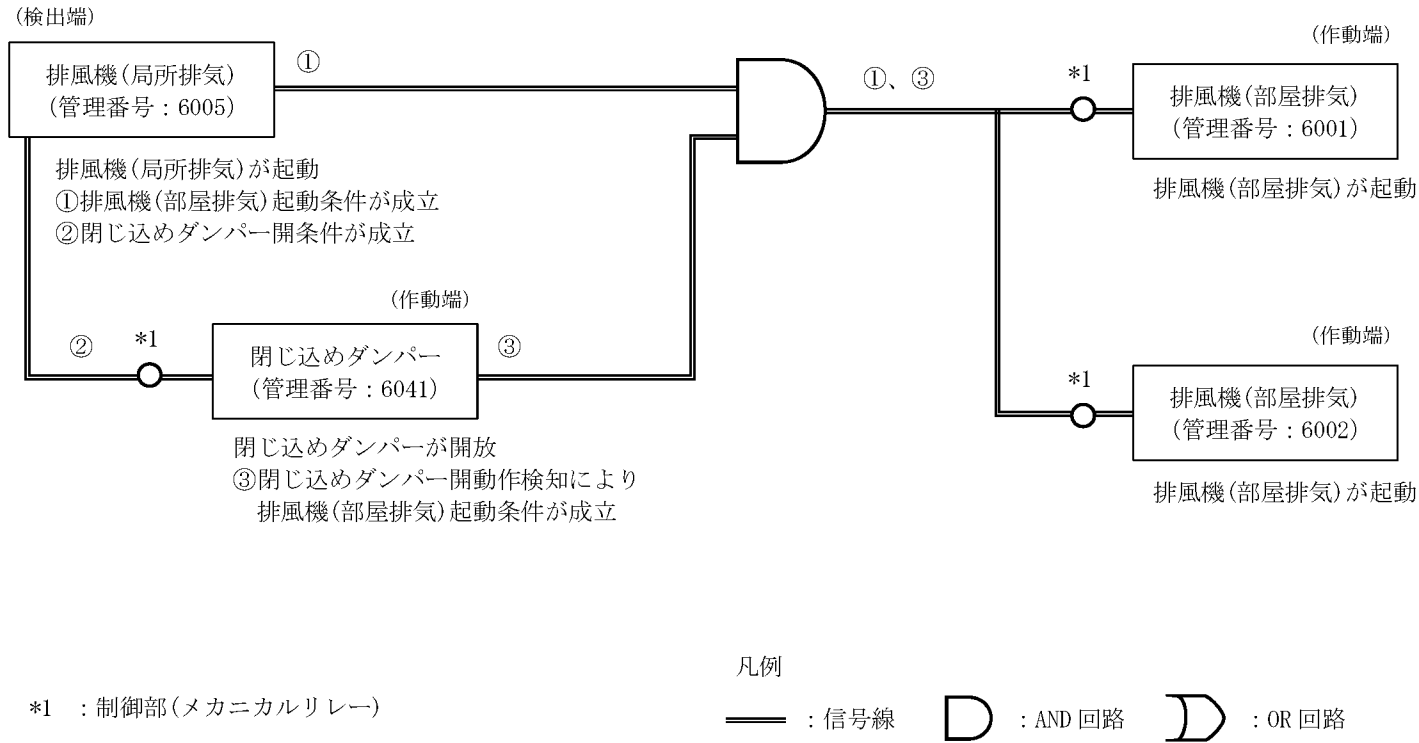


*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例
 ─── : 信号線 D : AND 回路 D : OR 回路

図ト-2 P設-2-1-4 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)
(3/3)

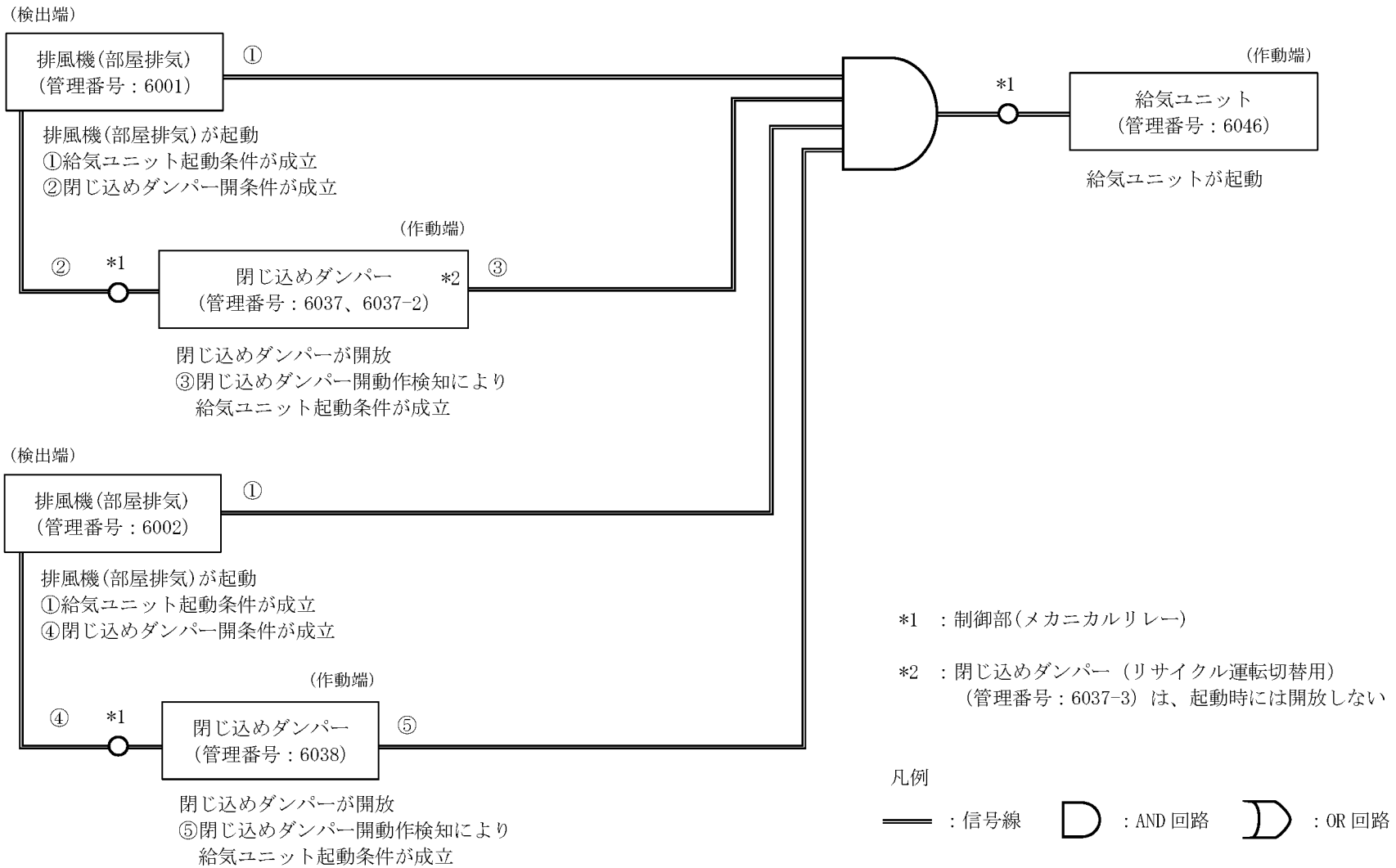
気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) 排風機(局所排気) 起動後



1244

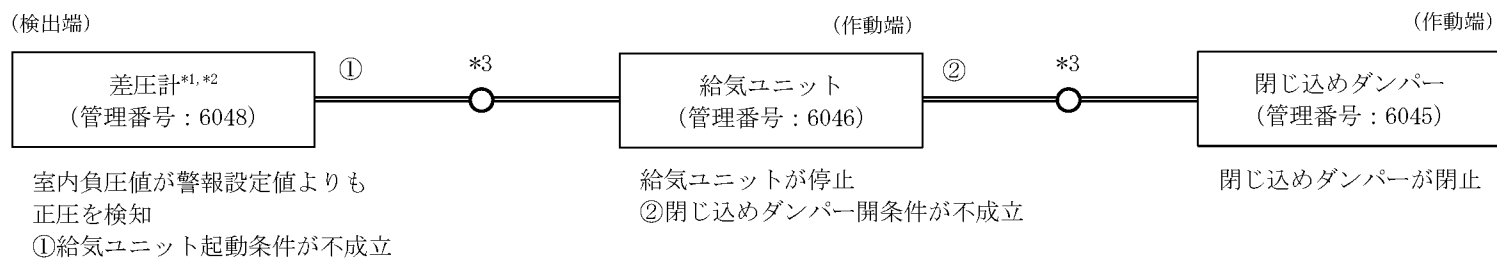
図ト-2 P設-2-1-4 (3) 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)

気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) 排風機(部屋排気) 起動後



1245

図ト-2 P設-2-1-4 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)



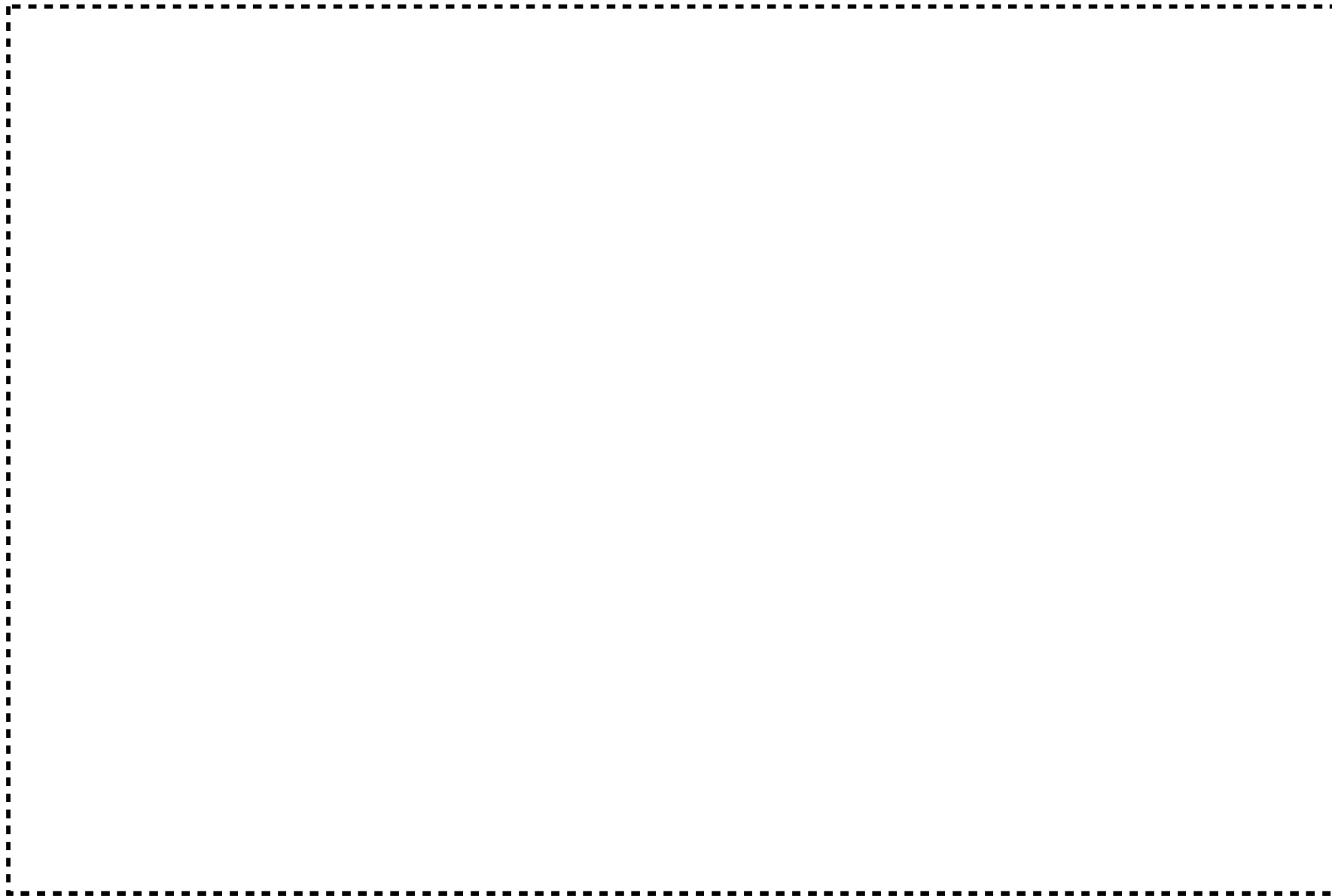
*1 : 第 2-1 ペレット室に設置する差圧計のみ
室内負圧異常時に給気ユニット起動条件が不成立

*2 : 室内負圧値が警報設定値よりも正圧を検知した場合、
警報盤から自動的に警報を発報

*3 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例
 — : 信号線 D : AND 回路 DD : OR 回路

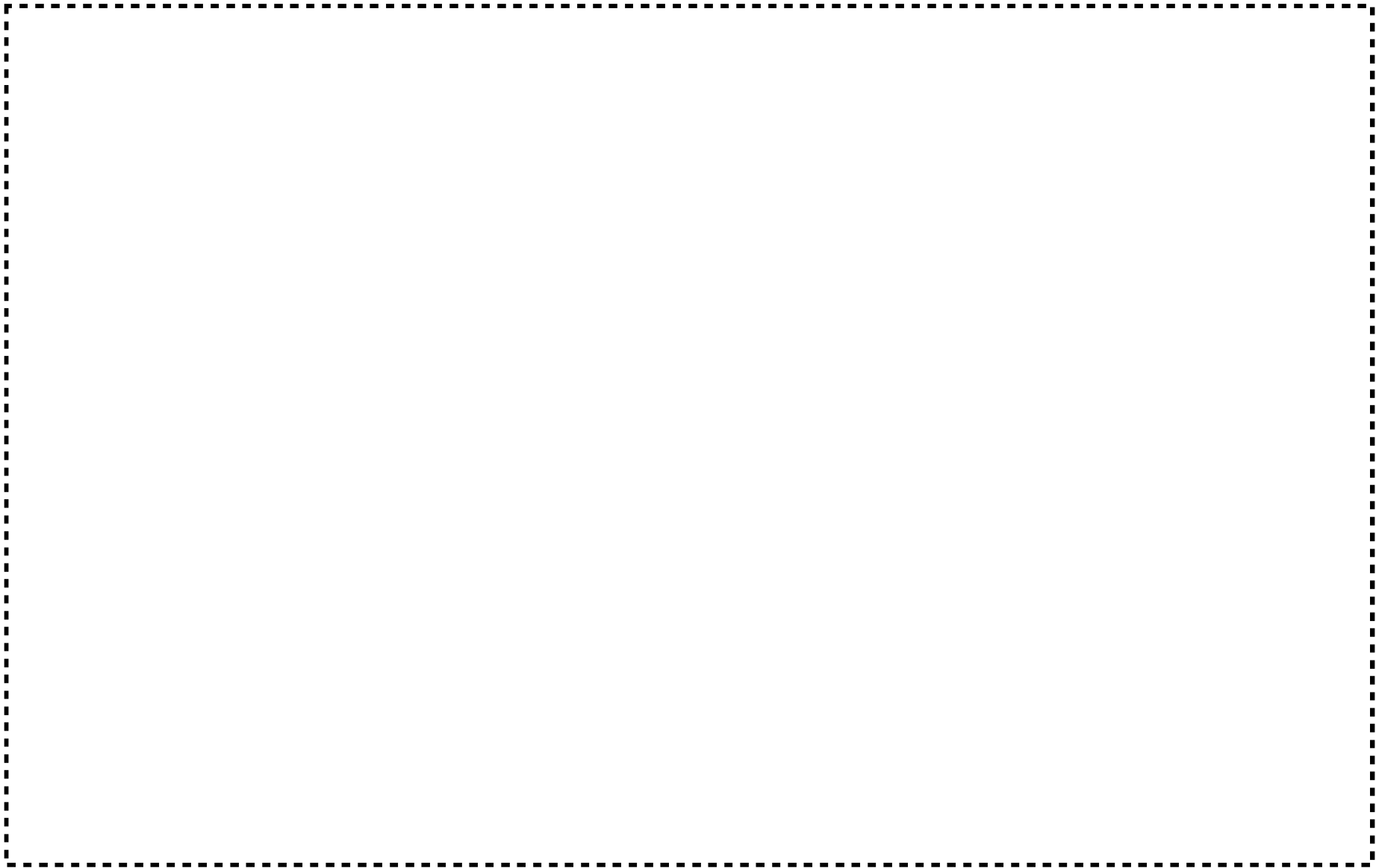
図ト-2 P設-2-1-4 (4) 気体廃棄設備 No.1 (系統 I、系統 II、系統 V、給気系統) インターロック信号系統図 (室内負圧異常時)



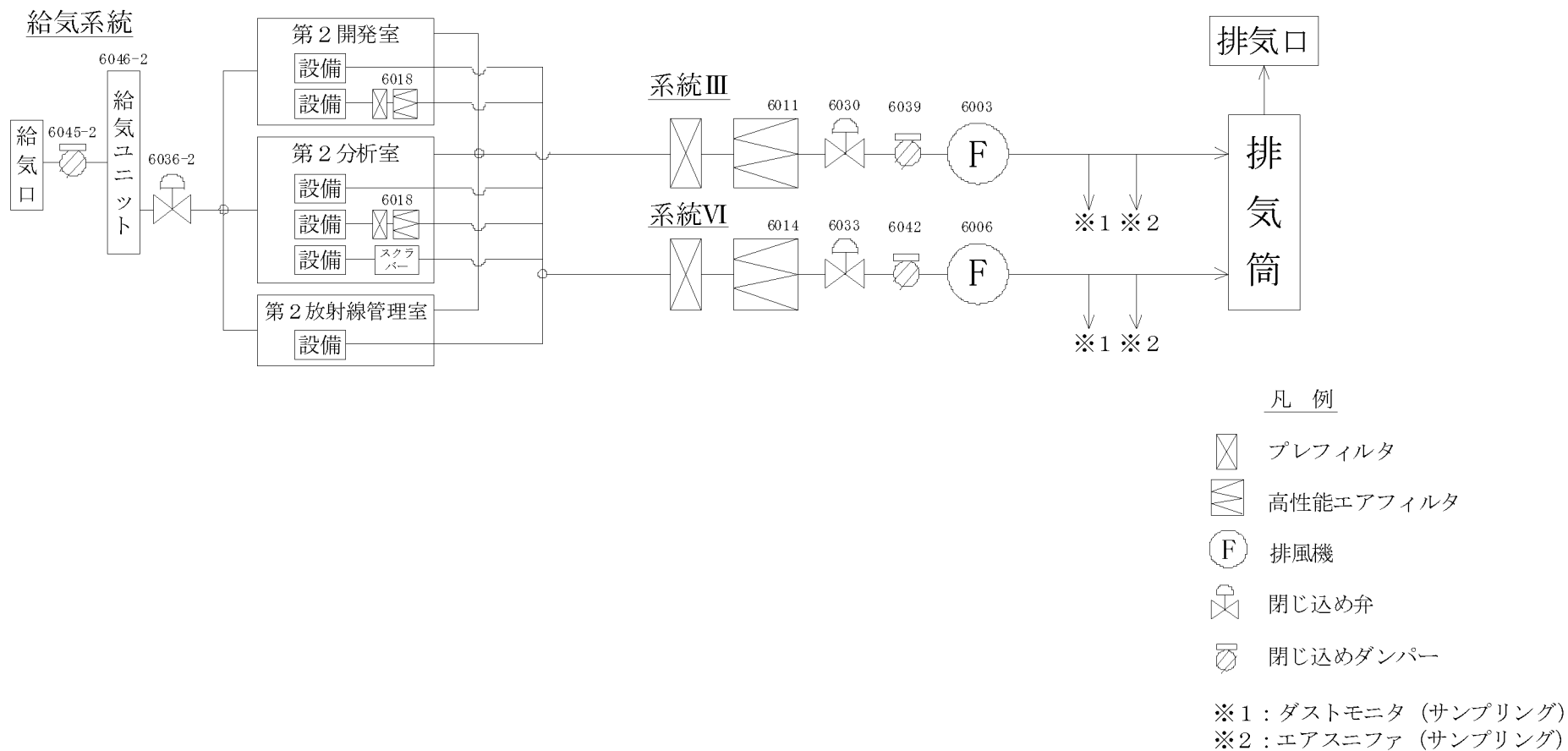
図トー2 P設ー2ー1ー5 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) 改造図 (①ダクトルートの変更) (1 / 3)



図トー2 P設ー2ー1ー5 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) 改造図 (①ダクトルートの変更) (2 / 3)



図トー2 P設ー2ー1ー5 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅰ、系統Ⅱ、系統Ⅴ、給気系統) 改造図 (①ダクトルートの変更) (3 / 3)



図ト-2 P設-2-2-1 (1) 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統図)



【凡例】

— : 既設部

— : 新設・移設・更新・改造部

..... : 撤去部

—■— : 防火ダンパー

—○— : 閉じ込めダンパー

—X— : 閉じ込め弁

—■— : フィルタユニット（設備排気用）








1類：耐震重要度分類第1類

2類：耐震重要度分類第2類

3類：耐震重要度分類第3類

図トー2 P設ー2ー2ー1 (2) 気体廃棄設備 No.1 (系統III、系統VI、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統III (部屋排気系統)) (1/2)



【凡例】				
	: 既設部		: 防火ダンパー	1 類 : 耐震重要度分類第 1 類
	: 新設・移設・更新・改造部		: 閉じ込めダンパー	2 類 : 耐震重要度分類第 2 類
	: 撤去部		: 閉じ込め弁	3 類 : 耐震重要度分類第 3 類
			: フィルタユニット (設備排気用)	

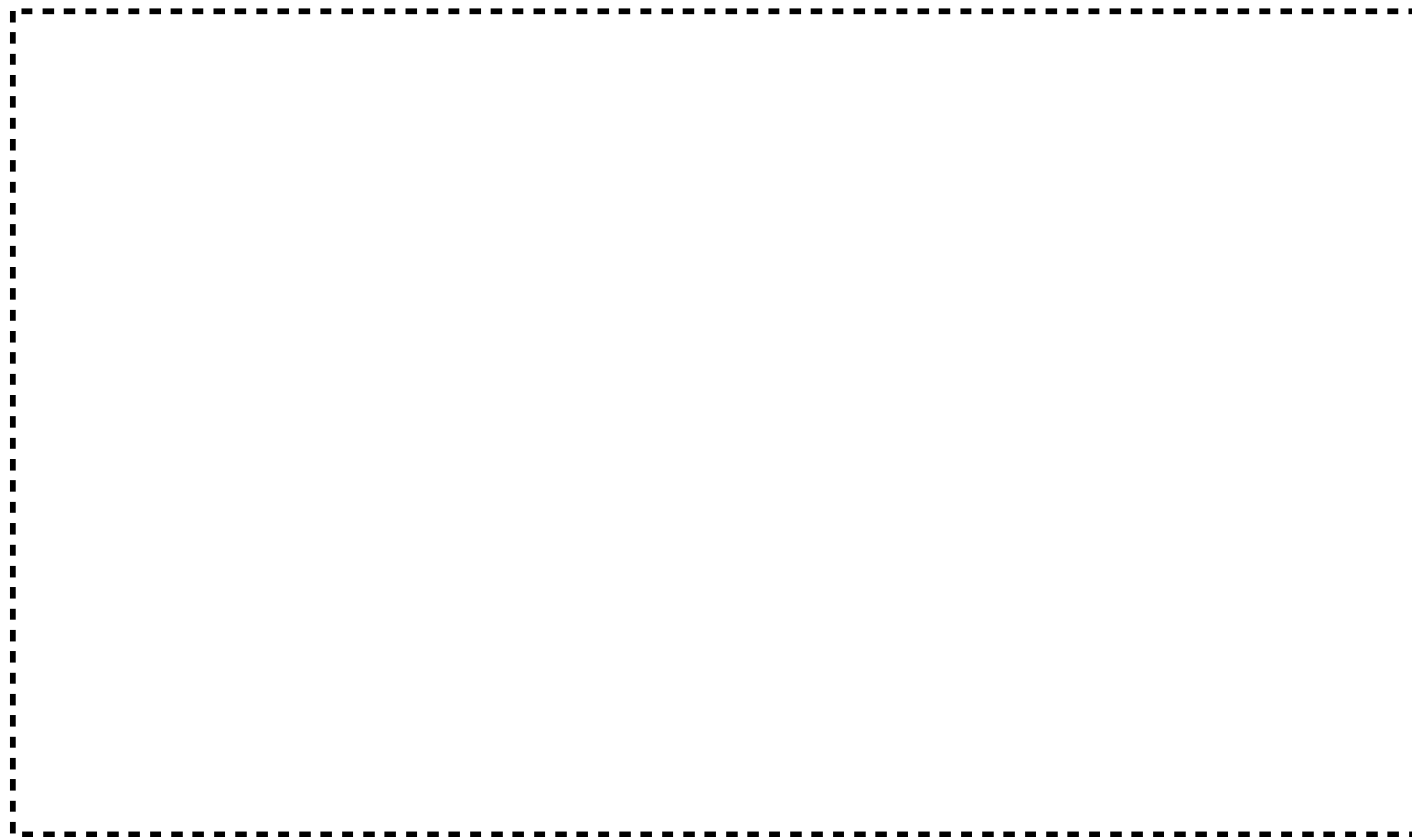
図トー 2 P 設ー 2 - 2 - 1 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅲ (部屋排気系統)) (2 / 2)










【凡例】

- | | | |
|------------------|------------------------|--------------------|
| — : 既設部 | —●— : 防火ダンパー | 1 類 : 耐震重要度分類第 1 類 |
| — : 新設・移設・更新・改造部 | —○— : 閉じ込めダンパー | 2 類 : 耐震重要度分類第 2 類 |
| : 撤去部 | —⊥— : 閉じ込め弁 | 3 類 : 耐震重要度分類第 3 類 |
| | —☒— : フィルタユニット (設備排気用) | |

図トー 2 P 設ー 2ー 2ー 1 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅵ (局所排気系統)) (1 / 2)










【凡例】

	: 既設部		: 防火ダンパー	1 類: 耐震重要度分類第 1 類
	: 新設・移設・更新・改造部		: 閉じ込めダンパー	2 類: 耐震重要度分類第 2 類
	: 撤去部		: 閉じ込め弁	3 類: 耐震重要度分類第 3 類
			: フィルタユニット (設備排気用)	

図トー 2 P 設ー 2 - 2 - 1 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅵ (局所排気系統)) (2 / 2)



【凡例】

- | | | | | |
|---|----------------|---|--------------------|--------------------|
|  | : 既設部 |  | : 防火ダンパー | 1 類 : 耐震重要度分類第 1 類 |
|  | : 新設・移設・更新・改造部 |  | : 閉じ込めダンパー | 2 類 : 耐震重要度分類第 2 類 |
|  | : 撤去部 |  | : 閉じ込め弁 | 3 類 : 耐震重要度分類第 3 類 |
| | |  | : フィルタユニット (設備排気用) | |

図トー 2 P 設ー 2 - 2 - 1 (4) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅲ系統Ⅵ (給気系統)) (1 / 2)



【凡例】

— : 既設部

— : 新設・移設・更新・改造部

..... : 撤去部

—●— : 防火ダンパー

—○— : 閉じ込めダンパー

—|— : 閉じ込め弁

—□— : フィルタユニット（設備排気用）

1 類 : 耐震重要度分類第 1 類

2 類 : 耐震重要度分類第 2 類

3 類 : 耐震重要度分類第 3 類

図トー 2 P 設ー 2 - 2 - 1 (4) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅲ系統Ⅵ (給気系統)) (2 / 2)

管理番号	名 称	管理番号	名 称	管理番号	名 称
{6003}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ (部屋排気系統) 排風機 (303-F)	{6025}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅵ (局所排気系統) ダクト	{6042}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅵ (局所排気系統) 閉じ込めダンパー
{6006}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅵ (局所排気系統) 排風機 (306-F)	{6030}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ (部屋排気系統) 閉じ込め弁	{6045-2}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ系統Ⅵ (給気系統) 閉じ込めダンパー
{6011}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-403)	{6033}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅵ (局所排気系統) 閉じ込め弁	{6046-2}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ系統Ⅵ (給気系統) 給気ユニット (202AC)
{6014}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅵ (局所排気系統) フィルタユニット (FU-406)	{6036-2}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ系統Ⅵ (給気系統) 閉じ込め弁	{6047-2}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ系統Ⅵ (給気系統) ダクト
{6018}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅵ (局所排気系統) フィルタユニット (設備排気用)	{6039}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ (部屋排気系統) 閉じ込めダンパー	{8045}	緊急設備 防火ダンパー
{6022}	気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ (部屋排気系統) ダクト				

図トー2 P設ー2ー2ー1 (5) 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (設備・機器一覧表)

管理番号	名称	{6018}フィルタユニット（設備排気用）への接続	備考
{8013}	分析設備 粉末取扱フード No. 1	○	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8014}	分析設備 粉末取扱フード No. 2	○	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8015}	分析設備 粉末取扱フード No. 3	○	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8016}	分析設備 ドラフトチャンバ No. 1	—	スクラバーに接続する。 接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8017}	分析設備 ドラフトチャンバ No. 2	—	スクラバーに接続する。 接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8018}	分析設備 ドラフトチャンバ No. 3	—	スクラバーに接続する。 接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8019}	燃料開発設備 スクラップ処理装置	○	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8020}	燃料開発設備 試料調整用フード	○	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8021}	燃料開発設備 試料調整用フード No. 1	○	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8022}	燃料開発設備 試料調整用フード No. 2	○	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8023}	燃料開発設備 粉末取扱フード	○	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8024}	燃料開発設備 プレス	○	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8025}	燃料開発設備 加熱炉	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8026}	燃料開発設備 小型雰囲気可変炉	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8069}	燃料開発設備 —	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。
{8070}	試験検査設備 —	—	接続部にフレキシブルダクトを設ける。

図トー 2 P 設ー 2 - 2 - 1 (6) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (局所排気系統 接続設備・機器一覧表)



図ト-2 P設-2-2-2 (1) 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ (部屋排気系統) 排風機 (303-F)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1260



図卜-2 P設-2-2-2 (2) 気体廃棄設備 No.1 系統VI (局所排気系統) 排風機 (306-F)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図トー 2 P 設 - 2 - 2 - 2 (3) 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-403)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図トー 2 P 設 - 2 - 2 - 2 (4) 気体廃棄設備 No.1 系統VI (局所排気系統) フィルタユニット (FU-406)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

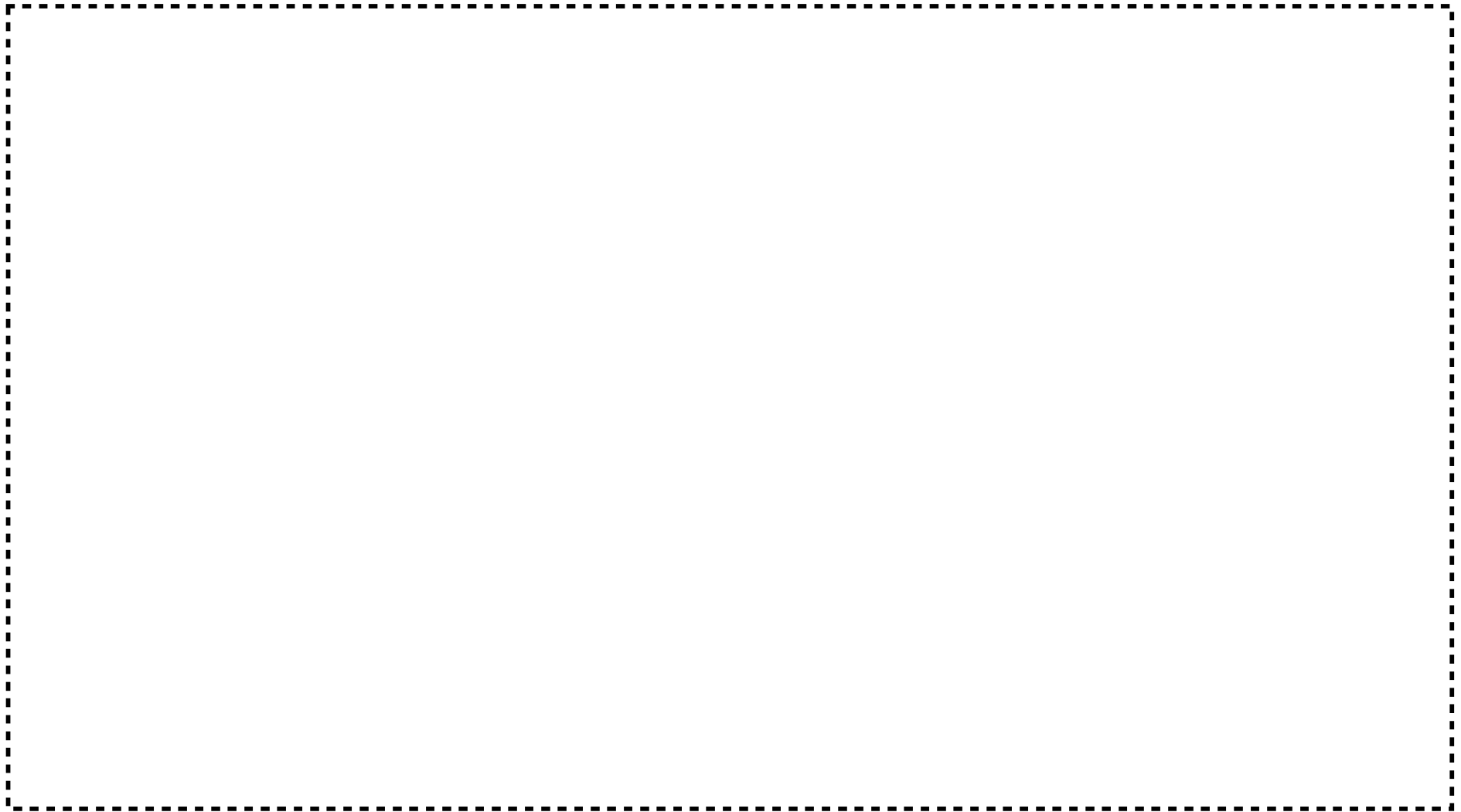
(単位 mm)



図ト-2 P設-2-2-2 (5) 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅲ系統Ⅵ (給気系統) 給気ユニット (202AC)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

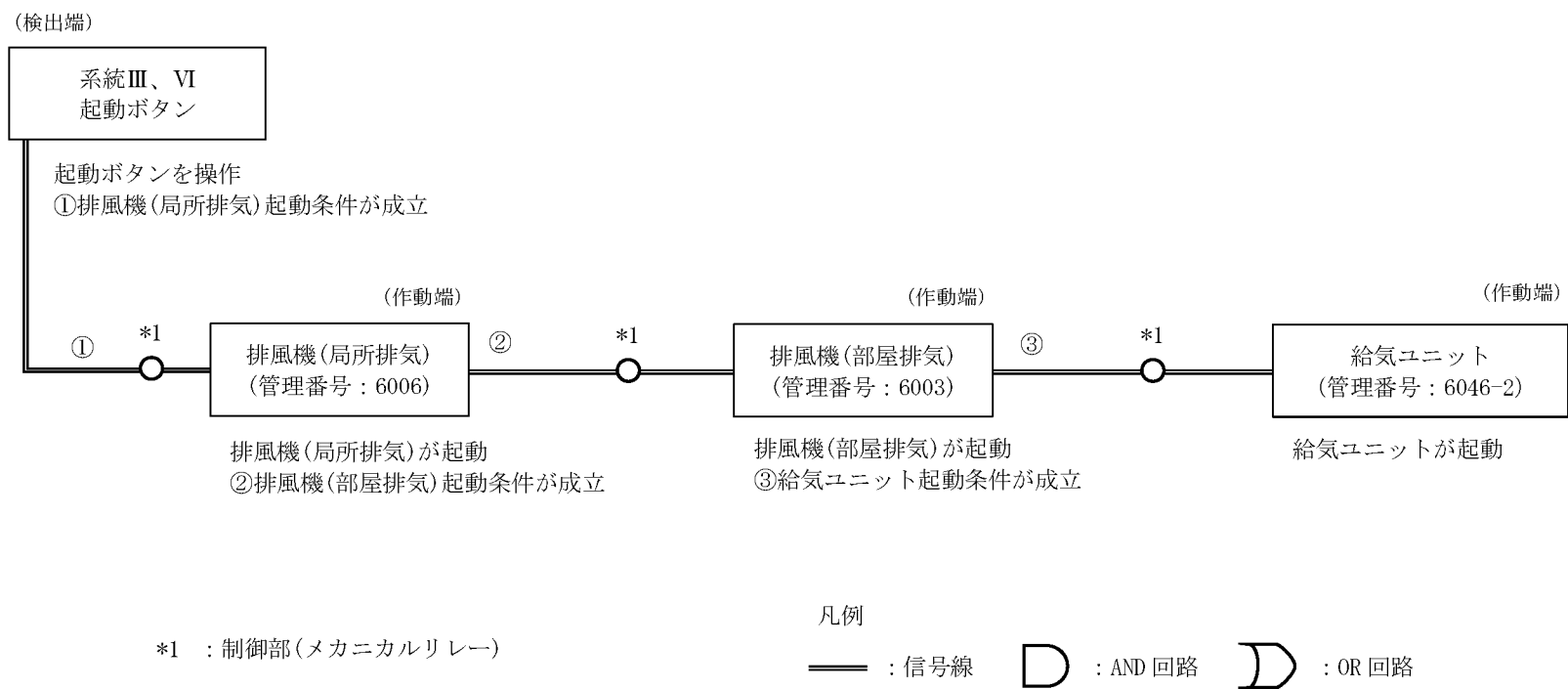
(単位 mm)



図ト-2 P設-2-2-3 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) 差圧計及び警報盤 配置図

気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) 起動時

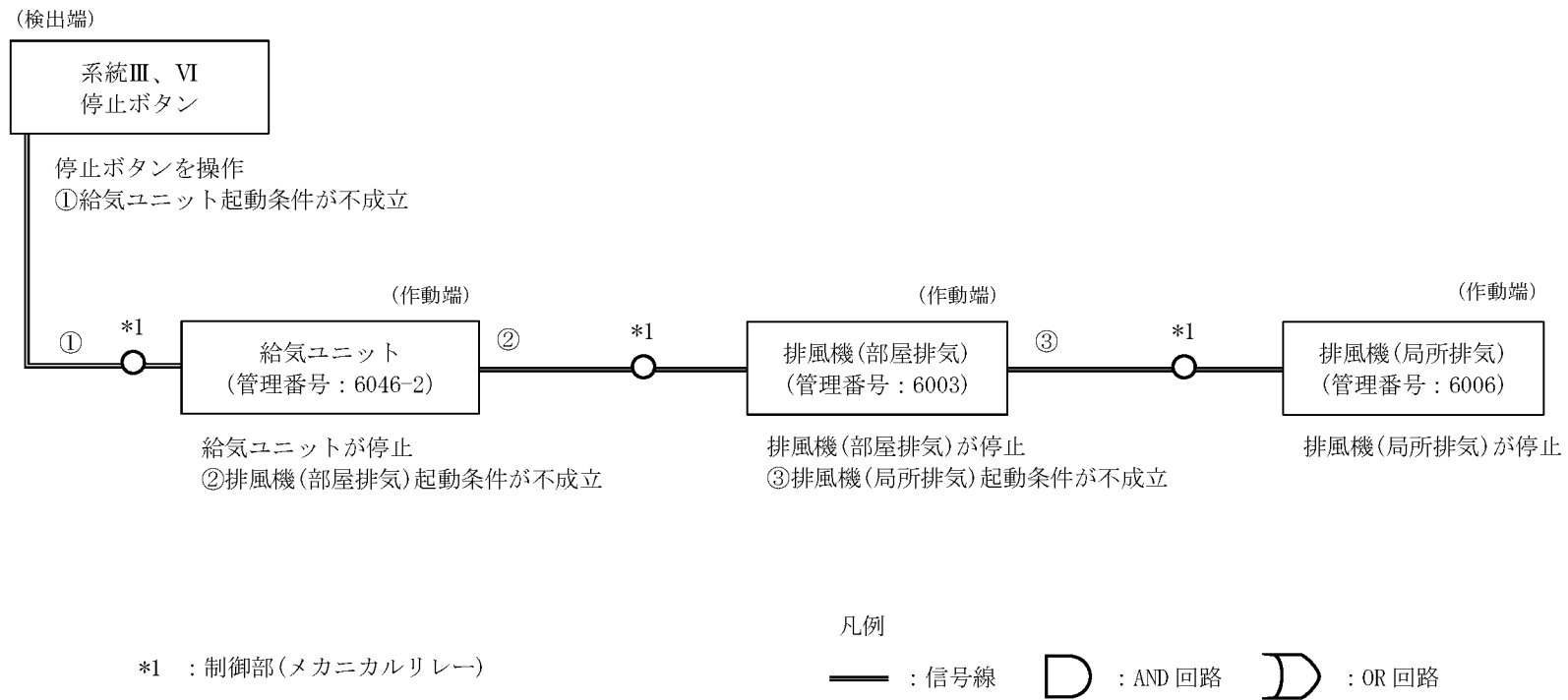
1265



図ト-2 P 設-2-2-4 (1) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機の起動停止時)
(1 / 2)

気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) 停止時

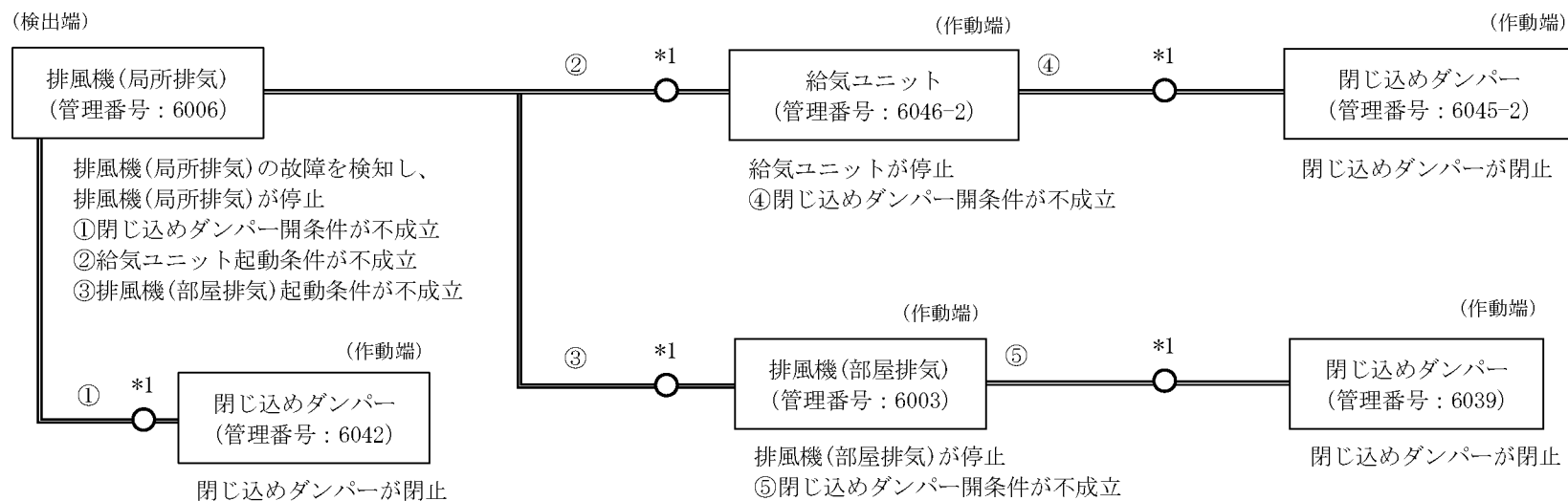
1266



図トー 2 P 設- 2- 2- 4 (1) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機の起動停止時)
(2 / 2)

気体廃棄設備 No. 1 系統VI (局所排気系統) 排風機異常時

1267



*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例

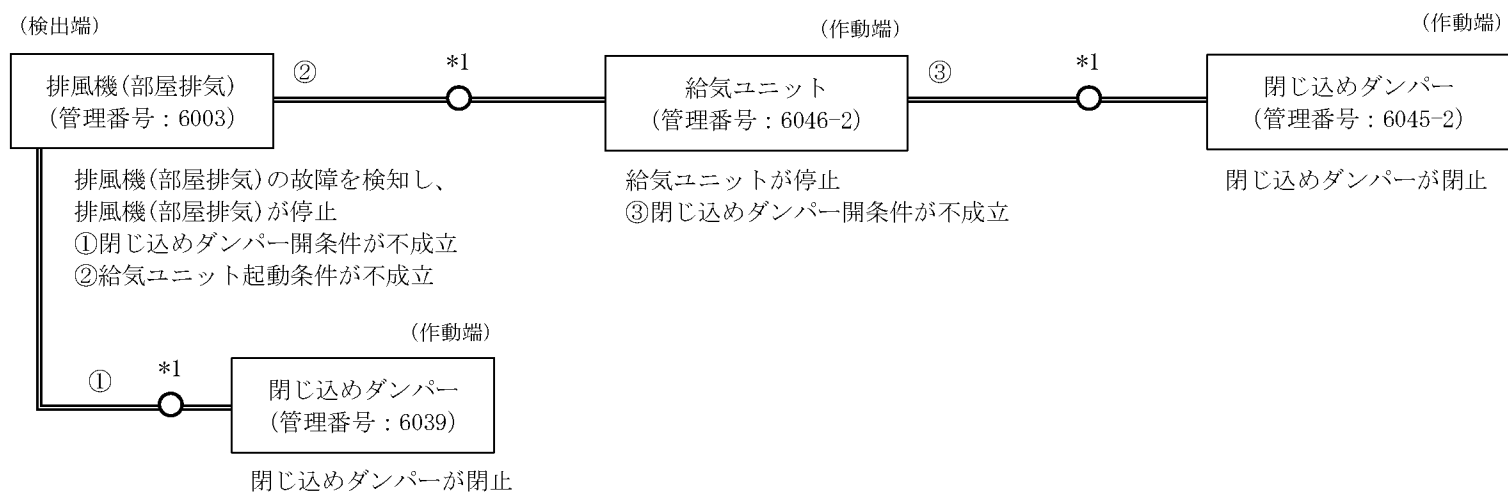
— : 信号線

D : AND 回路

DD : OR 回路

図ト-2P設-2-2-4 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統III、系統VI、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)

気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅲ（部屋排気系統） 排風機異常時

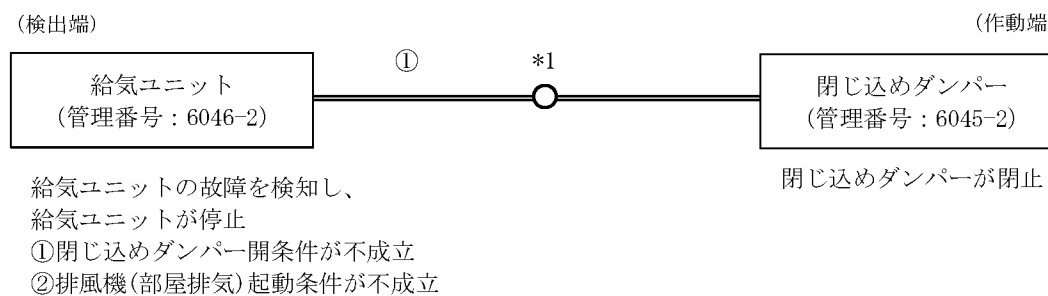


*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例
 — : 信号線 D : AND回路 D : OR回路

図ト-2 P設-2-2-4 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)

気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅲ系統Ⅵ (給気系統) 給気ユニット異常時

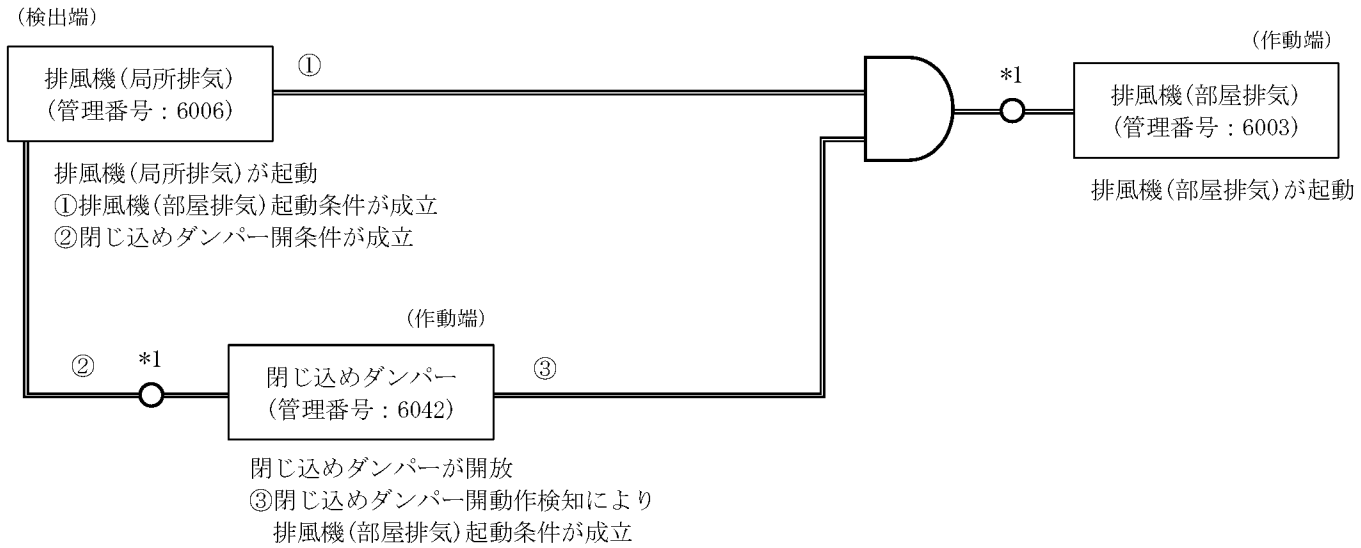


*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例
 — : 信号線 D : AND 回路 D : OR 回路

図ト-2 P 設-2-2-4 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)
 (3 / 3)

気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) 排風機(局所排気) 起動後



*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例

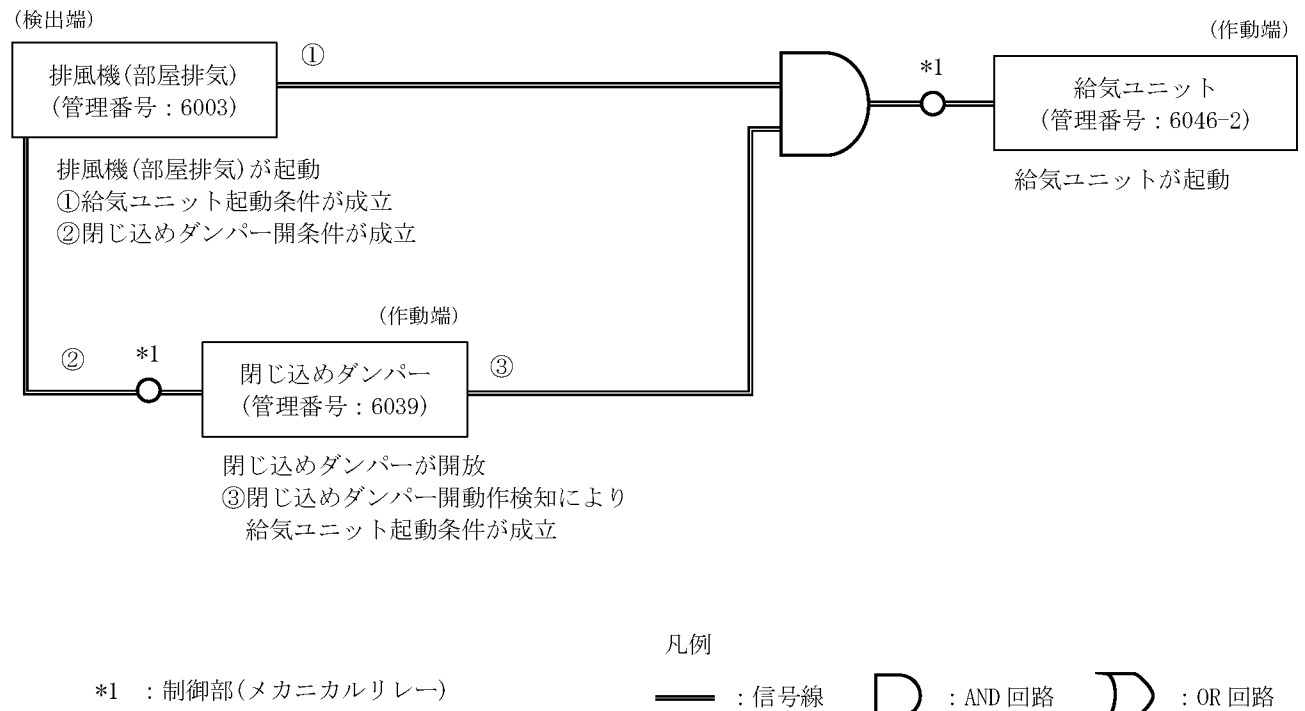
— : 信号線

D : AND 回路

∪ : OR 回路

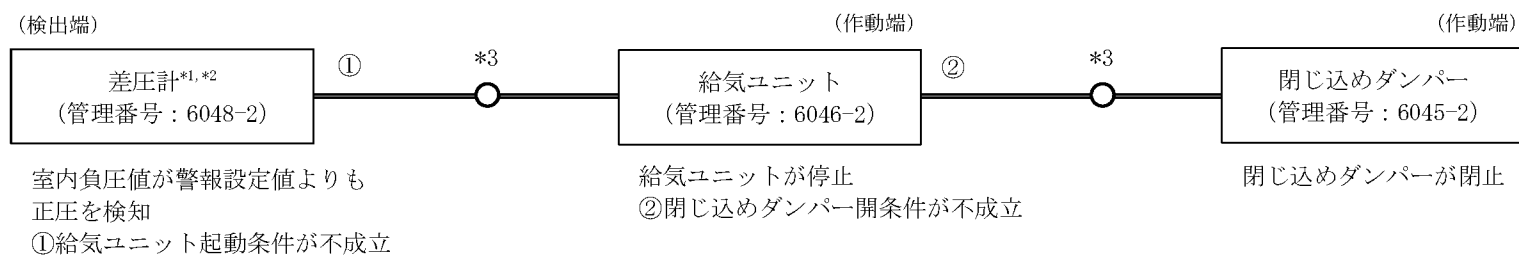
図トー 2 P 設- 2- 2- 4 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)

気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) 排風機(部屋排気) 起動後



1271

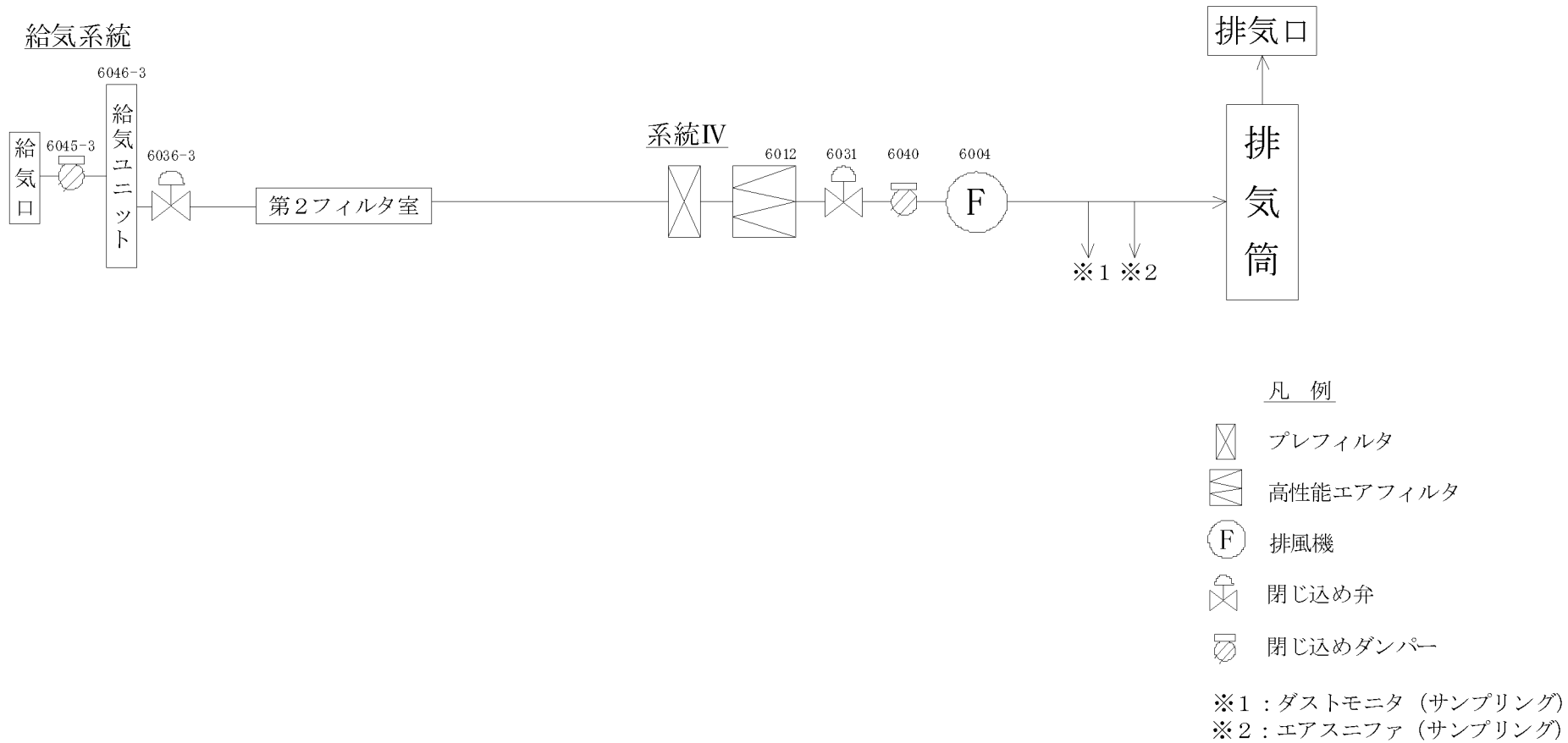
図トー 2 P 設- 2- 2- 4 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)
(2 / 2)



- *1 : 第2分析室に設置する差圧計のみ
室内負圧異常時に給気ユニット起動条件が不成立
- *2 : 室内負圧値が警報設定値よりも正圧を検知した場合、
警報盤から自動的に警報を発報
- *3 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例
 ─── : 信号線 □ : AND 回路 ◩ : OR 回路








図ト-2 P 設-2-2-4 (4) 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅲ、系統Ⅵ、給気系統) インターロック信号系統図 (室内負圧異常時)



図ト-2 P設-2-3-1 (1) 気体廃棄設備 No.1 (系統IV、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統図)



【凡例】

	: 既設部		: 防火ダンパー	1類: 耐震重要度分類第1類
	: 新設・移設・更新・改造部		: 閉じ込めダンパー	2類: 耐震重要度分類第2類
	: 撤去部		: 閉じ込め弁	3類: 耐震重要度分類第3類
			: フィルタユニット (設備排気用)	

図トー2 P設ー2ー3ー1 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統IV、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統IV (部屋排気系統)) (1 / 2)



【凡例】

— : 既設部

— : 新設・移設・更新・改造部

..... : 撤去部

—●— : 防火ダンパー

—○— : 閉じ込めダンパー

—⊥— : 閉じ込め弁

—■— : フィルタユニット (設備排気用)

1 類 : 耐震重要度分類第 1 類

2 類 : 耐震重要度分類第 2 類

3 類 : 耐震重要度分類第 3 類

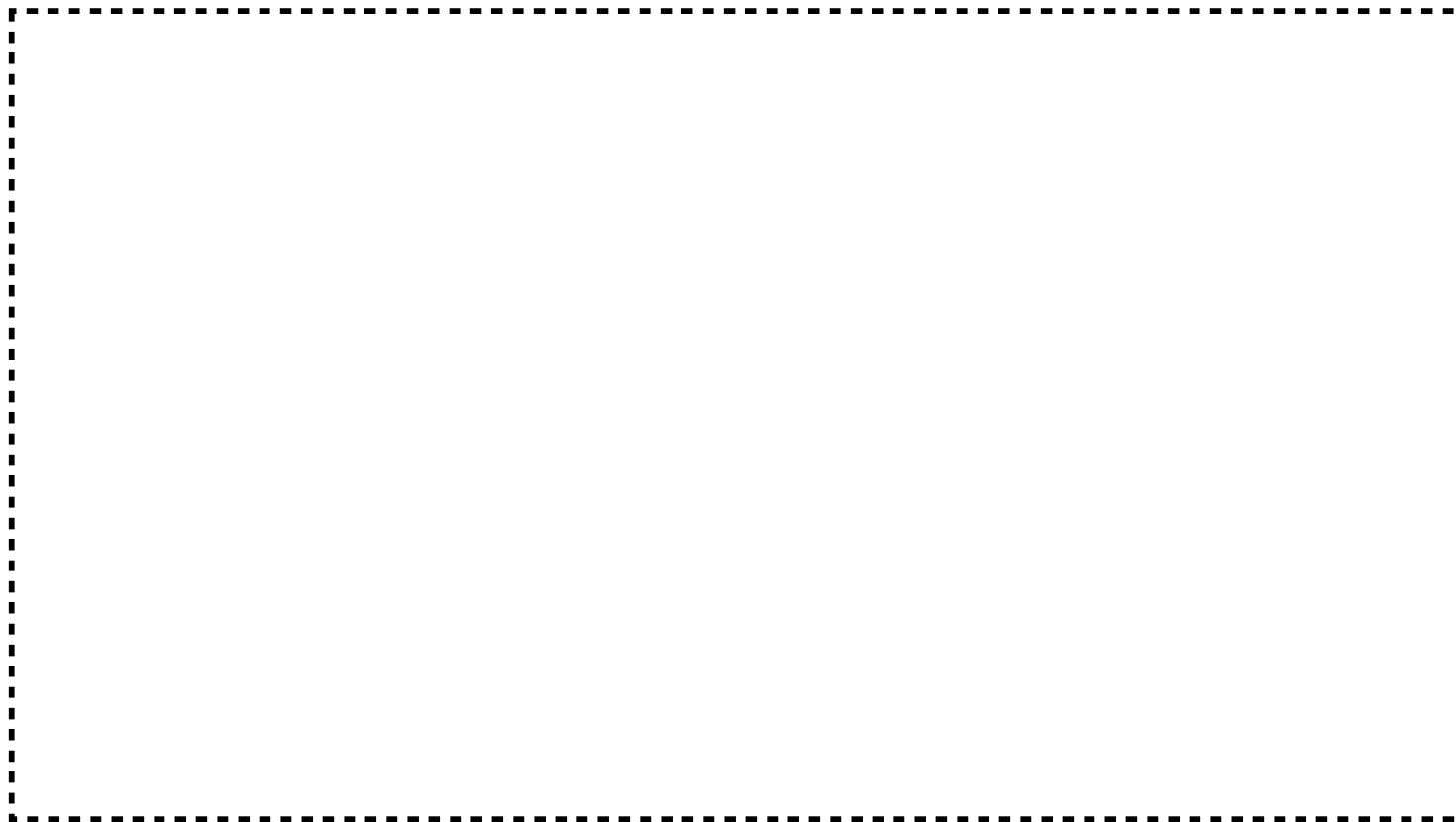
図トー 2 P 設 - 2 - 3 - 1 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅳ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅳ (部屋排気系統)) (2 / 2)



【凡例】

— (solid line) :	既設部	● (circle with dot) :	防火ダンパー	1 類 :	耐震重要度分類第 1 類
— (dashed line) :	新設・移設・更新・改造部	⊗ (circle with cross) :	閉じ込めダンパー	2 類 :	耐震重要度分類第 2 類
— (dotted line) :	撤去部	⊕ (circle with plus) :	閉じ込め弁	3 類 :	耐震重要度分類第 3 類
		⊞ (square with cross) :	フィルタユニット (設備排気用)		

図トー 2 P 設ー 2 - 3 - 1 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統IV、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統IV (給気系統)) (1 / 2)



【凡例】

— : 既設部

— : 新設・移設・更新・改造部

⋯ : 撤去部

● : 防火ダンパー

⊗ : 閉じ込めダンパー

⊕ : 閉じ込め弁

⊞ : フィルタユニット（設備排気用）

1 類：耐震重要度分類第 1 類

2 類：耐震重要度分類第 2 類

3 類：耐震重要度分類第 3 類

図トー 2 P 設ー 2 - 3 - 1 (3) 気体廃棄設備 No.1 (系統IV、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統IV (給気系統)) (2 / 2)

管理番号	名 称	管理番号	名 称	管理番号	名 称
{6004}	気体廃棄設備 No. 1 系統IV (部屋排気系統) 排風機 (304-F)	{6036-3}	気体廃棄設備 No. 1 系統IV (給気系統) 閉じ込め弁	{6047-3}	気体廃棄設備 No. 1 系統IV (給気系統) ダクト
{6012}	気体廃棄設備 No. 1 系統IV (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-404)	{6040}	気体廃棄設備 No. 1 系統IV (部屋排気系統) 閉じ込めダンパー	{8045}	緊急設備 防火ダンパー
{6023}	気体廃棄設備 No. 1 系統IV (部屋排気系統) ダクト	{6045-3}	気体廃棄設備 No. 1 系統IV (給気系統) 閉じ込めダンパー		
{6031}	気体廃棄設備 No. 1 系統IV (部屋排気系統) 閉じ込め弁	{6046-3}	気体廃棄設備 No. 1 系統IV (給気系統) 給気ユニット (203SU)		

図ト-2 P設-2-3-1 (4) 気体廃棄設備 No. 1 (系統IV、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (設備・機器一覧表)



図卜-2 P設-2-3-2 (1) 気体廃棄設備 No.1 系統IV (部屋排気系統) 排風機 (304-F)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1280



図トー2P設ー2ー3ー2(2) 気体廃棄設備 No.1 系統IV (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-404)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図トー 2 P 設ー 2 - 3 - 2 (3) 気体廃棄設備 No. 1 系統IV (給気系統) 給気ユニット (203SU)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

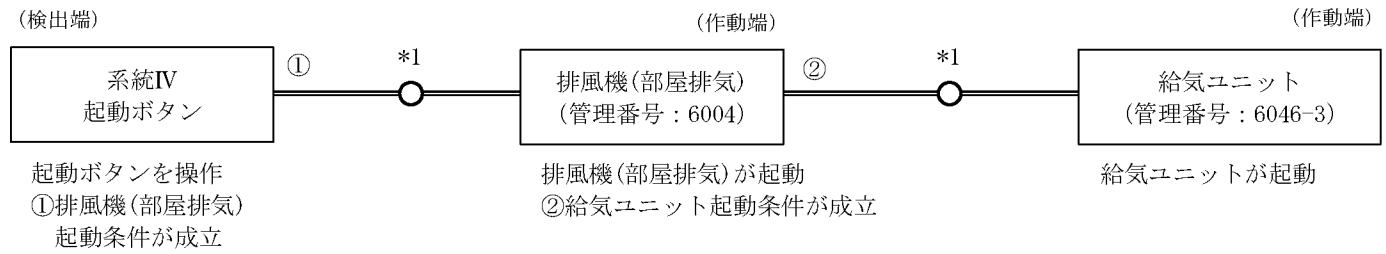
(単位 mm)

1282

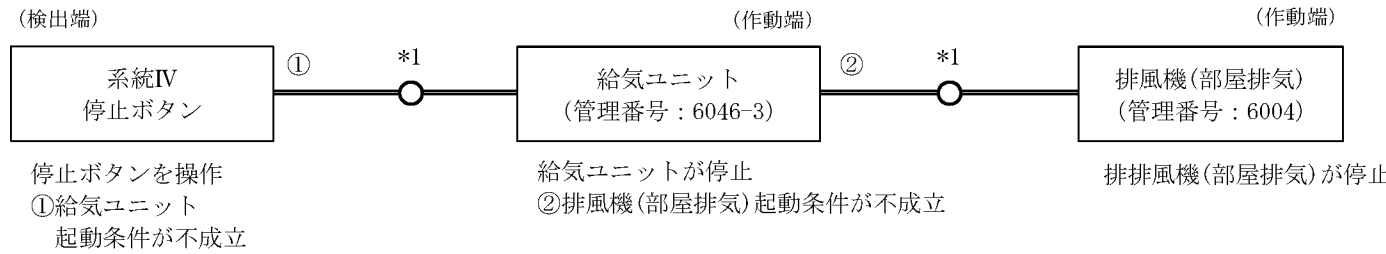


図卜-2 P設-2-3-3 気体廃棄設備 No.1 (系統IV、給気系統) 差圧計及び警報盤 配置図

気体廃棄設備 No. 1 (系統IV、給気系統) 起動時



気体廃棄設備 No. 1 (系統IV、給気系統) 停止時



*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例

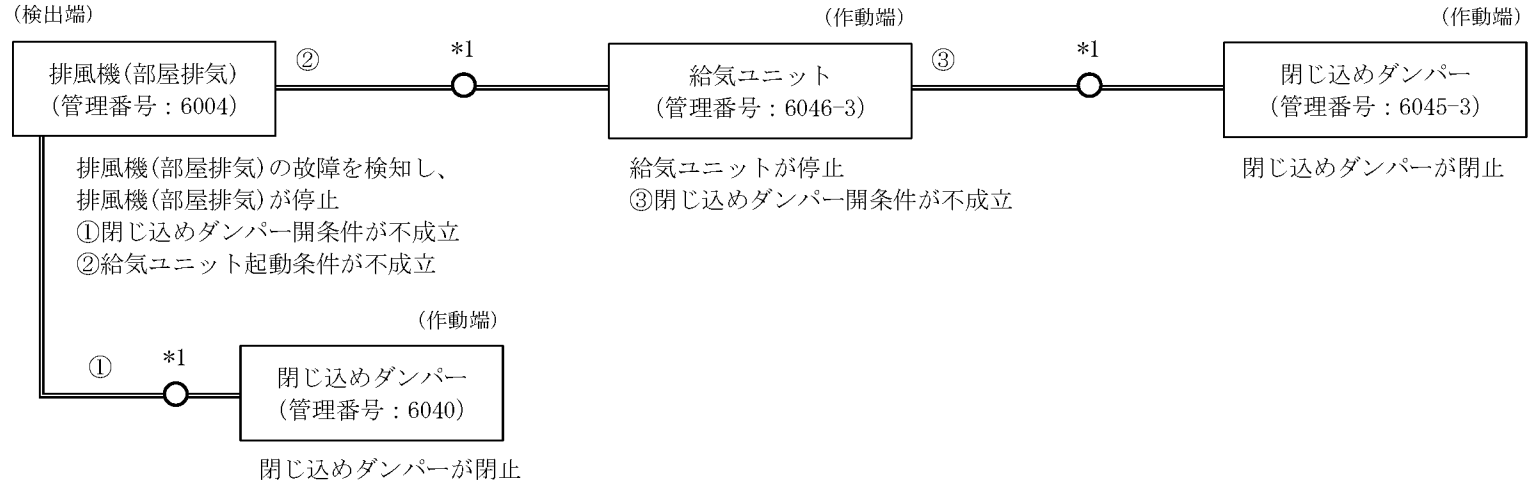
— : 信号線

D : AND 回路

∩ : OR 回路

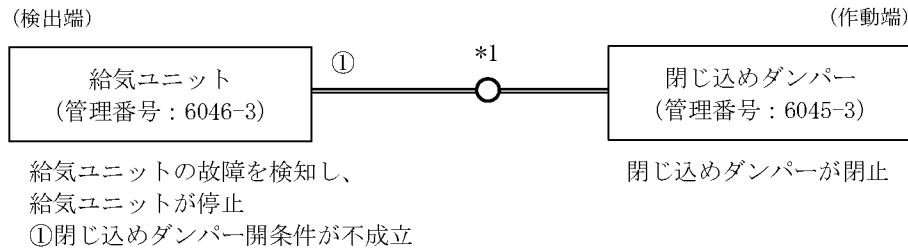
図ト-2 P設-2-3-4 (1) 気体廃棄設備 No. 1 (系統IV、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機の起動停止時)

気体廃棄設備 No. 1 系統IV (部屋排気系統) 排風機異常時



1284

気体廃棄設備 No. 1 系統IV (給気系統) 給気ユニット異常時



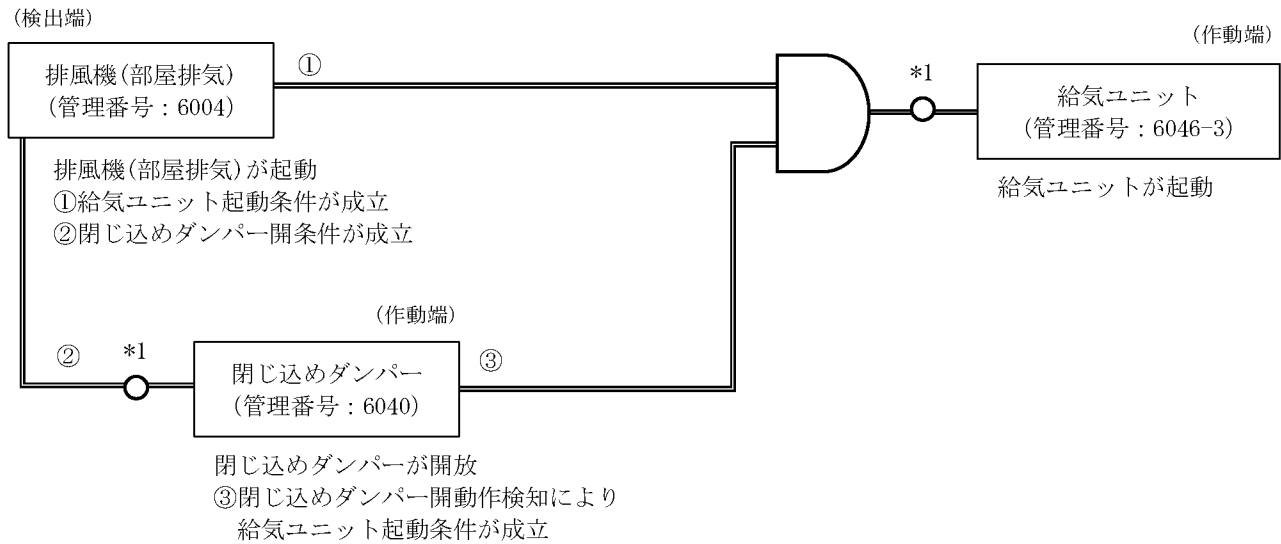
*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例

— : 信号線 D : AND 回路 D : OR 回路

図ト-2 P設-2-3-4 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統IV、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)

気体廃棄設備 No. 1 (系統IV、給気系統) 排風機(部屋排気) 起動後



*1 : 制御部(メカニカルリレー)

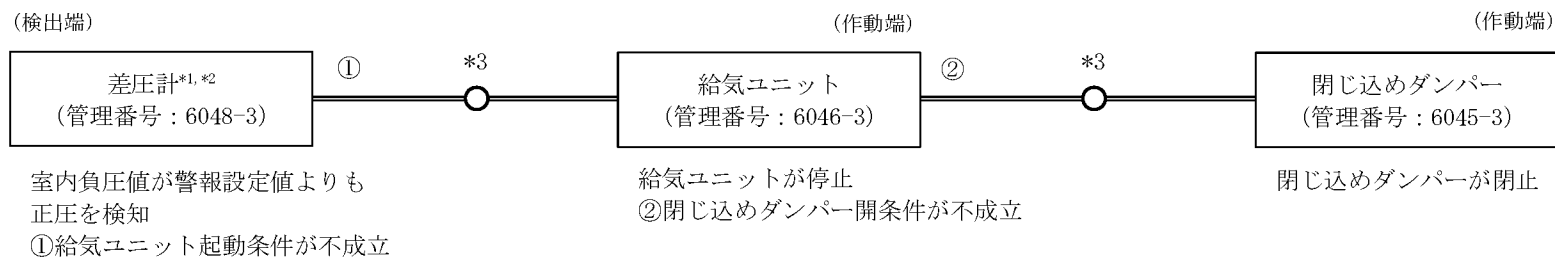
凡例

— : 信号線

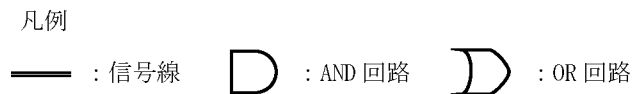
D : AND 回路

D : OR 回路

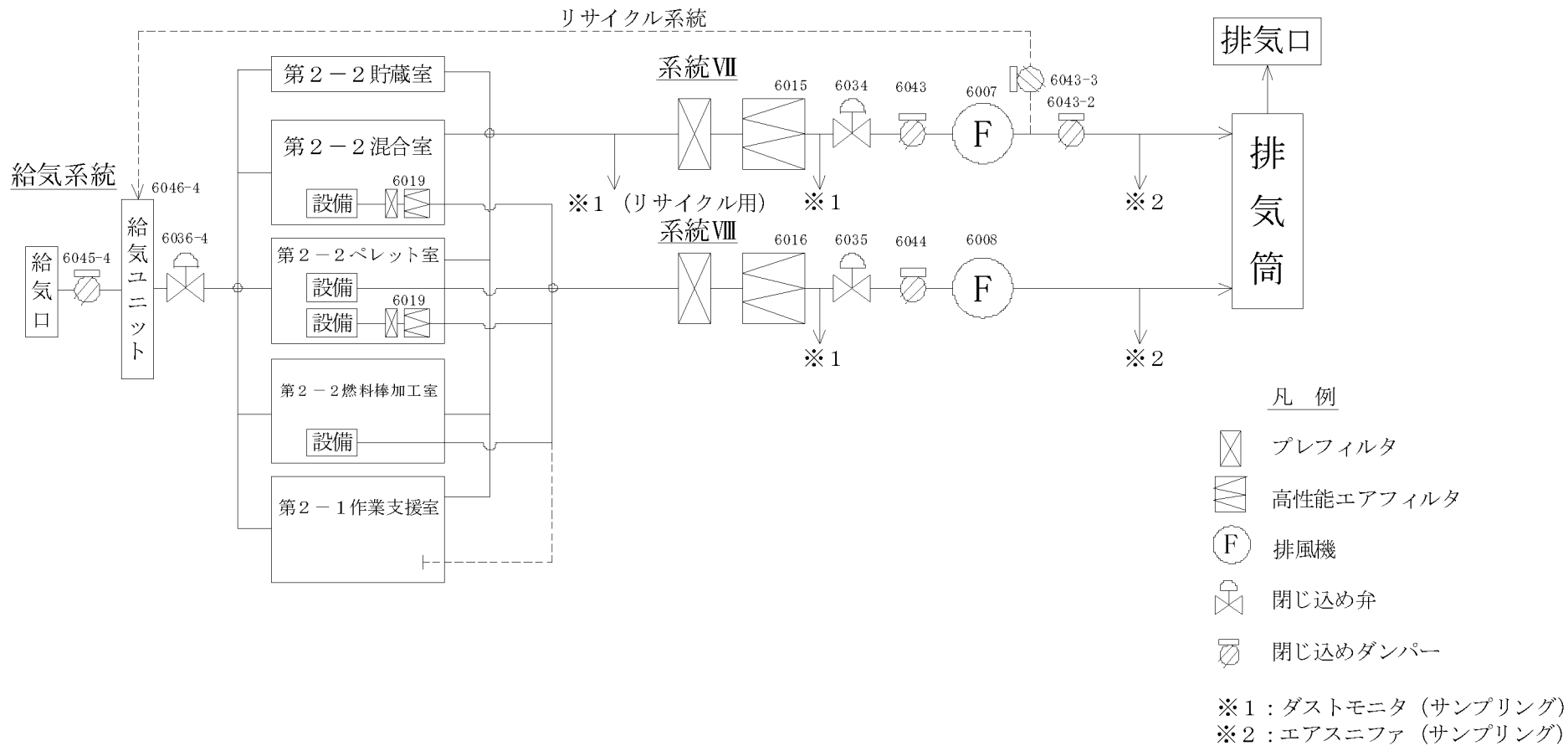
図ト-2 P設-2-3-4 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統IV、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)



- *1 : 第2フィルタ室に設置する差圧計が室内負圧異常時に給気ユニット起動条件が不成立
- *2 : 室内負圧値が警報設定値よりも正圧を検知した場合、警報盤から自動的に警報を発報
- *3 : 制御部(メカニカルリレー)



図トー2 P設ー2ー3ー4 (4) 気体廃棄設備 No.1 (系統IV、給気系統) インターロック信号系統図 (室内負圧異常時)



図ト-2 P設-2-4-1 (1) 気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統図)










【凡例】

- | | | |
|------------------|----------------------|------------------|
| — : 既設部 | ● : 防火ダンパー | 1 類 : 耐震重要度分類第1類 |
| — : 新設・移設・更新・改造部 | ○ : 閉じ込めダンパー | 2 類 : 耐震重要度分類第2類 |
| : 撤去部 | ⊥ : 閉じ込め弁 | 3 類 : 耐震重要度分類第3類 |
| | ⊥ : フィルタユニット (設備排気用) | |

図ト-2 P設-2-4-1 (2) 気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統VII (部屋排気系統)) (1 / 4)



【凡例】

- | | | |
|--|--|-----------------|
|  : 既設部 |  : 防火ダンパー | 1類 : 耐震重要度分類第1類 |
|  : 新設・移設・更新・改造部 |  : 閉じ込めダンパー | 2類 : 耐震重要度分類第2類 |
|  : 撤去部 |  : 閉じ込め弁 | 3類 : 耐震重要度分類第3類 |
| |  : フィルタユニット (設備排気用) | |

図ト-2 P設-2-4-1 (2) 気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統VII (部屋排気系統)) (2/4)



【凡例】

- | | | | | | |
|-------|----------------|---|--------------------|-----|----------------|
| — | : 既設部 | ● | : 防火ダンパー | 1 類 | : 耐震重要度分類第 1 類 |
| — | : 新設・移設・更新・改造部 | ○ | : 閉じ込めダンパー | 2 類 | : 耐震重要度分類第 2 類 |
| | : 撤去部 | ⊥ | : 閉じ込め弁 | 3 類 | : 耐震重要度分類第 3 類 |
| | | ≡ | : フィルタユニット (設備排気用) | | |

図トー 2 P 設ー 2 - 4 - 1 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統VII (部屋排気系統)) (3 / 4)



【凡例】

—— : 既設部

—— : 新設・移設・更新・改造部

..... : 撤去部

—●— : 防火ダンパー

—○— : 閉じ込めダンパー

—⊥— : 閉じ込め弁

—[]— : フィルタユニット (設備排気用)

1 類 : 耐震重要度分類第 1 類








2 類 : 耐震重要度分類第 2 類

3 類 : 耐震重要度分類第 3 類

図トー 2 P 設ー 2 - 4 - 1 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅶ (部屋排気系統)) (4 / 4)



【凡例】

	: 既設部		: 防火ダンパー	1 類 : 耐震重要度分類第 1 類
	: 新設・移設・更新・改造部		: 閉じ込めダンパー	2 類 : 耐震重要度分類第 2 類
	: 撤去部		: 閉じ込め弁	3 類 : 耐震重要度分類第 3 類
			: フィルタユニット (設備排気用)	

図トー 2 P 設ー 2 - 4 - 1 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統VIII (局所排気系統)) (1 / 4)



【凡例】

- | | | |
|------------------|----------------------|-----------------|
| — : 既設部 | ● : 防火ダンパー | 1類 : 耐震重要度分類第1類 |
| — : 新設・移設・更新・改造部 | ○ : 閉じ込めダンパー | 2類 : 耐震重要度分類第2類 |
| : 撤去部 | ⊥ : 閉じ込め弁 | 3類 : 耐震重要度分類第3類 |
| | ☒ : フィルタユニット (設備排気用) | |

図トー2 P設ー2ー4ー1 (3) 気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統VIII (局所排気系統)) (2 / 4)










【凡例】

—	: 既設部	●	: 防火ダンパー	1 類: 耐震重要度分類第 1 類
—	: 新設・移設・更新・改造部	⊗	: 閉じ込めダンパー	2 類: 耐震重要度分類第 2 類
.....	: 撤去部	⊠	: 閉じ込め弁	3 類: 耐震重要度分類第 3 類
		☒	: フィルタユニット (設備排気用)	

図トー 2 P 設ー 2 - 4 - 1 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統VIII (局所排気系統)) (3 / 4)



【凡例】

- | | | | | |
|---|----------------|---|--------------------|--------------------|
|  | : 既設部 |  | : 防火ダンパー | 1 類 : 耐震重要度分類第 1 類 |
|  | : 新設・移設・更新・改造部 |  | : 閉じ込めダンパー | 2 類 : 耐震重要度分類第 2 類 |
|  | : 撤去部 |  | : 閉じ込め弁 | 3 類 : 耐震重要度分類第 3 類 |
| | |  | : フィルタユニット (設備排気用) | |

図トー 2 P 設ー 2 - 4 - 1 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統VIII (局所排気系統)) (4 / 4)










【凡例】

- | | | |
|--------------------------------|---|--------------------|
| — (solid line) : 既設部 | —●— (fire damper symbol) : 防火ダンパー | 1 類 : 耐震重要度分類第 1 類 |
| — (dashed line) : 新設・移設・更新・改造部 | —○— (closing damper symbol) : 閉じ込めダンパー | 2 類 : 耐震重要度分類第 2 類 |
| (dotted line) : 撤去部 | —X— (closing valve symbol) : 閉じ込め弁 | 3 類 : 耐震重要度分類第 3 類 |
| | —[]— (filter unit symbol) : フィルタユニット (設備排気用) | |

図トー 2 P 設ー 2 - 4 - 1 (4) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統Ⅶ系統Ⅷ (給気系統)) (1 / 3)



【凡例】

- | | | |
|--|--|--------------------|
|  : 既設部 |  : 防火ダンパー | 1 類 : 耐震重要度分類第 1 類 |
|  : 新設・移設・更新・改造部 |  : 閉じ込めダンパー | 2 類 : 耐震重要度分類第 2 類 |
|  : 撤去部 |  : 閉じ込め弁 | 3 類 : 耐震重要度分類第 3 類 |
| |  : フィルタユニット (設備排気用) | |

図トー 2 P 設ー 2 - 4 - 1 (4) 気体廃棄設備 No. 1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統VII系統VIII (給気系統)) (2 / 3)



【凡例】

—— : 既設部

—— : 新設・移設・更新・改造部

~~~~~ : 撤去部

—●— : 防火ダンパー

—○— : 閉じ込めダンパー

—⊥— : 閉じ込め弁

—☒— : フィルタユニット (設備排気用)

1 類 : 耐震重要度分類第 1 類

2 類 : 耐震重要度分類第 2 類

3 類 : 耐震重要度分類第 3 類

図トー 2 P 設ー 2 - 4 - 1 (4) 気体廃棄設備 No. 1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (系統VII系統VIII (給気系統)) (3 / 3)

| 管理番号   | 名 称                                            | 管理番号     | 名 称                                                | 管理番号     | 名 称                                                |
|--------|------------------------------------------------|----------|----------------------------------------------------|----------|----------------------------------------------------|
| {6007} | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅶ (部屋排気系統)<br>排風機 (307-F)       | {6027}   | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅷ (局所排気系統)<br>ダクト                   | {6043-3} | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅶ (部屋排気系統)<br>閉じ込めダンパー (リサイクル運転切替用) |
| {6008} | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅷ (局所排気系統)<br>排風機 (308-F)       | {6034}   | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅶ (部屋排気系統)<br>閉じ込め弁                 | {6044}   | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅷ (局所排気系統)<br>閉じ込めダンパー              |
| {6015} | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅶ (部屋排気系統)<br>フィルタユニット (FU-407) | {6035}   | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅷ (局所排気系統)<br>閉じ込め弁                 | {6045-4} | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅶ、系統Ⅷ (給気系統)<br>閉じ込めダンパー            |
| {6016} | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅷ (局所排気系統)<br>フィルタユニット (FU-408) | {6036-4} | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅶ系統Ⅷ (給気系統)<br>閉じ込め弁                | {6046-4} | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅶ系統Ⅷ (給気系統)<br>給気ユニット (204AC)       |
| {6019} | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅷ (局所排気系統)<br>フィルタユニット (設備排気用)  | {6043}   | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅶ (部屋排気系統)<br>閉じ込めダンパー              | {6047-4} | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅶ系統Ⅷ (給気系統)<br>ダクト                  |
| {6026} | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅶ (部屋排気系統)<br>ダクト               | {6043-2} | 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅶ (部屋排気系統)<br>閉じ込めダンパー (ワンスルー運転切替用) | {8045}   | 緊急設備 防火ダンパー                                        |

図トー2 P設ー2ー4ー1 (5) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (設備・機器一覧表)

| 管理番号   | 名称                                     | {6019}フィルタユニット（設備排気用）への接続 | 備考                 |
|--------|----------------------------------------|---------------------------|--------------------|
| {2044} | 粉末混合機 No. 2-1 粉末投入機                    | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2045} | 粉末混合機 No. 2-1 粉末混合機                    | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2046} | 粉末搬送機 No. 2-1<br>粉末搬送容器                | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2047} | 粉末搬送機 No. 2-1<br>粉末搬送容器昇降リフト           | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2048} | 供給瓶 No. 2-1<br>供給瓶                     | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2050} | プレス No. 2-1                            | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2051} | 焙焼炉 No. 2-1<br>研磨屑乾燥機                  | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2052} | 焙焼炉 No. 2-1<br>破碎装置                    | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2053} | 焙焼炉 No. 2-1<br>粉末取扱フード                 | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2054} | 焙焼炉 No. 2-1<br>粉末取扱機                   | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2055} | 焙焼炉 No. 2-1<br>焙焼炉                     | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2058} | 焼結炉搬送機 No. 2-1 圧粉ペレット搬送装置<br>圧粉ペレット搬送部 | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2059} | 焼結炉搬送機 No. 2-1 圧粉ペレット搬送装置<br>圧粉ペレット採取部 | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2060} | 焼結炉搬送機 No. 2-1 圧粉ペレット搬送装置<br>圧粉ペレット移載部 | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2061} | 焼結炉搬送機 No. 2-1 ポート搬送装置<br>ポート搬送装置部     | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2062} | 焼結炉搬送機 No. 2-1 ポート搬送装置<br>段積装置部        | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2063} | 有軌道搬送装置                                | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2064} | 連続焼結炉 No. 2-1                          | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2065} | 焼結ポート置台<br>焼結ポート置台部                    | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2066} | 焼結ポート置台<br>焼結ポート解体部                    | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |

図トー 2 P 設ー 2ー 4ー 1 (6) 気体廃棄設備 No. 1 (系統VII、系統VIII、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (局所排気系統 接続設備・機器一覧表)

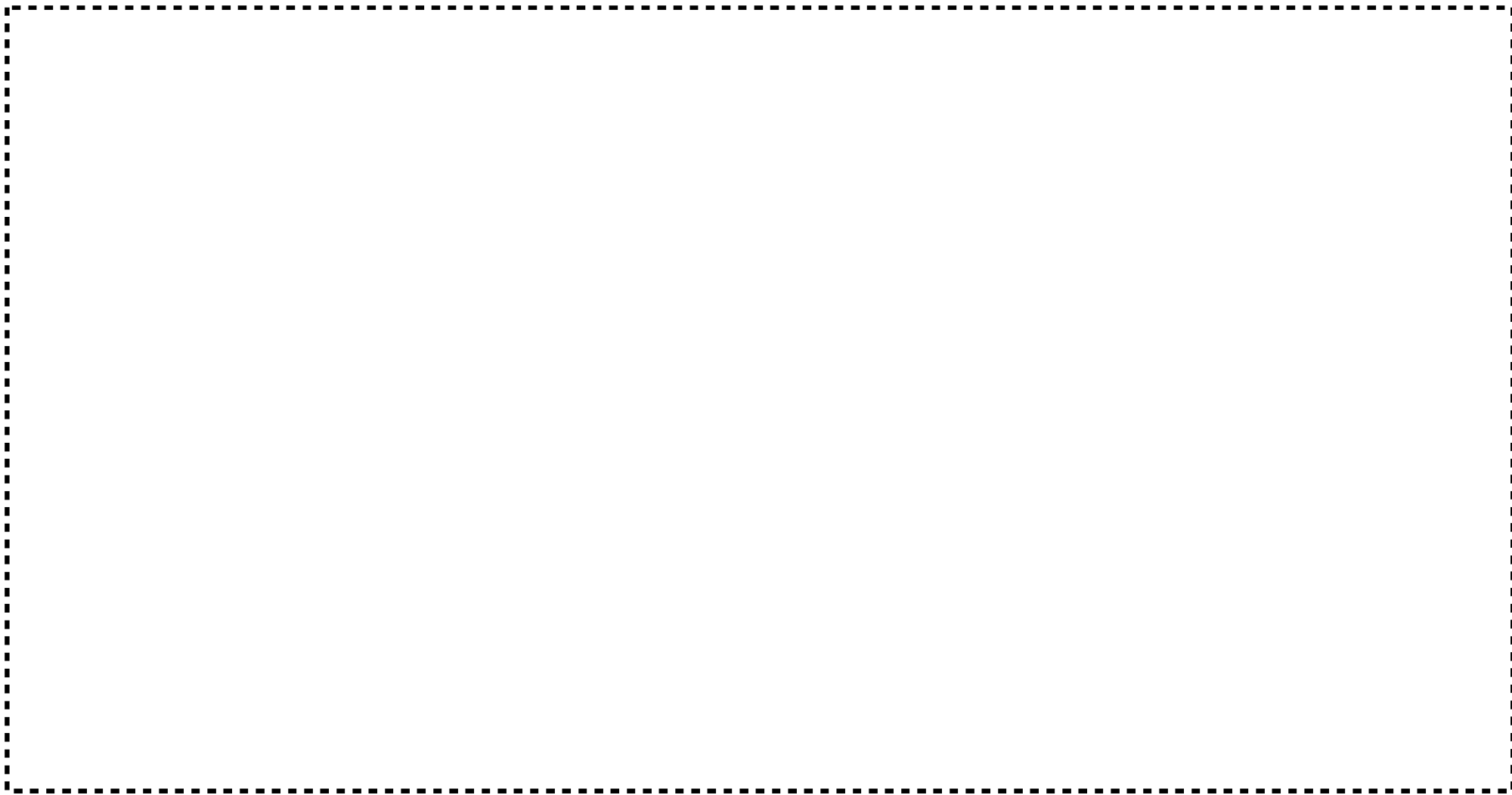
(1 / 2)

| 管理番号   | 名称                                            | {6019}フィルタユニット（設備排気用）への接続 | 備考                 |
|--------|-----------------------------------------------|---------------------------|--------------------|
| {2067} | ペレット搬送設備 No. 2-1<br>ペレット移載部                   | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2068} | ペレット搬送設備 No. 2-1<br>SUSトレイ搬送部                 | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2069} | ペレット搬送設備 No. 2-1<br>SUSトレイ保管台部                | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2070} | センタレス研削装置 No. 2-1<br>ペレット供給機                  | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2071} | センタレス研削装置 No. 2-1<br>センタレス研削盤                 | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2072} | センタレス研削装置 No. 2-1<br>ペレット乾燥機                  | ○                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2073} | ペレット搬送設備 No. 2-2 ペレット移載装置<br>ペレット検査台部         | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2074} | ペレット搬送設備 No. 2-2 ペレット移載装置<br>ペレット移載部          | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2075} | ペレット搬送設備 No. 2-2 ペレット移載装置<br>ペレット採取部          | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2076} | ペレット搬送設備 No. 2-2 ペレット搬送装置<br>波板搬送コンベア No. 1 部 | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2077} | ペレット搬送設備 No. 2-2 ペレット搬送装置<br>波板搬送コンベア No. 2 部 | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2078} | ペレット搬送設備 No. 2-2 ペレット搬送装置<br>目視検査部            | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2079} | ペレット搬送設備 No. 2-2 波板移載装置<br>入庫前コンベア部           | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2080} | ペレット搬送設備 No. 2-2 波板移載装置<br>波板移載部              | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {2081} | センタレス研削装置 No. 2-1 研磨屑回収装置                     | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {3025} | ペレット検査装置 No. 5                                | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {3026} | ペレット編成挿入機 No. 2-1<br>ペレット保管箱搬送部               | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {3027} | ペレット編成挿入機 No. 2-1<br>ペレット編成挿入部                | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |
| {3028} | 燃料棒解体装置 No. 2                                 | —                         | 接続部にフレキシブルダクトを設ける。 |

図トー 2 P 設一 2 - 4 - 1 (6) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (局所排気系統 接続設備・機器一覧表)

(2 / 2)

1302



図卜-2 P設-2-4-2 (1) 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅶ (部屋排気系統) 排風機 (307-F)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



1303



図卜-2 P設-2-4-2 (2) 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅷ (局所排気系統) 排風機 (308-F)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

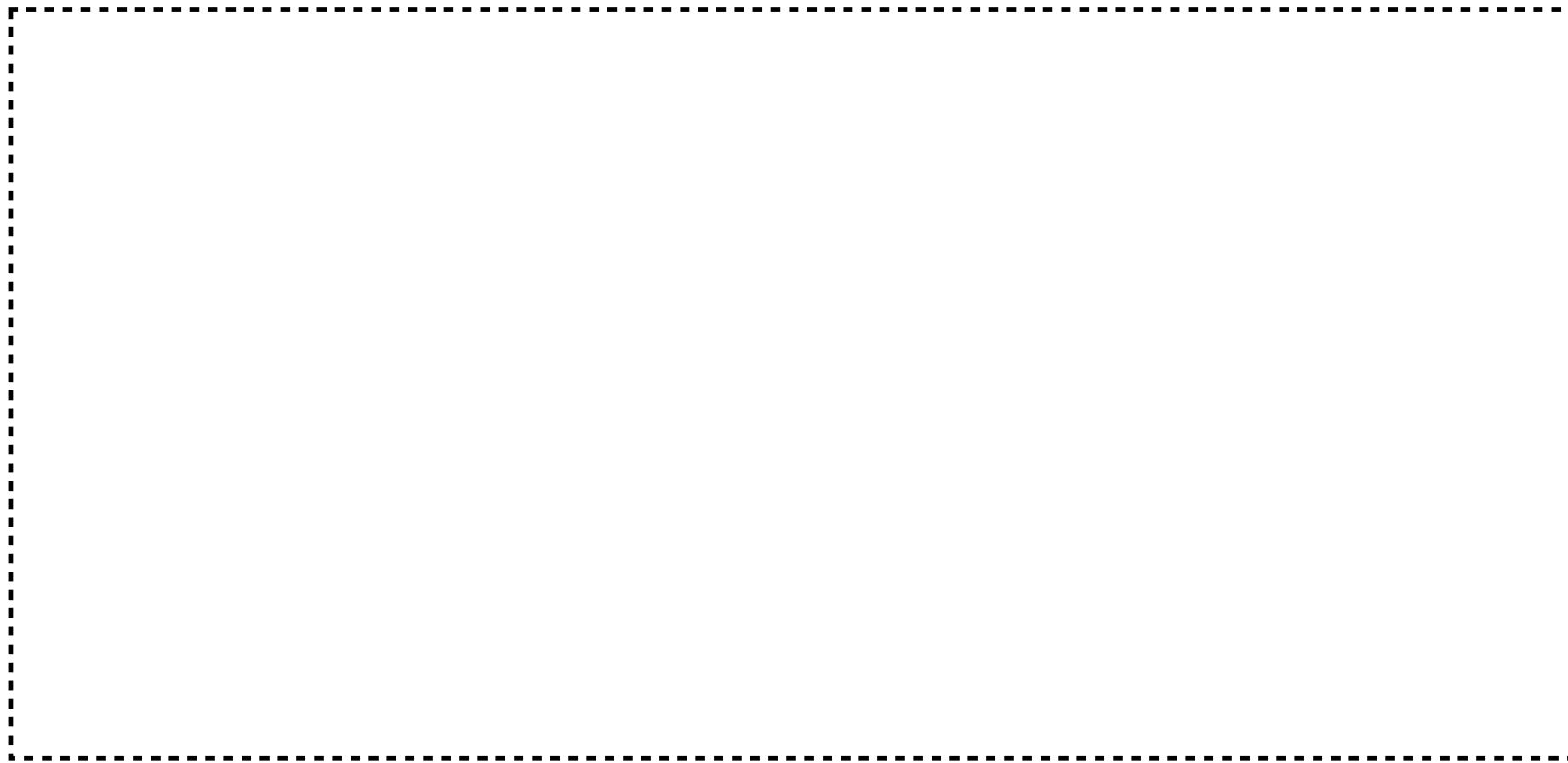


図トー 2 P 設ー 2ー 4ー 2 (3) 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅶ (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-407) (1 / 2)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

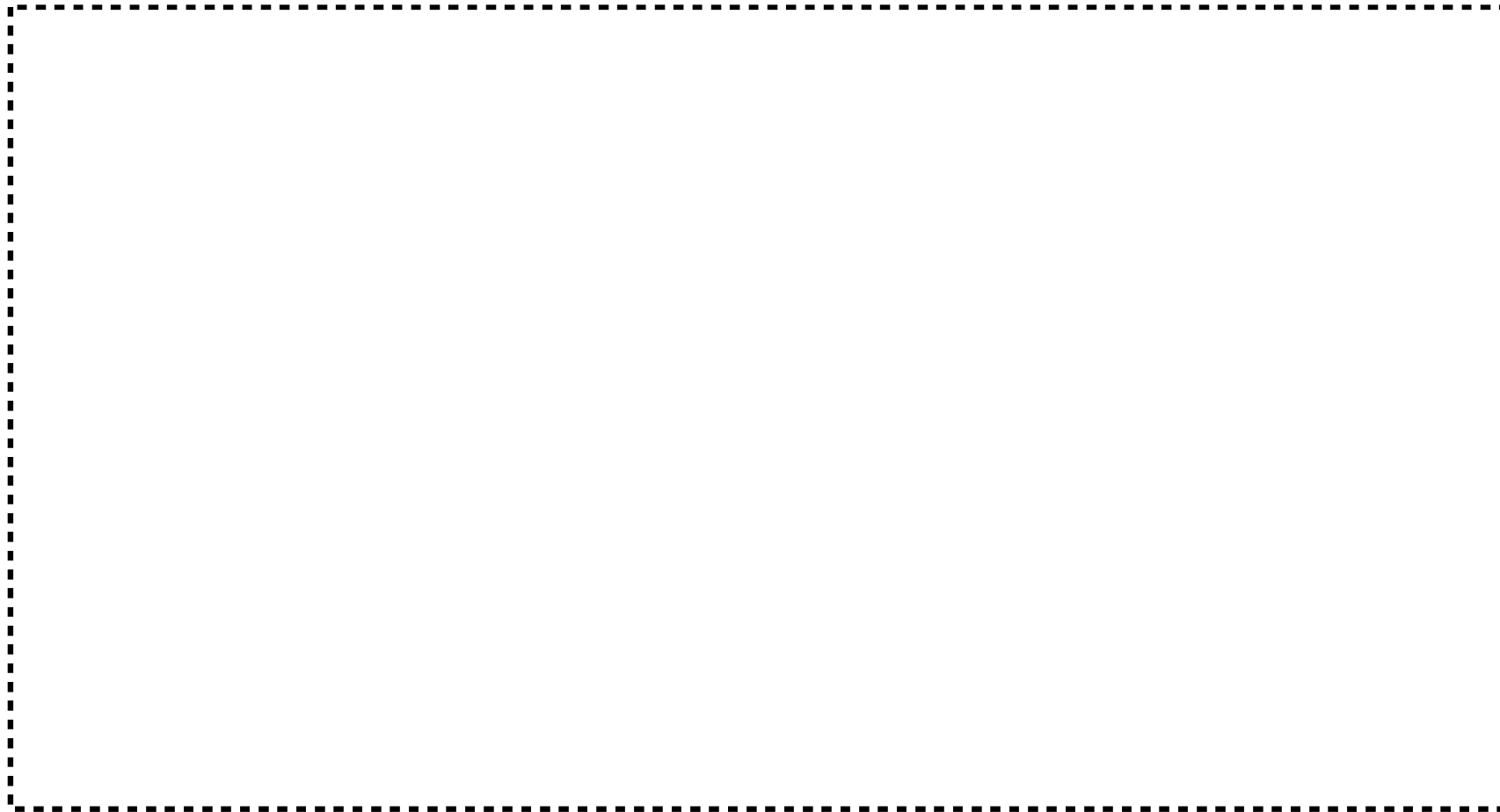
1305



図トー 2 P 設ー 2 - 4 - 2 (3) 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅶ (部屋排気系統) フィルタユニット (FU-407) (2 / 2)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図トー 2 P 設ー 2 - 4 - 2 (4) 気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅷ (局所排気系統) フィルタユニット (FU-408) (1 / 2)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1307

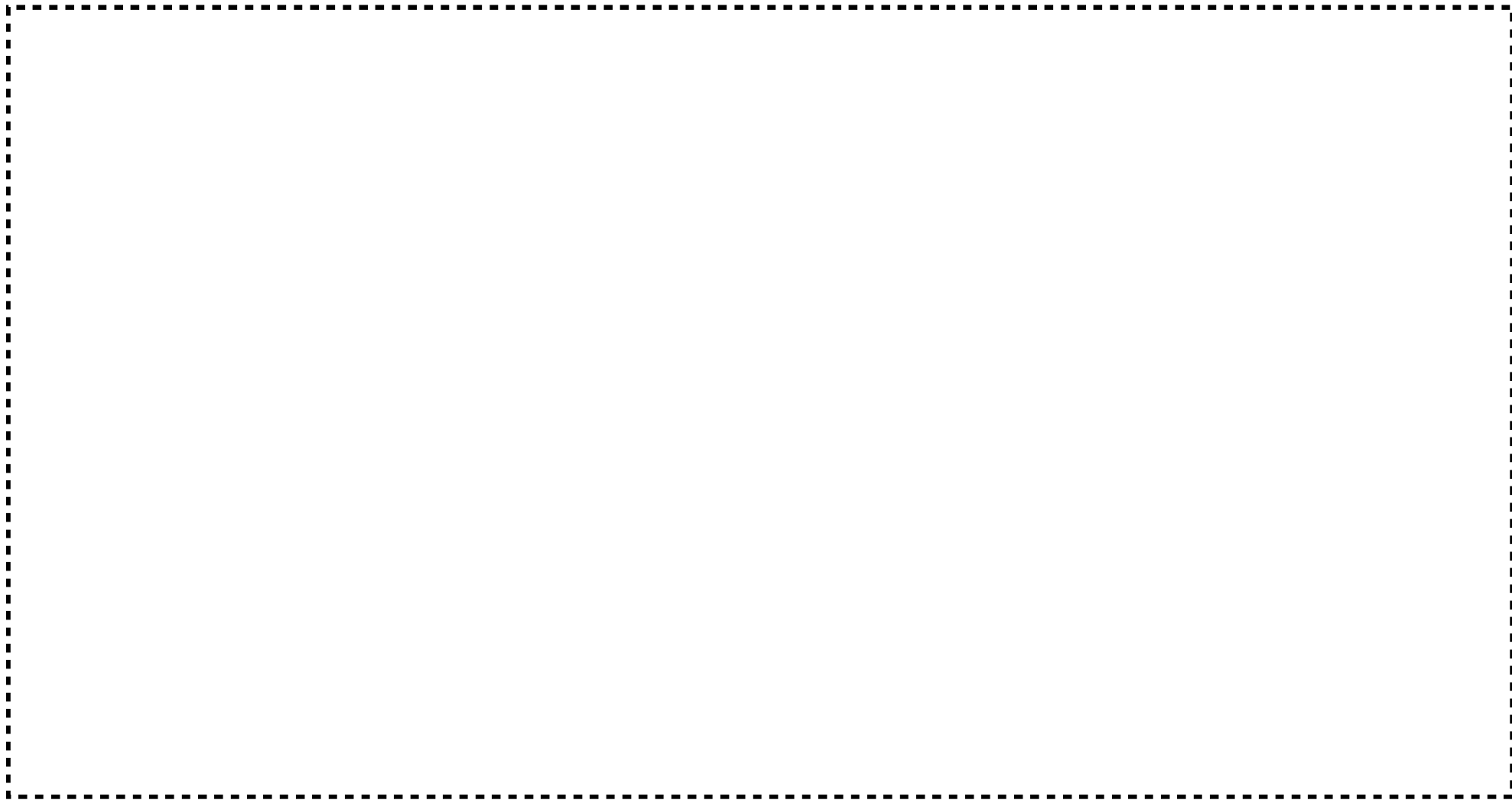


図トー 2 P 設ー 2ー 4ー 2 (4) 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅷ (局所排気系統) フィルタユニット (FU-408) (2 / 2)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1308



図ト-2 P設-2-4-2 (5) 気体廃棄設備 No.1 系統VII系統VIII (給気系統) 給気ユニット (204AC)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

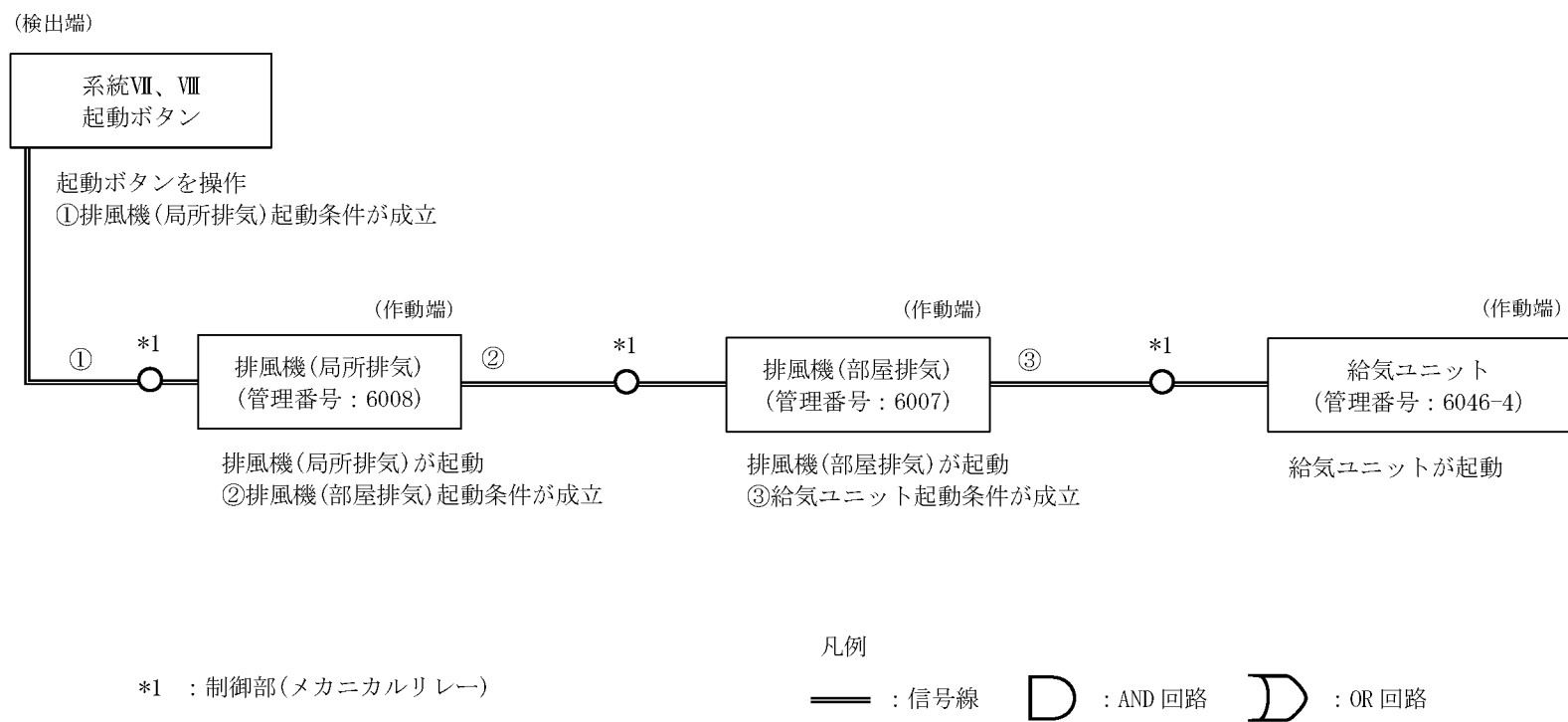
(単位 mm)



図ト-2 P設-2-4-3 気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) 差圧計及び警報盤 配置図

気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) 起動時

1310

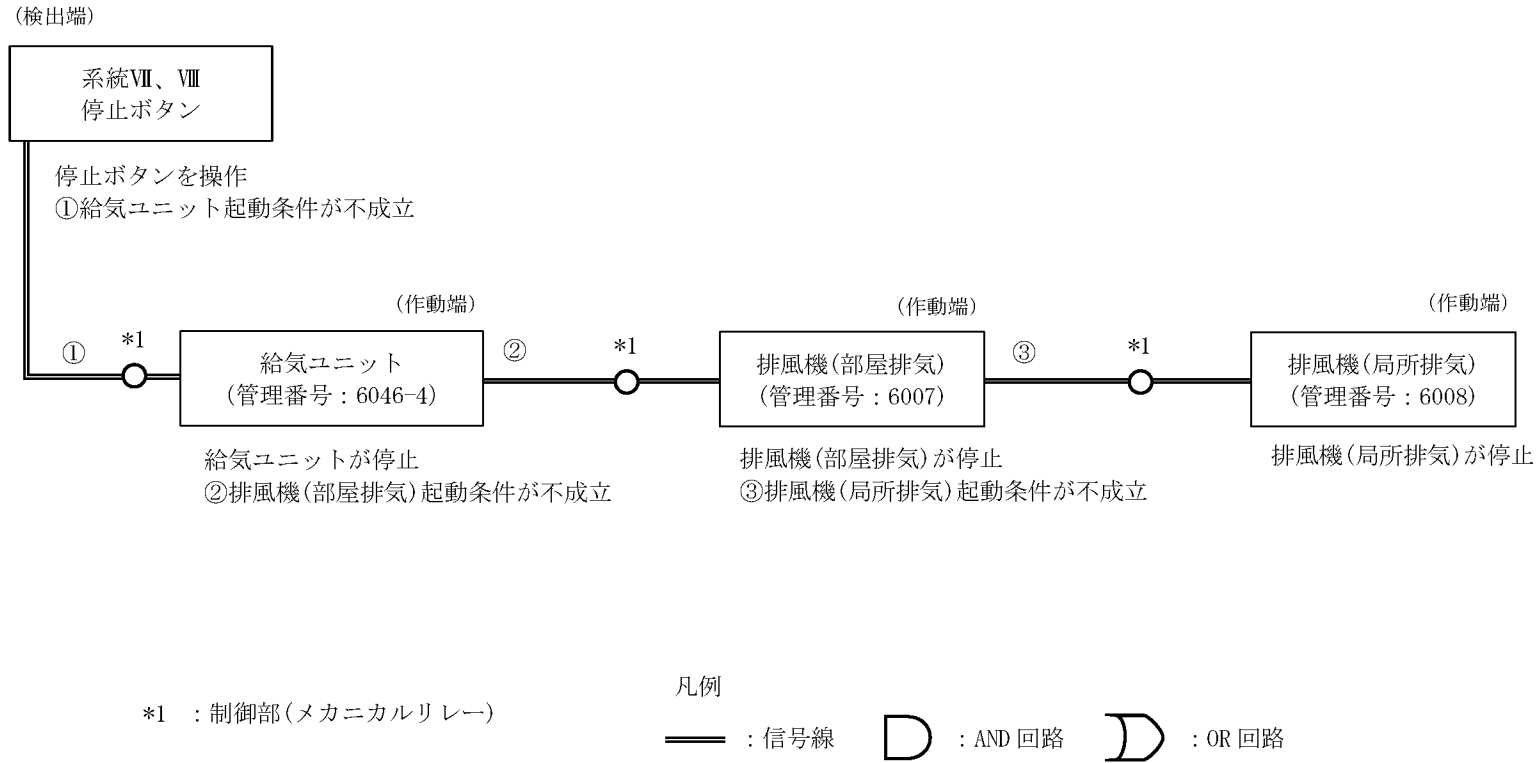


図トー2 P設-2-4-4 (1) 気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機の起動停止時)  
(1 / 2)

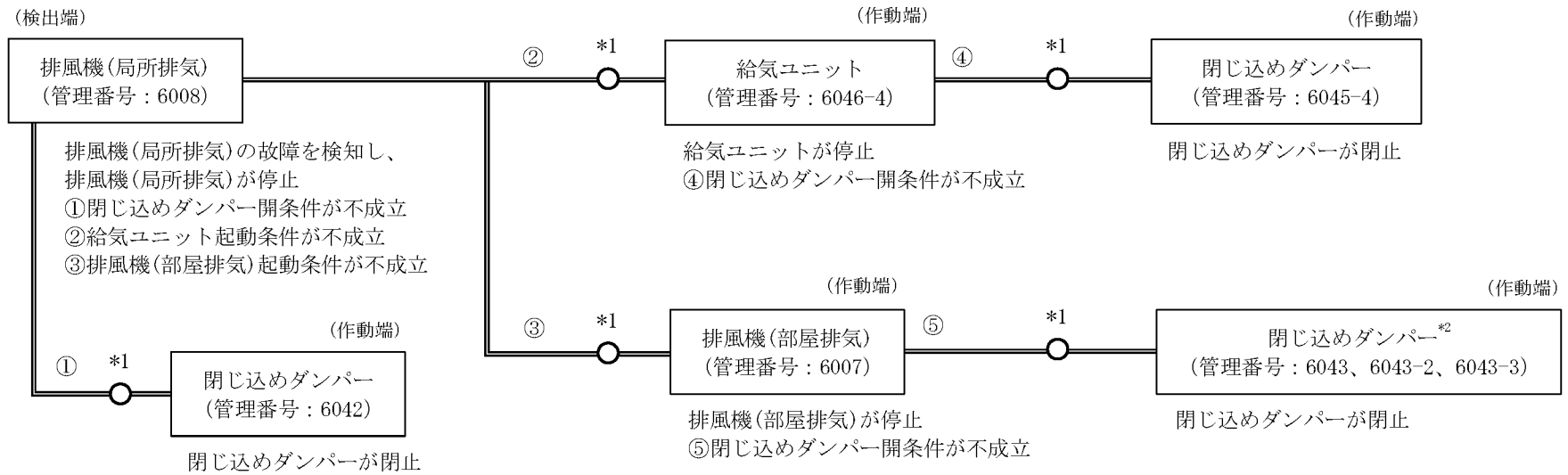


気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) 停止時

1311



図ト-2P設-2-4-4(1) 気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機の起動停止時)  
(2/2)



\*1 : 制御部(メカニカルリレー)

\*2 : 閉じ込めダンパー(ワンスルー運転切替用)(管理番号: 6043-2)及び  
閉じ込めダンパー(リサイクル運転切替用)(管理番号: 6043-3)は  
切替運転のため、開放している閉じ込めダンパーが閉止

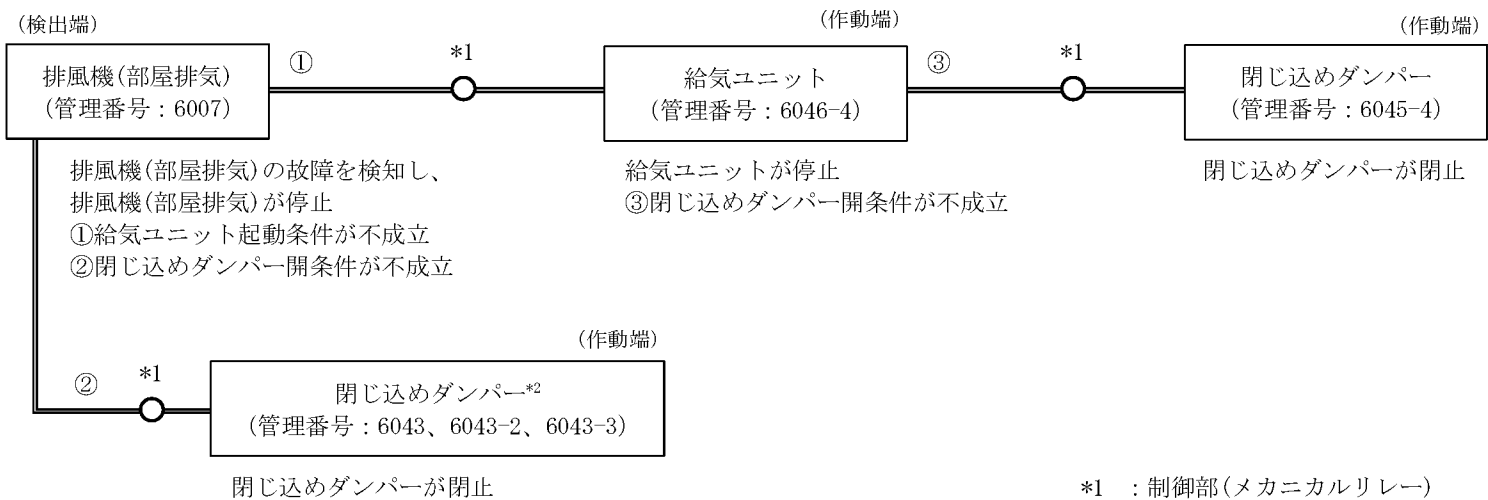
凡例

— : 信号線

D : AND 回路

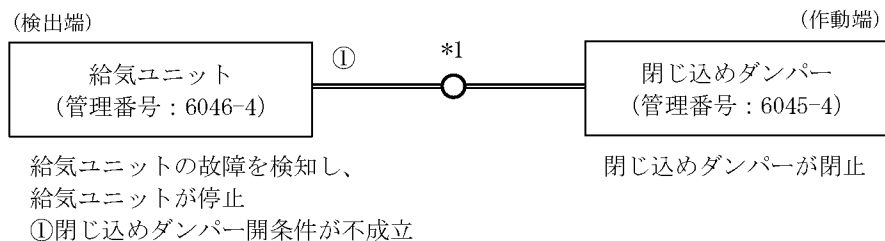
D : OR 回路

気体廃棄設備 No. 1 系統VII (部屋排気系統) 排風機異常時



1313

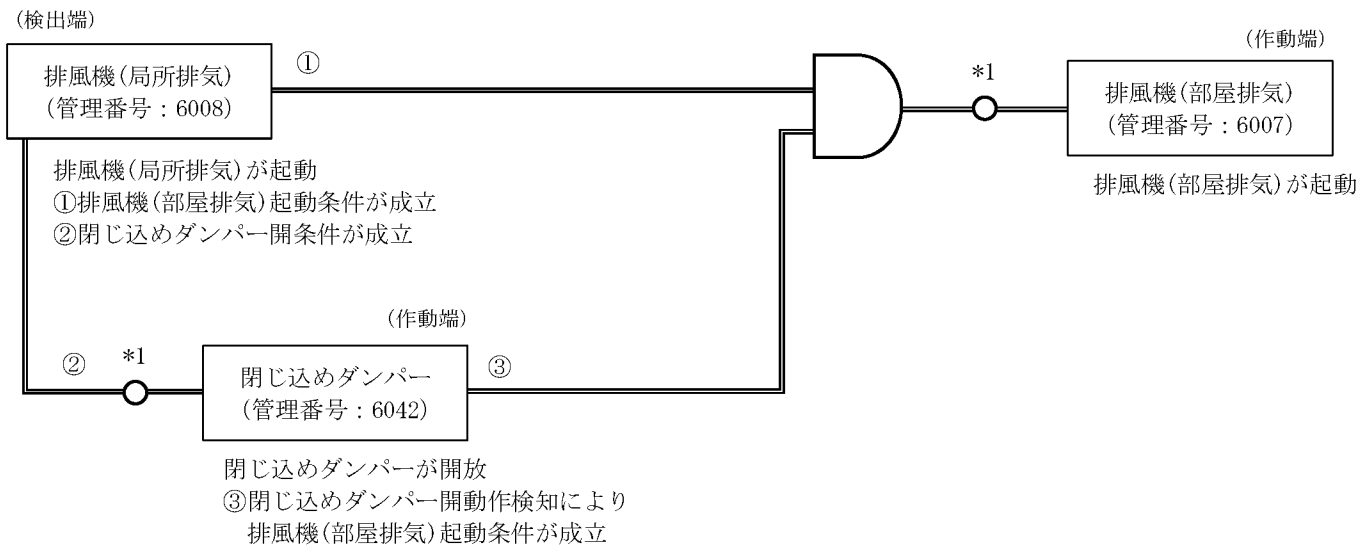
気体廃棄設備 No. 1 系統VII系統VIII (給気系統) 給気ユニット異常時



凡例  
— : 信号線    D : AND 回路    D : OR 回路

図ト-2P設-2-4-4 (2) 気体廃棄設備 No. 1 (系統VII、系統VIII、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)  
(2/2)

気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) 排風機(局所排気) 起動後



\*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例

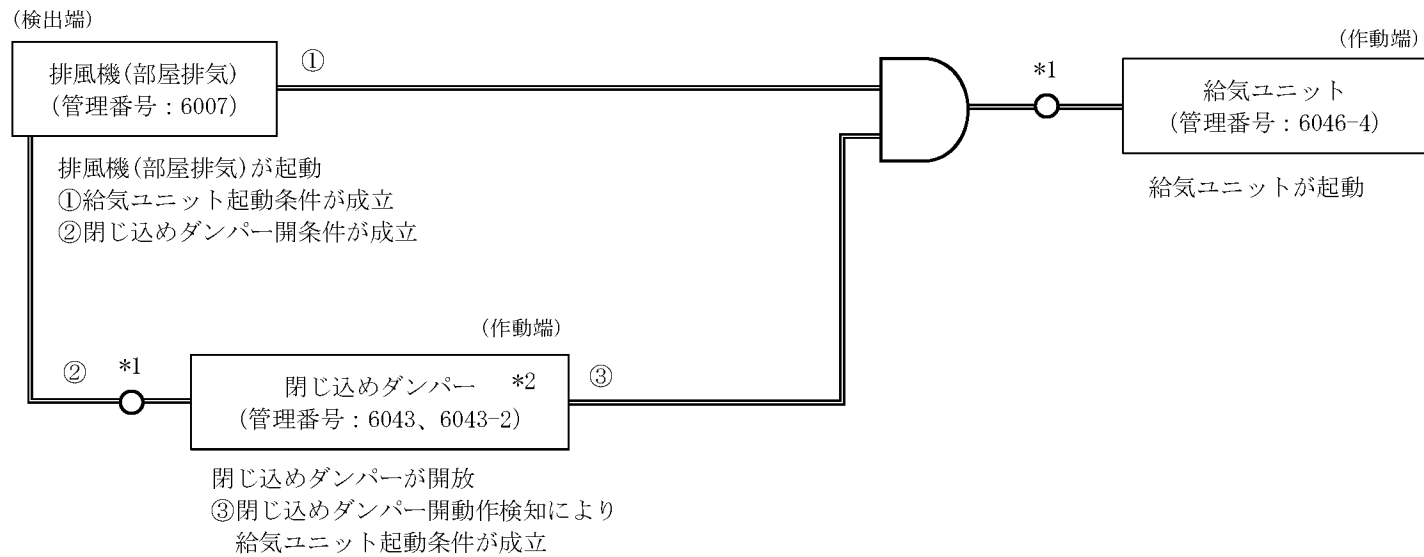
— : 信号線

D : AND 回路

D : OR 回路

図トー 2 P 設- 2-4-4 (3) 気体廃棄設備 No. 1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)

気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) 排風機(部屋排気) 起動時



\*1 : 制御部(メカニカルリレー)

\*2 : 閉じ込めダンパー(リサイクル運転切替用) (管理番号: 6043-3)は、  
起動時には開放しない

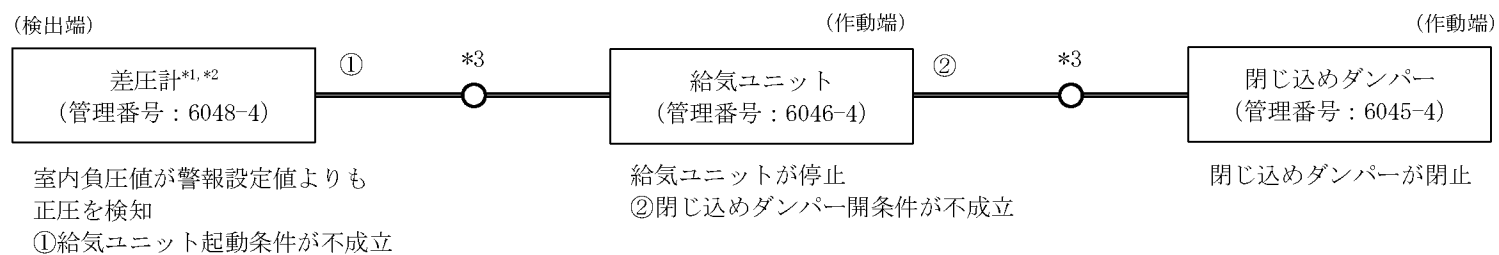
凡例

— : 信号線

D : AND 回路

D : OR 回路

図ト-2 P 設-2-4-4 (3) 気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)



\*1 : 第2-2ペレット室に設置する差圧計のみ  
室内負圧異常を検知時に給気ユニット起動条件が不成立

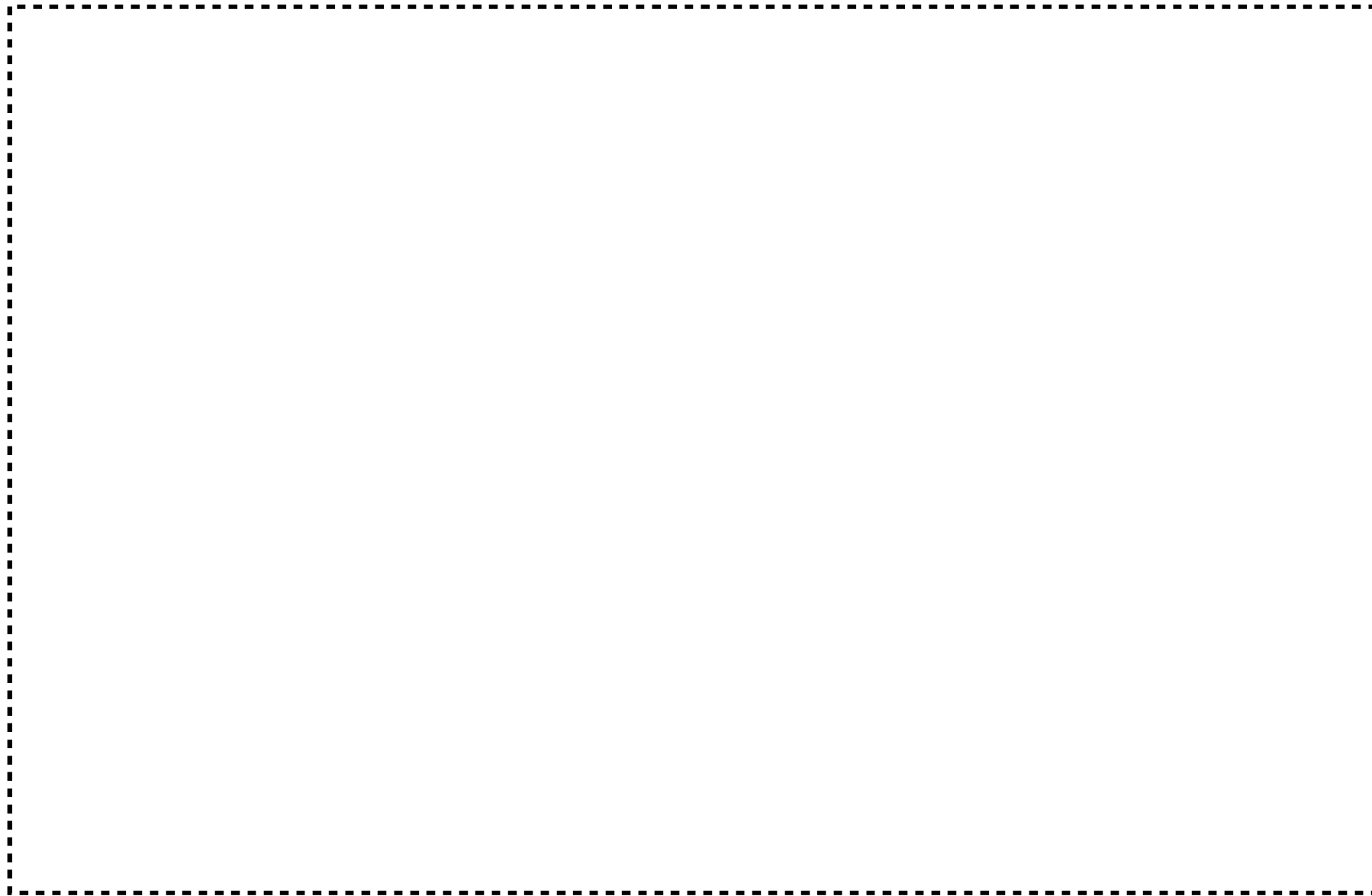
\*2 : 室内負圧値が警報設定値よりも正圧を検知した場合、  
警報盤から自動的に警報を発報

\*3 : 制御部(メカニカルリレー)

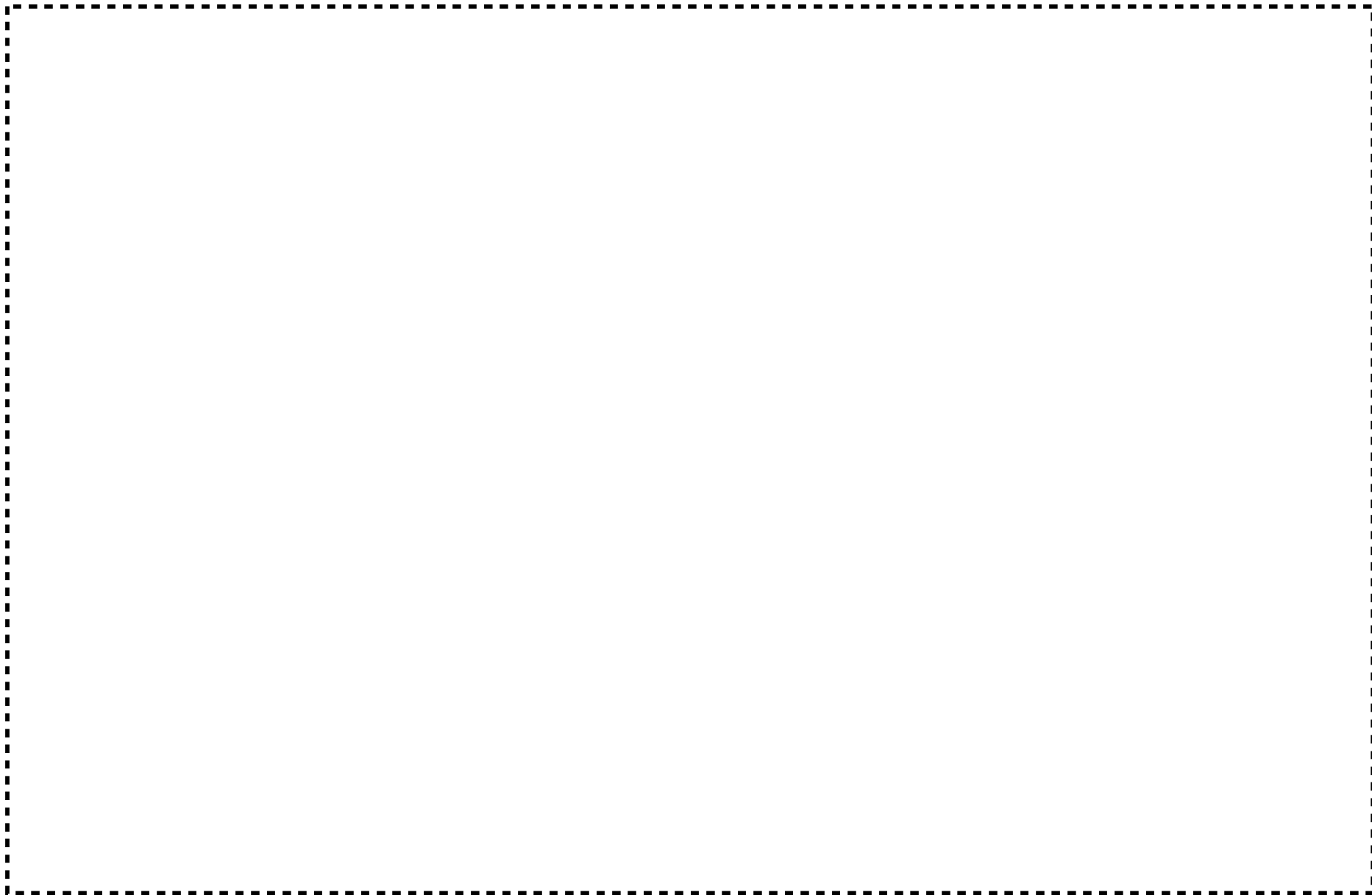
凡例

— : 信号線    D : AND回路    DD : OR回路

図ト-2 P設-2-4-4 (4) 気体廃棄設備 No.1 (系統VII、系統VIII、給気系統) インターロック信号系統図 (室内負圧異常時)

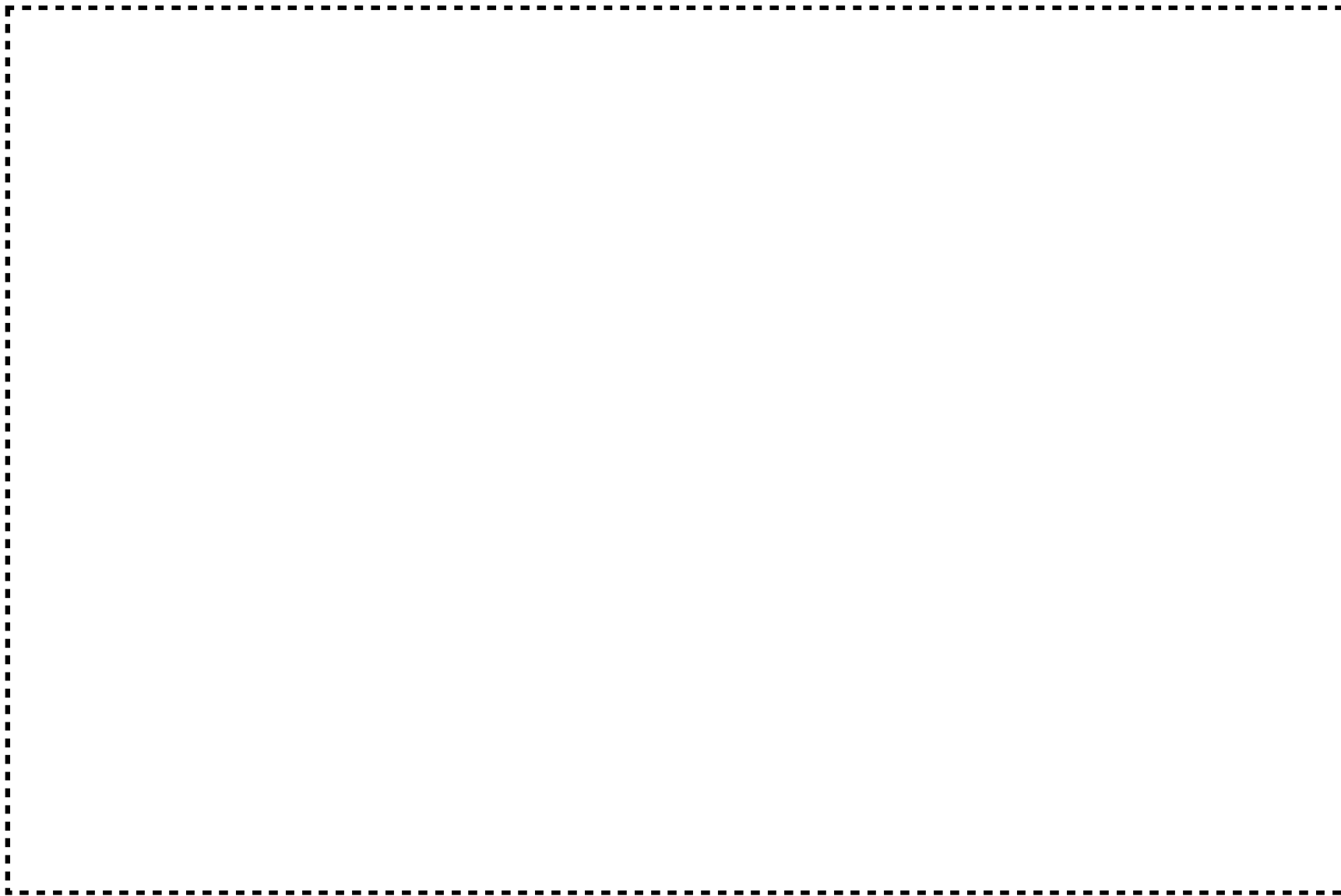


図ト-2 P設-2-4-5 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) 改造図 (①ダクトルートの変更) (1 / 5)



図ト-2 P設-2-4-5 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) 改造図 (①ダクトルートの変更) (2 / 5)





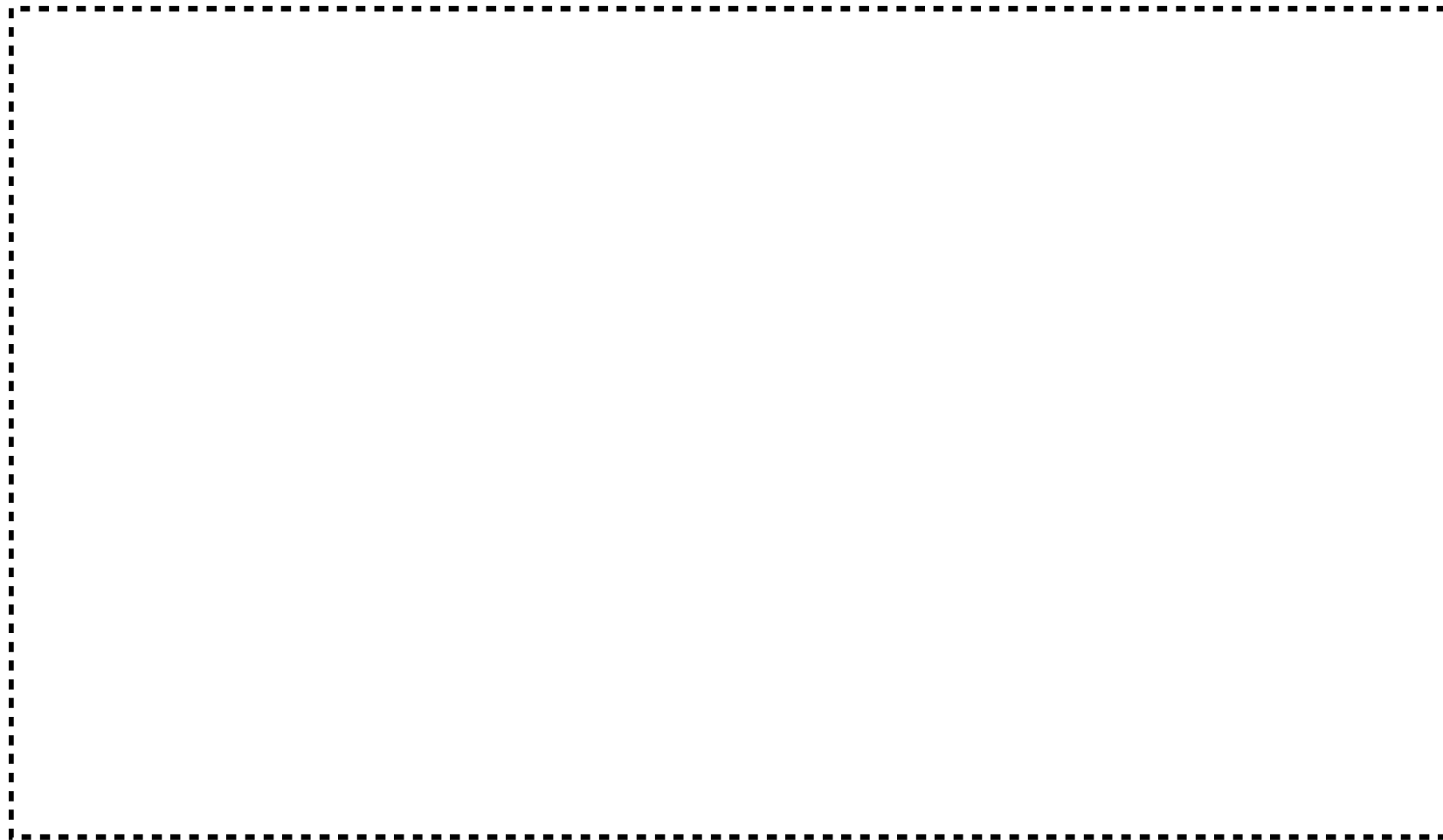
図ト-2 P設-2-4-5 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) 改造図 (①ダクトルートの変更) (3 / 5)



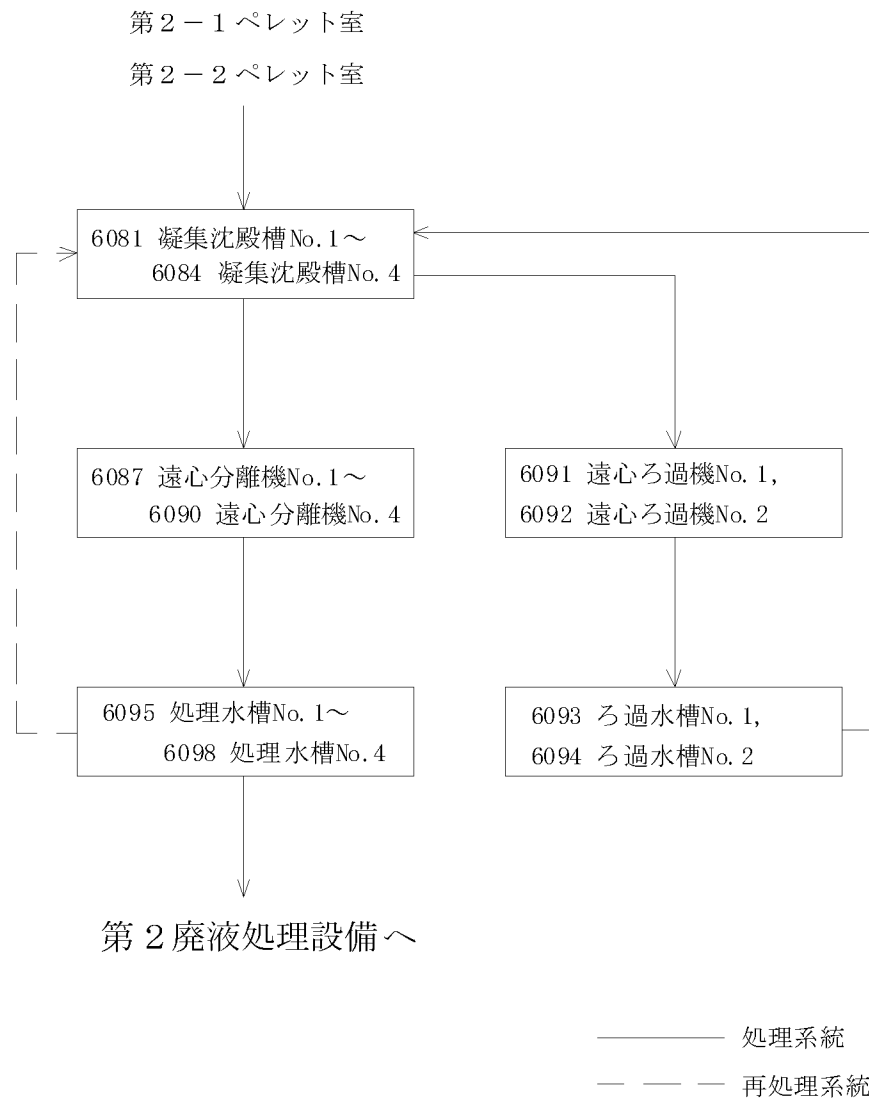
図ト-2 P設-2-4-5 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) 改造図 (①ダクトルートの変更) (4/5)



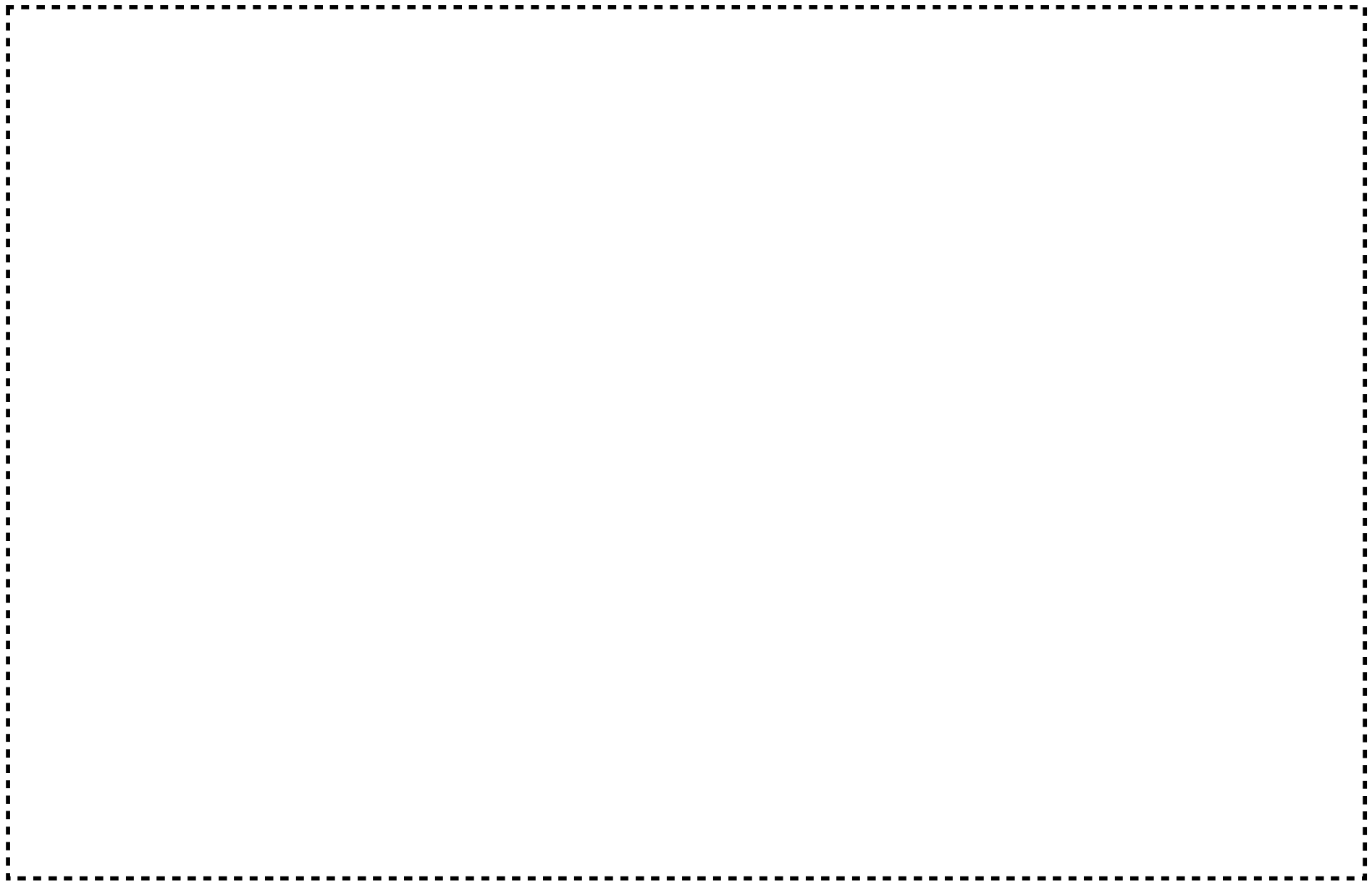
図ト-2 P設-2-4-5 気体廃棄設備 No.1 (系統Ⅶ、系統Ⅷ、給気系統) 改造図 (①ダクトルートの変更) (5 / 5)



図トー 2 P 設ー 2ー 5 気体廃棄設備 No. 1 改造図 (金属製カバーの設置)



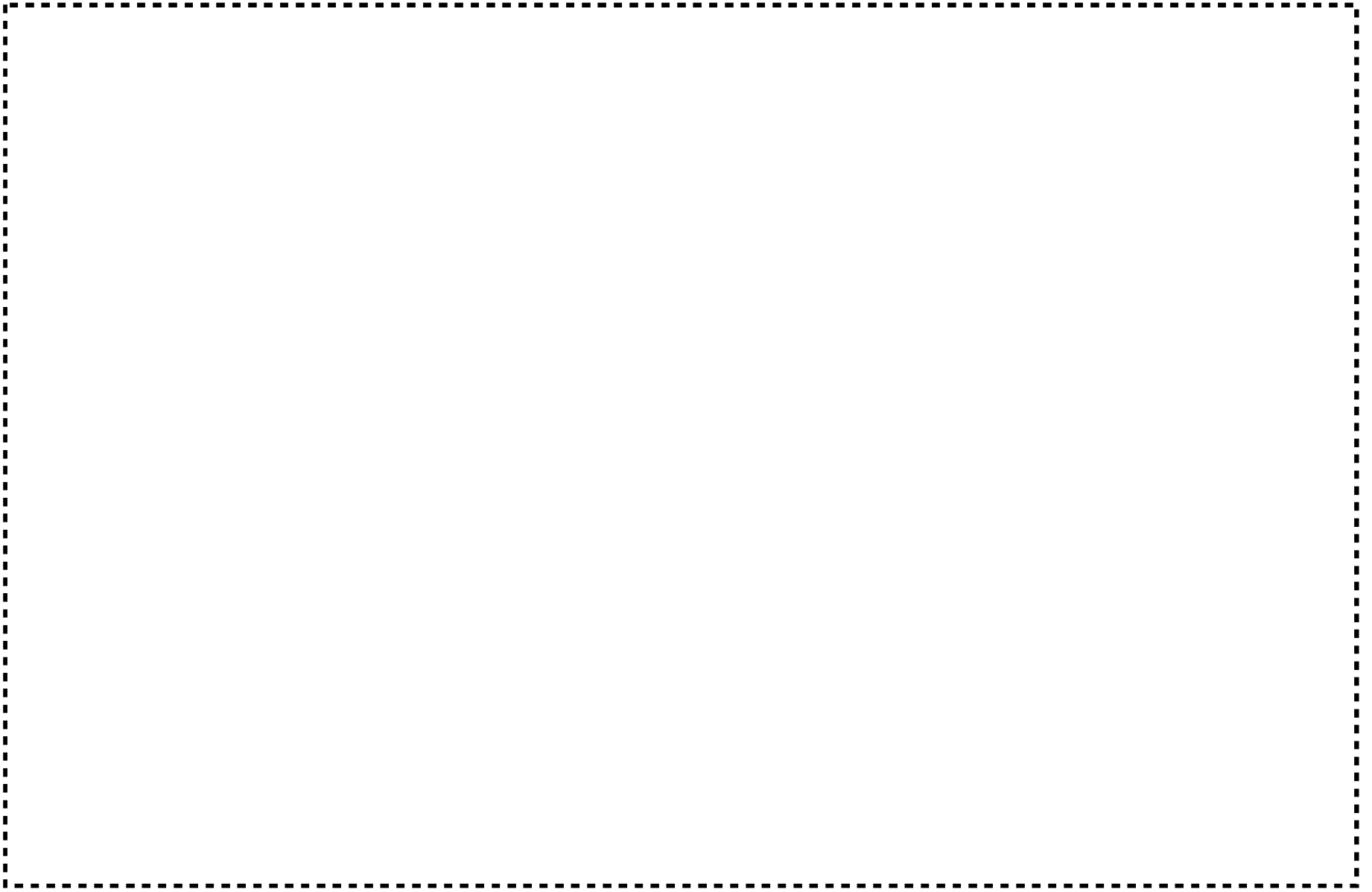
図ト-2 P設-3-1 第1 廃液処理設備 廃液系統図



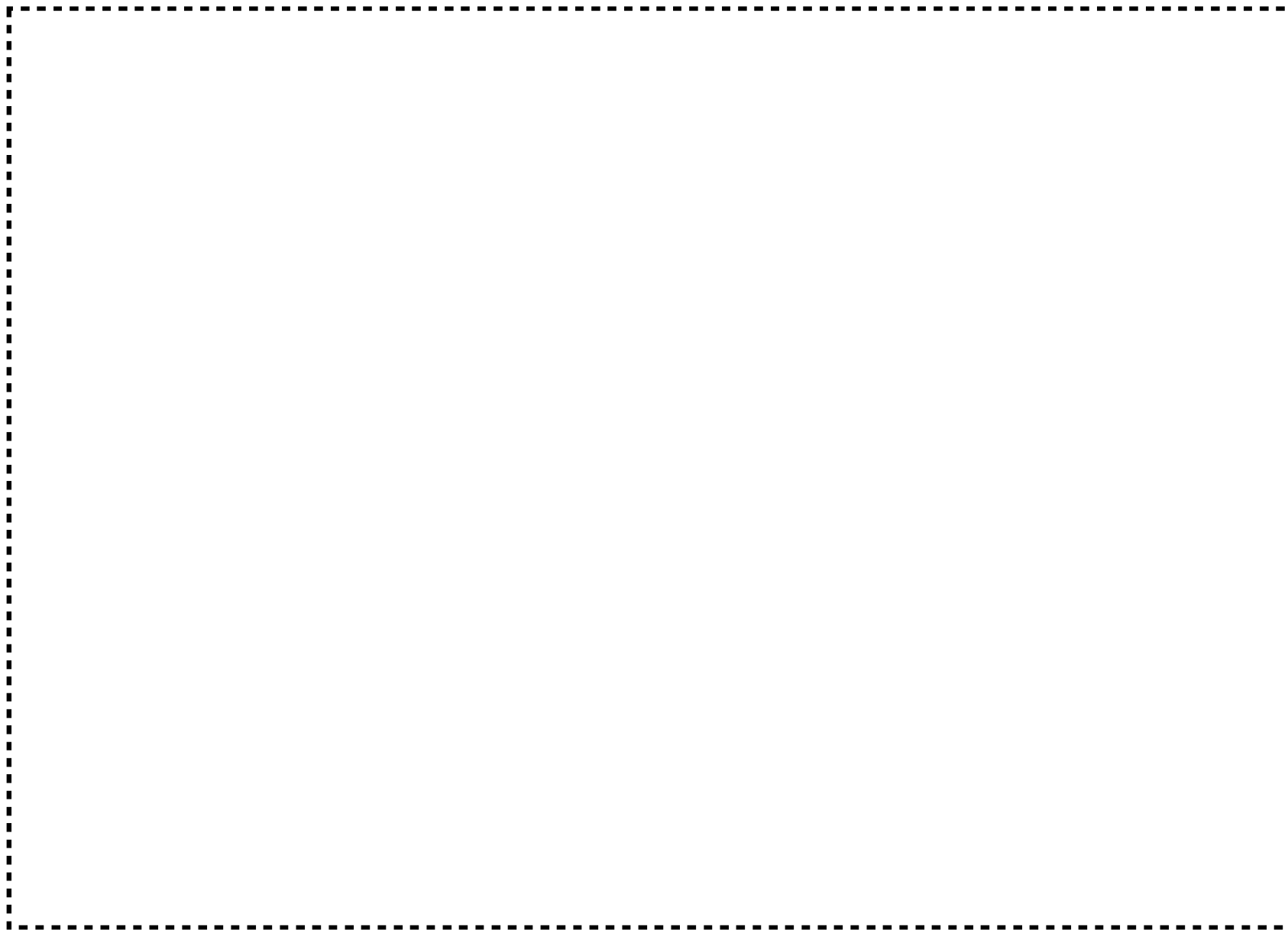
図ト-2 P設-3-2 (1) 第1 廃液処理設備 配置図 (1 / 2)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図卜-2 P設-3-2 (2) 第1 廃液処理設備 配置図 (2 / 2)

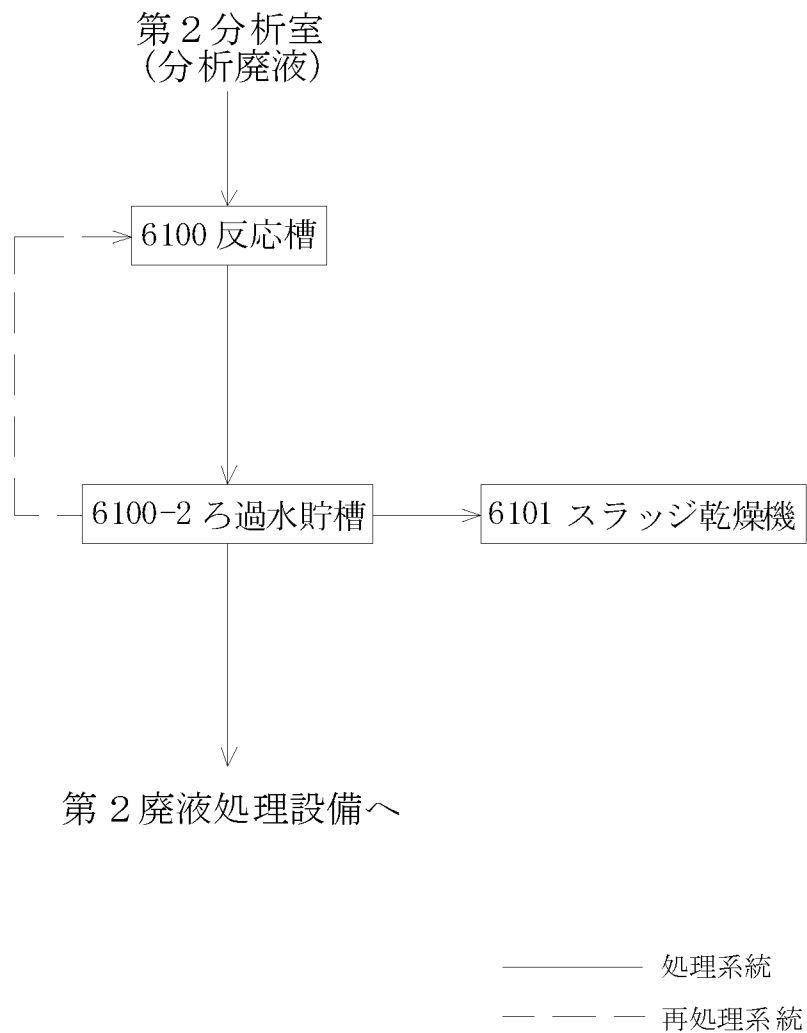


図卜-2 P設-3-3 第1 廃液処理設備 補強詳細図

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

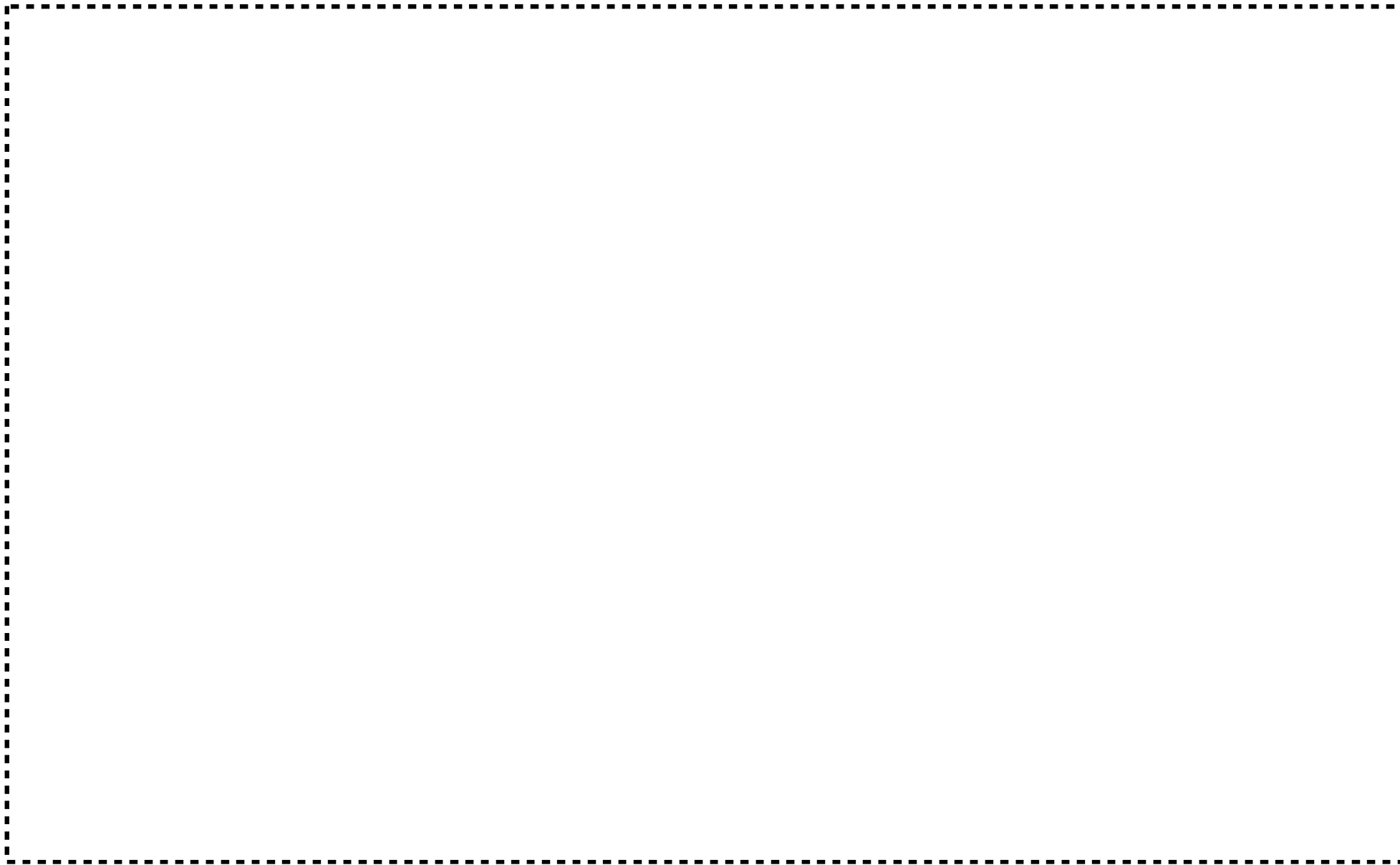
(単位 mm)





図ト-2 P設-4-1 分析廃液処理設備 廃液系統図

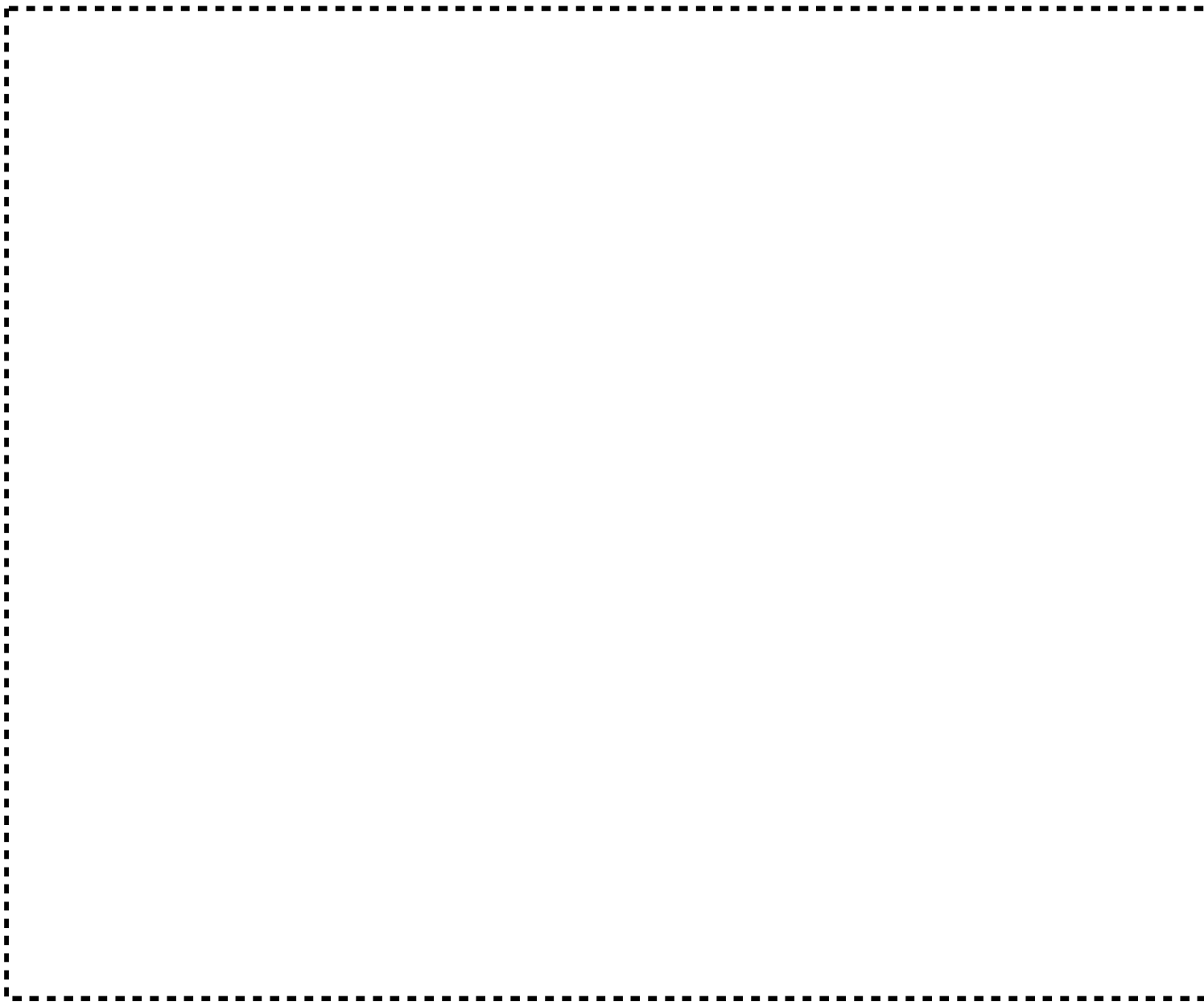
1328



図ト-2 P設-4-2 (1) 分析廃液処理設備 配置図 (1 / 2)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図ト-2 P設-4-2 (2) 分析廃液処理設備 配置図 (2 / 2)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

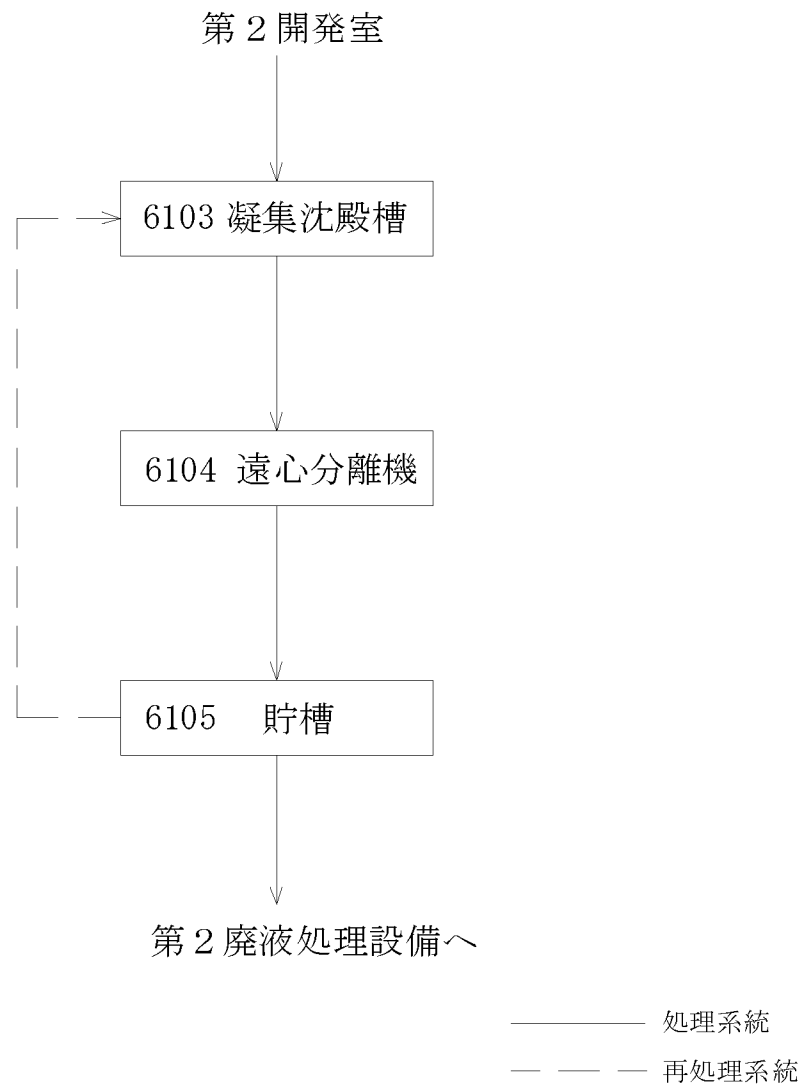
(単位 mm)



図トー 2 P 設 - 4 - 3 分析廃液処理設備 スラッジ乾燥機

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

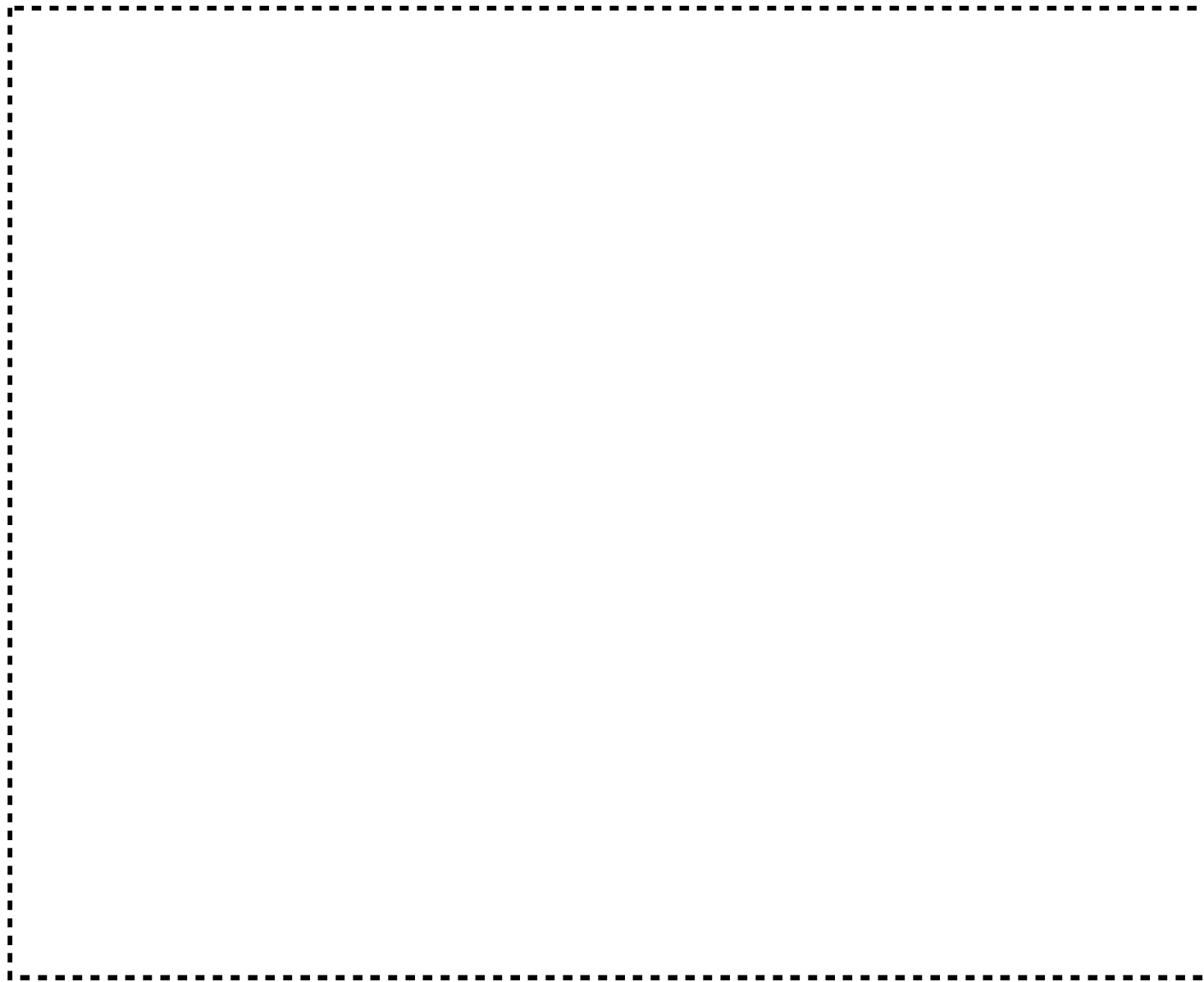


図卜-2 P設-5-1 開発室廃液処理設備 廃液系統図

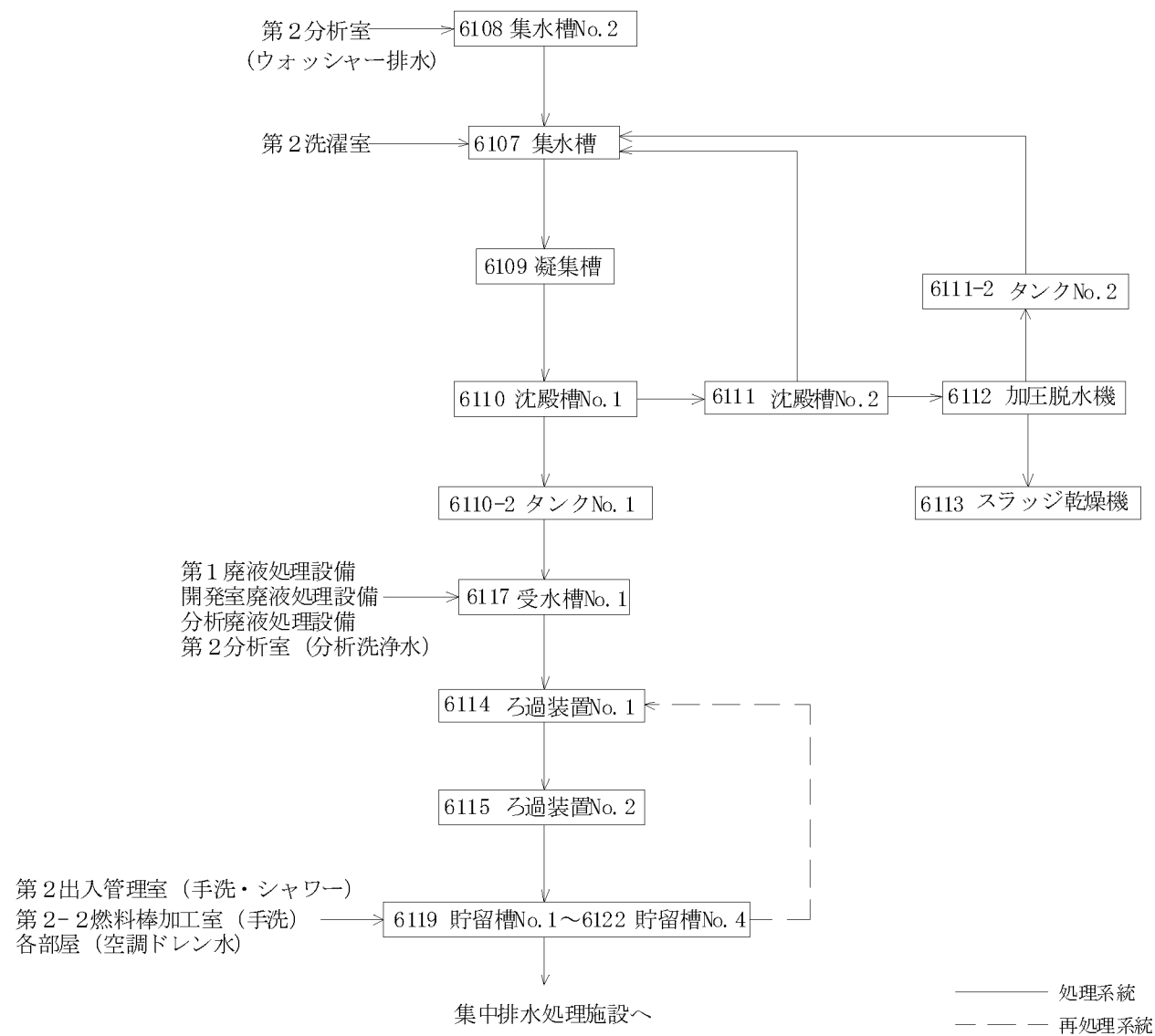
1332



図卜-2 P設-5-2 (1) 開発室廃液処理設備 配置図 (1 / 2)

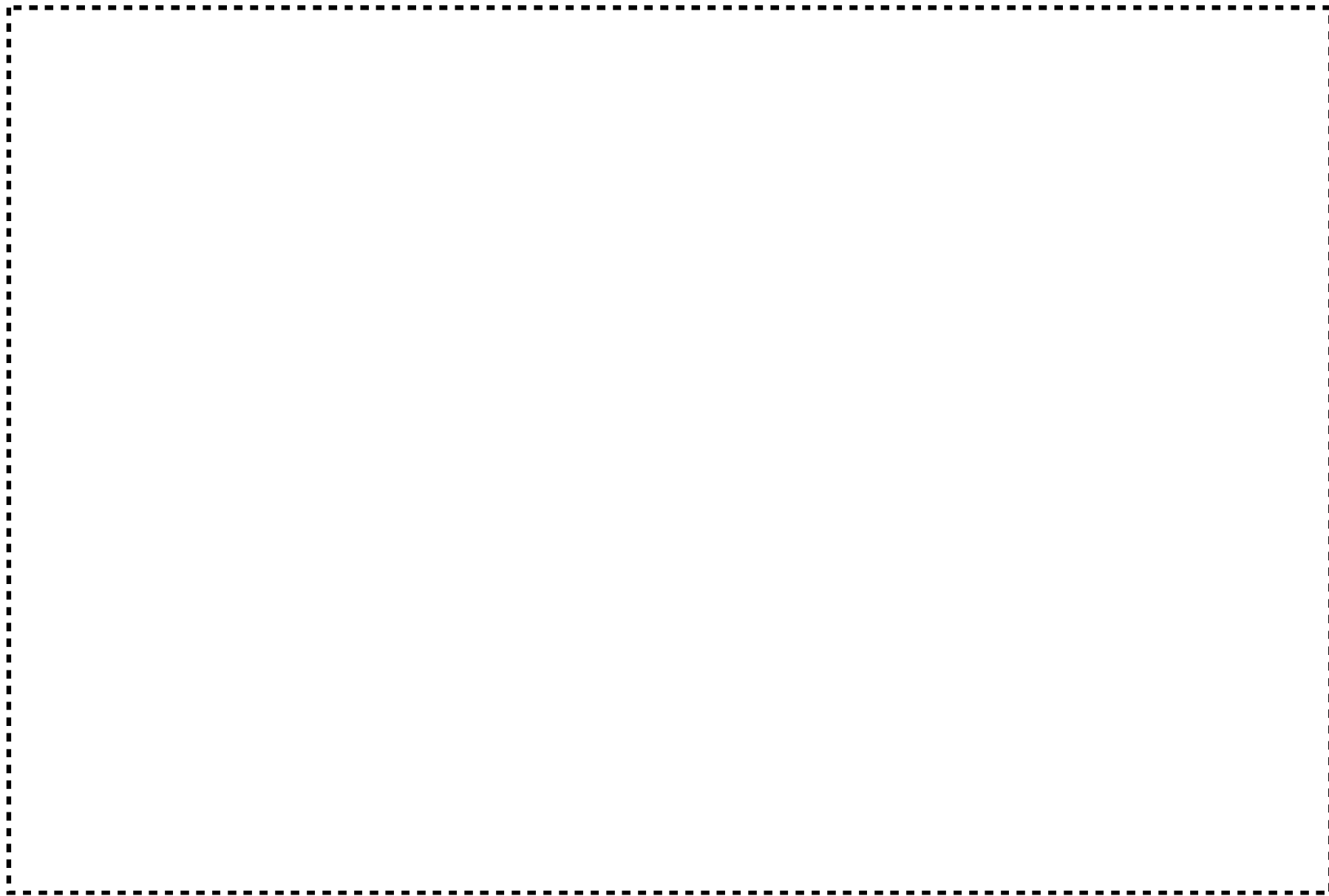


図卜-2 P設-5-2 (2) 開発室廃液処理設備 配置図 (2 / 2)



図ト-2 P設-6-1 第2 廃液処理設備 廃液系統図

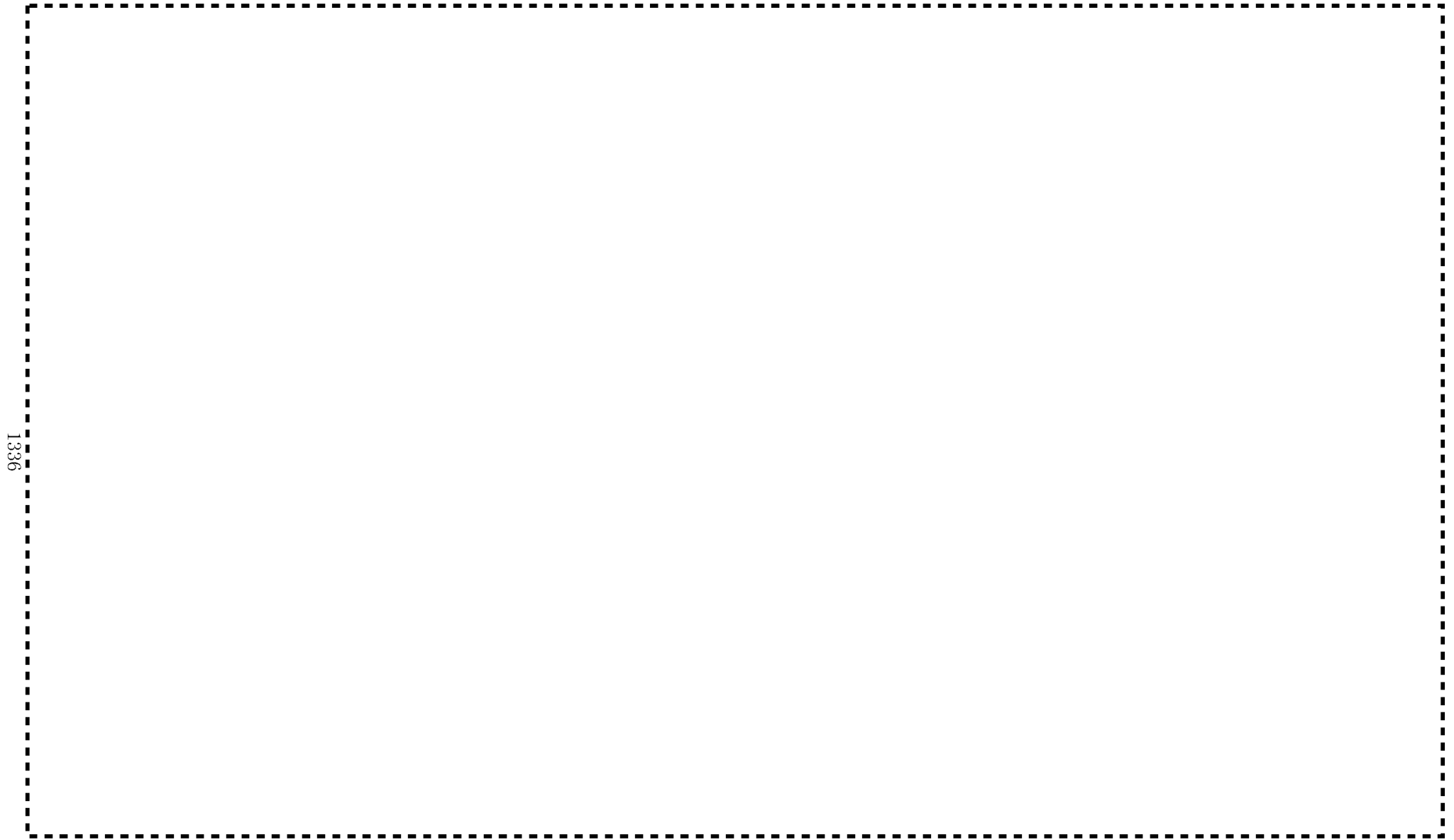




図卜-2 P設-6-2 (1) 第2 廃液処理設備 配置図 (1 / 2)

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図ト-2 P設-6-2 (2) 第2 廃液処理設備 配置図 (2 / 2)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図卜-2 P設-6-3 第2 廃液処理設備 集水槽 No.2

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

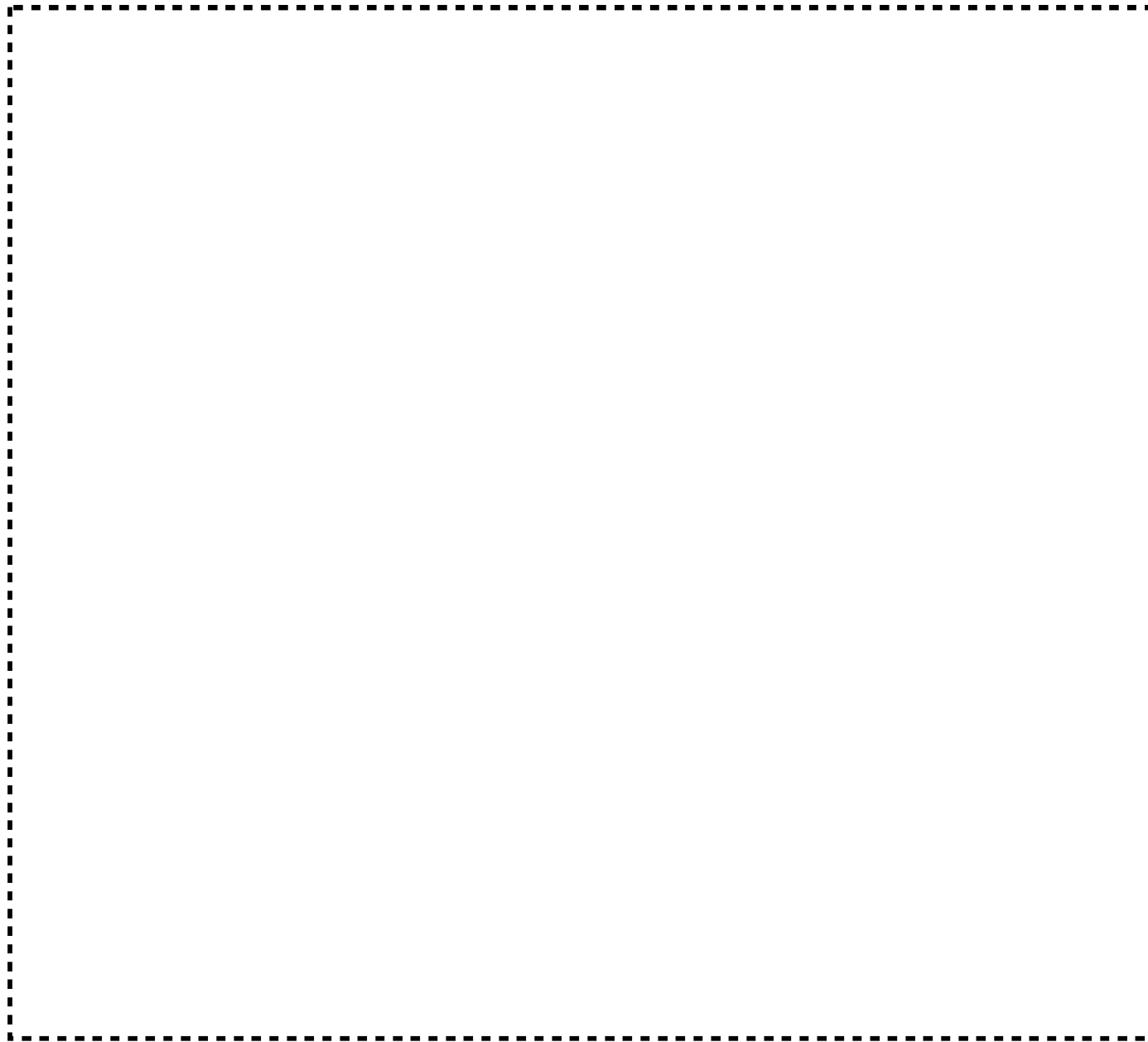
(単位 mm)



図卜-2 P設-6-4 第2 磨液処理設備 沈殿槽 No. 1

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図ト-2 P設-6-5 第2 廃液処理設備 沈殿槽 No.2

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

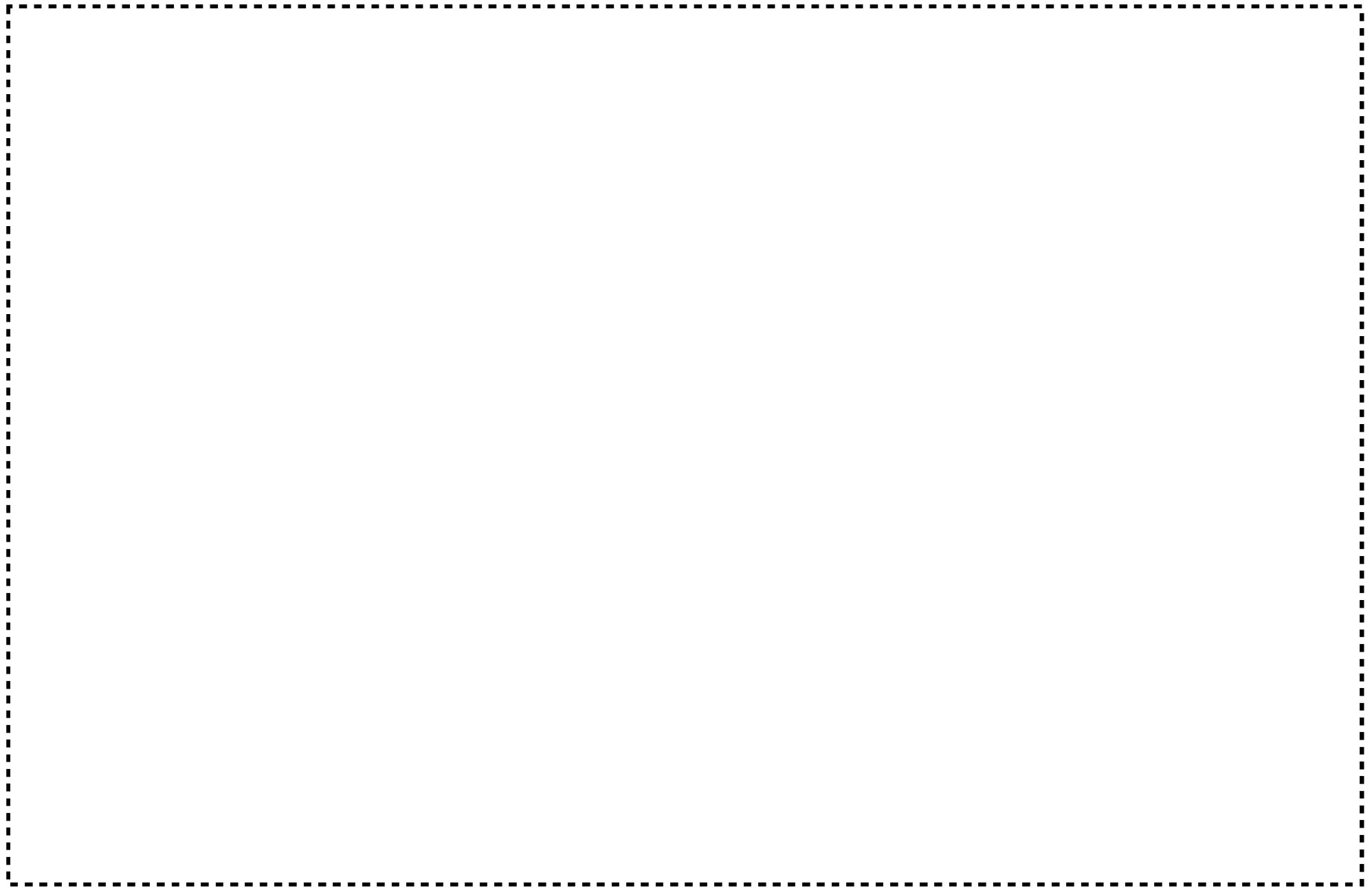
1340



図トー 2 P 設一 6 - 6 第 2 廃液処理設備 スラッジ乾燥機

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



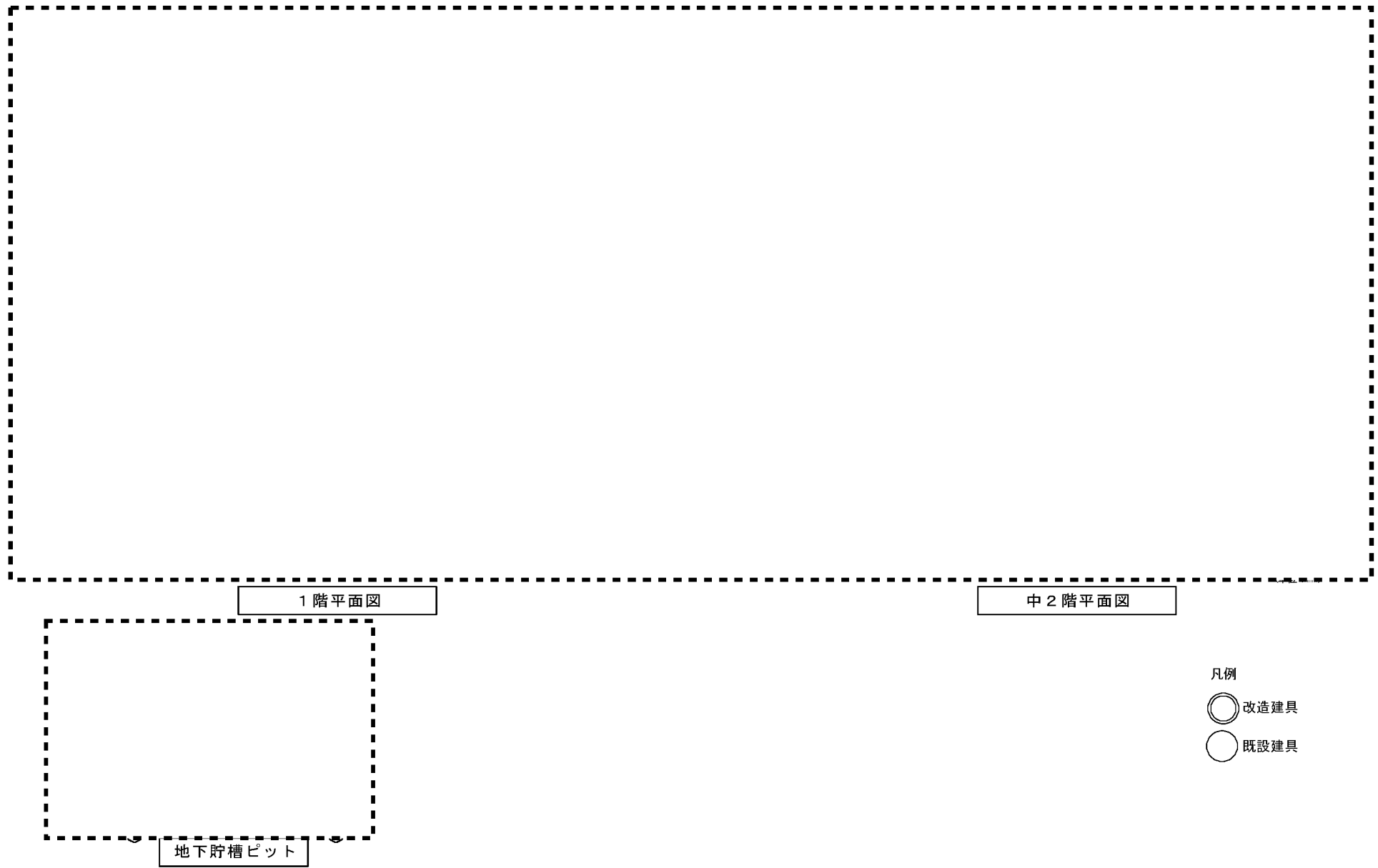
図ト-2 P設-7 第2 廃液処理設備 及び 第2 廃液処理設備貯留設備 配置図

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)







図ト-W1建-1 第1廃棄物貯蔵棟 平面図（1階・中2階）



2階平面図

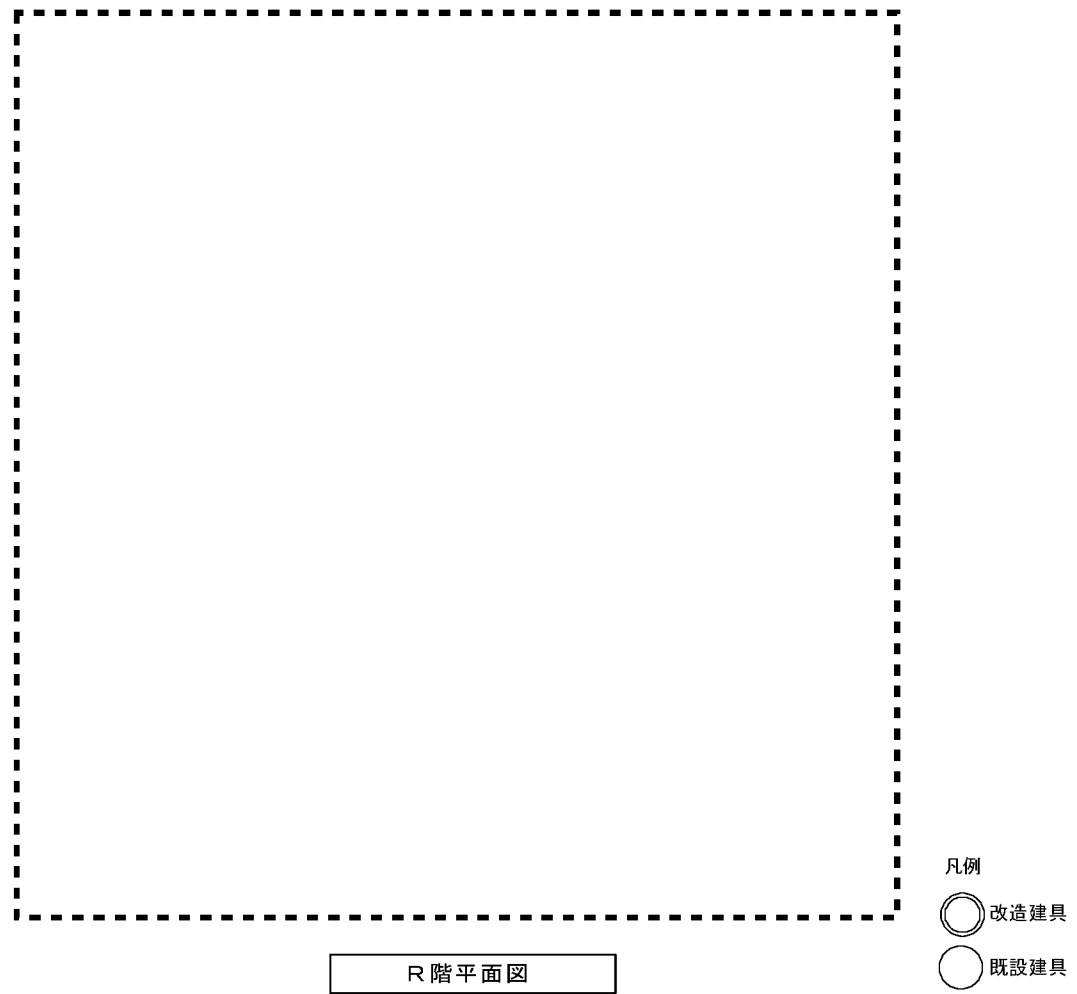
3階平面図

凡例

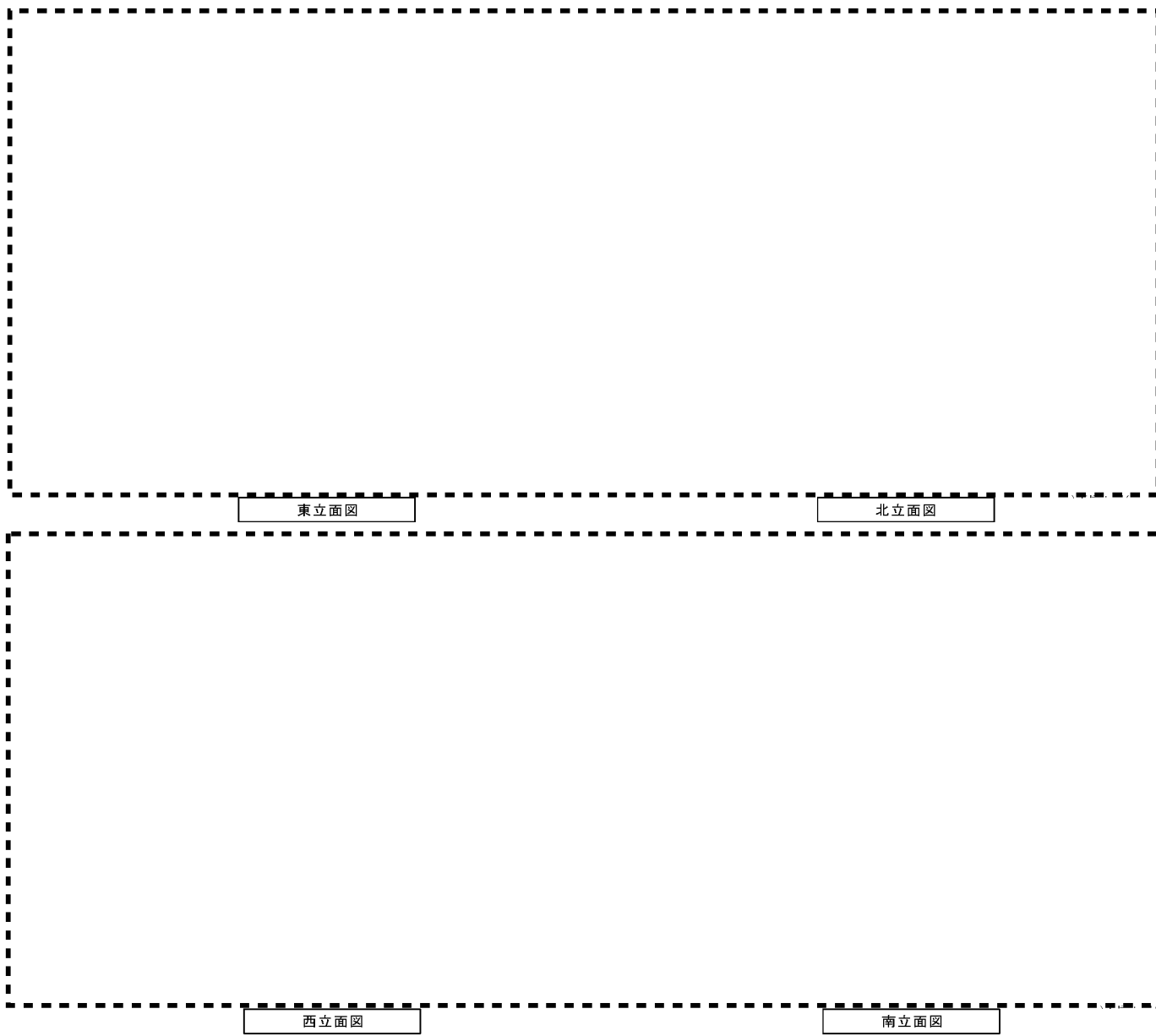
○ 改造建具

○ 既設建具

図卜-W1建-2 第1廃棄物貯蔵棟 平面図 (2階・3階)



図卜-W1建-3 第1廃棄物貯蔵棟 平面図 (R階)



- 凡例
- 改造建具
  - 既設建具

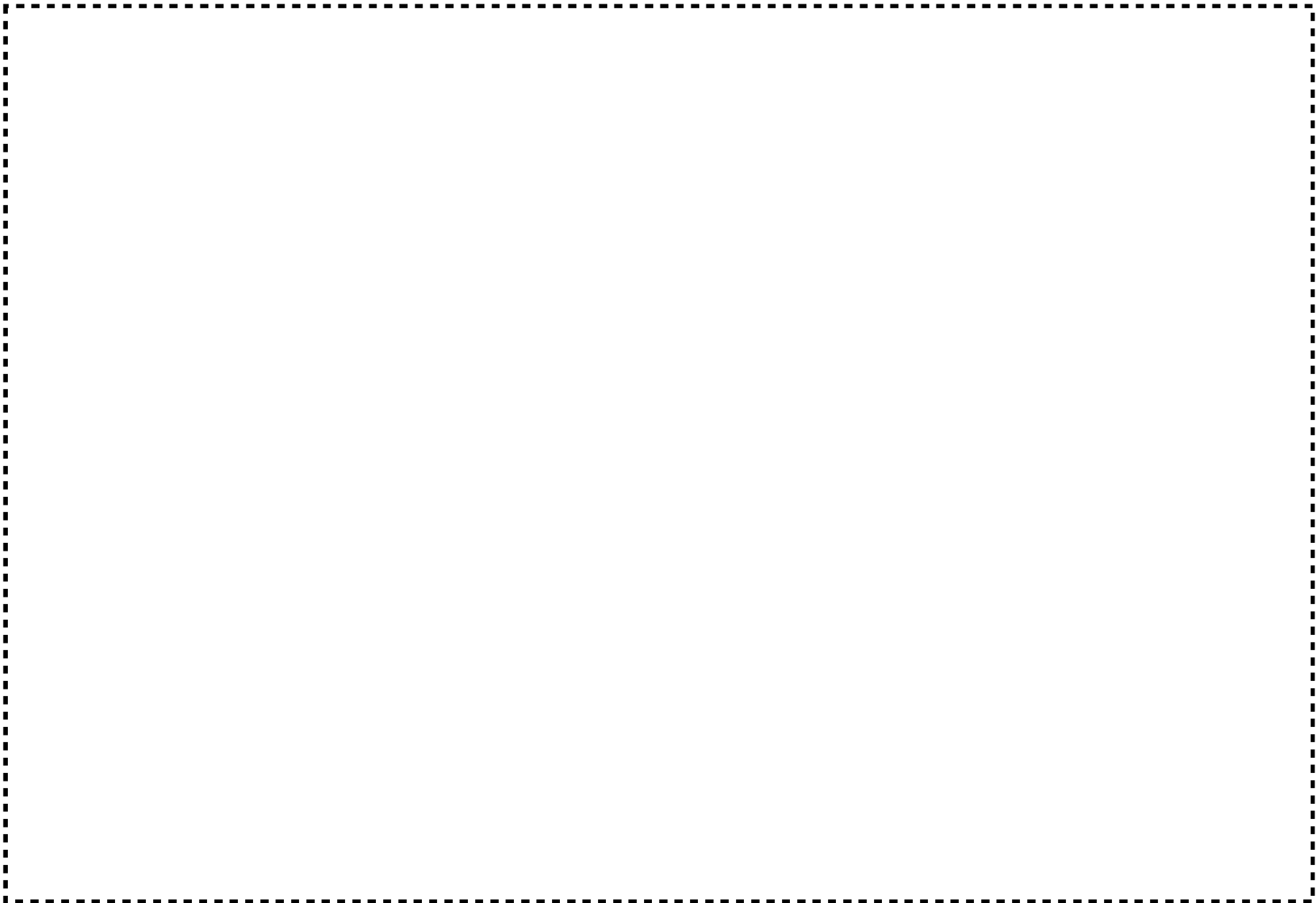
図卜-W 1 建-4 第1 廃棄物貯蔵棟 立面図



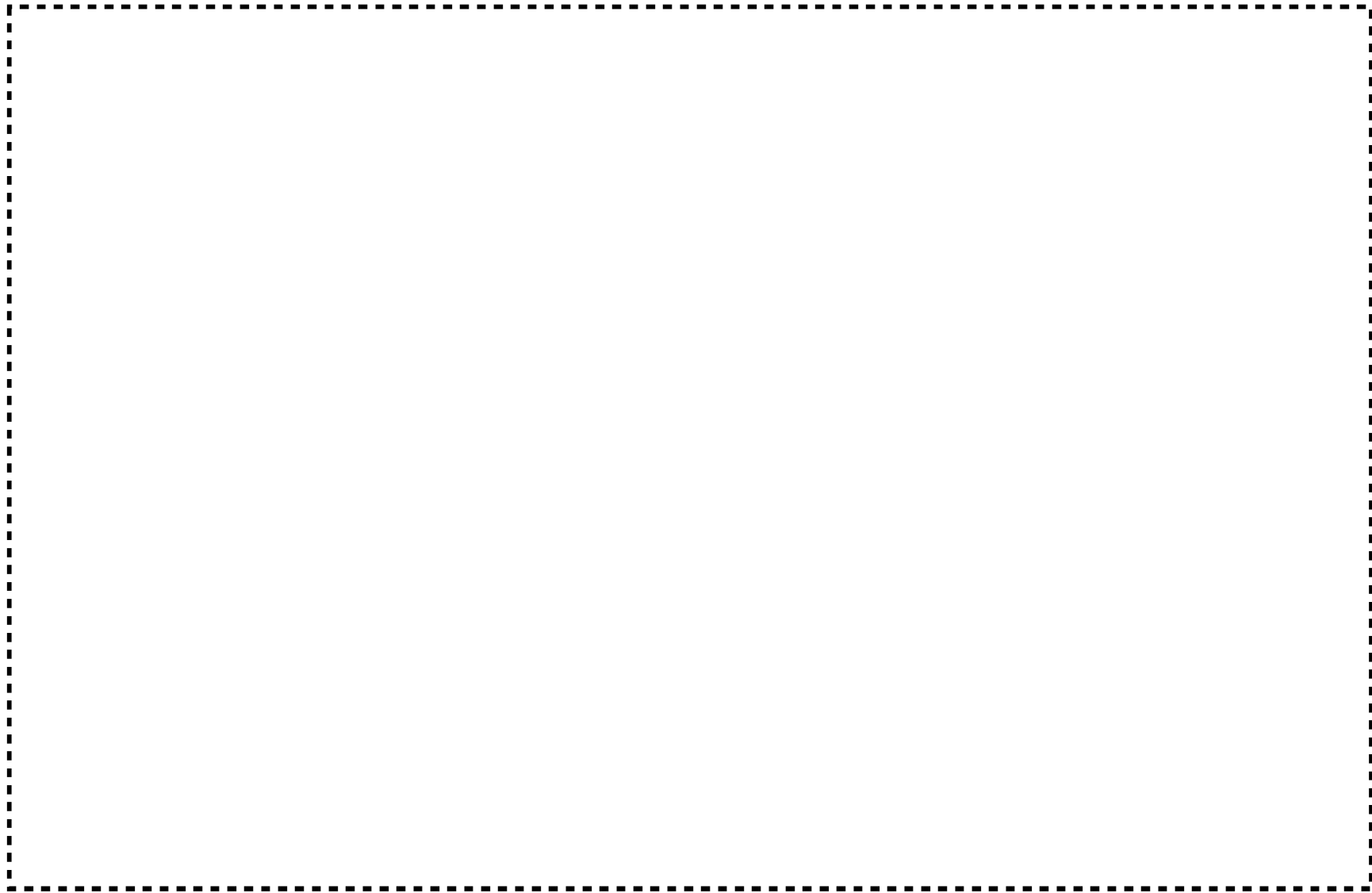
B-C通り断面図

1-2通り断面図

図ト-W1建-5 第1廃棄物貯蔵棟 断面図



图卜-W1建-6 第1 废弃物貯蔵棟 管理区域区分图



図ト-W 1 建-7 第1 廃棄物貯蔵棟 安全機能を有する施設の地盤（土質柱状図）

1350



1階平面図

中2階平面図

(単位: mm)



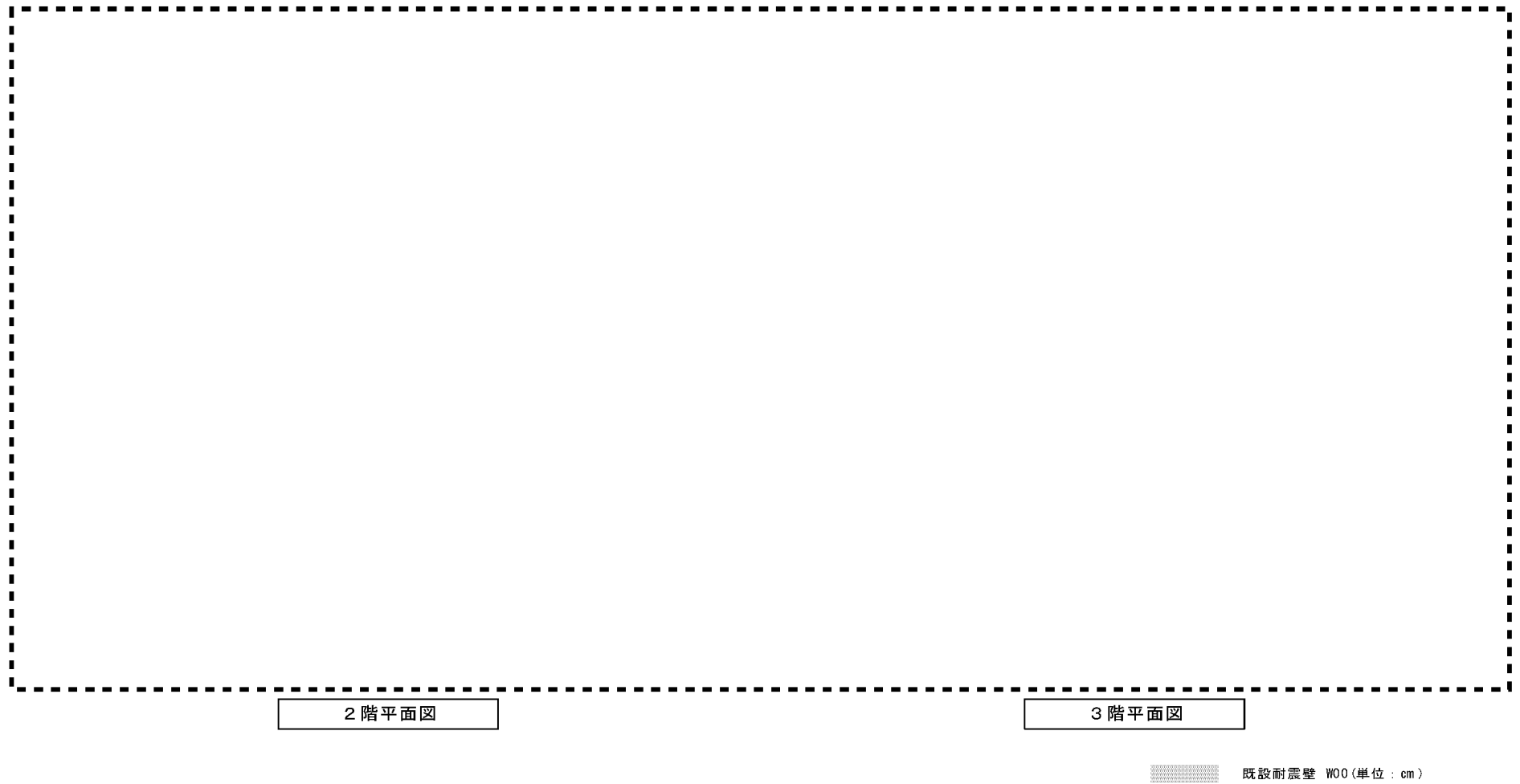
地下貯槽ピット

既設耐震壁 W00 (単位: cm)

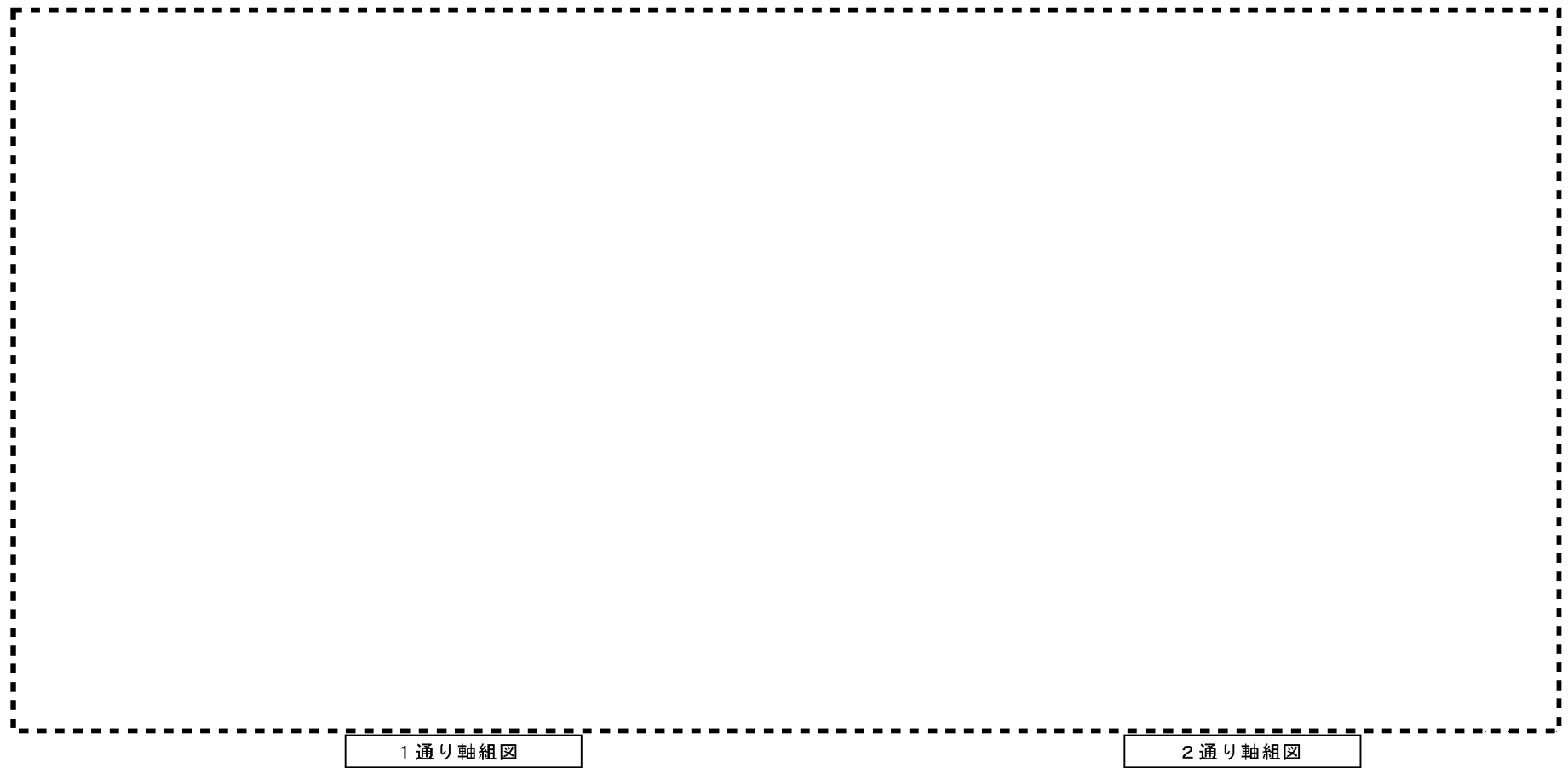
図ト-W1建-8(1) 第1廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止 (1階・中2階)



1351

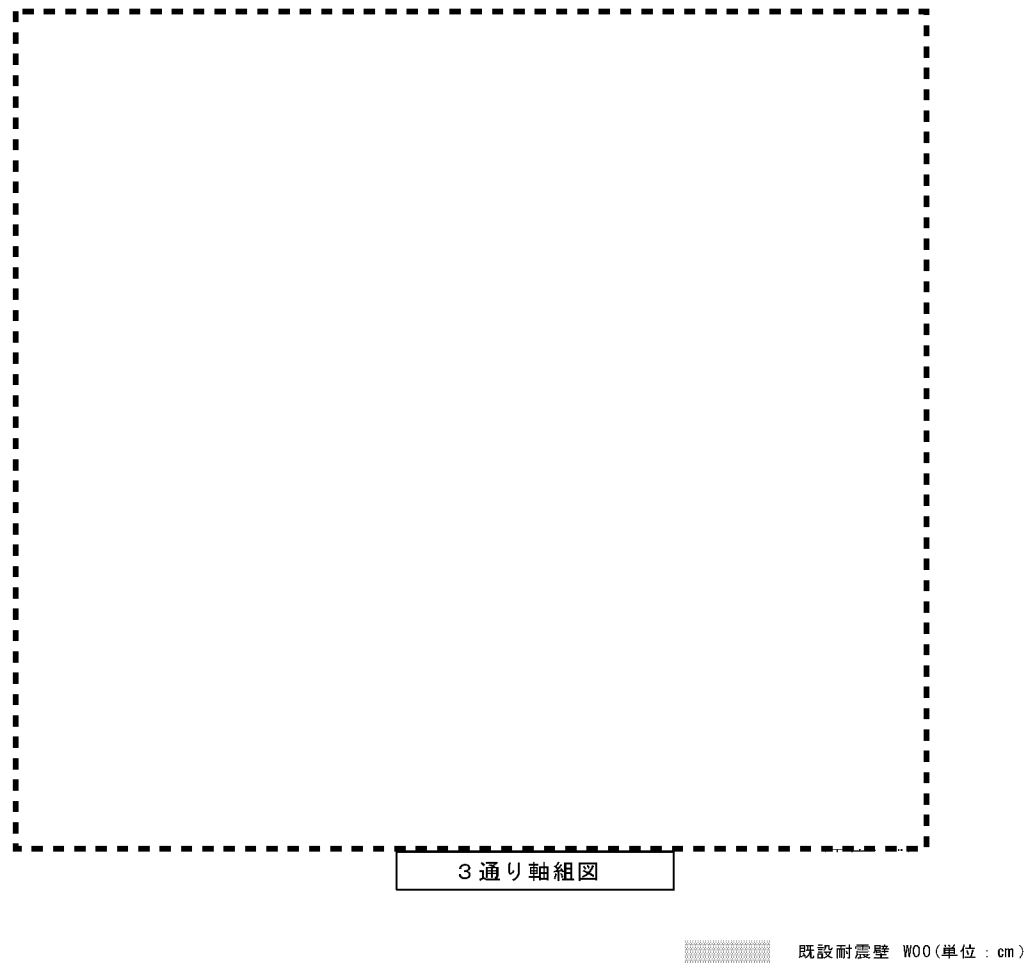


図ト-W1建-8(2) 第1廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止(2階・3階)

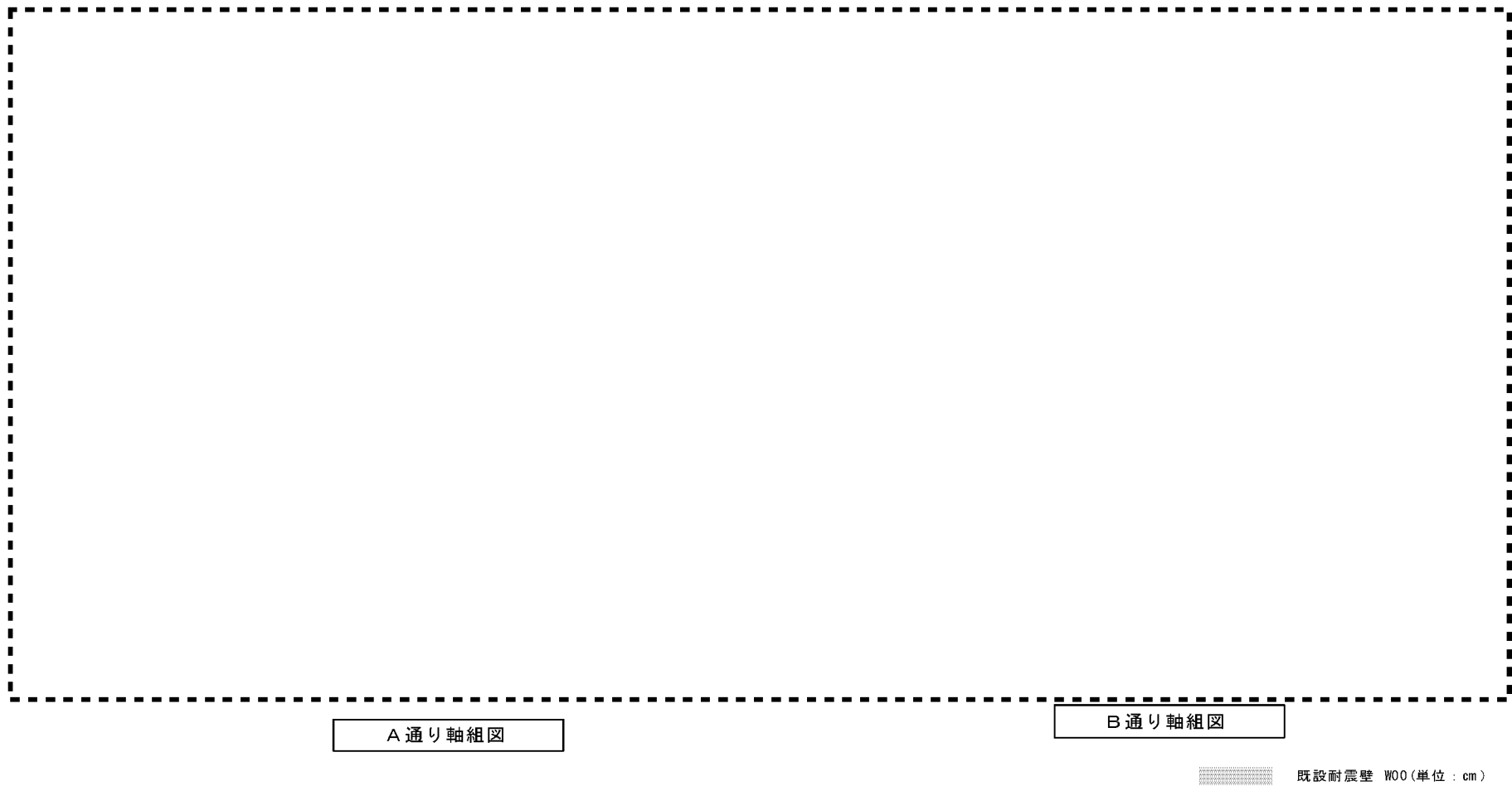


 既設耐震壁 W00(単位 : cm)

図ト-W1建-8(3) 第1廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止(1通り、2通り軸組図)

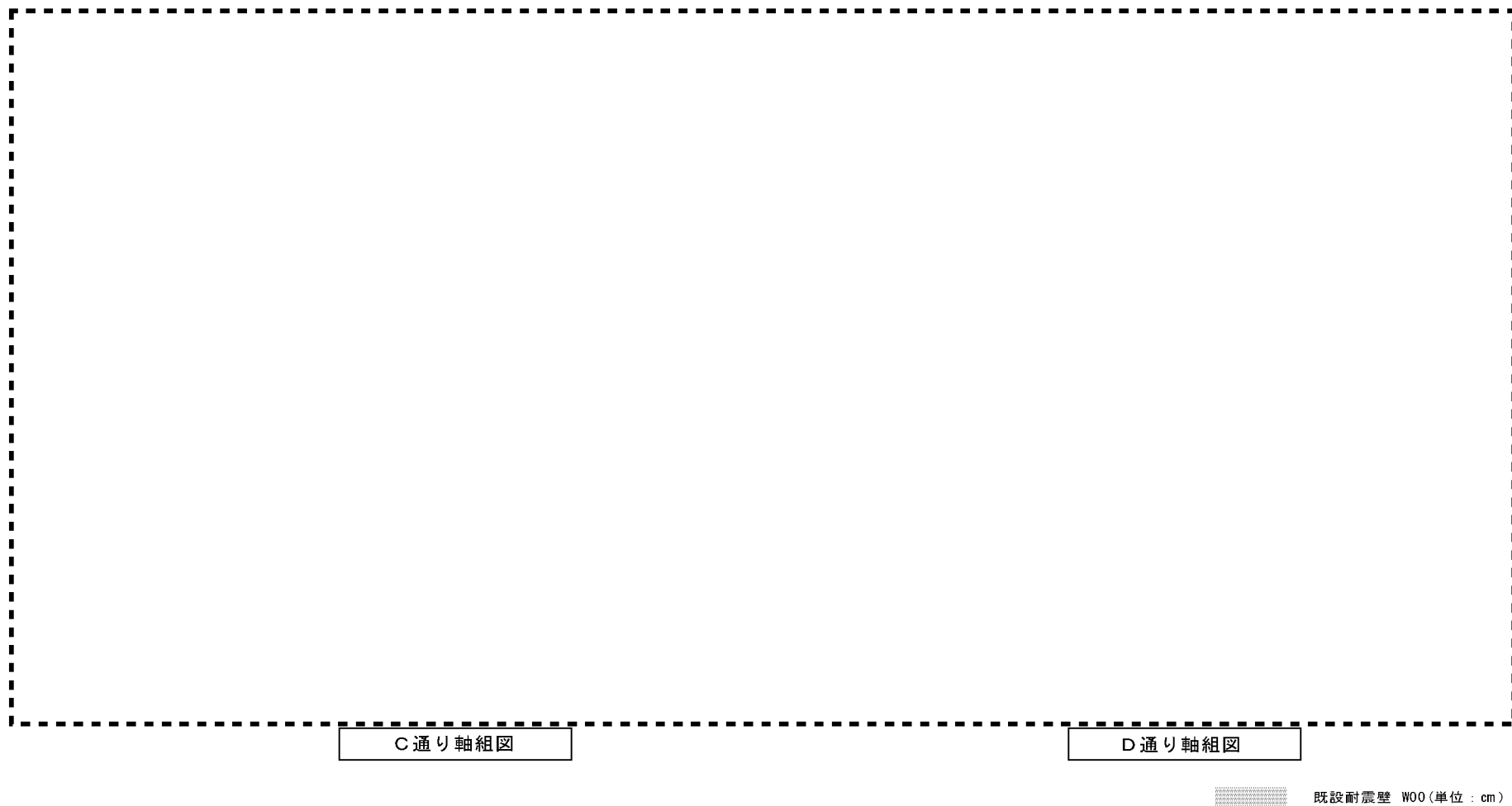


図ト-W1 建-8(4) 第1廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止 (3通り軸組図)



図ト-W1 建-8(5) 第1 廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止 (A通り、B通り軸組図)

1355



図ト-W1建-8(6) 第1廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止 (C通り、D通り軸組図)



1 階平面図

中 2 階平面図

(単位 : mm)

凡例

- 改造建具
- 既設建具
- 既設建具 (安全機能なし)
- F1 竜巻防護境界
- □ 竜巻・竜巻飛来物からの防護のための補強工事
- 【風圧】 : 竜巻の風圧力による損傷の防止
- 【飛来】 : 竜巻飛来物による貫通の防止

W 1 防護壁はF1飛来物から鋼製建具 71、76を防護する。

改造建具、既設建具の仕様は図ト-W 1 建- 1 0 ~ 図ト-W 1 建- 1 2 に示す。

既設建具 (安全機能なし) は、不燃性材料の建具とする。

図ト-W 1 建- 9 (1) 第 1 廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃 (竜巻) による損傷の防止 (1 階・中 2 階)



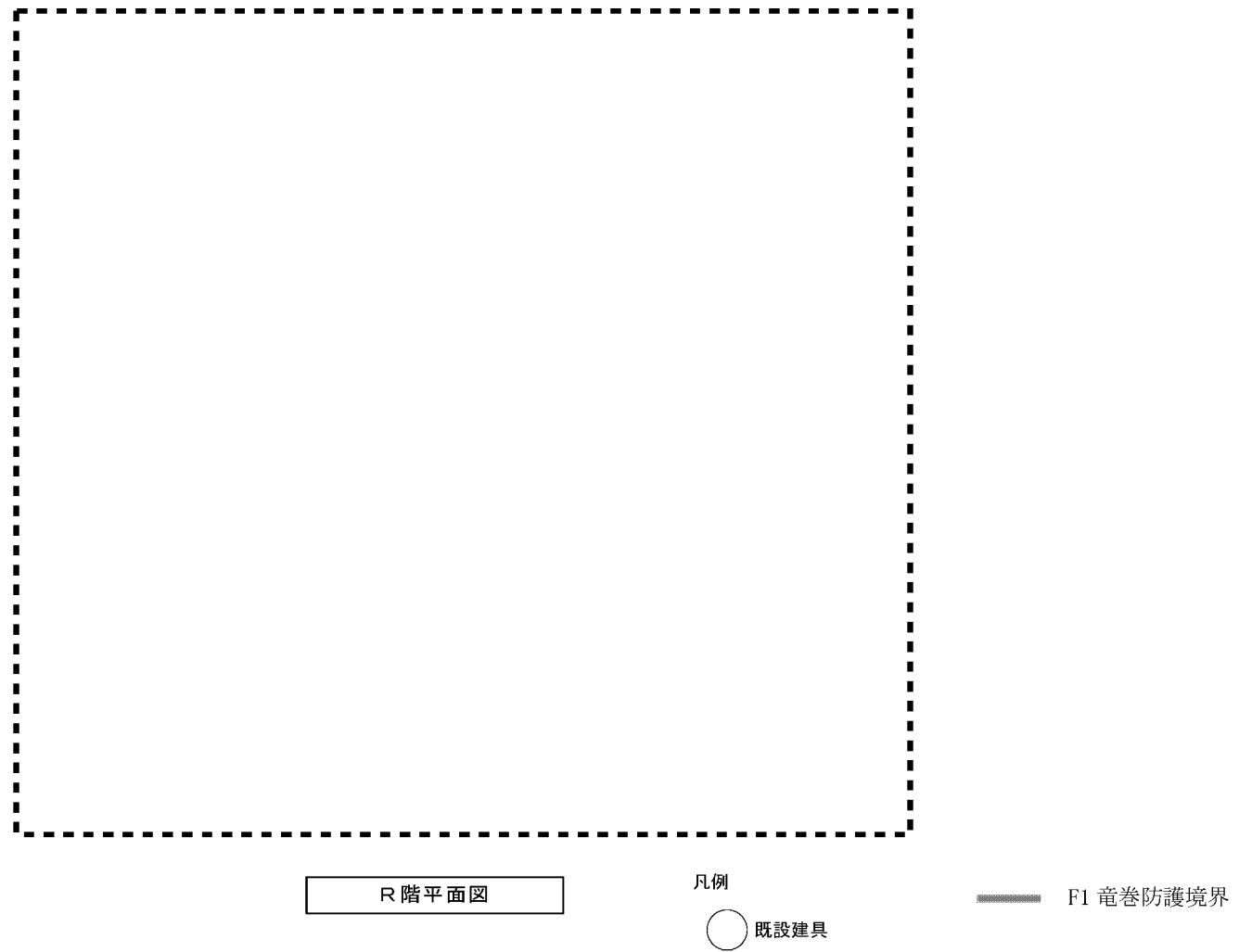
2階平面図

3階平面図

- 凡例
- 既設建具
  - F1 竜巻防護境界

既設建具の仕様は図ト-W1建-10に示す。

図ト-W1建-9(2) 第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃(竜巻)による損傷の防止(2階・3階)



図ト-W1建-9(3) 第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃（竜巻）による損傷の防止（R階）





東立面図

北立面図

凡例

- 改造建具
- 既設建具

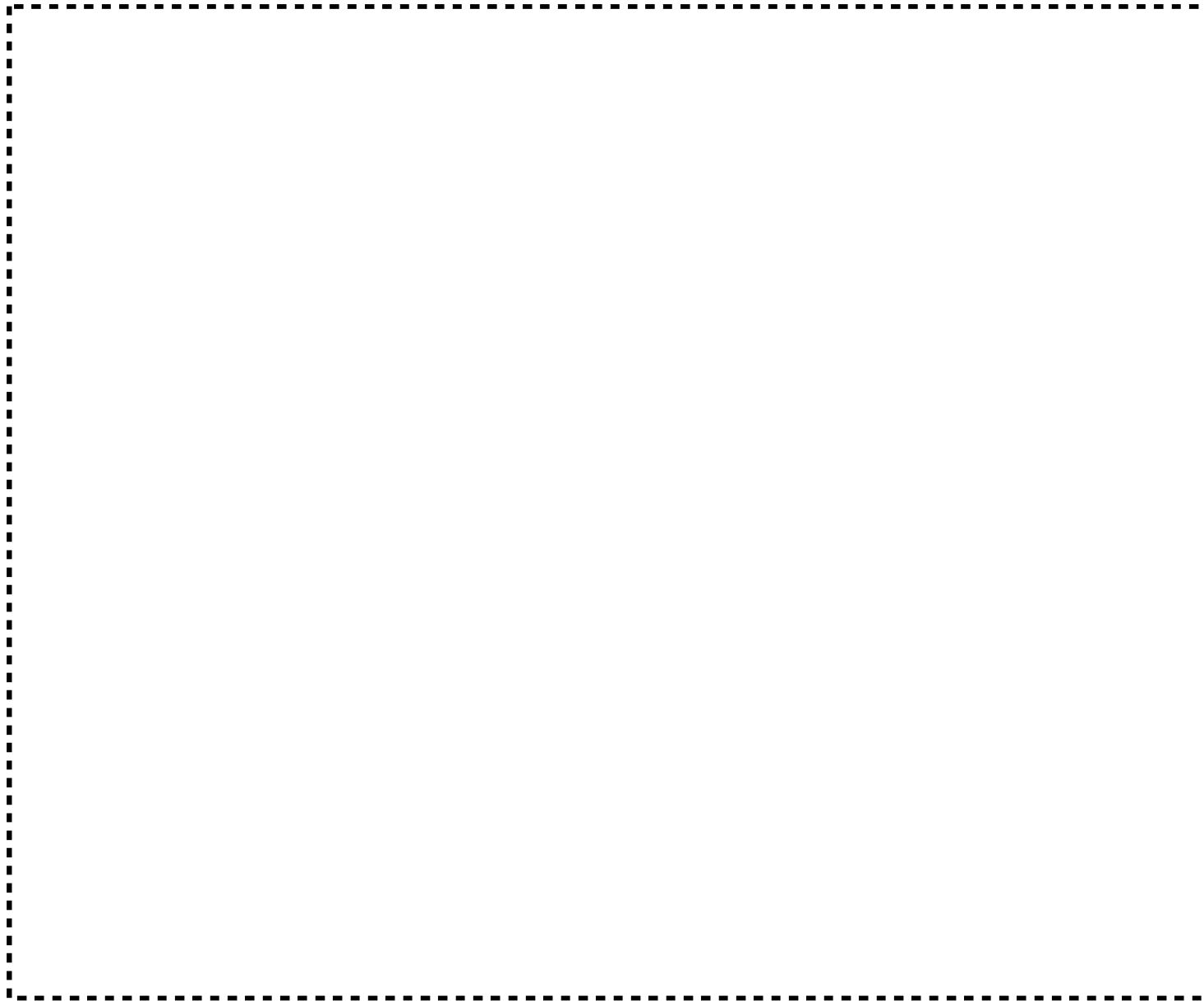
- □ 竜巻・竜巻飛来物からの防護のための補強工事
- 【風圧】：竜巻の風圧力による損傷の防止
- 【飛来】：竜巻飛来物による貫通の防止

W1 防護壁はF1飛来物から鋼製建具 71、76を防護する。

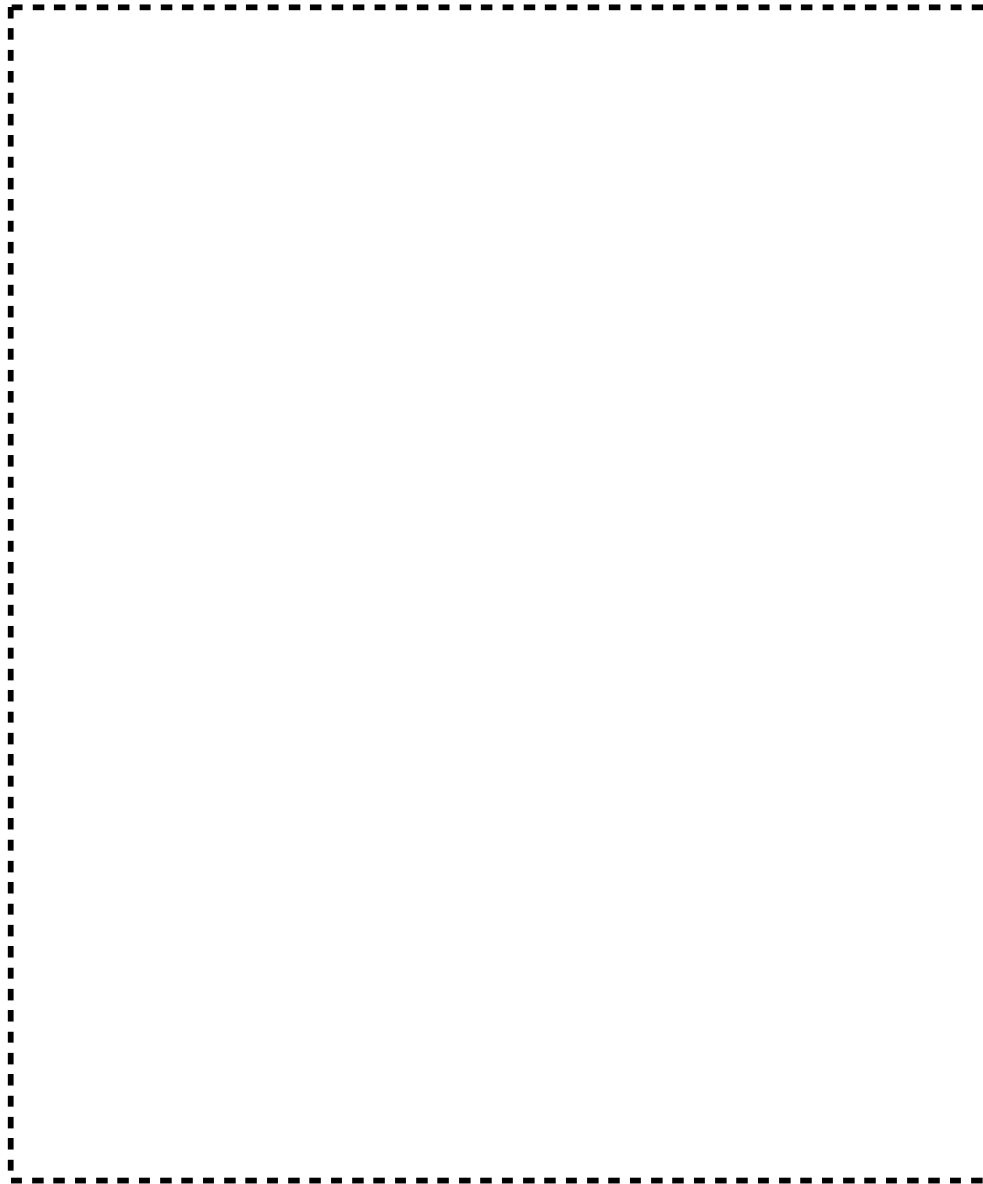
改造建具、既設建具の仕様は図ト-W1建-10～図ト-W1建-12に示す。

外壁面のF1 竜巻防護境界は図ト-W1建-9(1)～図ト-W1建-9(3)の平面図を参照のこと。

図ト-W1建-9(4) 第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃(竜巻)による損傷の防止(北東立面)



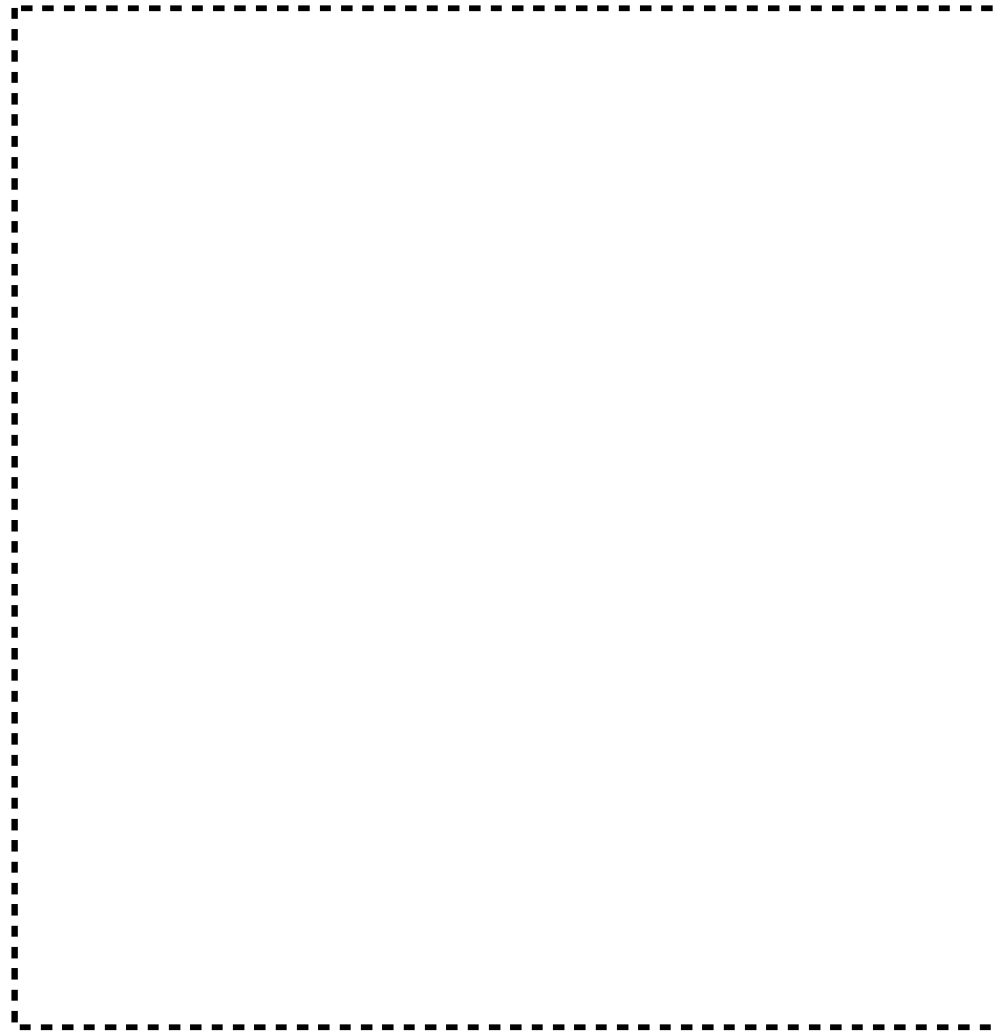
図ト-W1建-9(5) 第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃(竜巻)による損傷の防止 飛来物影響範囲



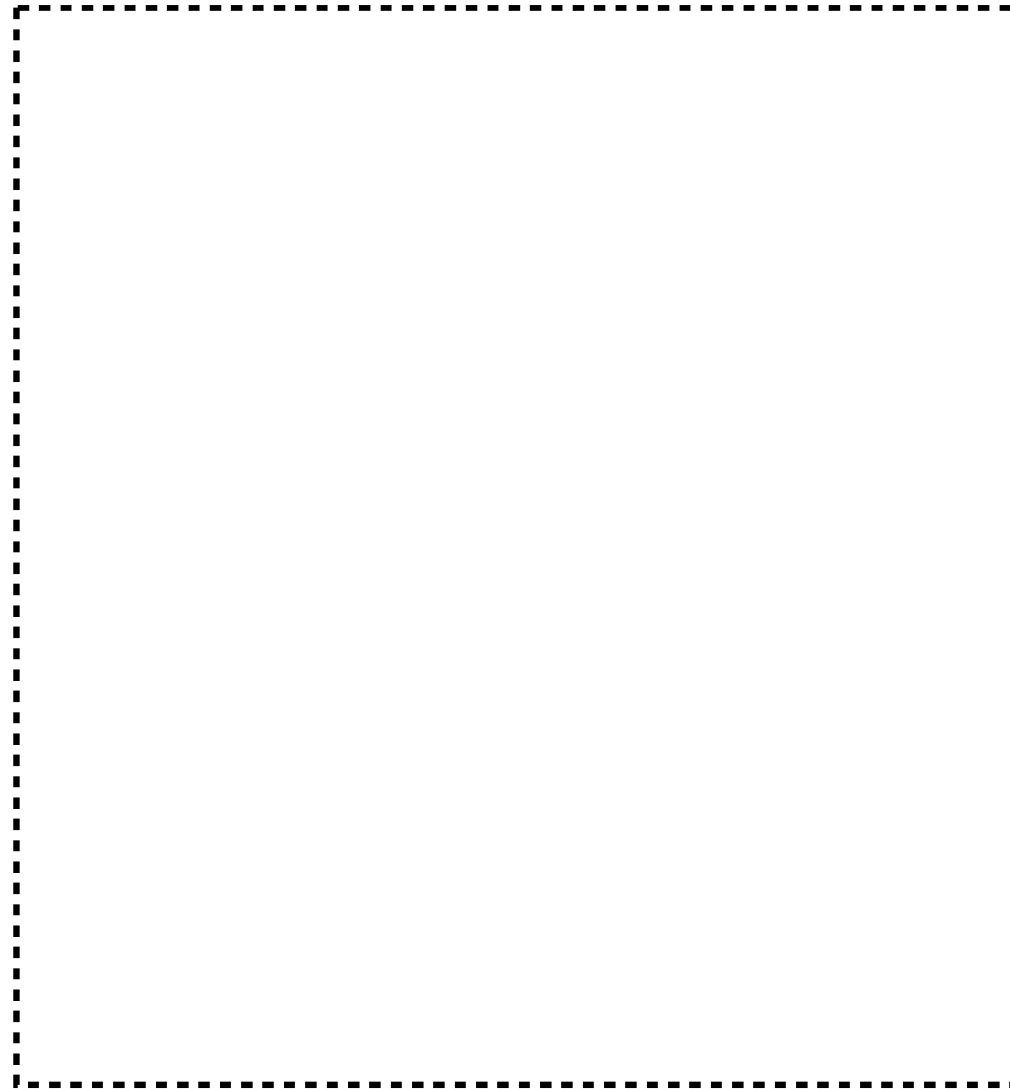
図卜-W 1 建-1 0 第1 廃棄物貯蔵棟 建具表



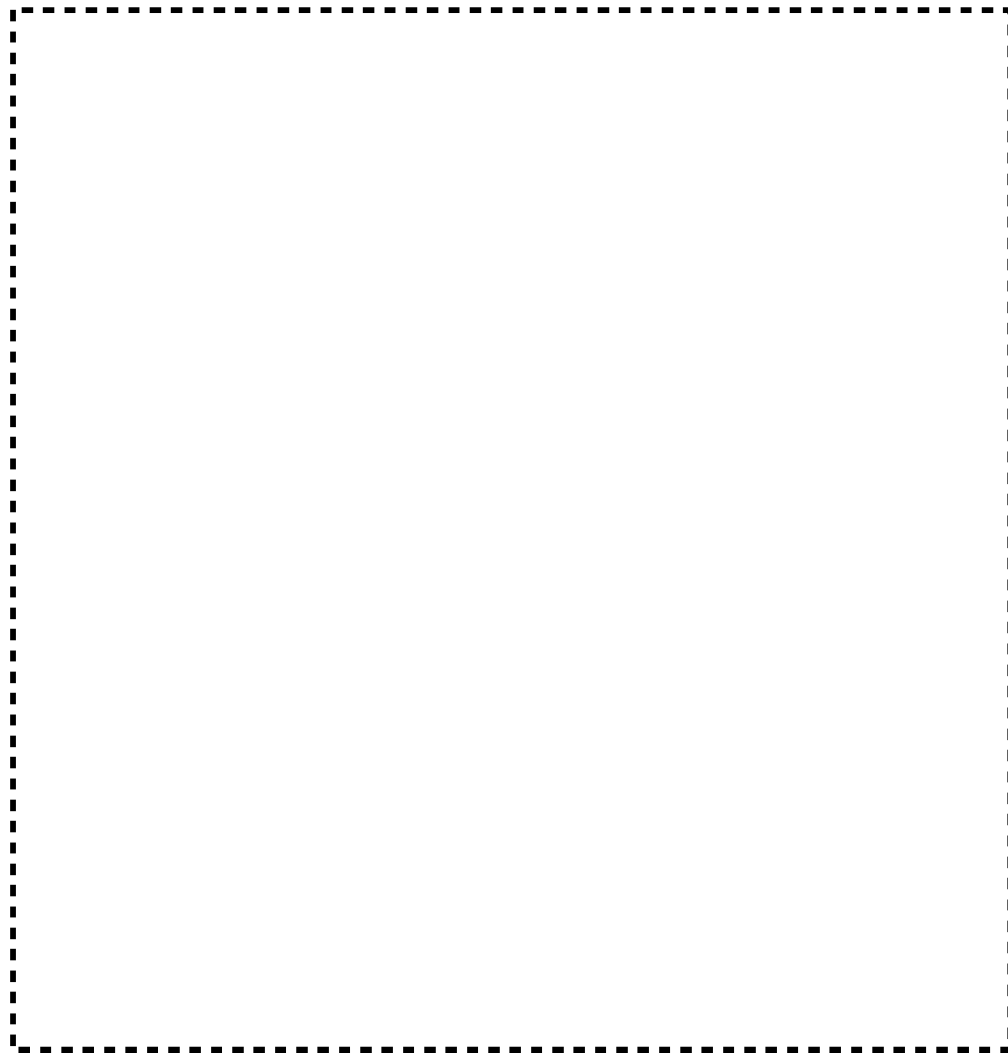
図卜一W 1 建一 1 1 第 1 廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具 姿図



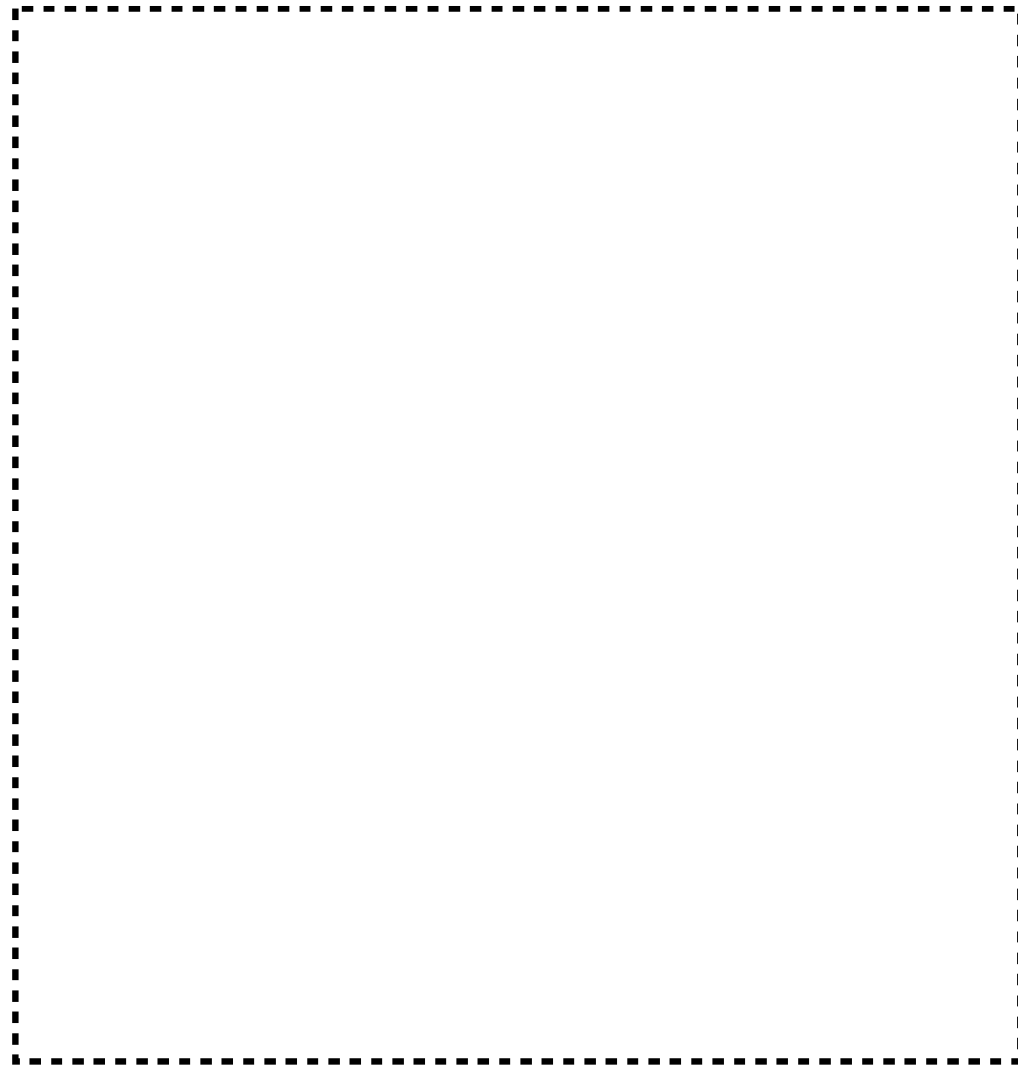
図卜-W 1 建- 1 2 (1) 第 1 廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具 (扉 71) 詳細図 部材表



図卜-W1建-12(2) 第1廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具(扉76)詳細図 部材表



図卜-W1建-12(3) 第1廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具(扉77) 詳細図 部材表

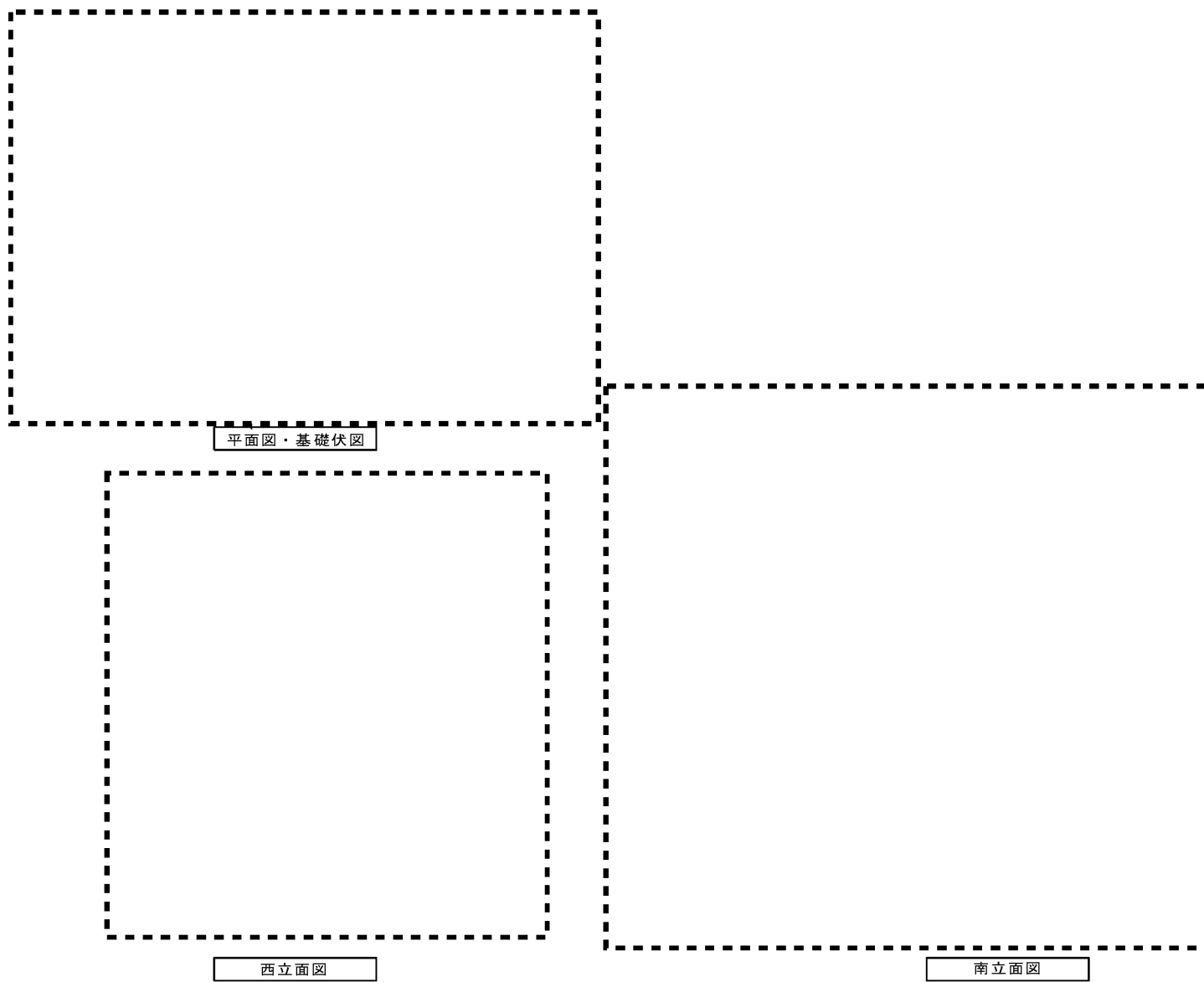


図卜-W 1 建- 1 2 (4) 第 1 廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具 (扉 78) 詳細図 部材表





図卜-W1建-13(1) 第1廃棄物貯蔵棟 W1防護壁 土質柱状図

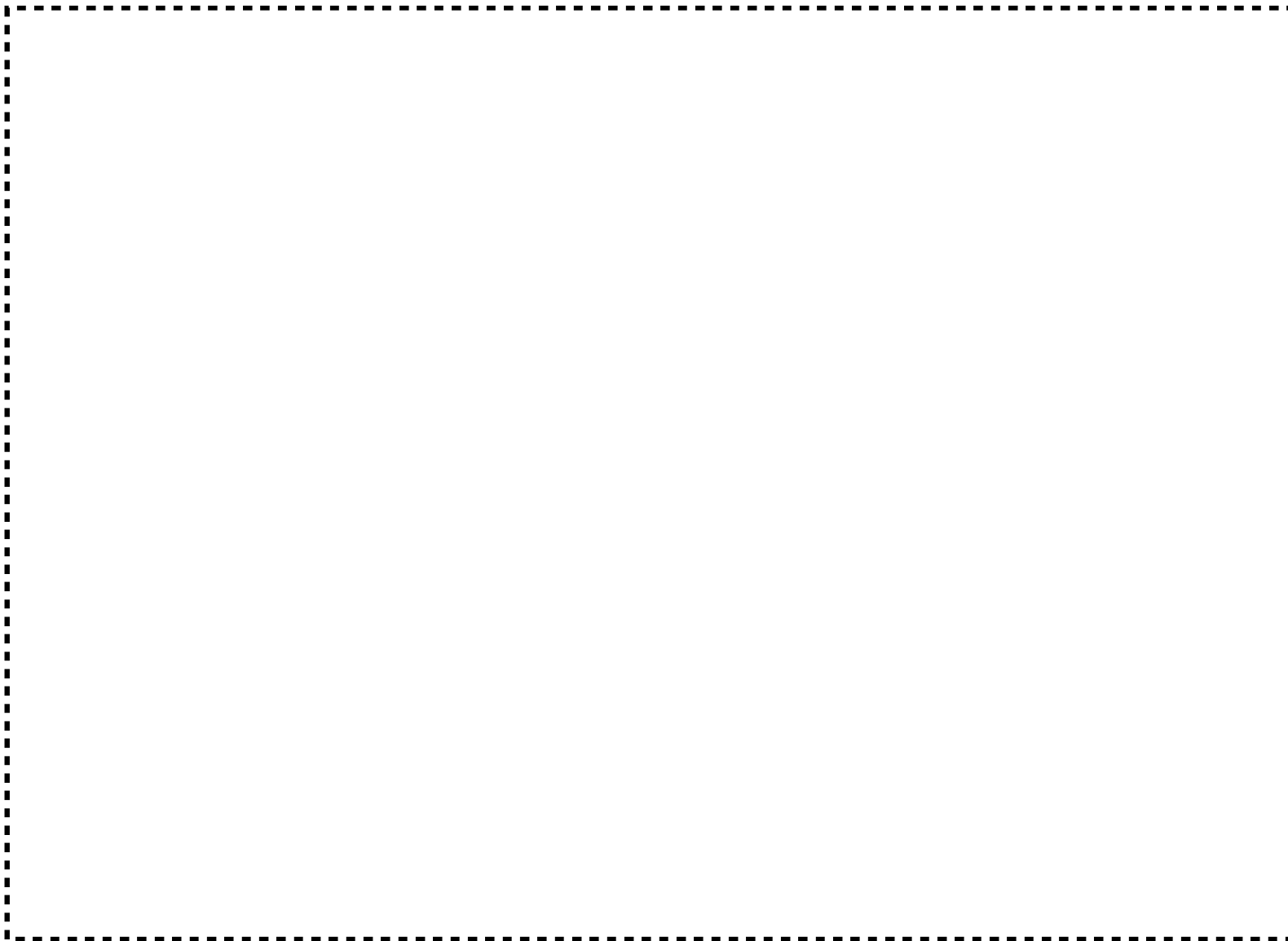


平面図・基礎伏図

西立面図

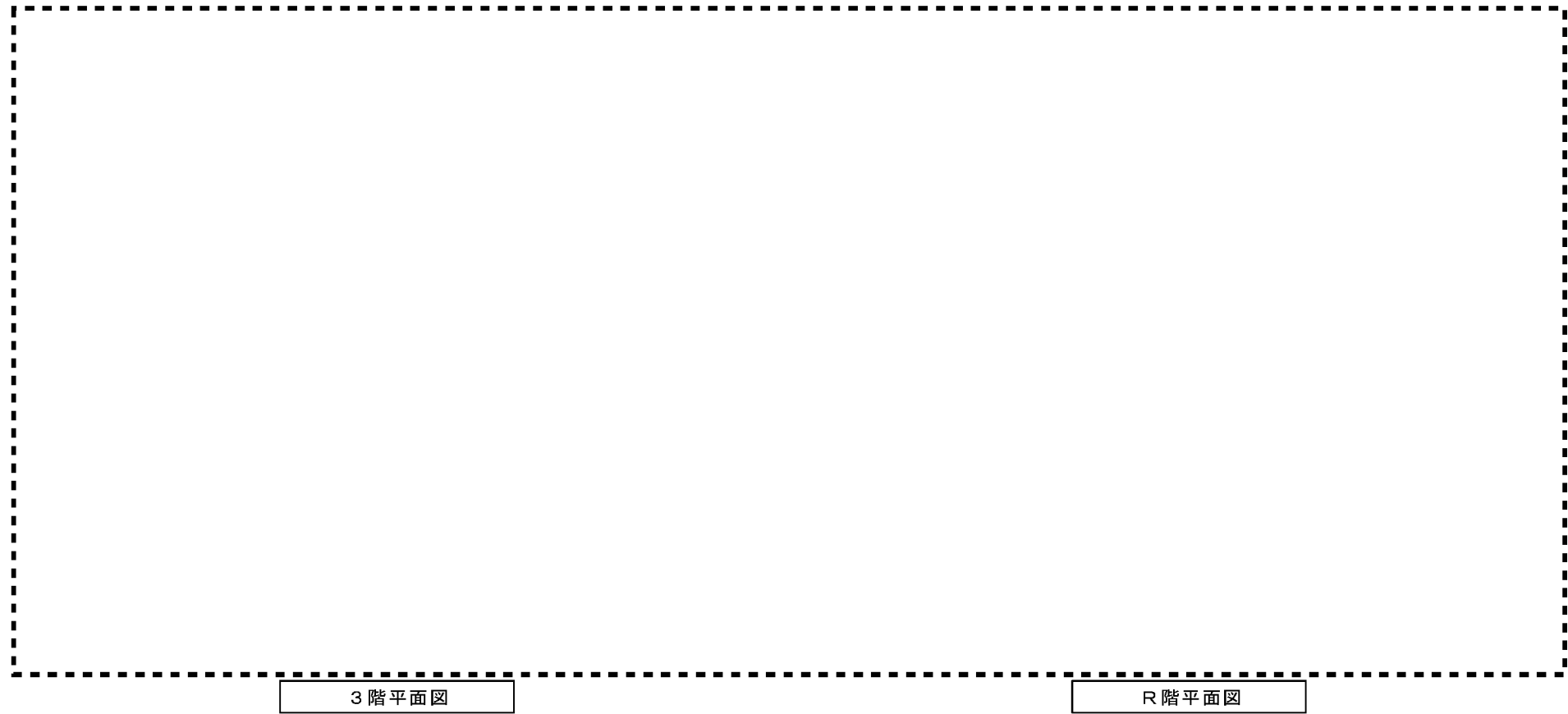
南立面図

図卜-W1建-13(2) 第1廃棄物貯蔵棟 W1防護壁 詳細図



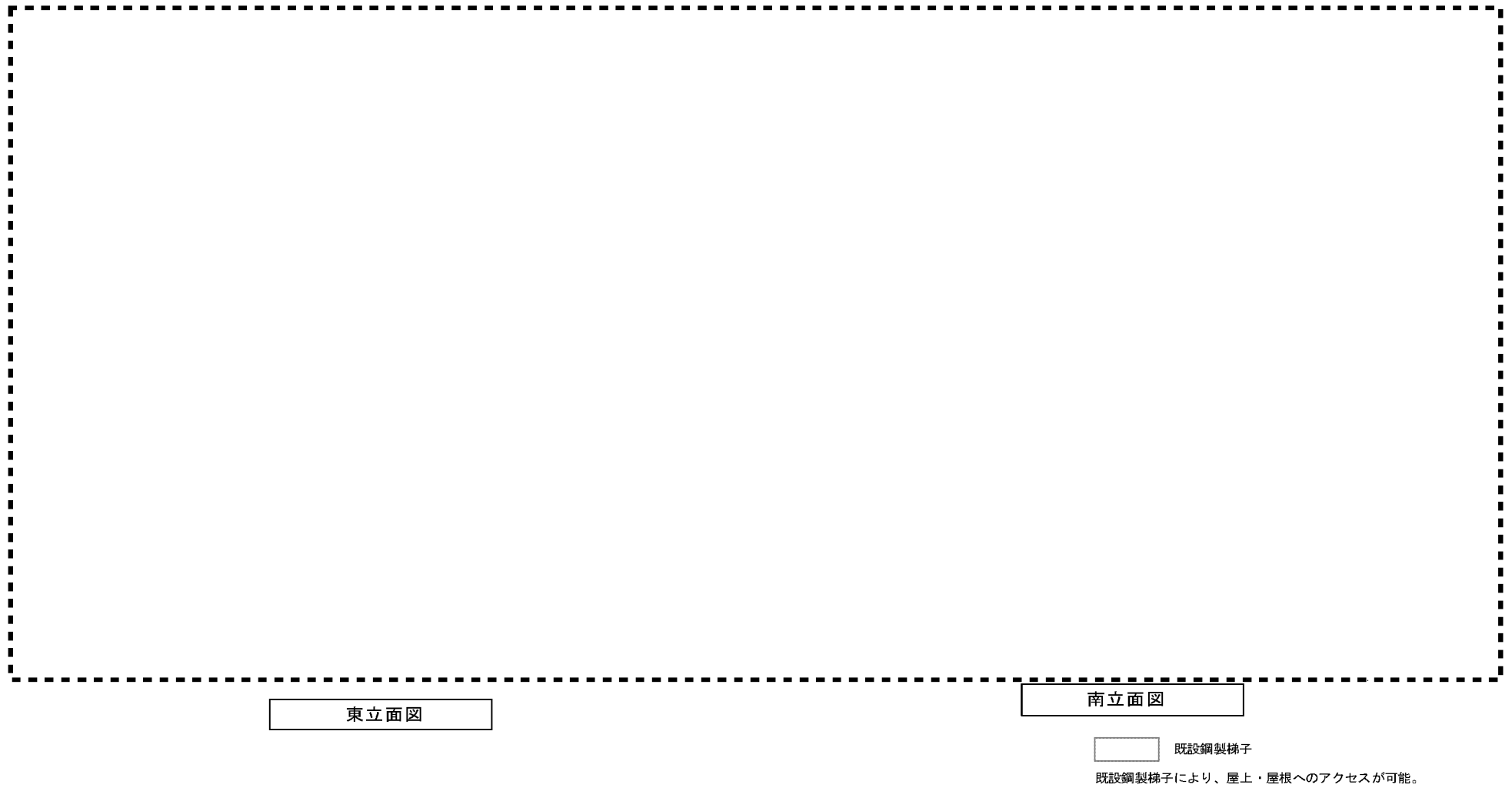
図卜-W 1 建- 1 3 ( 3 ) 第 1 廃棄物貯蔵棟 W 1 防護壁 配筋図

1370

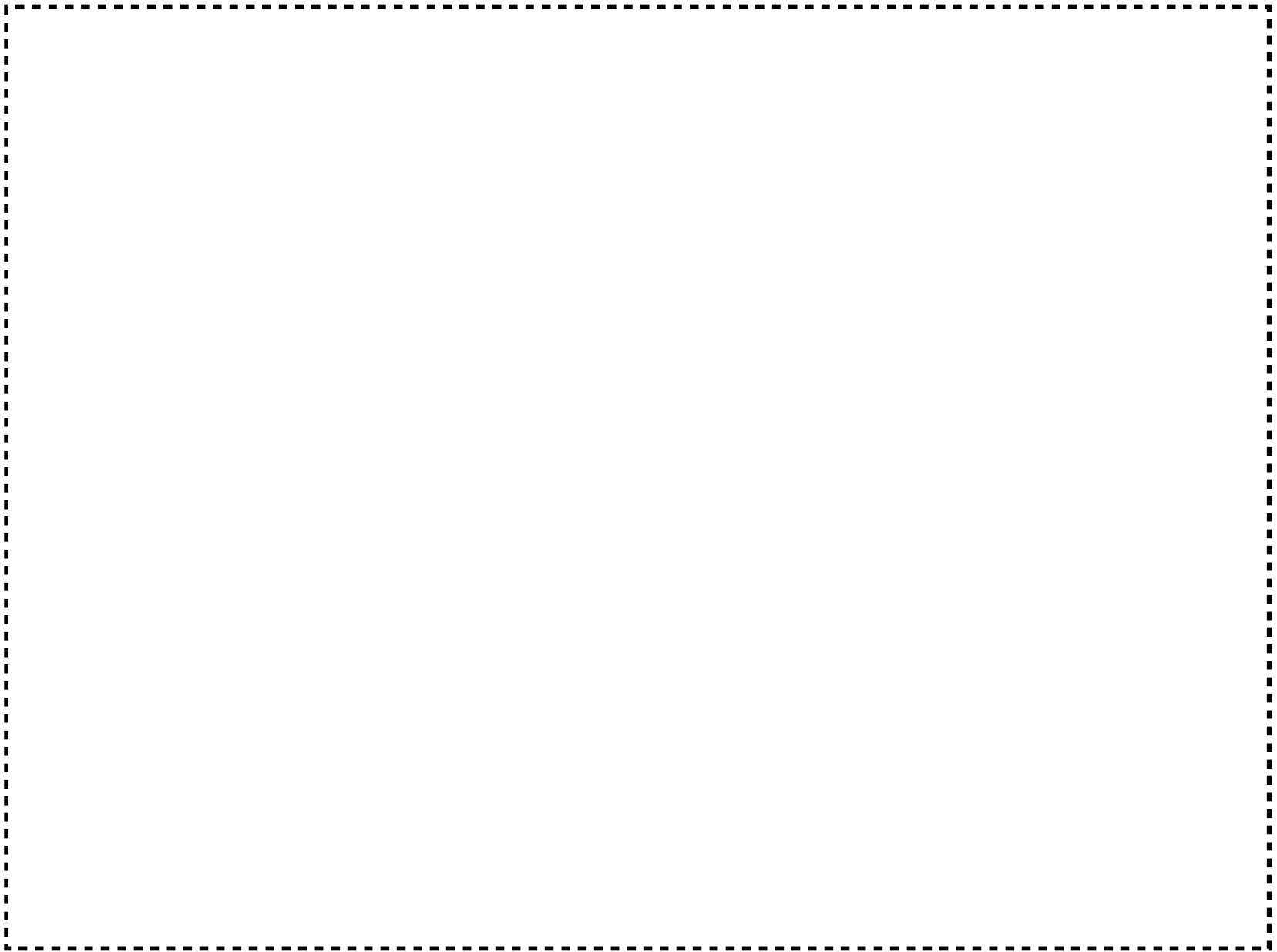


⇒ 屋上・屋根へのアクセスルート  
既設鋼製梯子により、屋上・屋根へのアクセスが可能。

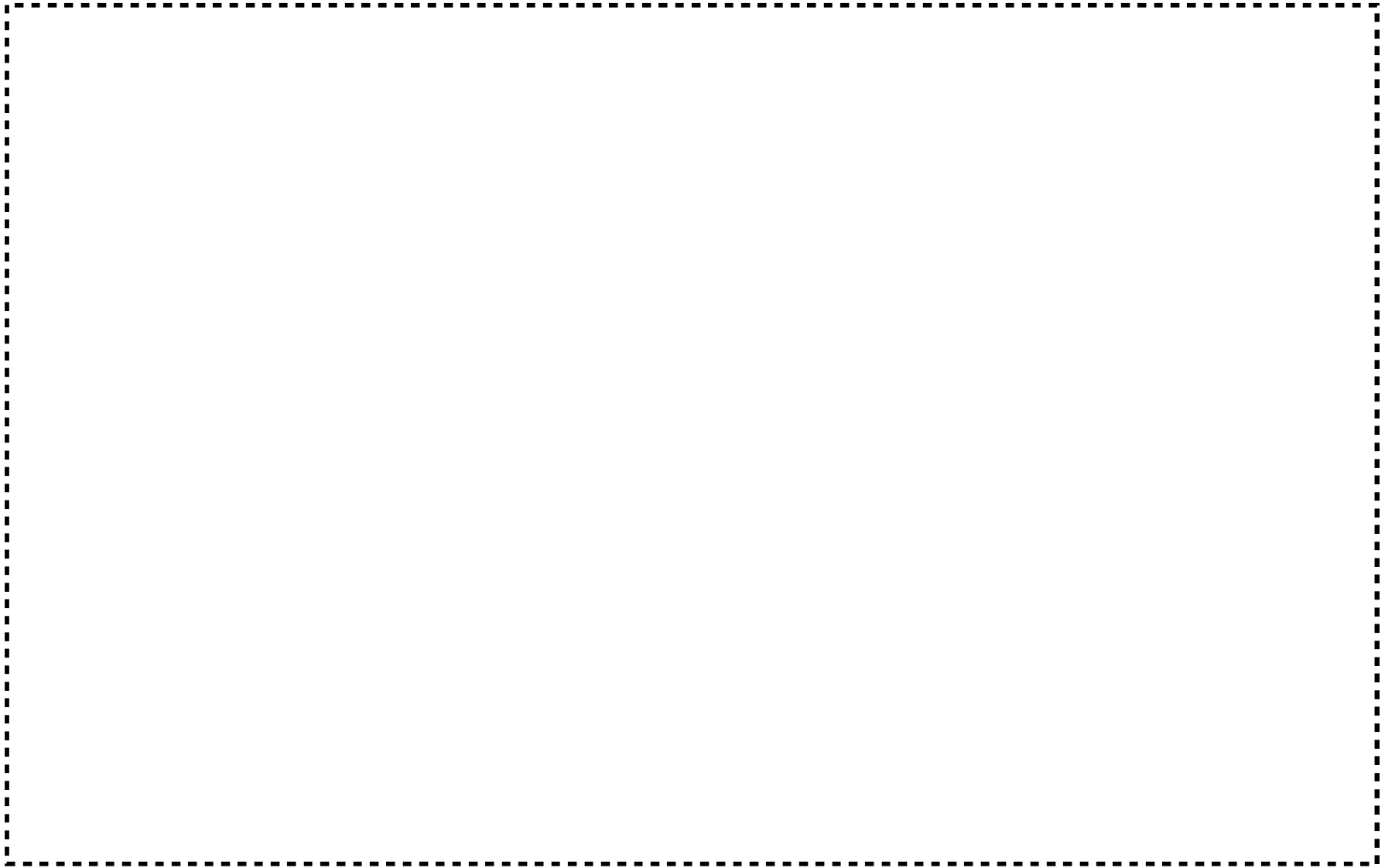
図ト-W1建-14(1) 第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃（降下火砕物・積雪）による損傷の防止（3階・R階）



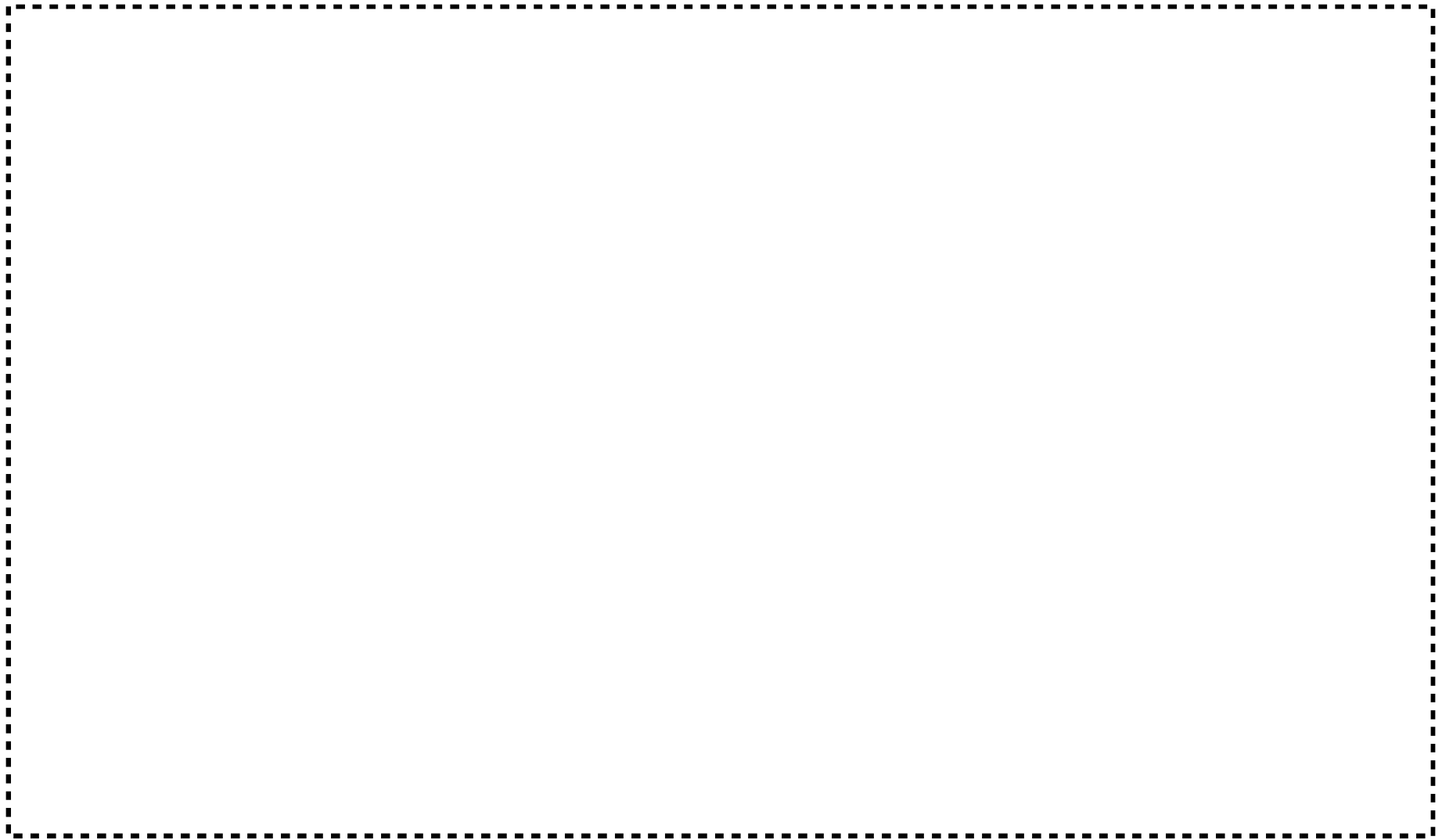
図ト-W1建-14(2) 第1廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃（降下火砕物・積雪）による損傷の防止（東南立面）



図ト-W 1 建- 1 5 防護対象施設と敷地内の竹林、隣接B事業所雑木林及び敷地内の危険物施設の位置

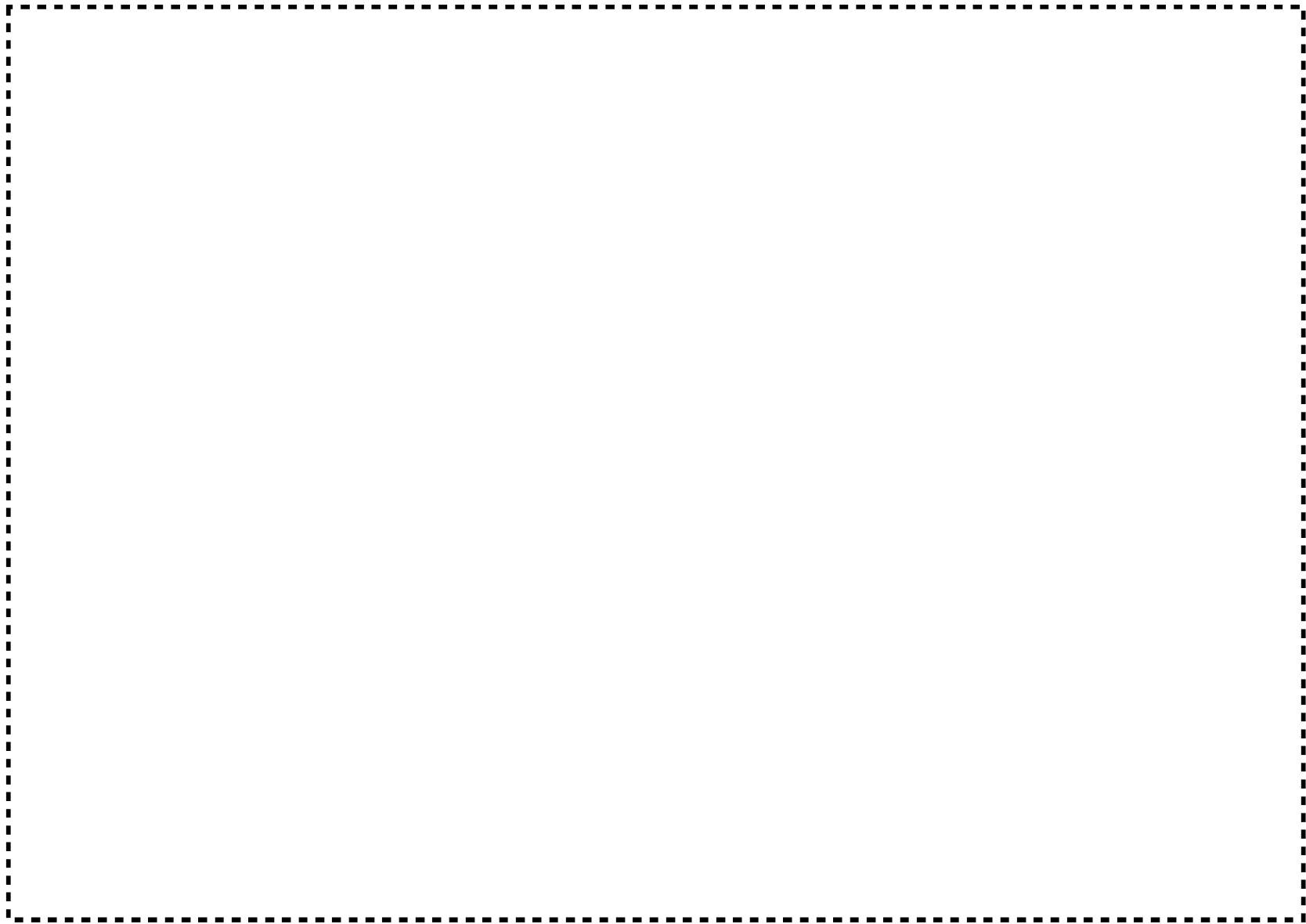


図ト-W1建-16 防護対象施設と敷地内の高圧ガス貯蔵施設の位置



図ト-W1建-17 敷地内の燃料輸送車両の走行経路と火災発生位置

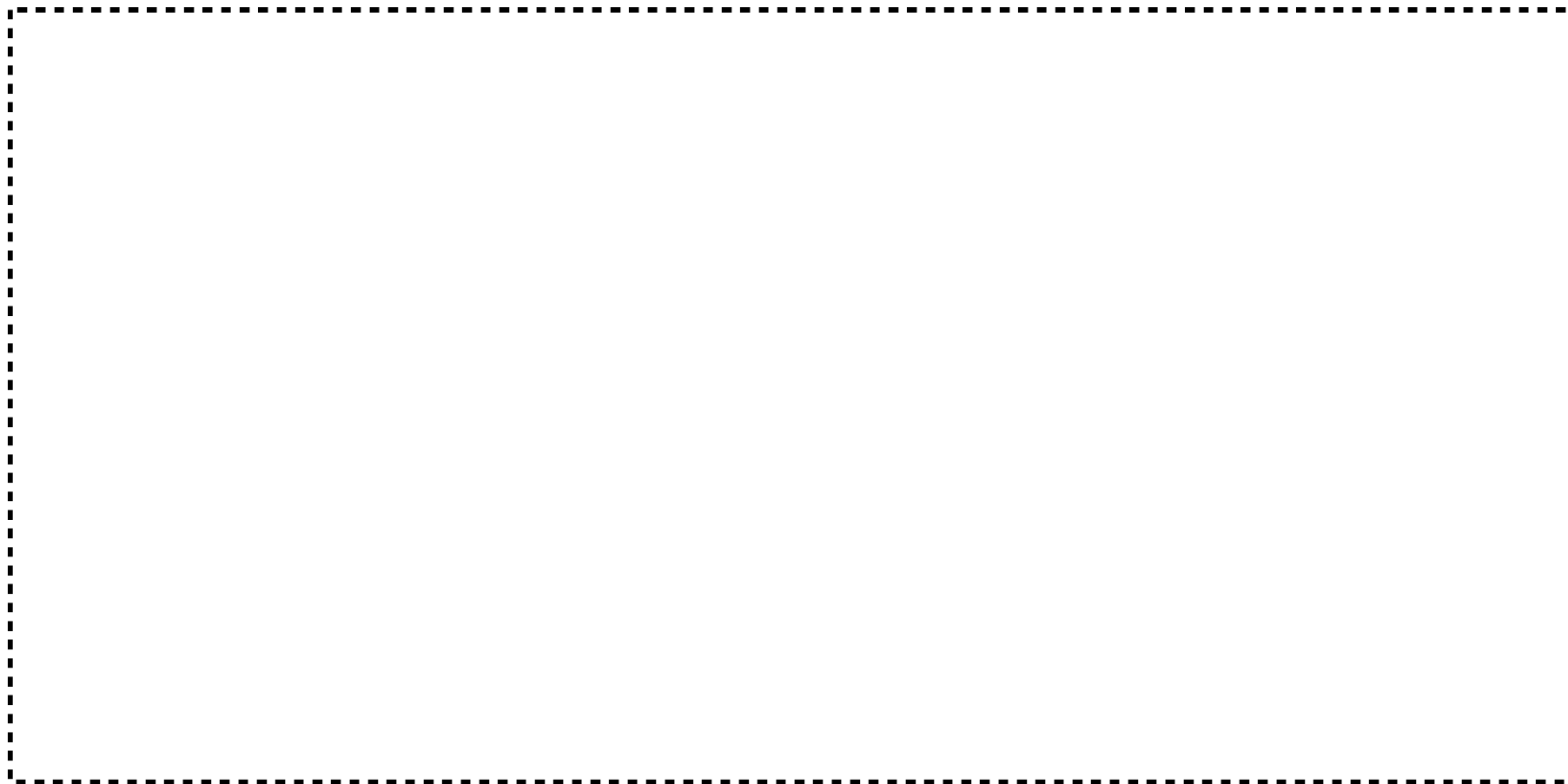

















図ト-W 1 建- 1 8 敷地内の高圧ガス輸送車両の走行経路と爆発位置



図ト-W1建-19 加工施設と町道の位置関係



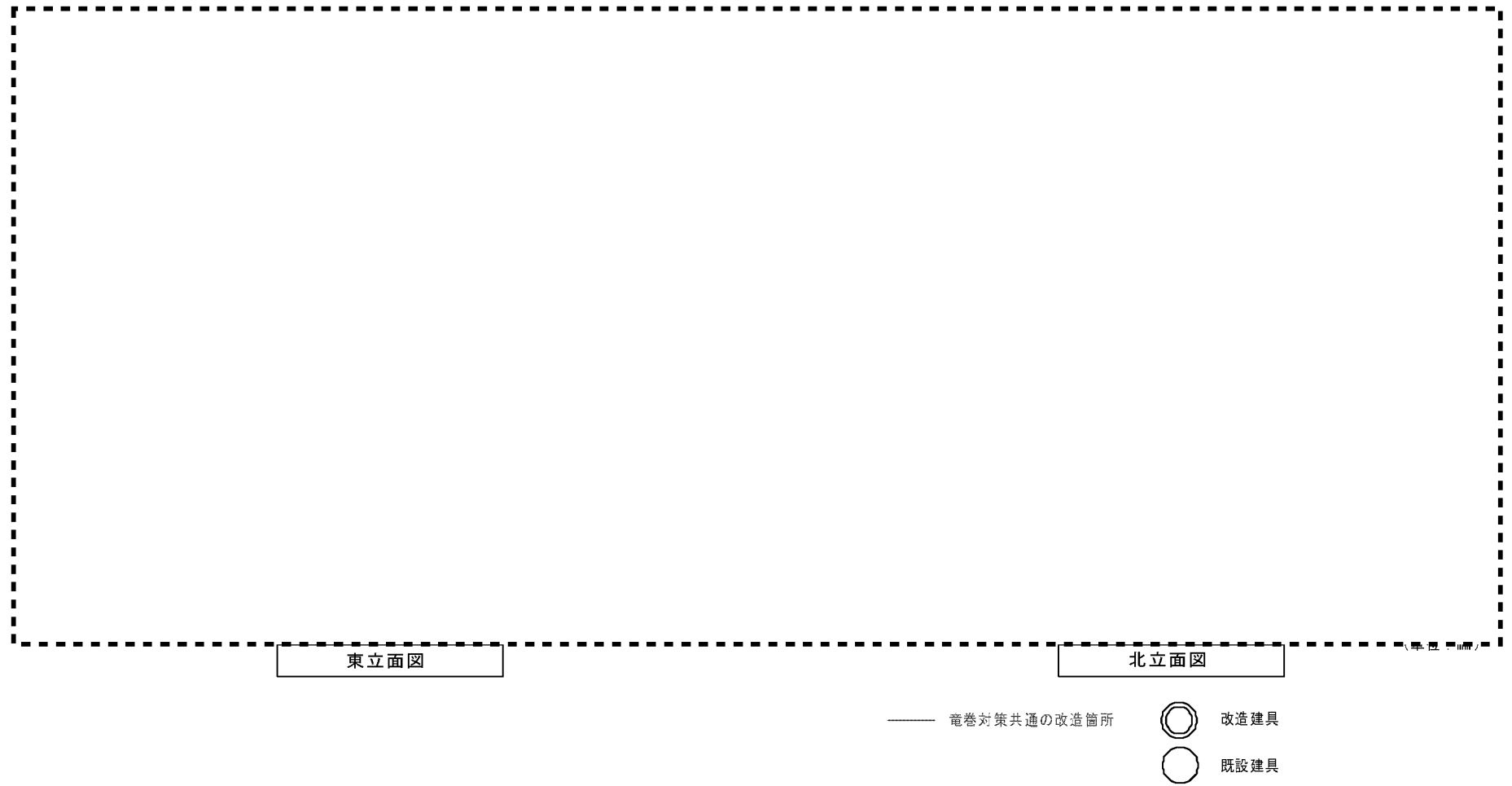
- |                                                                                     |                         |                                                                                       |                        |                                                                                       |        |                                                                                       |                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
|  | 第1種管理区域                 |  | 火災区画等の改造箇所             |  | 火災区域境界 |  | 火災源のある区画を示す。    |
|                                                                                     |                         |  | 竜巻対策共通の改造箇所            |  | 火災区画境界 |  | 防護対象設備のある区画を示す。 |
|  | 火災区域屋外境界の壁面貫通部を示す。(配線)  |    | 火災区域屋外境界の壁面貫通部を示す。(配管) |  | 改造建具   |  | 既設建具(安全機能なし)    |
|  | 火災区域屋外境界の壁面貫通部を示す。(ダクト) |                                                                                       |                        |  | 既設建具   |                                                                                       |                 |

図ト-W1建-20(1) 第1廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止(1階・中2階)



-  火災区域境界
-  火災区画境界
-  火災区域屋外境界の壁面貫通部を示す。(配線)
-  火災区域屋外境界の壁面貫通部を示す。(配管)
-  火災区域屋外境界の壁面貫通部を示す。(ダクト)
-  改造建具
-  既設建具
-  火災源のある区画を示す。
-  防護対象設備のある区画を示す。

図ト-W1建-20(2) 第1廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止(2階・3階)



図ト-W1建-20(3) 第1廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止（北東立面）

1380

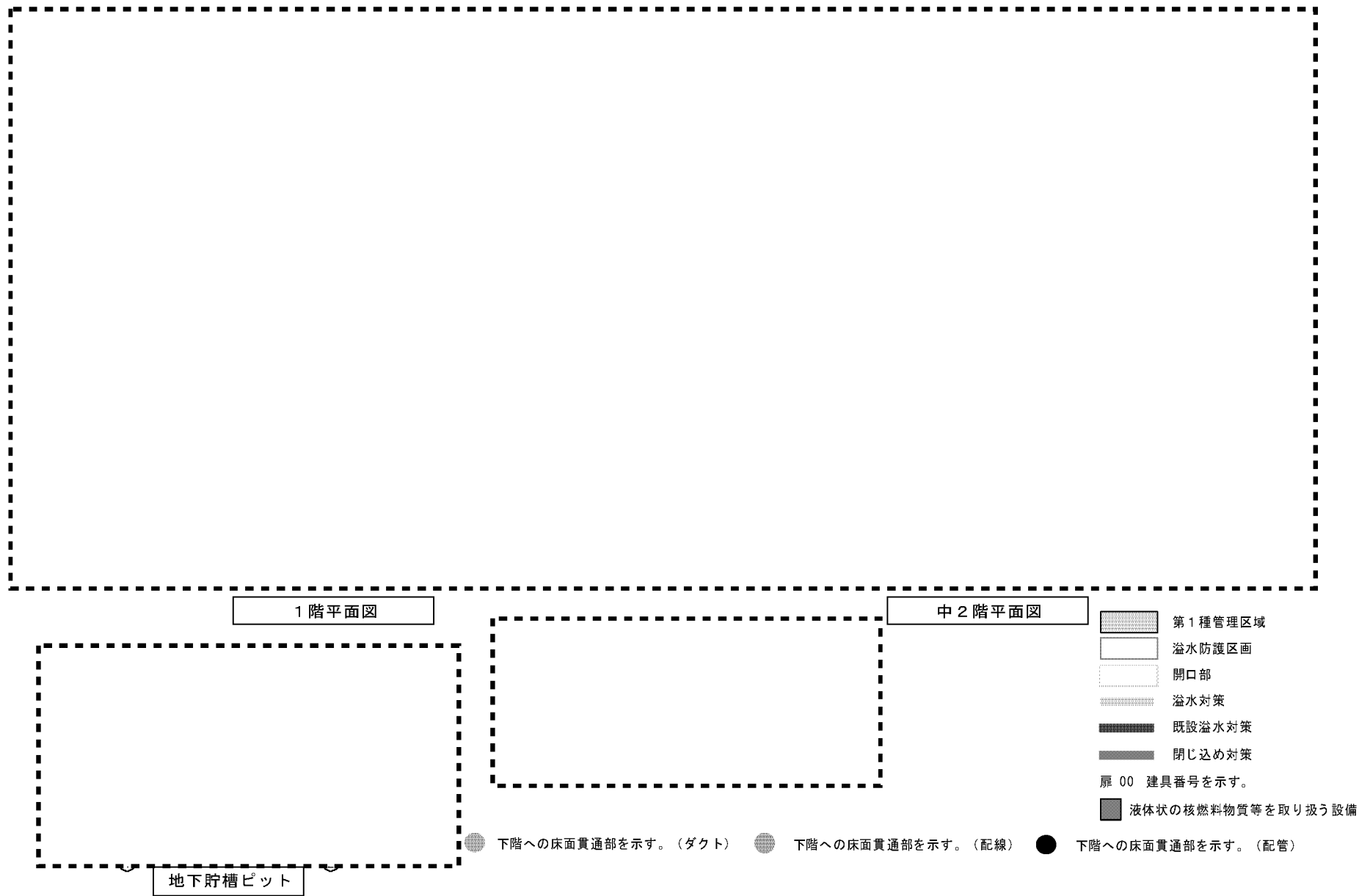


B-C通り断面図

1-2通り断面図

—— 火災区域境界  
..... 火災区画境界

図ト-W1建-20(4) 第1廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止(断面)



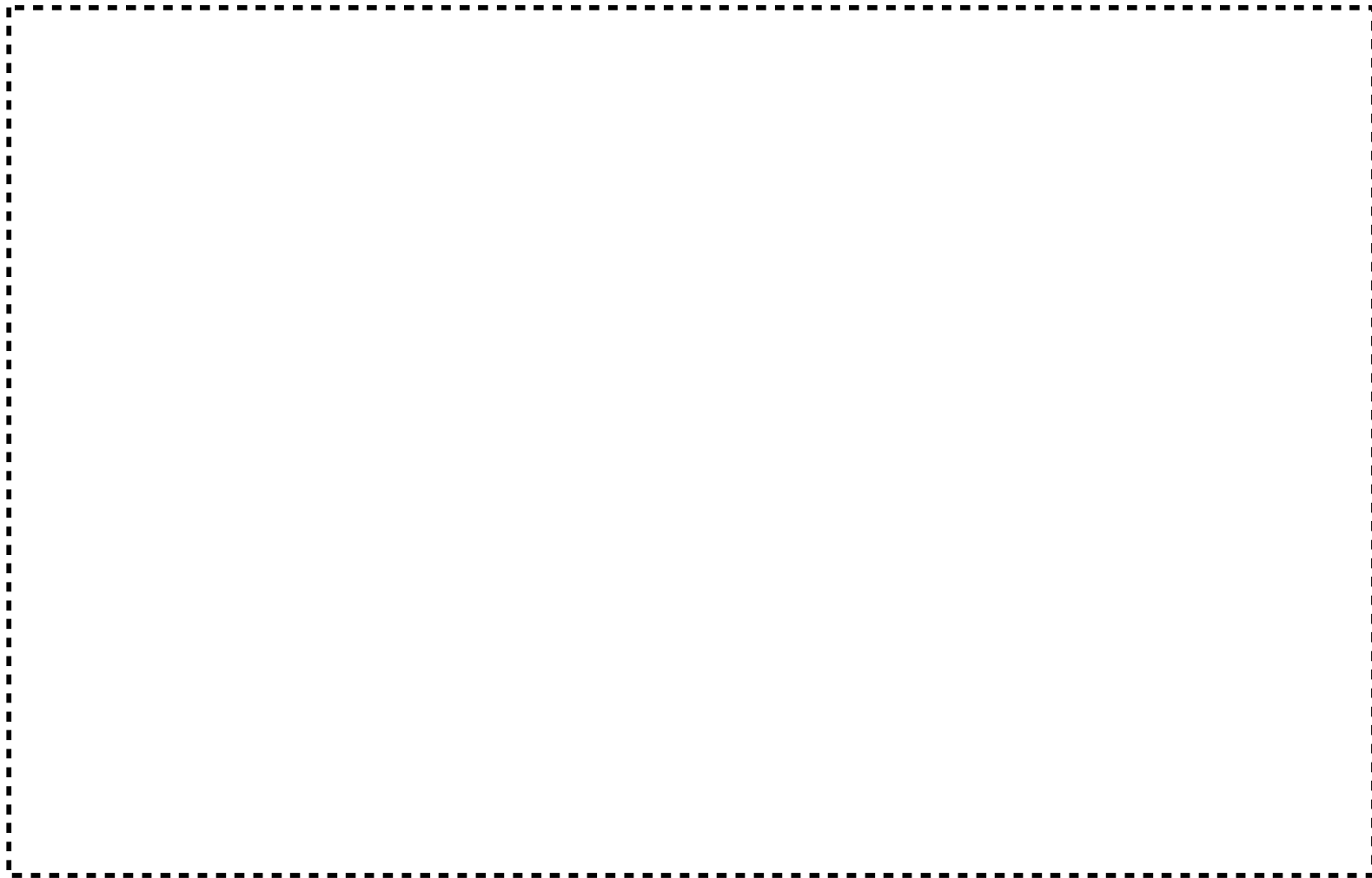
図ト-W1建-21(1) 第1廃棄物貯蔵棟 溢水による損傷の防止(1階・中2階)



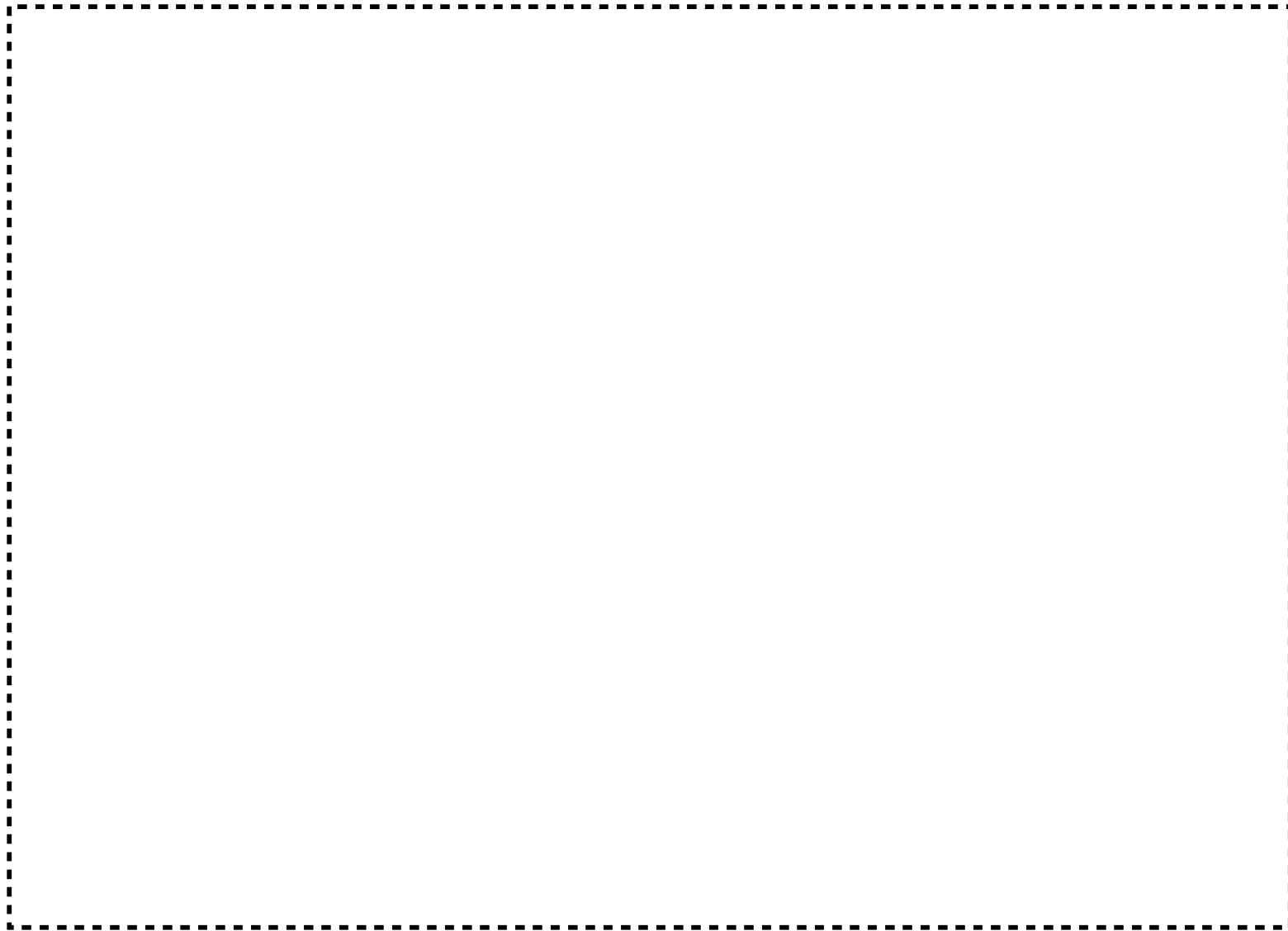
● 下階への床面貫通部を示す。(ダクト)      ● 下階への床面貫通部を示す。(配線)      ● 下階への床面貫通部を示す。(配管)

図ト-W1建-21(2) 第1廃棄物貯蔵棟 溢水による損傷の防止(2階・3階)





図卜-W1建-22(1) 第1廃棄物貯蔵棟 溢水対策一覧表



図卜-W1建-22(2) 第1廃棄物貯蔵棟 溢水対策2



図卜-W1建-22(3) 第1廃棄物貯蔵棟 溢水対策3

1386

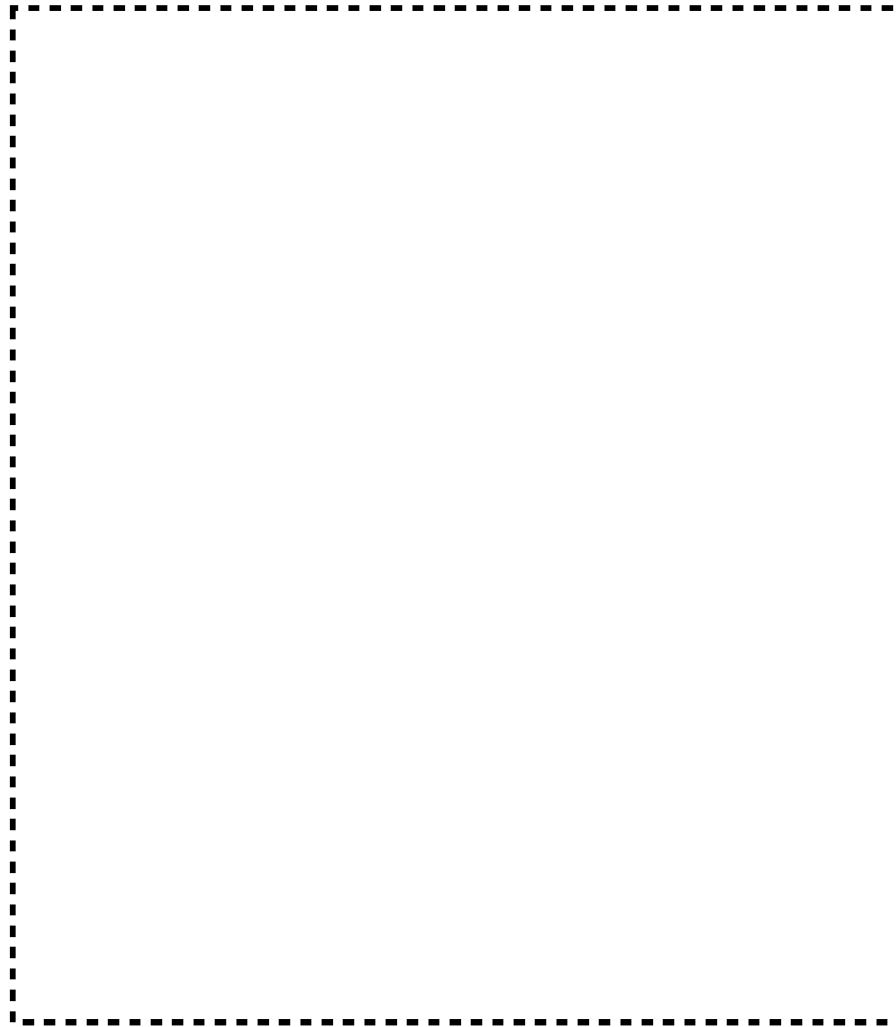


図ト-W1建-22(4) 第1廃棄物貯蔵棟 地下貯槽ピット 配置図

1387



図ト-W1建-22(5) 第1廃棄物貯蔵棟 地下貯槽ピット 詳細図1



図ト-W1建-22(6) 第1廃棄物貯蔵棟 地下貯槽ピット 詳細図2



1 階平面図

中 2 階平面図

————— 竜巻対策共通の改造箇所

⋯⋯⋯⋯⋯ 侵入防止境界

外周部の扉は、改造前、改造後ともに、鋼製建具である。

外壁は鉄筋コンクリート造である。

図ト-W1 建-23(1) 第1廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止 (1階・中2階)

1390



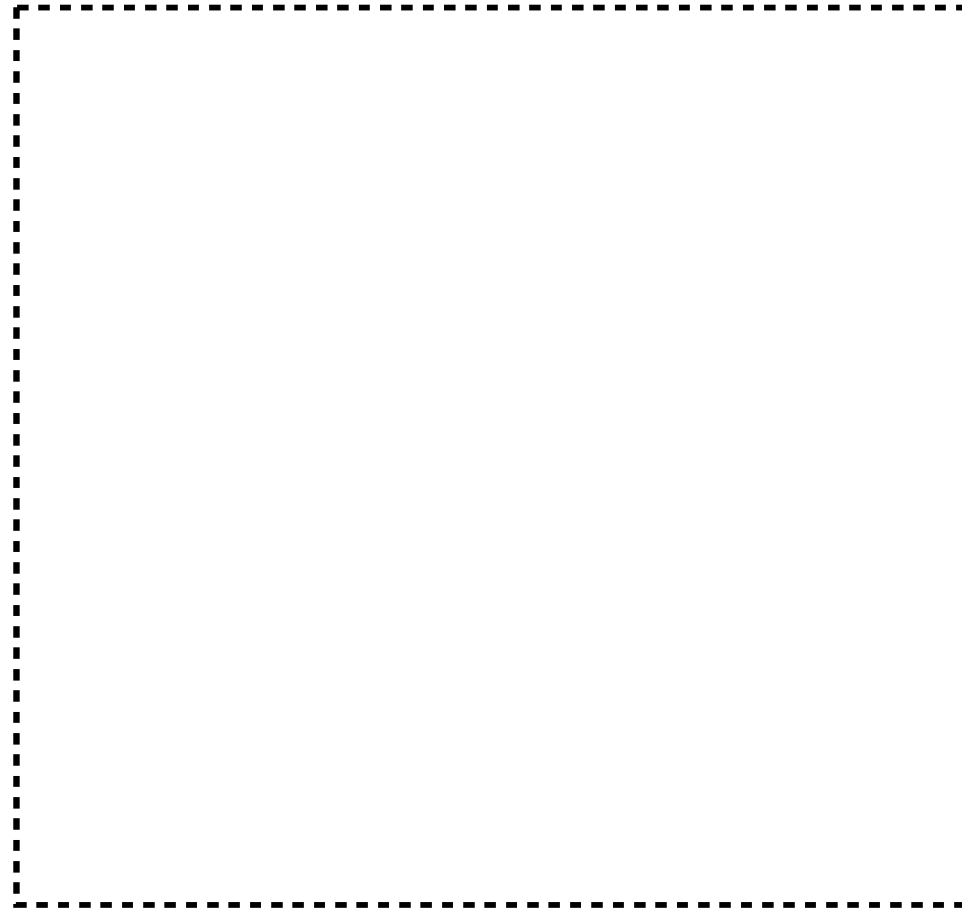
2階平面図

3階平面図

=====  
侵入防止境界  
外壁は鉄筋コンクリート造である。

図ト-W1建-23(2) 第1廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止(2階・3階)





R階平面図

..... 侵入防止境界  
屋根は鉄筋コンクリート造である。

図ト-W1建-23(3) 第1廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止 (R階)



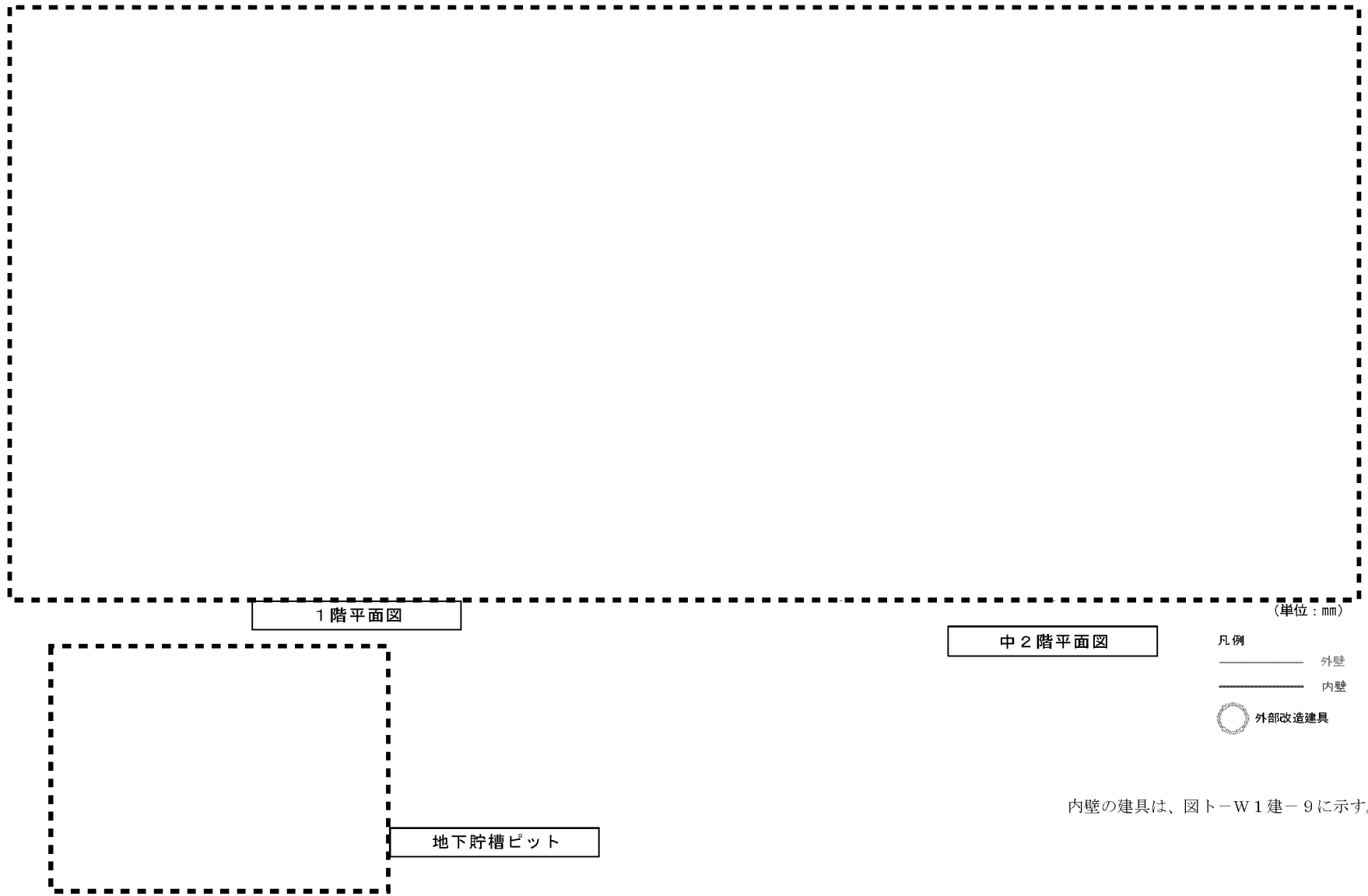
東立面図

北立面図

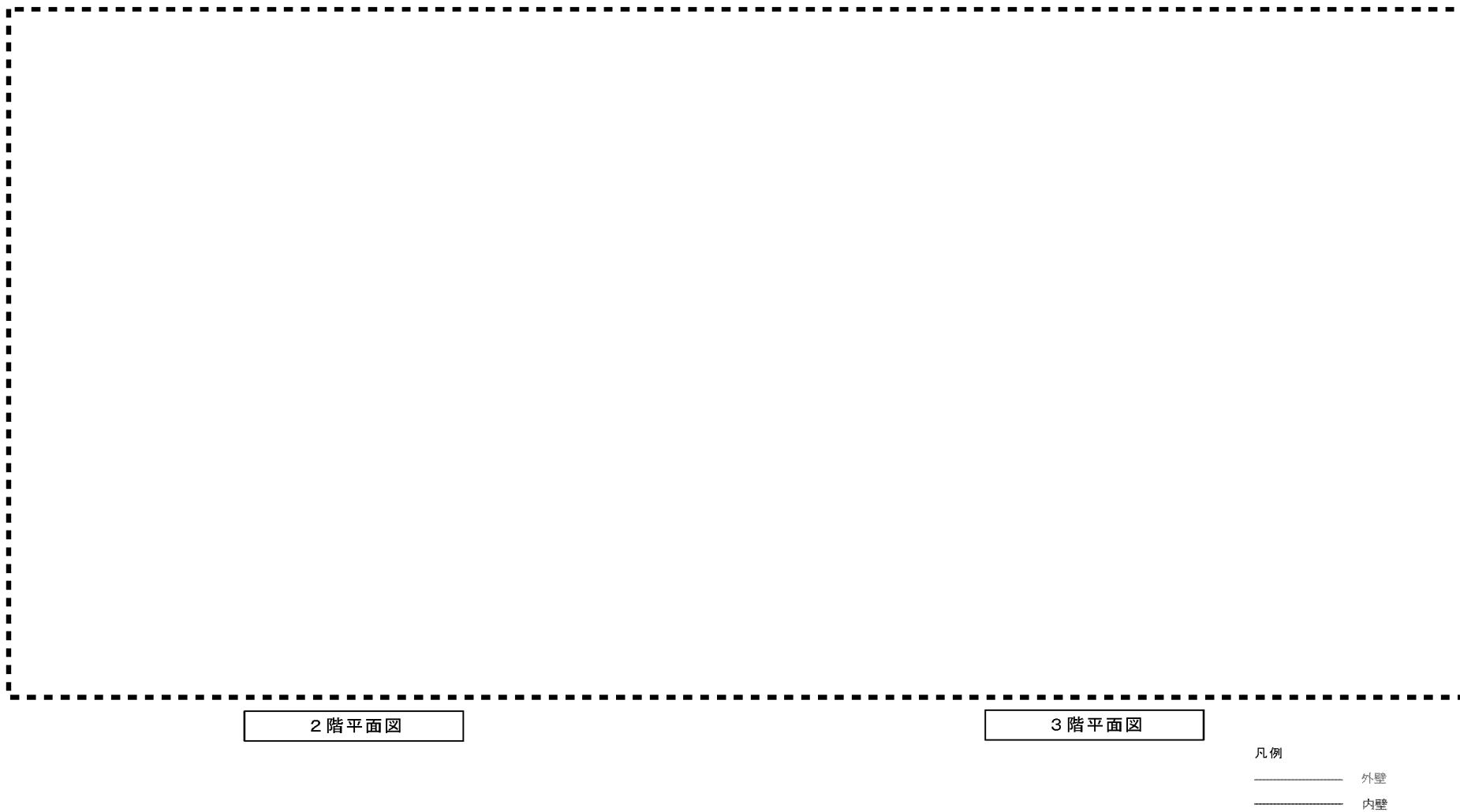
————— 竜巻対策共通の改造箇所  
外周部の扉は、改造前、改造後ともに、鋼製建具である。  
外壁は鉄筋コンクリート造である。

外壁面の侵入防止境界は図ト-W1建-23(1)～図ト-W1建-23(3)の平面図を参照のこと

図ト-W1建-23(4) 第1廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止(北東立面)

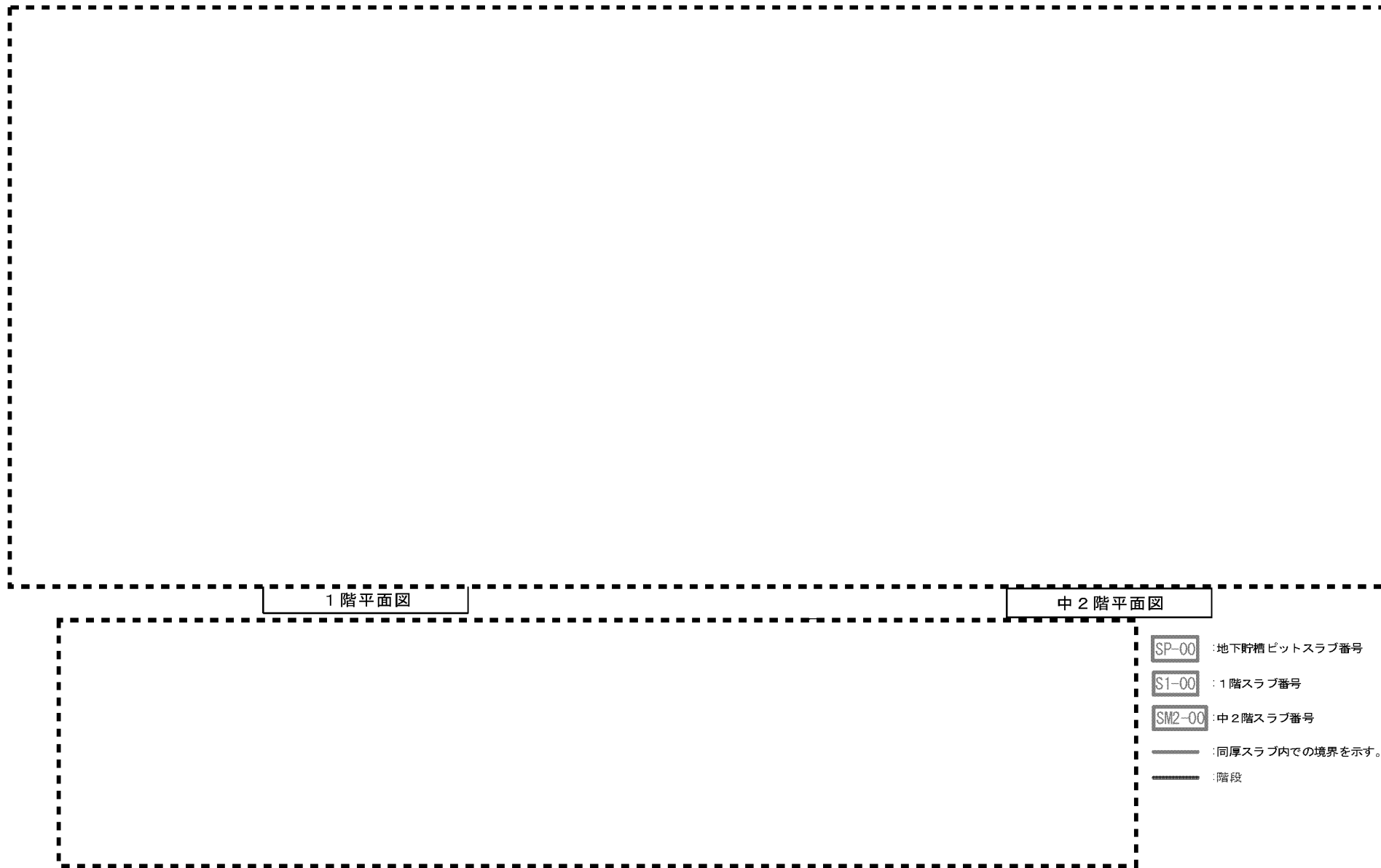


図ト-W1建-24(1) 第1廃棄物貯蔵棟 部位位置図 1階・中2階壁



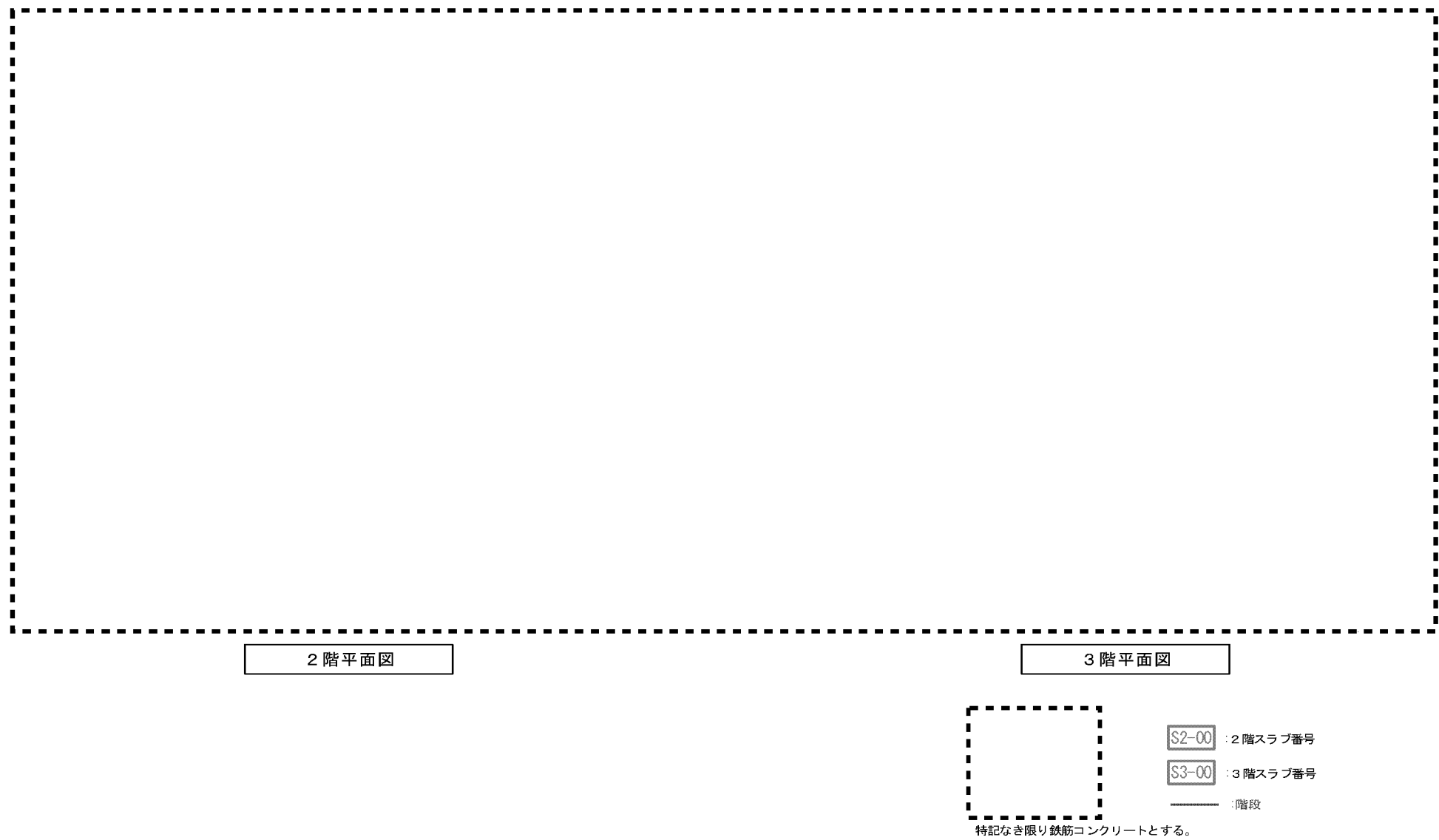
図卜-W1建-24(2) 第1廃棄物貯蔵棟 部位位置図 2階・3階壁

1395



図トーW1建-24(3) 第1廃棄物貯蔵棟 部位位置図 1階・中2階スラブ

1396



図ト-W1建-24(4) 第1廃棄物貯蔵棟 部位位置図 2階・3階スラブ



R 階平面図



SR-00 : R 階スラブ番号

特記なき限り鉄筋コンクリートとする。

図ト-W1 建-24 (5) 第1 廃棄物貯蔵棟 部位位置図 R 階スラブ



1階平面図



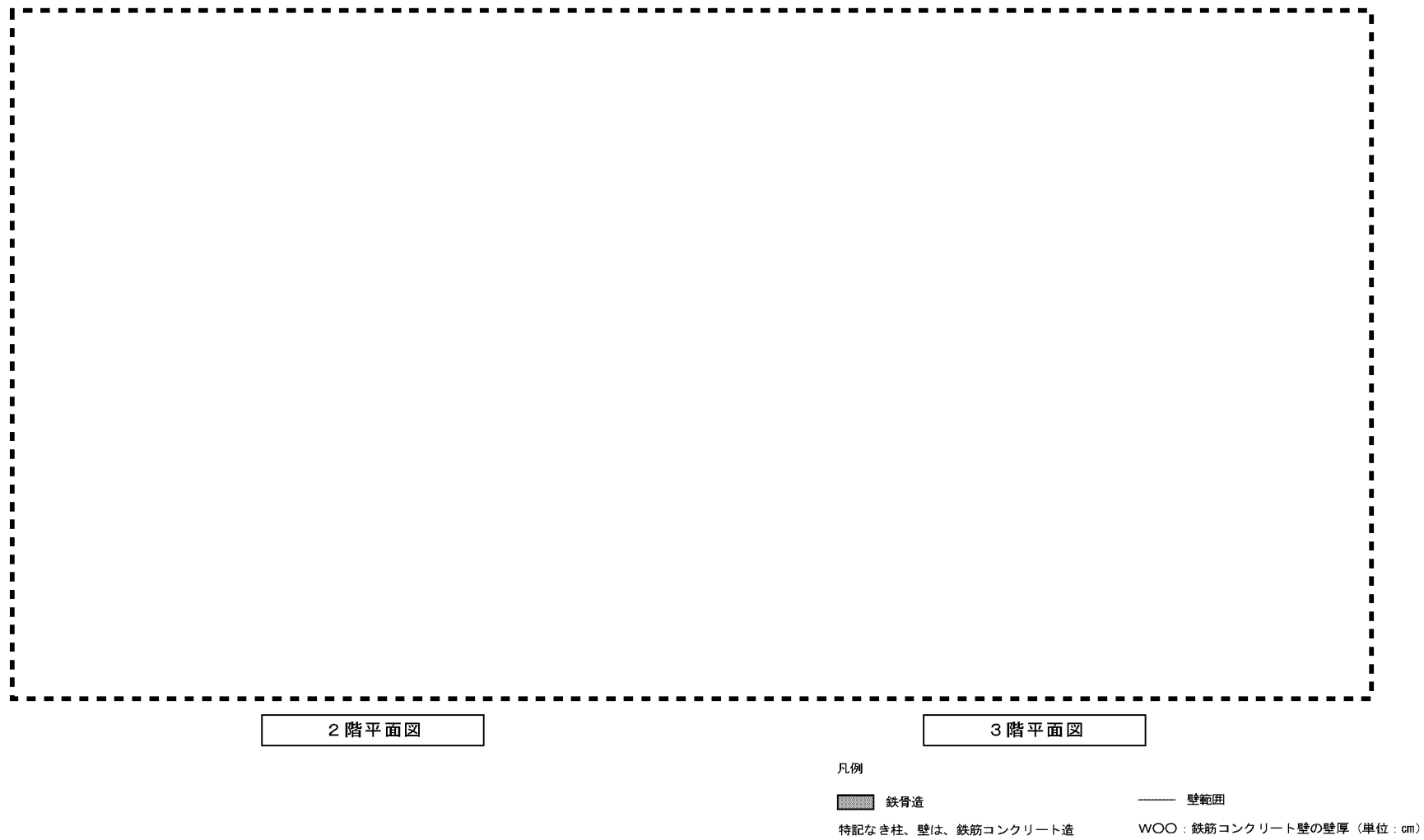
地下貯槽ピット

中2階平面図

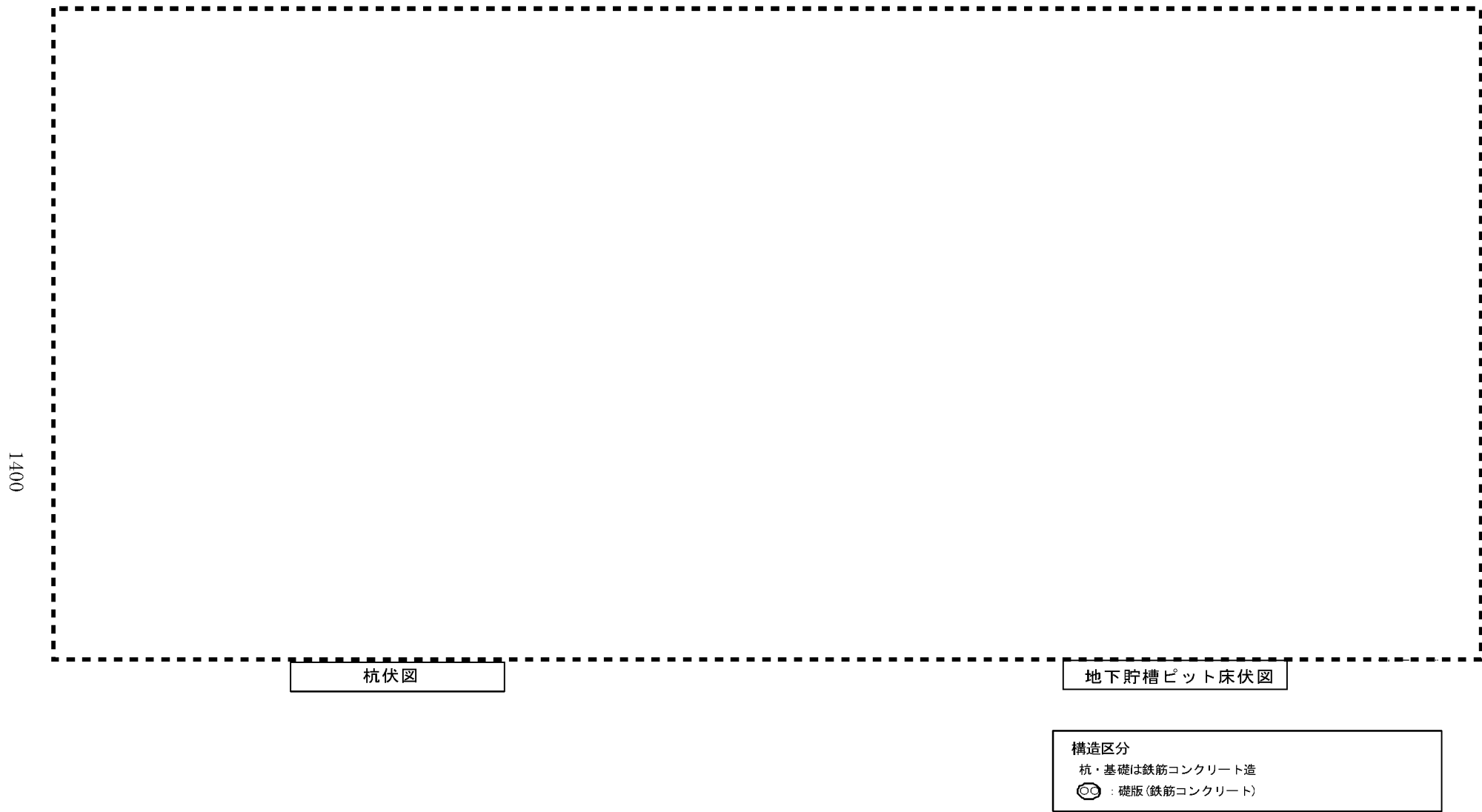
- 凡例
- 鉄骨造
  - けい酸カルシウム板
  - コンクリートブロック造
  - 特記なき柱、壁は、鉄筋コンクリート造
  - 壁範囲
  - WOO : 鉄筋コンクリート壁の壁厚 (単位 : cm)

図ト-W1建-25(1) 第1廃棄物貯蔵棟の安全機能を有する部位の位置、構造(材料、厚さ)図(1階・中2階)

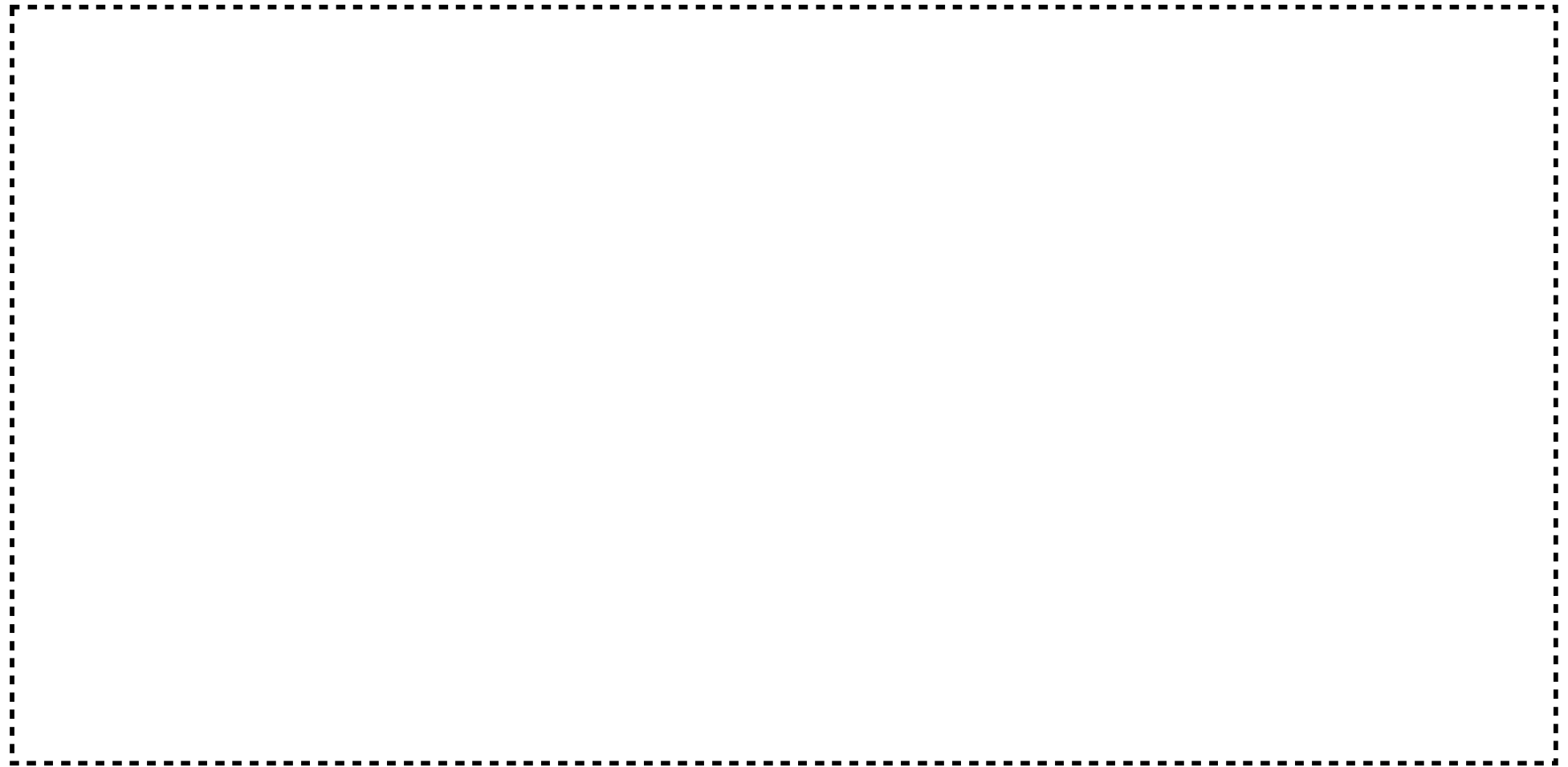




図ト-W1建-25(2) 第1廃棄物貯蔵棟の安全機能を有する部位の位置、構造(材料、厚さ)図(2階・3階)



図ト-W1建-26(1) 第1廃棄物貯蔵棟 杭伏図・地下貯槽ピット床伏図兼構造区分図



構造区分

- : 柱 (鉄骨造)
- : はり (鉄骨造)
- ⊙ : スラブ (鉄筋コンクリート)
- ▨ : 土間コンクリートを示す

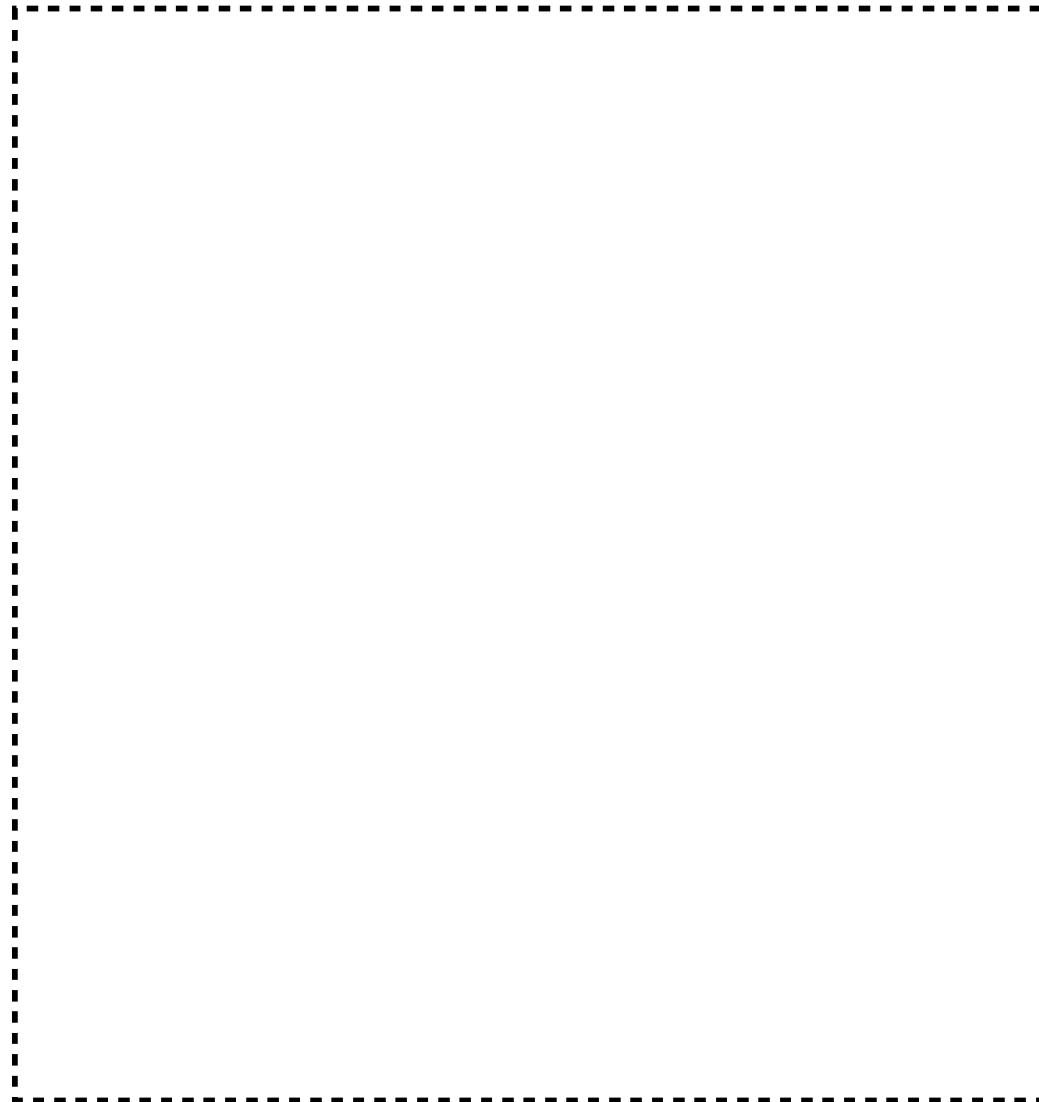
特記なき柱、壁、はり、鉄筋コンクリート造

図ト-W1建-26(2) 第1廃棄物貯蔵棟 1階・中2階はり伏図兼構造区分図

1402

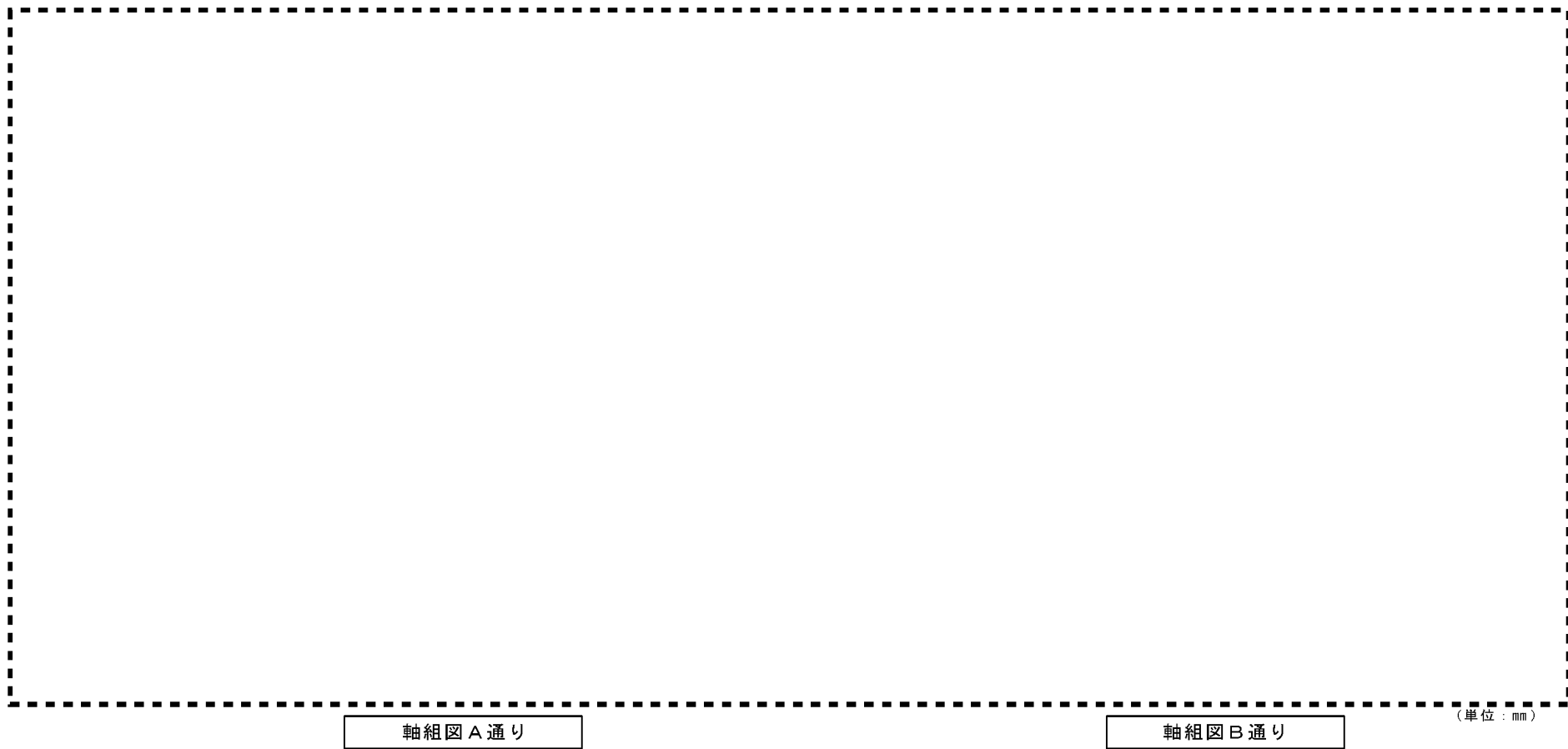


図ト-W1建-26(3) 第1廃棄物貯蔵棟 2階・3階はり伏図兼構造区分図



図ト-W1建-26(4) 第1廃棄物貯蔵棟 R階床ばり伏図兼構造区分図

1404

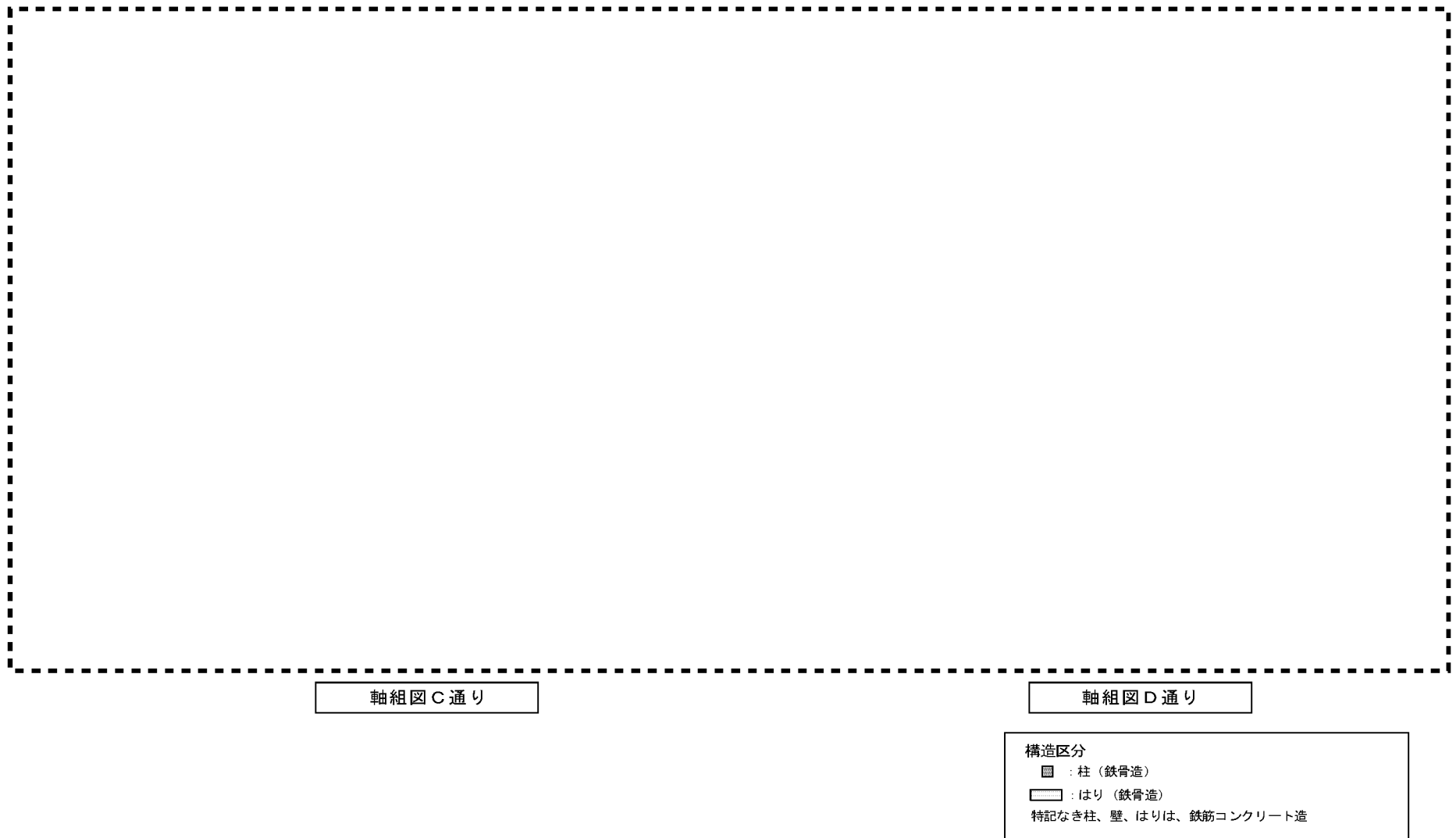


構造区分

- : 柱 (鉄骨造)
- ▨ : はり (鉄骨造)

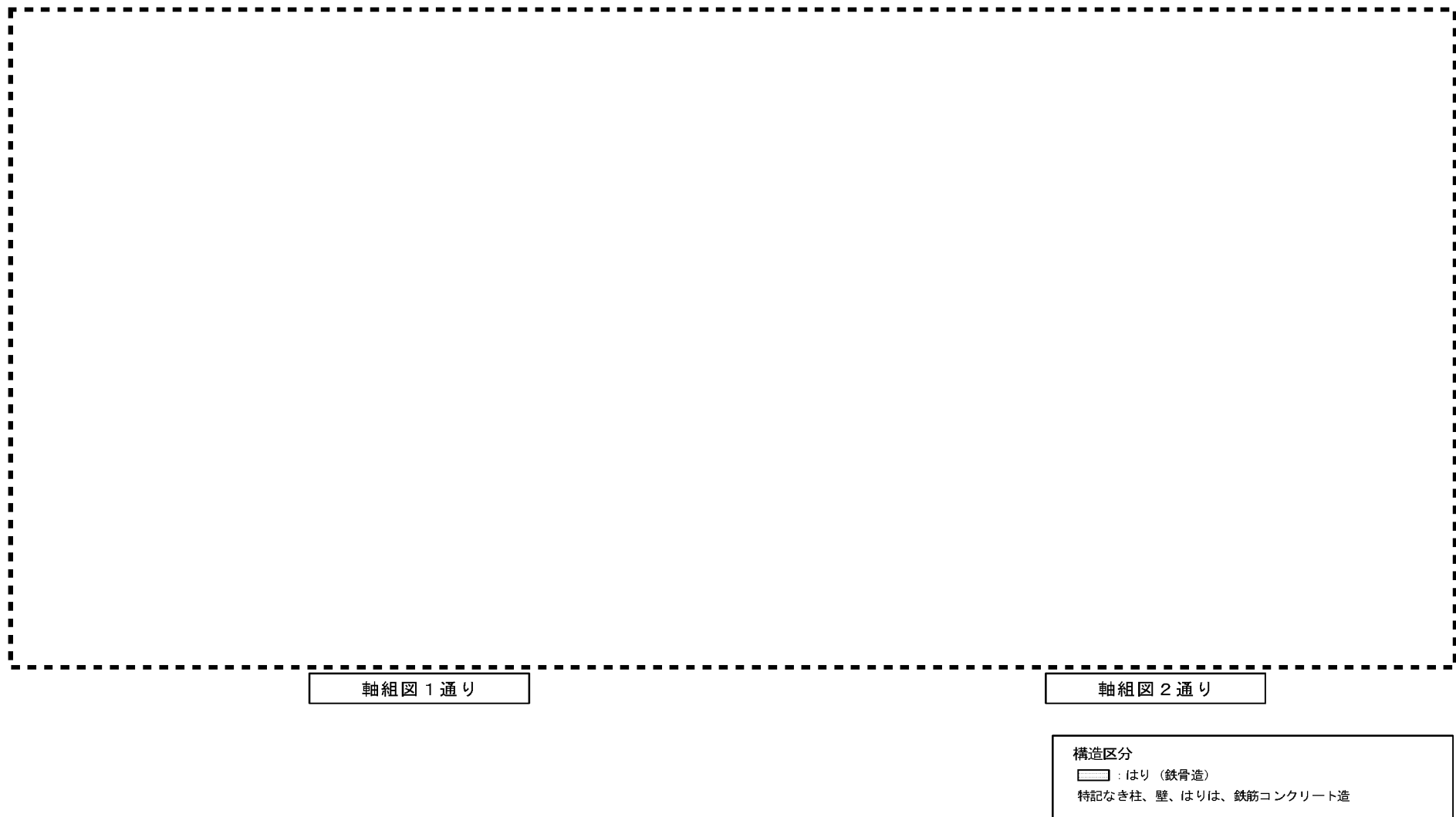
特記なき柱、壁、はりは、鉄筋コンクリート造

図ト-W1建-27(1) 第1廃棄物貯蔵棟 軸組図A通り、B通り



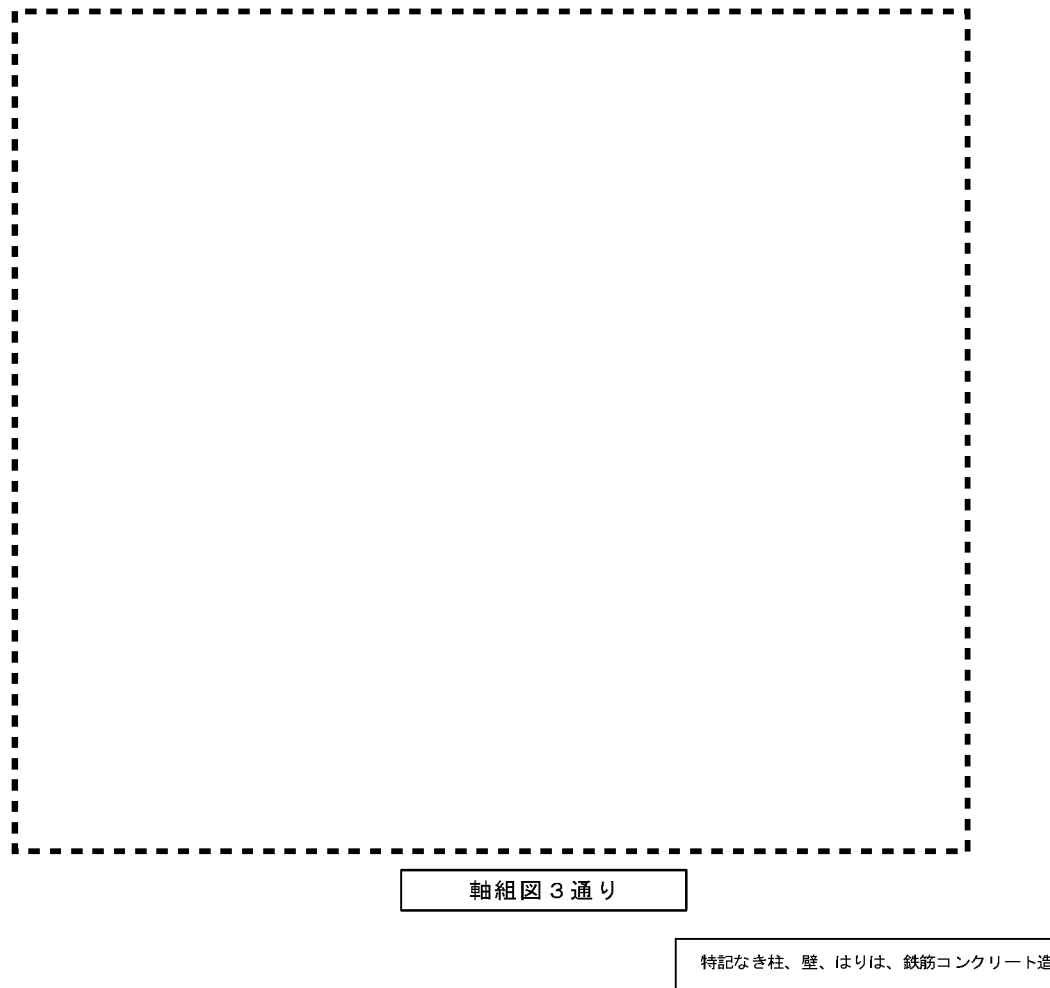
図ト-W1 建-27 (2) 第1 廃棄物貯蔵棟 軸組図 C 通り、D 通り

1406

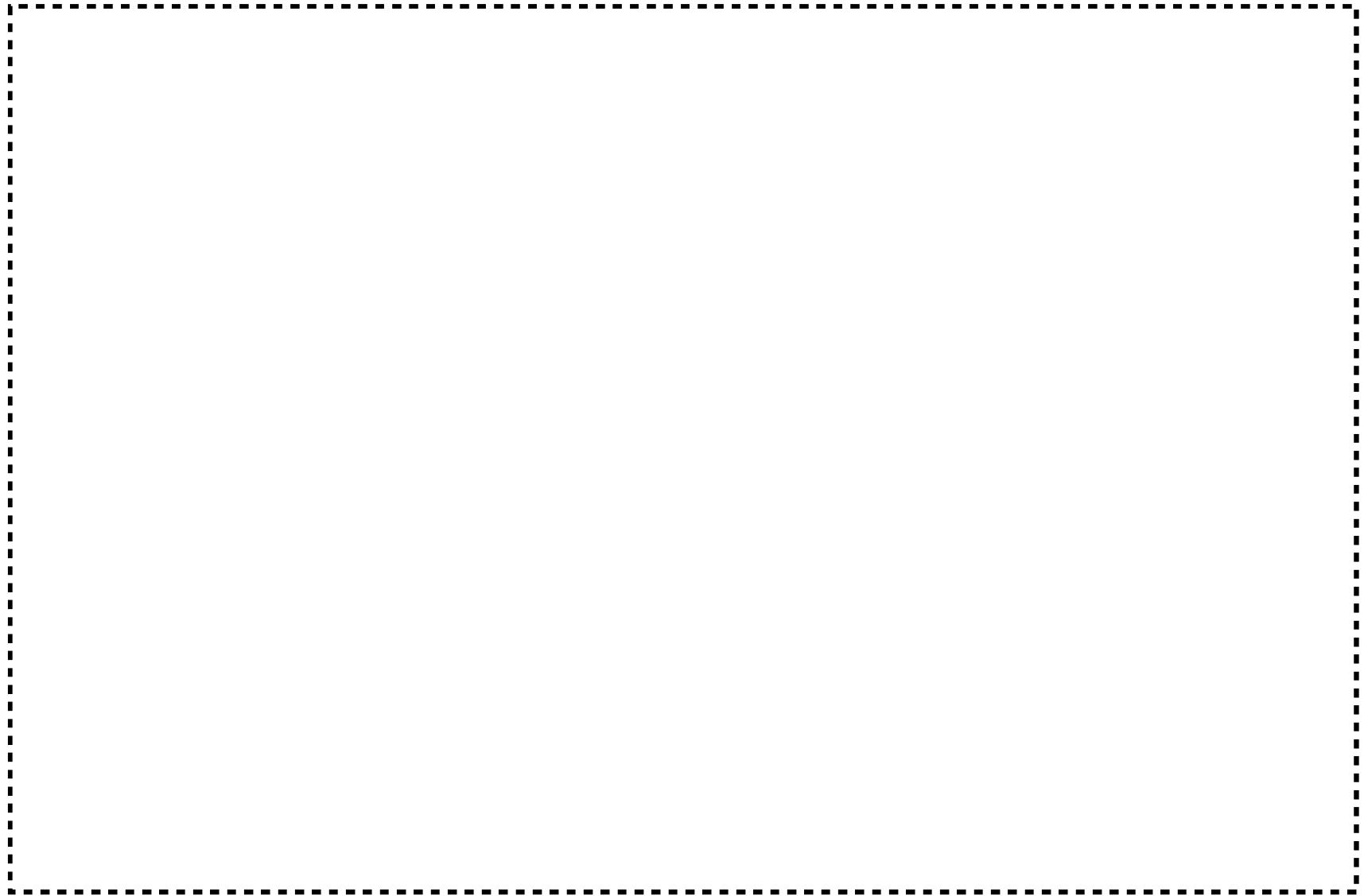


図ト-W1建-27(3) 第1廃棄物貯蔵棟 軸組図1通り、2通り

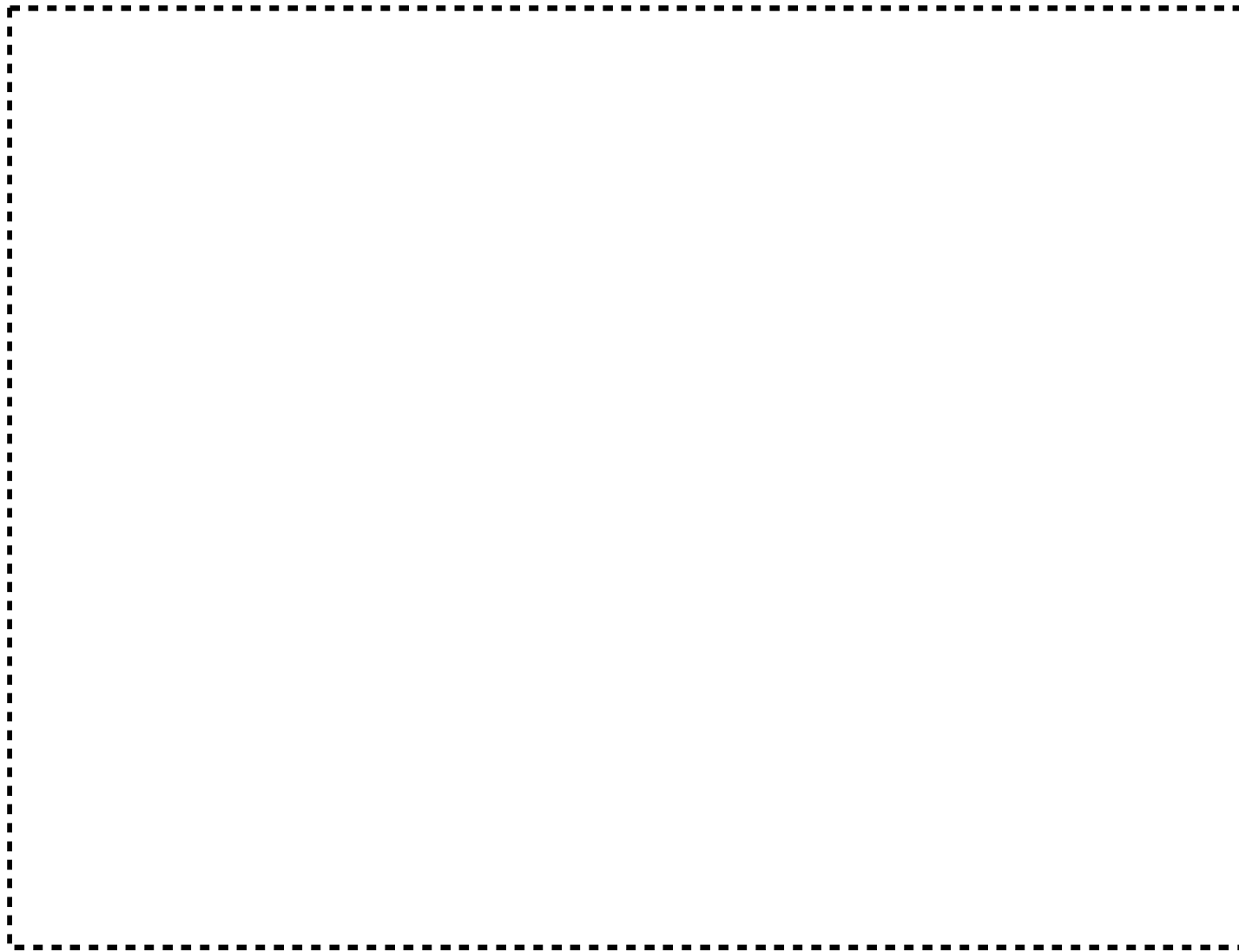




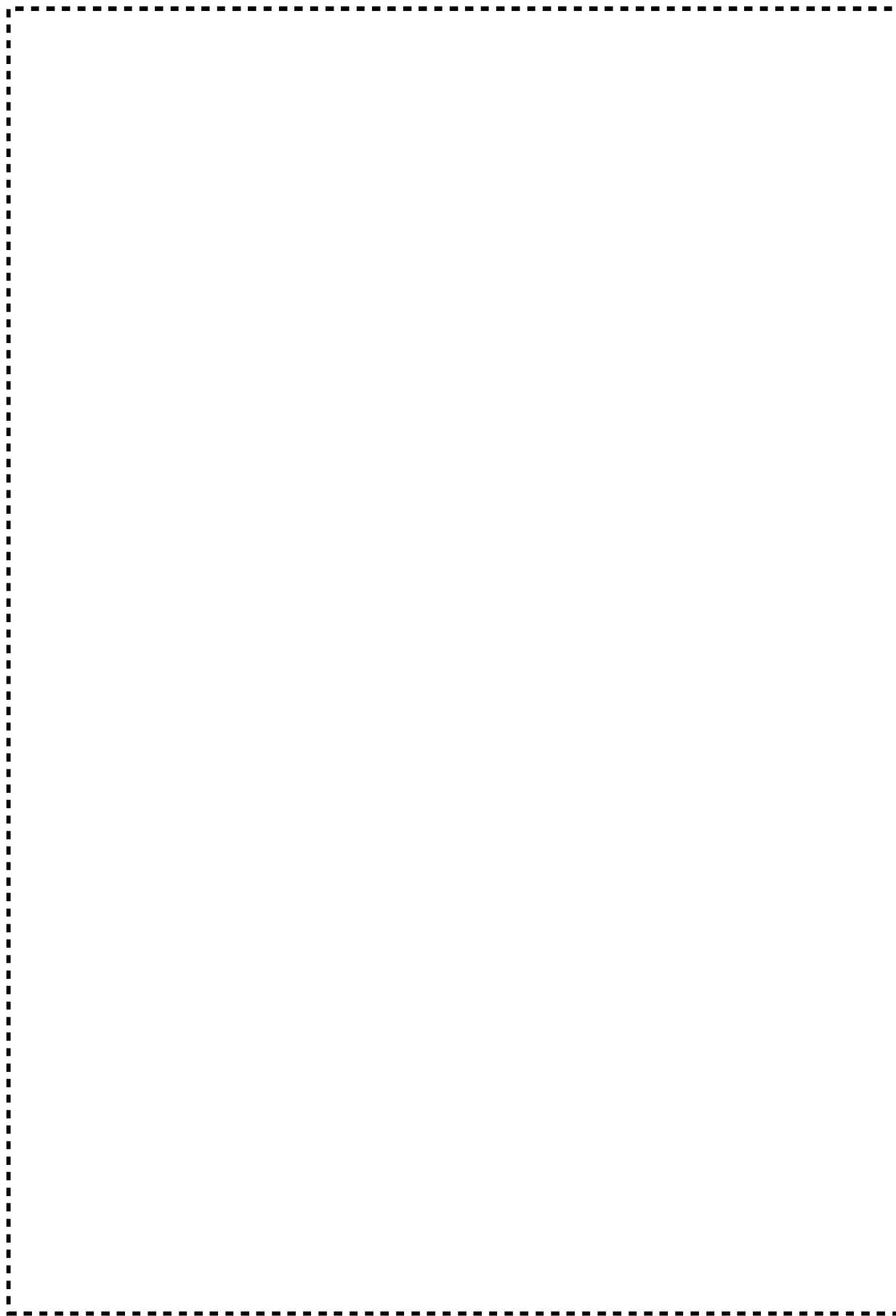
図ト-W1建-27(4) 第1廃棄物貯蔵棟 軸組図3通り



図ト-W1建-28(1) 第1廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 基礎断面



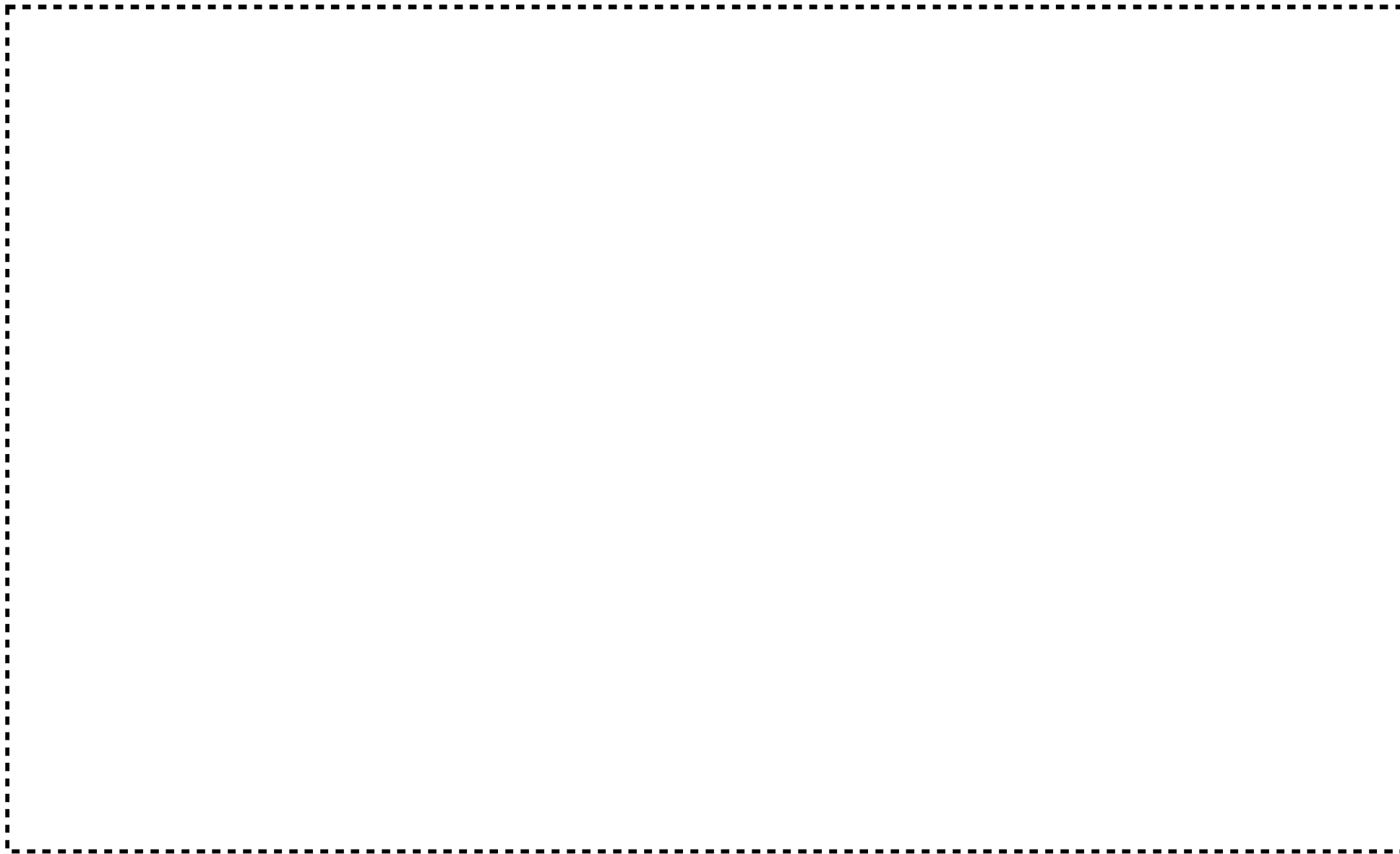
図ト-W1建-28(2) 第1廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 柱・柱配置図



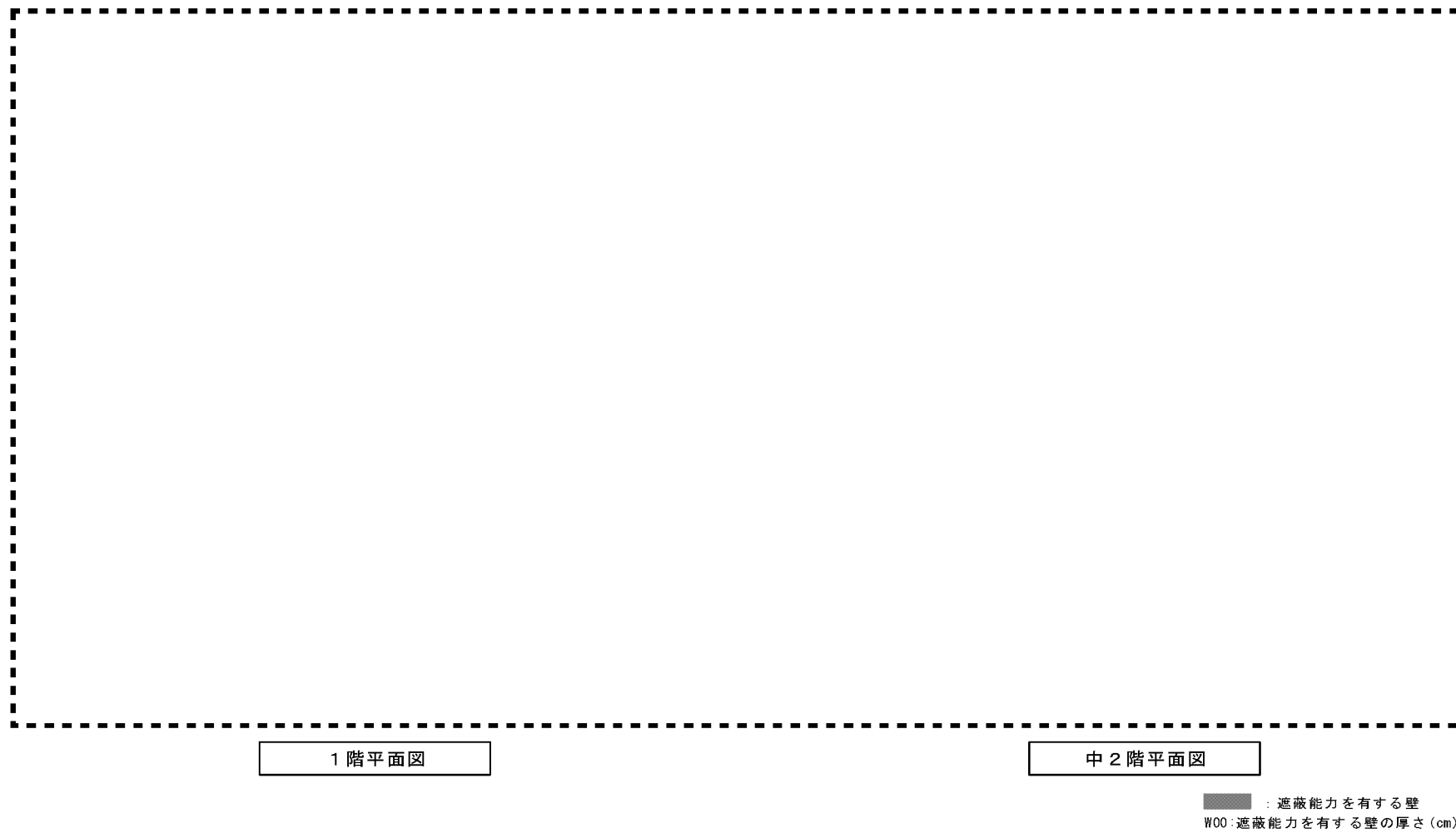
図ト-W1建-28(3) 第1廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 大ぶり



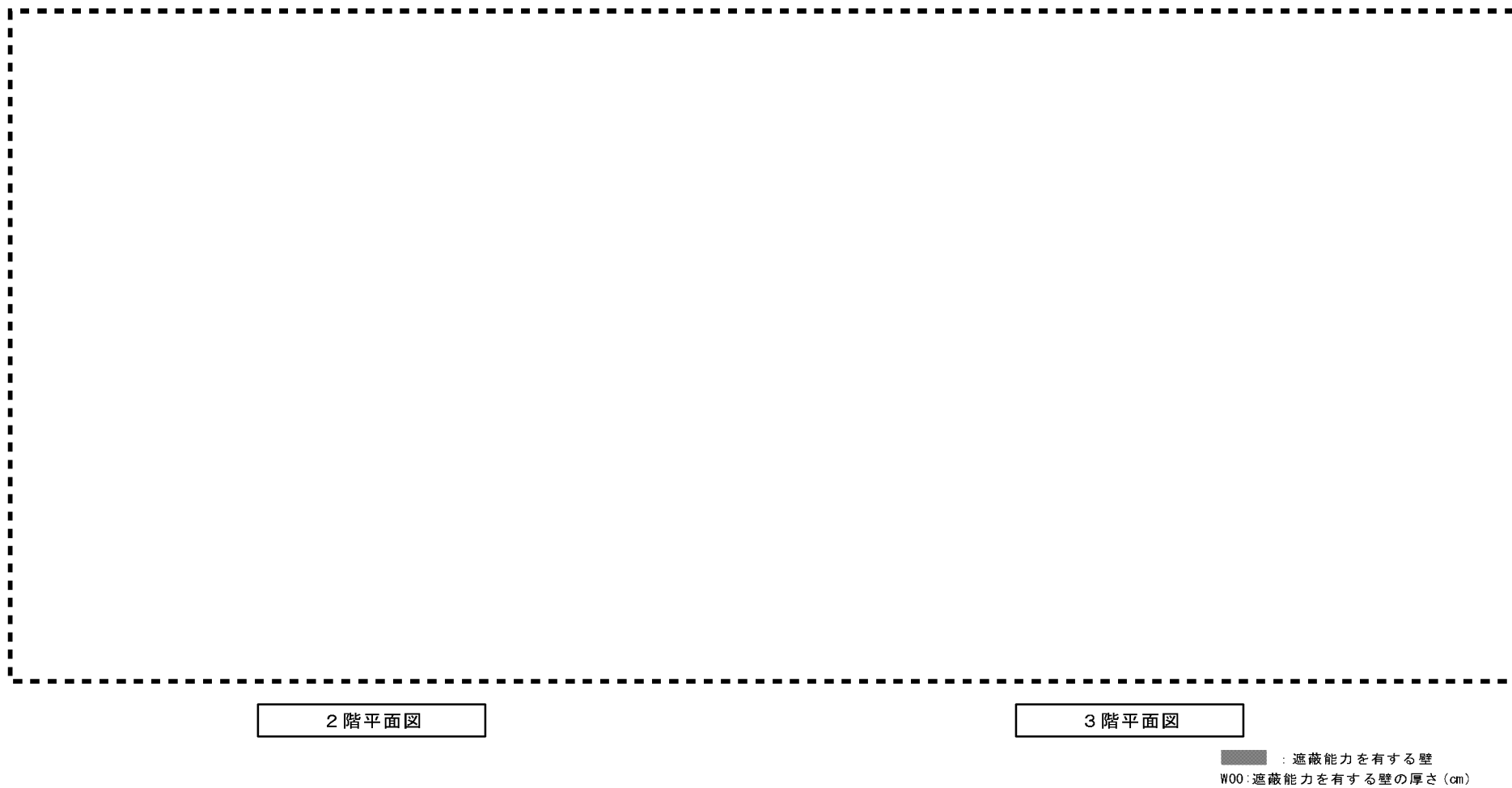
図ト-W1建-28(4) 第1廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 小ぶり



図ト-W1 建-28(5) 第1 廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト スラブ・壁

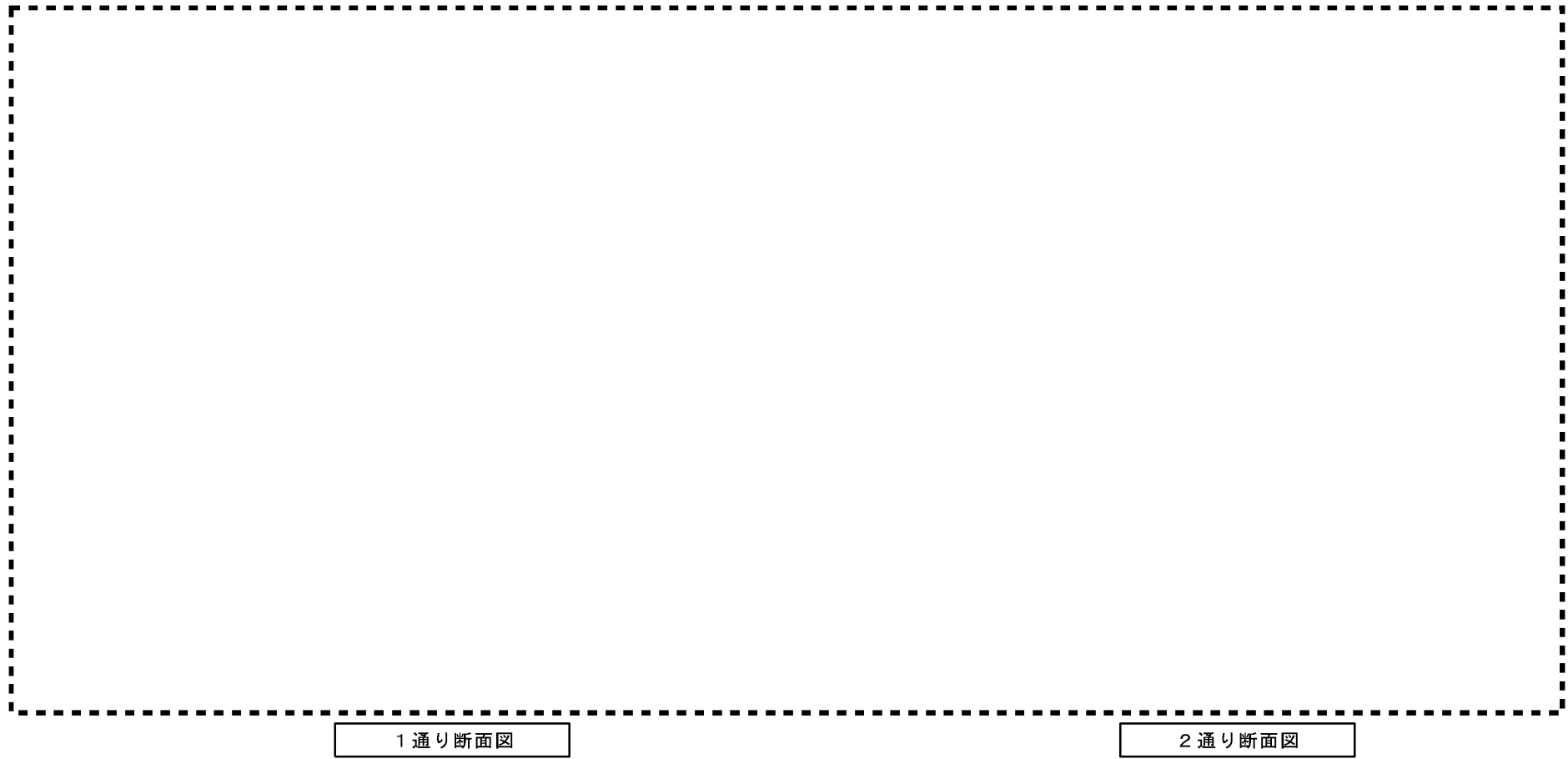


図ト-W1建-29(1) 第1廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井 (平面図 1階、中2階)



図ト-W1建-29(2) 第1廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井 (平面図 2階、3階)





■ : 遮蔽能力を有する壁  
W00: 遮蔽能力を有する壁の厚さ (cm)  
[00]: 遮蔽能力を有する天井・床の厚さ (cm)

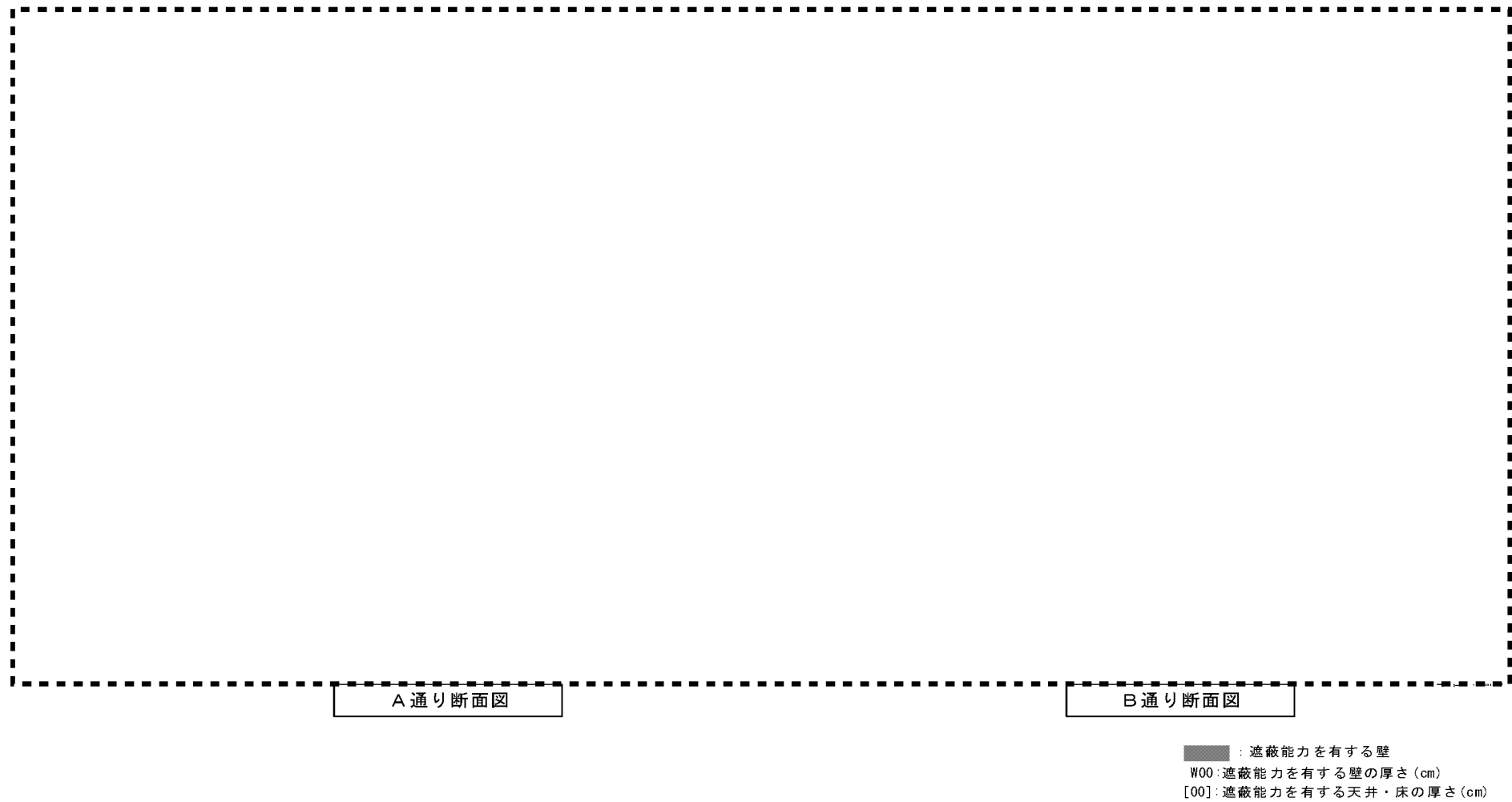
図ト-W1建-29(3) 第1廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井 (断面図 1通り、2通り)



3 通り断面図

■ : 遮蔽能力を有する壁  
W00: 遮蔽能力を有する壁の厚さ (cm)  
[00]: 遮蔽能力を有する天井・床の厚さ (cm)

図ト-W1 建-29(4) 第1 廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井 (断面図 3 通り)



図ト-W1建-29(5) 第1廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井 (断面図 A通り、B通り)

1418

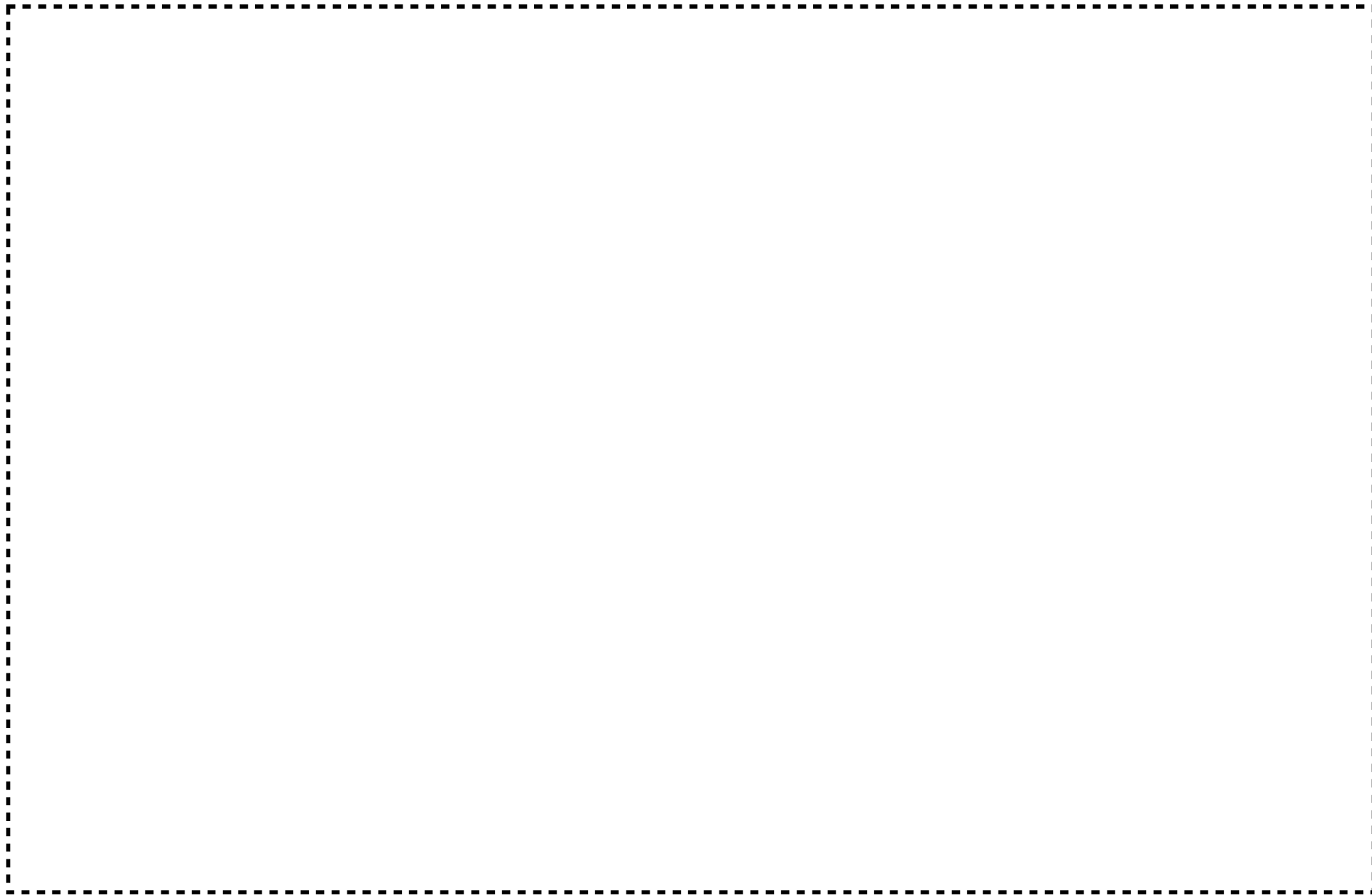


C通り断面図

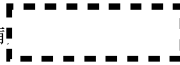
D通り断面図

■ : 遮蔽能力を有する壁  
W00: 遮蔽能力を有する壁の厚さ (cm)  
[00]: 遮蔽能力を有する天井・床の厚さ (cm)

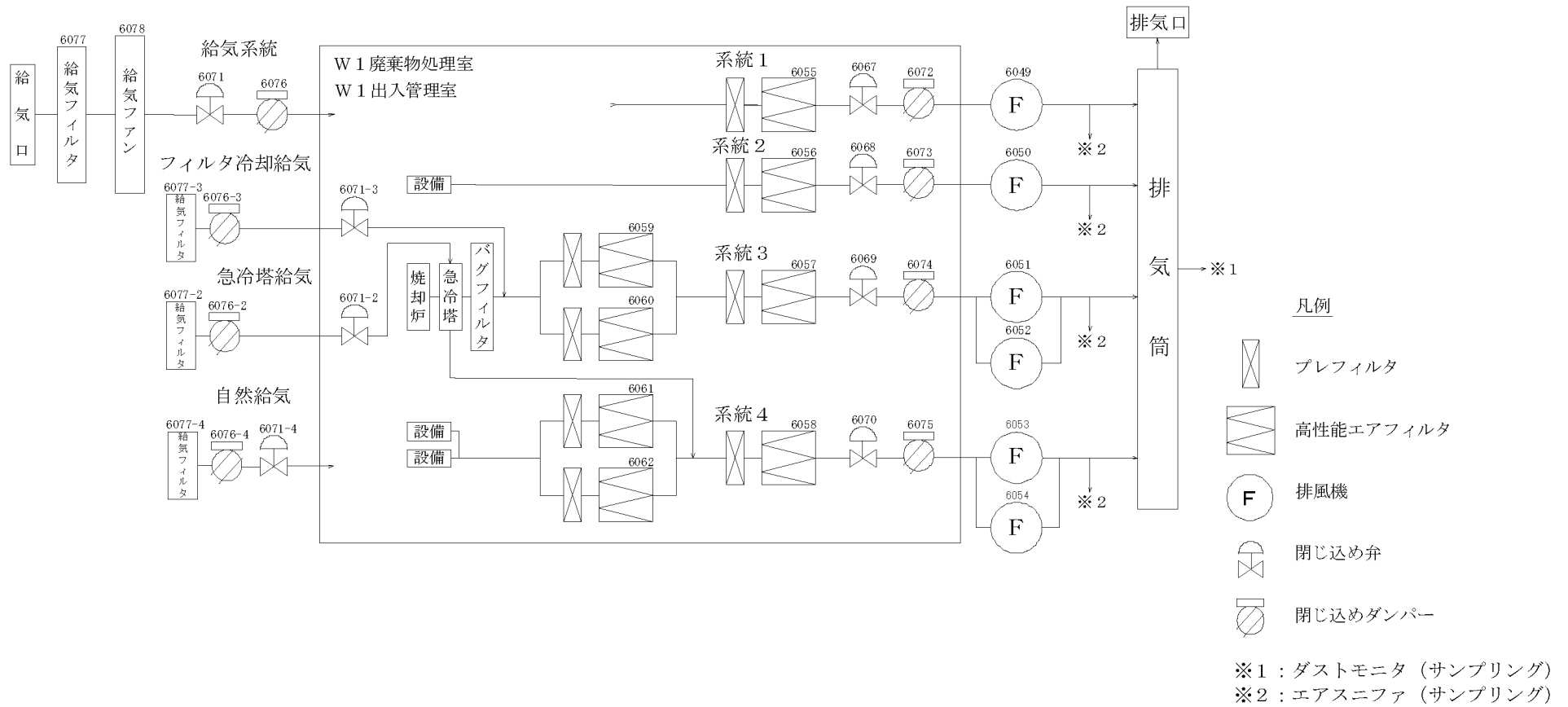
図ト-W1建-29(6) 第1廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井 (断面図 C通り、D通り)



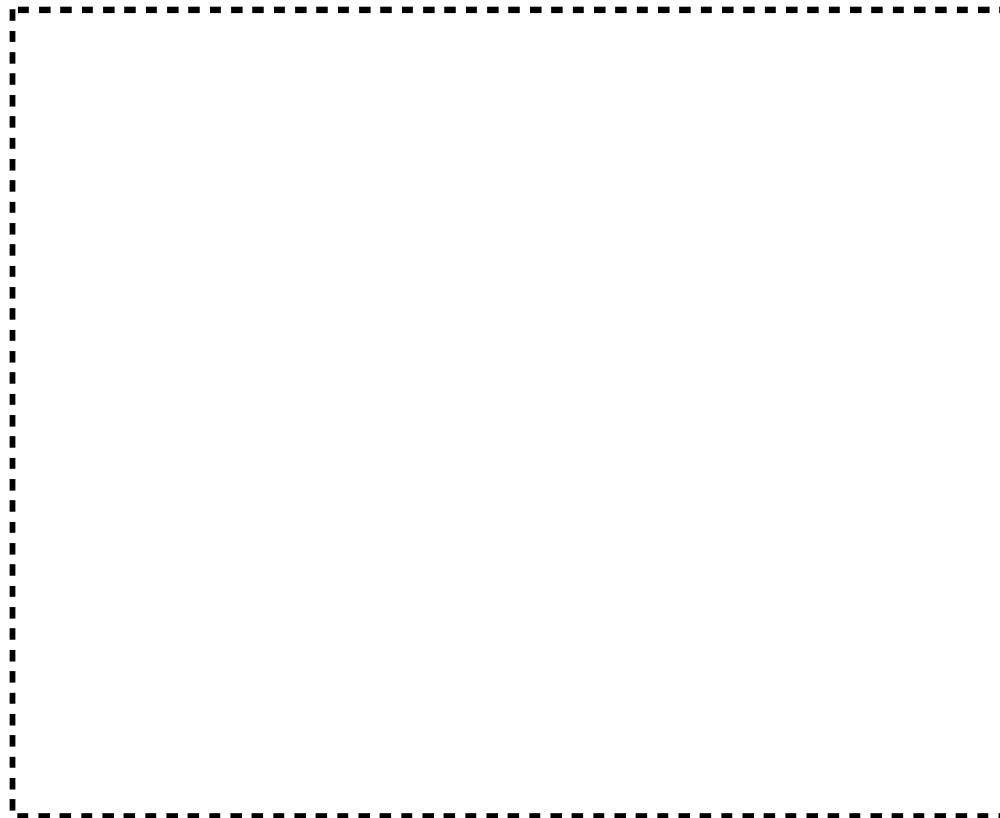
図ト-W 1 設-1-1 (1) 本申請で適合性を確認する第1 廃棄物貯蔵棟の設備及び機器の配置詳細図  
(1 階及び焼却設備 焼却炉 架台上の設備及び中 2 階及び 2 階及び 3 階)

| 番号   | 名 称                                              | 番号     | 名 称                                              | 番号   | 名 称                                                                                                  |
|------|--------------------------------------------------|--------|--------------------------------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6049 | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 (部屋排気系統)<br>No.1 排風機            | 6077-2 | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (急冷塔給気)<br>給気フィルタ               | 6135 | W 1 廃液処理設備 貯留槽 No. 3                                                                                 |
| 6050 | 気体廃棄設備 No.2 系統 2 (局所排気系統)<br>No.2 排風機            | 6077-3 | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (フィルタ冷却給気)<br>給気フィルタ            | 6138 | 焼却設備 焼却炉                                                                                             |
| 6051 | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>No.3 排風機            | 6077-4 | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 系統 2 系統 3 系統 4<br>(自然給気) 給気フィルタ | 6139 | 焼却設備 バグフィルタ                                                                                          |
| 6052 | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>No.4 排風機            | 6078   | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 系統 2 系統 3 系統 4<br>(給気系統) 給気ファン  | 6140 | 焼却設備 投入プッシャ                                                                                          |
| 6053 | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>No.5 排風機            | 6124   | W 1 廃液処理設備 蒸発乾固装置                                | 6141 | 焼却設備 前処理フード                                                                                          |
| 6054 | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>No.6 排風機            | 6125   | W 1 廃液処理設備 凝集沈殿槽                                 | 6142 | 焼却設備 フィルタ処理フード                                                                                       |
| 6055 | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 (部屋排気系統)<br>No.1 フィルタユニット       | 6126   | W 1 廃液処理設備 タンク No. 1                             | 6143 | 焼却設備 投入リフタ                                                                                           |
| 6056 | 気体廃棄設備 No.2 系統 2 (局所排気系統)<br>No.2 フィルタユニット       | 6127   | W 1 廃液処理設備 タンク No. 2                             | 6144 | 焼却設備 急冷塔                                                                                             |
| 6057 | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>No.5 フィルタユニット       | 6128   | W 1 廃液処理設備 タンク No. 3                             | 6145 | 湿式除染機 湿式除染部                                                                                          |
| 6058 | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>No.8 フィルタユニット       | 6129   | W 1 廃液処理設備 ろ過機                                   | 6146 | 湿式除染機 水洗除染タンク                                                                                        |
| 6059 | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>No.3 フィルタユニット       | 6130   | W 1 廃液処理設備 圧搾脱水機                                 | 6147 | 乾式除染機                                                                                                |
| 6060 | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>No.4 フィルタユニット       | 6131   | W 1 廃液処理設備 スラッジ乾燥機                               | 6148 | ホイストクレーン 2 トンチェンブロック                                                                                 |
| 6061 | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>No.6 フィルタユニット       | 6132   | W 1 廃液処理設備 受水槽                                   | 6149 | ホイストクレーン 1 トンチェンブロック                                                                                 |
| 6062 | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>No.7 フィルタユニット       | 6133   | W 1 廃液処理設備 貯留槽 No. 1                             | 6153 | 保管廃棄設備  廃棄物保管区域 |
| 6077 | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 系統 2 系統 3 系統 4<br>(給気系統) 給気フィルタ | 6134   | W 1 廃液処理設備 貯留槽 No. 2                             |      |                                                                                                      |

図ト-W 1 設-1-1 (2) 本申請で適合性を確認する第 1 廃棄物貯蔵棟の設備及び機器の配置詳細図 (設備・機器一覧表)



図ト-W1 設-1-2 第1廃棄物貯蔵棟の給排気全体系統図 (気体廃棄設備 No.2)









【凡例】

|       |                |  |                    |                    |
|-------|----------------|--|--------------------|--------------------|
| —     | : 既設部          |  | : 閉じ込めダンパー         | 1 類 : 耐震重要度分類第 1 類 |
| —     | : 新設・移設・更新・改造部 |  | : 閉じ込め弁            | 2 類 : 耐震重要度分類第 2 類 |
| ..... | : 撤去部          |  | : フィルタユニット (設備排気用) | 3 類 : 耐震重要度分類第 3 類 |

図ト-W 1 設-2-1 (1) 気体廃棄設備 No.2 (系統 1、系統 2、系統 3、系統 4、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図  
(系統 1 (部屋排気系統)) (1 / 2)





|      |                                                                                                    |                                                                                                        |                 |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 【凡例】 |  : 既設部          |  : 閉じ込めダンパー         | 1類 : 耐震重要度分類第1類 |
|      |  : 新設・移設・更新・改造部 |  : 閉じ込め弁            | 2類 : 耐震重要度分類第2類 |
|      |  : 撤去部          |  : フィルタユニット (設備排気用) | 3類 : 耐震重要度分類第3類 |

図ト-W 1 設-2-1 (1) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図  
(系統1 (部屋排気系統)) (2 / 2)



【凡例】

—— : 既設部

—○— : 閉じ込めダンパー

1類 : 耐震重要度分類第1類

—— : 新設・移設・更新・改造部

—X— : 閉じ込め弁

2類 : 耐震重要度分類第2類

..... : 撤去部

—☒— : フィルタユニット (設備排気用)

3類 : 耐震重要度分類第3類

図ト-W 1 設-2-1 (2) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図  
(系統2 (局所排気系統)) (1 / 2)



【凡例】

—— : 既設部

—— : 新設・移設・更新・改造部

..... : 撤去部

—○— : 閉じ込めダンパー

—X— : 閉じ込め弁

—[ ]— : フィルタユニット（設備排気用）

1類：耐震重要度分類第1類

2類：耐震重要度分類第2類

3類：耐震重要度分類第3類

図ト-W 1 設-2-1 (2) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図  
(系統2 (局所排気系統)) (2 / 2)



【凡例】

—— : 既設部

—— : 新設・移設・更新・改造部

..... : 撤去部

—○— : 閉じ込めダンパー

—✕— : 閉じ込め弁

—☒— : フィルタユニット（設備排気用）

1類：耐震重要度分類第1類

2類：耐震重要度分類第2類

3類：耐震重要度分類第3類

図ト-W1設-2-1(3) 気体廃棄設備 No.2（系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統）の設備及び機器の配置詳細図  
（系統3（局所排気系統））（1/2）



## 【凡例】

—— : 既設部

—— : 新設・移設・更新・改造部

..... : 撤去部

⊗ : 閉じ込めダンパー

⊗ : 閉じ込め弁

⊗ : フィルタユニット (設備排気用)

1類 : 耐震重要度分類第1類

2類 : 耐震重要度分類第2類

3類 : 耐震重要度分類第3類

図ト-W 1 設-2-1 (3) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図  
(系統3 (局所排気系統)) (2/2)



【凡例】

— : 既設部

— : 新設・移設・更新・改造部

..... : 撤去部

—○— : 閉じ込めダンパー

—T— : 閉じ込め弁

—[ ]— : フィルタユニット (設備排気用)

1類 : 耐震重要度分類第1類

2類 : 耐震重要度分類第2類

3類 : 耐震重要度分類第3類

図ト-W1設-2-1(4) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図  
(系統4 (局所排気系統)) (1/3)



【凡例】

—— : 既設部

—— : 新設・移設・更新・改造部

..... : 撤去部

⊗ : 閉じ込めダンパー

⊕ : 閉じ込め弁

⊞ : フィルタユニット（設備排気用）

1類：耐震重要度分類第1類

2類：耐震重要度分類第2類

3類：耐震重要度分類第3類

図ト-W1設-2-1(4) 気体廃棄設備 No.2（系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統）の設備及び機器の配置詳細図  
（系統4（局所排気系統））（2/3）



【凡例】

—— : 既設部

—— : 新設・移設・更新・改造部

..... : 撤去部

—○— : 閉じ込めダンパー

—◇— : 閉じ込め弁

—■— : フィルタユニット（設備排気用）

1類：耐震重要度分類第1類

2類：耐震重要度分類第2類

3類：耐震重要度分類第3類

図ト-W 1 設-2-1 (4) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図  
(系統4 (局所排気系統)) (3/3)





【凡例】

—— : 既設部

—— : 新設・移設・更新・改造部

..... : 撤去部

—○— : 閉じ込めダンパー

—X— : 閉じ込め弁

—[ ]— : フィルタユニット（設備排気用）

1類：耐震重要度分類第1類

2類：耐震重要度分類第2類

3類：耐震重要度分類第3類

図ト-W1設-2-1(5) 気体廃棄設備 No.2（系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統）の設備及び機器の配置詳細図  
 （系統1 系統2 系統3 系統4（給気系統））（1 / 2）



|      |                |                   |               |
|------|----------------|-------------------|---------------|
| 【凡例】 | : 既設部          | : 閉じ込めダンパー        | 1類：耐震重要度分類第1類 |
|      | : 新設・移設・更新・改造部 | : 閉じ込め弁           | 2類：耐震重要度分類第2類 |
|      | : 撤去部          | : フィルタユニット（設備排気用） | 3類：耐震重要度分類第3類 |

図ト-W1設-2-1(5) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図  
(系統1 系統2 系統3 系統4 (給気系統)) (2 / 2)



|      |                |                    |                |
|------|----------------|--------------------|----------------|
| 【凡例】 | : 既設部          | : 閉じ込めダンパー         | 1類: 耐震重要度分類第1類 |
|      | : 新設・移設・更新・改造部 | : 閉じ込め弁            | 2類: 耐震重要度分類第2類 |
|      | : 撤去部          | : フィルタユニット (設備排気用) | 3類: 耐震重要度分類第3類 |

図ト-W1設-2-1(6) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図  
 (系統4 (急冷塔給気)、系統3 (フィルタ冷却給気)、系統1系統2系統3系統4 (自然給気)) (1 / 2)



|      |                |                    |                    |
|------|----------------|--------------------|--------------------|
| 【凡例】 | : 既設部          | : 閉じ込めダンパー         | 1 類 : 耐震重要度分類第 1 類 |
|      | : 新設・移設・更新・改造部 | : 閉じ込め弁            | 2 類 : 耐震重要度分類第 2 類 |
|      | : 撤去部          | : フィルタユニット (設備排気用) | 3 類 : 耐震重要度分類第 3 類 |

図ト-W 1 設-2-1 (6) 気体廃棄設備 No.2 (系統 1、系統 2、系統 3、系統 4、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図  
 (系統 4 (急冷塔給気)、系統 3 (フィルタ冷却給気)、系統 1 系統 2 系統 3 系統 4 (自然給気)) (2 / 2)

| 管理番号   | 名 称                                        | 管理番号     | 名 称                                             | 管理番号     | 名 称                                                |
|--------|--------------------------------------------|----------|-------------------------------------------------|----------|----------------------------------------------------|
| {6049} | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 (部屋排気系統)<br>No.1 排風機      | {6063}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 (部屋排気系統)<br>ダクト                | {6074}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>閉じ込めダンパー              |
| {6050} | 気体廃棄設備 No.2 系統 2 (局所排気系統)<br>No.2 排風機      | {6064}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 2 (局所排気系統)<br>ダクト                | {6075}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>閉じ込めダンパー              |
| {6051} | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>No.3 排風機      | {6065}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>ダクト                | {6076}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 系統 2 系統 3 系統 4 (給気系統)<br>閉じ込めダンパー |
| {6052} | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>No.4 排風機      | {6066}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>ダクト                | {6076-2} | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (急冷塔給気)<br>閉じ込めダンパー               |
| {6053} | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>No.5 排風機      | {6067}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 (部屋排気系統)<br>閉じ込め弁              | {6076-3} | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (フィルタ冷却給気)<br>閉じ込めダンパー            |
| {6054} | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>No.6 排風機      | {6068}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 2 (局所排気系統)<br>閉じ込め弁              | {6076-4} | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 系統 2 系統 3 系統 4 (自然給気)<br>閉じ込めダンパー |
| {6055} | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 (部屋排気系統)<br>No.1 フィルタユニット | {6069}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>閉じ込め弁              | {6077}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 系統 2 系統 3 系統 4 (給気系統)<br>給気フィルタ   |
| {6056} | 気体廃棄設備 No.2 系統 2 (局所排気系統)<br>No.2 フィルタユニット | {6070}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>閉じ込め弁              | {6077-2} | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (急冷塔給気)<br>給気フィルタ                 |
| {6057} | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>No.5 フィルタユニット | {6071}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 系統 2 系統 3 系統 4 (給気系統)<br>閉じ込め弁 | {6077-3} | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (フィルタ冷却給気)<br>給気フィルタ              |
| {6058} | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>No.8 フィルタユニット | {6071-2} | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (急冷塔給気)<br>閉じ込め弁               | {6077-4} | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 系統 2 系統 3 系統 4 (自然給気)<br>給気フィルタ   |
| {6059} | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>No.3 フィルタユニット | {6071-3} | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (フィルタ冷却給気)<br>閉じ込め弁            | {6078}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 系統 2 系統 3 系統 4 (給気系統)<br>給気ファン    |
| {6060} | 気体廃棄設備 No.2 系統 3 (局所排気系統)<br>No.4 フィルタユニット | {6071-4} | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 系統 2 系統 3 系統 4 (自然給気)<br>閉じ込め弁 | {6079}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 系統 2 系統 3 系統 4 (給気系統)<br>ダクト      |
| {6061} | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>No.6 フィルタユニット | {6072}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 1 (部屋排気系統)<br>閉じ込めダンパー           |          |                                                    |
| {6062} | 気体廃棄設備 No.2 系統 4 (局所排気系統)<br>No.7 フィルタユニット | {6073}   | 気体廃棄設備 No.2 系統 2 (局所排気系統)<br>閉じ込めダンパー           |          |                                                    |

図ト-W 1 設-2-1 (7) 気体廃棄設備 No.2 (系統 1、系統 2、系統 3、系統 4、給気系統) の設備及び機器の配置詳細図 (設備・機器一覧表)

## (系統 2 (局所排気系統))

| 管理番号   | 名称                    | フィルタユニット<br>(設備排気用)<br>への接続 | 備考 |
|--------|-----------------------|-----------------------------|----|
| {6124} | W 1 廃液処理設備<br>蒸発乾固装置  | —                           | —  |
| {6131} | W 1 廃液処理設備<br>スラッジ乾燥機 | —                           | —  |
| {6145} | 湿式除染機<br>湿式除染部        | —                           | —  |
| {6146} | 湿式除染機<br>水洗除染タンク      | —                           | —  |

## (系統 3 (局所排気系統))

| 管理番号   | 名称             | フィルタユニット<br>(設備排気用) *1<br>への接続 | 備考 |
|--------|----------------|--------------------------------|----|
| {6138} | 焼却設備<br>焼却炉    | ○                              | —  |
| {6139} | 焼却設備<br>バグフィルタ | ○                              | —  |
| {6144} | 焼却設備<br>急冷塔    | ○                              | —  |

\*1 : {6059}No. 3 フィルタユニット及び{6060}No. 4 フィルタユニット

## (系統 4 (局所排気系統))

| 管理番号   | 名称                | フィルタユニット<br>(設備排気用) *2<br>への接続 | 備考           |
|--------|-------------------|--------------------------------|--------------|
| {6138} | 焼却設備<br>焼却炉       | ○                              | 灰出フードに接続する。  |
| {6139} | 焼却設備<br>バグフィルタ    | ○                              | 集塵灰フードに接続する。 |
| {6141} | 焼却設備<br>前処理フード    | ○                              | —            |
| {6142} | 焼却設備<br>フィルタ処理フード | ○                              | —            |
| {6143} | 焼却設備<br>投入リフタ     | ○                              | —            |
| {6144} | 焼却設備<br>急冷塔       | —                              | —            |
| {6147} | 乾式除染機             | ○                              | —            |

\*2 : {6061}No. 6 フィルタユニット及び{6062}No. 7 フィルタユニット

図ト-W 1 設- 2- 1 (8) 気体廃棄設備 No.2 (系統 1、系統 2、系統 3、系統 4、給気系統) の  
設備及び機器の配置詳細図 (局所排気系統 接続設備・機器一覧表)



図ト-W1設-2-2(1) 気体廃棄設備 No.2 系統1 (部屋排気系統) No.1 排風機

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1438

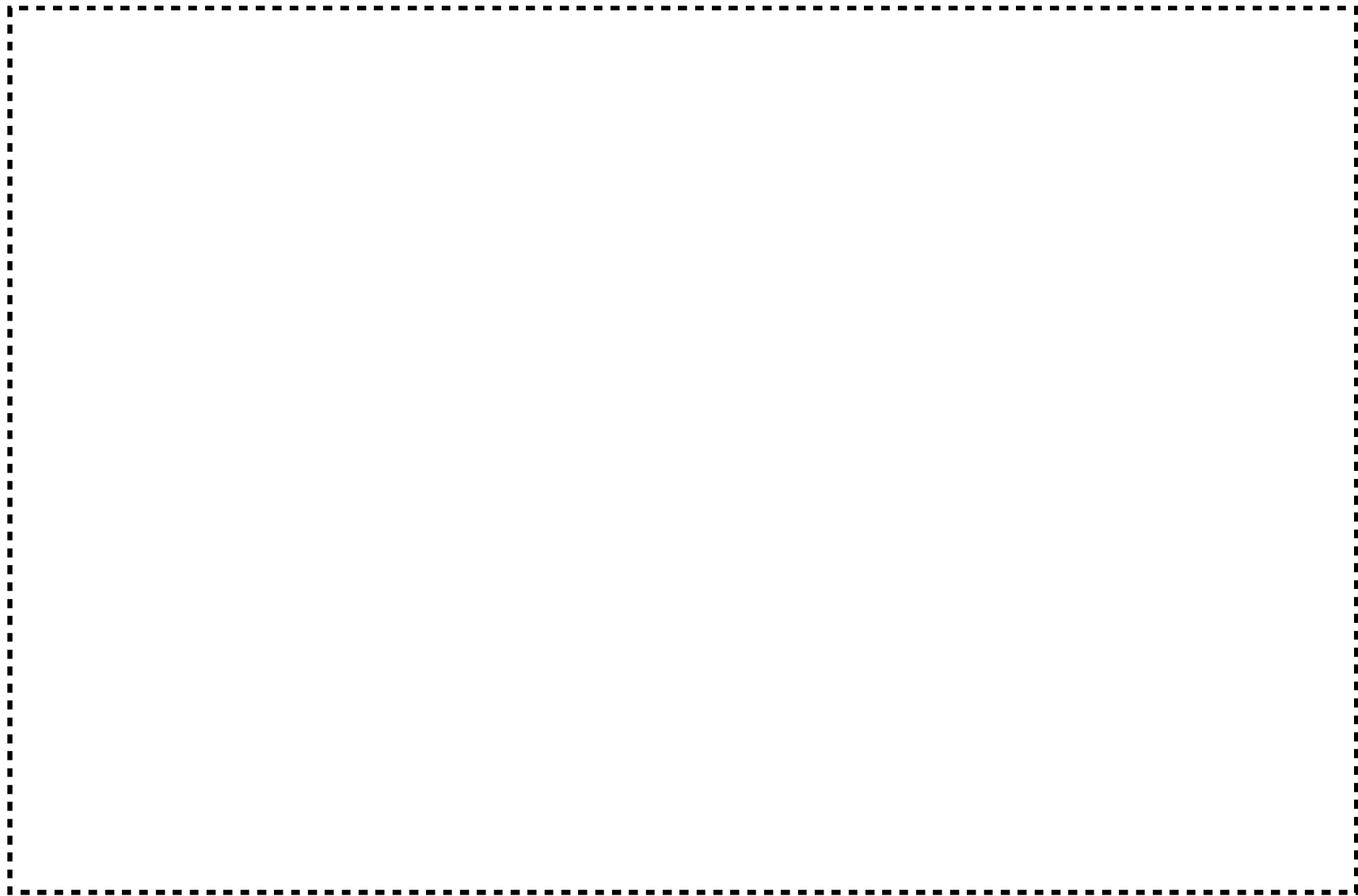


図ト-W1設-2-2(2) 気体廃棄設備 No.2 系統2 (局所排気系統) No.2 排風機

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)





図ト-W1設-2-2(3) 気体廃棄設備 No.2 系統3 (局所排気系統) No.3 排風機

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

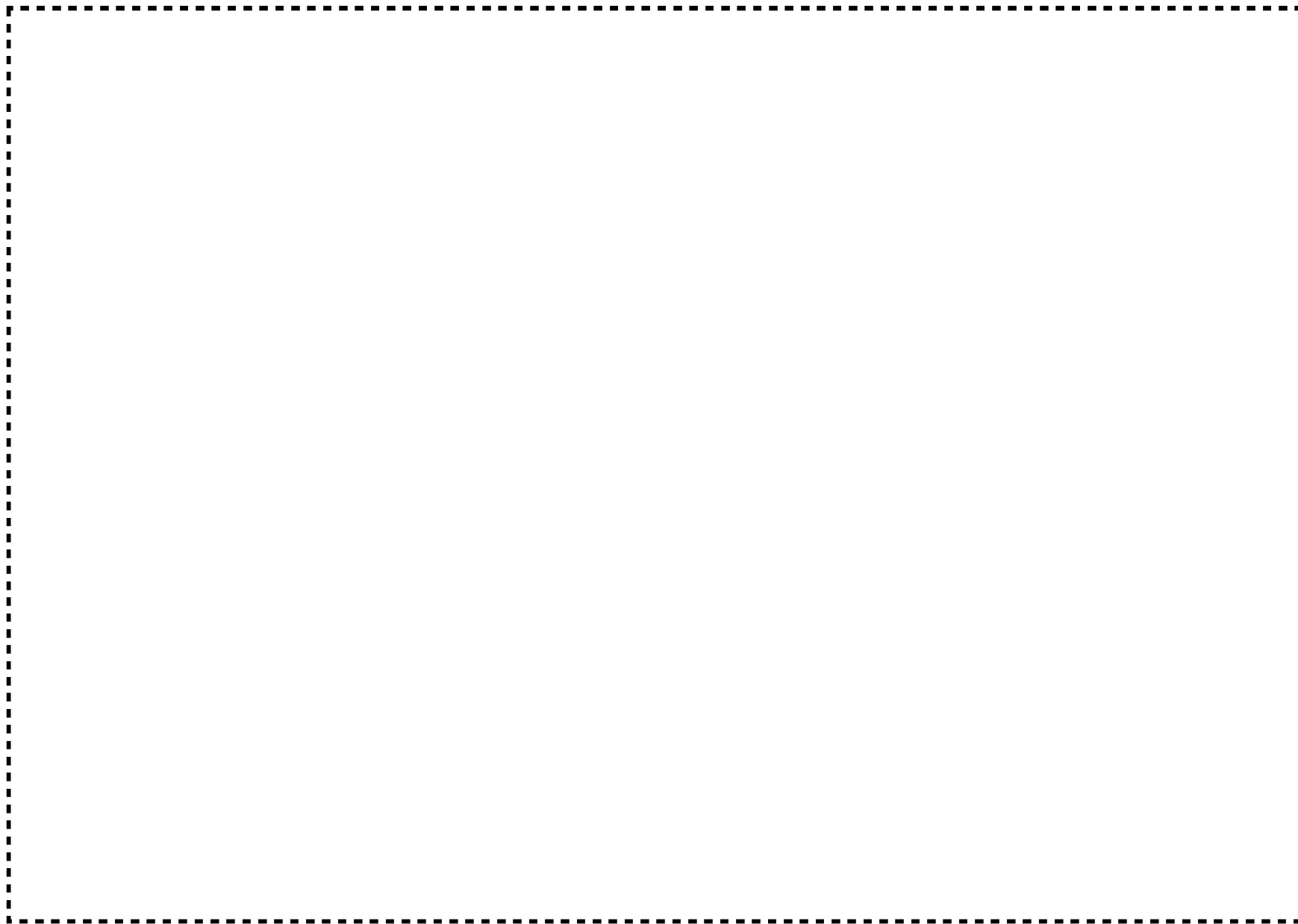
1440



図ト-W1設-2-2(4) 気体廃棄設備 No.2 系統3 (局所排気系統) No.4 排風機

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

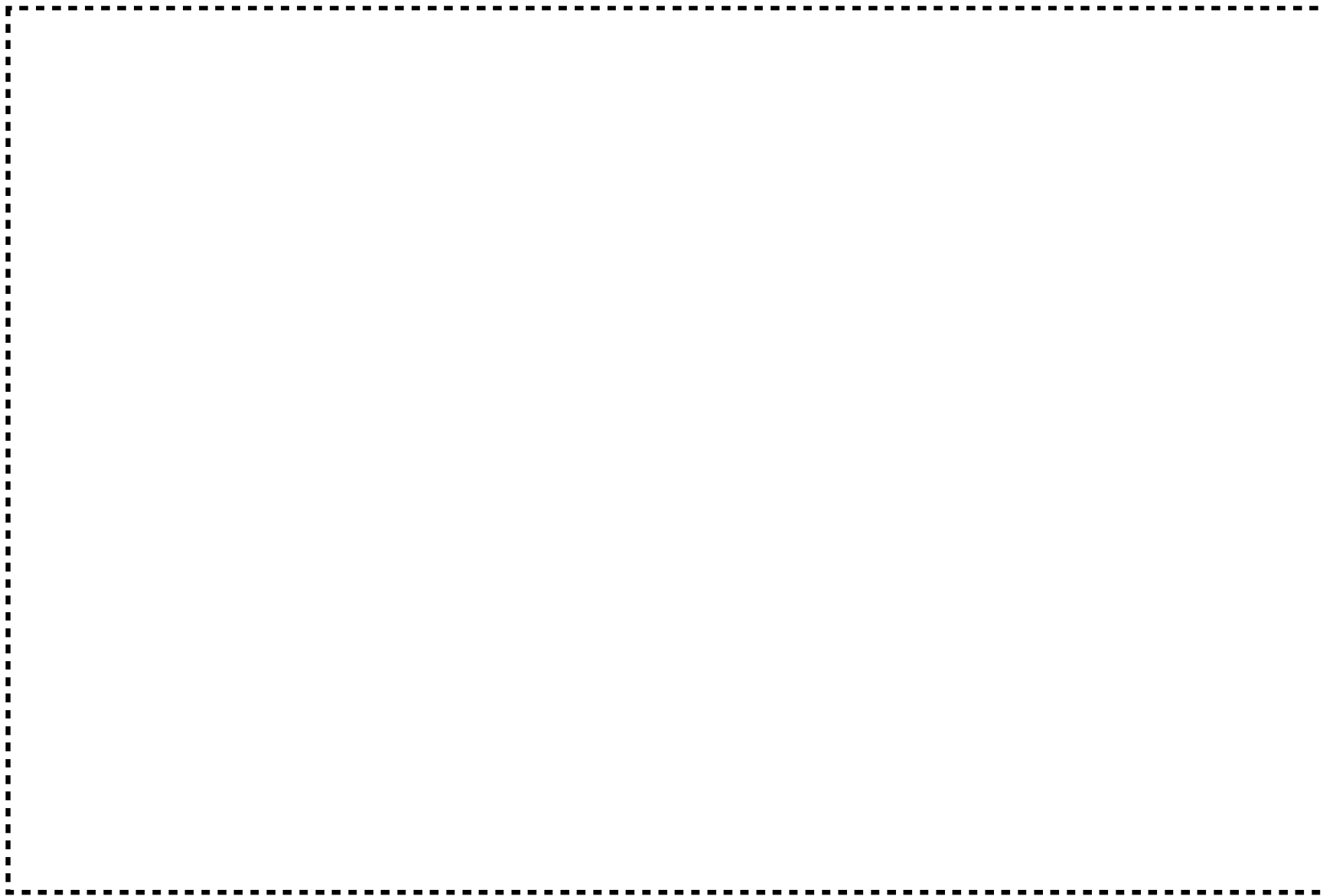
(単位 mm)



図ト-W 1 設- 2 - 2 ( 5 ) 気体廃棄設備 No. 2 系統 4 ( 局所排気系統 ) No. 5 排風機

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

( 単位 mm )



図ト-W1 設-2-2 (6) 気体廃棄設備 No.2 系統4 (局所排気系統) No.6 排風機

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1443



図ト-W 1 設-2-2 (7) 気体廃棄設備 No. 2 系統 1 (部屋排気系統) No. 1 フィルタユニット

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図ト-W 1 設-2-2 (8) 気体廃棄設備 No. 2 系統 2 (局所排気系統) No. 2 フィルタユニット

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

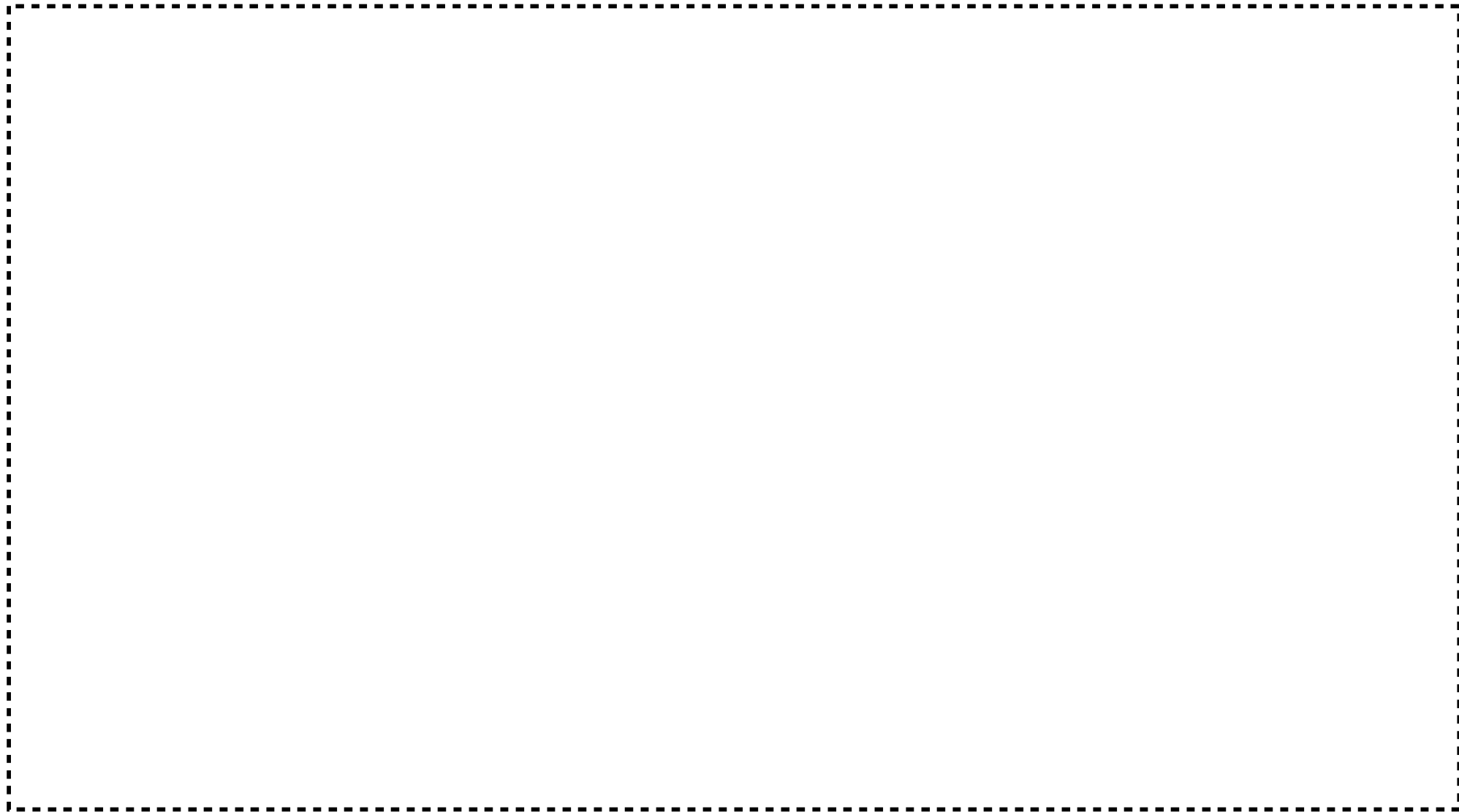


図ト-W 1 設-2-2 (9) 気体廃棄設備 No. 2 系統 3 (局所排気系統) No. 5 フィルタユニット

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1446



図ト-W1 設-2-2 (10) 気体廃棄設備 No.2 系統4 (局所排気系統) No.8 フィルタユニット

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

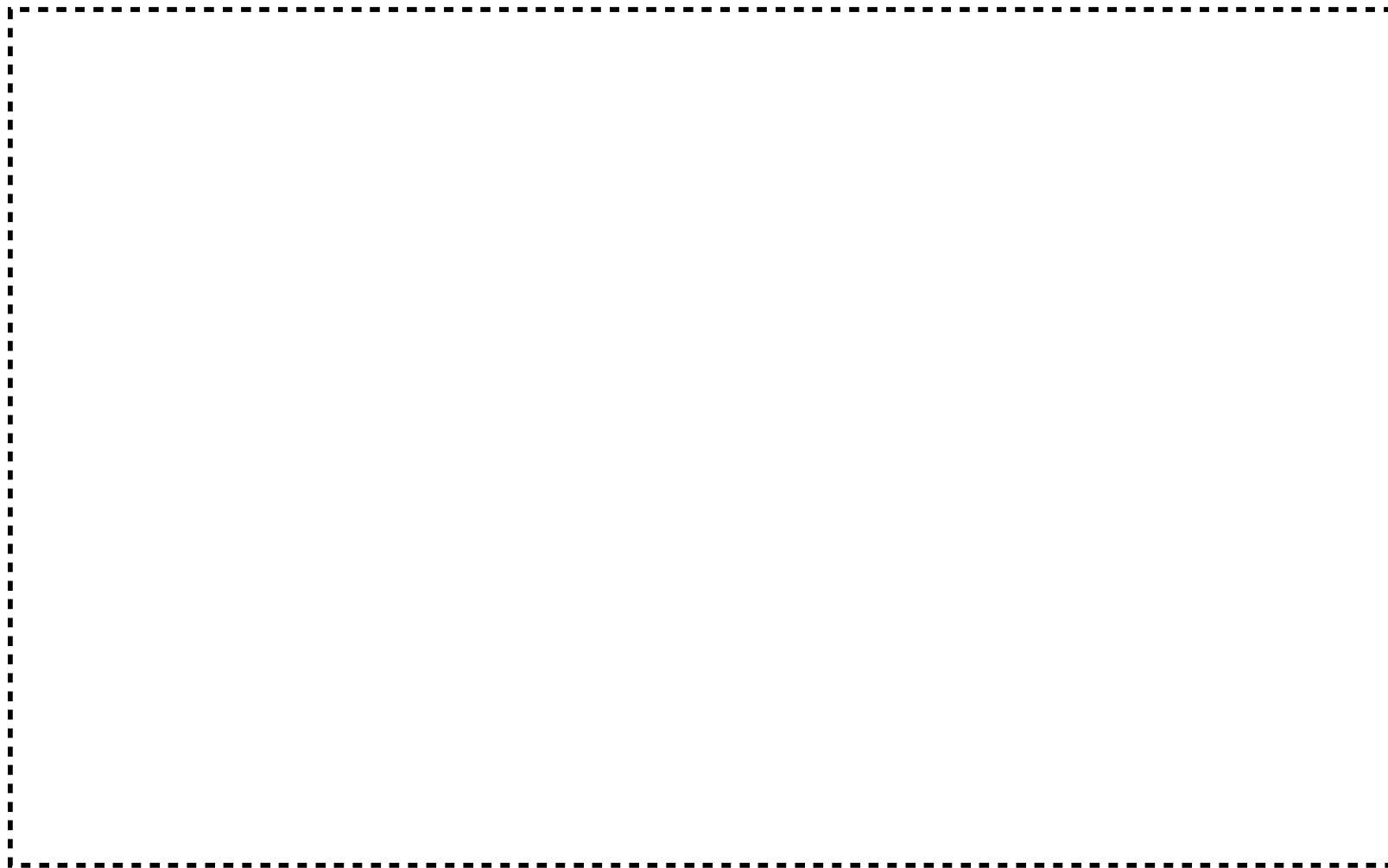




図ト-W1 設-2-2 (11) 気体廃棄設備 No.2 系統3 (局所排気系統) No.3 フィルタユニット

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図ト-W1 設-2-2 (1 2) 気体廃棄設備 No.2 系統3 (局所排気系統) No.4 フィルタユニット

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

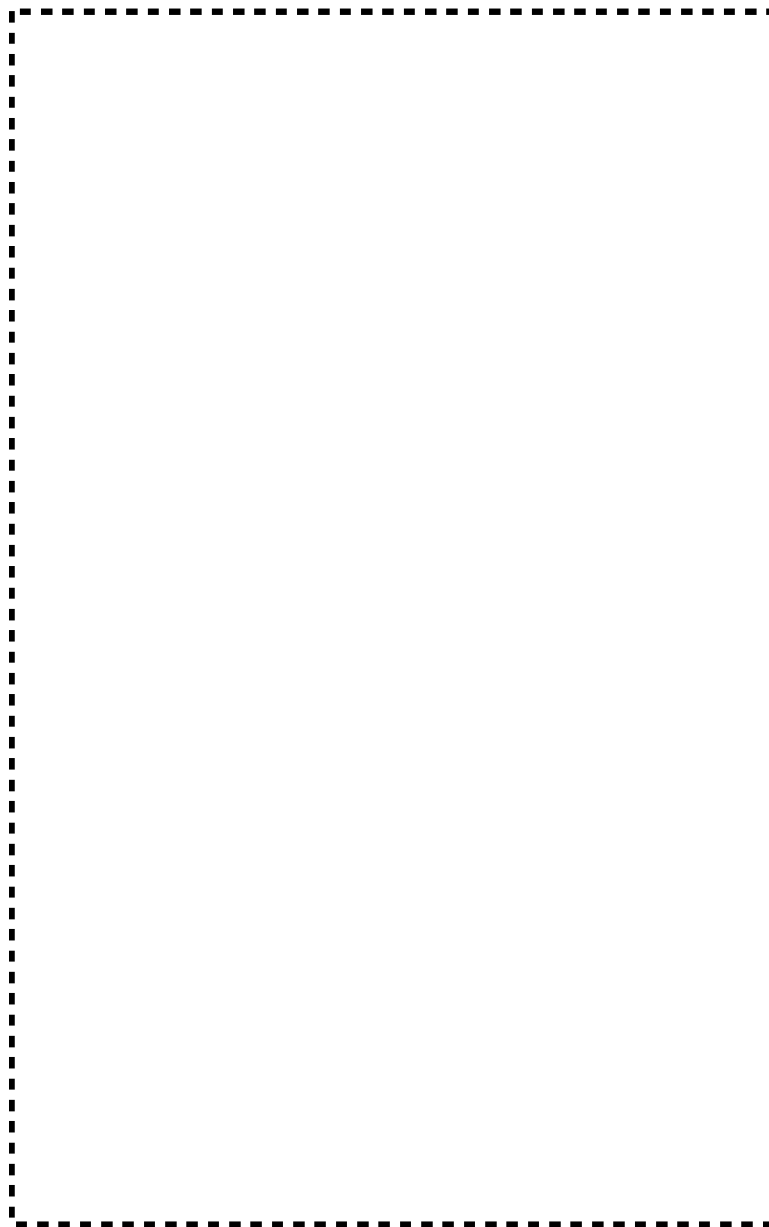
1449



図ト-W1設-2-2 (13) 気体廃棄設備 No.2 系統1 系統2 系統3 系統4 (給気系統) 給気フィルタ

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

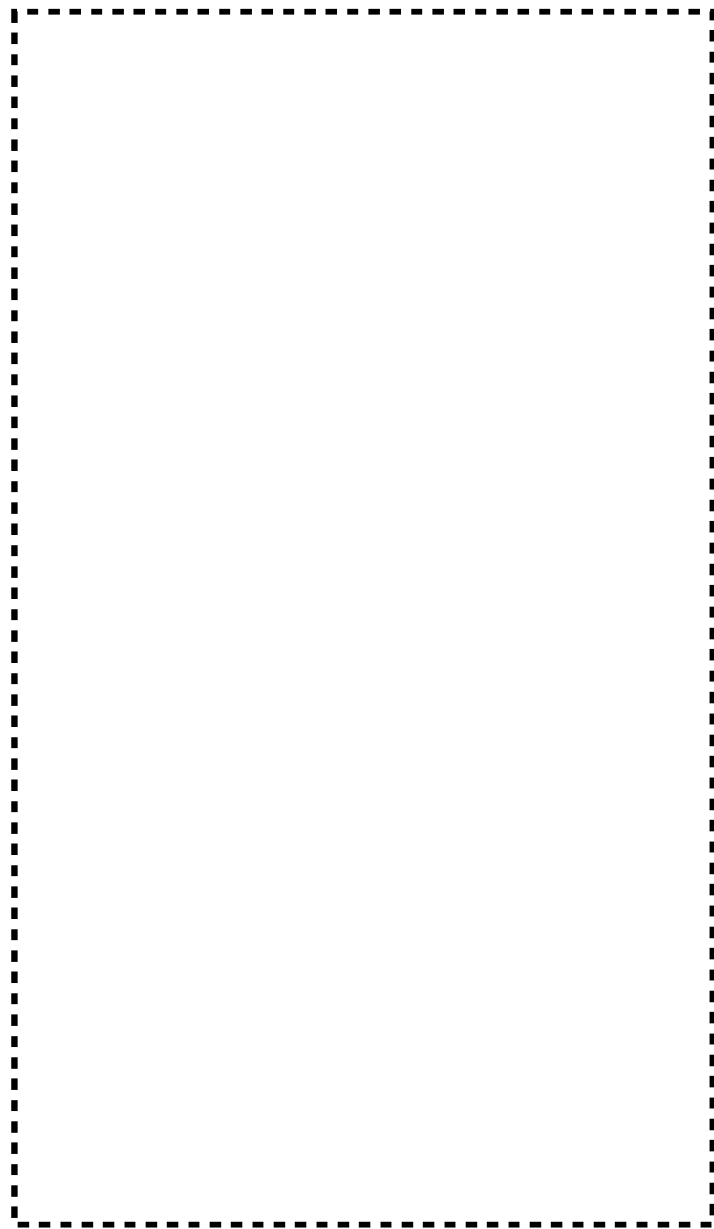
(単位 mm)



図ト-W1 設-2-2 (14) 気体廃棄設備 No.2 系統4 (急冷塔給気) 給気フィルタ

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

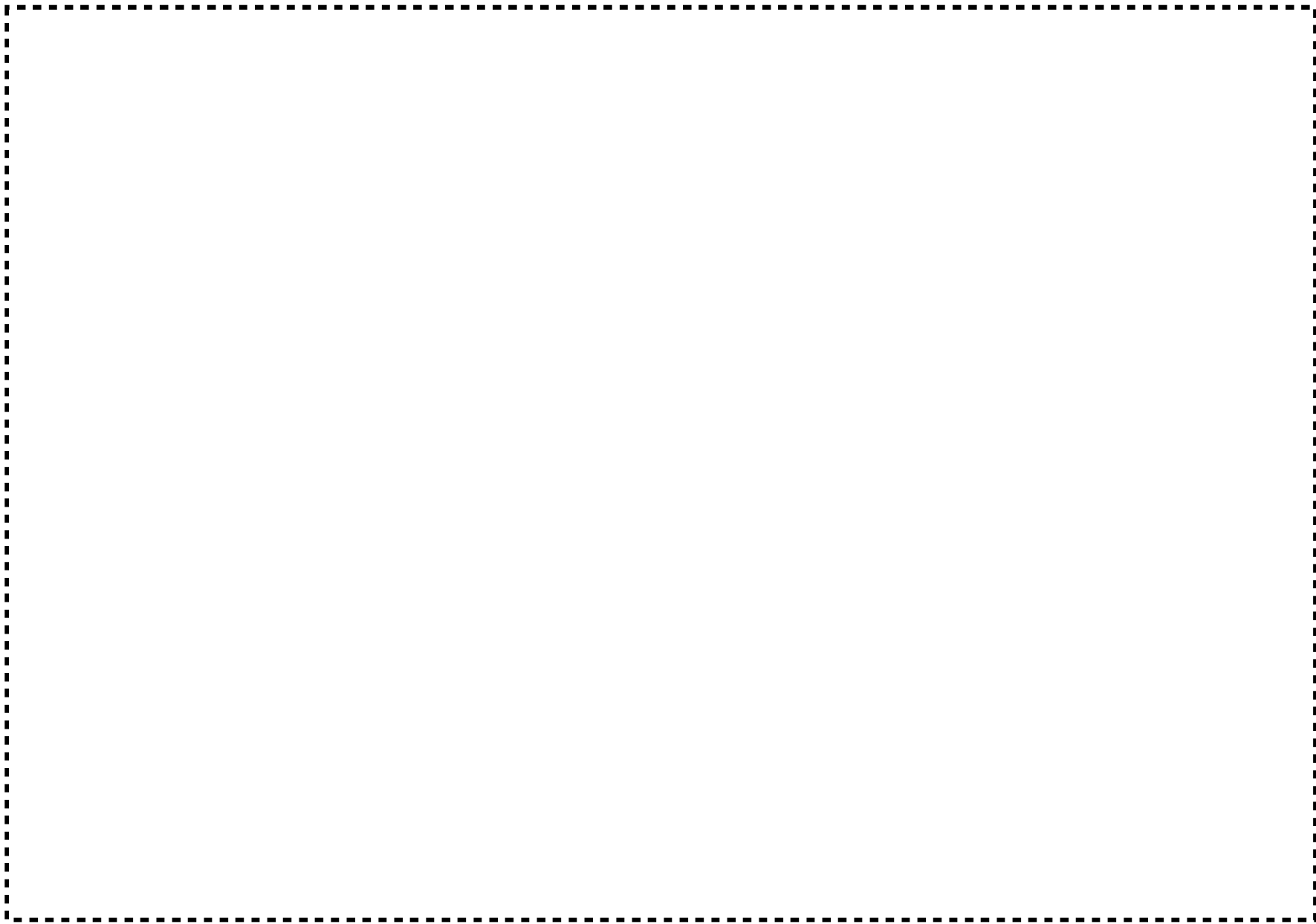


図ト-W1 設-2-2 (15) 気体廃棄設備 No.2 系統3 (フィルタ冷却給気) 給気フィルタ

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1452



図ト-W1設-2-2(16) 気体廃棄設備 No.2 系統1 系統2 系統3 系統4 (自然給気) 給気フィルタ (1/3)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

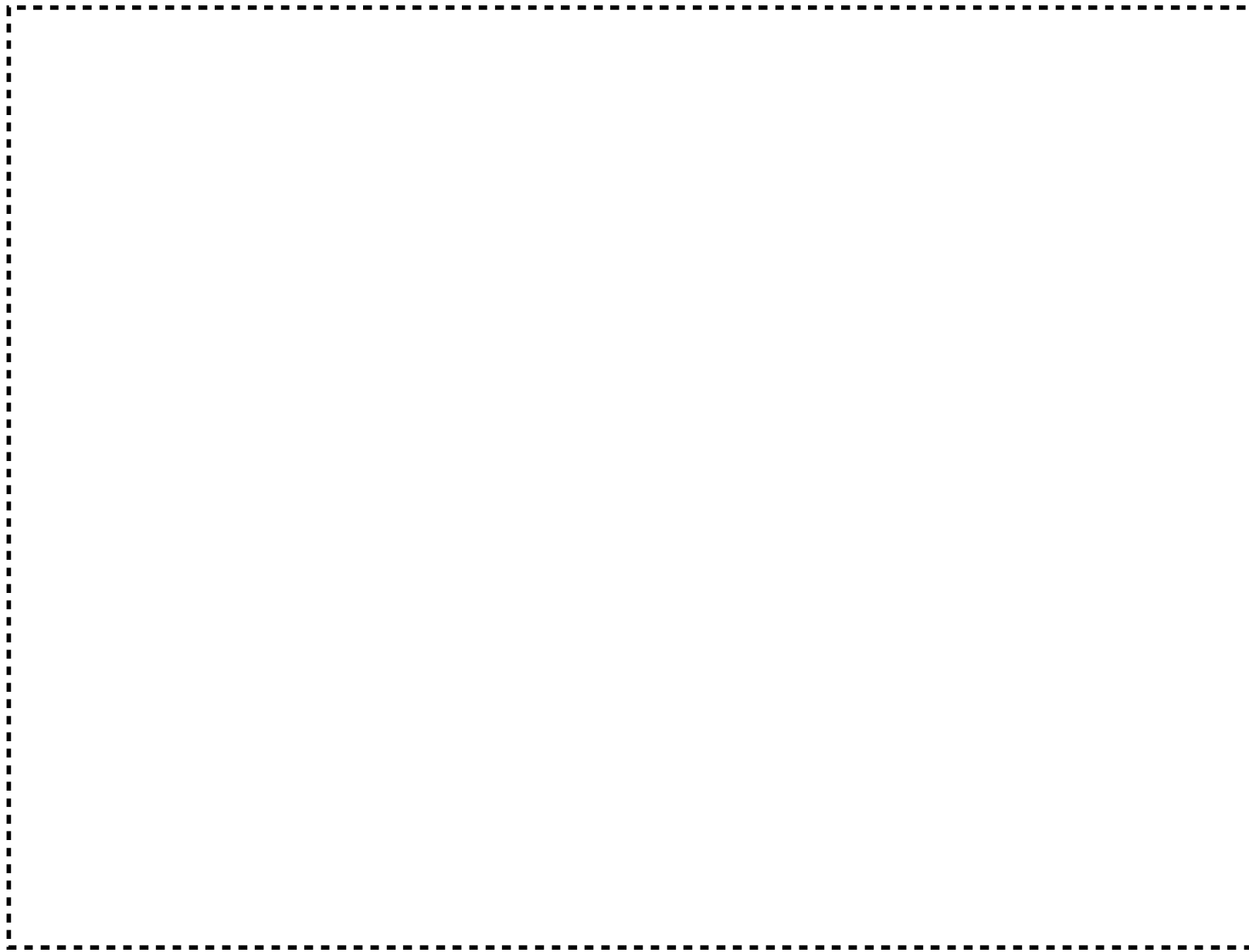
(単位 mm)



図ト-W1 設-2-2 (16) 気体廃棄設備 No.2 系統1 系統2 系統3 系統4 (自然給気) 給気フィルタ (2/3)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図ト-W1設-2-2(16) 気体廃棄設備 No.2 系統1 系統2 系統3 系統4 (自然給気) 給気フィルタ (3/3)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



1455



図ト-W1 設-2-2 (17) 気体廃棄設備 No.2 系統1 系統2 系統3 系統4 (給気系統) 給気ファン

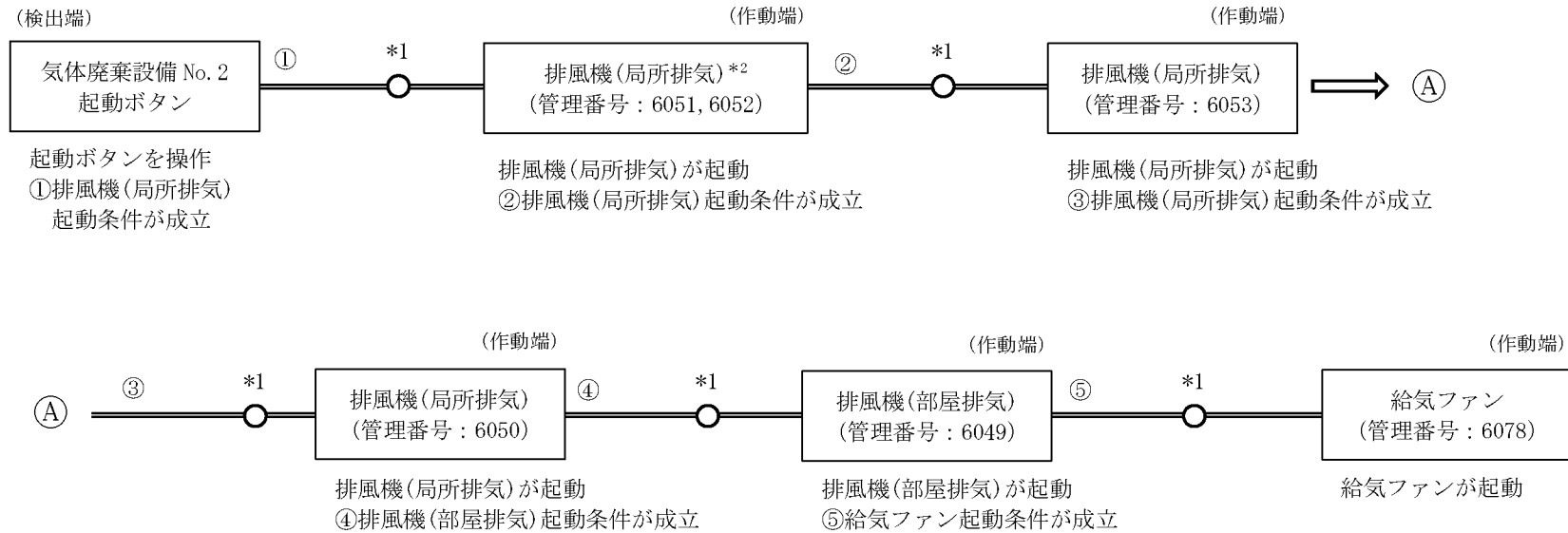
赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図卜-W1 設-2-3 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) 差圧計及び警報盤 配置図

気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) 起動時



\*1 : 制御部(メカニカルリレー)

\*2 : 排風機(局所排気) (管理番号: 6051) 及び  
排風機(局所排気) (管理番号: 6052) は切替運転

凡例

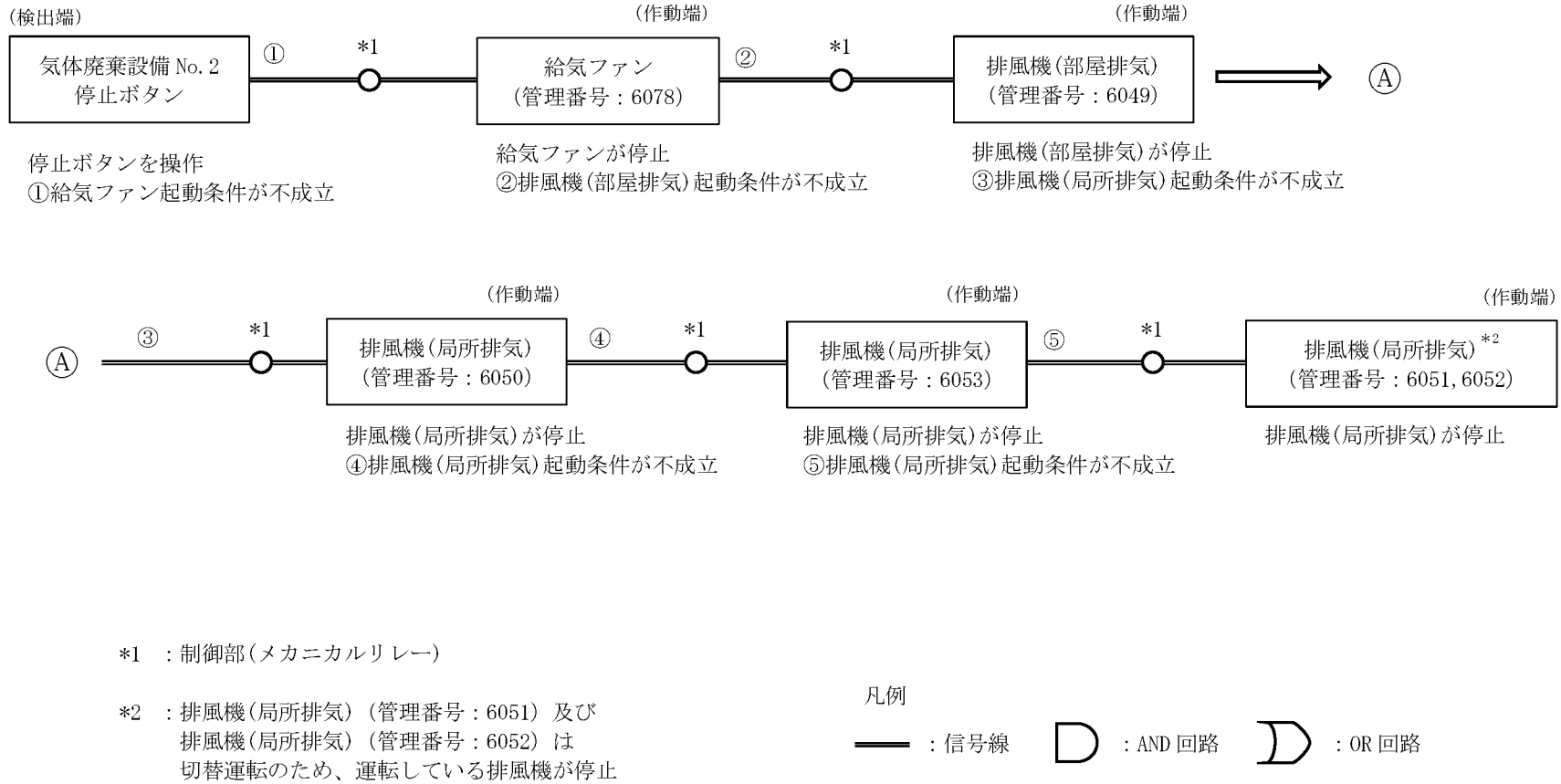
— : 信号線

D : AND 回路

D : OR 回路

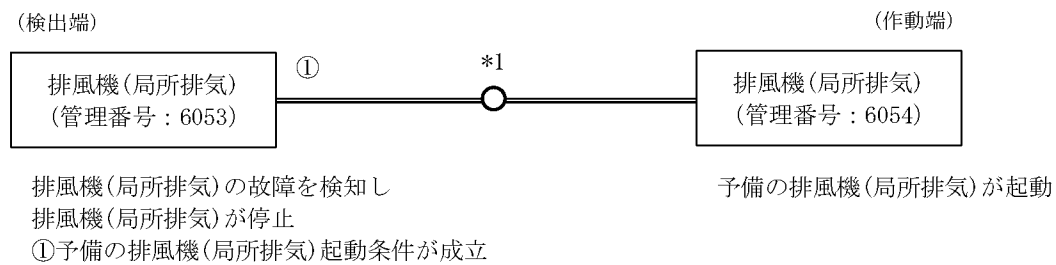
図ト-W1 設-2-4 (1) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機の起動停止時)

気体廃棄設備 No. 2 (系統 1、系統 2、系統 3、系統 4、給気系統) 停止時



1458

図ト-W1 設-2-4 (1) 気体廃棄設備 No. 2 (系統 1、系統 2、系統 3、系統 4、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機の起動停止時)  
(2/2)

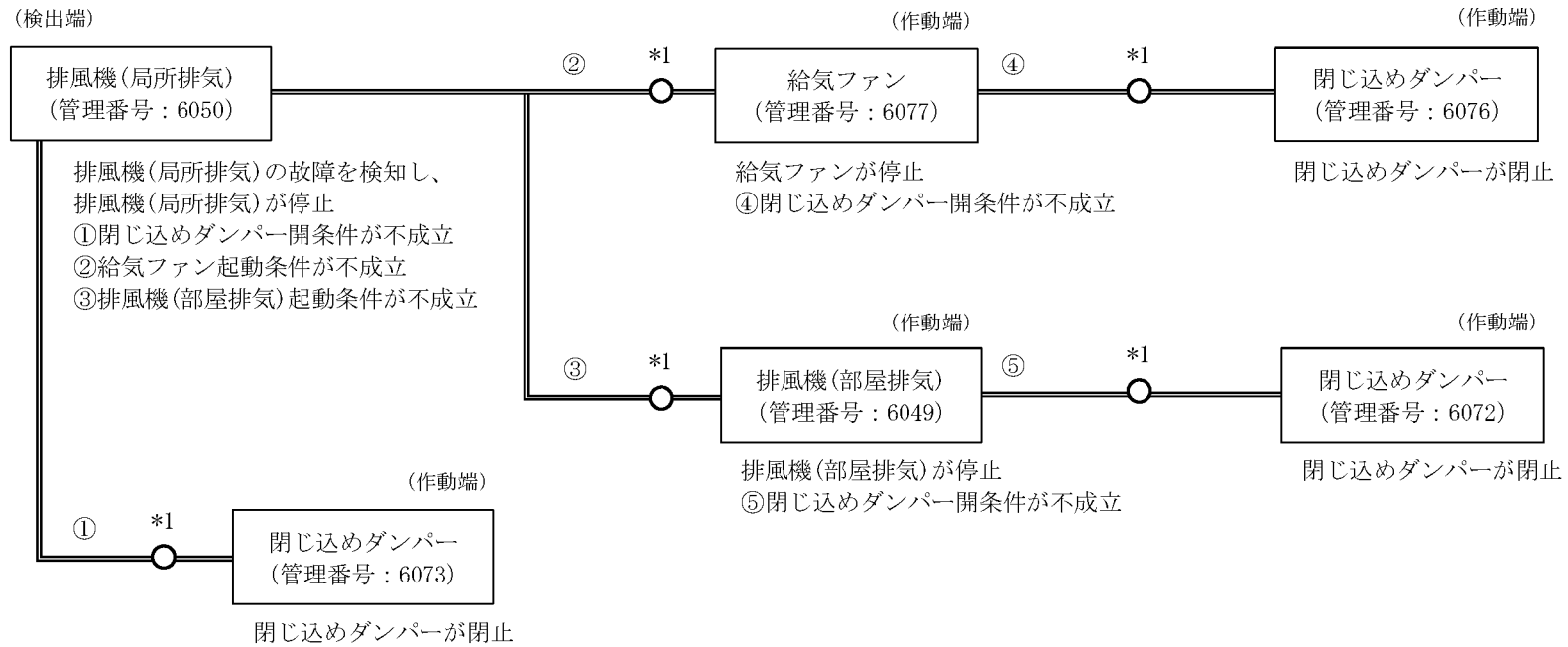


\*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例

— : 信号線    D : AND 回路    D : OR 回路

図ト-W 1 設-2-4 (2) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統)  
インターロック信号系統図 (故障時の排風機起動機構)



\*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例

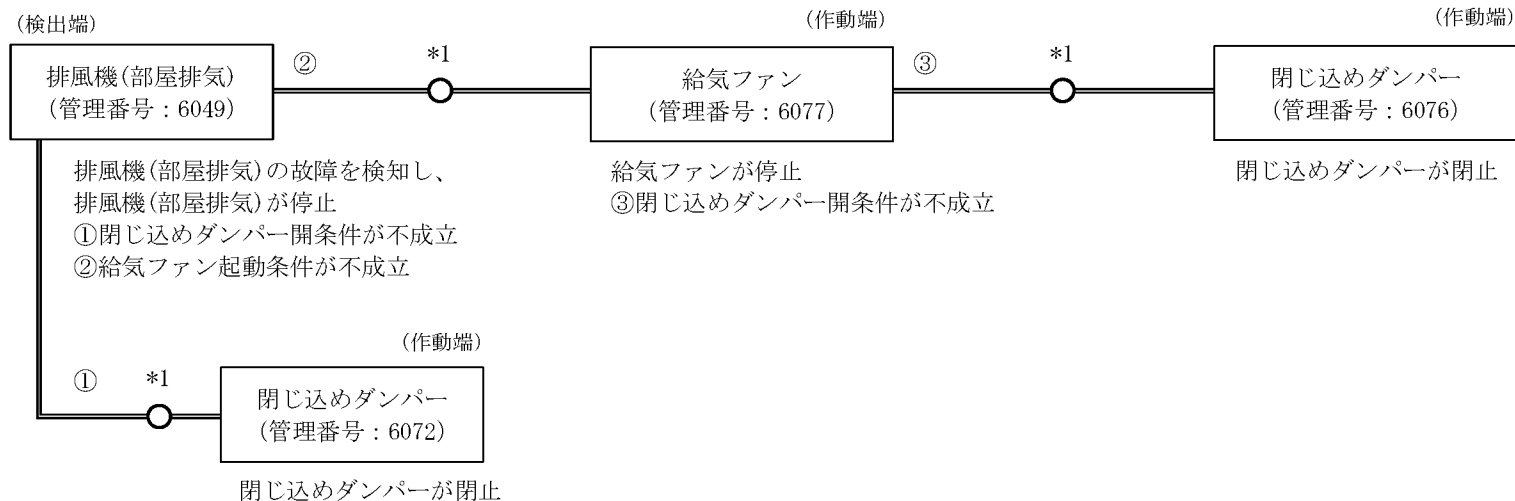
— : 信号線

D : AND 回路

D : OR 回路

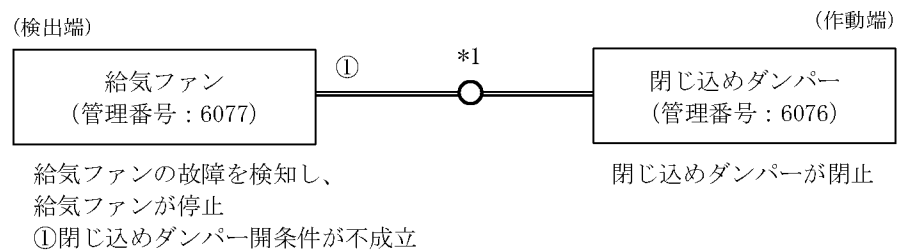
図ト-W 1 設-2-4 (3) 気体廃棄設備 No. 2 (系統 1、系統 2、系統 3、系統 4、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)

気体廃棄設備 No. 2 系統 1 (部屋排気系統) 排風機異常時



1461

気体廃棄設備 No. 2 系統 1 系統 2 系統 3 系統 4 (給気系統) 給気ファン異常時



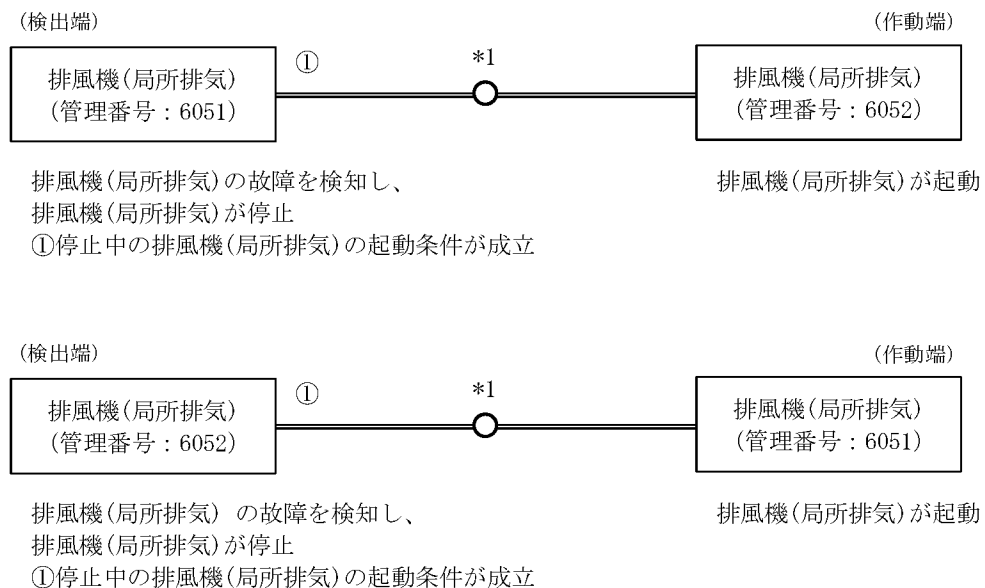
\*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例

— : 信号線    D : AND 回路    D : OR 回路

図ト-W 1 設-2-4 (3) 気体廃棄設備 No. 2 (系統 1、系統 2、系統 3、系統 4、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)

気体廃棄設備 No. 2 系統 3 (局所排気系統) 排風機異常時



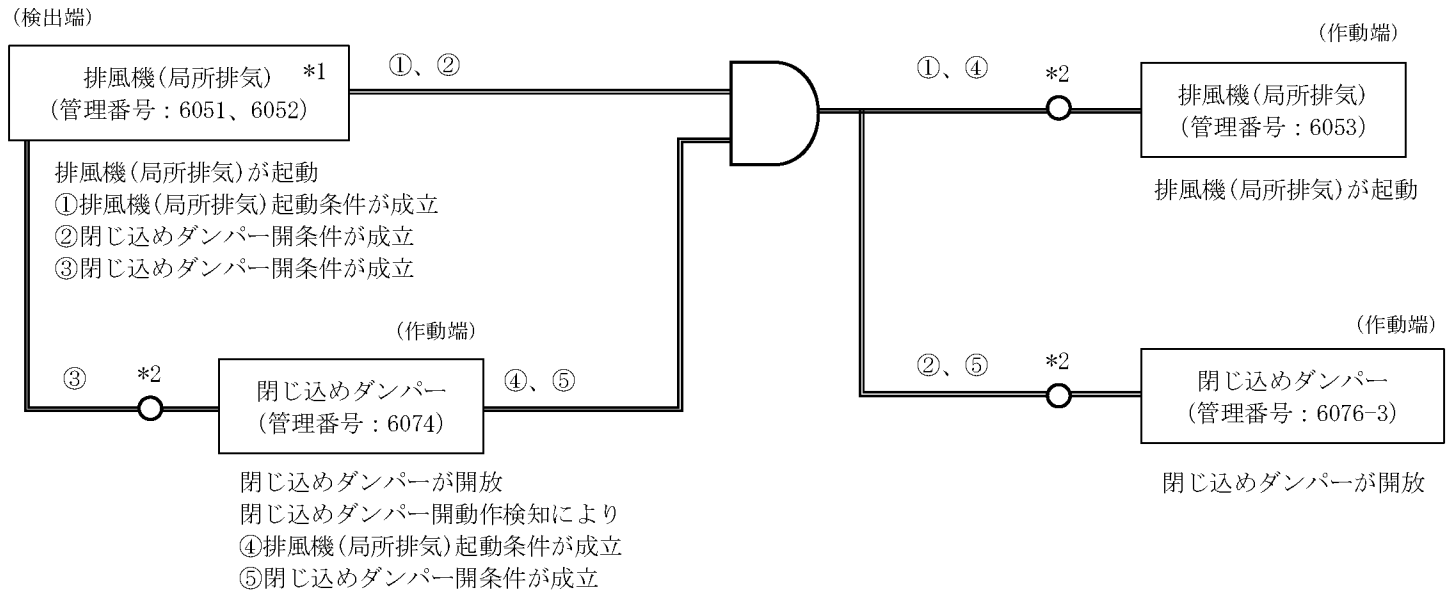
\*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例  
 〰 : 信号線    D : AND 回路    D : OR 回路

図ト-W 1 設-2-4 (3) 気体廃棄設備 No. 2 (系統 1、系統 2、系統 3、系統 4、給気系統) インターロック信号系統図 (送排風機異常時)  
(3 / 3)



気体廃棄設備 No. 2 系統 3 (局所排気系統) 排風機(局所排気) 起動後



\*1 : 排風機(局所排気) (管理番号: 6051) 及び  
排風機(局所排気) (管理番号: 6052) は切替運転

\*2 : 制御部(メカニカルリレー)

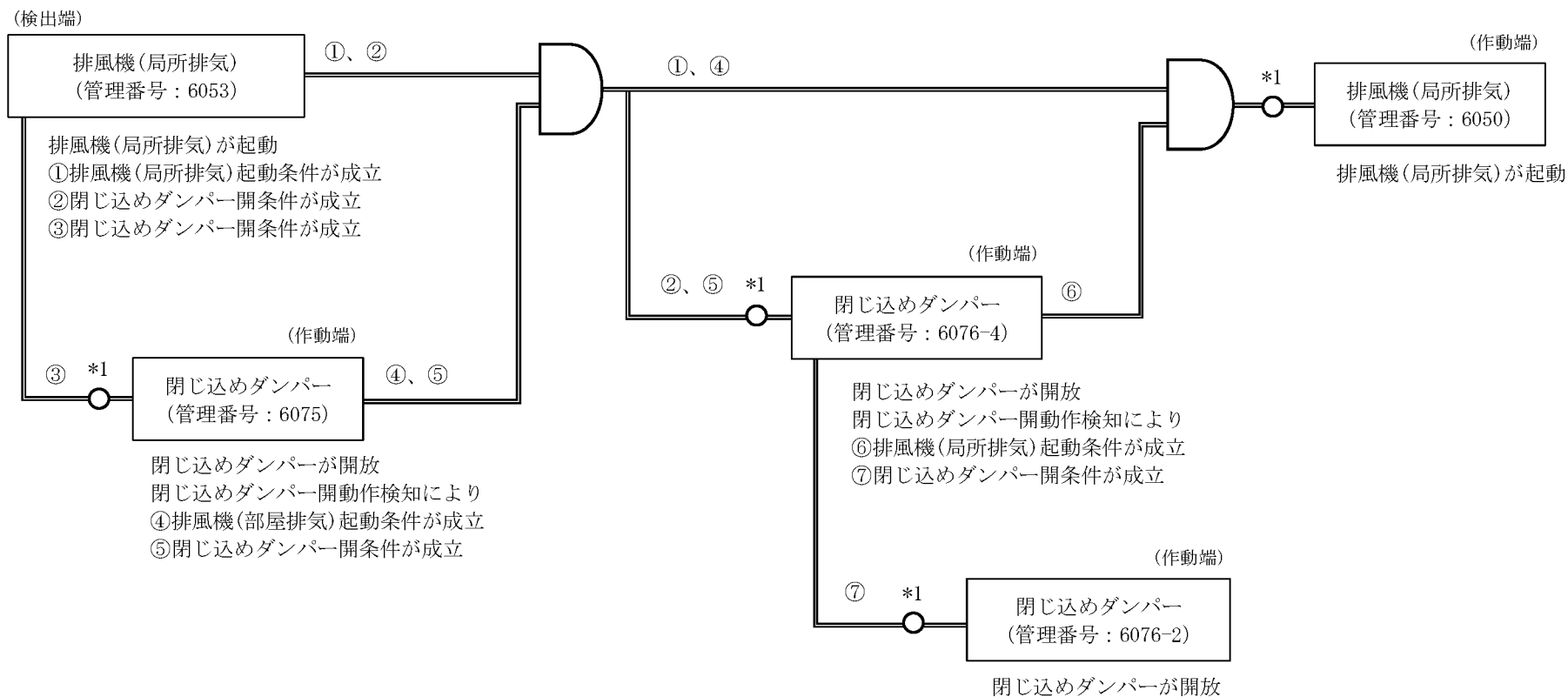
凡例

— : 信号線    D : AND 回路    D : OR 回路

1463

図ト-W 1 設-2-4 (4) 気体廃棄設備 No. 2 (系統 1、系統 2、系統 3、系統 4、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)

気体廃棄設備 No. 2 系統 4 (局所排気系統) 排風機(局所排気) 起動後



1464

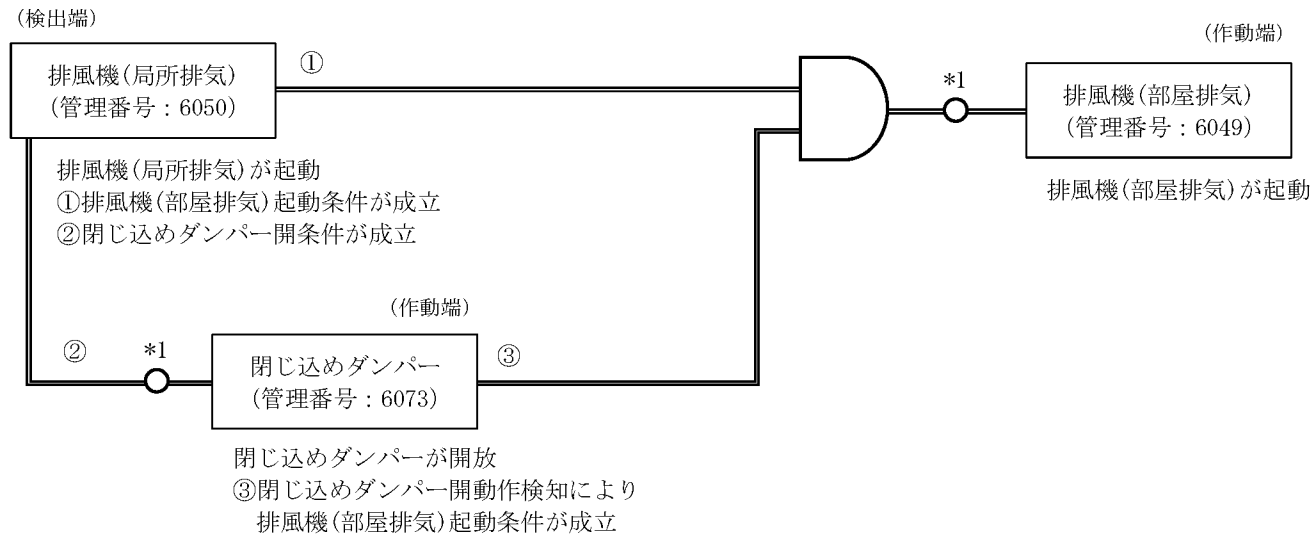
\*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例

— : 信号線    D : AND 回路    DD : OR 回路

図ト-W 1 設-2-4 (4) 気体廃棄設備 No. 2 (系統 1、系統 2、系統 3、系統 4、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)

気体廃棄設備 No.2 系統2 (局所排気系統) 排風機(局所排気) 起動後



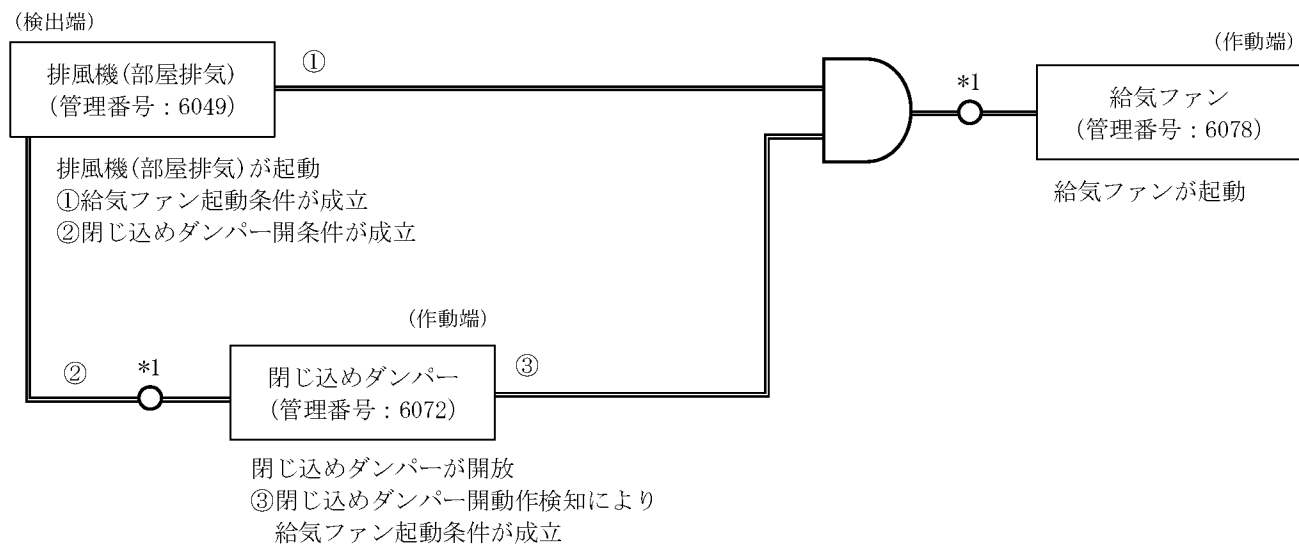
1465

\*1 : 制御部(メカニカルリレー)

凡例  
 ─── : 信号線    D : AND 回路    D : OR 回路

図ト-W 1 設-2-4 (4) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)  
(3/4)

気体廃棄設備 No.2 系統1 (部屋排気系統) 排風機(部屋排気) 起動後



\*1 : 制御部(メカニカルリレー)

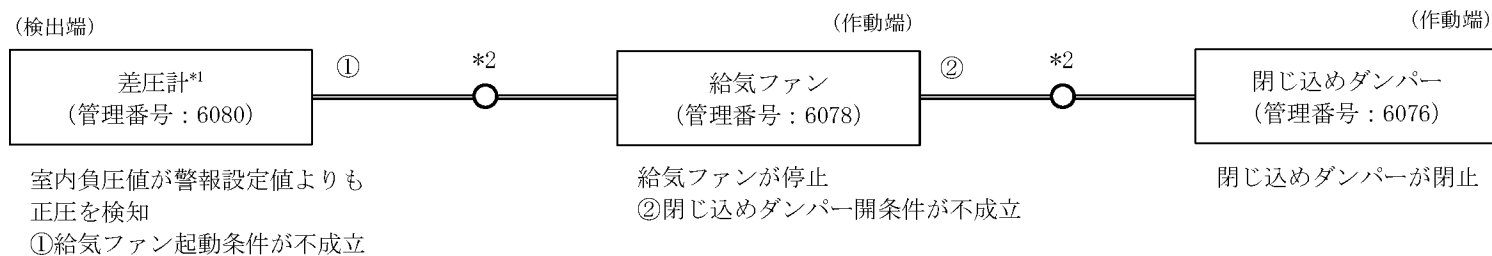
凡例

— : 信号線    D : AND回路    DD : OR回路

1466

図ト-W1 設-2-4 (4) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) インターロック信号系統図 (ダンパー開度異常時)

(4/4)

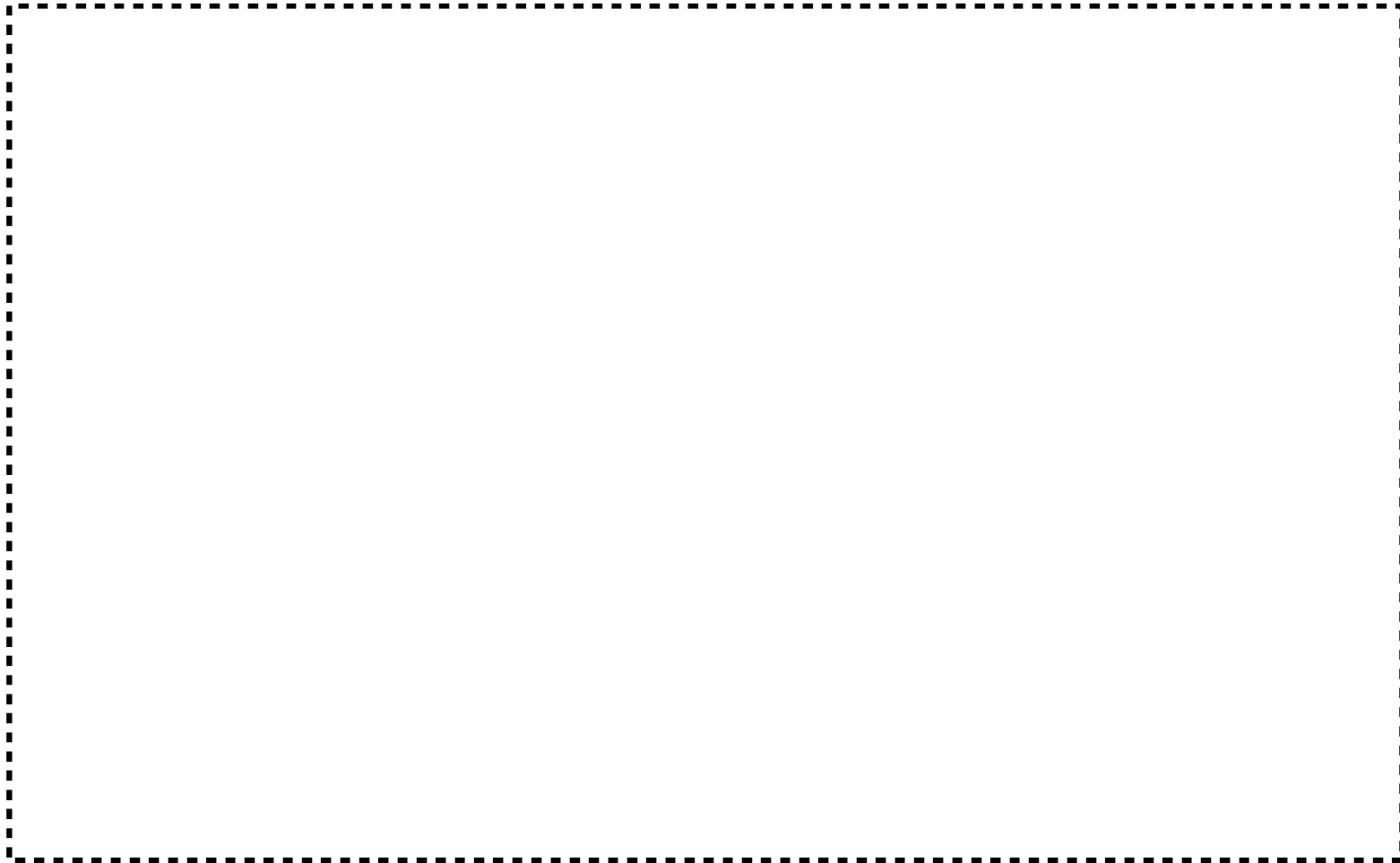


\*1 : 室内負圧値が警報設定値よりも正圧を検知した場合、警報盤から自動的に警報を発報

\*2 : 制御部(メカニカルリレー)

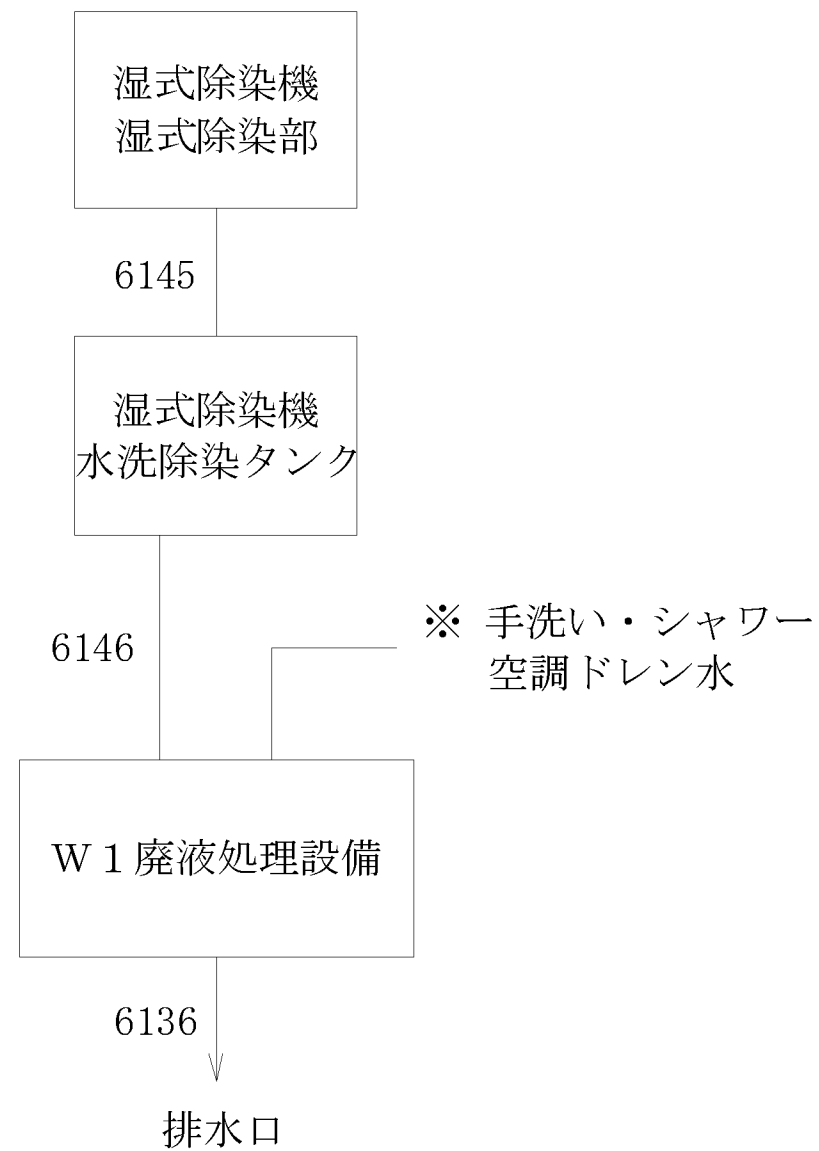
凡例  
 〰 : 信号線    D : AND回路    DD : OR回路

図ト-W 1 設-2-4 (5) 気体廃棄設備 No.2 (系統1、系統2、系統3、系統4、給気系統) インターロック信号系統図 (室内負圧異常時)

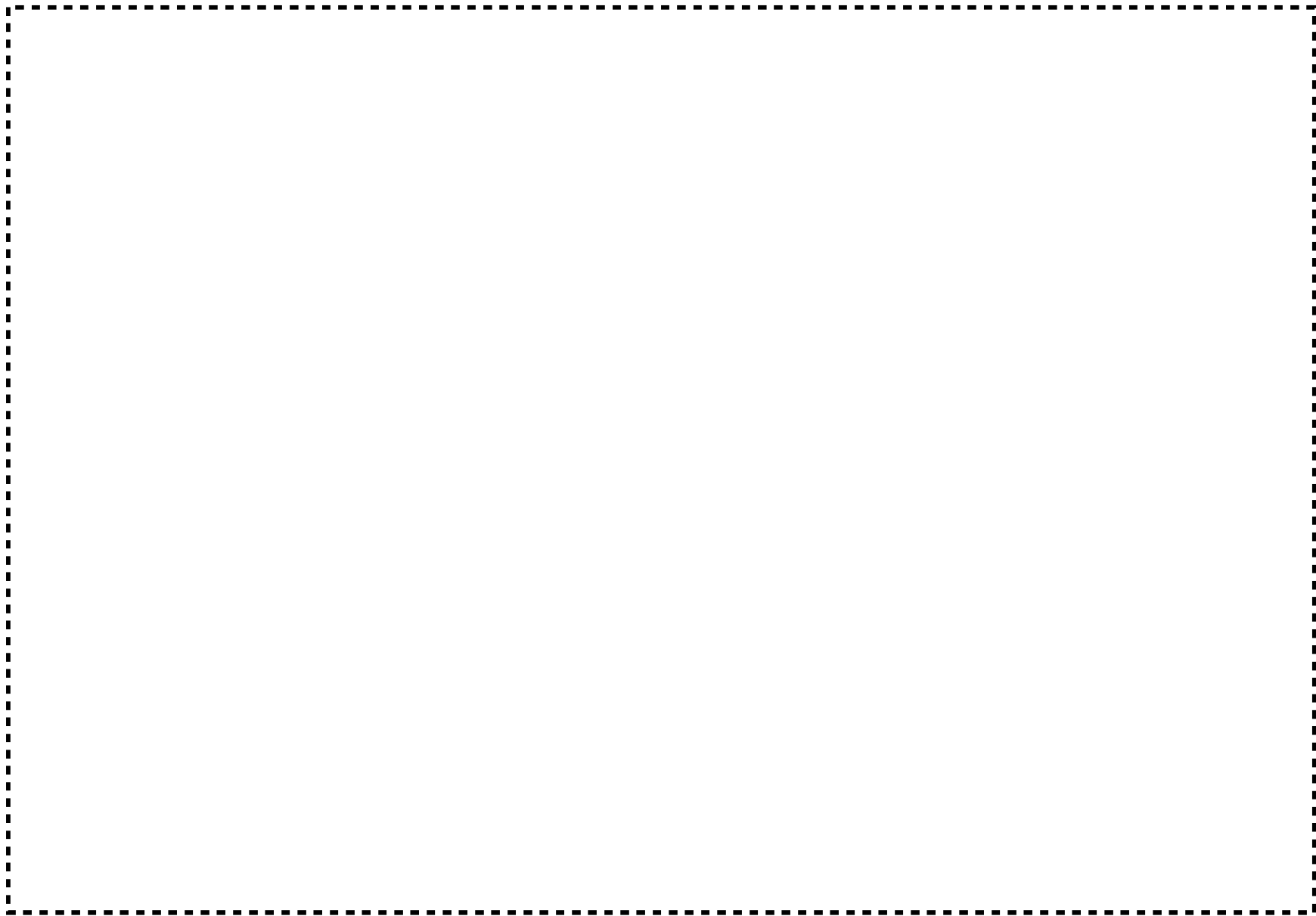


図ト-W 1 設-2-5 気体廃棄設備 No. 2 改造図 (③金属製カバーの設置)

| 管理番号 | 機器名称          |
|------|---------------|
| 6136 | W1 廃液処理設備 配管  |
| 6145 | 湿式除染機 湿式除染部   |
| 6146 | 湿式除染機 水洗除染タンク |

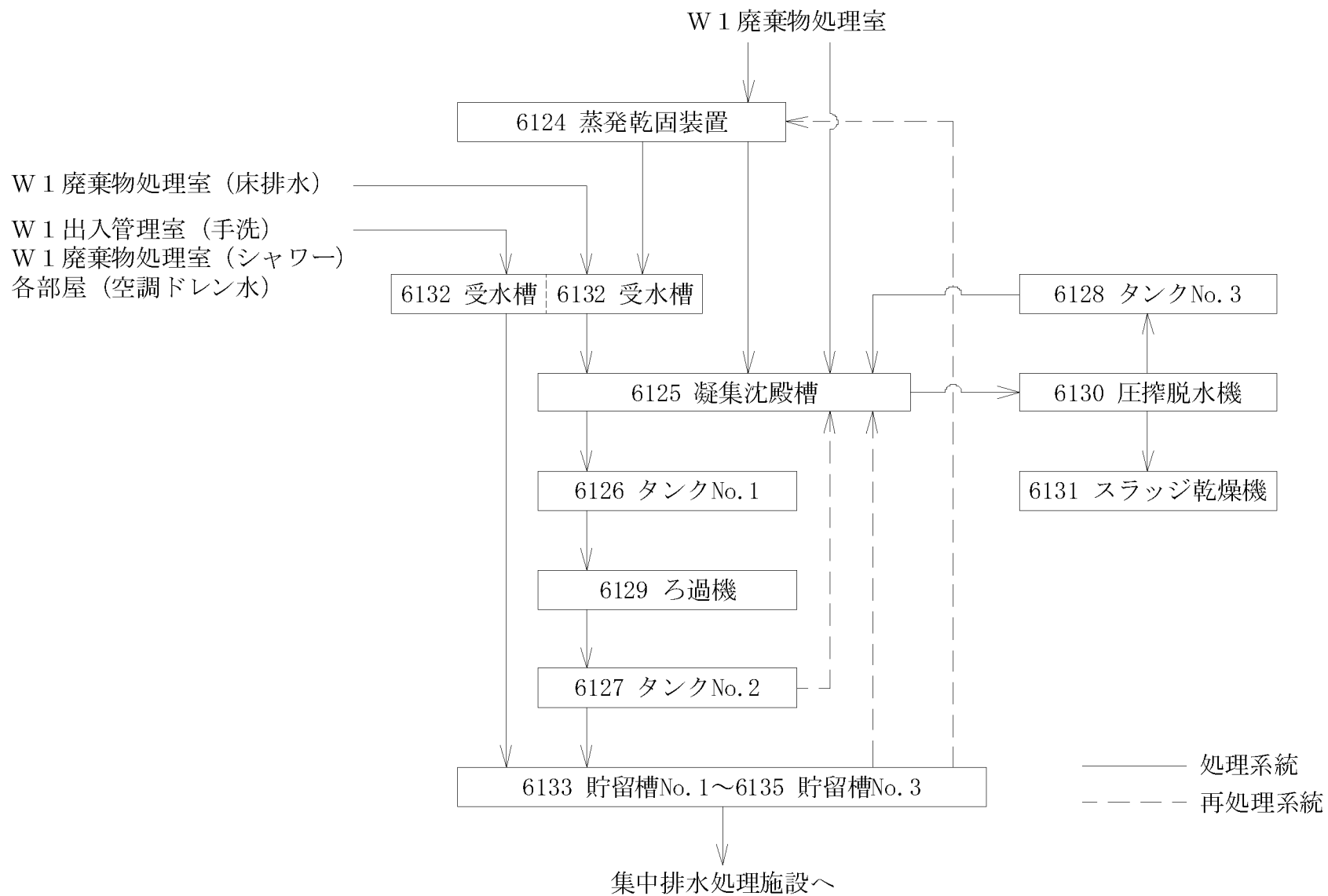


図ト-W1設-3-1(1) W1廃液配管全体系統図



図卜-W 1 設- 3 - 1 ( 2 ) W 1 廃液配管平面図





図ト-W1設-3-1(3) W1 廃液処理設備 廃液系統図

1472



図卜-W 1 設- 3 - 2 ( 1 ) W 1 廃液処理設備 配置図 ( 1 / 3 )

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

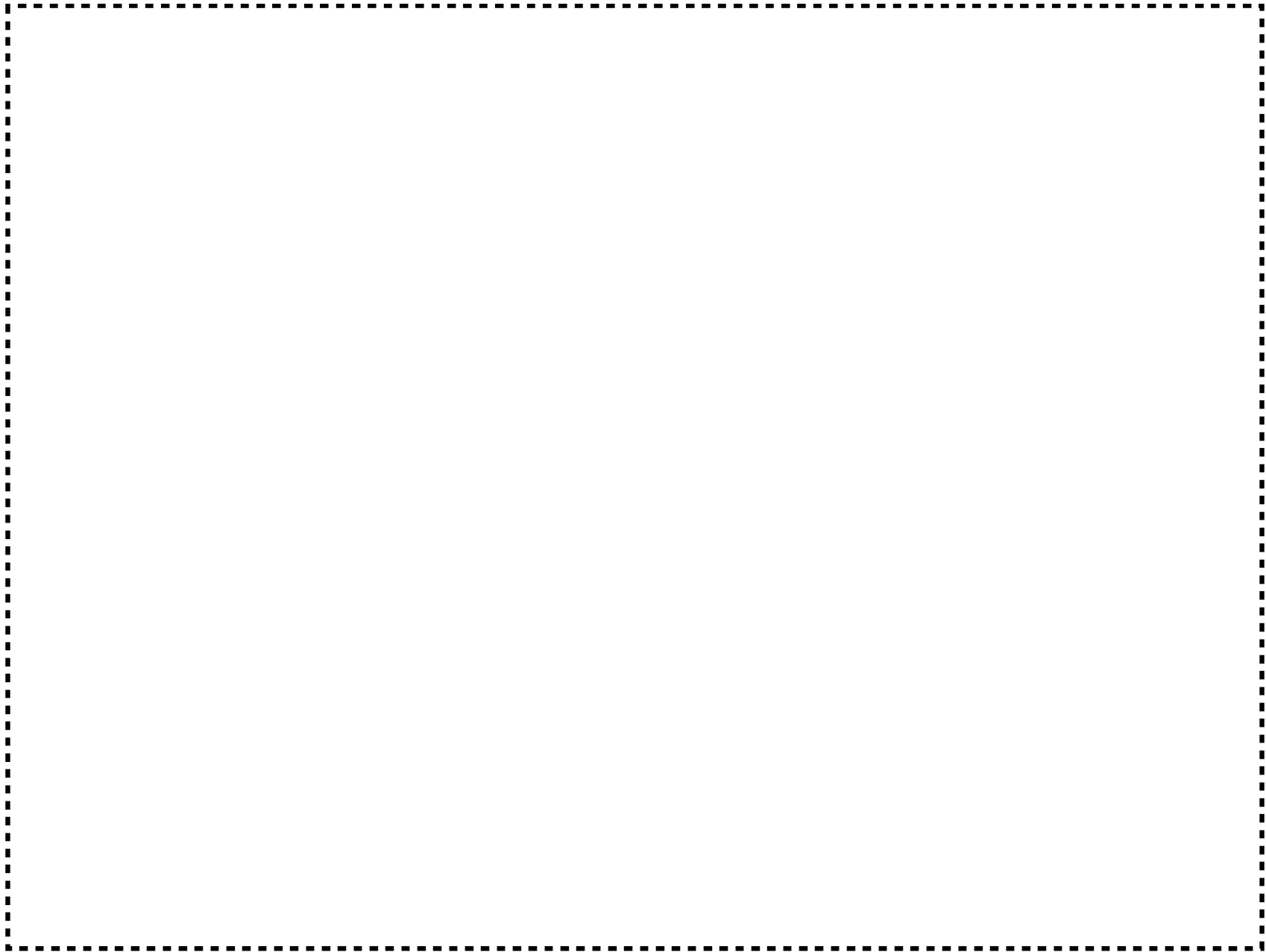
( 単位 mm )



図卜-W1 設-3-2 (2) W1 廃液処理設備 配置図 (2 / 3)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

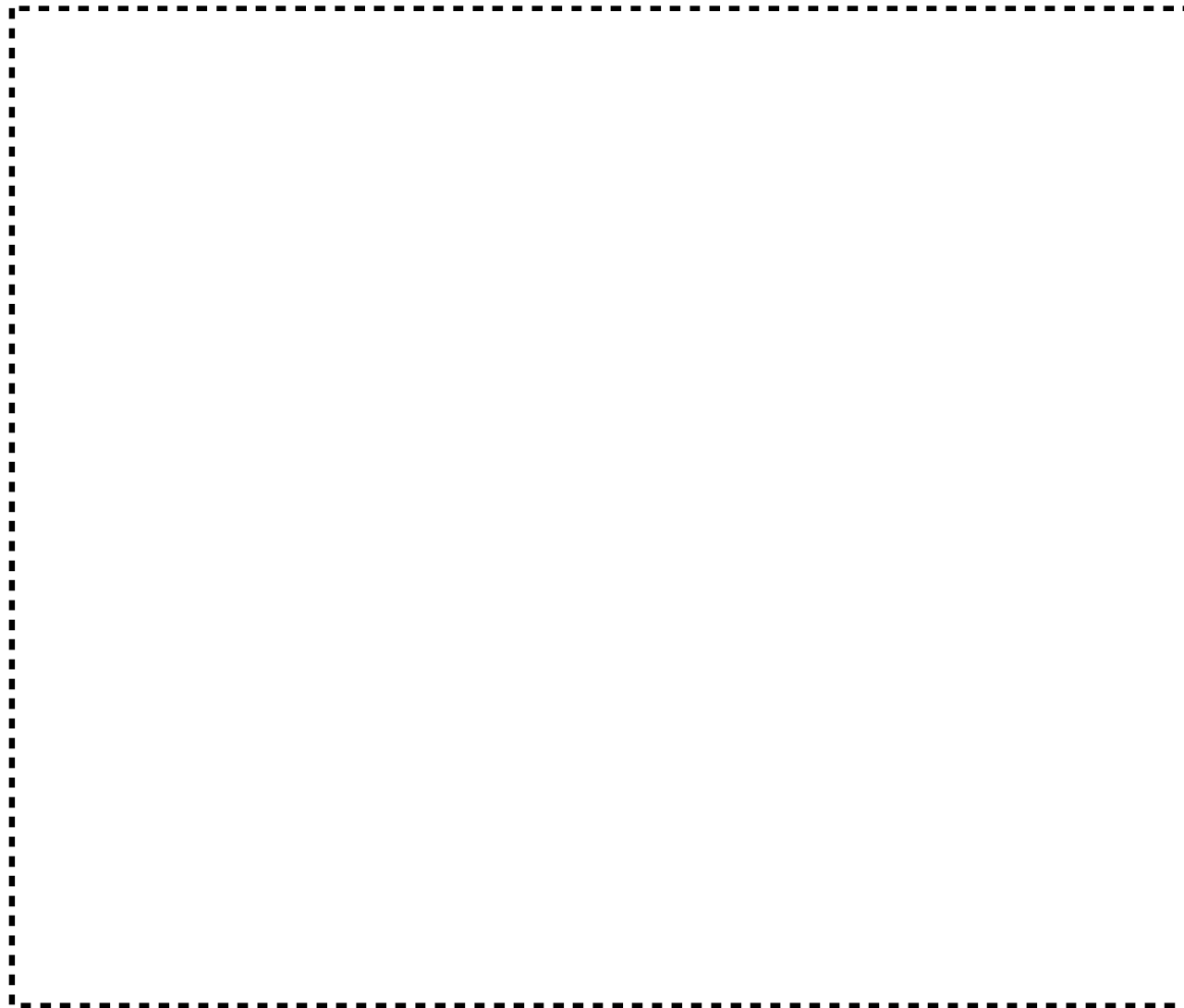
(単位 mm)



図卜-W 1 設- 3 - 2 ( 3 ) W 1 廃液処理設備 配置図 ( 3 / 3 )

赤色線 : 追加・変更部、 青色線 : 追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

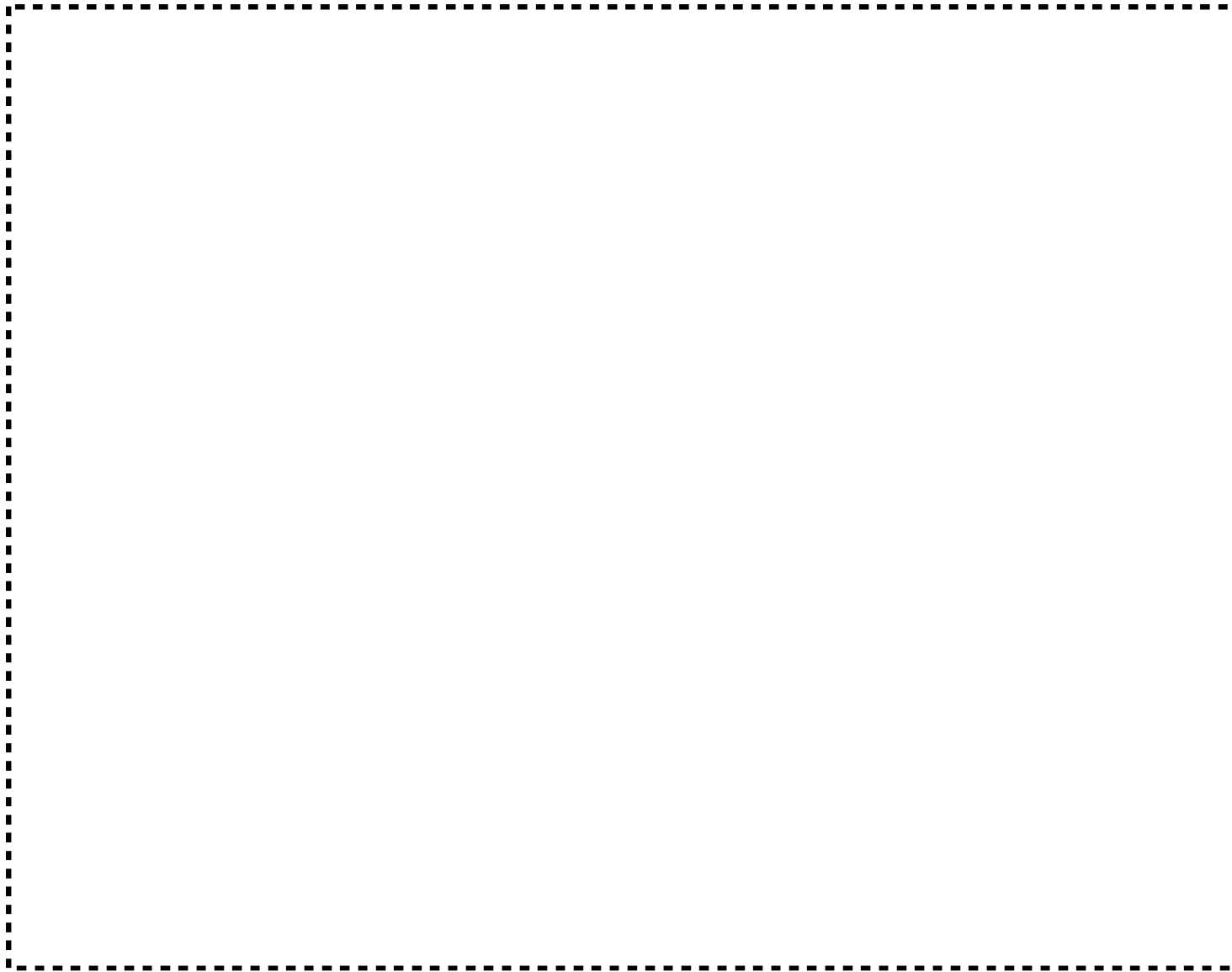
(単位 mm)



図卜-W1設-3-3 W1 廃液処理設備 凝集沈殿槽

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

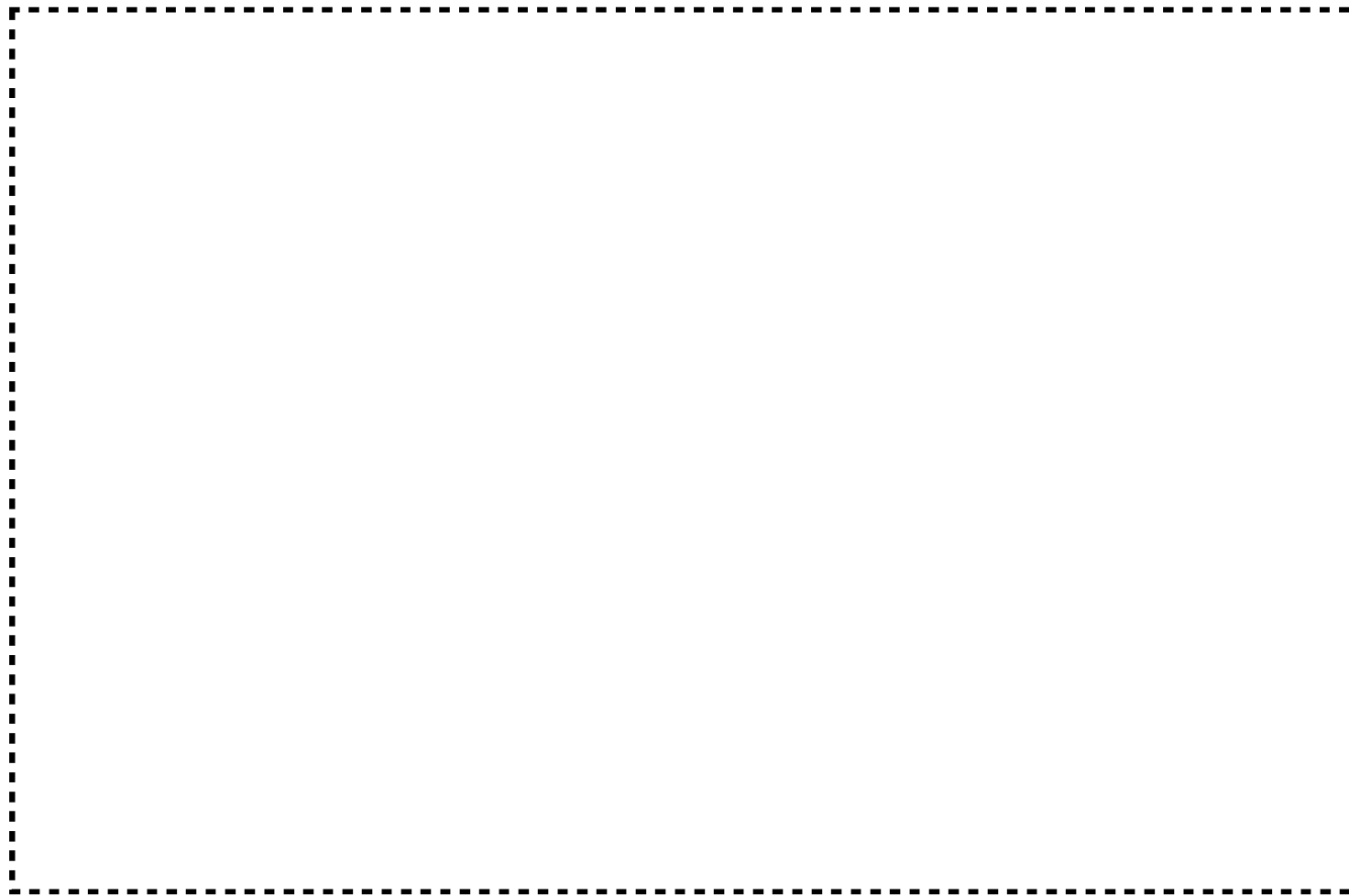
(単位 mm)



図ト-W 1 設-3-4 W 1 廃液処理設備 タンク No. 3

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図ト-W1設-3-5 W1廃液処理設備 スラッジ乾燥機

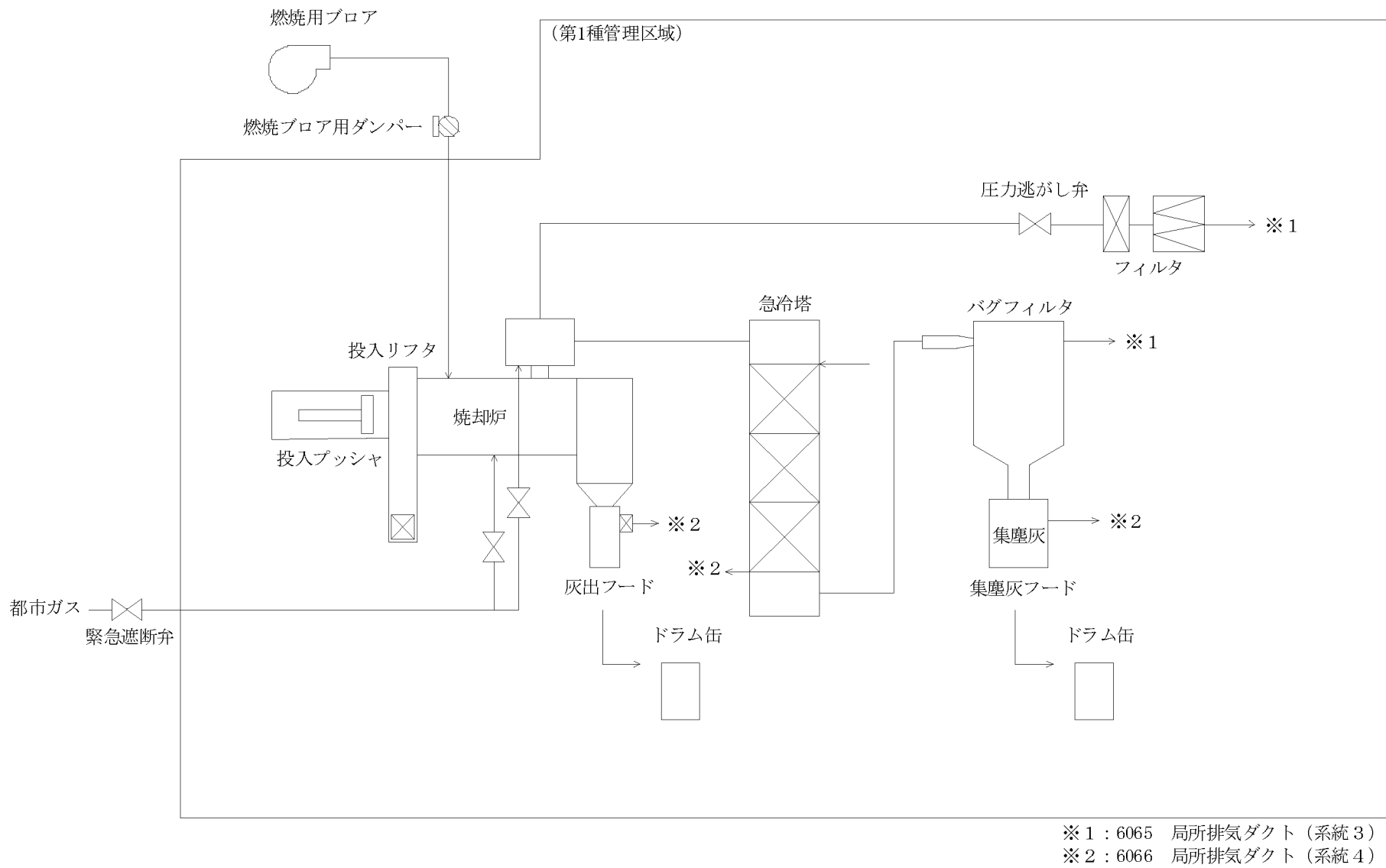
赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



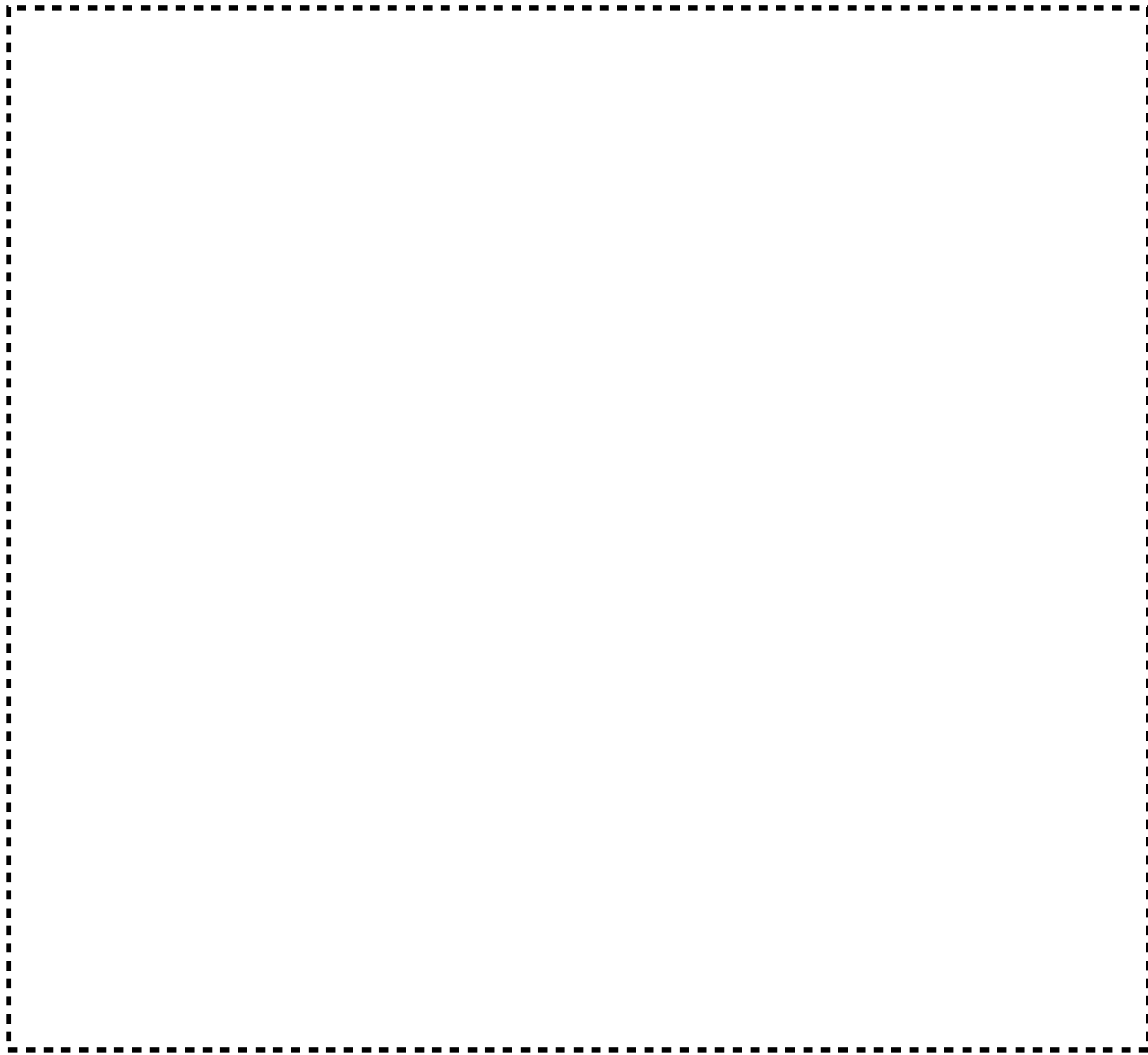
図卜-W 1 設- 4 - 1 保管廃棄設備  廃棄物保管区域





図ト-W1 設-5 (1) 焼却設備 系統図

1480



図ト-W1設-5(2) 焼却設備 配置図(1/2)

赤色線：追加・変更部、青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

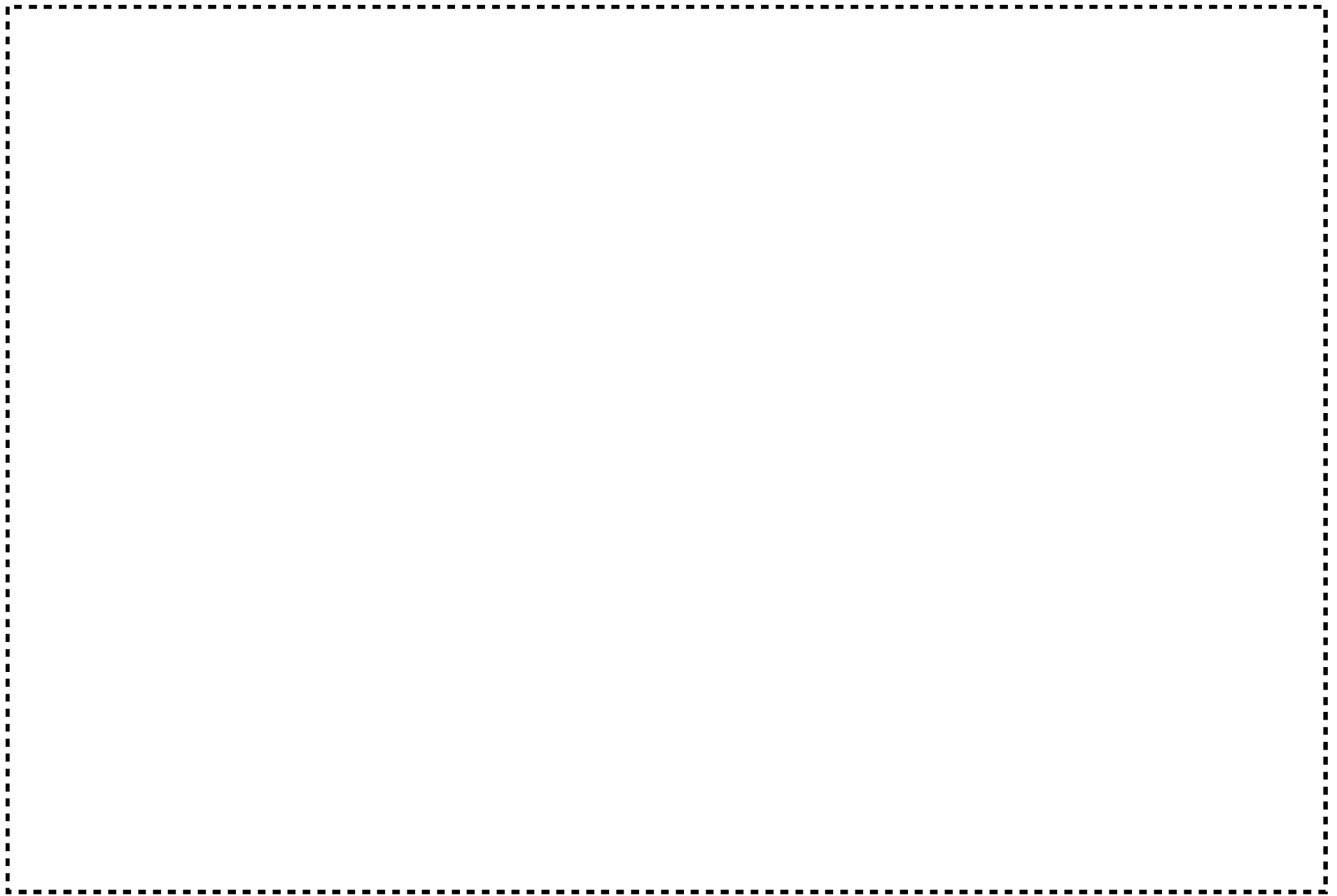


図卜-W1設-5(3) 焼却設備 配置図(2/2)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1482



図ト-W1設-5-1-1(1) 焼却設備 焼却炉

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図ト-W1設-5-1-1(2) 焼却設備 焼却炉(灰出フード)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

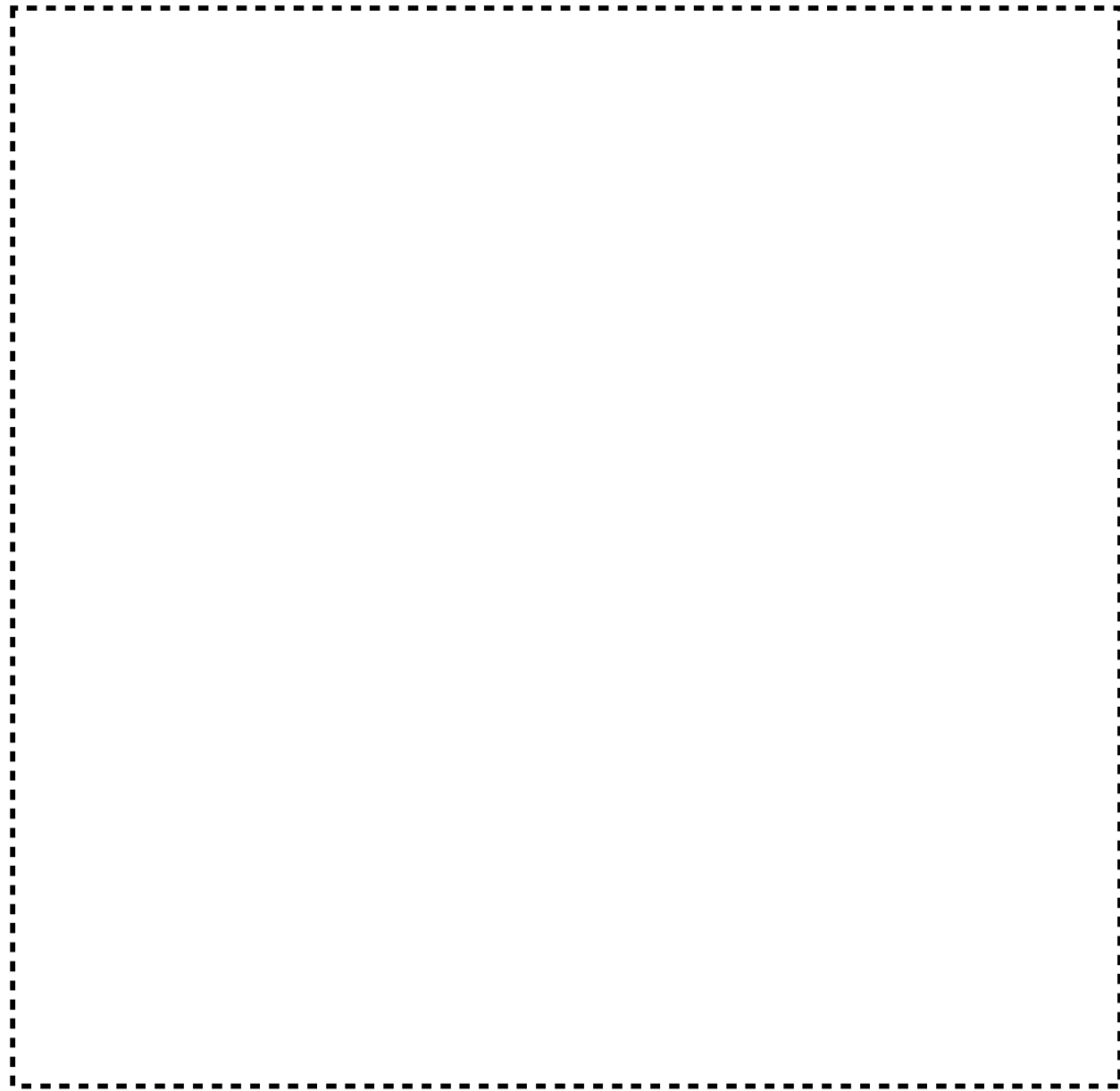
1484



図卜-W1設-5-1-1(3) 焼却設備 焼却炉 架台 (1/5)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

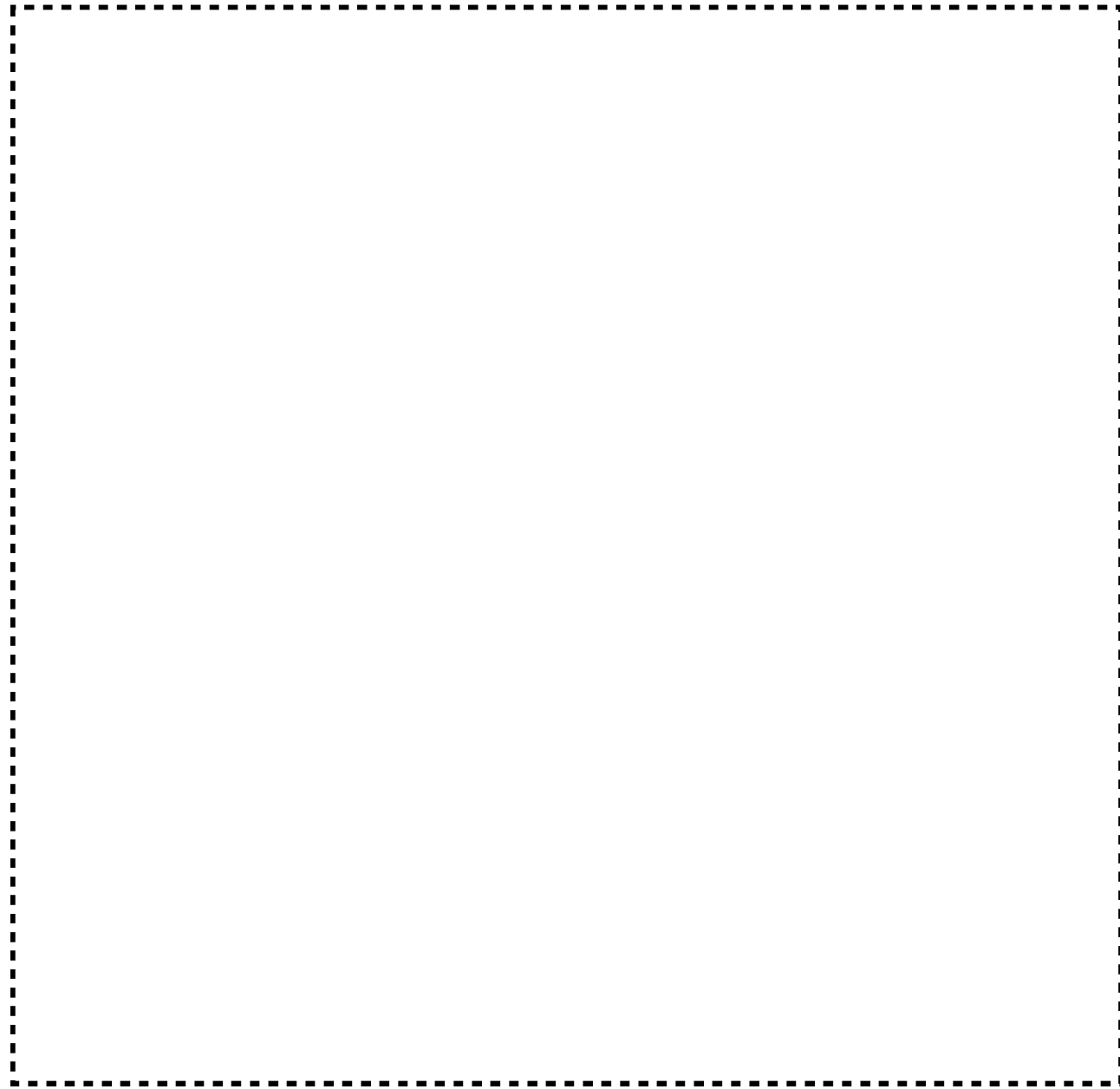
(単位 mm)



図卜-W1設-5-1-1(4) 焼却設備 焼却炉 架台 (2/5)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図卜-W1設-5-1-1(5) 焼却設備 焼却炉 架台 (3/5)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



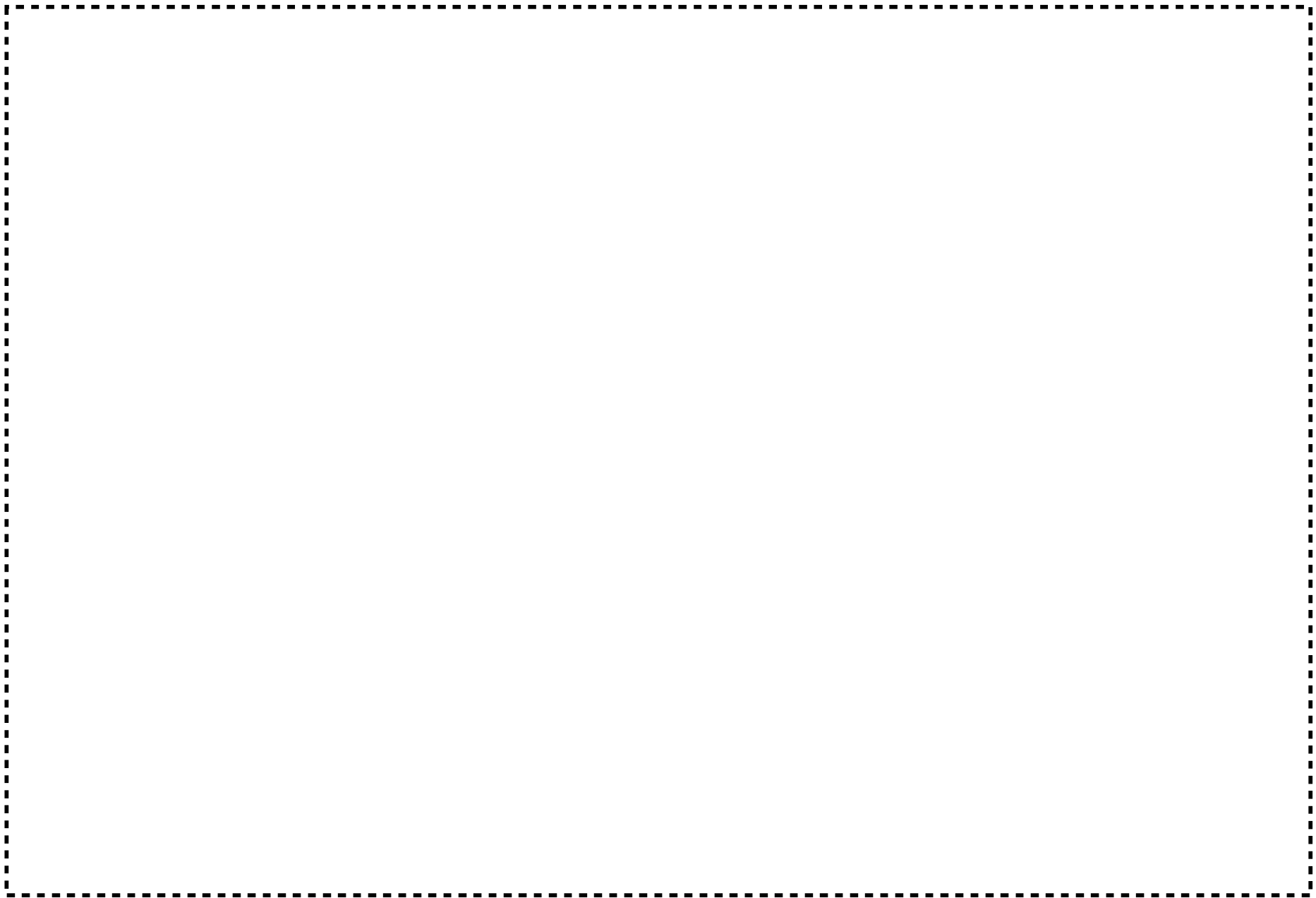


図卜-W1設-5-1-1(6) 焼却設備 焼却炉 架台 (4/5)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1488



図卜-W1設-5-1-1(7) 焼却設備 焼却炉 架台(5/5)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

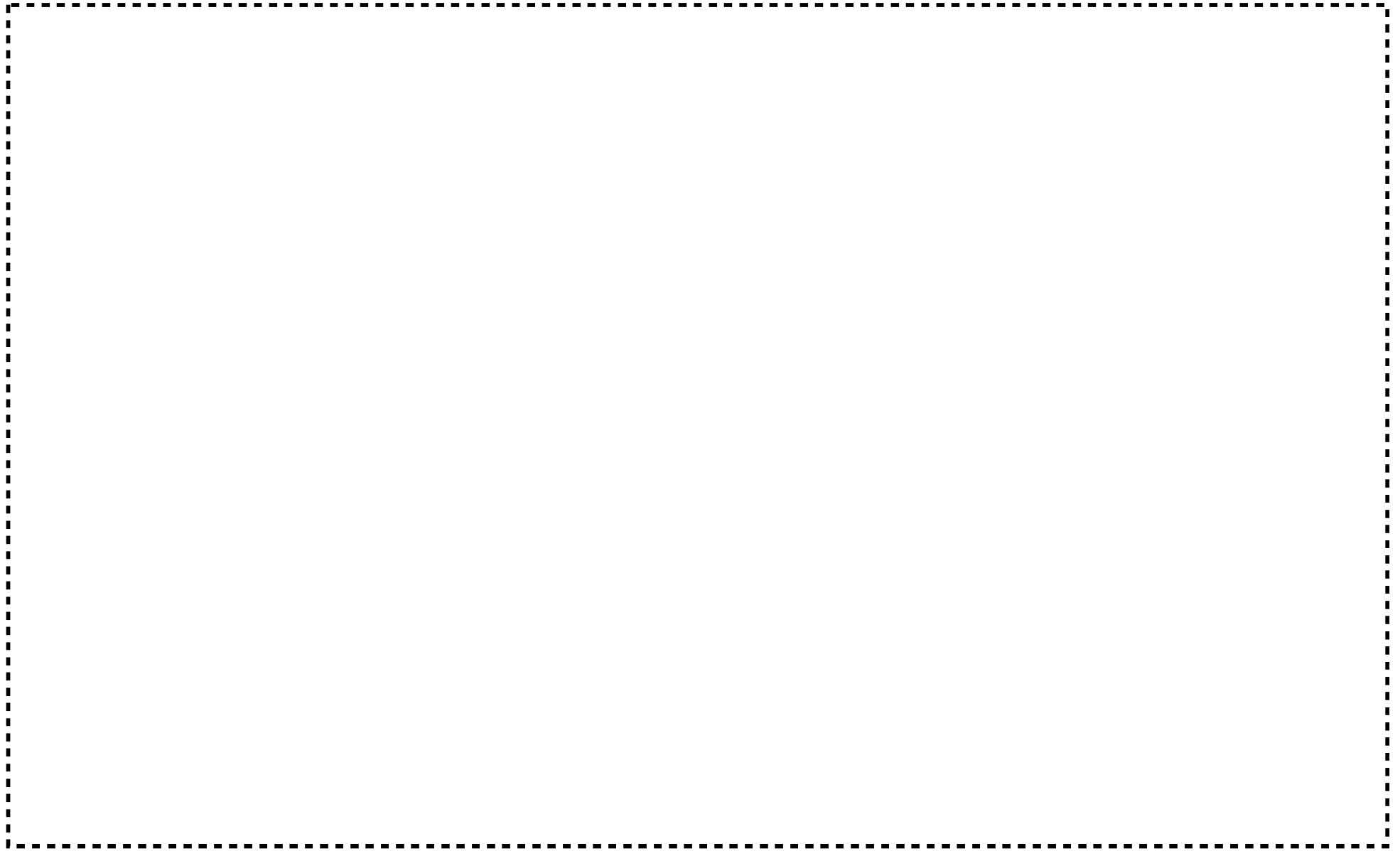


図卜-W1設-5-1-2(1) 焼却設備 焼却炉 付帯安全系 機器及び警報盤 配置図

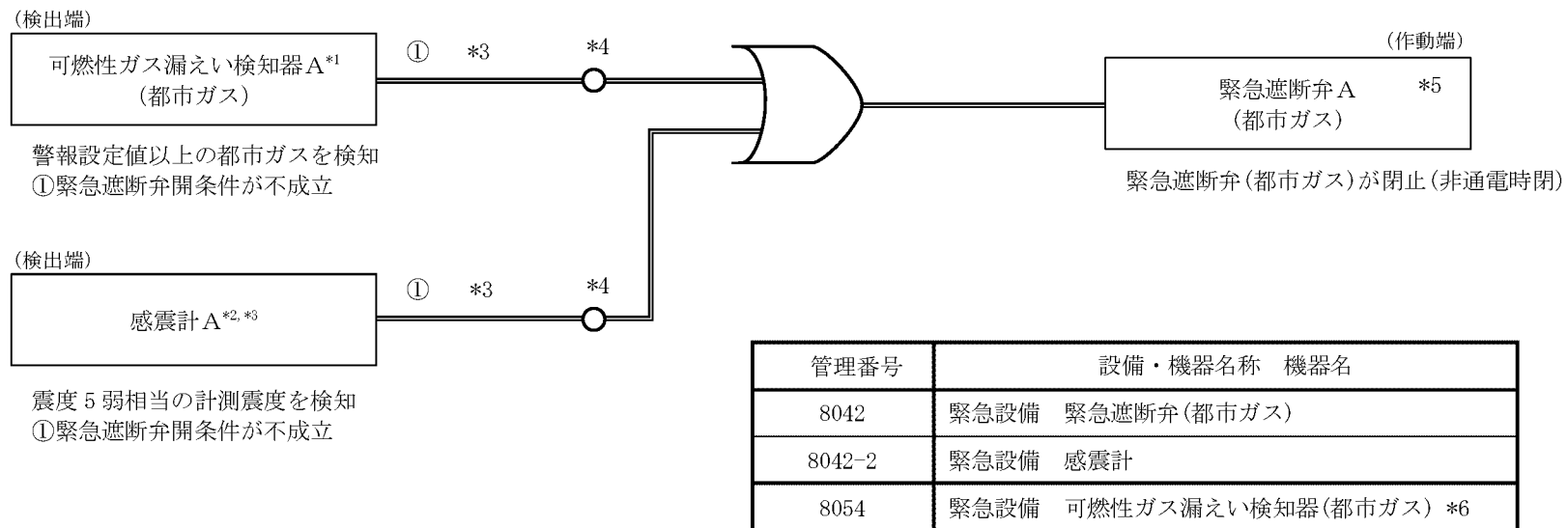
6128-5

1490

図ト-W1設-5-1-2(2) 焼却設備 焼却炉 付帯安全系 ガス配管 安全系機器構成概要図



図卜-W1設-5-1-2(3) 焼却設備 焼却炉 付帯安全系 可燃性ガス配管 配置図



\*1 : アナログ信号線はシールドケーブルを使用し、  
金属製又は難燃性のプラスチック製の電線管等に収容

\*2 : アナログ信号線はシールドケーブルを使用

\*3 : 信号線断線時は緊急遮断弁 (都市ガス) が閉止

\*4 : 制御部 (メカニカルリレー)

\*5 : 停電時は緊急遮断弁 (都市ガス) が閉止

\*6 : 警報設定値以上の都市ガスの漏えいを検知した場合は警報が発報

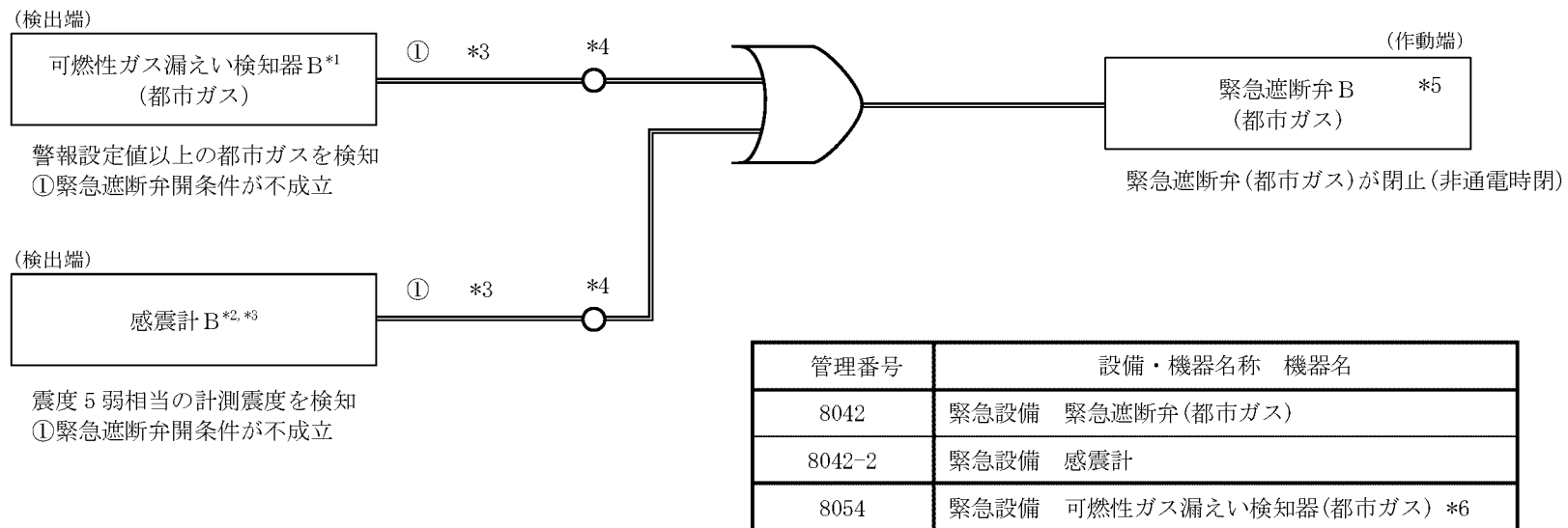
凡例

— : 信号線

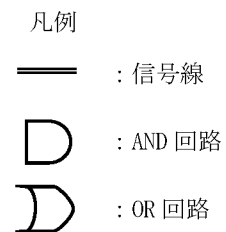
D : AND 回路

D : OR 回路

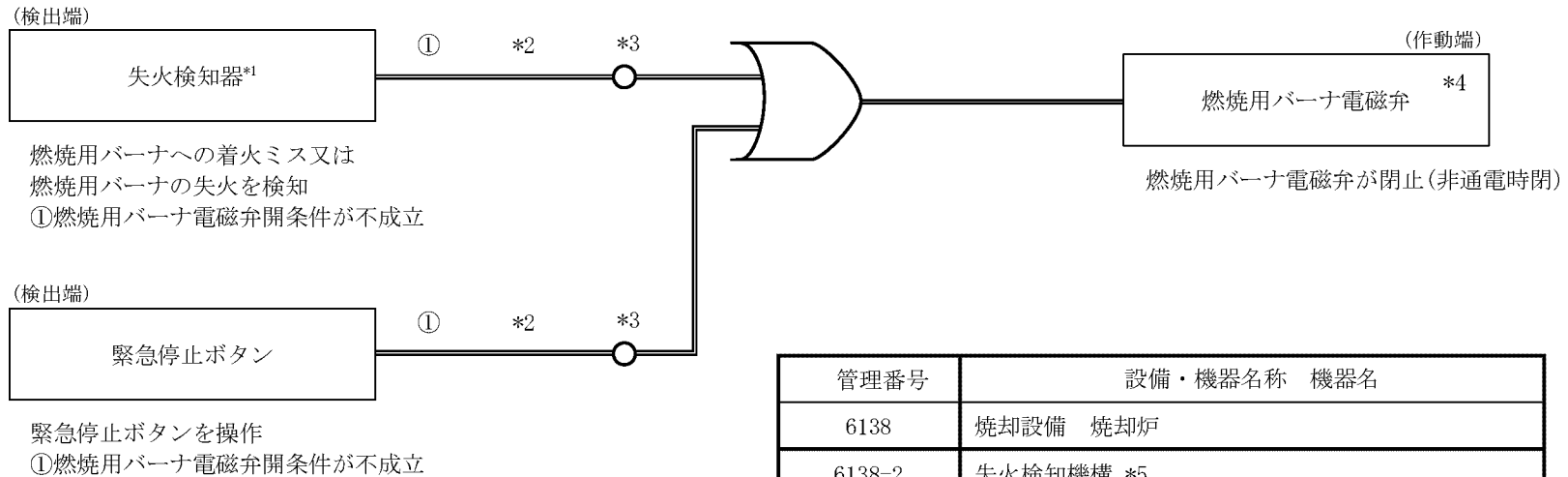
図ト-W1 設-5-1-3 (1) 焼却設備 焼却炉 付帯安全系 インターロック信号系統図 (可燃性ガス緊急遮断) (1 / 2)



- \*1 : アナログ信号線はシールドケーブルを使用し、  
金属製又は難燃性のプラスチック製の電線管等に収容
- \*2 : アナログ信号線はシールドケーブルを使用
- \*3 : 信号線断線時は緊急遮断弁(都市ガス)が閉止
- \*4 : 制御部 (メカニカルリレー)
- \*5 : 停電時は緊急遮断弁(都市ガス)が閉止
- \*6 : 警報設定値以上の都市ガスの漏えいを検知した場合は警報が発報



図ト-W1 設-5-1-3 (2) 焼却設備 焼却炉 付帯安全系 インターロック信号系統図 (可燃性ガス緊急遮断) (2/2)



\*1 : アナログ信号線はシールドケーブルを使用

\*2 : 信号線断線時は燃烧用バーナ電磁弁が閉止

\*3 : 制御部 (メカニカルリレー)

\*4 : 停電時は燃烧用バーナ電磁弁が閉止

\*5 : 燃烧用バーナへの着火ミス又は燃烧用バーナの失火を検知した場合は  
警報が発報

凡例

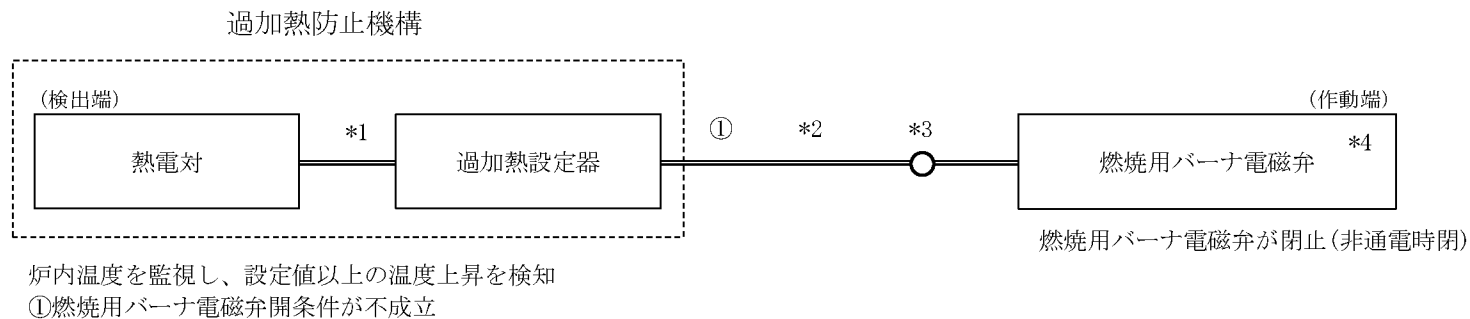
— : 信号線

D : AND 回路

D : OR 回路

図ト-W1 設-5-1-3 (3) 焼却設備 焼却炉 付帯安全系 インターロック信号系統図 (失火検知機構)





| 管理番号   | 設備・機器名称 | 機器名 |
|--------|---------|-----|
| 6138   | 焼却設備    | 焼却炉 |
| 6138-3 | 過加熱防止機構 | *5  |

- \*1 : アナログ信号線はシールドケーブルを使用  
: 熱電対が断線し、炉内温度の監視が不可となった場合は、燃焼用バーナ電磁弁が閉止
- \*2 : 信号線断線時は燃焼用バーナ電磁弁が閉止
- \*3 : 制御部 (メカニカルリレー)
- \*4 : 停電時は燃焼用バーナ電磁弁が閉止
- \*5 : 炉内温度が設定値以上に上昇した場合は警報が発報

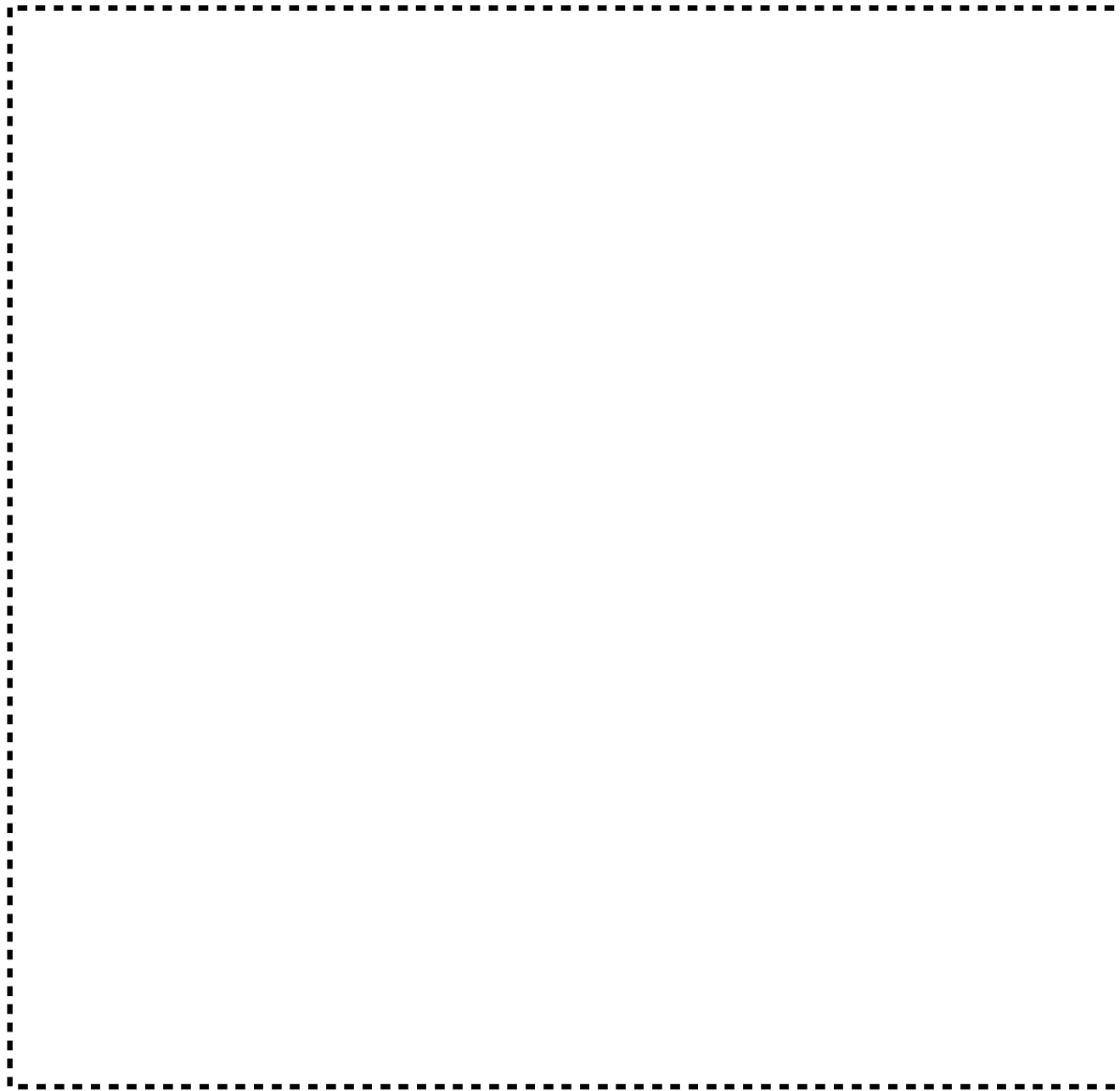
凡例

— : 信号線

D : AND 回路

D : OR 回路

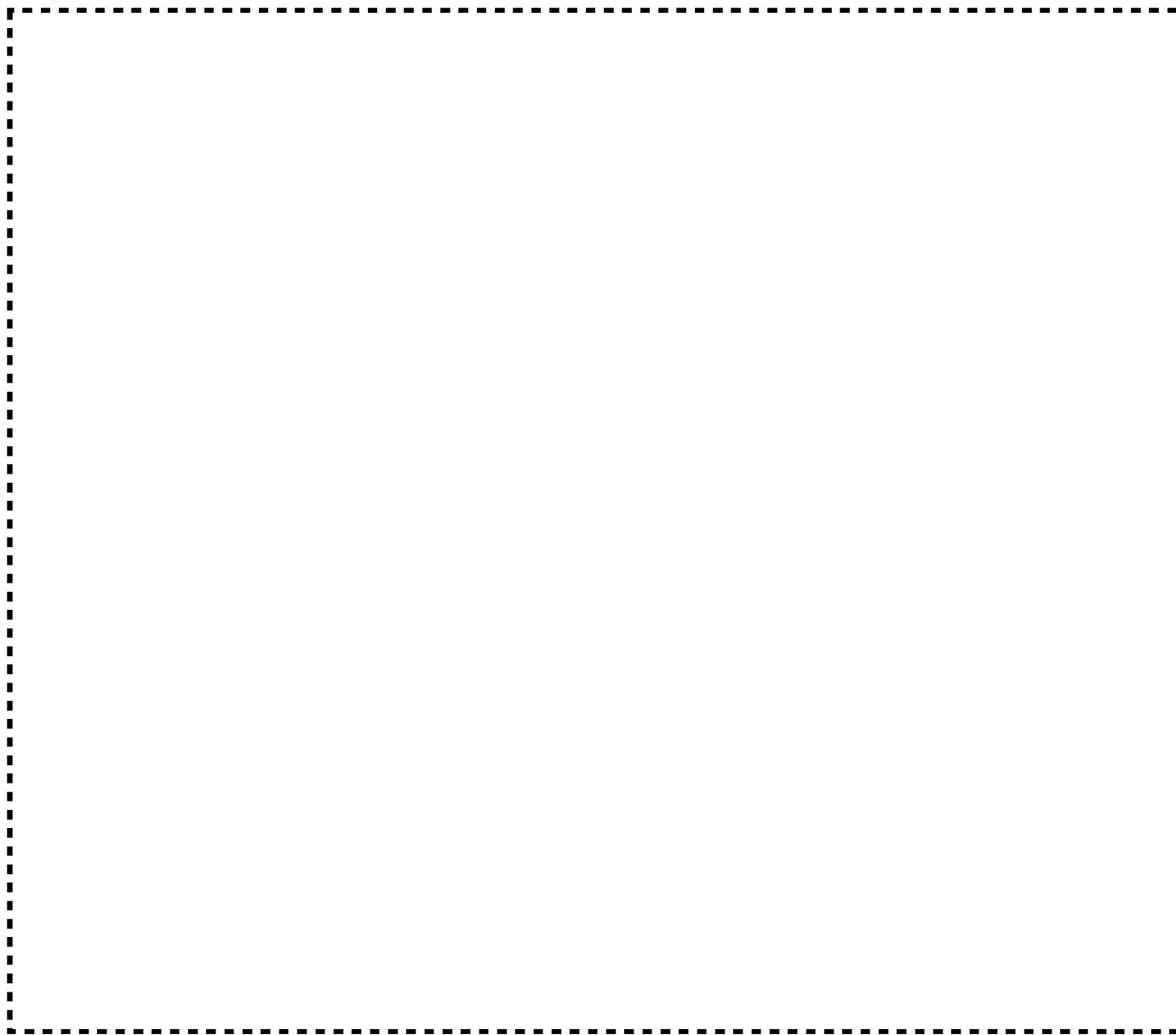
図ト-W1 設-5-1-3 (4) 焼却設備 焼却炉 付帯安全系 インターロック信号系統図 (過加熱防止機構)



図ト-W1設-5-2(1) 焼却設備 バグフィルタ

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

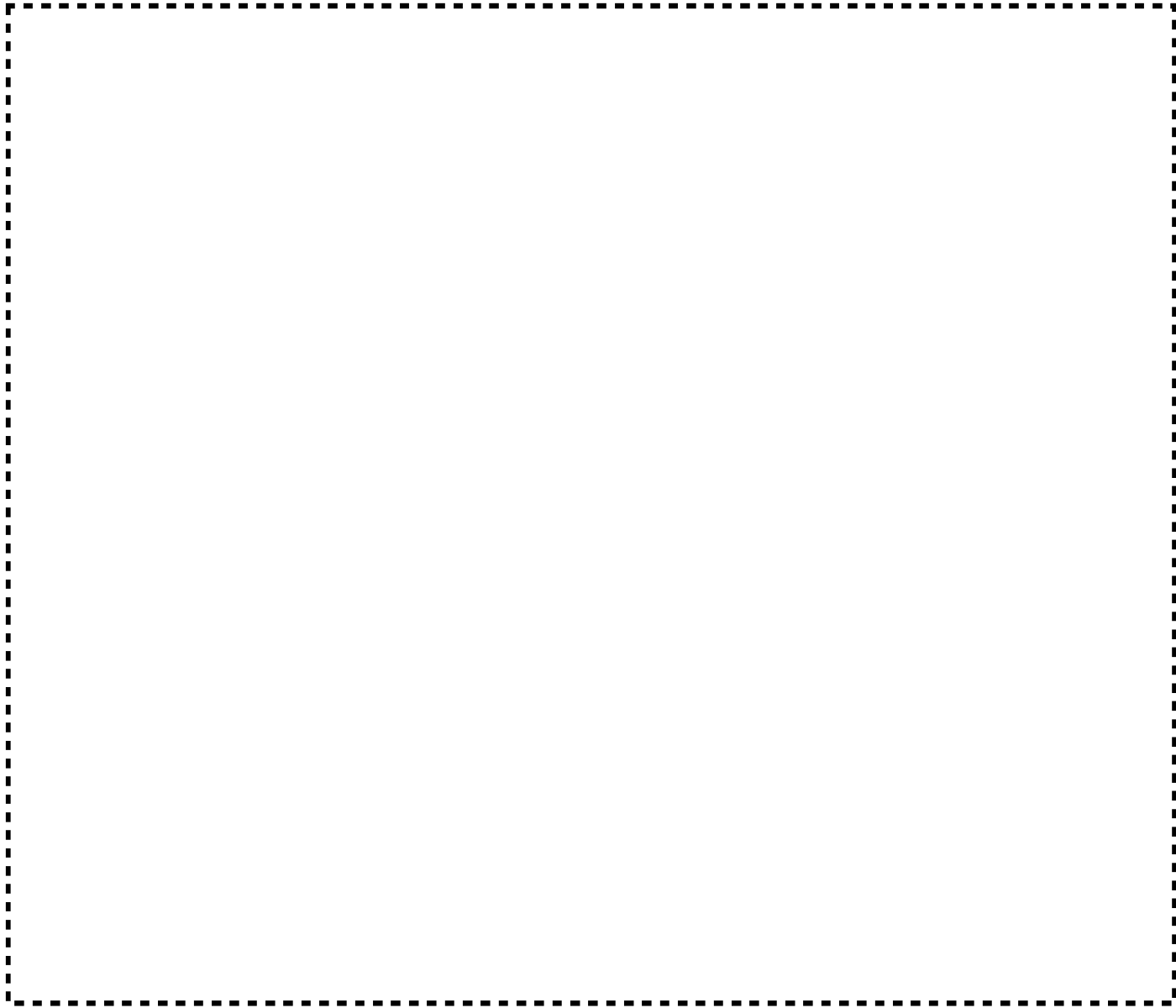
(単位 mm)



図ト-W1設-5-2(2) 焼却設備 バグフィルタ (集塵灰フード)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図ト-W 1 設-5-3 焼却設備 投入プッシャ

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

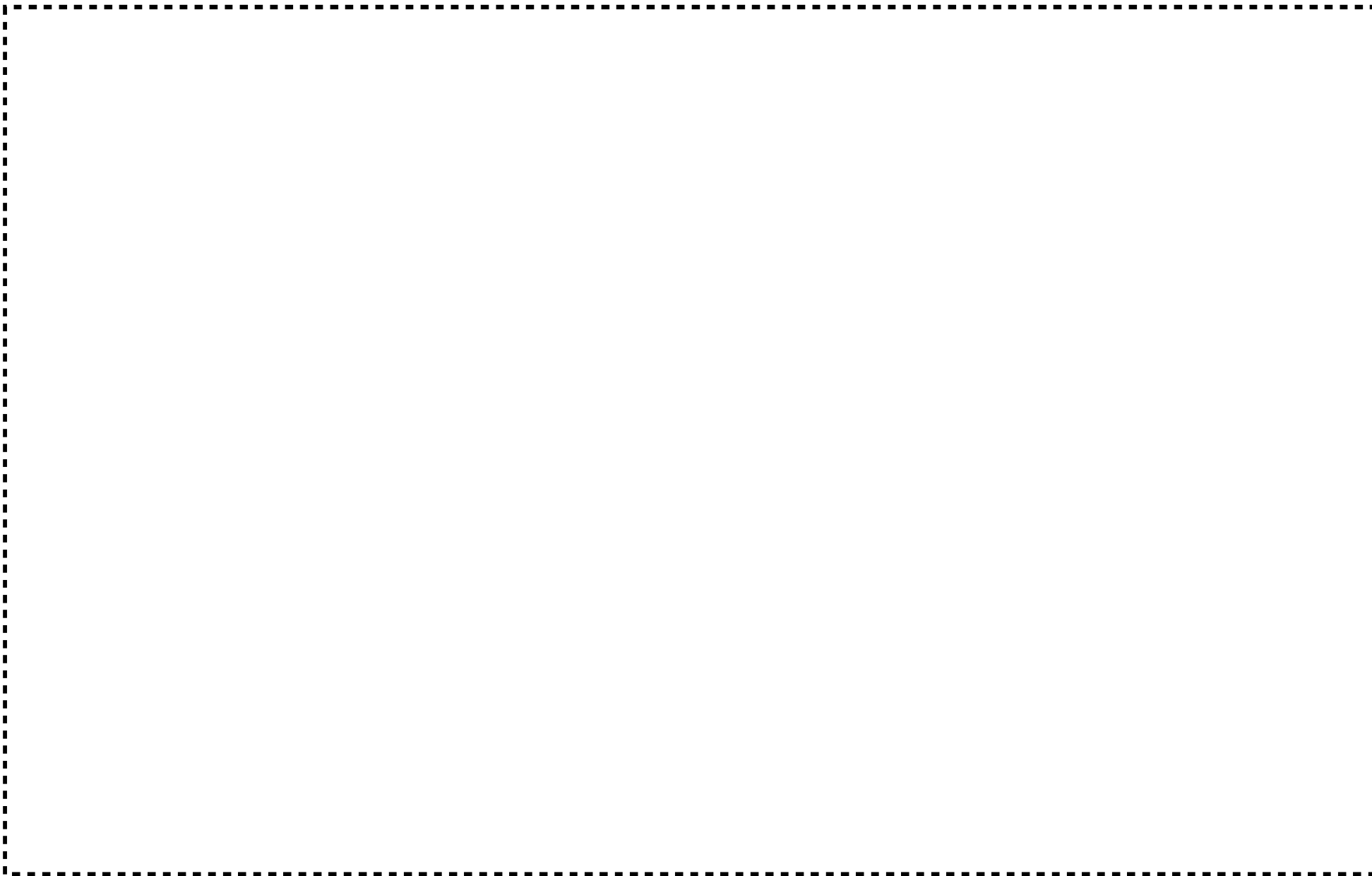


図ト-W 1 設-5-4 焼却設備 前処理フード

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1500

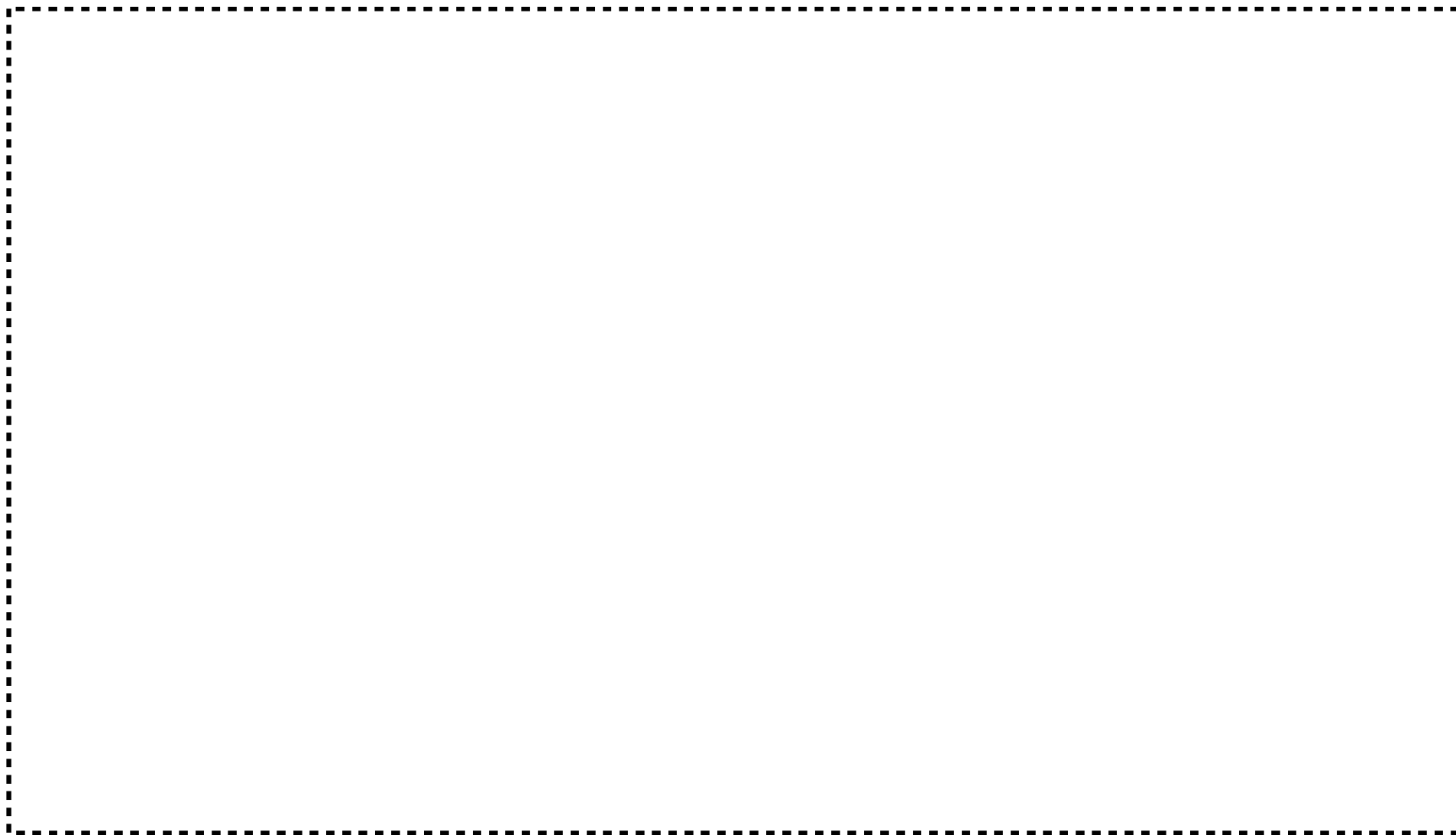


図ト-W1 設-5-5 焼却設備 フィルタ処理フード

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

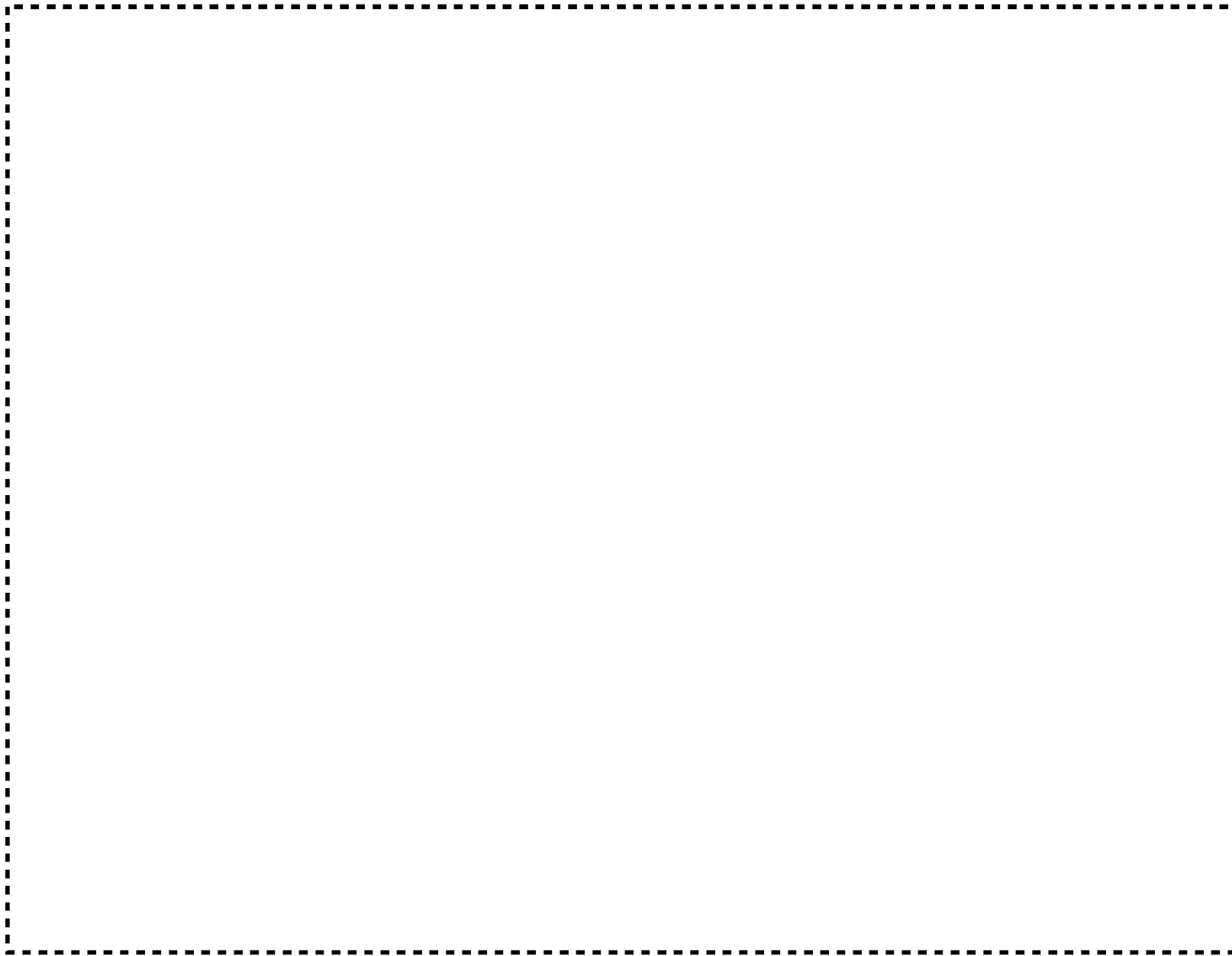
1501



図ト-W1設-5-6 焼却設備 投入リフタ

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図ト-W1設-5-7 焼却設備 急冷塔

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)





図ト-W 1 設-6-1 湿式除染機 湿式除染部

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1504

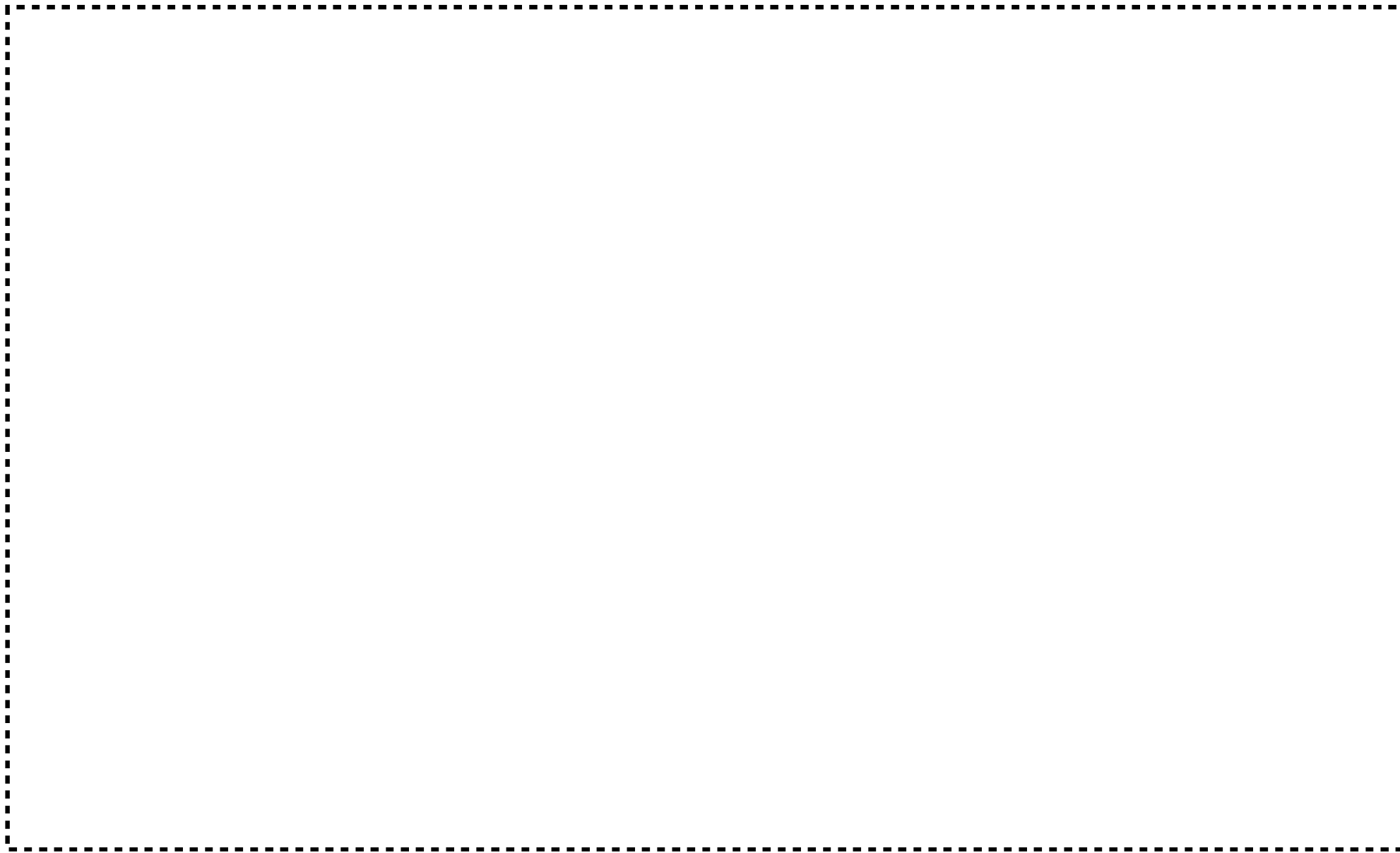


図ト-W1 設-6-2 湿式除染機 水洗除染タンク

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

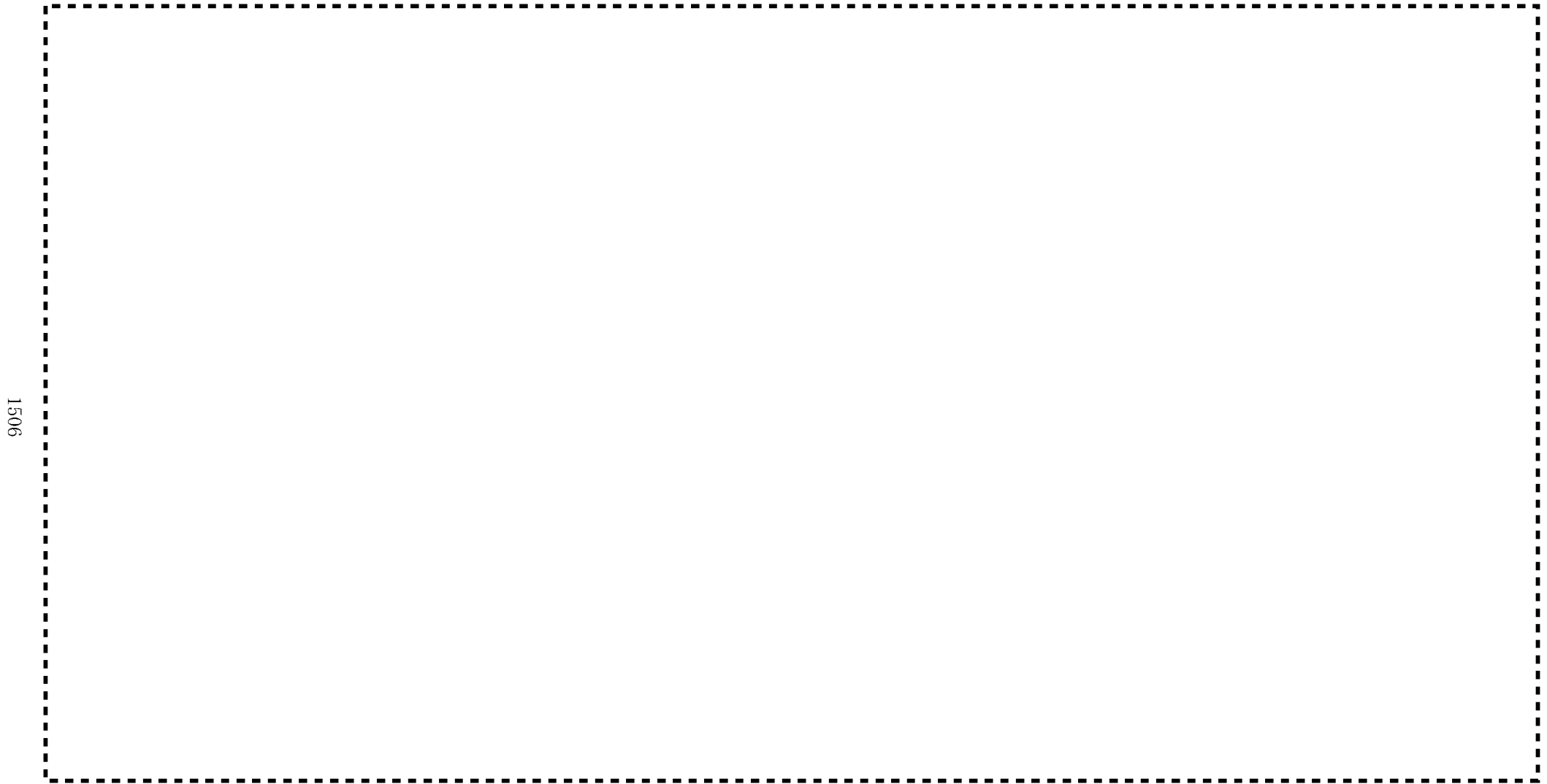
1505



図ト-W1 設-7-1 乾式除染機

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

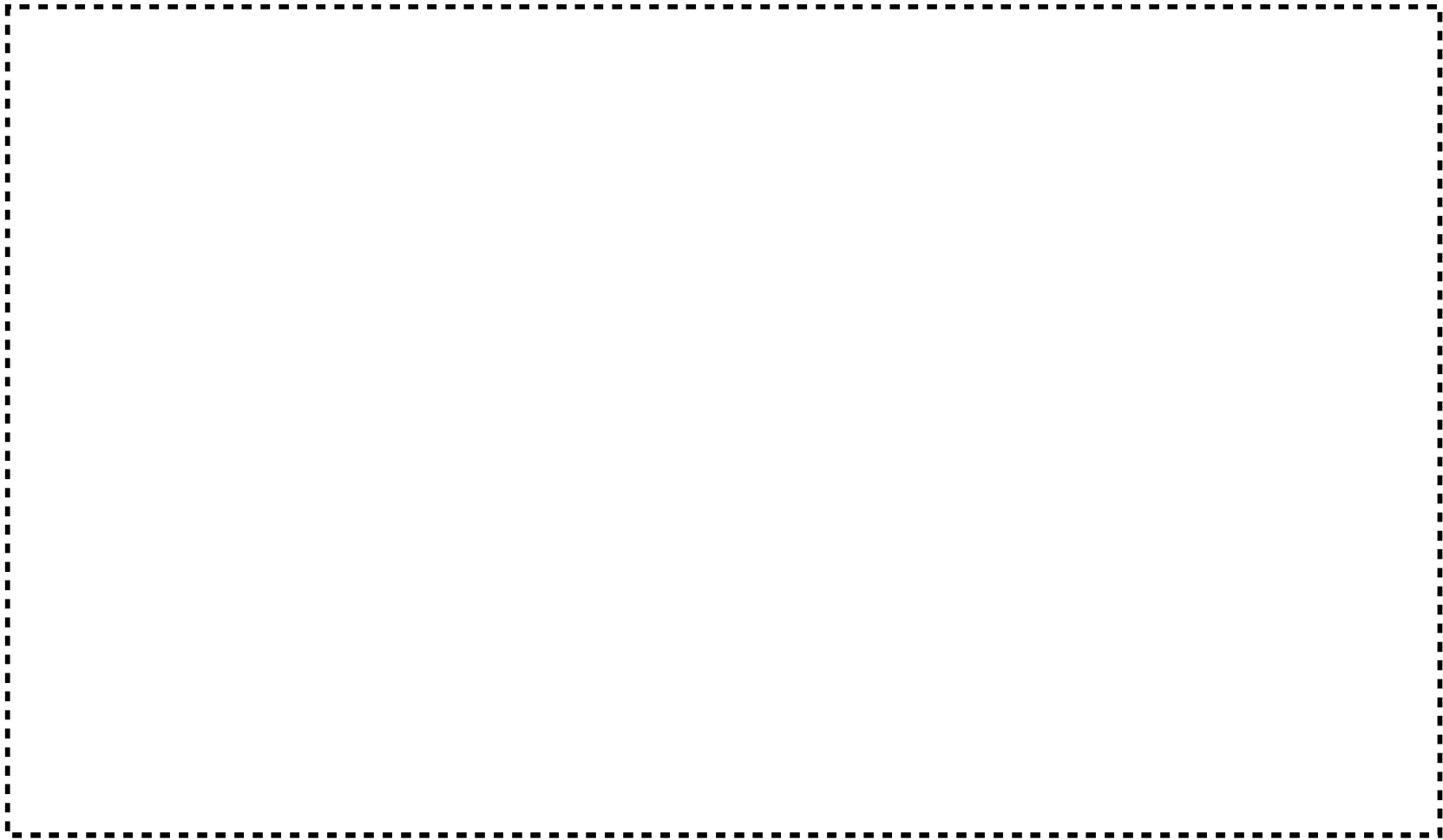
(単位 mm)



図ト-W1設-8 ホイストクレーン 配置図

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

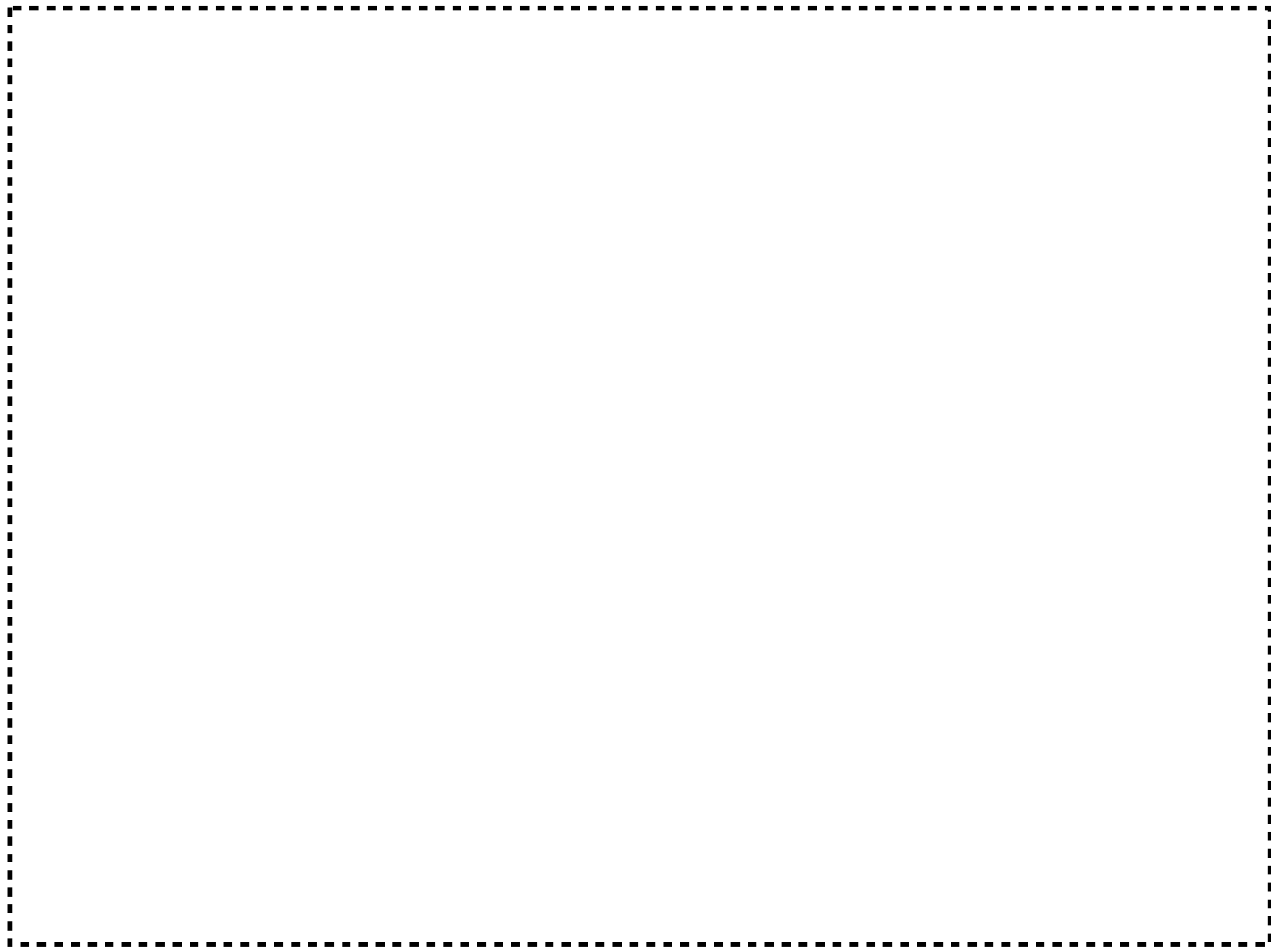


図ト-W1設-8-1 ホイストクレーン 2トンチェンブロック

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1508



図ト-W1設-8-2 ホイストクレーン 1トンチェンブロック

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

1509



1階平面図

2階平面図

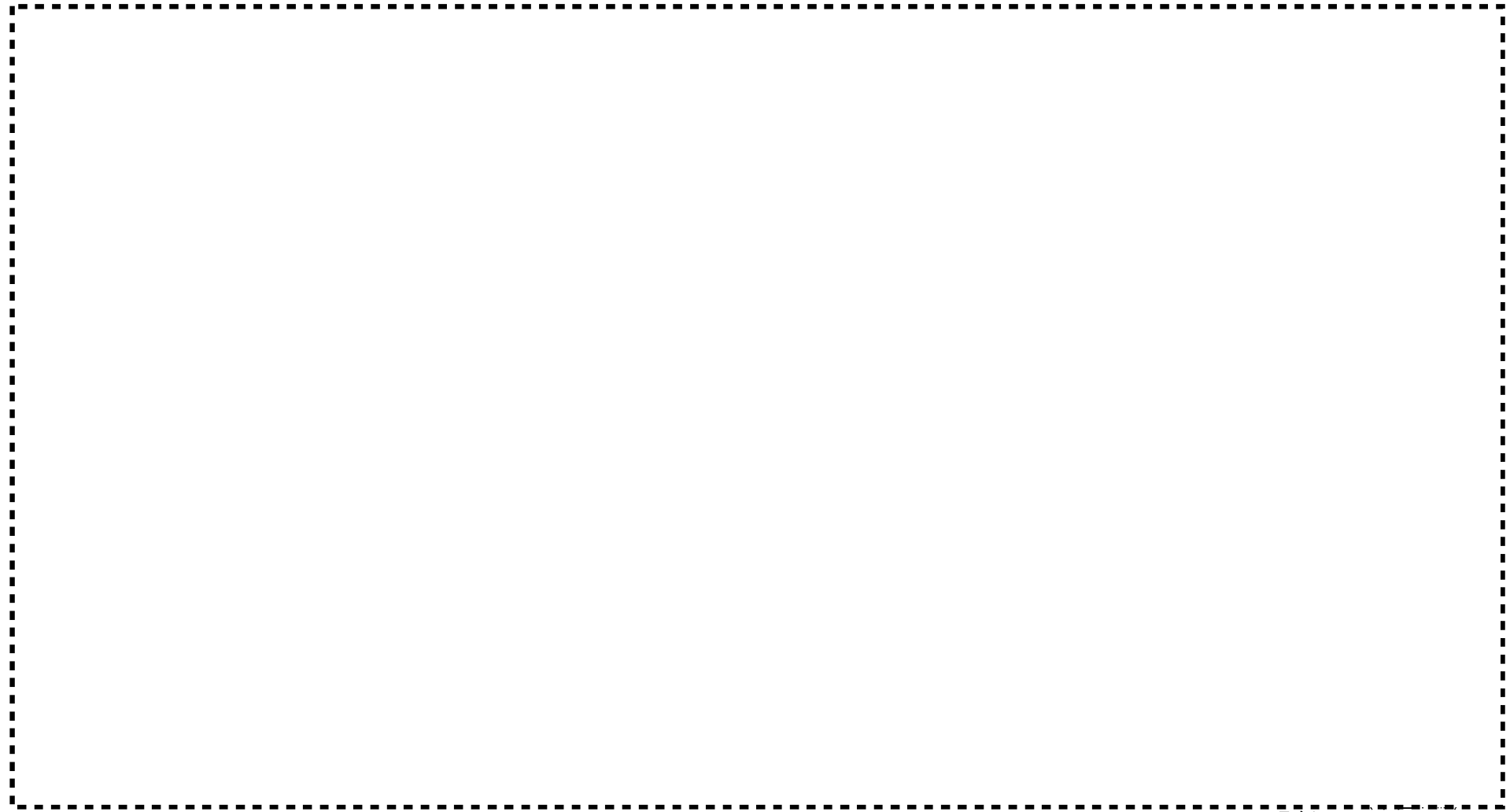
凡例

◎ 改造建具

○ 既設建具

図卜-W3建-1 第3廃棄物貯蔵棟 平面図（1階・2階）



1510



3階平面図

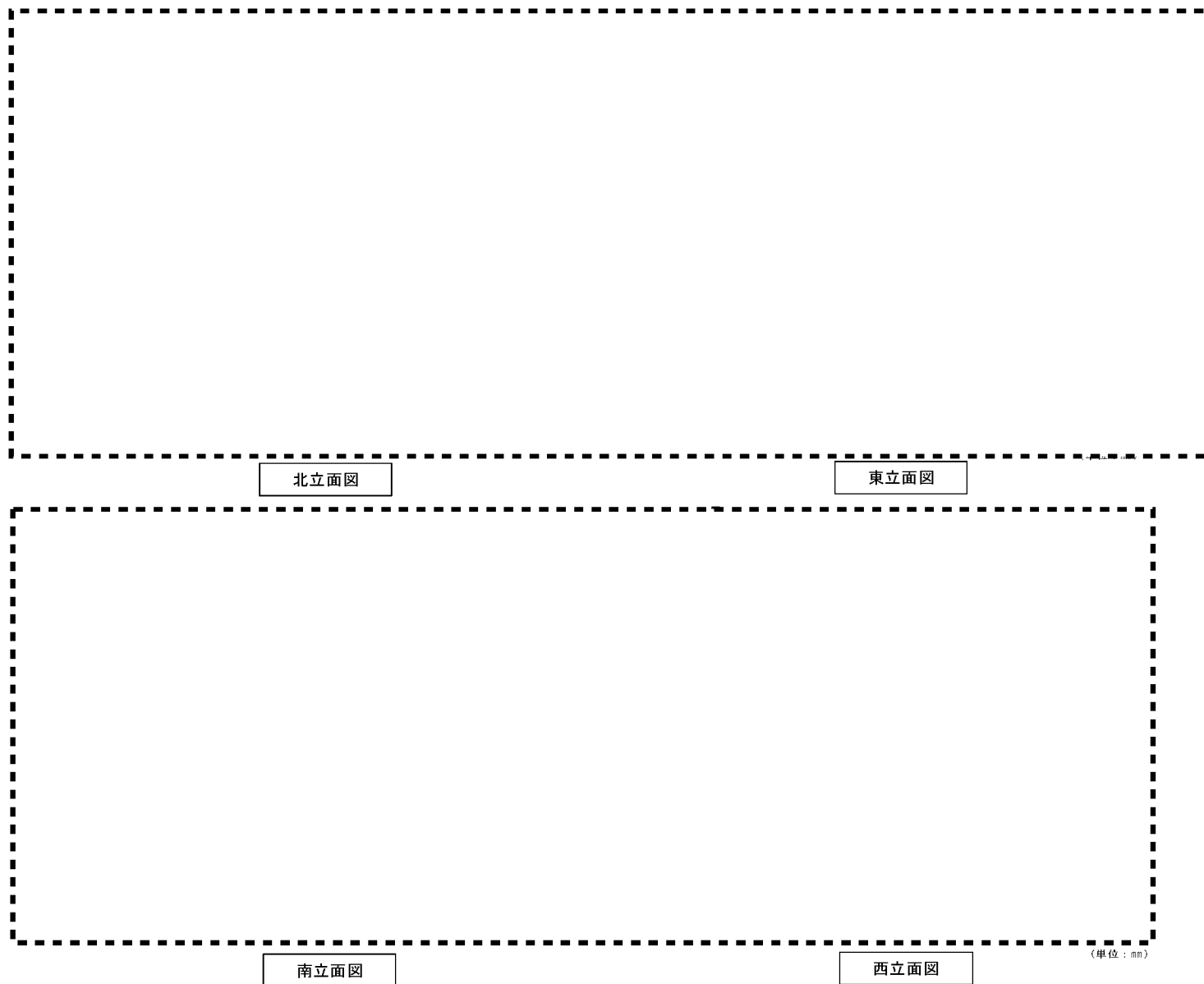
R階平面図

凡例

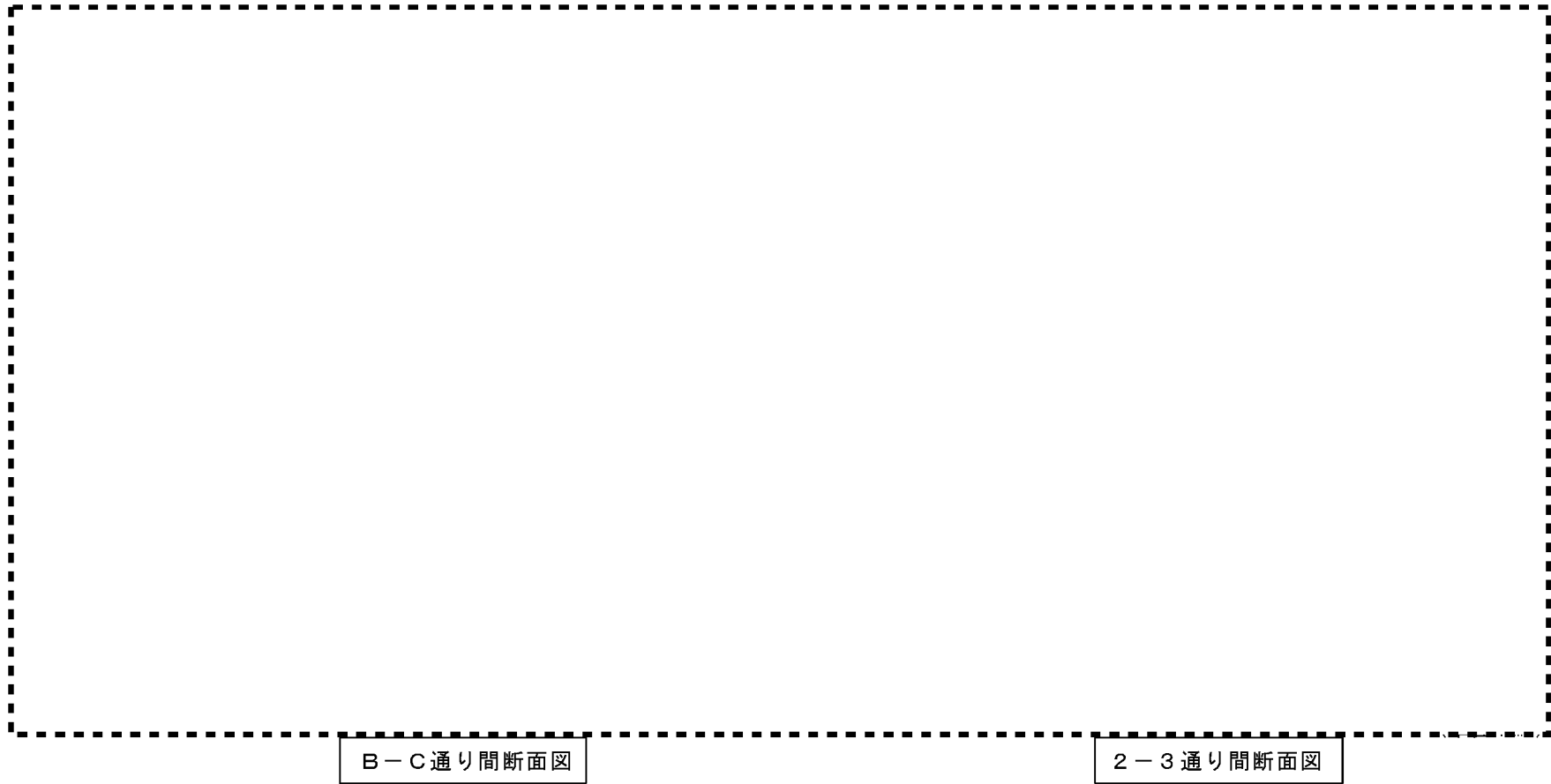
-  改造建具
-  既設建具

図卜-W3建-2 第3廃棄物貯蔵棟 平面図 (3階・R階)

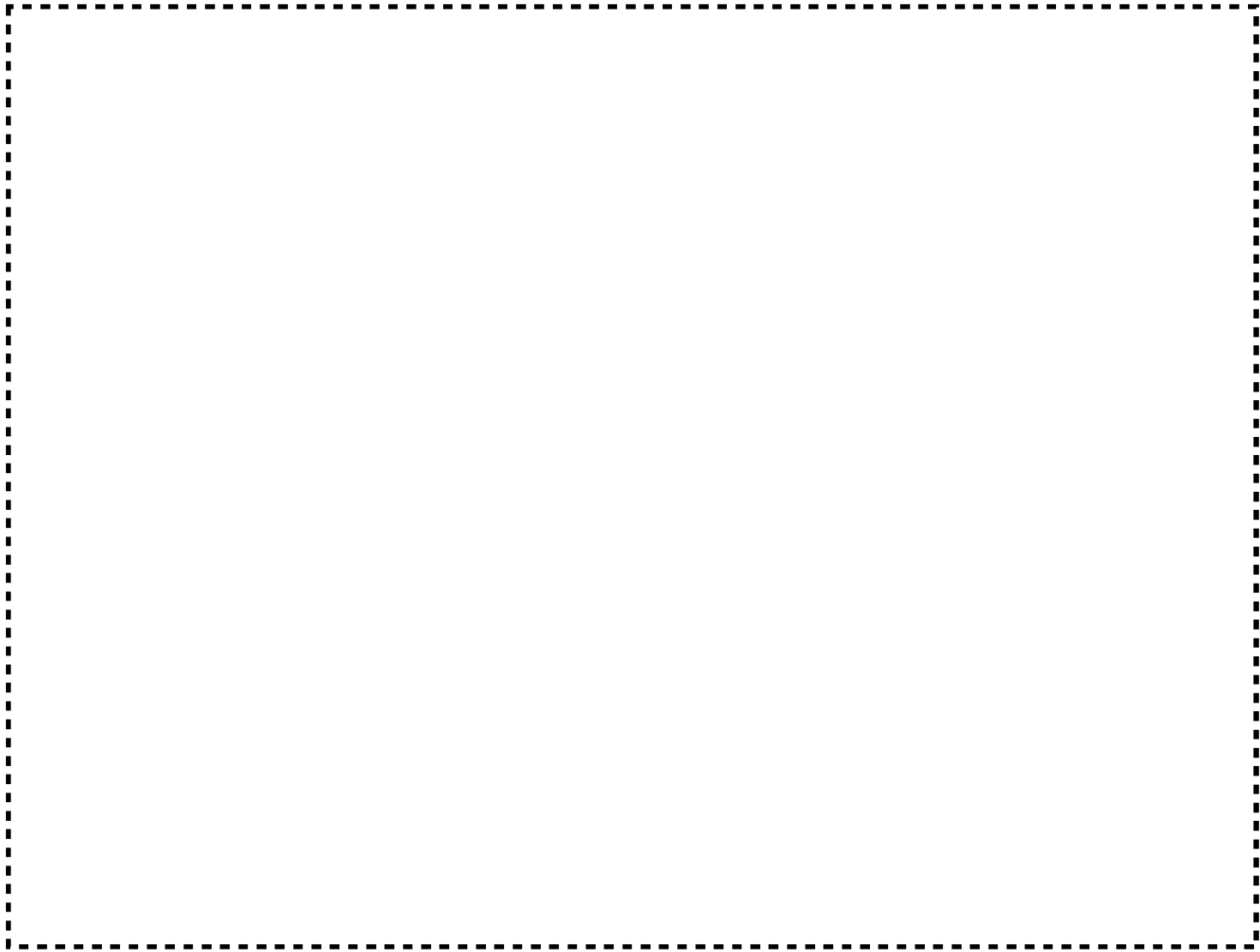




図卜-W3建-3 第3廃棄物貯蔵棟 立面図



図ト-W3建-4 第3廃棄物貯蔵棟 断面図



図卜-W3建-5 第3廃棄物貯蔵棟 管理区域区分図



図ト-W3建-6 第3廃棄物貯蔵棟 安全機能を有する施設の地盤（土質柱状図）

1515



1 階平面図

2 階平面図

(単位 : mm)



既設耐震壁 W00(単位 : cm)

図ト-W3 建-7 (1) 第3 廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止 (1 階・2 階)

1516



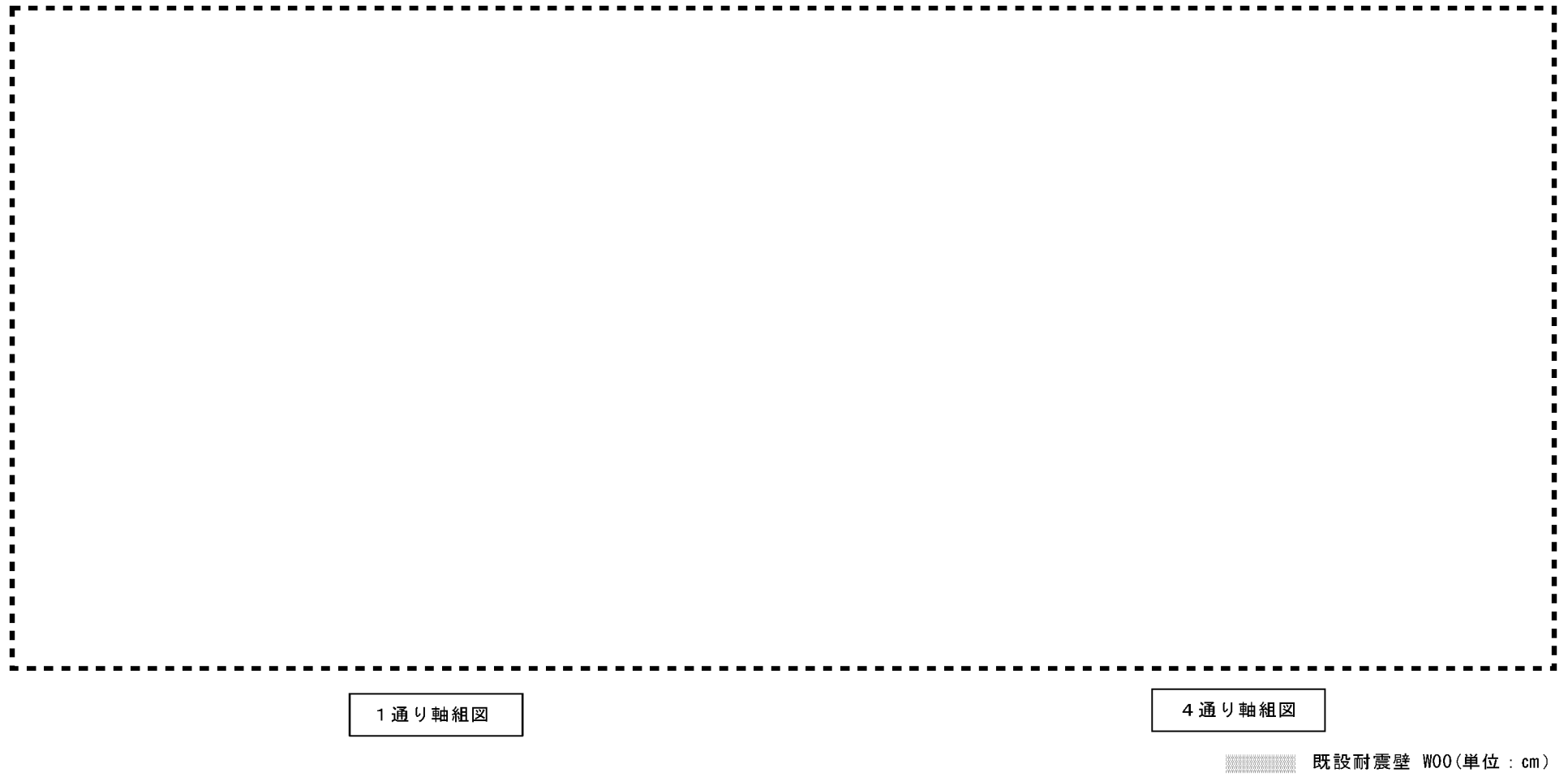
3階平面図

R階平面図

既設耐震壁 W00(単位 : cm)

図ト-W 3建-7 (2) 第3廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止 (3階・R階)

1517



図ト-W3建-7(3) 第3廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止 (1通り、4通り軸組図)

1518



A 通り 軸組図

C 通り 軸組図



既設耐震壁 W00(単位 : cm)

図ト-W 3 建- 7 ( 4 ) 第 3 廃棄物貯蔵棟 地震による損傷の防止 ( A 通り、 C 通り 軸組図 )





1 階平面図

2 階平面図

(単位：mm)

凡例

- 改造建具
- 既設建具

—— F1 竜巻防護境界

■ □ 竜巻・竜巻飛来物からの防護のための補強工事

【風圧】：竜巻の風圧力による損傷の防止

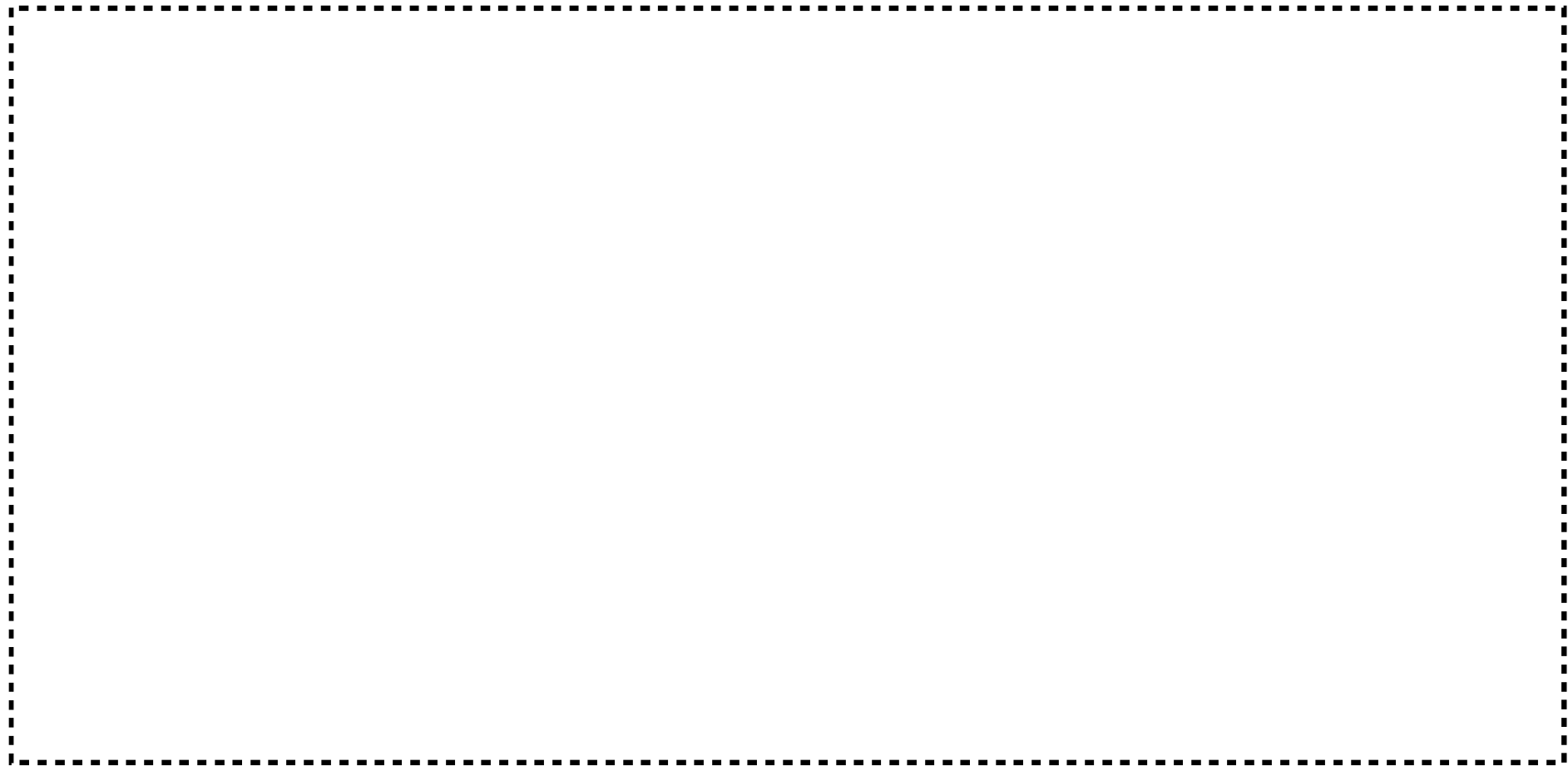
【飛来】：竜巻飛来物による貫通の防止

W3 防護壁はF1竜巻飛来物から鋼製建具91を防護する。

改造建具、既設建具の仕様は図ト-W3建-9～図ト-W3建-11に示す。

図ト-W3建-8(1) 第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃(竜巻)による損傷の防止(1階・2階)

1520



3階平面図

R階平面図

(単位：mm)

凡例

○ 改造建具

○ 既設建具

—— F1 竜巻防護境界

□ 竜巻・竜巻飛来物からの防護のための補強工事  
【風圧】：竜巻の風圧力による損傷の防止

改造建具、既設建具の仕様は図ト-W3建-9～図ト-W3建-11に示す。

図ト-W3建-8(2) 第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃(竜巻)による損傷の防止(3階・R階)



凡例

- 改造建具
- 既設建具

- 竜巻・竜巻飛来物からの防護のための補強工事
- 【風圧】：竜巻の風圧力による損傷の防止

改造建具、既設建具の仕様は図ト-W3建-9～図ト-W3建-11に示す。  
外壁面のF1竜巻防護境界は図ト-W3建-8(1)、(2)平面図を参照のこと。

図ト-W3建-8(3) 第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃(竜巻)による損傷の防止(南西立面)




北立面図

東立面図

(単位: mm)

凡例

-  改造建具
-  既設建具

-  竜巻・竜巻飛来物からの防護のための補強工事
- 【風圧】：竜巻の風圧力による損傷の防止
- 【飛来】：竜巻飛来物による貫通の防止
- W3防護壁はF1竜巻飛来物から鋼製建具91を防護する。

改造建具、既設建具の様子は図ト-W3建-9～図ト-W3建-11に示す。  
 外壁面のF1竜巻防護境界は図ト-W3建-8(1)、(2)平面図を参照のこと。

図ト-W3建-8(4) 第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃(竜巻)による損傷の防止(北東立面)



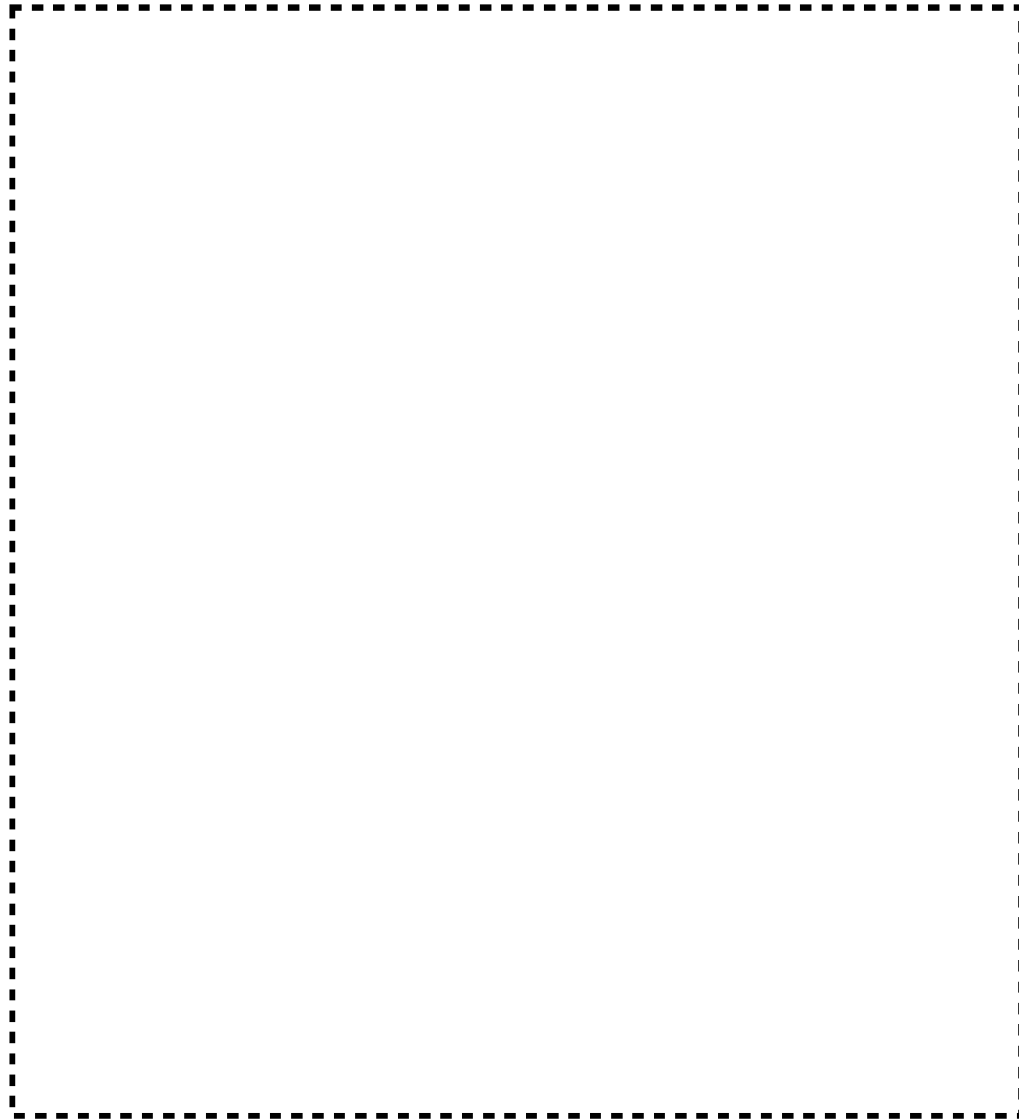
図ト-W3建-8(5) 第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃(竜巻)による損傷の防止 飛来物影響範囲



図卜-W3建-9 第3廃棄物貯蔵棟 建具表



図卜-W3建-10 第3廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具 姿図



図卜-W3建-11(1) 第3廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具(扉91)詳細図 部材表





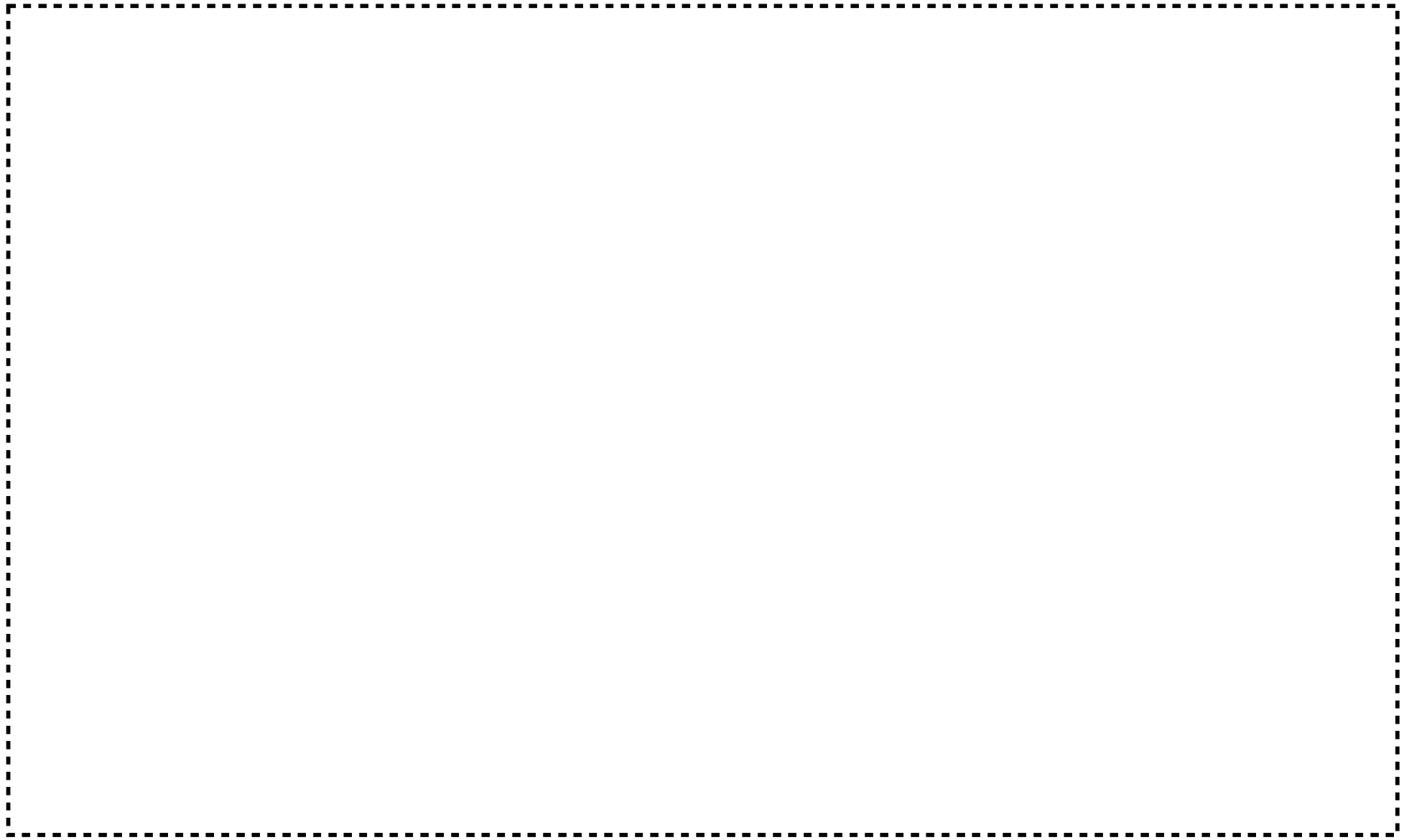
図卜-W 3 建- 1 1 (2) 第3 廃棄物貯蔵棟 改造鋼製建具 (扉 92、93) 詳細図 部材表

1528

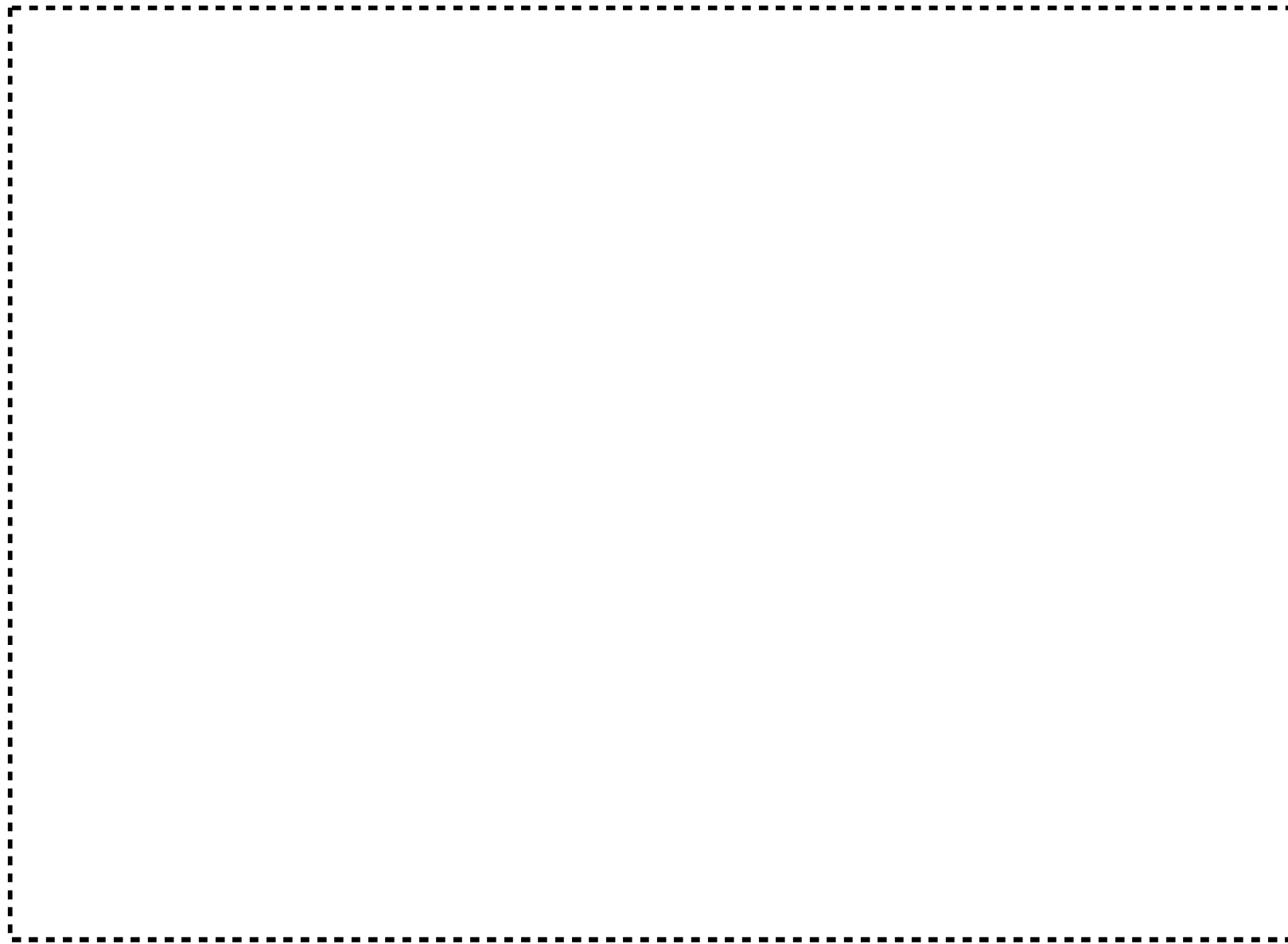


図卜-W3建-12(1) 第3廃棄物貯蔵棟 W3防護壁 土質柱状図

1529



図卜-W3建-12(2) 第3廃棄物貯蔵棟 W3防護壁 詳細図



図卜-W3建-12(3) 第3廃棄物貯蔵棟 W3防護壁 配筋図



3階平面図

R階平面図

⇨ 屋上・屋根へのアクセスルート  
既設鋼製梯子により、屋上・屋根へのアクセスが可能。

図ト-W3建-13(1) 第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃（降下火砕物・積雪）による損傷の防止（3階・R階）



図ト-W3建-13(2) 第3廃棄物貯蔵棟 外部からの衝撃(降下火砕物・積雪)による損傷の防止(北西立面)



1階平面図

2階平面図

(単位：mm)

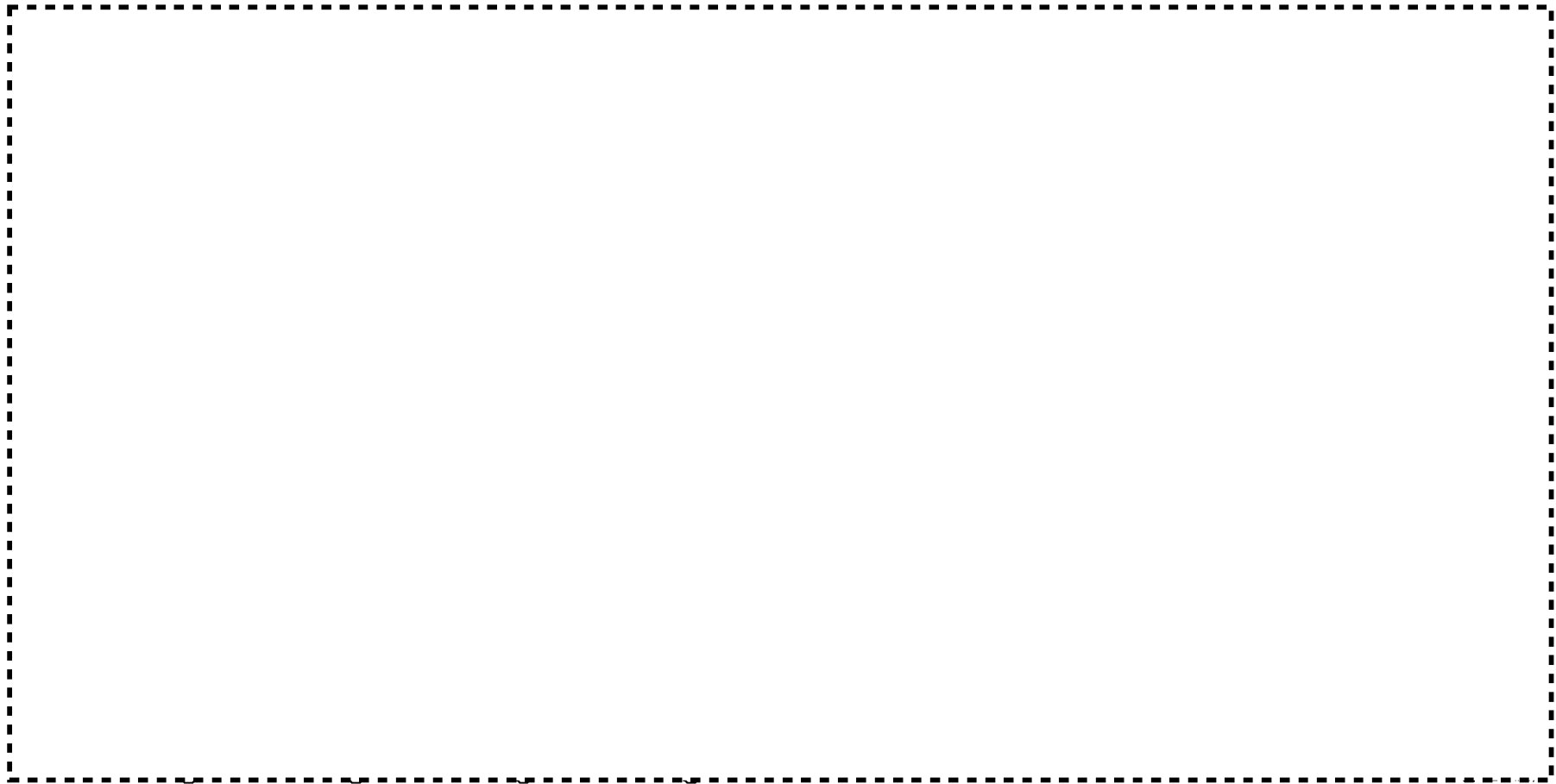
凡例

- 改造建具
- 既設建具

- 火災区域境界
- 火災区画境界
- 竜巻対策共通の改造箇所

改造建具、既設建具の仕様は図ト-W3建-9～図ト-W3建-11に示す。

図ト-W3建-14 (1) 第3廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止 (1階・2階)



3階平面図

R階平面図

凡例

○ 改造建具

○ 既設建具

—— 火災区域境界

----- 火災区画境界

—— 竜巻対策共通の改造箇所

改造建具、既設建具の仕様は図ト-W3建-9～図ト-W3建-11に示す。

図ト-W3建-14(2) 第3廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止(3階・R階)



1535



南立面図

西立面図

凡例



改造建具



竜巻対策共通の改造箇所



既設建具

改造建具、既設建具の様子は図ト-W3建-9～図ト-W3建-11に示す。

図ト-W3建-14(3) 第3廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止(南西立面)

1536



北立面図

東立面図

凡例



改造建具

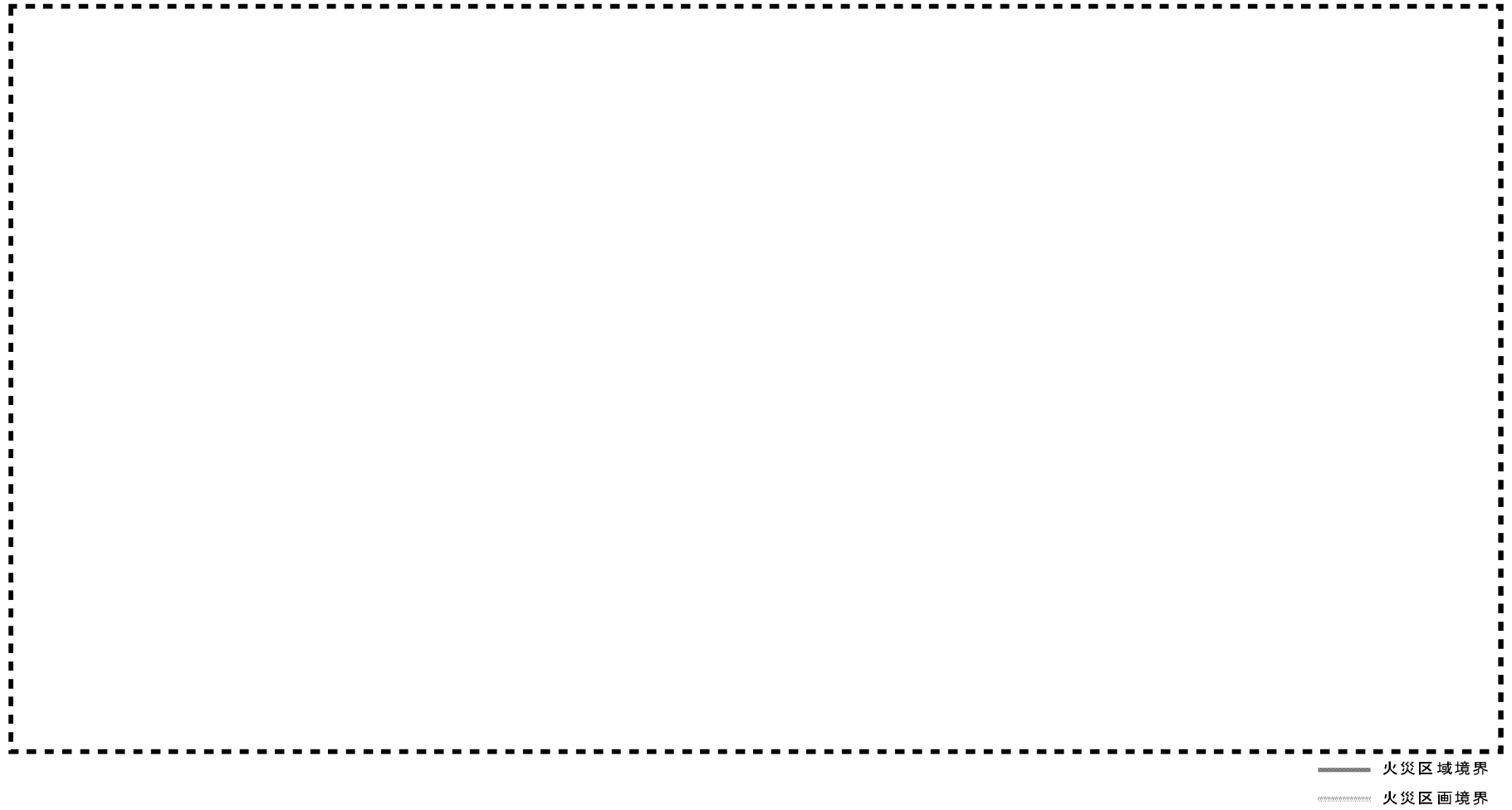


既設建具

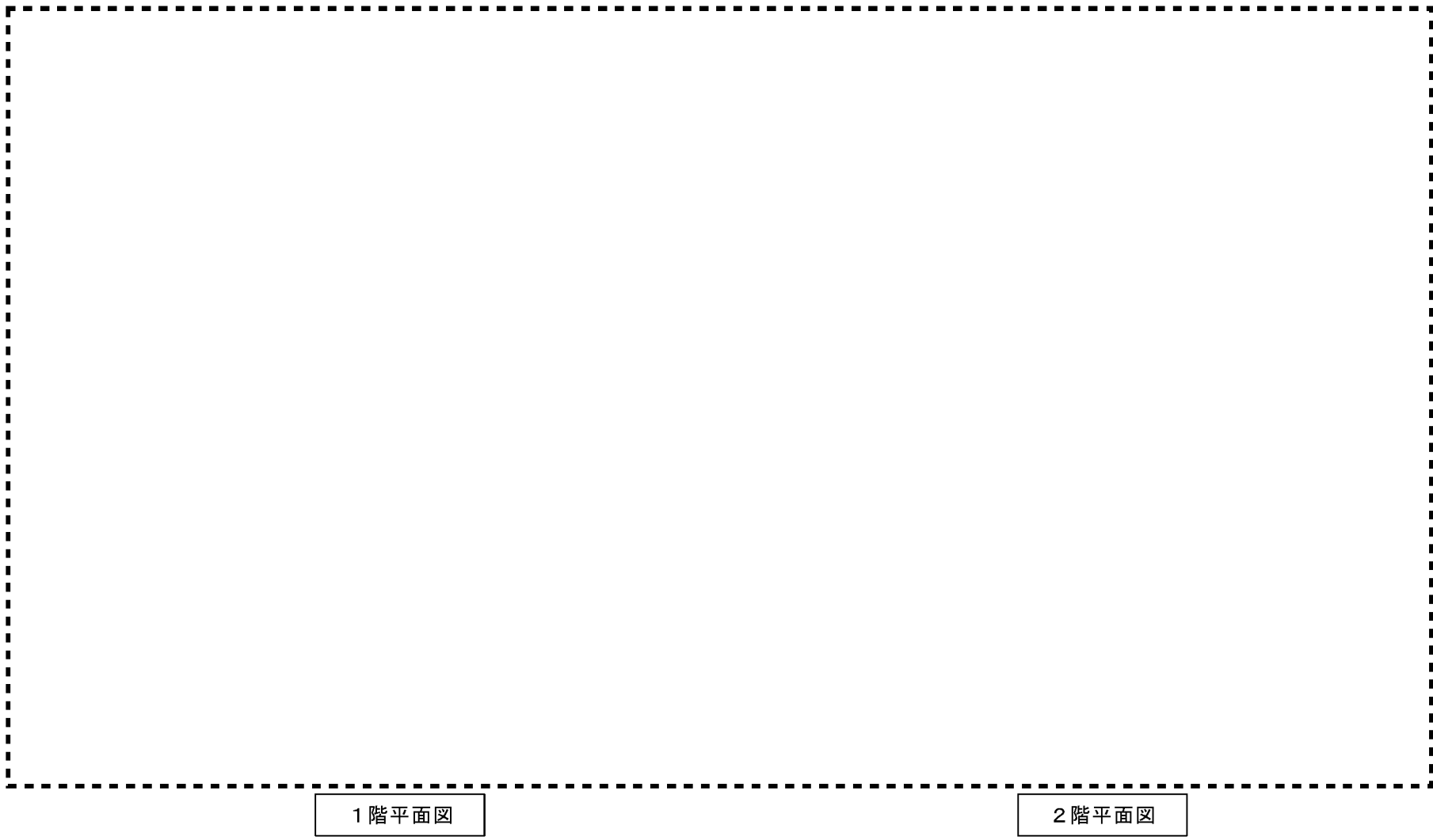
竜巻対策共通の改造箇所

改造建具、既設建具の仕様は図ト-W3建-9～図ト-W3建-11に示す。

図ト-W3建-14(4) 第3廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止(北東立面)



図ト-W3建-14(5) 第3廃棄物貯蔵棟 火災による損傷の防止(断面)

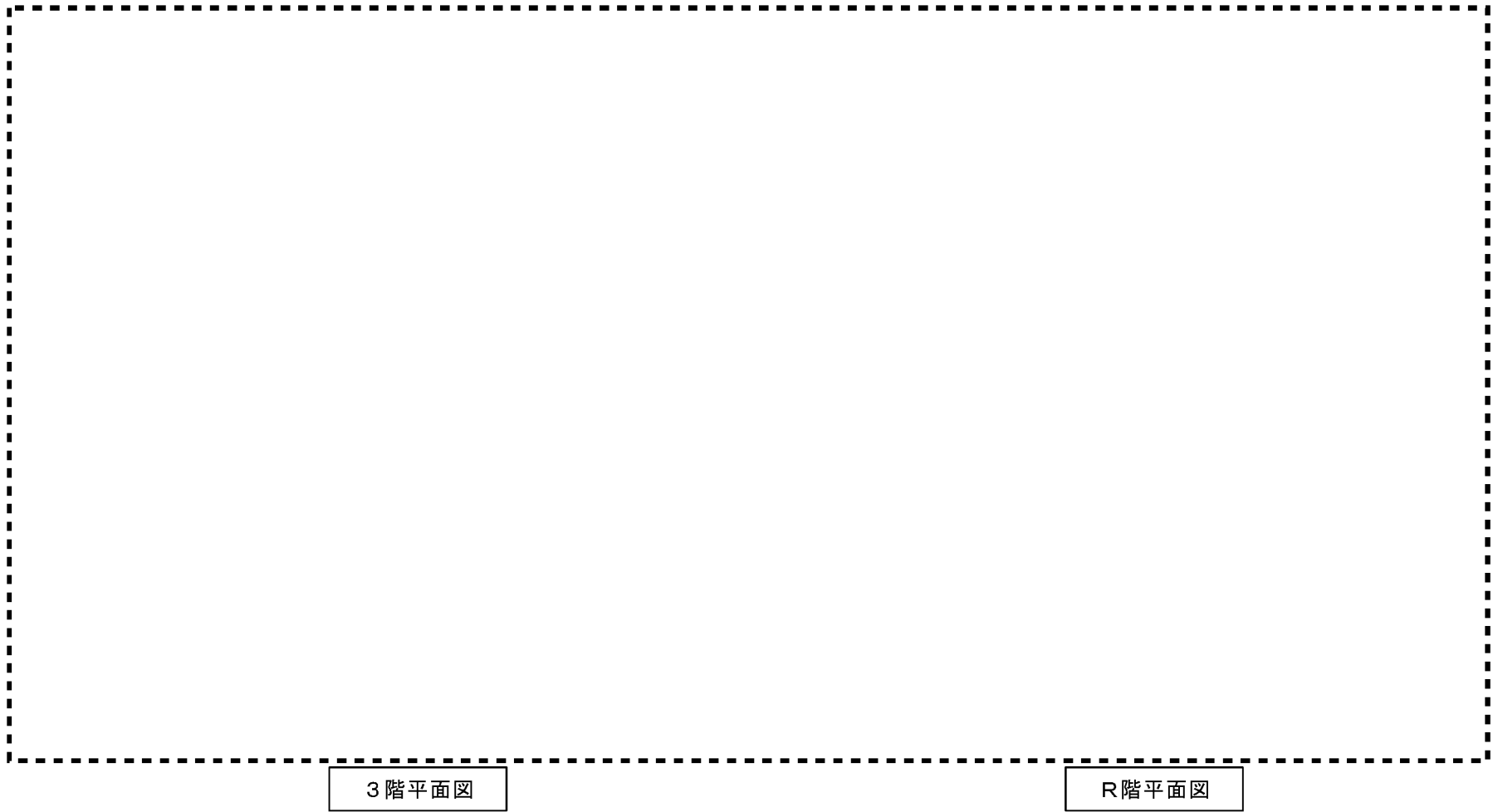


1階平面図

2階平面図

- 竜巻対策共通の改造箇所
- ===== 侵入防止境界
- ※外周部の扉は、改造前、改造後ともに、鋼製建具である。
- ※外壁は鉄筋コンクリート造である。

図ト-W3建-15(1) 第3廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止(1階・2階)



———— 竜巻対策共通の改造箇所  
■■■■■■ 侵入防止境界  
※外周部の扉は、改造前、改造後ともに、鋼製建具である。  
※外壁は鉄筋コンクリート造である。

図ト-W3建-15(2) 第3廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止(3階・R階)

1540



南立面図

西立面図

—— 竜巻対策共通の改造箇所

※外周部の扉は、改造前、改造後ともに、鋼製建具である。

※外壁は鉄筋コンクリート造である。

外壁面の侵入防止境界は図ト-W3建-15(1)、(2)平面図を参照のこと。

図ト-W3建-15(3) 第3廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止(南西立面)



北立面図

東立面図

—— 竜巻対策共通の改造箇所  
※外周部の扉は、改造前、改造後ともに、鋼製建具である。  
※外壁は鉄筋コンクリート造である。

外壁面の侵入防止境界は図ト-W3建-15(1)、(2)平面図を参照のこと。

図ト-W3建-15(4) 第3廃棄物貯蔵棟 人の不法な侵入の防止(北東立面)

1542



1階平面図

2階平面図

(単位 : mm)

凡例

—— 外壁

○ 外部改造建具

図卜-W3建-16(1) 第3廃棄物貯蔵棟 部位位置図 1階・2階壁



1543



3階平面図

R階平面図

凡例

—— 外壁

○ 外部改造建具

図卜-W3建-16(2) 第3廃棄物貯蔵棟 部位位置図 3階・R階壁



1階平面図

2階平面図

(単位：mm)



※土間コンクリート

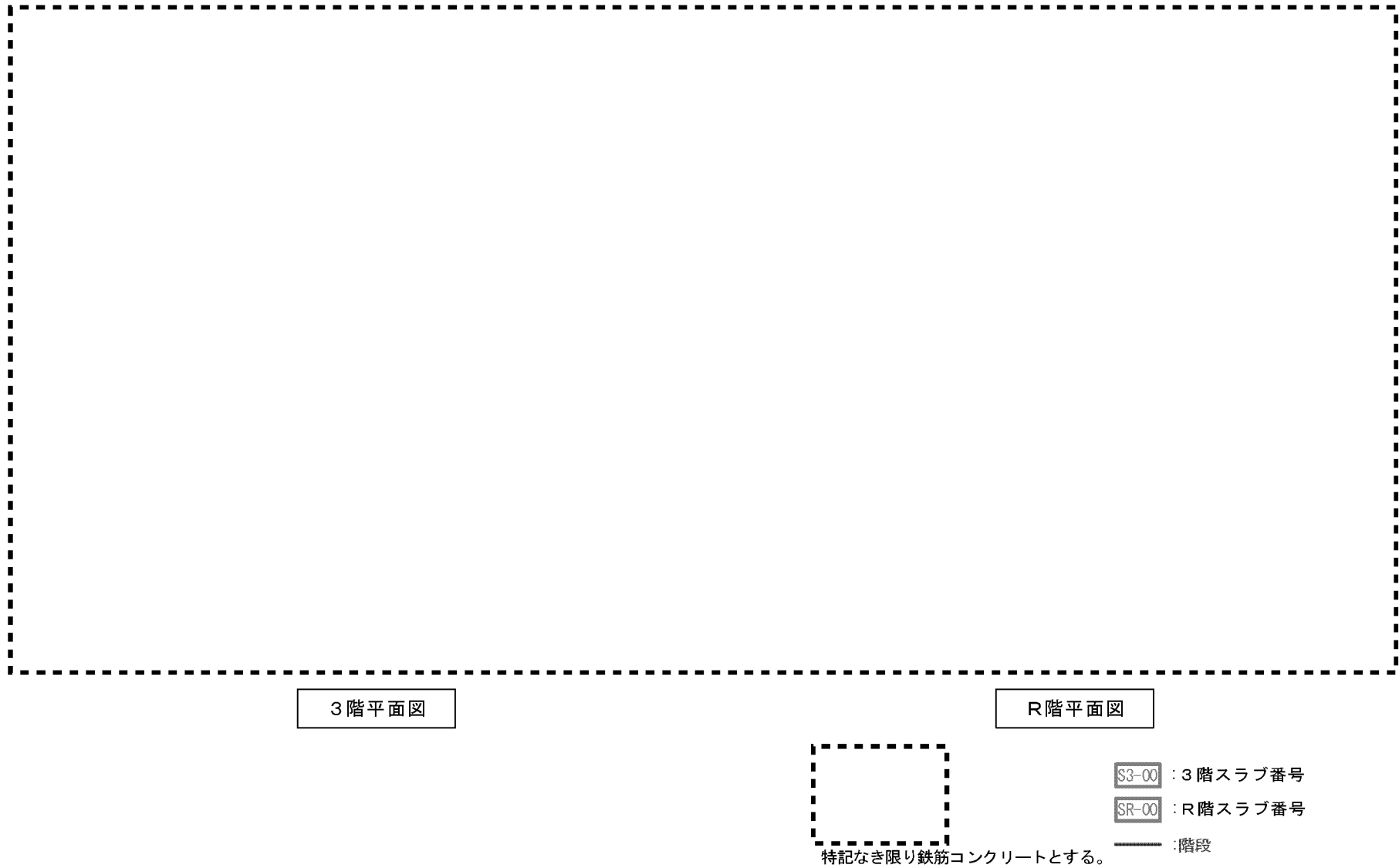
S1-00 : 1階スラブ番号

S2-00 : 2階スラブ番号

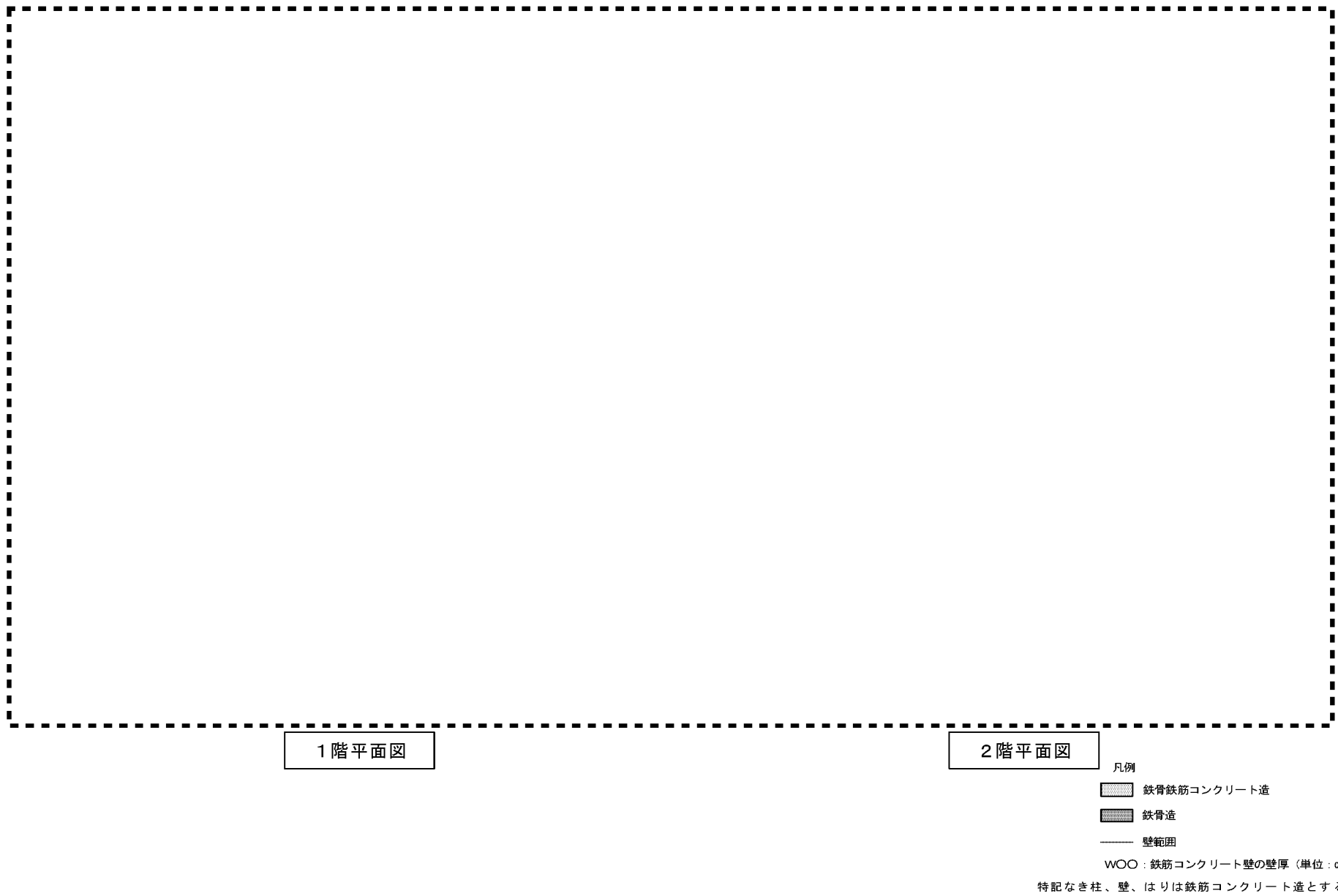
階段

特記なき限り鉄筋コンクリートとする。

図ト-W3建-16(3) 第3廃棄物貯蔵棟 部位位置図 1階・2階スラブ



図ト-W3建-16(4) 第3廃棄物貯蔵棟 部位位置図 3階・R階スラブ



図ト-W3建-17(1) 第3廃棄物貯蔵棟の安全機能を有する部位の位置、構造(材料、厚さ)図(1階・2階)



3階平面図

R階平面図

凡例

鉄骨鉄筋コンクリート造

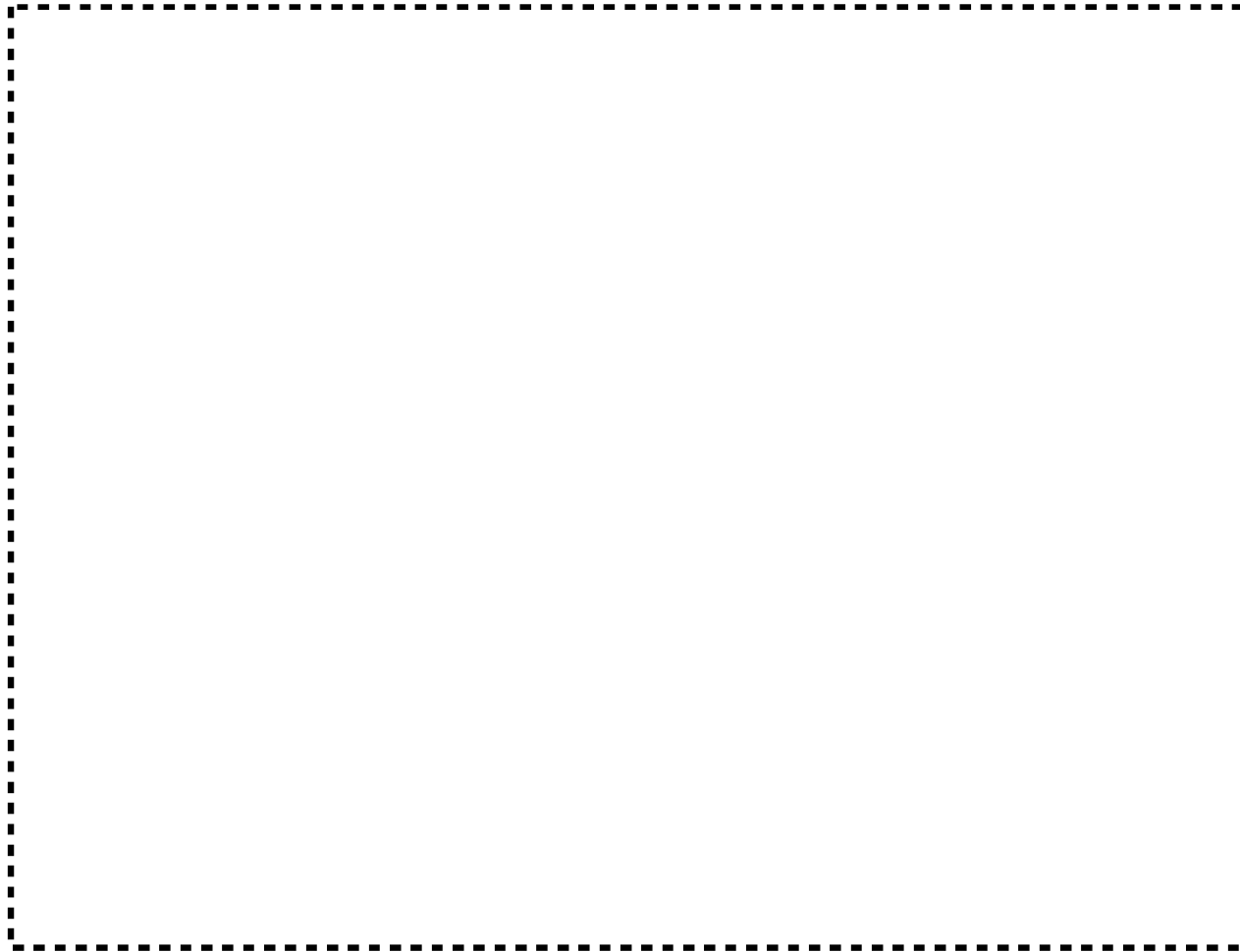
鉄骨造

壁範囲

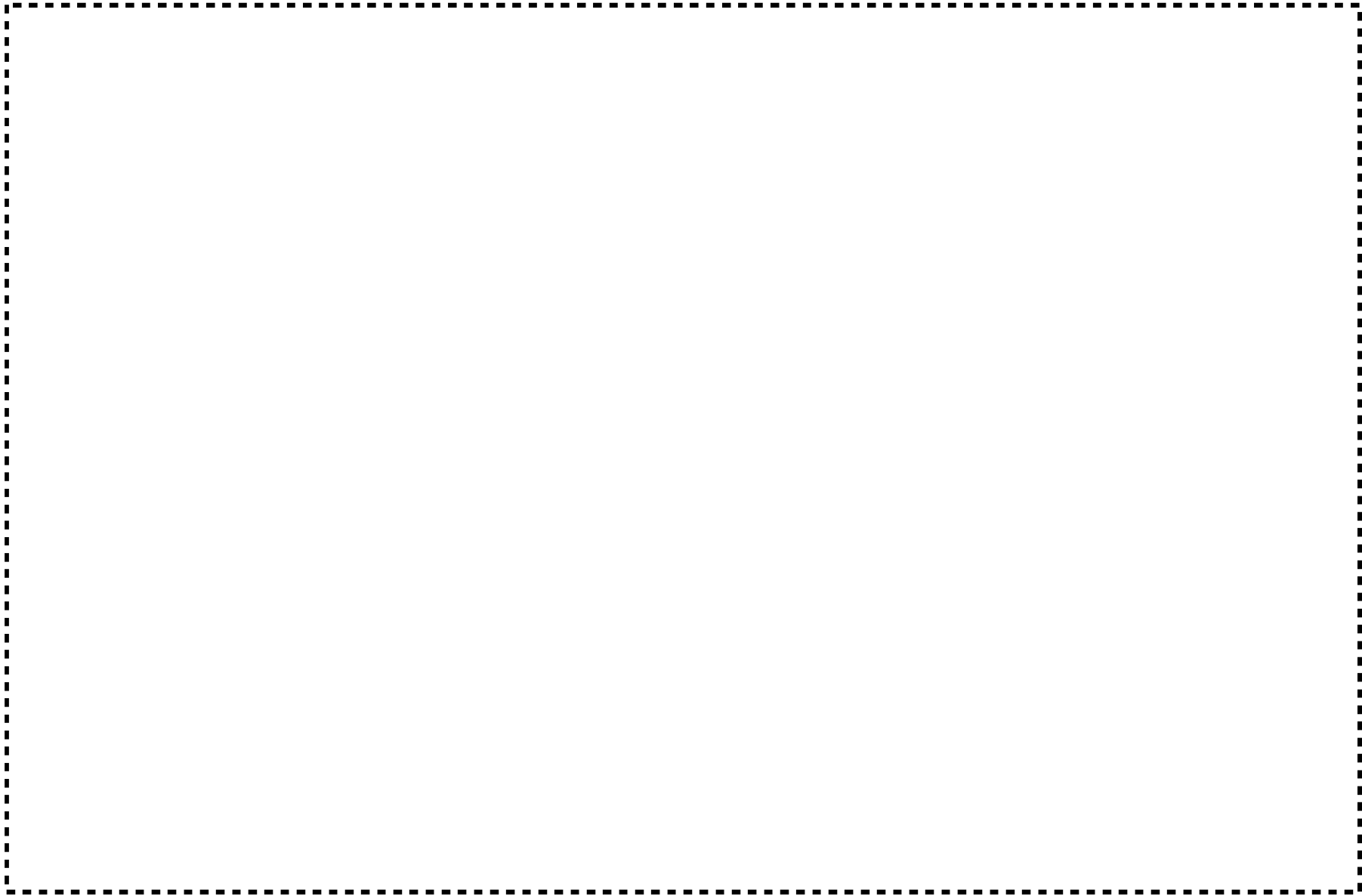
W00：鉄筋コンクリート壁の壁厚（単位：cm）

特記なき柱、壁、はり鉄筋コンクリート造とする。

図ト-W3建-17(2) 第3廃棄物貯蔵棟の安全機能を有する部位の位置、構造（材料、厚さ）図（3階・R階）

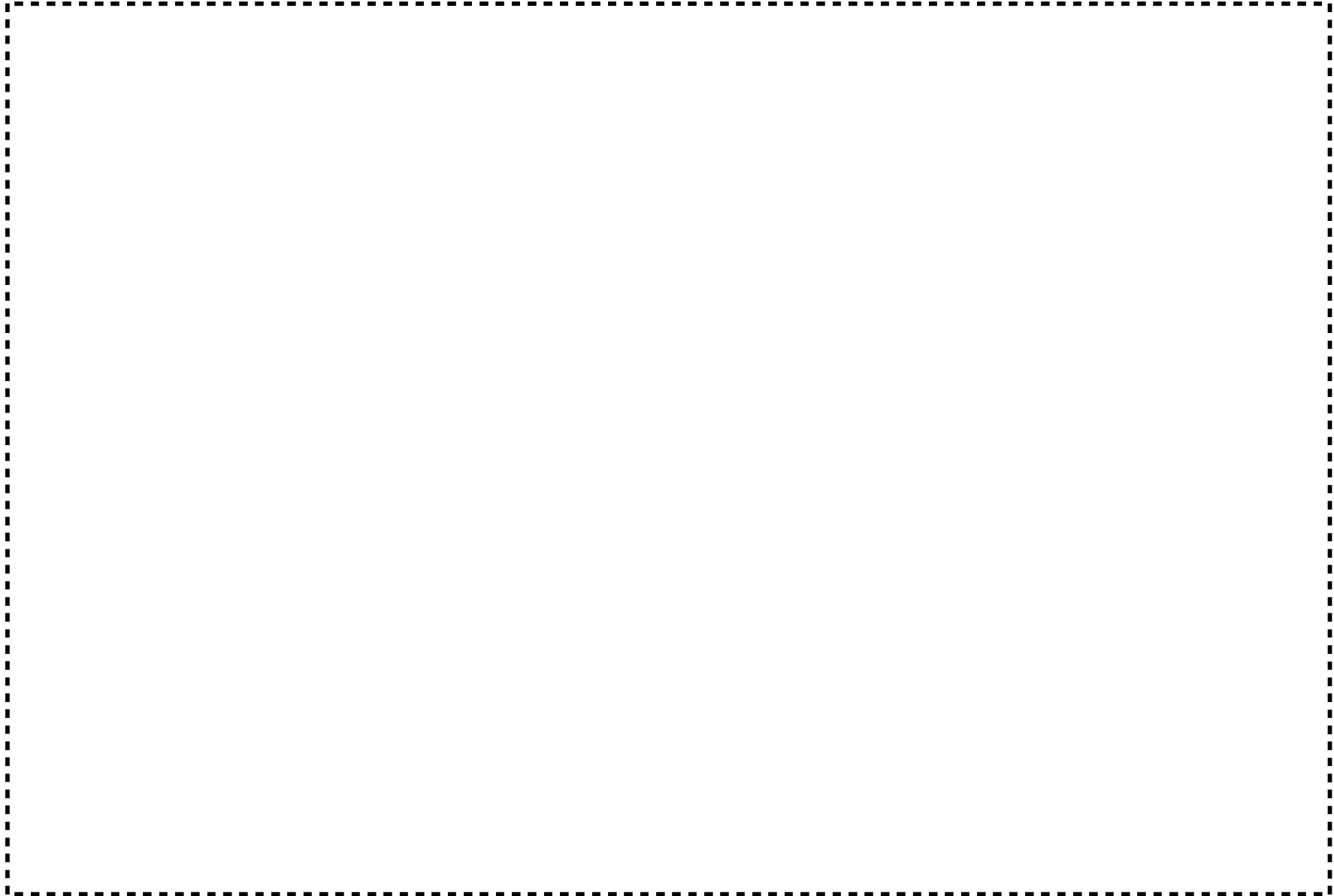


图卜-W3建-18(1) 第3废弃物贮藏棟 杭伏図兼構造区分図



図ト-W3建-18(2) 第3廃棄物貯蔵棟 1階・2階はり伏図兼構造区分図

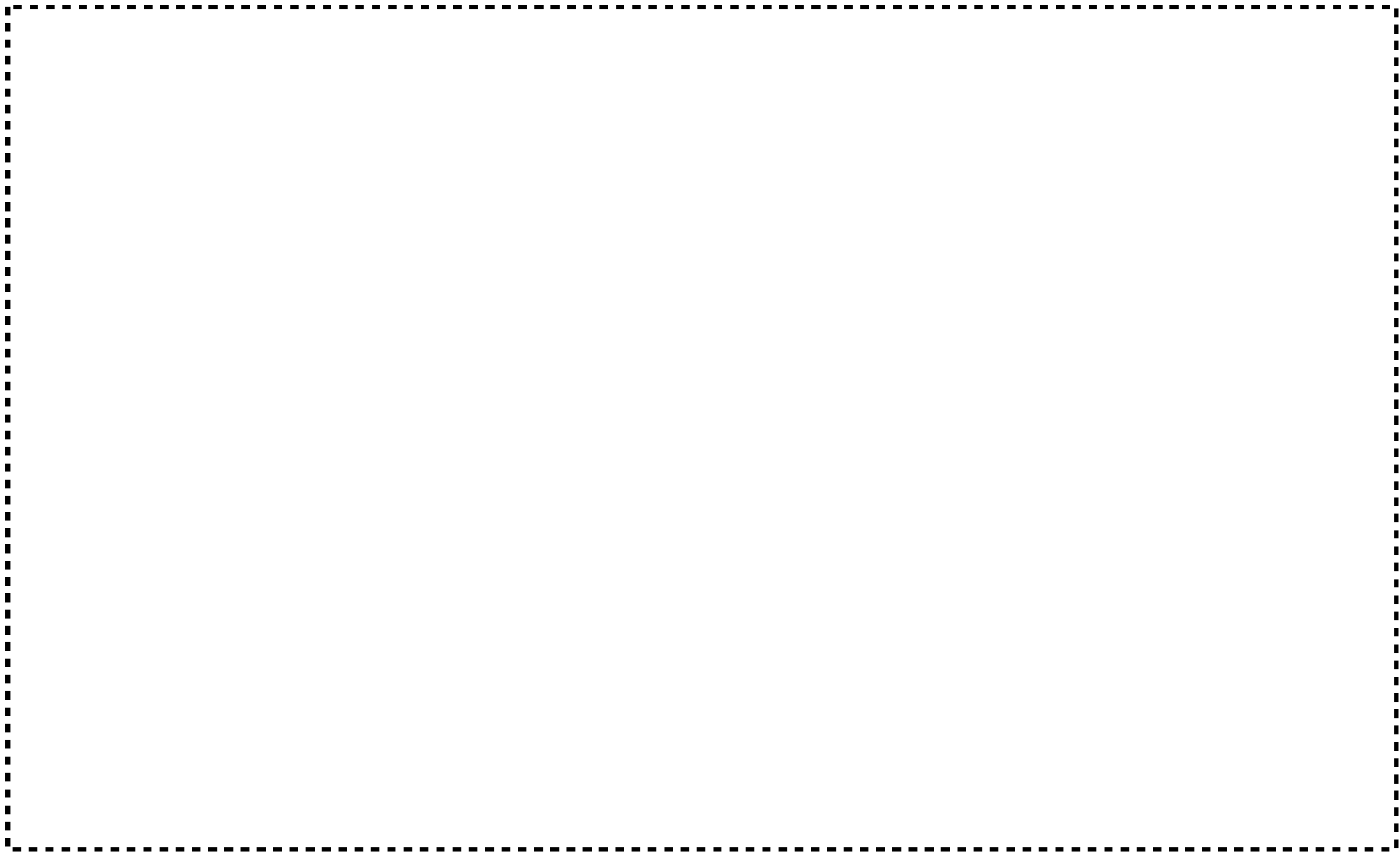
1550



図ト-W3建-18(3) 第3廃棄物貯蔵棟 3階・R階はり伏図兼構造区分図

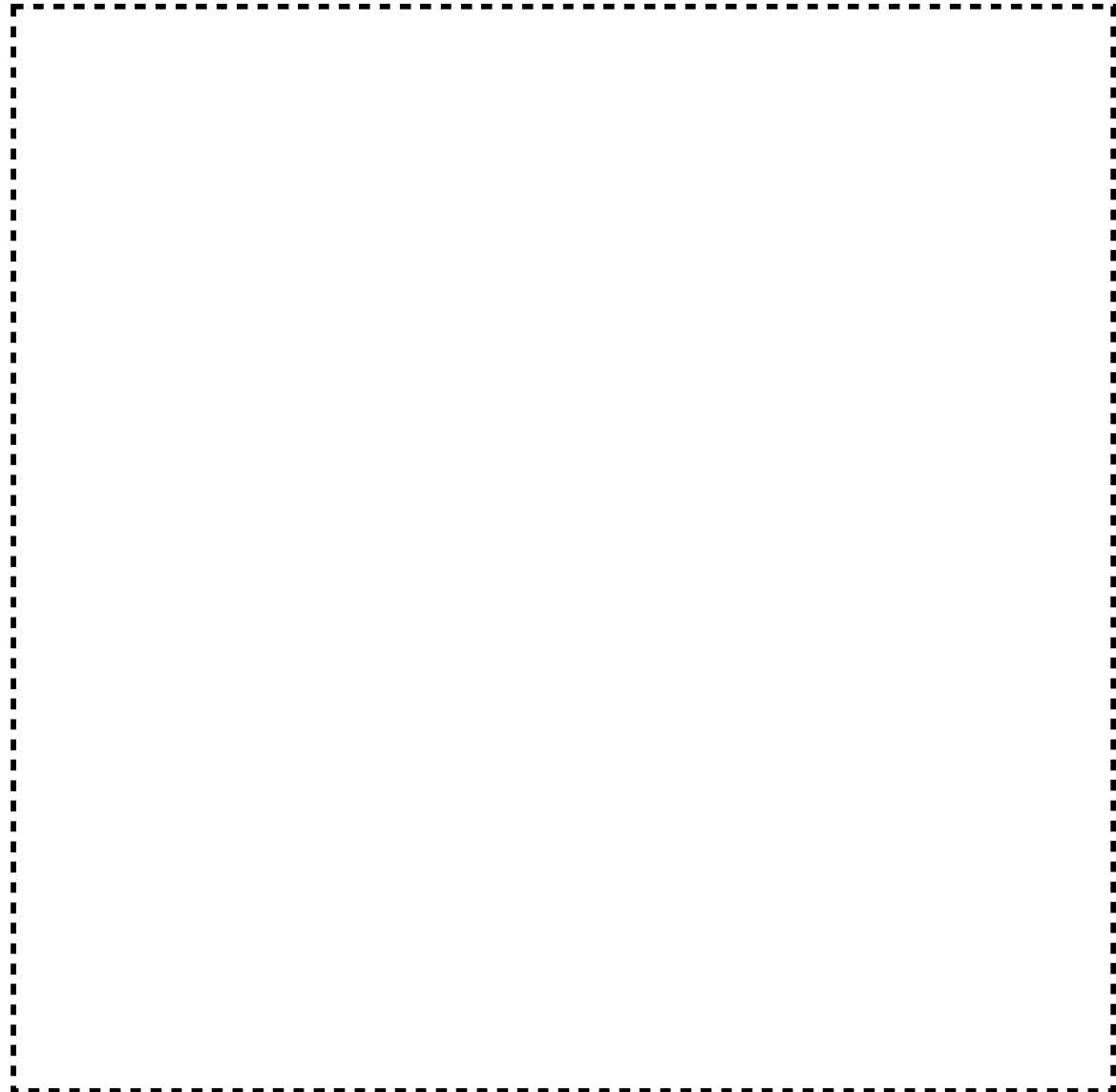


1551



図ト-W3建-19(1) 第3廃棄物貯蔵棟 軸組図A通り、B通り

図ト-W3建-19(2) 第3廃棄物貯蔵棟 軸組図C通り



1553



図ト-W3建-19(3) 第3廃棄物貯蔵棟 軸組図1通り、2・3通り



図ト-W3建-19(4) 第3廃棄物貯蔵棟 軸組図4通り

1555

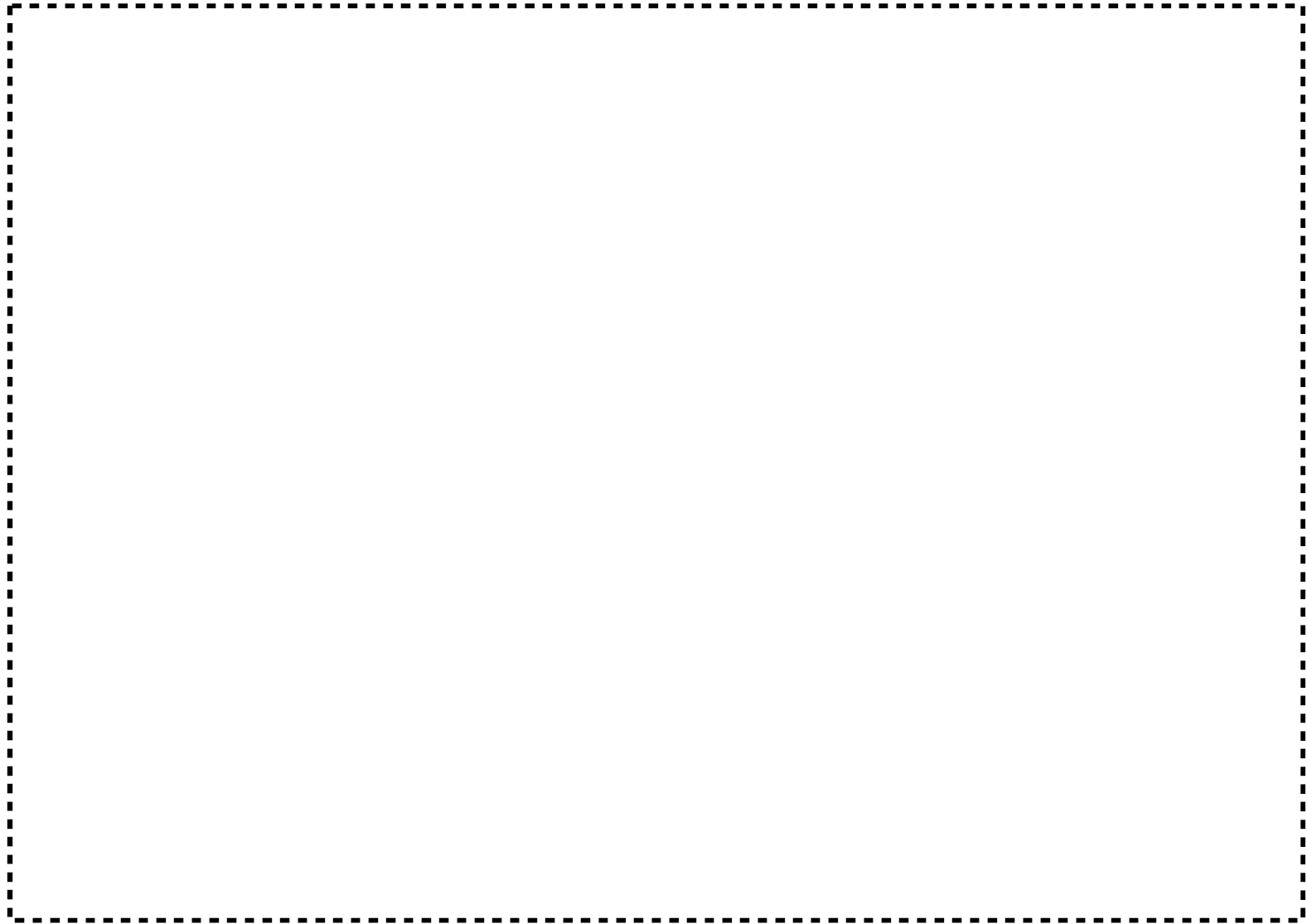


図ト-W3建-20(1) 第3廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 基礎断面1

1556



図ト-W3建-20(2) 第3廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 基礎断面2



図ト-W3建-20(3) 第3廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 柱・柱配置図



図ト-W3建-20(4) 第3廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト 大ばり・小ばり

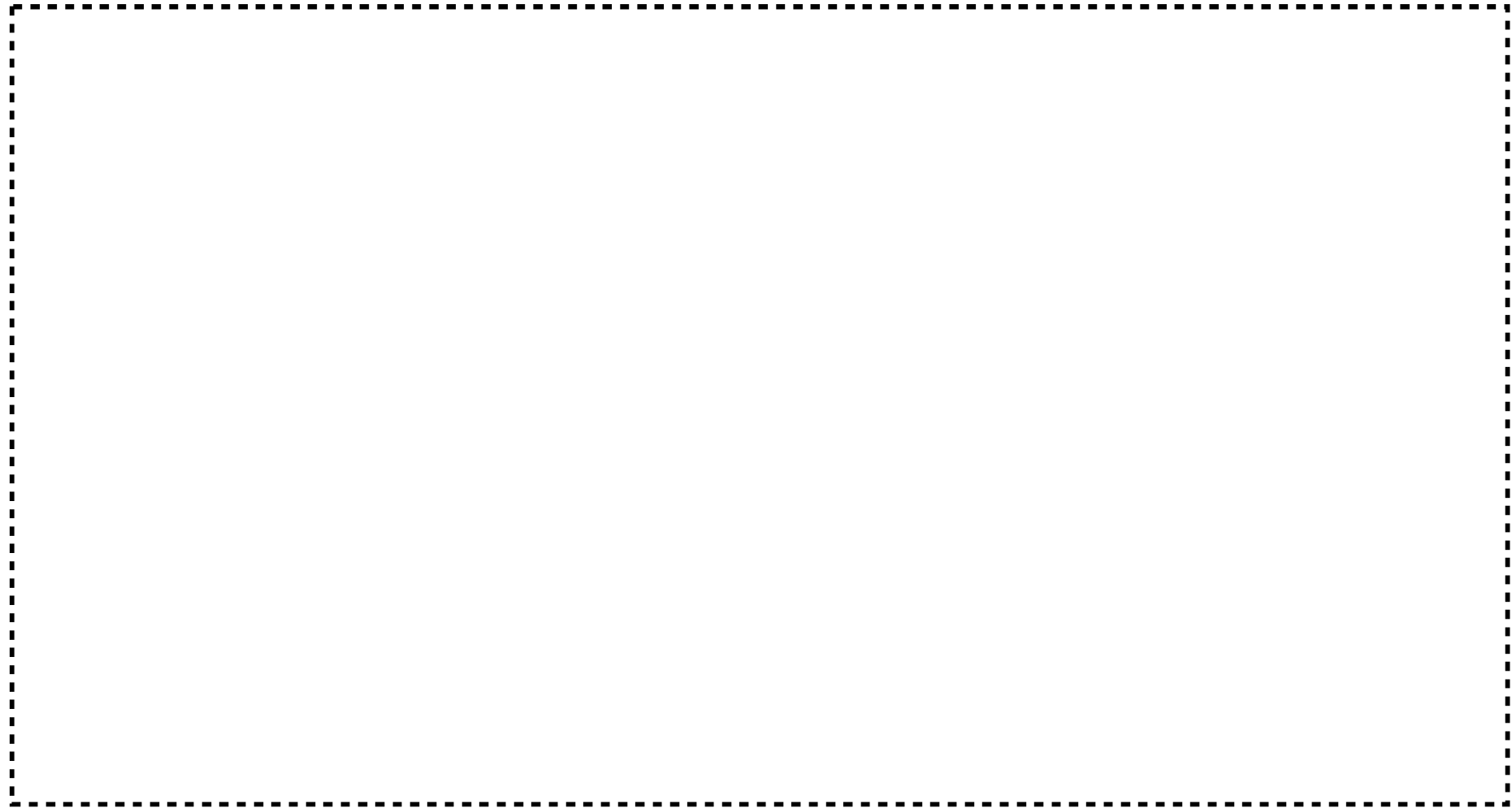


1559



図ト-W3建-20(5) 第3廃棄物貯蔵棟 既設部材リスト スラブ・壁

1560



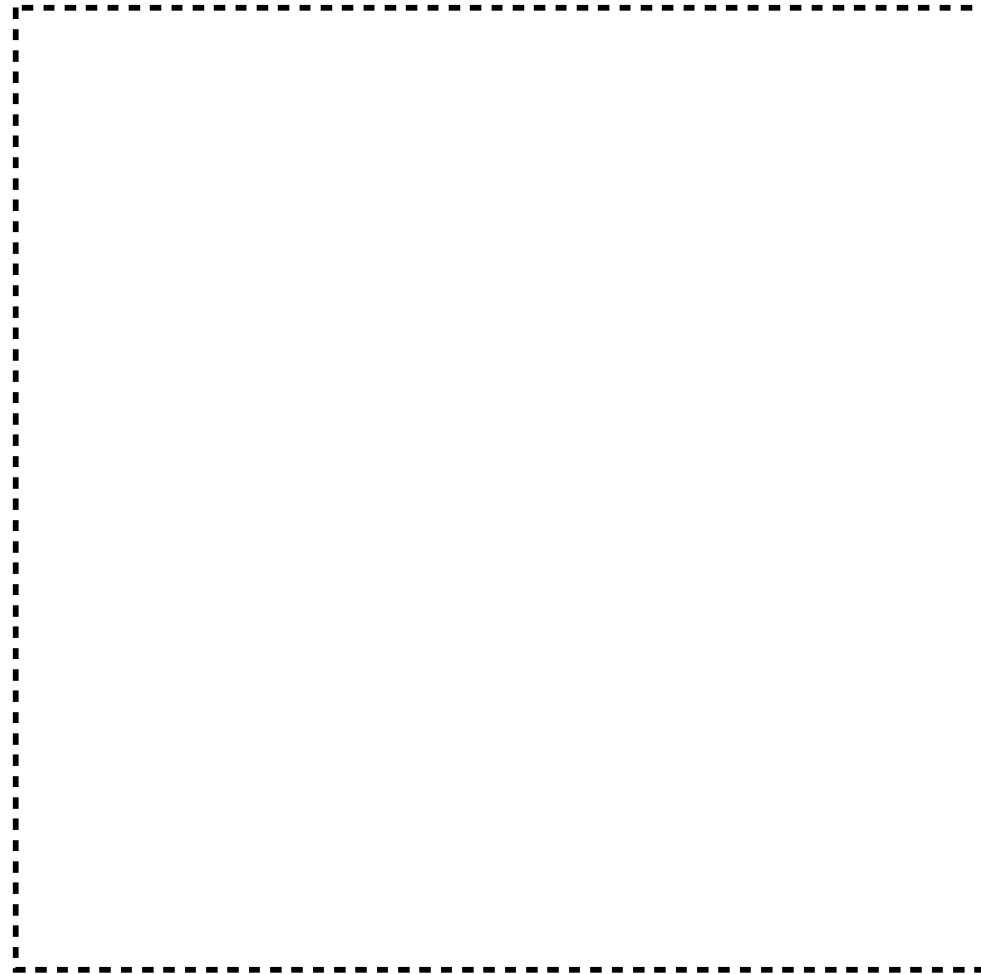
(単位：mm)

1階平面図

2階平面図

■ : 遮蔽能力を有する壁  
W00: 遮蔽能力を有する壁の厚さ (cm)

図ト-W3建-21(1) 第3廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井 (平面図 1階、2階)



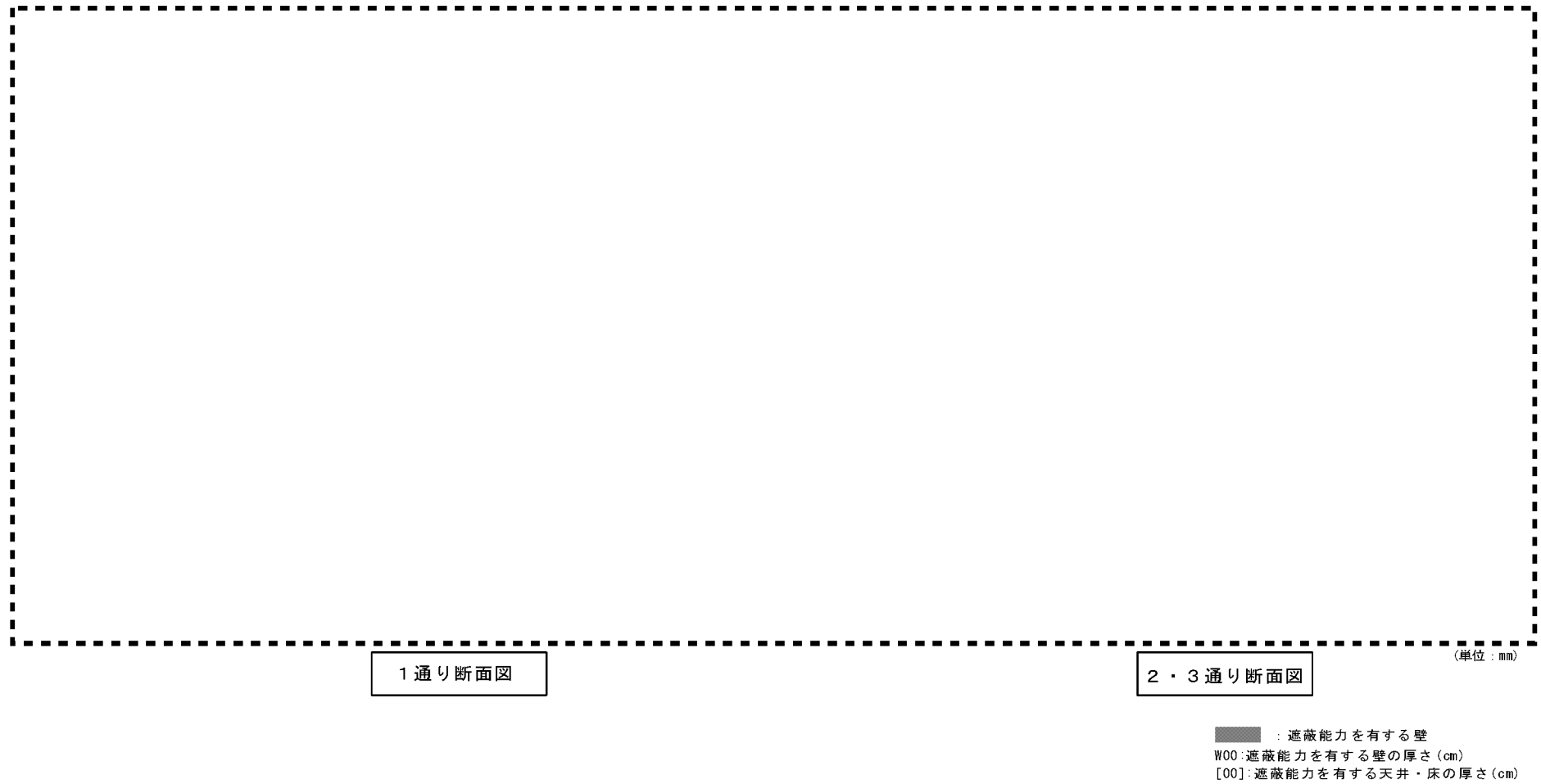
3階平面図

(単位: mm)

■ : 遮蔽能力を有する壁  
W00: 遮蔽能力を有する壁の厚さ (cm)

図ト-W3建-21(2) 第3廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井 (平面図 3階)

1562



図ト-W3建-21(3) 第3廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井 (断面図 1通り、2・3通り)



4 通り断面図

■ : 遮蔽能力を有する壁  
W00 : 遮蔽能力を有する壁の厚さ (cm)  
[00] : 遮蔽能力を有する天井・床の厚さ (cm)

図ト-W3建-21(4) 第3廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井 (断面図 4通り)

1564



図ト-W3建-21(5) 第3廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井 (断面図 A通り、B通り)



C通り断面図

■ : 遮蔽能力を有する壁  
W00 : 遮蔽能力を有する壁の厚さ (cm)  
[00] : 遮蔽能力を有する天井・床の厚さ (cm)

図ト-W3建-21(6) 第3廃棄物貯蔵棟 遮蔽能力を有する壁、床及び天井 (断面図 C通り)



図ト-W3設-1 本申請で適合性を確認する第3廃棄物貯蔵棟の設備及び機器の配置詳細図（1階及び2階及び3階）





図卜-W 3 設- 2 保管廃棄設備  廃棄物保管区域



図ト-W3設-3 ホイストクレーン配置図

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図ト-W3設-3-1 ホイストクレーン 1トンチェンブロック

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)

## 5. 工事の方法

本申請における施設の工事は、加工施設の技術基準に関する規則に適合するように工事を実施し、加工事業変更許可申請書における「加工施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の整備に関する事項」を踏まえた品質管理を行う。工事の実施に当たっては保安規定に基づき（工事）作業計画を策定する。

工事内容を以下に示す。

### a. 第1廃棄物貯蔵棟

- ①外部扉の改造
- ②W1防護壁の新設
- ③火災区画等の改造
- ④グレーチング及び扉の改造

### b. 第3廃棄物貯蔵棟

- ①外部扉の改造
- ②W3防護壁の新設

### c. 改造等を実施する設備・機器

表トー1の変更内容において、新設、増設、追加、更新、改造、移設のいずれかを記載した設備・機器名称 機器名を対象とする。

### d. 変更しない設備・機器

表トー1の変更内容において、変更なしを記載した設備・機器名称 機器名を対象とする。

### e. 緊急遮断弁の基礎

## (1) 工事上の注意事項

### a. 一般事項

- ・工事の保安については、保安規定に従うとともに、労働安全衛生法に基づき作業者に係る労働災害の防止に努める。
- ・工事において使用する工具・機器は使用前に点検を行い、検査に使用する計測器については、校正済みであり、かつ有効期限内のものを使用する。
- ・作業場所は、可能な範囲で区画し、標識・表示等により周知を図り関係者以外の立入りを制限する。また、常に整理整頓に努める。
- ・工事の実施に当たっては、工事手順、装備、放射線管理、連絡体制等を示した（工事）作業計画に従い実施する。
- ・工事の安全対策として、溶接・溶断作業では、防塵マスクの装着、集塵機等の使用により有害物質の吸入を防止する。高所作業では、墜落制止用器具の装着、足場の設置等により作業員、使用工具の落下を防止する。

- ・工事の実施に当たり、資機材や工機の搬入等のための周辺監視区域への人の立入りについては、保安規定に基づき必要な措置を講じることにより、加工施設への人の不法な侵入等を防止する。
- ・工事の完了から加工施設全体としての性能検査を完了するまでの間は、巡視、点検、定期事業者検査並びに保全計画の策定及び保全計画に基づく保全の実施により、安全機能を維持する。
- ・工事に伴う騒音等に配慮し、必要に応じて防音シート等を設置し、周辺環境への影響を低減する。

#### b. 放射線管理

- ・管理区域内で実施する作業においては、作業者は、入退出時にあらかじめ定める管理区域出入口を経由するとともに、個人線量計や必要な安全保護具を着用する。
- ・第1種管理区域内における作業においては、作業環境中の放射性物質の濃度の監視結果に基づき、必要な被ばく低減及び身体汚染の防止に係る保護具を作業者に着用させる。
- ・核燃料物質等への近接作業は、時間管理及び離隔距離確保を行うとともに必要に応じて遮蔽材設置により被ばくを低減する。

#### c. 防火管理

- ・工事に当たって、火気作業（溶接、溶断、火花を発生する工具等の使用）を行う場合は、火災防護計画に基づき、作業場所周辺の可燃物の隔離又は不燃性材料による養生等の処置を講じるとともに作業場所に消火器を常備する等の防火対策を実施する。また、必要に応じて、工事で発生する粉塵、ヒュームを処理するための機材を仮設する。
- ・作業エリア外への延焼防止の観点から、作業エリア周辺に可燃物及び危険物が無いことを確認する。また、周辺の設備を不燃材シート等により養生する。
- ・火気作業を行う場合には、社内の管理要領に従い、計画書・点検記録等の確認を適宜実施する。

#### d. 異常発生時の対策

- ・現場で異常が発生した場合には、異常時の対応要領に従い、あらかじめ定めた連絡先に通報・連絡するとともに、作業を一時中断する等の必要な措置を講じる。
- ・あらかじめ工事中の安全避難通路を確保する。

### (2) 工事手順

放射性廃棄物の廃棄施設の建物・構築物及び改造等を実施する設備・機器の工事は、以下に示す手順で行う。変更しない設備・機器の工事については、以下に示す手順により検査のみを行う。

原則として、本工事対象設備及び工事の影響が及ぶおそれのある場所に核燃料物質等が存在しない状態で工事を行う。

a. 第1 廃棄物貯蔵棟の工事手順

第1 廃棄物貯蔵棟の全体工事フローを図トー a - 1 に示し、その詳細を図トー a - 1 - 1 から図トー a - 1 - 4 に示す。

- ① 外部扉の改造：図トー a - 1 - 1 に示す手順で、図トー W 1 建 - 9 ～図トー W 1 建 - 1 2 に示す既設の外部扉を F1 竜巻対策扉に改造する。
- ② W 1 防護壁の新設：図トー a - 1 - 2 に示す手順で、図トー W 1 建 - 1 3 に示す W 1 防護壁を新設する。
- ③ 火災区画等の改造：図トー a - 1 - 3 に示す手順で、図トー W 1 建 - 1 0 及び図トー W 1 建 - 2 0 に示す既設の扉を防火戸に改造する。
- ④ グレーチング及び扉の改造：図トー a - 1 - 4 に示す手順で、図トー W 1 建 - 2 2 に示すグレーチングを設置する。また、既設扉をエアタイト扉（PAT 仕様）に改造する。

b. 第3 廃棄物貯蔵棟の工事手順

第3 廃棄物貯蔵棟の全体工事フローを図トー b - 1 に示し、その詳細を図トー b - 1 - 1 及び図トー b - 1 - 2 に示す。

- ① 外部扉の改造：図トー b - 1 - 1 に示す手順で、図トー W 3 建 - 8 ～図トー W 3 建 - 1 1 に示す既設の外部扉を F1 竜巻対策扉に改造する。
- ② W 3 防護壁の新設：図トー b - 1 - 2 に示す手順で、図トー W 3 建 - 1 2 に示す W 3 防護壁を新設する。

c. 改造等を実施する設備・機器の工事手順

図トー c - 1 に示す手順で改造を行う。

- 1) 改造工事を実施する当事業所又は部品等の加工組立を実施する社外調達先において、当事業所指定の材料を必要に応じて材料証明書等とともに手配し入手する。
- 2) 当事業所指定の製作図をもとに、部品等の加工組立を実施する。
- 3) 加工組立された部品等について当事業所が受入検査を実施する。
- 4) 受入検査完了後、部品等の設置工事を実施する。不要になった部品等は撤去する。
- 5) 各設備・機器について6 項に示す検査を実施する。また、加工施設全体としての性能検査を実施する。

d. 変更しない設備・機器の工事手順

図トー d - 1 に示す手順で検査を行う。

- 1) 各設備・機器について6 項に示す検査を実施する。また、加工施設全体としての性能検査を実施する。

e. 緊急遮断弁の基礎

図トー e - 1 に示す手順で検査を行う。

- 1) 緊急遮断弁の基礎について6 項に示す検査を実施する。

上記に手順を示した工事のほか、これらの工事に付随して本加工施設内で行う必要がある部材の組立加工、資機材や工具の搬出入、足場の設営、廃棄物の仕分け及び解体減容等に係る工事の実施に当たっては、(1)工事上の注意事項に示した事項に従うとともに、以下の措置を講じることにより、加工施設の技術基準に適合した工事とする。

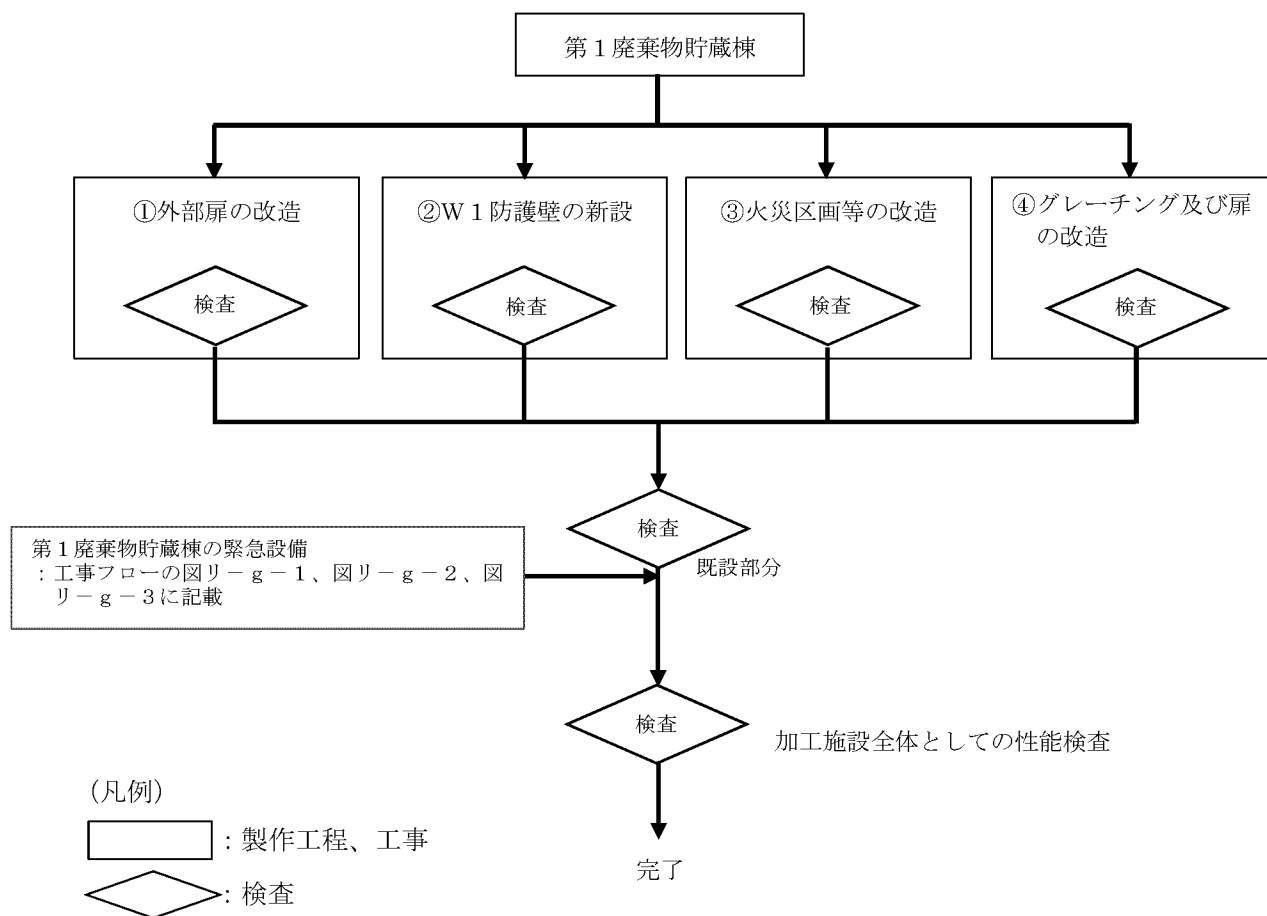
- 工事対象の設備・機器及び工事区画内の影響を受ける設備・機器から、内包する核燃料物質等を他の設備、区画に移動し、核燃料物質等が工事の影響を受けるおそれがなく、これらの設備・機器の安全機能の維持が不要な状態で工事を行う。
- 本工事において建物の臨界防止及び遮蔽能力に影響を及ぼす工事は実施しない。第2加工棟の大型搬入口扉を資機材の搬出入のために開とする場合においては、必要に応じて、定期的な線量当量率の測定を行い、線量告示に定める管理区域に係る値を超えるおそれのないことを確認する。なお、資機材の搬出入ために大型搬入口扉を開とした場合であっても加工施設全体としての遮蔽能力には影響はなく、周辺監視区域及び敷地境界外の人が居住する可能性のある区域境界上の年間の線量は事業許可における評価値を上回ることはない。
- 加工施設の建物の外壁に設置された扉を交換する工事又は資機材の搬出入のために扉を開とする場合には、工事の期間中、人の不法な侵入を防止できるよう閉止する又は監視人による監視を行う措置を講じる。
- 第1種管理区域の境界（屋内間仕切り壁、外壁、これらの壁に設置された鋼製扉及び床）の工事中において、一時的に開口部が生じる場合、若しくは資機材の搬出入のため第1種管理区域上の扉を開にする場合は、保安規定に基づき、前室を設置する等の措置を講じることにより建物の閉じ込めの機能を維持する。
- 工事に伴い、管理区域以外の区域において、線量告示に定める管理区域に係る値を超えるおそれのある場所が生じた場合には、保安規定に基づき一時的な管理区域を設定する。
- 工事に伴い、気体廃棄設備の系統を停止する場合は、別の系統を稼働させることにより第1種管理区域の負圧を維持する又は保安規定に定める閉じ込めに係る措置を講じた上で気体廃棄設備を停止することにより、建物の閉じ込めの機能を維持する。気体廃棄設備を停止することにより所定の換気能力を確保できないおそれのある場合においては、放射線業務従事者に半面マスク等の保護具を着用させる。
- 工事に伴い、火災感知設備、消火設備、放射線管理施設、通信連絡設備等を一時的に停止する場合においては、代替措置を講じることにより、これらの設備が有する安全機能を維持するか、監視対象の設備・機器を停止する等により、安全機能が不要な状態とする。
- 第1種管理区域における工事で撤去した使用予定のない設備・機器、廃材及び除染作業等により発生する核燃料物質で汚染されたものは、必要に応じて第1種管理区域内で解体し、また、保安規定に基づく廃棄物の仕掛品として一時保管した後、200 Lドラム缶に収納し、放射性固体廃棄物の保管廃棄施設で保管廃棄する。なお、本加工施設における放射性固体廃棄物の現状の最大保管廃棄能力約 11170 本（200 Lドラム缶換算、加工事業変更許可申請書記載値）は、現在の保管廃棄量約 8200 本を踏

まえ、新規制基準対応工事に伴い発生する放射性固体廃棄物の保管廃棄量を十分に吸収できることを確認している。

- 第2種管理区域における工事で撤去した設備・機器及び廃材は、保安規定に基づく放射性廃棄物でない廃棄物（NR）に係る措置の手順に従って廃棄する、又は有効利用する。
- 核燃料物質による汚染のおそれのある部位の工事に伴って汚染の拡大のおそれがある場合は、あらかじめ設備・機器の除染を行う。また、必要に応じてグリーンハウスを設置し、局所排気装置等を使用する等して、汚染の防止を図る。
- 第1種管理区域の設備・機器撤去後の床等の表面は、修復後、ウランが浸透しにくく、除染が容易で腐食しにくい材料（難燃性材料）で塗装を施す。



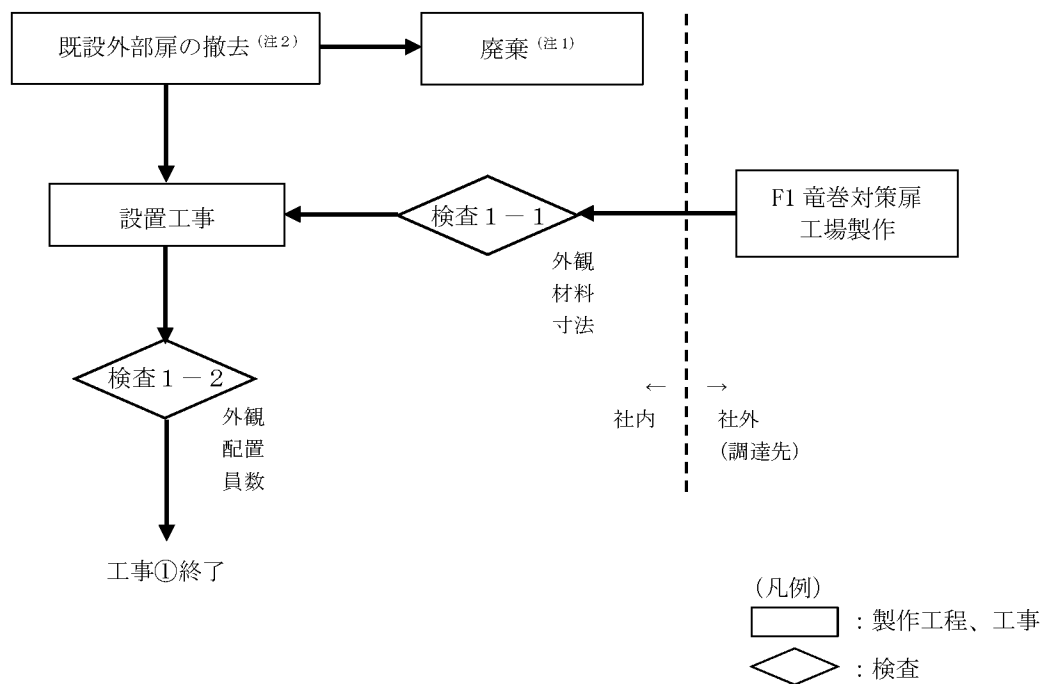
a. 第1 廃棄物貯蔵棟



図トー a - 1 全体工事フロー

①外部扉の改造

対象扉 扉番号：71、扉番号：76、扉番号：78（③火災区画等の改造を兼ねる）  
 扉番号：77（③火災区画等の改造、④-2扉の改造を兼ねる）

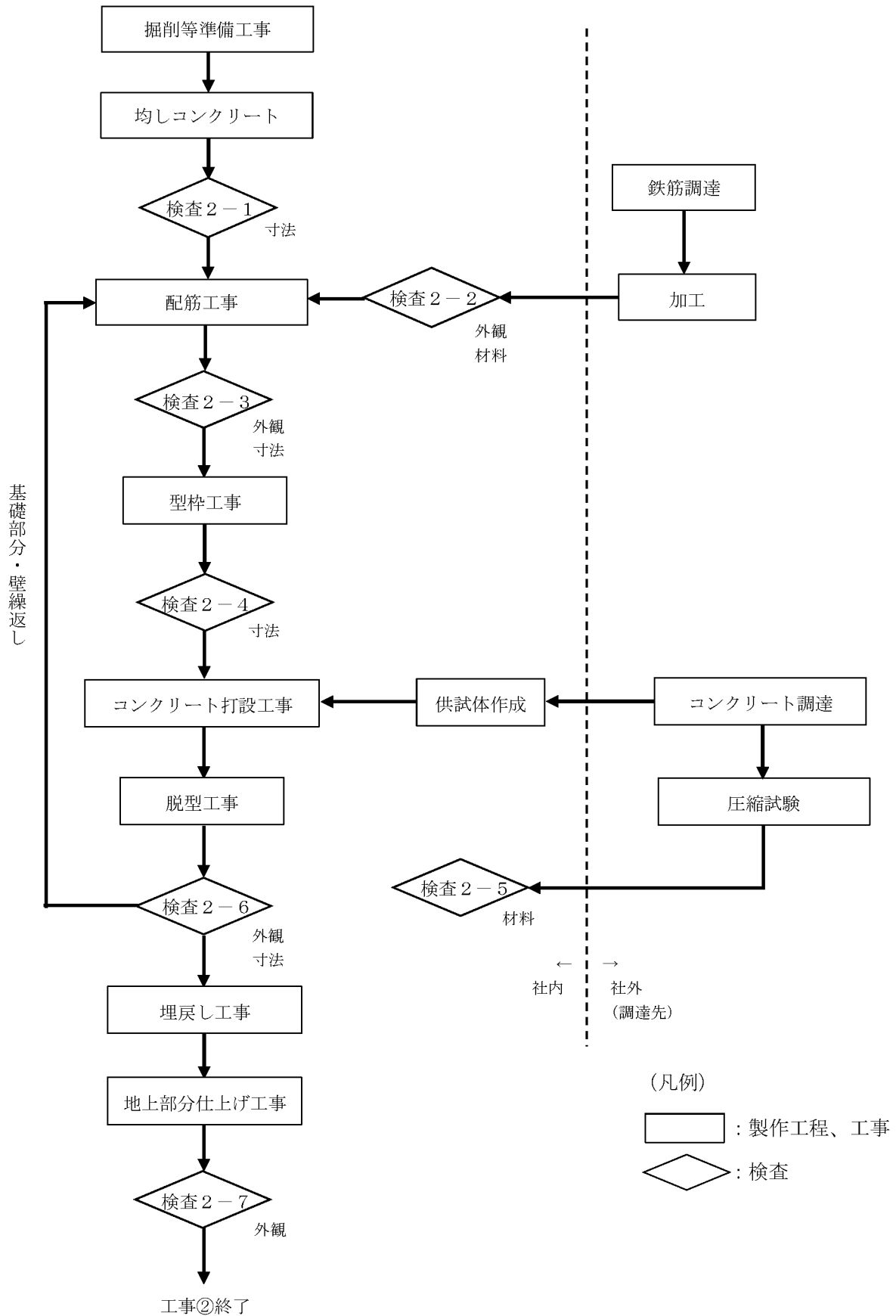


注1：第1種管理区域で撤去した部材は、必要に応じて除染後、ドラム缶等に収納し、放射性固体廃棄物の保管廃棄施設で保管廃棄する。第2種管理区域で撤去した部材は、保安規定に基づく放射性廃棄物でない廃棄物（NR）に係る措置の手順に従って廃棄する。

注2：扉の更新工事中は、みだりに人が出入りすることを防止するとともに、第1種管理区域においては閉じ込めの機能の維持のため、前室等を設置する。

図ト-a-1-1 個別工事フロー

②W1 防護壁の新設



図トー a - 1 - 2 個別工事フロー

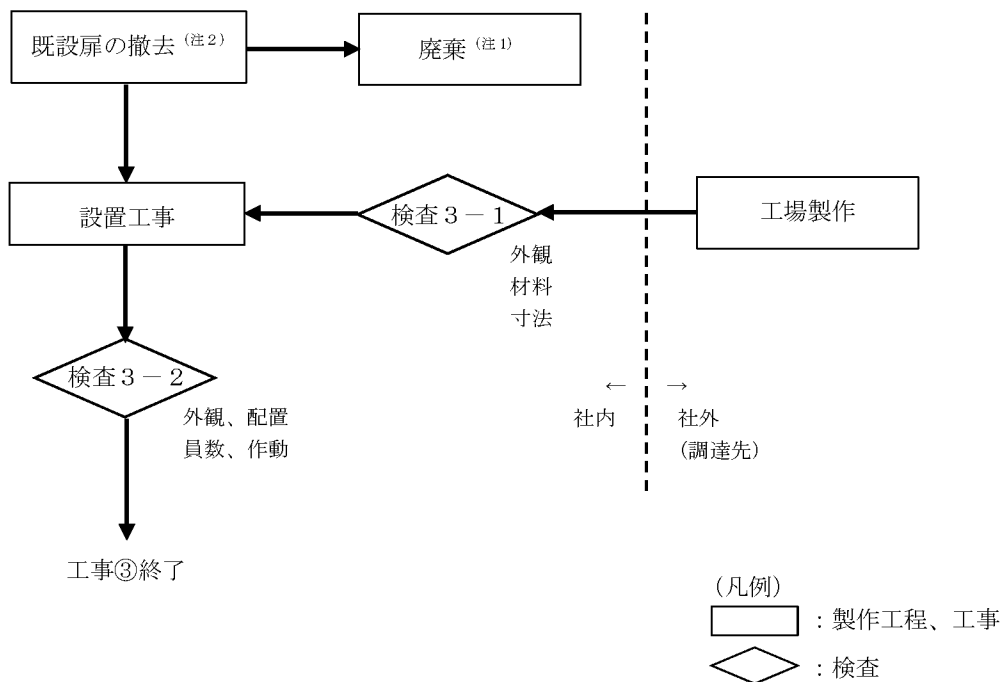
③火災区画等の改造

対象扉 扉番号：74

扉番号：71、扉番号：76、扉番号：78 (①外部扉の改造を兼ねる)

扉番号：75 (④－2扉の改造を兼ねる)

扉番号：77 (①外部扉の改造、④－2扉の改造を兼ねる)



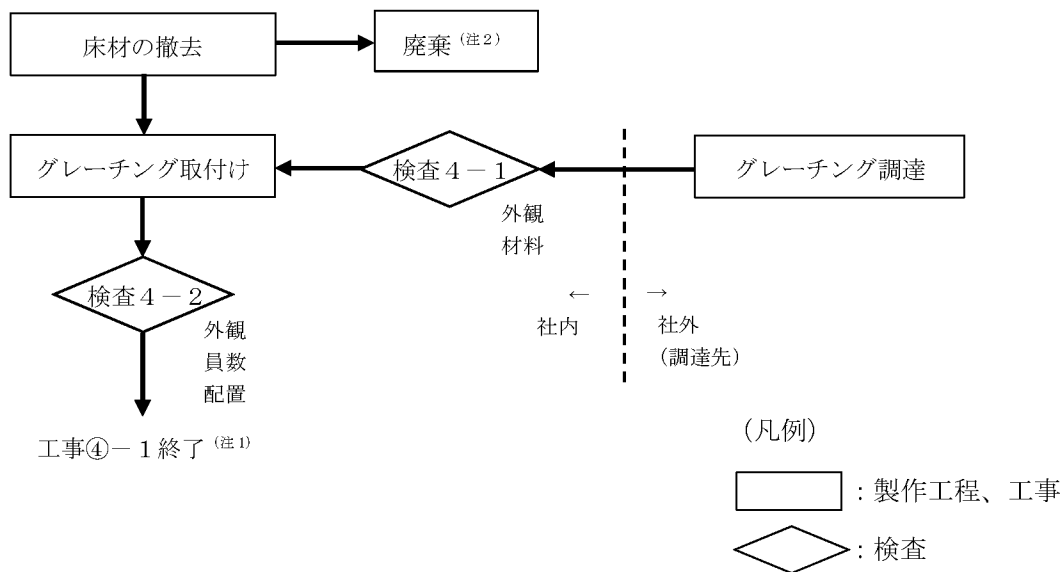
注1：第1種管理区域で撤去した部材は、必要に応じて除染後、ドラム缶等に収納し、放射性固体廃棄物の保管廃棄施設で保管廃棄する。第2種管理区域で撤去した部材は、保安規定に基づく放射性廃棄物でない廃棄物（NR）に係る措置の手順に従って廃棄する。

注2：扉の更新工事中は、みだりに人が出入りすることを防止するとともに、第1種管理区域においては閉じ込めの機能の維持のため、前室等を設置する。

図ト－a－1－3 個別工事フロー

④グレーチング及び扉の改造

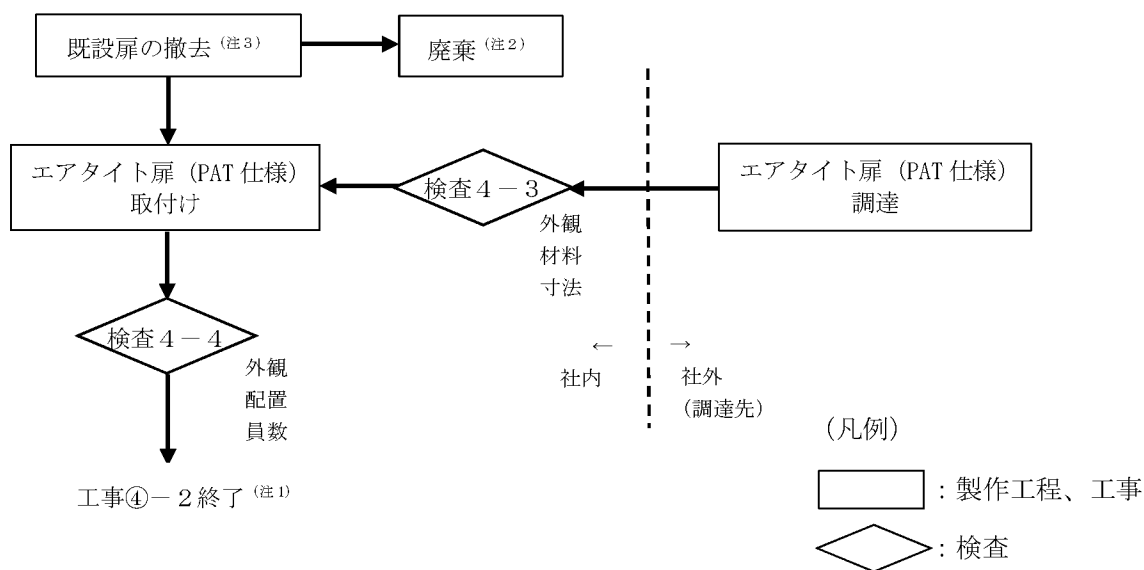
④-1 グレーチング（溢水対策1）の設置



④-2 扉の改造

対象扉 扉番号：75（③火災区画等の改造を兼ねる）

扉番号：77（①外部扉の改造、③火災区画等の改造を兼ねる）



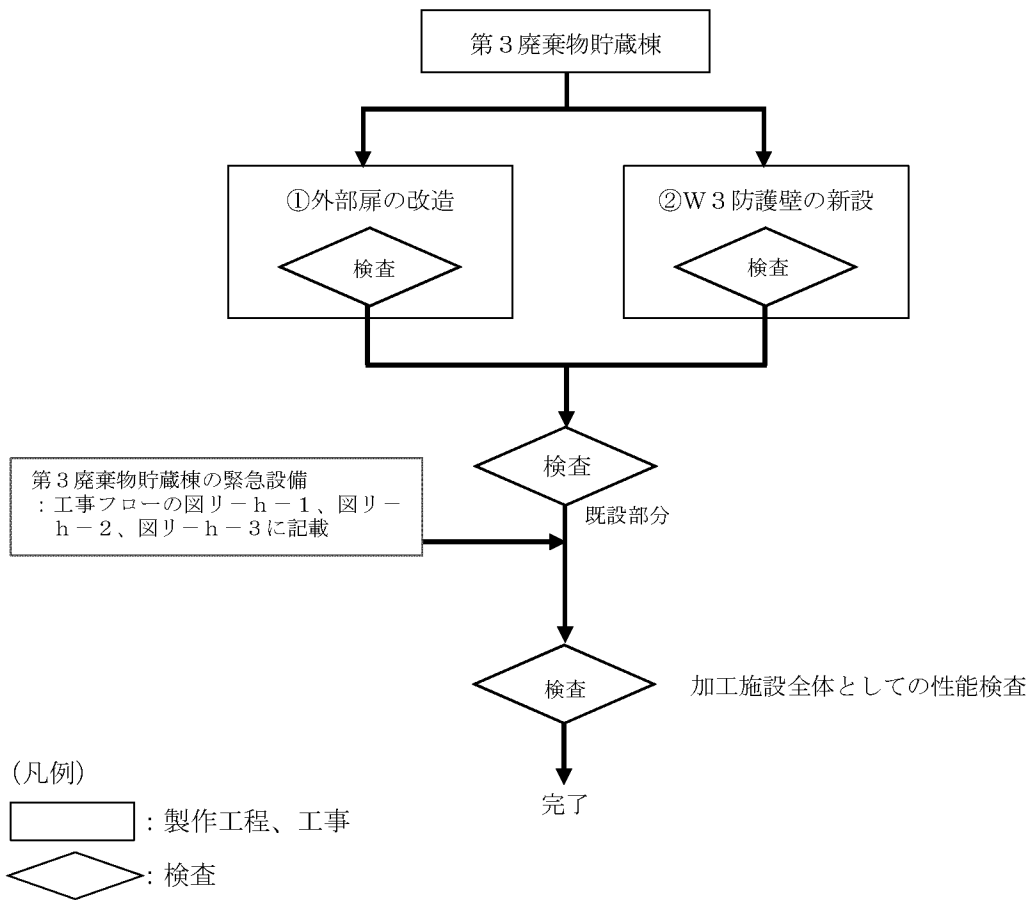
注1：工事④は工事④-1、工事④-2の2つの工事からなり、工事④-1、工事④-2の全ての工事の終了をもって、工事④の終了とする。

注2：第1種管理区域で撤去した部材は、必要に応じて除染後、ドラム缶等に収納し、放射性固体廃棄物の保管廃棄施設で保管廃棄する。第2種管理区域で撤去した部材は、保安規定に基づく放射性廃棄物でない廃棄物（NR）に係る措置の手順に従って廃棄する。

注3：扉の更新工事中は、みだりに人が出入りすることを防止するとともに、第1種管理区域においては閉じ込めの機能の維持のため、前室等を設置する。

図ト-a-1-4 個別工事フロー

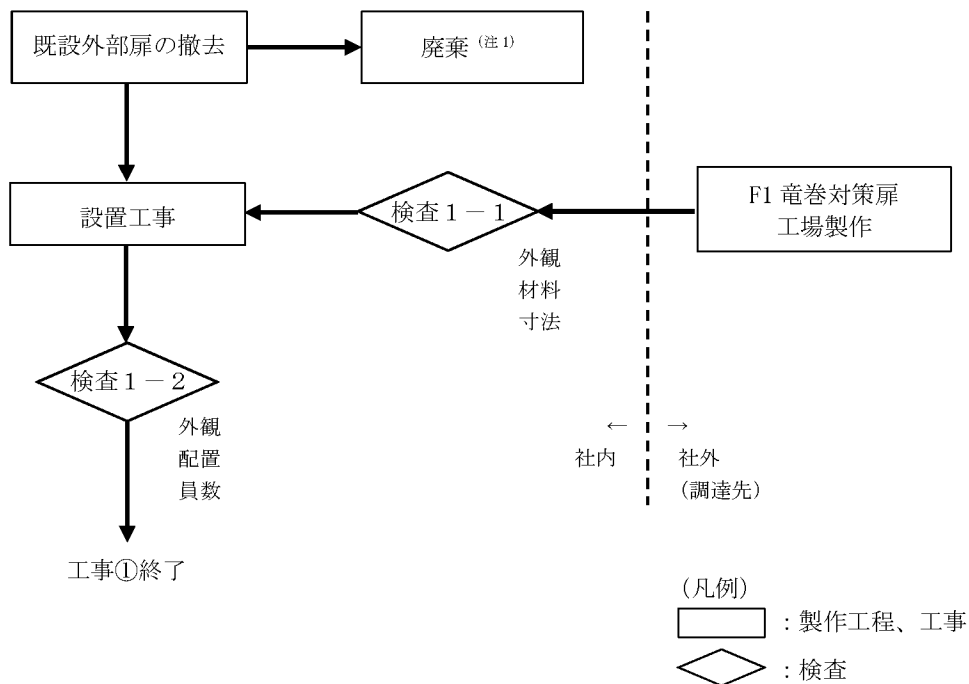
b. 第3 廃棄物貯蔵棟



図トー b - 1 全体工事フロー

①外部扉の改造

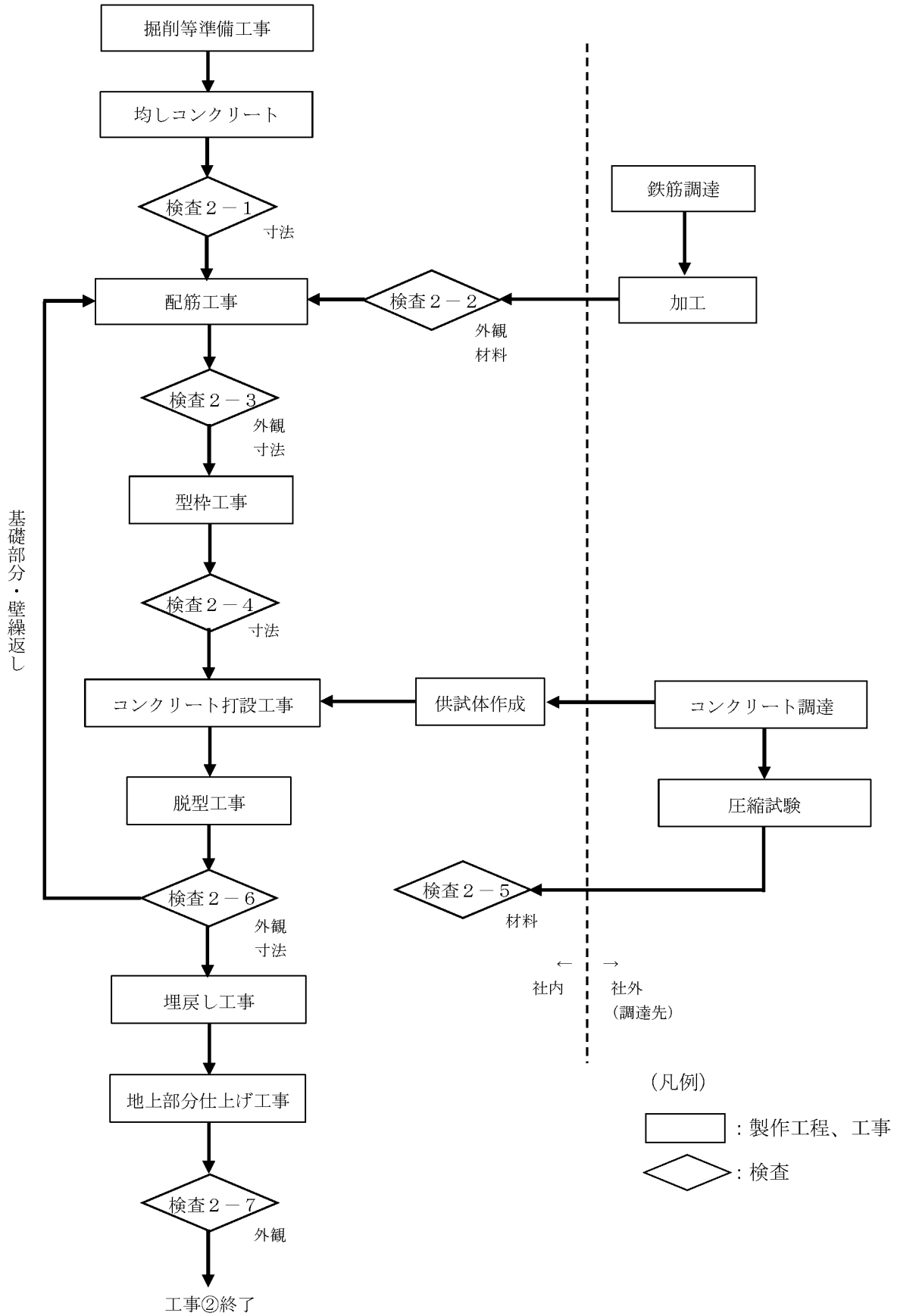
対象扉 扉番号：91、扉番号：92、扉番号：93



注1：第2種管理区域で撤去した部材は、保安規定に基づく放射性廃棄物でない廃棄物（NR）に係る措置の手順に従って廃棄する。

図トー b - 1 - 1 個別工事フロー

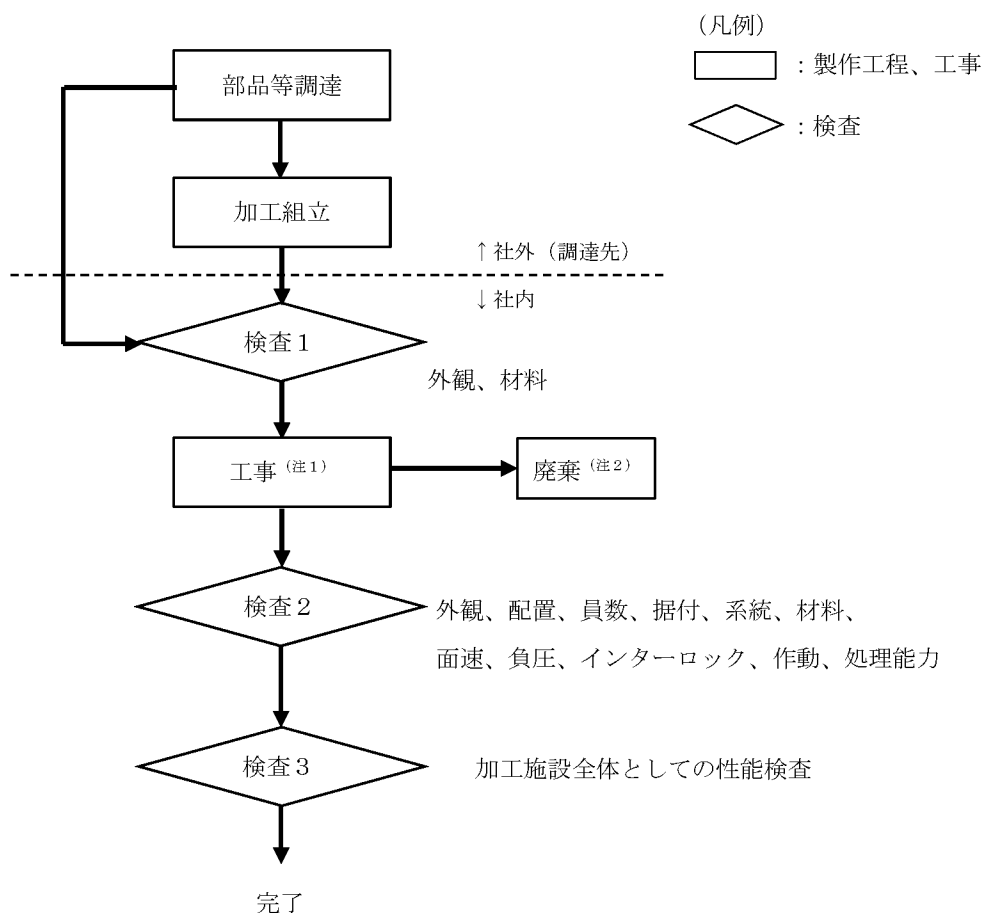
②W3 防護壁の新設



図トー b - 1 - 2 個別工事フロー



c. 改造等を実施する設備・機器

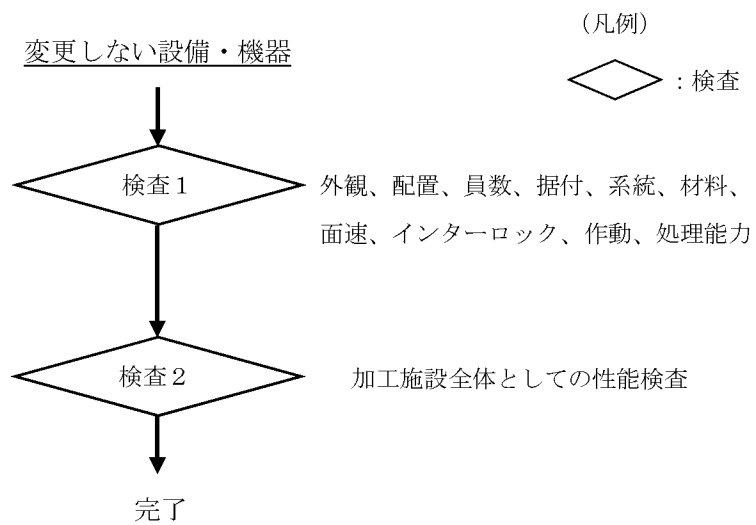


(注1) 原則として、本工事対象設備及び工事の影響が及ぶおそれのある場所に核燃料物質等が存在しない状態で工事を行う。

(注2) 第1種管理区域の使用予定のない設備・機器及び工事等によって発生した廃材は、必要に応じて除染後、ドラム缶等に収納し、放射性固体廃棄物の保管廃棄施設で保管廃棄する。第2種管理区域の使用予定のない設備・機器及び工事等によって発生した廃材は、保安規定に基づく放射性廃棄物でない廃棄物 (NR) に係る措置の手順に従って廃棄する。

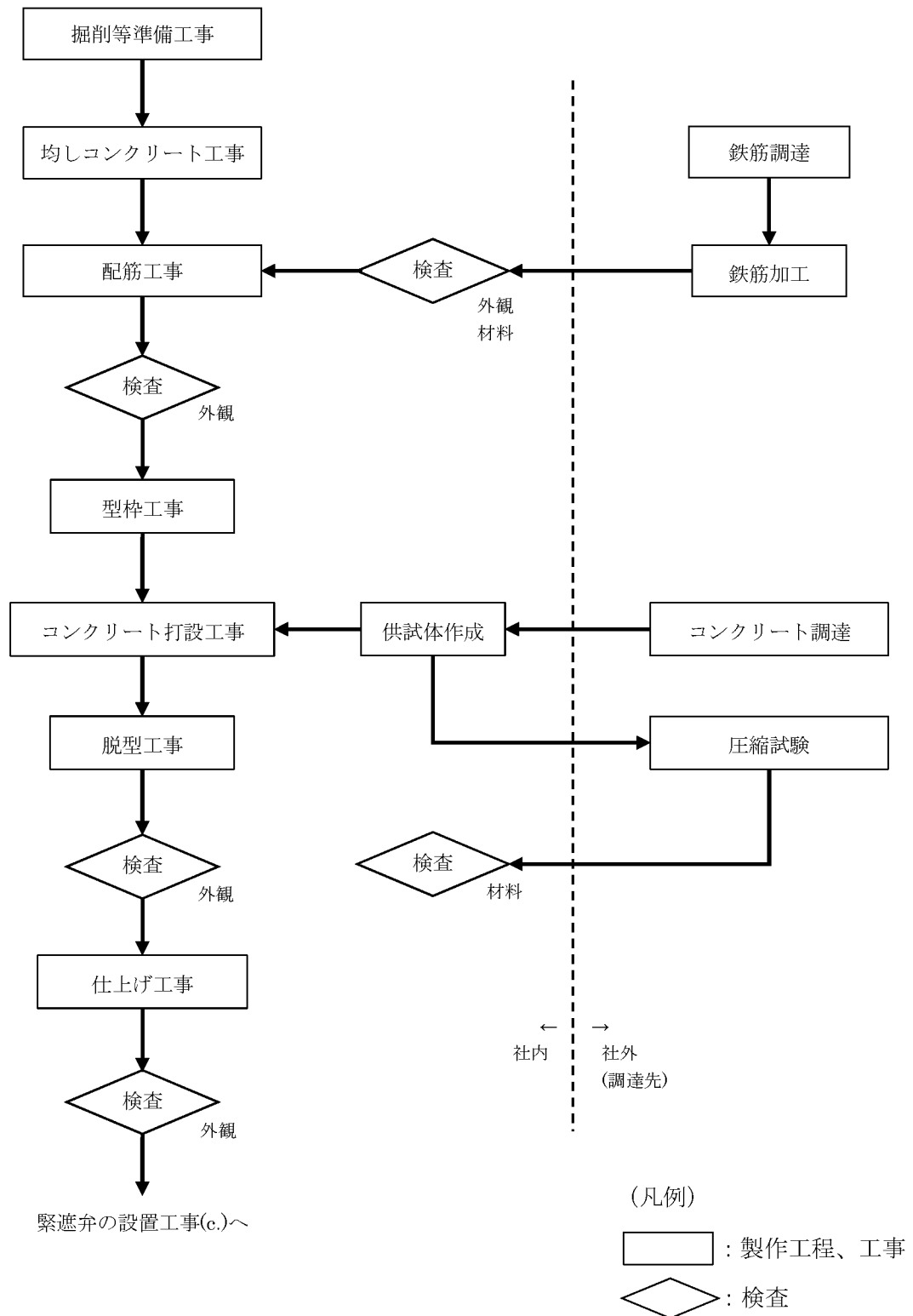
図ト-c-1 工事フロー

d. 変更しない設備・機器



図ト-d-1 工事フロー

e. 緊急遮断弁の基礎



図ト-e-1 工事フロー

(3) 品質保証計画

本申請における施設の設計及び工事に係る品質保証活動は、加工事業変更許可申請書における「加工施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の整備に関する事項」を踏まえて、保安品質マニュアルとして定める保安品質保証計画書に従って実施するものとする。

(4) 工事中の加工施設の継続使用の理由

第1廃棄物貯蔵棟及び第3廃棄物貯蔵棟は、外的事象から建物内部の機器・設備を防護するとともに内的事象に起因する放射線による公衆への影響を防止するための安全機能を有しており、第1廃棄物貯蔵棟及び第3廃棄物貯蔵棟の付属設備（通信連絡設備、火災感知設備、消火設備、緊急設備）は、第1廃棄物貯蔵棟及び第3廃棄物貯蔵において設計基準事故が発生した場合にそれらを確実に検知して速やかに対処するための安全機能を有する。また、第1廃棄物貯蔵棟内に設置する保管廃棄設備<sup>■</sup> 廃棄物保管区域及び第3廃棄物貯蔵棟内に設置する保管廃棄設備<sup>■</sup> 廃棄物保管区域は、放射性固体廃棄物を保管廃棄するための安全機能を有する。

これらの安全機能を維持しながら、経過措置期限後に第1廃棄物貯蔵棟及び第3廃棄物貯蔵棟内で実施している加工施設の維持管理に不可欠な活動（放射性固体廃棄物の保管廃棄）を今後も継続するため、第1廃棄物貯蔵棟、第3廃棄物貯蔵棟、第1廃棄物貯蔵棟の付帯設備及び第3廃棄物貯蔵棟の付帯設備は、本申請において継続使用する。

また、気体廃棄設備No.1及び気体廃棄設備No.2<sup>(注1)</sup>は、第2加工棟及び第1廃棄物貯蔵棟において、建物内又は特定の設備内の負圧を維持することによりウランを限定された区域に閉じ込めるための安全機能を有する。

第1廃液処理設備、分析廃液処理設備、開発室廃液処理設備、第2廃液処理設備、第2廃液処理設備貯留設備及びW1廃液処理設備は、洗濯水や第1種管理区域内の工事で発生する廃液等を貯留する設備として経過措置期限後の新規制対応工事中も継続使用する。

なお、工事を伴う設備は、工事を行うまでは既設の設備を使用し、工事完了後は使用前事業者検査の合格をもって使用する。

これらの安全機能を維持するため、本申請において適合性を確認して継続使用する。その後、加工施設全体の性能に関する検査を受検するまでの間においても、安全機能が維持されている状態にする。この間の安全機能の維持に係る運用は保安規定に従って行う。

(注1) 表トー2及び表トー3に示す構成設備・機器全てを含む

## 6. 試験及び検査の方法

核燃料物質の加工の事業に関する規則に基づき、使用前事業者検査は次に掲げる方法により行う。

- 一 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法：第1号検査
- 二 機能及び性能を確認するために十分な方法：第2号検査
- 三 その他設置又は変更の工事がその設計及び工事の計画に従って行われたものであることを確認するために十分な方法：第3号検査

また、使用前事業者検査を行うに当たっては、あらかじめ、検査の時期、対象、方法その他必要な事項を定めた検査実施要領書を定めるものとする。

第1号検査及び第2号検査について、変更に係る建物・構築物の検査の項目を第トー1表に、検査の方法を第トー2表～第トー5表に示す。

また、変更に係る設備・機器の検査の項目を第トー6表に、検査の方法を第トー7表に示す。

第3号検査については、申請対象の建物・構築物及び設備・機器の全てを対象とする。第3号検査に係る検査の項目及び検査の方法について、第ハー3表に示す。

第トー1表 建物・構築物に係る検査の項目

| 施設区分            | 設置場所      | 建物・構築物名称  | 変更内容 | 第1号検査 |    |    |    |    | 第2号検査 |
|-----------------|-----------|-----------|------|-------|----|----|----|----|-------|
|                 |           |           |      | 外観    | 配置 | 員数 | 材料 | 寸法 | 作動    |
| 放射性廃棄物の<br>廃棄施設 | 第1 廃棄物貯蔵棟 | 第1 廃棄物貯蔵棟 | 改造   | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     |
| 放射性廃棄物の<br>廃棄施設 | 第3 廃棄物貯蔵棟 | 第3 廃棄物貯蔵棟 | 改造   | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     |

第ト-2表 建物・構築物に係る検査の方法（1／4）

| 検査の項目                                                         |       | 検査の方法 <sup>(1)(2)(4)</sup> |                                                      | 判定基準 <sup>(3)</sup>                                          |
|---------------------------------------------------------------|-------|----------------------------|------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| a. 第1廃棄物貯蔵棟<br>①外部扉の改造<br>(図ト-a-1 全体工事フロー、図ト-a-1-1 個別工事フロー参照) | 検査1-1 | 外観                         | F1 竜巻対策扉の外観を目視又は関係書類等により確認する。(改造)                    | F1 竜巻対策扉の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                |
|                                                               |       | 材料                         | F1 竜巻対策扉の強度部材の材質、形状及び配置(骨組)を目視、測長又は関係書類等により確認する。(改造) | F1 竜巻対策扉の強度部材の材質、形状及び配置(骨組)が別表ト-W1建-1-1及び図ト-W1建-12のとおりであること。 |
|                                                               |       | 寸法                         | F1 竜巻対策扉の形状及び寸法を目視、測長又は関係書類等により確認する。(改造)             | F1 竜巻対策扉の形状及び寸法が図ト-W1建-12のとおりであること。                          |
|                                                               | 検査1-2 | 外観                         | 設置後のF1 竜巻対策扉の外観を目視又は関係書類等により確認する。(改造)                | F1 竜巻対策扉の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                |
|                                                               |       | 配置                         | F1 竜巻対策扉の配置を目視又は関係書類等により確認する。(改造)                    | F1 竜巻対策扉の配置が図ト-W1建-9のとおりであること。                               |
|                                                               |       | 員数                         | F1 竜巻対策扉の員数を目視又は関係書類等により確認する。(改造)                    | F1 竜巻対策扉の員数が図ト-W1建-10のとおりであること。                              |


(1) 「(改造)」は本申請において工事を実施し改造した部分を示し、「(既設)」は改造を伴わない部分を示し、「(撤去)」は工事を実施し撤去した部分を示す。

(2) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。

(3) 検査の判定基準となる数値の施工誤差は、日本建築学会等の基準による許容差とする。

(4) 材料証明書、関係書類等記録により確認できるものは、工事中又は工事後に検査を行う場合がある。

第ト-2表 建物・構築物に係る検査の方法(2/4)

| 検査の項目                                                         |       | 検査の方法 <sup>(1)(3)</sup>            |                                    | 判定基準 <sup>(2)</sup>                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| a. 第1廃棄物貯蔵棟<br>②W1防護壁の新設<br>(図ト-a-1全体工事フロー、図ト-a-1-2個別工事フロー参照) | 検査2-1 | 寸法                                 | 均しコンクリートのレベルを測定又は関係書類等により確認する。     | (コンクリート打設後では厚みが測定できない基礎中央部等について、検査2-1で基準レベルから均しコンクリート面までのレベル差を測定しておき、検査2-6で同一の基準レベルから基礎スラブ天面までのレベル差を測定し、差分により基礎の厚みを求めるための事前測定を実施する。) |
|                                                               | 検査2-2 | 外観                                 | 鉄筋の外観を目視又は関係書類等により確認する。            | 鉄筋の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                                                                                              |
|                                                               |       | 材料                                 | 鉄筋の材質及び呼び径を目視、測長又は関係書類等により確認する。    | 鉄筋の材質及び呼び径が別表ト-W1建-1-2のとおりであること。                                                                                                     |
|                                                               | 検査2-3 | 外観                                 | 鉄筋の外観を目視又は関係書類等により確認する。            | 鉄筋の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                                                                                              |
|                                                               |       | 寸法                                 | 鉄筋の呼び径及び配筋ピッチを目視、測長又は関係書類等により確認する。 | 配筋の呼び径及び配筋ピッチが図ト-W1建-1-3のとおりであること。                                                                                                   |
|                                                               | 検査2-4 | 寸法                                 | 型枠の内寸(コンクリート寸法)を測長又は関係書類等により確認する。  | 型枠の内寸(コンクリート寸法)が図ト-W1建-1-3のとおりであること。                                                                                                 |
|                                                               | 検査2-5 | 材料                                 | コンクリートの圧縮強度を関係書類等により確認する。          | コンクリートの圧縮強度が  N/mm <sup>2</sup> 以上であること。          |
|                                                               | 検査2-6 | 外観                                 | 脱型後のコンクリートの外観を目視又は関係書類等により確認する。    | 脱型後のコンクリート表面の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                                                                                    |
| 寸法                                                            |       | 壁の形状、寸法及び壁の厚みを目視、測長又は関係書類等により確認する。 | 壁の形状、寸法及び壁の厚みが図ト-W1建-1-3のとおりであること。 |                                                                                                                                      |
| 検査2-7                                                         | 外観    | 躯体部分の仕上げ工事後の外観を目視又は関係書類等により確認する。   | 仕上げ面に使用上有害な傷及び変形がないこと。             |                                                                                                                                      |



(1) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。

(2) 検査の判定基準となる数値の施工誤差は、日本建築学会等の基準による許容差とする。

(3) 材料証明書、関係書類等記録により確認できるものは、工事中又は工事後に検査を行う場合がある。



第ト-2表 建物・構築物に係る検査の方法 (3/4)

| 検査の項目                                                           |       | 検査の方法 <sup>(1)(2)(4)</sup> |                                     | 判定基準 <sup>(3)</sup>                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------|-------|----------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| a. 第1廃棄物貯蔵棟<br>③火災区画等の改造<br>(図ト-a-1 全体工事フロー、図ト-a-1-3 個別工事フロー参照) | 検査3-1 | 外観                         | 防火戸の外観を目視又は関係書類等により確認する。            | 防火戸の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                                                                                                                                                                        |
|                                                                 |       | 材料                         | 火災区画に設置する防火戸の防火性能を関係書類等により確認する。(改造) | 防火戸が鋼製の骨組みの両面に厚さが  mm 以上の鋼板  を貼ったものであること。 |
|                                                                 |       | 寸法                         | 防火戸の形状及び寸法を目視、測長又は関係書類等により確認する。(改造) | 防火戸の形状及び寸法が図ト-W1建-11のとおりであること。                                                                                                                                                                                  |
|                                                                 | 検査3-2 | 外観                         | 設置後の防火戸の外観を目視又は関係書類等により確認する。(改造)    | 防火戸の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                                                                                                                                                                        |
|                                                                 |       | 配置                         | 防火戸の配置を目視又は関係書類等により確認する。(改造)        | 防火戸の配置が図ト-W1建-20のとおりであること。                                                                                                                                                                                      |
|                                                                 |       | 員数                         | 防火戸の員数を目視又は関係書類等により確認する。(改造)        | 防火戸の員数が図ト-W1建-10のとおりであること。                                                                                                                                                                                      |
|                                                                 |       | 作動                         | 防火戸が常時閉鎖式であることを確認する。(改造)            | 防火戸を開放し、手を離せば自動で閉鎖すること。                                                                                                                                                                                         |

- (1) 「(改造)」は本申請において工事を実施し改造した部分を示し、「(既設)」は改造を伴わない部分を示し、「(撤去)」は工事を実施し撤去した部分を示す。  
 (2) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。  
 (3) 検査の判定基準となる数値の施工誤差は、日本建築学会等の基準による許容差とする。  
 (4) 材料証明書、関係書類等記録により確認できるものは、工事中又は工事後に検査を行う場合がある。

第トー2表 建物・構築物に係る検査の方法（4／4）

| 検査の項目                                                             |       | 検査の方法 <sup>(1)(2)(4)</sup> |                                               | 判定基準 <sup>(3)</sup>                                                           |
|-------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| a. 第1廃棄物貯蔵棟<br>④グレーチング及び扉の改造<br>(図トーa-1全体工事フロー、図トーa-1-4個別工事フロー参照) | 検査4-1 | 外観                         | グレーチングの外観を目視又は関係書類等により確認する。(改造)               | グレーチングの外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                                   |
|                                                                   |       | 材料                         | グレーチングの材質、形状、流路断面積を目視又は関係書類等により確認する。(改造)      | グレーチングの材質、形状が別表トーW1建-1-4及び図トーW1建-22(1)のとおりであること。また、流路断面積が0.20㎡以上のグレーチングであること。 |
|                                                                   | 検査4-2 | 外観                         | グレーチングの外観を目視又は関係書類等により確認する。(改造)               | グレーチングの外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                                   |
|                                                                   |       | 配置                         | グレーチングの配置を目視又は関係書類等により確認する。(改造)               | グレーチングの配置が図トーW1建-21のとおりであること。                                                 |
|                                                                   |       | 員数                         | グレーチングの員数を目視又は関係書類等により確認する。(改造)               | グレーチングの員数が別表トーW1建-1-4のとおりであること。                                               |
|                                                                   | 検査4-3 | 外観                         | 対象扉がエアタイト扉(PAT仕様)であることを目視又は関係書類等により確認する。(改造)  | 対象扉が別表トーW1建-1-4のとおりエアタイト扉(PAT仕様)であること。                                        |
|                                                                   |       | 材料                         | エアタイト扉(PAT仕様)の材質を目視又は関係書類等により確認する。(改造)        | エアタイト扉(PAT仕様)の材質が別表トーW1建-1-4のとおりであること。                                        |
|                                                                   |       | 寸法                         | エアタイト扉(PAT仕様)の形状及び寸法を目視、測長及び関係書類等により確認する。(改造) | エアタイト扉(PAT仕様)の形状及び寸法が図トーW1建-10、図トーW1建-22(2)、(3)のとおりであること。                     |
|                                                                   | 検査4-4 | 外観                         | エアタイト扉(PAT仕様)の外観を目視又は関係書類等により確認する。(改造)        | エアタイト扉(PAT仕様)に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                               |
|                                                                   |       | 配置                         | エアタイト扉(PAT仕様)の配置を目視又は関係書類等により確認する。(改造)        | エアタイト扉(PAT仕様)の配置が図トーW1建-21のとおりであること。                                          |
|                                                                   |       | 員数                         | エアタイト扉(PAT仕様)の員数を目視又は関係書類等により確認する。(改造)        | エアタイト扉(PAT仕様)の員数が別表トーW1建-1-4のとおりであること。                                        |

(1) 「(改造)」は本申請において工事を実施し改造した部分を示し、「(既設)」は改造を伴わない部分を示し、「(撤去)」は工事を実施し撤去した部分を示す。

(2) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。

(3) 検査の判定基準となる数値の施工誤差は、日本建築学会等の基準による許容差とする。

(4) 材料証明書、関係書類等記録により確認できるものは、工事中又は工事後に検査を行う場合がある。

第ト-3表 建物・構築物に係る検査の方法(1/3)(a. 第1廃棄物貯蔵棟(既設部分))

| 検査の項目             |          | 検査の方法 <sup>(1)</sup>                   |                                                         | 判定基準 <sup>(2)</sup>                                                                            |
|-------------------|----------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建物                | 配置       | 建物の配置を目視又は関係書類等により確認する。                |                                                         | 建物の配置が図ト-1-1-1のとおりであること。                                                                       |
|                   | 員数       | 建物の員数を目視又は関係書類等により確認する。                |                                                         | 建物の員数が1であること。                                                                                  |
|                   | 配置       | 第1廃棄物貯蔵棟と火災源中心との離隔距離を測長又は関係書類等により確認する。 |                                                         | 離隔距離が、図ト-W1建-15、図ト-W1建-17に示す危険距離以上であること。                                                       |
|                   | 配置       | 第1廃棄物貯蔵棟と爆発源中心との離隔距離を測長又は関係書類等により確認する。 |                                                         | 離隔距離が、図ト-W1建-16、図ト-W1建-18に示す危険限界距離以上又は一般高圧ガス保安規則で定める第一種設備距離の2倍以上であること。                         |
| 杭                 | 鉄筋コンクリート | 材料                                     | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                                                                       |
|                   |          | 寸法                                     | 鉄筋コンクリート杭の寸法を測長又は関係書類等により確認する。                          | 鉄筋コンクリート杭が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                                                                |
|                   |          | 配置                                     | 支持層に杭が到達していること(N値30以上を確認した層で杭を支持しているか)を関係書類等により確認する。    | 図ト-W1建-7のとおり、杭がN値30以上の支持層に到達していること。                                                            |
| 基礎                | 鉄筋コンクリート | 材料                                     | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                                                                       |
| 構面(柱・はり・壁で構成される面) | 配置       | 構面を目視又は関係書類等により確認する。                   |                                                         | 構面が図ト-W1建-26及び図ト-W1建-27のとおりであること。                                                              |
| 柱                 | 鉄骨       | 材料                                     | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                                                                       |
|                   |          |                                        | 鉄骨の形状、寸法を目視、測長又は関係書類等により確認する。                           | 鉄骨の形状、寸法が図ト-W1建-28(2)のとおりであること。                                                                |
|                   | 鉄筋コンクリート | 材料                                     | 材料を目視又は関係書類等により確認する。<br>コンクリートの圧縮強度を関係書類等により確認する。       | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。<br>コンクリートの圧縮強度が $\geq 20$ N/mm <sup>2</sup> 以上であること。                  |
|                   |          | 寸法                                     | 鉄筋の配筋ピッチを関係書類等により確認する。<br>柱の形状、寸法を目視、測長又は関係書類等により確認する。  | 鉄筋の配筋ピッチが図ト-W1建-28(2)のとおりであること。<br>柱の形状、寸法が図ト-W1建-28(2)のとおりであること。                              |
| はり                | 鉄骨       | 材料                                     | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                                                                       |
|                   |          |                                        | 鉄骨の形状、寸法を目視、測長又は関係書類等により確認する。                           | 鉄骨の形状、寸法が図ト-W1建-28(2)のとおりであること。                                                                |
|                   | 鉄筋コンクリート | 材料                                     | 材料を目視又は関係書類等により確認する。<br>コンクリートの圧縮強度を関係書類等により確認する。       | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。<br>コンクリートの圧縮強度が $\geq 20$ N/mm <sup>2</sup> 以上であること。                  |
|                   |          | 寸法                                     | 鉄筋の配筋ピッチを関係書類等により確認する。<br>はりの形状、寸法を目視、測長又は関係書類等により確認する。 | 鉄筋の配筋ピッチが図ト-W1建-28(3)及び図ト-W1建-28(4)のとおりであること。<br>はりの形状、寸法が図ト-W1建-28(3)及び図ト-W1建-28(4)のとおりであること。 |

(1) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。

(2) 検査の判定基準となる数値の施工誤差は、日本建築学会等の基準による許容差とする。

第ト-3表 建物・構築物に係る検査の方法(2/3)(a. 第1廃棄物貯蔵棟(既設部分))

| 検査の項目                  |                         | 検査の方法 <sup>(1)</sup>                                                                |                                                                         | 判定基準 <sup>(2)</sup>                               |
|------------------------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 壁                      | 鉄筋コンクリート壁               | 材料                                                                                  | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                          |
|                        |                         |                                                                                     | コンクリートの圧縮強度を関係書類等により確認する。                                               | コンクリートの圧縮強度が $\geq$ N/mm <sup>2</sup> 以上であること。    |
|                        |                         |                                                                                     | コンクリートの密度を関係書類等により確認する。                                                 | コンクリートの気乾単位容積質量が $\geq$ 以上であること。                  |
|                        |                         | 外観                                                                                  | 第1種管理区域の室内壁(床面から高さ2mまで)の仕上げを目視又は関係書類等により確認する。                           | 別表ト-W1建-1-5に示すウランが浸透しにくく、除染が容易で腐食しにくい材料で仕上げていること。 |
| 寸法                     | 鉄筋の配筋ピッチを関係書類等により確認する。  | 鉄筋の配筋ピッチが図ト-W1建-28(5)のとおりであること。                                                     |                                                                         |                                                   |
|                        | 壁の厚さを測長又は関係書類等により確認する。  | 壁の厚さが図ト-W1建-25のとおりであること。また、図ト-W1建-29に示す遮蔽能力を有する壁は、設計確認値以上の厚さであること。                  |                                                                         |                                                   |
|                        | けい酸カルシウム板壁              | 材料                                                                                  | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                          |
| 床                      | 鉄筋コンクリート                | 材料                                                                                  | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                          |
|                        |                         |                                                                                     | コンクリートの圧縮強度を関係書類等により確認する。                                               | コンクリートの圧縮強度が $\geq$ N/mm <sup>2</sup> 以上であること。    |
|                        |                         |                                                                                     | コンクリートの密度を関係書類等により確認する。                                                 | コンクリートの気乾単位容積質量が $\geq$ 以上であること。                  |
|                        |                         | 外観                                                                                  | 第1種管理区域の床の仕上げを目視又は関係書類等により確認する。                                         | 別表ト-W1建-1-5に示すウランが浸透しにくく、除染が容易で腐食しにくい材料で仕上げていること。 |
|                        | 寸法                      | 鉄筋の配筋ピッチを関係書類等により確認する。                                                              | 鉄筋の配筋ピッチが図ト-W1建-28(5)のとおりであること。                                         |                                                   |
| 床の厚さを測長又は関係書類等により確認する。 |                         | 床の厚さが図ト-W1建-24(3)及び図ト-W1建-24(4)のとおりであること。また、図ト-W1建-29に示す遮蔽能力を有する床は、設計確認値以上の厚さであること。 |                                                                         |                                                   |
|                        | 土間コンクリート                | 材料                                                                                  | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                          |
| 屋根                     | 鉄筋コンクリート                | 材料                                                                                  | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                          |
|                        |                         |                                                                                     | コンクリートの圧縮強度を関係書類等により確認する。                                               | コンクリートの圧縮強度が $\geq$ N/mm <sup>2</sup> 以上であること。    |
|                        |                         |                                                                                     | コンクリートの密度を関係書類等により確認する。                                                 | コンクリートの気乾単位容積質量が $\geq$ 以上であること。                  |
|                        |                         | 寸法                                                                                  | 鉄筋の配筋ピッチを関係書類等により確認する。                                                  | 鉄筋の配筋ピッチが図ト-W1建-28(5)のとおりであること。                   |
|                        | 屋根の厚さを測長又は関係書類等により確認する。 |                                                                                     | 屋根の厚さが図ト-W1建-24(5)のとおりであること。また、図ト-W1建-29に示す遮蔽能力を有する屋根は、設計確認値以上の厚さであること。 |                                                   |
|                        | アスファルト防水層               | 材料                                                                                  | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                          |
|                        | ベンチレータ                  | 材料                                                                                  | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                          |
| 階段                     | 鉄筋コンクリート                | 材料                                                                                  | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                          |
|                        | 鉄骨                      | 材料                                                                                  | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                          |

(1) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。

(2) 検査の判定基準となる数値の施工誤差は、日本建築学会等の基準による許容差とする。

第ト-3表 建物・構築物に係る検査の方法(3/3)(a. 第1廃棄物貯蔵棟(既設部分))

| 検査の項目       |                           | 検査の方法 <sup>(1)</sup>          |                                               | 判定基準 <sup>(2)</sup>                                                                         |
|-------------|---------------------------|-------------------------------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開口部         | 建具共通<br>(扉、シャッター、ガラリ、防火板) | 材料                            | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                          | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                                                                    |
|             |                           | 配置                            | 建具の配置を目視又は関係書類等により確認する。                       | 建具の配置が図ト-W1建-9のとおりであること。                                                                    |
|             | 防火戸                       | 材料                            | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                          | 防火戸が建築基準法施行令第百十二条(関連告示を含む)に定めるとおり、0.5mm以上の鉄板又は鋼板を骨組みの両面に張ったもの、又は1.5mm以上の鉄板又は鋼板で造られたものであること。 |
|             |                           | 作動                            | 常時閉鎖式の防火戸の作動を確認する。                            | 扉を開放し手を離せば自動で閉鎖すること。                                                                        |
|             | 防火板                       | 材料                            | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                          | 材料が図ト-W1建-10のとおりであること。                                                                      |
|             | 溢水防護区画上の扉                 | 外観                            | エアタイト扉(PAT仕様)であることを目視又は関係書類等に確認する。            | 扉が別表ト-W1建-5のとおりエアタイト扉(PAT仕様)であること。                                                          |
|             |                           | 材料                            | 扉の材料を目視又は関係書類等により確認する。                        | 図ト-W1建-22(1)のとおり鋼製扉であること。                                                                   |
| 開口部         | 寸法                        | 階段開口部の流路断面積を測定又は関係書類等により確認する。 | 階段開口部が0.03m <sup>2</sup> 以上の流路断面積であること。       |                                                                                             |
| 梯子          | 梯子                        | 材料                            | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                          | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                                                                    |
|             |                           | 外観                            | 梯子の据付状態を目視又は関係書類等により確認する。                     | 梯子を建物部材に固定していること。                                                                           |
| 床面貫通部(溢水)   |                           | 外観                            | 床面貫通部の外観を目視又は関係書類等により確認する。                    | 貫通部に隙間がなく、モルタル、シール材、その他の不燃材料により閉止されていること。                                                   |
|             |                           | 配置                            | 床面貫通部の位置を目視又は関係書類等により確認する。                    | 貫通部の位置は図ト-W1建-21のとおりであること。                                                                  |
| 堰           | 鉄筋コンクリート                  | 材料                            | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                          | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                                                                    |
|             |                           | 寸法                            | 堰の寸法(高さ)を測定又は関係書類等により確認する。                    | 堰の高さが別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                                                                  |
|             |                           | 配置                            | 堰の配置を目視又は関係書類等により確認する。                        | 堰の配置が図ト-W1建-21のとおりであること。                                                                    |
| 地下貯蔵ピット     | 鉄筋コンクリート壁・床               | 材料                            | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                          | 材料が別表ト-W1建-1-5のとおりであること。                                                                    |
|             |                           | 配置                            | 配置を目視又は関係書類等により確認する。                          | 地下貯槽ピットの配置が図ト-W1建-22(4)のとおりであること。                                                           |
|             |                           | 外観                            | 地下貯槽ピット壁(床面から高さ2mまで)及び床の仕上げを目視又は関係書類等により確認する。 | 別表ト-W1建-1-5に示すウランが浸透しにくく、除染が容易で腐食しにくい材料で仕上げていること。                                           |
| 火災区域屋外境界貫通部 | 電気・計装ケーブル                 | 外観                            | 火災区域屋外境界の貫通部の外観を目視又は関係書類等により確認する。             | 貫通部に隙間がなく、耐熱シール材等の国土交通大臣の認定を受けたもので施工していること。                                                 |
|             |                           | 配置                            | 火災区域屋外境界の貫通部の位置を目視又は関係書類等により確認する。             | 貫通部の位置は図ト-W1建-20(1)、図ト-W1建-20(2)のとおりであること。                                                  |
|             | 配管、ダクト                    | 外観                            | 火災区域屋外境界の貫通部の外観を目視又は関係書類等により確認する。             | 貫通部に隙間がなく、モルタルその他の不燃材料で施工していること。                                                            |
|             |                           | 配置                            | 火災区域屋外境界の貫通部の位置を目視又は関係書類等により確認する。             | 貫通部の位置は図ト-W1建-20(1)、図ト-W1建-20(2)のとおりであること。                                                  |

(1) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。

(2) 検査の判定基準となる数値の施工誤差は、日本建築学会等の基準による許容差とする。

第トー４表 建物・構築物に係る検査の方法（１／２）

| 検査の項目                                                                 |       | 検査の方法 <sup>(1)(2)(4)</sup> |                                                      | 判定基準 <sup>(3)</sup>                                           |
|-----------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------|------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| ｂ．第３廃棄物貯蔵棟<br>①外部扉の改造<br>（図トーｂ－１全体工事フロー、図トーｂ－１－１、図トーｂ－１－１－１個別工事フロー参照） | 検査１－１ | 外観                         | F1 竜巻対策扉の外観を目視又は関係書類等により確認する。(改造)                    | F1 竜巻対策扉の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                 |
|                                                                       |       | 材料                         | F1 竜巻対策扉の強度部材の材質、形状及び配置（骨組）を目視、測長又は関係書類等により確認する。(改造) | F1 竜巻対策扉の強度部材の材質、形状及び配置（骨組）が別表トーW3建－１－１及び図トーW3建－１－１のとおりであること。 |
|                                                                       |       | 寸法                         | F1 竜巻対策扉の形状及び寸法を目視、測長又は関係書類等により確認する。(改造)             | F1 竜巻対策扉の形状及び寸法が図トーW3建－１－０及び図トーW3建－１－１のとおりであること。              |
|                                                                       | 検査１－２ | 外観                         | 設置後のF1 竜巻対策扉の外観を目視又は関係書類等により確認する。(改造)                | F1 竜巻対策扉の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                 |
|                                                                       |       | 配置                         | F1 竜巻対策扉の配置を目視又は関係書類等により確認する。(改造)                    | F1 竜巻対策扉の配置が図トーW3建－８のとおりであること。                                |
|                                                                       |       | 員数                         | F1 竜巻対策扉の員数を目視又は関係書類等により確認する。(改造)                    | F1 竜巻対策扉の員数が図トーW3建－９のとおりであること。                                |

- (1) 「(改造)」は本申請において工事を実施し改造した部分を示し、「(既設)」は改造を伴わない部分を示し、「(撤去)」は工事を実施し撤去した部分を示す。
- (2) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。
- (3) 検査の判定基準となる数値の施工誤差は、日本建築学会等の基準による許容差とする。
- (4) 材料証明書、関係書類等記録により確認できるものは、工事中又は工事後に検査を行う場合がある。

第ト-4表 建物・構築物に係る検査の方法(2/2)

| 検査の項目                                                         |       | 検査の方法 <sup>(1)(3)</sup>            |                                    | 判定基準 <sup>(2)</sup>                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| b. 第3廃棄物貯蔵棟<br>②W3防護壁の新設<br>(図ト-b-1全体工事フロー、図ト-b-1-2個別工事フロー参照) | 検査2-1 | 寸法                                 | 均しコンクリートのレベルを測定又は関係書類等により確認する。     | (コンクリート打設後では厚みが測定できない基礎中央部等について、検査2-1で基準レベルから均しコンクリート面までのレベル差を測定しておき、検査2-6で同一の基準レベルから基礎スラブ天面までのレベル差を測定し、差分により基礎の厚みを求めるための事前測定を実施する。) |
|                                                               | 検査2-2 | 外観                                 | 鉄筋の外観を目視又は関係書類等により確認する。            | 鉄筋の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                                                                                              |
|                                                               |       | 材料                                 | 鉄筋の材質及び呼び径を目視、測長又は関係書類等により確認する。    | 鉄筋の材質及び呼び径が別表ト-W3建-1-2のとおりであること。                                                                                                     |
|                                                               | 検査2-3 | 外観                                 | 鉄筋の外観を目視又は関係書類等により確認する。            | 鉄筋の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                                                                                              |
|                                                               |       | 寸法                                 | 鉄筋の呼び径及び配筋ピッチを目視、測長又は関係書類等により確認する。 | 配筋の呼び径及び配筋ピッチが図ト-W3建-1-2のとおりであること。                                                                                                   |
|                                                               | 検査2-4 | 寸法                                 | 型枠の内寸(コンクリート寸法)を測長又は関係書類等により確認する。  | 型枠の内寸(コンクリート寸法)が図ト-W3建-1-2のとおりであること。                                                                                                 |
|                                                               | 検査2-5 | 材料                                 | コンクリートの圧縮強度を関係書類等により確認する。          | コンクリートの圧縮強度が $\geq 20$ N/mm <sup>2</sup> 以上であること。                                                                                    |
|                                                               | 検査2-6 | 外観                                 | 脱型後のコンクリートの外観を目視又は関係書類等により確認する。    | 脱型後のコンクリート表面の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                                                                                    |
| 寸法                                                            |       | 壁の形状、寸法及び壁の厚みを目視、測長又は関係書類等により確認する。 | 壁の形状、寸法及び壁の厚みが図ト-W3建-1-2のとおりであること。 |                                                                                                                                      |
| 検査2-7                                                         | 外観    | 躯体部分の仕上げ工事後の外観を目視又は関係書類等により確認する。   | 仕上げ面に使用上有害な傷及び変形がないこと。             |                                                                                                                                      |

(1) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。

(2) 検査の判定基準となる数値の施工誤差は、日本建築学会等の基準による許容差とする。

(3) 材料証明書、関係書類等記録により確認できるものは、工事中又は工事後に検査を行う場合がある。

第ト-5表 建物・構築物に係る検査の方法（1/2）（b. 第3廃棄物貯蔵棟（既設部分））

| 検査の項目             |          | 検査の方法 <sup>(1)</sup>                                    |                                                                    | 判定基準 <sup>(2)</sup>                                                           |
|-------------------|----------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 建物                | 配置       | 建物の配置を目視又は関係書類等により確認する。                                 |                                                                    | 建物の配置が図ト-1-1-1のとおりであること。                                                      |
|                   | 員数       | 建物の員数を目視又は関係書類等により確認する。                                 |                                                                    | 建物の員数が1であること。                                                                 |
|                   | 配置       | 第3廃棄物貯蔵棟と火災源中心との離隔距離を測長又は関係書類等により確認する。                  |                                                                    | 離隔距離が、図ト-W1建-15、図ト-W1建-17に示す危険距離以上であること。                                      |
|                   | 配置       | 第3廃棄物貯蔵棟と爆発源中心との離隔距離を測長又は関係書類等により確認する。                  |                                                                    | 離隔距離が、図ト-W1建-16、図ト-W1建-18に示す危険限界距離以上又は一般高圧ガス保安規則で定める第一種設備距離の2倍以上であること。        |
| 杭                 | 鉄筋コンクリート | 材料                                                      | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                               | 材料が別表ト-W3建-1-3のとおりであること。                                                      |
|                   |          | 寸法                                                      | 鉄筋コンクリート杭の寸法を測長又は関係書類等により確認する。                                     | 鉄筋コンクリート杭が別表ト-W3建-1-3のとおりであること。                                               |
|                   |          | 配置                                                      | 支持層に杭が到達していること（N値30以上を確認した層で杭を支持しているか）を関係書類等により確認する。               | 図ト-W3建-6のとおり、杭がN値30以上の支持層に到達していること。                                           |
| 基礎                | 鉄筋コンクリート | 材料                                                      | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                               | 材料が別表ト-W3建-1-3のとおりであること。                                                      |
| 構面（柱・はり・壁で構成される面） | 配置       | 構面を目視又は関係書類等により確認する。                                    |                                                                    | 構面が図ト-W3建-18及び図ト-W3建-19のとおりであること。                                             |
| 柱                 | 鉄骨       | 材料                                                      | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                               | 材料が別表ト-W3建-1-3のとおりであること。                                                      |
|                   |          |                                                         | 鉄骨の形状、寸法を目視、測長又は関係書類等により確認する。                                      | 鉄骨の形状、寸法が図ト-W3建-20(3)のとおりであること。                                               |
|                   | 鉄筋コンクリート | 材料                                                      | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                               | 材料が別表ト-W3建-1-3のとおりであること。                                                      |
|                   |          |                                                         | コンクリートの圧縮強度を関係書類等により確認する。                                          | コンクリートの圧縮強度が $\geq 20$ N/mm <sup>2</sup> 以上であること。                             |
|                   |          | 寸法                                                      | 鉄筋の配筋ピッチを関係書類等により確認する。<br>柱の形状、寸法を目視、測長又は関係書類等により確認する。             | 鉄筋の配筋ピッチが図ト-W3建-20(3)のとおりであること。<br>柱の形状、寸法が図ト-W3建-20(3)のとおりであること。             |
| はり                | 鉄骨       | 材料                                                      | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                               | 材料が別表ト-W3建-1-3のとおりであること。                                                      |
|                   |          |                                                         | 鉄骨の形状、寸法を目視、測長又は関係書類等により確認する。                                      | 鉄骨の形状、寸法が図ト-W3建-20(4)のとおりであること。                                               |
|                   | 鉄筋コンクリート | 寸法                                                      | 鉄筋の配筋ピッチを関係書類等により確認する。                                             | 鉄筋の配筋ピッチが図ト-W3建-20(4)のとおりであること。                                               |
|                   |          | 材料                                                      | 材料を目視又は関係書類等により確認する。<br>コンクリートの圧縮強度を関係書類等により確認する。                  | 材料が別表ト-W3建-1-3のとおりであること。<br>コンクリートの圧縮強度が $\geq 20$ N/mm <sup>2</sup> 以上であること。 |
|                   | 寸法       | 鉄筋の配筋ピッチを関係書類等により確認する。<br>はりの形状、寸法を目視、測長又は関係書類等により確認する。 | 鉄筋の配筋ピッチが図ト-W3建-20(4)のとおりであること。<br>はりの形状、寸法が図ト-W3建-20(4)のとおりであること。 |                                                                               |

(1) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。

(2) 検査の判定基準となる数値の施工誤差は、日本建築学会等の基準による許容差とする。



第トー5表 建物・構築物に係る検査の方法（2/2）（b. 第3廃棄物貯蔵棟（既設部分））

| 検査の項目                  |                                                                                     | 検査の方法 <sup>(1)</sup> |                                                                         | 判定基準 <sup>(2)</sup>                                      |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 壁                      | 鉄筋コンクリート壁                                                                           | 材料                   | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表トーW3建-1-3のとおりであること。                                 |
|                        |                                                                                     |                      | コンクリートの圧縮強度を関係書類等により確認する。                                               | コンクリートの圧縮強度が $\geq$ $\square$ N/mm <sup>2</sup> 以上であること。 |
|                        |                                                                                     |                      | コンクリートの密度を関係書類等により確認する。                                                 | コンクリートの気乾単位容積質量が $\geq$ $\square$ 以上であること。               |
|                        |                                                                                     | 寸法                   | 鉄筋の配筋ピッチを関係書類等により確認する。                                                  | 鉄筋の配筋ピッチが図トーW3建-20(5)のとおりであること。                          |
| 壁の厚さを測長又は関係書類等により確認する。 | 壁の厚さが図トーW3建-17のとおりであること。また、図トーW3建-21に示す遮蔽能力を有する壁は、設計確認値以上の厚さであること。                  |                      |                                                                         |                                                          |
| 床                      | 鉄筋コンクリート                                                                            | 材料                   | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表トーW3建-1-3のとおりであること。                                 |
|                        |                                                                                     |                      | コンクリートの圧縮強度を関係書類等により確認する。                                               | コンクリートの圧縮強度が $\geq$ $\square$ N/mm <sup>2</sup> 以上であること。 |
|                        |                                                                                     |                      | コンクリートの密度を関係書類等により確認する。                                                 | コンクリートの気乾単位容積質量が $\geq$ $\square$ 以上であること。               |
|                        |                                                                                     | 寸法                   | 鉄筋の配筋ピッチを関係書類等により確認する。                                                  | 鉄筋の配筋ピッチが図トーW3建-20(4)のとおりであること。                          |
| 床の厚さを測長又は関係書類等により確認する。 | 床の厚さが図トーW3建-16(3)及び図トーW3建-16(4)のとおりであること。また、図トーW3建-21に示す遮蔽能力を有する床は、設計確認値以上の厚さであること。 |                      |                                                                         |                                                          |
|                        | 土間コンクリート                                                                            | 材料                   | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表トーW3建-1-3のとおりであること。                                 |
| 屋根                     | 鉄筋コンクリート                                                                            | 材料                   | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表トーW3建-1-3のとおりであること。                                 |
|                        |                                                                                     |                      | コンクリートの圧縮強度を関係書類等により確認する。                                               | コンクリートの圧縮強度が $\geq$ $\square$ N/mm <sup>2</sup> 以上であること。 |
|                        |                                                                                     |                      | コンクリートの密度を関係書類等により確認する。                                                 | コンクリートの気乾単位容積質量が $\geq$ $\square$ 以上であること。               |
|                        |                                                                                     | 寸法                   | 鉄筋の配筋ピッチを関係書類等により確認する。                                                  | 鉄筋の配筋ピッチが図トーW3建-20(4)のとおりであること。                          |
|                        | 屋根の厚さを測長又は関係書類等により確認する。                                                             |                      | 屋根の厚さが図トーW3建-16(4)のとおりであること。また、図トーW3建-21に示す遮蔽能力を有する屋根は、設計確認値以上の厚さであること。 |                                                          |
|                        | アスファルト防水層                                                                           | 材料                   | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表トーW3建-1-3のとおりであること。                                 |
|                        | ベンチレータ                                                                              | 材料                   | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表トーW3建-1-3のとおりであること。                                 |
| 階段                     | 鉄骨                                                                                  | 材料                   | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表トーW3建-1-3のとおりであること。                                 |
| 開口部                    | ガラリ                                                                                 | 材料                   | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表トーW3建-1-3のとおりであること。                                 |
|                        | 防火板                                                                                 | 材料                   | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が図トーW3建-9のとおりであること。                                    |
|                        |                                                                                     | 配置                   | 防火板の配置を目視又は関係書類等により確認する。                                                | 防火板の配置が図トーW3建-14のとおりであること。                               |
| 梯子                     | 梯子                                                                                  | 材料                   | 材料を目視又は関係書類等により確認する。                                                    | 材料が別表トーW3建-1-3のとおりであること。                                 |
|                        |                                                                                     | 外観                   | 梯子の据付状態を目視又は関係書類等により確認する。                                               | 梯子を建物部材に固定していること。                                        |

(1) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。

(2) 検査の判定基準となる数値の施工誤差は、日本建築学会等の基準による許容差とする。

第トー6表 設備・機器に係る試験及び検査の項目 (1/10)

| 施設区分                | 設置場所    | 設備・機器名称                         | 機器名                       | 変更内容        | 第1号検査 |    |    |                  |    |    | 第2号検査 |    |     |    |      |    |
|---------------------|---------|---------------------------------|---------------------------|-------------|-------|----|----|------------------|----|----|-------|----|-----|----|------|----|
|                     |         |                                 |                           |             | 外観    | 配置 | 員数 | 据付               | 材料 | 系統 | 面速    | 負圧 | IL* | 作動 | 処理能力 |    |
| 放射性<br>廃棄物の<br>廃棄施設 | 第2加工棟   | 第2排風機室                          | 気体廃棄設備 No.1 系統I (部屋排気系統)  | 排風機 (301-F) | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①                | ①  | ①  | ①     | —  | —   | ①  | ①    | ②③ |
|                     |         |                                 | 気体廃棄設備 No.1 系統II (部屋排気系統) | 排風機 (302-F) | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①                | ①  | ①  | ①     | —  | —   | ①  | ①    | ②③ |
|                     |         |                                 | 気体廃棄設備 No.1 系統V (局所排気系統)  | 排風機 (305-F) | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①                | ①  | ①  | ①②    | —  | —   | ①  | ①    | ②③ |
|                     | 第2フィルタ室 | 気体廃棄設備 No.1 系統I (部屋排気系統)        | フィルタユニット (FU-401)         | 変更なし        | ①     | ①  | ①  | ①                | ①  | ①  | —     | —  | —   | —  | ④    |    |
|                     |         | 気体廃棄設備 No.1 系統II (部屋排気系統)       | フィルタユニット (FU-402)         | 変更なし        | ①     | ①  | ①  | ①                | ①  | ①  | —     | —  | —   | —  | ④    |    |
|                     |         | 気体廃棄設備 No.1 系統V (局所排気系統)        | フィルタユニット (FU-405)         | 変更なし        | ①     | ①  | ①  | ①                | ①  | ①  | —     | —  | —   | —  | ④    |    |
|                     | 系統V     | 気体廃棄設備 No.1 系統V (局所排気系統)        | フィルタユニット (設備排気用)          | 改造          | ①     | ①  | ①  | ①                | ①  | ①  | —     | —  | —   | —  | ④    |    |
|                     | 系統I     | 気体廃棄設備 No.1 系統I (部屋排気系統)        | ダクト <sup>(1)</sup>        | 改造          | ①     | ①  | —  | ④⑥               | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |    |
|                     |         | 気体廃棄設備 No.1 系統I (部屋排気系統)        | 閉じ込め弁                     | 変更なし        | ①     | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |    |
|                     |         | 気体廃棄設備 No.1 系統I (部屋排気系統)        | 閉じ込めダンパー                  | 改造          | ①⑦    | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | ①   | —  | —    |    |
|                     |         | 気体廃棄設備 No.1 系統I (部屋排気系統)        | 閉じ込めダンパー (ワンスルー運転切替用)     | 改造          | ①⑦    | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | ①   | —  | —    |    |
|                     |         | 気体廃棄設備 No.1 系統I (部屋排気系統)        | 閉じ込めダンパー (リサイクル運転切替用)     | 変更なし        | ①⑦    | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | ①   | —  | —    |    |
|                     | 系統II    | 気体廃棄設備 No.1 系統II (部屋排気系統)       | ダクト <sup>(1)</sup>        | 改造          | ①     | ①  | —  | ④⑥               | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |    |
|                     |         | 気体廃棄設備 No.1 系統II (部屋排気系統)       | 閉じ込め弁                     | 変更なし        | ①     | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |    |
|                     |         | 気体廃棄設備 No.1 系統II (部屋排気系統)       | 閉じ込めダンパー                  | 改造          | ①⑦    | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | ①   | —  | —    |    |
|                     | 系統V     | 気体廃棄設備 No.1 系統V (局所排気系統)        | ダクト <sup>(1)</sup>        | 改造          | ①     | ①  | —  | ④⑥               | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |    |
|                     |         | 気体廃棄設備 No.1 系統V (局所排気系統)        | 閉じ込め弁                     | 変更なし        | ①     | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |    |
|                     |         | 気体廃棄設備 No.1 系統V (局所排気系統)        | 閉じ込めダンパー                  | 改造          | ①⑦    | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | ①   | —  | —    |    |
|                     | 第2排風機室  | 気体廃棄設備 No.1 系統I 系統II 系統V (給気系統) | 給気ユニット (201AC)            | 変更なし        | ①⑦    | ①  | ①  | ④                | ①  | ①  | —     | —  | ①   | —  | —    |    |

第トー6表 設備・機器に係る試験及び検査の項目 (2/10)

| 施設区分                | 設置場所    | 設備・機器名称                       | 機器名                               | 変更内容               | 第1号検査 |    |    |     |                  |    | 第2号検査 |    |     |    |      |    |   |
|---------------------|---------|-------------------------------|-----------------------------------|--------------------|-------|----|----|-----|------------------|----|-------|----|-----|----|------|----|---|
|                     |         |                               |                                   |                    | 外観    | 配置 | 員数 | 据付  | 材料               | 系統 | 面速    | 負圧 | IL* | 作動 | 処理能力 |    |   |
| 放射性<br>廃棄物の<br>廃棄施設 | 第2加工棟   | 給気系統                          | 気体廃棄設備 No.1 系統I<br>系統II系統V (給気系統) | ダクト <sup>(1)</sup> | 改造    | ①  | ①  | —   | ④⑥               | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |   |
|                     |         |                               | 気体廃棄設備 No.1 系統I<br>系統II系統V (給気系統) | 閉じ込め弁              | 変更なし  | ①  | ①  | ①   | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  | — |
|                     |         |                               | 気体廃棄設備 No.1 系統I<br>系統II系統V (給気系統) | 閉じ込めダンパー           | 改造    | ①⑦ | ①  | ①   | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | —  | — |
|                     | —       | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統I<br>系統II系統V        | 差圧計                | 改造    | ①⑦ | ①  | ①   | ④                | ④  | —     | —  | —   | ①  | ①    | ③  |   |
|                     | 第2排風機室  | 気体廃棄設備 No.1 系統III<br>(部屋排気系統) | 排風機 (303-F)                       | 変更なし               | ①⑦    | ①  | ①  | ①   | ①                | ①  | ①     | —  | —   | ①  | ①    | ②③ |   |
|                     |         | 気体廃棄設備 No.1 系統VI<br>(局所排気系統)  | 排風機 (306-F)                       | 変更なし               | ①⑦    | ①  | ①  | ①   | ①                | ①② | —     | —  | ①   | ①  | ②③   |    |   |
|                     | 第2フィルタ室 | 気体廃棄設備 No.1 系統III<br>(部屋排気系統) | フィルタユニット (FU-403)                 | 変更なし               | ①     | ①  | ①  | ①   | ①                | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | ④  |   |
|                     |         | 気体廃棄設備 No.1 系統VI<br>(局所排気系統)  | フィルタユニット (FU-406)                 | 更新                 | ①②    | ①  | ①  | ①②③ | ①                | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | ④  |   |
|                     | 系統VI    | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統VI<br>(局所排気系統)      | フィルタユニット (設備排気用)   | 改造    | ①  | ①  | ①   | ④                | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | ④  |   |
|                     | 系統III   | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統III<br>(部屋排気系統)     | ダクト <sup>(1)</sup> | 改造    | ①  | ①  | —   | ④⑥               | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |   |
|                     |         | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統III<br>(部屋排気系統)     | 閉じ込め弁              | 変更なし  | ①  | ①  | ①   | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |   |
|                     |         | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統III<br>(部屋排気系統)     | 閉じ込めダンパー           | 改造    | ①⑦ | ①  | ①   | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | —  |   |
|                     | 系統VI    | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統VI<br>(局所排気系統)      | ダクト <sup>(1)</sup> | 改造    | ①  | ①  | —   | ④⑥               | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |   |
|                     |         | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統VI<br>(局所排気系統)      | 閉じ込め弁              | 変更なし  | ①  | ①  | ①   | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |   |
|                     |         | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統VI<br>(局所排気系統)      | 閉じ込めダンパー           | 改造    | ①⑦ | ①  | ①   | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | —  |   |
|                     | 第2排風機室  | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統III<br>系統VI (給気系統)  | 給気ユニット (202AC)     | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①   | ④                | ①  | ①     | —  | —   | ①  | —    | —  |   |
|                     | 給気系統    | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統III<br>系統VI (給気系統)  | ダクト <sup>(1)</sup> | 変更なし  | ①  | ①  | —   | ④⑥               | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |   |
|                     |         | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統III<br>系統VI (給気系統)  | 閉じ込め弁              | 変更なし  | ①  | ①  | ①   | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |   |
|                     |         | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統III<br>系統VI (給気系統)  | 閉じ込めダンパー           | 改造    | ①⑦ | ①  | ①   | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | —  |   |
|                     | —       | —                             | 気体廃棄設備 No.1 系統III<br>系統VI         | 差圧計                | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①   | ④                | ④  | ①     | —  | —   | ①  | ①    | ③  |   |

第トー6表 設備・機器に係る試験及び検査の項目 (3/10)

| 施設区分                | 設置場所  | 設備・機器名称 | 機器名                            | 変更内容                      | 第1号検査 |    |    |    |                  |    | 第2号検査 |    |     |    |      |    |
|---------------------|-------|---------|--------------------------------|---------------------------|-------|----|----|----|------------------|----|-------|----|-----|----|------|----|
|                     |       |         |                                |                           | 外観    | 配置 | 員数 | 据付 | 材料               | 系統 | 面速    | 負圧 | IL* | 作動 | 処理能力 |    |
| 放射性<br>廃棄物の<br>廃棄施設 | 第2加工棟 | 第2排風機室  | 気体廃棄設備 No.1 系統IV<br>(部屋排気系統)   | 排風機 (304-F)               | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①  | ①                | ①  | ①     | —  | —   | ①  | ①    | ②③ |
|                     |       | 第2フィルタ室 | 気体廃棄設備 No.1 系統IV<br>(部屋排気系統)   | フィルタユニット (FU-404)         | 変更なし  | ①  | ①  | ①  | ①                | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | ④  |
|                     |       | 系統IV    | 気体廃棄設備 No.1 系統IV<br>(部屋排気系統)   | ダクト <sup>(1)</sup>        | 改造    | ①  | ①  | —  | ④⑥               | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |
|                     |       |         | 気体廃棄設備 No.1 系統IV<br>(部屋排気系統)   | 閉じ込め弁                     | 変更なし  | ①  | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |
|                     |       |         | 気体廃棄設備 No.1 系統IV<br>(部屋排気系統)   | 閉じ込めダンパー                  | 改造    | ①⑦ | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | —  |
|                     |       | 第2排風機室  | 気体廃棄設備 No.1 系統IV<br>(給気系統)     | 給気ユニット (203SU)            | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①  | ④                | ①  | ①     | —  | —   | ①  | —    | —  |
|                     |       | 給気系統    | 気体廃棄設備 No.1 系統IV<br>(給気系統)     | ダクト <sup>(1)</sup>        | 改造    | ①  | ①  | —  | ④⑥               | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |
|                     |       |         | 気体廃棄設備 No.1 系統IV<br>(給気系統)     | 閉じ込め弁                     | 変更なし  | ①  | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |
|                     |       |         | 気体廃棄設備 No.1 系統IV<br>(給気系統)     | 閉じ込めダンパー                  | 改造    | ①⑦ | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | —  |
|                     |       | —       | 気体廃棄設備 No.1 系統IV               | 差圧計                       | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①  | ④                | ④  | ①     | —  | —   | ①  | ①    | ③  |
|                     |       | 第2排風機室  | 気体廃棄設備 No.1 系統VII<br>(部屋排気系統)  | 排風機 (307-F)               | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①  | ①                | ①  | ①     | —  | —   | ①  | ①    | ②③ |
|                     |       |         | 気体廃棄設備 No.1 系統VIII<br>(局所排気系統) | 排風機 (308-F)               | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①  | ①                | ①  | ①②    | —  | —   | ①  | ①    | ②③ |
|                     |       | 第2フィルタ室 | 気体廃棄設備 No.1 系統VII<br>(部屋排気系統)  | フィルタユニット (FU-407)         | 変更なし  | ①  | ①  | ①  | ①                | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | ④  |
|                     |       |         | 気体廃棄設備 No.1 系統VIII<br>(局所排気系統) | フィルタユニット (FU-408)         | 変更なし  | ①  | ①  | ①  | ①                | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | ④  |
|                     |       | 系統VIII  | 気体廃棄設備 No.1 系統VIII<br>(局所排気系統) | フィルタユニット (設備<br>排気用)      | 改造    | ①② | ①  | ①  | ④                | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | ④  |
|                     |       | 系統VII   | 気体廃棄設備 No.1 系統VII<br>(部屋排気系統)  | ダクト <sup>(1)</sup>        | 改造    | ①  | ①  | —  | ④⑥               | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |
|                     |       |         | 気体廃棄設備 No.1 系統VII<br>(部屋排気系統)  | 閉じ込め弁                     | 変更なし  | ①  | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | —  |
|                     |       |         | 気体廃棄設備 No.1 系統VII<br>(部屋排気系統)  | 閉じ込めダンパー                  | 改造    | ①⑦ | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | —  |
|                     |       |         | 気体廃棄設備 No.1 系統VII<br>(部屋排気系統)  | 閉じ込めダンパー (ワン<br>スルー運転切替用) | 改造    | ①⑦ | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | —  |
|                     |       |         | 気体廃棄設備 No.1 系統VII<br>(部屋排気系統)  | 閉じ込めダンパー (リサ<br>イクル運転切替用) | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | —  |

第トー6表 設備・機器に係る試験及び検査の項目 (4/10)

| 施設区分                | 設置場所       | 設備・機器名称 | 機器名                           | 変更内容               | 第1号検査      |                  |     |    |                  |    | 第2号検査 |    |     |    |      |   |   |
|---------------------|------------|---------|-------------------------------|--------------------|------------|------------------|-----|----|------------------|----|-------|----|-----|----|------|---|---|
|                     |            |         |                               |                    | 外観         | 配置               | 員数  | 据付 | 材料               | 系統 | 面速    | 負圧 | IL* | 作動 | 処理能力 |   |   |
| 放射性<br>廃棄物の<br>廃棄施設 | 第2加工棟      | 系統Ⅷ     | 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅷ<br>(局所排気系統)   | ダクト <sup>(1)</sup> | 改造         | ①⑥               | ①   | —  | ④⑥               | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — |   |
|                     |            |         | 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅷ<br>(局所排気系統)   | 閉じ込め弁              | 変更なし       | ①                | ①   | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — | — |
|                     |            |         | 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅷ<br>(局所排気系統)   | 閉じ込めダンパー           | 改造         | ①⑦               | ①   | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | — | — |
|                     | 第2排風機室     | 給気系統    | 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅶ<br>系統Ⅷ (給気系統) | 給気ユニット (204AC)     | 変更なし       | ①⑦               | ①   | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ①  | ①     | —  | —   | ①  | —    | — | — |
|                     |            |         | 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅶ<br>系統Ⅷ (給気系統) | ダクト <sup>(1)</sup> | 改造         | ①                | ①   | —  | ④⑥               | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — | — |
|                     |            |         | 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅶ<br>系統Ⅷ (給気系統) | 閉じ込め弁              | 変更なし       | ①                | ①   | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — | — |
|                     | —          | —       | 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅶ<br>系統Ⅷ (給気系統) | 閉じ込めダンパー           | 改造         | ①⑦               | ①   | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | — | — |
|                     |            |         | 気体廃棄設備 No.1 系統Ⅶ<br>系統Ⅷ        | 差圧計                | 変更なし       | ①⑦               | ①   | ①  | ④                | ④  | ①     | —  | —   | ①  | ①    | ③ |   |
|                     |            |         | 緊急設備                          | 防火ダンパー             | 改造         | ①②               | ①   | ①  | ④                | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — |   |
|                     | —          | —       | 緊急設備                          | 遮水板                | 新設         | — <sup>(3)</sup> | —   | —  | —                | —  | —     | —  | —   | —  | —    | — |   |
|                     | 第2-1ペレット室  | —       | —                             | 第1廃液処理設備           | 凝集沈殿槽 No.1 | 改造               | ①③⑦ | ①  | ①                | ④  | ①②    | —  | —   | —  | —    | — | — |
|                     |            |         |                               | 第1廃液処理設備           | 凝集沈殿槽 No.2 | 変更なし             | ①③⑦ | ①  | ①                | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — | — |
|                     |            |         |                               | 第1廃液処理設備           | 凝集沈殿槽 No.3 | 変更なし             | ①③⑦ | ①  | ①                | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — | — |
|                     |            |         |                               | 第1廃液処理設備           | 凝集沈殿槽 No.4 | 変更なし             | ①③⑦ | ①  | ①                | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — | — |
|                     |            |         |                               | 第1廃液処理設備           | 遠心分離機 No.1 | 変更なし             | ①③⑦ | ①  | ①                | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — | — |
|                     |            |         |                               | 第1廃液処理設備           | 遠心分離機 No.2 | 変更なし             | ①③⑦ | ①  | ①                | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — | — |
|                     |            |         |                               | 第1廃液処理設備           | 遠心分離機 No.3 | 変更なし             | ①③⑦ | ①  | ①                | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — | — |
|                     |            |         |                               | 第1廃液処理設備           | 遠心分離機 No.4 | 変更なし             | ①③⑦ | ①  | ①                | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — | — |
|                     |            |         |                               | 第1廃液処理設備           | 遠心ろ過機 No.1 | 変更なし             | ①③⑦ | ①  | ①                | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — | — |
| 第1廃液処理設備            | 遠心ろ過機 No.2 | 変更なし    | ①③⑦                           | ①                  | ①          | ④                | ①   | —  | —                | —  | —     | —  | —   |    |      |   |   |

第トー6表 設備・機器に係る試験及び検査の項目 (5/10)

| 施設区分                | 設置場所     | 設備・機器名称   | 機器名      | 変更内容      | 第1号検査 |     |    |    |    |    | 第2号検査 |    |     |    |      |   |
|---------------------|----------|-----------|----------|-----------|-------|-----|----|----|----|----|-------|----|-----|----|------|---|
|                     |          |           |          |           | 外観    | 配置  | 員数 | 据付 | 材料 | 系統 | 面速    | 負圧 | IL* | 作動 | 処理能力 |   |
| 放射性<br>廃棄物の<br>廃棄施設 | 第2加工棟    | 第2-1ペレット室 | 第1廃液処理設備 | ろ過水槽 No.1 | 変更なし  | ①③⑦ | ①  | ①  | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | ①    | — |
|                     |          |           | 第1廃液処理設備 | ろ過水槽 No.2 | 変更なし  | ①③⑦ | ①  | ①  | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | ①    | — |
|                     |          |           | 第1廃液処理設備 | 処理水槽 No.1 | 変更なし  | ①③⑦ | ①  | ①  | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | ①    | — |
|                     |          |           | 第1廃液処理設備 | 処理水槽 No.2 | 変更なし  | ①③⑦ | ①  | ①  | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | ①    | — |
|                     |          |           | 第1廃液処理設備 | 処理水槽 No.3 | 変更なし  | ①③⑦ | ①  | ①  | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | ①    | — |
|                     |          |           | 第1廃液処理設備 | 処理水槽 No.4 | 変更なし  | ①③⑦ | ①  | ①  | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | ①    | — |
|                     |          |           | 第1廃液処理設備 | 配管        | 変更なし  | ①③  | —  | —  | ④  | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | — |
|                     | 第2分析室    | 分析廃液処理設備  | 反応槽      | 改造        | ①③⑦   | ①   | ①  | ④  | ②  | —  | —     | —  | —   | ①  | —    |   |
|                     |          | 分析廃液処理設備  | ろ過水貯槽    | 改造        | ①③⑦   | ①   | ①  | ④  | ②  | —  | —     | —  | —   | ①  | —    |   |
|                     |          | 分析廃液処理設備  | スラッジ乾燥機  | 変更なし      | ①⑦    | ①   | ①  | ④  | ①  | —  | —     | —  | —   | —  | —    |   |
|                     |          | 分析廃液処理設備  | 配管       | 改造        | ①③    | —   | —  | ④  | ②  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |   |
|                     | 第2開発室    | 開発室廃液処理設備 | 凝集沈殿槽    | 変更なし      | ①③⑦   | ①   | ①  | ④  | ①  | —  | —     | —  | —   | ①  | —    |   |
|                     |          | 開発室廃液処理設備 | 遠心分離機    | 変更なし      | ①③⑦   | ①   | ①  | ④  | ①  | —  | —     | —  | —   | —  | —    |   |
|                     |          | 開発室廃液処理設備 | 貯槽       | 変更なし      | ①③⑦   | ①   | ①  | ④  | ①  | —  | —     | —  | —   | ①  | —    |   |
|                     |          | 開発室廃液処理設備 | 配管       | 改造        | ①③    | —   | —  | ④  | ②  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |   |
|                     | 第2廃棄物処理室 | 第2廃液処理設備  | 集水槽      | 改造        | ①③⑦   | ①   | ①  | ④  | ①  | —  | —     | —  | —   | ①  | —    |   |
|                     |          | 第2廃液処理設備  | 集水槽 No.2 | 変更なし      | ①③⑦   | ①   | ①  | ④  | ①  | —  | —     | —  | —   | ①  | —    |   |
|                     |          | 第2廃液処理設備  | 凝集槽      | 改造        | ①③⑦   | ①   | ①  | ④  | ①  | —  | —     | —  | —   | ①  | —    |   |
|                     |          | 第2廃液処理設備  | 沈殿槽 No.1 | 改造        | ①③    | ①   | ①  | ④  | ①② | —  | —     | —  | —   | —  | —    |   |
|                     |          | 第2廃液処理設備  | タンク No.1 | 改造        | ①③⑦   | ①   | ①  | ④  | ①  | —  | —     | —  | —   | ①  | —    |   |
| 第2廃液処理設備            |          | 沈殿槽 No.2  | 改造       | ①③        | ①     | ①   | ④  | ①② | —  | —  | —     | —  | —   | —  |      |   |

第トー6表 設備・機器に係る試験及び検査の項目 (6/10)

| 施設区分                        | 設置場所         |                             | 設備・機器名称                     | 機器名                         | 変更内容          | 第1号検査 |    |    |    |    |    | 第2号検査 |    |     |    |      |    |
|-----------------------------|--------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---------------|-------|----|----|----|----|----|-------|----|-----|----|------|----|
|                             |              |                             |                             |                             |               | 外観    | 配置 | 員数 | 据付 | 材料 | 系統 | 面速    | 負圧 | IL* | 作動 | 処理能力 |    |
| 放射性<br>廃棄物の<br>廃棄施設         | 第2加工棟        | 第2廃棄物処理室                    | 第2廃液処理設備                    | タンク No.2                    | 改造            | ①③⑦   | ①  | ①  | ④  | ①  | —  | —     | —  | —   | ①  | —    |    |
|                             |              |                             | 第2廃液処理設備                    | 加圧脱水機                       | 変更なし          | ①③⑦   | ①  | ①  | ④  | ①  | —  | —     | —  | —   | —  | —    | —  |
|                             |              |                             | 第2廃液処理設備                    | スラッジ乾燥機                     | 改造            | ①⑦    | ①  | ①  | ④  | ①② | —  | —     | —  | —   | —  | —    | —  |
|                             |              |                             | 第2廃液処理設備                    | ろ過装置 No.1                   | 変更なし          | ①③    | ①  | ①  | ④  | ①  | —  | —     | —  | —   | —  | —    | —  |
|                             |              |                             | 第2廃液処理設備                    | ろ過装置 No.2                   | 改造            | ①③    | ①  | ①  | ④  | ①  | —  | —     | —  | —   | —  | —    | —  |
|                             |              |                             | 第2廃液処理設備                    | 受水槽 No.1                    | 改造            | ①③⑦   | ①  | ①  | ⑤  | ①  | —  | —     | —  | —   | —  | ①    | —  |
|                             |              |                             | 第2廃液処理設備                    | 配管                          | 改造            | ①③    | —  | —  | ④  | ②  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    | —  |
|                             |              |                             | 第2廃液処理設備貯留設備                | 貯留槽 No.1                    | 改造            | ①③⑦   | ①  | ①  | ⑤  | ①  | —  | —     | —  | —   | —  | ①    | —  |
|                             |              |                             | 第2廃液処理設備貯留設備                | 貯留槽 No.2                    | 改造            | ①③⑦   | ①  | ①  | ⑤  | ①  | —  | —     | —  | —   | —  | ①    | —  |
|                             |              |                             | 第2廃液処理設備貯留設備                | 貯留槽 No.3                    | 改造            | ①③⑦   | ①  | ①  | ⑤  | ①  | —  | —     | —  | —   | —  | ①    | —  |
|                             |              |                             | 第2廃液処理設備貯留設備                | 貯留槽 No.4                    | 改造            | ①③⑦   | ①  | ①  | ⑤  | ①  | —  | —     | —  | —   | —  | ①    | —  |
|                             | 第2廃液処理設備貯留設備 | 配管                          | 変更なし                        | ①③                          | —             | —     | ④  | ①  | ①  | —  | —  | —     | —  | —   | —  |      |    |
|                             | 第1廃棄物<br>貯蔵棟 | W1-1 排風機室                   | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>(部屋排気系統) | No.1 排風機                    | 変更なし          | ①⑦    | ①  | ①  | ①  | ①  | ①  | —     | —  | ①   | ①  | ②③   |    |
|                             |              |                             |                             | 気体廃棄設備 No.2 系統2<br>(局所排気系統) | No.2 排風機      | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①  | ①  | ①  | ①②    | —  | —   | ①  | ①    | ②③ |
|                             |              | W1-2 排風機室                   | 気体廃棄設備 No.2 系統3<br>(局所排気系統) | No.3 排風機                    | 変更なし          | ①⑦    | ①  | ①  | ①  | ①  | ①② | —     | —  | ①   | ①  | ②③   |    |
|                             |              |                             |                             | 気体廃棄設備 No.2 系統3<br>(局所排気系統) | No.4 排風機      | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①  | ①  | ①  | ①②    | —  | —   | ①  | ①    | ②③ |
|                             |              |                             |                             | 気体廃棄設備 No.2 系統4<br>(局所排気系統) | No.5 排風機      | 変更なし  | ①⑦ | ①  | ①  | ①  | ①  | ①②    | —  | —   | ①  | ①    | ②③ |
|                             |              | W1 廃棄物処理室                   | 気体廃棄設備 No.2 系統4<br>(局所排気系統) | No.6 排風機                    | 変更なし          | ①⑦    | ①  | ①  | ①  | ①  | ①② | —     | —  | ①   | ①  | ②③   |    |
|                             |              |                             |                             | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>(部屋排気系統) | No.1 フィルタユニット | 変更なし  | ①  | ①  | ①  | ①  | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | ④  |
|                             |              |                             |                             | 気体廃棄設備 No.2 系統2<br>(局所排気系統) | No.2 フィルタユニット | 変更なし  | ①  | ①  | ①  | ①  | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | ④  |
| 気体廃棄設備 No.2 系統3<br>(局所排気系統) |              |                             |                             | No.3 フィルタユニット               | 変更なし          | ①     | ①  | ①  | ①  | ①  | ①  | —     | —  | —   | —  | ④    |    |
|                             |              | 気体廃棄設備 No.2 系統3<br>(局所排気系統) | No.4 フィルタユニット               | 変更なし                        | ①             | ①     | ①  | ①  | ①  | ①  | —  | —     | —  | —   | ④  |      |    |

第トー6表 設備・機器に係る試験及び検査の項目 (7 / 10)

| 施設区分                | 設置場所         |          | 設備・機器名称                                   | 機器名                | 変更内容 | 第1号検査 |    |    |                  |    |    | 第2号検査 |    |     |    |      |
|---------------------|--------------|----------|-------------------------------------------|--------------------|------|-------|----|----|------------------|----|----|-------|----|-----|----|------|
|                     |              |          |                                           |                    |      | 外観    | 配置 | 員数 | 据付               | 材料 | 系統 | 面速    | 負圧 | IL* | 作動 | 処理能力 |
| 放射性<br>廃棄物の<br>廃棄施設 | 第1廃棄物<br>貯蔵棟 | W1廃棄物処理室 | 気体廃棄設備 No.2<br>系統3 (局所排気系統)               | No.5 フィルタユニット      | 変更なし | ①     | ①  | ①  | ①                | ①  | ①  | —     | —  | —   | —  | ④    |
|                     |              |          | 気体廃棄設備 No.2<br>系統4 (局所排気系統)               | No.6 フィルタユニット      | 改造   | ①     | ①  | ①  | ①                | ①  | ①  | —     | —  | —   | —  | ④    |
|                     |              |          | 気体廃棄設備 No.2<br>系統4 (局所排気系統)               | No.7 フィルタユニット      | 改造   | ①     | ①  | ①  | ①                | ①  | ①  | —     | —  | —   | —  | ④    |
|                     |              |          | 気体廃棄設備 No.2<br>系統4 (局所排気系統)               | No.8 フィルタユニット      | 改造   | ①②    | ①  | ①  | ①②③              | ①  | ①  | —     | —  | —   | —  | ④    |
|                     |              | 系統1      | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>(部屋排気系統)               | ダクト <sup>(1)</sup> | 改造   | ①     | ①  | —  | ④⑥               | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |
|                     |              |          | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>(部屋排気系統)               | 閉じ込め弁              | 変更なし | ①     | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |
|                     |              |          | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>(部屋排気系統)               | 閉じ込めダンパー           | 改造   | ①⑦    | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | ①   | —  | —    |
|                     |              | 系統2      | 気体廃棄設備 No.2 系統2<br>(局所排気系統)               | ダクト <sup>(1)</sup> | 改造   | ①     | ①  | ①  | ④⑥               | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |
|                     |              |          | 気体廃棄設備 No.2 系統2<br>(局所排気系統)               | 閉じ込め弁              | 変更なし | ①     | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |
|                     |              |          | 気体廃棄設備 No.2 系統2<br>(局所排気系統)               | 閉じ込めダンパー           | 改造   | ①⑦    | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | ①   | —  | —    |
|                     |              | 系統3      | 気体廃棄設備 No.2 系統3<br>(局所排気系統)               | ダクト <sup>(1)</sup> | 改造   | ①     | ①  | —  | ④⑥               | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |
|                     |              |          | 気体廃棄設備 No.2 系統3<br>(局所排気系統)               | 閉じ込め弁              | 変更なし | ①     | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |
|                     |              |          | 気体廃棄設備 No.2 系統3<br>(局所排気系統)               | 閉じ込めダンパー           | 改造   | ①⑦    | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | ①   | —  | —    |
|                     |              | 系統4      | 気体廃棄設備 No.2 系統4<br>(局所排気系統)               | ダクト <sup>(1)</sup> | 改造   | ①     | ①  | —  | ④⑥               | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |
|                     |              |          | 気体廃棄設備 No.2 系統4<br>(局所排気系統)               | 閉じ込め弁              | 変更なし | ①     | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |
|                     |              |          | 気体廃棄設備 No.2 系統4<br>(局所排気系統)               | 閉じ込めダンパー           | 改造   | ①⑦    | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | ①   | —  | —    |
|                     |              | 給気系統     | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>系統2 系統3 系統4 (自然<br>給気) | 閉じ込め弁              | 変更なし | ①     | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①  | —     | —  | —   | —  | —    |



第トー6表 設備・機器に係る試験及び検査の項目 (8/10)

| 施設区分                | 設置場所         | 設備・機器名称 | 機器名                                       | 変更内容               | 第1号検査                          |     |    |    |                  |    | 第2号検査 |    |     |    |      |   |
|---------------------|--------------|---------|-------------------------------------------|--------------------|--------------------------------|-----|----|----|------------------|----|-------|----|-----|----|------|---|
|                     |              |         |                                           |                    | 外観                             | 配置  | 員数 | 据付 | 材料               | 系統 | 面速    | 負圧 | IL* | 作動 | 処理能力 |   |
| 放射性<br>廃棄物の<br>廃棄施設 | 第1廃棄物<br>貯蔵棟 | 給気系統    | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>系統2 系統3 系統4 (給気<br>系統) | 閉じ込めダンパー           | 改造                             | ①⑦  | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | — |
|                     |              |         | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>系統2 系統3 系統4 (給気<br>系統) | 給気ファン              | 変更なし                           | ①⑦  | ①  | ①  | ④                | ①  | ①     | —  | —   | ①  | —    | — |
|                     |              |         | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>系統2 系統3 系統4 (給気<br>系統) | 給気フィルタ             | 変更なし                           | ①   | ①  | ①  | ④                | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | — |
|                     |              |         | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>系統2 系統3 系統4 (給気<br>系統) | ダクト <sup>(1)</sup> | 改造                             | ①   | ①  | —  | ④⑥               | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — |
|                     |              |         | 気体廃棄設備 No.2<br>系統3 (フィルタ冷却給気)             | 閉じ込め弁              | 変更なし                           | ①   | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — |
|                     |              |         | 気体廃棄設備 No.2<br>系統3 (フィルタ冷却給気)             | 閉じ込めダンパー           | 改造                             | ①⑦  | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | — |
|                     |              |         | 気体廃棄設備 No.2<br>系統3 (フィルタ冷却給気)             | 給気フィルタ             | 変更なし                           | ①   | ①  | ①  | ④                | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | — |
|                     |              |         | 気体廃棄設備 No.2<br>系統4 (急冷塔給気)                | 閉じ込め弁              | 変更なし                           | ①   | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — |
|                     |              |         | 気体廃棄設備 No.2<br>系統4 (急冷塔給気)                | 閉じ込めダンパー           | 改造                             | ①⑦  | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | — |
|                     |              |         | 気体廃棄設備 No.2<br>系統4 (急冷塔給気)                | 給気フィルタ             | 変更なし                           | ①   | ①  | ①  | ④                | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | — |
|                     |              |         | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>系統2 系統3 系統4 (自然<br>給気) | 閉じ込め弁              | 変更なし                           | ①   | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | —  | —    | — |
|                     |              |         | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>系統2 系統3 系統4 (自然<br>給気) | 閉じ込めダンパー           | 改造                             | ①⑦  | ①  | ①  | ④ <sup>(2)</sup> | ④  | ①     | —  | —   | ①  | —    | — |
|                     |              |         | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>系統2 系統3 系統4 (自然<br>給気) | 給気フィルタ             | 変更なし                           | ①   | ①  | ①  | ④                | ①  | ①     | —  | —   | —  | —    | — |
|                     |              |         | —                                         | —                  | 気体廃棄設備 No.2 系統1<br>系統2 系統3 系統4 | 差圧計 | 新設 | ①⑦ | ①                | ①  | ④     | ④  | ①   | —  | —    | ① |
| —                   | —            | 緊急設備    | 遮水板                                       | 新設                 | — <sup>(3)</sup>               | —   | —  | —  | —                | —  | —     | —  | —   | —  | —    |   |



第トー6表 設備・機器に係る試験及び検査の項目（10/10）

| 施設区分                | 設置場所         |                       | 設備・機器名称  | 機器名        | 変更内容 | 第1号検査 |    |    |    |    |    | 第2号検査 |    |     |    |      |   |
|---------------------|--------------|-----------------------|----------|------------|------|-------|----|----|----|----|----|-------|----|-----|----|------|---|
|                     |              |                       |          |            |      | 外観    | 配置 | 員数 | 据付 | 材料 | 系統 | 面速    | 負圧 | IL* | 作動 | 処理能力 |   |
| 放射性<br>廃棄物の<br>廃棄施設 | 第1廃棄物<br>貯蔵棟 | W1廃棄物処理室              | 湿式除染機    | 水洗除染タンク    | 改造   | ①③⑦   | ①  | ①  | ④  | ①② | —  | ①     | —  | —   | ①  | —    |   |
|                     |              |                       | 乾式除染機    | —          | 変更なし | ①⑦    | ①  | ①  | ④  | ①  | —  | ①     | —  | —   | —  | —    | — |
|                     |              |                       | ホイストクレーン | 2トンチェンブロック | 変更なし | ①⑦    | ①  | ①  | ①  | ①  | —  | —     | —  | —   | ①② | —    | — |
|                     | 第3廃棄物<br>貯蔵棟 | 第1廃棄物貯蔵室<br>W1廃棄物搬出入室 | ホイストクレーン | 1トンチェンブロック | 変更なし | ①⑦    | ①  | ①  | ①  | ①  | —  | —     | —  | —   | ①② | —    |   |
|                     |              |                       | 保管廃棄設備   | 廃棄物保管区域    | 変更なし | ①     | ①  | ①  | —  | —  | —  | —     | —  | —   | —  | ①    | — |
|                     |              |                       | ホイストクレーン | 1トンチェンブロック | 変更なし | ①⑦    | ①  | ①  | ①  | ①  | —  | —     | —  | —   | ①② | —    |   |

丸数字は、第トー7表 設備・機器に係る検査の方法の検査の方法に対応する。

\*：インターロック

- (1) 支持構造物を含む。
- (2) ダクトとの接続で支持されているものについては、ダクトとの接続部を対象とする。
- (3) 検査第リー7表にて検査を実施する。

第トー7表 設備・機器に係る検査の方法（1／3）

| 検査の項目  |    | 検査の方法 <sup>(1)(2)(3)</sup>                                                                      | 判定基準                                                                                                      |
|--------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設備配置検査 | 外観 | ①外観を目視又は関係書類等により確認する。(既設)(改造)                                                                   | ①-1 外観が各設備の仕様表及び添付図のとおりであること。<br>①-2 使用上、有害な傷及び変形等の欠陥のないこと。                                               |
|        |    | ②変更・追加・撤去した強度部材の外観を目視又は関係書類等により確認する。(改造)                                                        | ②-1 外観が各設備の仕様表及び添付図のとおりであること。<br>②-2 変更・追加する強度部材に使用上有害な傷及び変形等の欠陥がないこと。(溶接部を有する場合)<br>②-3 溶接部に変形及び欠陥がないこと。 |
|        |    | ③通水して漏えいが無いことを目視により確認する。(既設)(改造)                                                                | ③設備から水の漏えいが無いこと。                                                                                          |
|        |    | ④(欠番)                                                                                           | ④(欠番)                                                                                                     |
|        |    | ⑤(欠番)                                                                                           | ⑤(欠番)                                                                                                     |
|        |    | ⑥気体廃棄設備 No. 1 系統Ⅷ(局所排気系統)の第2-1作業支援室内のダクト端部にある仮設の閉止板が撤去され、本設の閉止板が設置されていることを目視又は関係書類等により確認する。(改造) | ⑥本設の閉止板が設置されていること。                                                                                        |
|        |    | ⑦配線用遮断器を設けていることを目視又は関係書類等により確認する。(既設)(改造)                                                       | ⑦配線用遮断器を設けていること。                                                                                          |
|        |    | ⑧漏電遮断器を設けていることを目視又は関係書類等により確認する。(既設)(改造)                                                        | ⑧漏電遮断器を没水水位より高い位置に設けていること。                                                                                |
|        |    | ⑨鉄筋の外観を目視により確認する。(改造)                                                                           | ⑨鉄筋の外観に使用上有害な傷及び変形がないこと                                                                                   |
|        |    | ⑩鉄筋の呼び径及び配筋ピッチを目視、測定又は関係書類等により確認する。(改造)                                                         | ⑩鉄筋の呼び径及び配筋ピッチが各設備の仕様表の添付図のとおりであること。                                                                      |
|        |    | ⑪コンクリートの形状、寸法及び配置を目視、測定又は関係書類等により確認する。(改造)                                                      | ⑪コンクリートの形状、寸法及び配置が各設備の仕様表の添付図のとおりであること。                                                                   |
|        |    | ⑫仕上げ後の基礎の外観を目視又は関係書類等により確認する。(改造)                                                               | ⑫仕上げ面に使用上有害な傷及び変形がないこと。                                                                                   |
|        | 配置 | ①配置を目視又は関係書類等により確認する。(既設)(改造)                                                                   | ①配置が各設備の仕様表の添付図に示すとおりであること。                                                                               |
|        | 員数 | ①設備の員数を目視又は関係書類等により確認する。(既設)(改造)                                                                | ①設備の員数が各設備の仕様表のとおりであること。                                                                                  |
|        |    | ②変更・追加する強度部材の員数を目視により確認する。(改造)                                                                  | ②員数が各設備の仕様表の添付図のとおりであること。                                                                                 |

第トー7表 設備・機器に係る検査の方法（2／3）

| 検査の項目  |    | 検査の方法 <sup>(1)(2)(3)</sup>                                              | 判定基準                                                                 |
|--------|----|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 設備配置検査 | 据付 | ①アンカーボルト、据付ボルト、取付ボルト <sup>(4)</sup> の径及び本数を目視、測定又は関係書類等により確認する。(既設)     | ①アンカーボルト、据付ボルト、取付ボルト <sup>(4)</sup> の径及び本数が各設備の仕様表の添付図のとおりであること。     |
|        |    | ②追加するアンカーボルト、据付ボルト、取付ボルト <sup>(4)</sup> の径及び本数を目視、測定又は関係書類等により確認する。(改造) | ②追加するアンカーボルト、据付ボルト、取付ボルト <sup>(4)</sup> の径及び本数が各設備の仕様表の添付図のとおりであること。 |
|        |    | ③変更・追加する強度部材の据付方法を目視、測定又は関係書類等により確認する。(改造)                              | ③変更・追加する強度部材の据付方法が各設備の仕様表の添付図のとおりであること。                              |
|        |    | ④据付状況を目視又は関係書類等により確認する。(既設) (改造)                                        | ④建物又は架台にボルト等で固定していること。                                               |
|        |    | ⑤移動防止用の部材を目視又は関係書類等により確認する。(既設) (改造)                                    | ⑤建物に移動防止用の部材で支持していること。                                               |
|        |    | ⑥ダクト・配管の支持間隔を測定により確認する。(既設) (改造)                                        | ⑥支持間隔が標準支持間隔以下であること。                                                 |
| 材料検査   | 材料 | ①設備・機器の主要な部材を目視又は関係書類等により確認する。(既設)                                      | ①設備・機器の主要な部材が各設備の仕様表及び添付図のとおりであること。                                  |
|        |    | ②変更・追加する主要な部材の材料を目視又は関係書類等により確認する。(改造)                                  | ②変更・追加する主要な部材の材料が各設備の仕様表及び添付図のとおりであること。                              |
|        |    | ③ (欠番)                                                                  | ③ (欠番)                                                               |
|        |    | ④使用機器及び材料を目視又は関係書類等により確認する (既設) (改造)                                    | ④使用機器及び材料が仕様表別表のとおりであること。                                            |
|        |    | ⑤鉄筋の材質及び呼び径を目視、測定又は関係書類等により確認する。(改造)                                    | ⑤鉄筋の材質及び呼び径が各設備の仕様表の別表の基礎の構造のとおりであること。                               |
|        |    | ⑥基礎のコンクリートの圧縮強度を関係書類により確認する。(改造)                                        | ⑥基礎のコンクリートの圧縮強度が各設備の仕様表の別表の基礎の構造のとおりであること。                           |
| 系統検査   | 系統 | ①系統を目視又は関係書類等により確認する。(既設) (改造)                                          | ①系統が申請書の系統図に示すとおりであること。                                              |
|        |    | ②設備・機器が非常用電源系統に接続していることを確認する。(既設) (改造)                                  | ②非常用電源系統に接続していること。                                                   |

第トー7表 設備・機器に係る検査の方法 (3/3)

| 検査の項目 |         | 検査の方法 <sup>(1)(2)(3)</sup>                      | 判定基準                                   |
|-------|---------|-------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 作動検査  | 面速      | ①設備の囲い式フードの開口部での面速を測定又は関係書類等により確認する。(既設)(改造)    | ①開口部の面速が0.5m/s以上であること。                 |
|       | 負圧      | ①設備の囲い式フード内の負圧を測定又は関係書類等により確認する。(既設)(改造)        | ①囲い式フード内の負圧が9.8 Pa以上であること。             |
|       | インターロック | ①信号系統図のとおり動作試験を行う。(既設)(改造)                      | ①信号系統図のとおり動作すること。                      |
|       | 作動      | ①使用状態を模擬した動作試験を行う。(既設)(改造)                      | ①使用状態を模擬した動作が正常に行えること。                 |
|       |         | ②停電状態を模擬した動作試験を行う。(既設)(改造)                      | ②動力の供給が停止した場合に、核燃料物質模擬重量物を安全に保持していること。 |
|       | 処理能力    | ①廃棄物保管区域に配置できる200 Lドラム缶本数を関係書類等により確認する。(既設)(改造) | ①保管廃棄能力が各設備の仕様表の廃棄施設の項に示すとおりであること。     |
|       |         | ②排気能力を関係書類等により確認する。(既設)(改造)                     | ②排気能力が仕様表のとおりであること。                    |
|       |         | ③第1種管理区域の負圧を測定又は関係書類等により確認する。(既設)(改造)           | ③負圧が19.6 Pa以上であること。                    |
|       |         | ④高性能エアフィルタの捕集記録を関係書類等により確認する。(既設)(改造)           | ④捕集効率が仕様表のとおりであること。                    |

- (1) 「(改造)」は本申請において工事を実施し改造した部分を示し、「(既設)」は改造を伴わない部分を示す。なお本申請において工事を実施し新たに設置、又は更新される部分については「(改造)」に分類する。
- (2) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。
- (3) 材料証明書、関係書類等記録により確認できるものは、工事中又は工事後に検査を行う場合がある。
- (4) 設備・機器を他の設備・機器に据え付けているボルトを示す。

#### 7. 一般産業用工業品の更新や交換等に係る基本方針

一般産業用工業品（原子力施設の安全機能に係る機器、構造物及びシステム並びにそれらの部品（以下「機器等」という。）であって、専ら原子力施設において用いるために設計開発及び製造されたもの以外の工業品をいう。）について、それらが有する安全機能等を踏まえた上で、更新や交換等に係る基本方針を ハ. 成型施設 7. 一般産業用工業品の更新や交換等に係る基本方針 に示す。

子. 放射線管理施設



## 目 次

### チ. 放射線管理施設

1. 変更の概要
2. 準拠する主な法令、規格及び基準
3. 設計条件及び仕様
4. 添付図一覧表
5. 工事の方法
6. 試験及び検査の方法
7. 一般産業用工業品の更新や交換等に係る基本方針

## チ. 放射線管理施設

加工事業変更許可に基づき、加工施設について次の変更を行う。

設計の基本方針は以下のとおりとする。

- (1) 加工施設は、「加工施設の技術基準に関する規則」に適合する設計とする。
- (2) 加工施設は、加工事業変更許可申請書における「加工施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の整備に関する事項」を踏まえた設計とする。
- (3) 加工施設は、通常時において、加工施設の周辺の公衆、放射線業務従事者に対し原子炉等規制法に基づき定められている線量限度を超えないことはもとより、合理的に達成できる限り放射線被ばくを低減する設計とする。
- (4) 加工施設は、設計、製作、建設、試験及び検査を通じて信頼性を有するものとする。また、誤操作及び設備・機器の故障によっても安全側に作動するインターロック機構等を設けることにより、公衆に対し放射線障害を及ぼすことのないよう設計する。また、深層防護の考え方（発生防止、拡大防止・影響緩和）に基づいて安全機能を設ける。
- (5) 加工施設は、火災等の内的事象、地震、津波、その他想定される自然事象及び航空機落下他の外的事象（故意によるものを除く。）によって、安全機能が損なわれることのない設計とする。
- (6) 加工施設の配置及び構造上の特徴、並びに経年劣化の観点から、保全において留意すべき事項を抽出し、記録する。保全を実施するため、その記録を維持する。
- (7) 保全において留意すべき事項を踏まえて、保全計画を策定し、保全計画に基づき保全を実施する。
- (8) 保全の実施結果及び原子力施設における保全に関する最新の知見を踏まえて評価を行い、保全の継続的改善を図る。

### 1. 変更の概要

変更対象とする施設について、加工事業変更許可との対応及び既設工認との対応並びに変更内容を表チー1に示す。

ここで、{ }付き番号は、施設の管理番号を示す。管理番号は、「添付書類1 加工事業変更許可との対応に関する説明書」の添1表2に対応している。

### 2. 準拠する主な法令、規格及び基準

変更する施設に関する工事において、準拠する主な法令、規格及び基準は以下のとおりである。

- (1) 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律
- (2) 核燃料物質の加工の事業に関する規則
- (3) 加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則
- (4) 加工施設の技術基準に関する規則
- (5) 原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則
- (6) 日本産業規格（JIS）
- (7) 労働安全衛生法及び関連法令
- (8) 消防法及び関連法令
- (9) 建築基準法及び関連法令

- (10) (一社) 日本建築学会規準・指針類
  - (一財) 日本建築防災協会規準・指針類
  - (一財) 日本建築センター規準・指針類
- (11) 保安規定
- (12) 原子力災害対策特別措置法及び関連法令
- (13) 電気事業法及び関連法令

### 3. 設計条件及び仕様

変更する施設に関する設計条件及び仕様等を表チー設－2－1～表チー設－9－1に、関係図面を図チー設－1～図チー設－8－3に示す。

ここで、表チー設－2－1～表チー設－9－1において、[ ]付き番号は、設計仕様に対する個別の設計番号を示す。設計番号は、技術基準規則の条項番号及び個別番号で構成する。その他許可で求める仕様に対する設計番号は、「99」及び個別番号で構成する。設備・機器に機能を持たせる設計に対しては「F」を、建物・構築物に機能を持たせる設計に対しては「B」をその個別番号に付す。

(例) [4.1-F1]：技術基準規則第四条第1項に対する設備・機器の設計仕様

[5.1-B1]：技術基準規則第五条第1項に対する建物・構築物の設計仕様

[99-F1]：その他許可で求める仕様に対する設備・機器の設計仕様

また、本申請では、先行申請した設計及び工事の計画（第1次申請～第4次申請）における各施設の仕様表を「追表」として示す。追表は仕様表の名称に「追第〇次」を付けて表記し、本申請の対象とする箇所には下線を付す。それ以外の箇所については、先行申請時の仕様表から変更はない。

先行申請において、次回以降の申請で適合性を確認する予定の範囲表（次回表）に記載していた技術基準に基づく仕様は、適合性を確認するための施設の追表に反映している。次回表に記載した仕様が漏れなく仕様表に反映されていることを管理するための表（刈り取り表）を添2参考資料1に示す。

表チー 1 放射線管理施設の変更対象とする施設の加工事業変更許可との対応<sup>(1)</sup>  
及び既設工認との対応並びに変更内容

| 設置場所                                                                                                                                                                   | 加工事業変更許可における施設名称 | 本申請における設備・機器名称<br>機器名         | 既設工認における設備・機器名称<br>機器名  | 員数 | 変更内容 |               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------------------------------|-------------------------|----|------|---------------|
| 第2加工棟<br>第2出入管理室、第2-2燃料棒加工室                                                                                                                                            | ハンドフットクロスモニタ     | {7001}<br>ハンドフットクロスモニタ<br>—   | 出入管理用設備<br>ハンドフットクロスモニタ | 1式 | 変更なし |               |
| 第1廃棄物貯蔵棟<br>W1出入管理室                                                                                                                                                    | ハンドフットクロスモニタ     | {7003}<br>ハンドフットクロスモニタ<br>—   | 出入管理用設備<br>ハンドフットクロスモニタ | 1式 | 変更なし |               |
| 第2加工棟<br>第2粉末受入室、第2-1混合室、第2-1ペレット室、第2-1ペレット検査室、第2ペレット保管室、第2廃棄物処理室、第2出入管理室、第2-1燃料棒加工室、第2放射線管理室、第2分析室、第2フィルタ室、第2洗濯室、第2開発室、第2-2貯蔵室、第2-2混合室、第2-2ペレット室、第2-2燃料棒加工室、第2-1作業支援室 | エアスニファ           | {7004}<br>エアスニファ（管理区域内）<br>—  | 放射線監視・測定用設備<br>エアスニファ   | 1式 | 改造   | 一部移設          |
| 第2加工棟<br>第2排風機室                                                                                                                                                        | エアスニファ           | {7022}<br>エアスニファ（排気口）<br>—    | 放射線監視・測定用設備<br>エアスニファ   | 1式 | 変更なし |               |
| 第1廃棄物貯蔵棟<br>W1出入管理室、W1廃棄物処理室                                                                                                                                           | エアスニファ           | {7005}<br>エアスニファ（管理区域内）<br>—  | 放射線監視・測定用設備<br>エアスニファ   | 1式 | 改造   | 一部移設          |
| 第1廃棄物貯蔵棟<br>W1-1排風機室                                                                                                                                                   | エアスニファ           | {7023}<br>エアスニファ（排気口）<br>—    | 放射線監視・測定用設備<br>エアスニファ   | 1式 | 変更なし |               |
| 第2加工棟<br>第2フィルタ室                                                                                                                                                       | ダストモニタ           | {7006}<br>ダストモニタ（換気用モニタ）<br>— | ダストモニタ<br>ダストモニタ        | 1式 | 改造   | サンプリング配管の耐震補強 |
| 第2加工棟<br>第2フィルタ室                                                                                                                                                       | ダストモニタ           | {7024}<br>ダストモニタ（排気用モニタ）<br>— | ダストモニタ<br>ダストモニタ        | 1式 | 改造   | サンプリング配管の耐震補強 |
| 第2加工棟<br>第2放射線管理室                                                                                                                                                      | 放射線監視盤           | {7011}<br>放射線監視盤（ダストモニタ）<br>— | ダストモニタ<br>放射線監視盤        | 1式 | 変更なし |               |
| 第1廃棄物貯蔵棟<br>W1廃棄物処理室                                                                                                                                                   | ダストモニタ           | {7025}<br>ダストモニタ（排気用モニタ）<br>— | ダストモニタ<br>—             | 1式 | 改造   | サンプリング配管の耐震補強 |

表チー 1 放射線管理施設の変更対象とする施設の加工事業変更許可との対応<sup>(1)</sup>  
及び既設工認との対応並びに変更内容



| 設置場所                                                                                                                                                                                                                          | 加工事業変更許可における施設名称     | 本申請における設備・機器名称<br>機器名                  | 既設工認における設備・機器名称<br>機器名            | 員数  | 変更内容 |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------------------------|-----------------------------------|-----|------|--|
| 第1廃棄物貯蔵棟<br>W1 出入管理室                                                                                                                                                                                                          | 放射線監視盤               | {7013}<br>放射線監視盤 (ダストモニタ)<br>—         | ダストモニタ<br>放射線監視盤                  | 1 式 | 変更なし |  |
| 第2加工棟<br>第2-1 貯蔵室、第2<br>ペレット保管室、第2<br>-1 混合室、第2-1<br>ペレット室、第2-1<br>燃料棒加工室、第2-<br>2 混合室、第2-2 ペ<br>レット室、第2-2 燃<br>料棒加工室、第2分析<br>室、第2開発室、第2<br>-2 貯蔵室、第2燃料<br>棒保管室、第2-1 組<br>立室、第2集集体保管<br>室、第2-1 燃料棒検<br>査室、第2輸送容器保<br>管室、第2梱包室 | ガンマ線エリアモ<br>ニタ       | {7009}<br>ガンマ線エリアモニタ<br>検出器            | γ線エリアモニタ<br>検出器                   | 1 式 | 変更なし |  |
| 第2加工棟<br>第2 出入管理室                                                                                                                                                                                                             | 放射線監視盤               | {7012}<br>放射線監視盤 (ガンマ線<br>エリアモニタ)<br>— | γ線エリアモニタ<br>放射線監視盤 (γ<br>線エリアモニタ) | 1 式 | 変更なし |  |
| 第2加工棟<br>第1 廃棄物貯蔵棟                                                                                                                                                                                                            | 流し                   | {7014}<br>流し<br>—                      | —                                 | 1 式 | 変更なし |  |
| 第2加工棟<br>第1 廃棄物貯蔵棟                                                                                                                                                                                                            | 物品搬出モニタ              | {7015}<br>物品搬出モニタ<br>—                 | —                                 | 1 式 | 変更なし |  |
| 第1加工棟<br>第2加工棟<br>第1 廃棄物貯蔵棟                                                                                                                                                                                                   | 低バックグラウン<br>ドカウンタ    | {7016}<br>低バックグラウンドカ<br>ウンタ<br>—       | 低バックグラウンド<br>カウンタ                 | 1 式 | 変更なし |  |
| 第1加工棟<br>第2加工棟<br>第1 廃棄物貯蔵棟<br>屋外                                                                                                                                                                                             | サーバイメータ              | {7017}<br>サーバイメータ<br>—                 | サーバイメータ                           | 1 式 | 変更なし |  |
| 第2加工棟<br>第1 廃棄物貯蔵棟<br>屋外                                                                                                                                                                                                      | 熱 蛍 光 線 量 計<br>(TLD) | {7018}<br>熱蛍光線量計 (TLD)<br>—            | —                                 | 1 式 | 変更なし |  |
| 第2加工棟                                                                                                                                                                                                                         | 放射線測定装置              | {7019}<br>放射線測定装置<br>—                 | γ線測定装置                            | 1 式 | 変更なし |  |
| 第1加工棟<br>第2加工棟<br>第1 廃棄物貯蔵棟                                                                                                                                                                                                   | 個人線量計                | {7020}<br>個人線量計<br>—                   | —                                 | 1 式 | 変更なし |  |
| 第2加工棟<br>第1 廃棄物貯蔵棟                                                                                                                                                                                                            | 呼吸保護具                | {7021}<br>呼吸保護具<br>—                   | 放射線防護用設備<br>放射線防護具                | 1 式 | 変更なし |  |
| 屋外                                                                                                                                                                                                                            | 可搬式ダストサン<br>プラ       | {7030}<br>可搬式ダストサン<br>プラ<br>—          | ダストサンブラ                           | 1 式 | 変更なし |  |

表チー 1 放射線管理施設の変更対象とする施設の加工事業変更許可との対応<sup>(1)</sup>  
及び既設工認との対応並びに変更内容

| 設置場所                                                          | 加工事業変更許可における施設名称 | 本申請における設備・機器名称<br>機器名              | 既設工認における設備・機器名称<br>機器名 | 員数         | 変更内容 |                                                              |
|---------------------------------------------------------------|------------------|------------------------------------|------------------------|------------|------|--------------------------------------------------------------|
| 屋外                                                            | 気象観測装置           | {7033}<br>気象観測装置<br>—              | —                      | 1式         | 変更なし |                                                              |
| 第1加工棟<br>第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟<br>事務棟、保安棟                         | 警報集中表示盤          | {7037}<br>警報集中表示盤                  | 非常用通報設備<br>警報集中表示盤     | 1式         | 変更なし |                                                              |
| 以下、先行申請した設計及び工事の計画（第1次申請～第4次申請）において、全部又は一部の事項について適合性の確認を受けたもの |                  |                                    |                        |            |      |                                                              |
| 第1加工棟<br>第1-1輸送物保管室、第1-1輸送物搬出入室                               | ガンマ線エリアモニタ       | {7008}<br>ガンマ線エリアモニタ<br>検出器        | γ線エリアモニタ<br>検出器        | 1式<br>(2台) | 移設   | ①ガンマ線エリアモニタ検出器の一部移設                                          |
| 屋外                                                            | モニタリングポスト        | {7026}<br>モニタリングポスト<br>No.1<br>—   | —                      | 1式<br>(1台) | 改造   | 伝送系の多様性を確保するため、有線式の伝送系に加え無線式の伝送系を有する仕様の機器を新たに設置し、既設の機器を撤去する。 |
| 屋外                                                            | モニタリングポスト        | {7027}<br>モニタリングポスト<br>No.2<br>—   | —                      | 1式<br>(1台) | 改造   | 伝送系の多様性を確保するため、有線式の伝送系に加え無線式の伝送系を有する仕様の機器を新たに設置し、既設の機器を撤去する。 |
| 第2加工棟<br>第2出入管理室                                              | モニタリングポスト        | {7027-2}<br>放射線監視盤（モニタリングポスト）<br>— | —                      | 1式<br>(1台) | 改造   | 伝送系の多様性を確保するため、有線式の伝送系に加え無線式の伝送系を有する仕様の機器を新たに設置し、既設の機器を撤去する。 |

(1) 添付書類1に加工事業変更許可における施設名称と設工認における施設名称の対比、当該施設の設工認への対応状況を示す。

表チー設ー2ー1 ハンドフットクロスモニタ 仕様

|                |                                                                   |                                                                                                                                                                                                             |
|----------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号 (日付)<br>施設名称                                                 | 原規規発第 1803284 号 (平成 30 年 3 月 28 日付け)<br>ハンドフットクロスモニタ                                                                                                                                                        |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7001}<br>ハンドフットクロスモニタ<br>—                                       |                                                                                                                                                                                                             |
| 変更内容           | 変更なし                                                              |                                                                                                                                                                                                             |
| 設置場所           | 第 2 加工棟 第 2 出入管理室、第 2 - 2 燃料棒加工室                                  |                                                                                                                                                                                                             |
| 員数             | 1 式 (4 台)                                                         |                                                                                                                                                                                                             |
| 一般仕様           | 型式                                                                | シンチレーション式                                                                                                                                                                                                   |
|                | 主要な構造材                                                            | 鋼                                                                                                                                                                                                           |
|                | 寸法 (単位 : mm)                                                      | 概略寸法 :                                                                                                                    |
|                | その他の構成機器                                                          | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | その他の性能                                                            | 検出下限 (  Bq/cm <sup>2</sup> 以下)                                                                                             |
|                | 核燃料物質の状態                                                          | —                                                                                                                                                                                                           |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の臨界防止                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                                                     | [5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 2 加工棟の床、壁等に固定する。                                                                                                                                              |
|                | 地震による損傷の防止                                                        | [6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 3 類とする。<br>アンカーボルトで床面に固定する。                                                                                                                                                           |
|                | 津波による損傷の防止                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止                                                   | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止                                                 | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 閉じ込めの機能                                                           | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 火災等による損傷の防止                                                       | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である鋼製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br><br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。                                                                                             |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止                                               | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全避難通路等                                                           | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設                                                        | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。<br><br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。 |
|                | 材料及び構造                                                            | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 搬送設備                                                              | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 核燃料物質の貯蔵施設                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
| 警報設備等          | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |
| 放射線管理施設        | [19.1-F1]<br>第 1 種管理区域からの退出者の身体の放射性物質の表面密度を計測するハンドフットクロスモニタを設置する。 |                                                                                                                                                                                                             |
| 廃棄施設           | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |
| 核燃料物質等による汚染の防止 | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |
| 遮蔽             | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |
| 換気設備           | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |



表チー設-2-1 ハンドフットクロスモニタ 仕様

| 技術基準に基づく仕様   | 非常用電源設備         | <p>[24.2-F1]<br/>加工施設の安全性を確保するために特に必要な設備に、バッテリーを備える。これらの設備は、停電時に非常用発電機が起動し電力が供給されるまでの間、バッテリーにより 40 秒以上作動する<sup>(1)</sup>。</p> <p>[24.2-F2]<br/>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする<sup>(1)</sup>。<br/>電源に係る結線図を図リ-他-1 1 (1)、非常用電源設備接続の系統図を図リ-他-1 1 (8) に示す。</p> <p>以上を次表に示す。<br/>(○: 該当、-: 該当なし)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備・機器名称<br/>機器名</th> <th>バッテリーに接続</th> <th>非常用電源設備に<br/>接続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハンドフットクロスモニタ</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 設備・機器名称<br>機器名 | バッテリーに接続 | 非常用電源設備に<br>接続 | ハンドフットクロスモニタ | ○ | ○ | — |  |  |
|--------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------|----------------|--------------|---|---|---|--|--|
|              | 設備・機器名称<br>機器名  | バッテリーに接続                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 非常用電源設備に<br>接続 |          |                |              |   |   |   |  |  |
| ハンドフットクロスモニタ | ○               | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                |          |                |              |   |   |   |  |  |
| —            |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                |          |                |              |   |   |   |  |  |
| 通信連絡設備       | —               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                |          |                |              |   |   |   |  |  |
| その他許可で求める仕様  | —               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                |          |                |              |   |   |   |  |  |
| 添付図          | 図チー設-1、図リ-他-1 1 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                |          |                |              |   |   |   |  |  |

(1) 第2 出入管理室に設置する 3 台のハンドフットクロスモニタのうち 1 台にバッテリーに接続し、非常用電源設備に接続する。



表チー設-3-1 ハンドフットクロスモニタ 仕様

|                |                                                                   |                                                                                                                                                                                                             |
|----------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号 (日付)<br>施設名称                                                 | 原規規発第 1803284 号 (平成 30 年 3 月 28 日付け)<br>ハンドフットクロスモニタ                                                                                                                                                        |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7003}<br>ハンドフットクロスモニタ<br>—                                       |                                                                                                                                                                                                             |
| 変更内容           | 変更なし                                                              |                                                                                                                                                                                                             |
| 設置場所           | 第 1 廃棄物貯蔵棟 W1 出入管理室                                               |                                                                                                                                                                                                             |
| 員数             | 1 式 (1 台)                                                         |                                                                                                                                                                                                             |
| 一般仕様           | 型式                                                                | シンチレーション式                                                                                                                                                                                                   |
|                | 主要な構造材                                                            | 鋼                                                                                                                                                                                                           |
|                | 寸法 (単位: mm)                                                       | 概略寸法:                                                                                                                     |
|                | その他の構成機器                                                          | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | その他の性能                                                            | 検出下限 (  Bq/cm <sup>2</sup> 以下)                                                                                             |
|                | 核燃料物質の状態                                                          | —                                                                                                                                                                                                           |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の臨界防止                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                                                     | [5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 1 廃棄物貯蔵棟の床、壁等に固定する。                                                                                                                                           |
|                | 地震による損傷の防止                                                        | [6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 3 類とする。<br>アンカーボルトで床面に固定する。                                                                                                                                                           |
|                | 津波による損傷の防止                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止                                                   | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止                                                 | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 閉じ込めの機能                                                           | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 火災等による損傷の防止                                                       | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である鋼製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br><br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。                                                                                             |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止                                               | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全避難通路等                                                           | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設                                                        | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。<br><br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。 |
|                | 材料及び構造                                                            | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 搬送設備                                                              | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 核燃料物質の貯蔵施設                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
| 警報設備等          | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |
| 放射線管理施設        | [19.1-F1]<br>第 1 種管理区域からの退出者の身体の放射性物質の表面密度を計測するハンドフットクロスモニタを設置する。 |                                                                                                                                                                                                             |
| 廃棄施設           | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |
| 核燃料物質等による汚染の防止 | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |
| 遮蔽             | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |
| 換気設備           | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |
| 非常用電源設備        | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |
| 通信連絡設備         | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |

表チー設ー3ー1 ハンドフットクロスモニタ 仕様

|             |        |
|-------------|--------|
| その他許可で求める仕様 | —      |
| 添付図         | 図チー設ー1 |



表チー設-4-1 エアスニファ (管理区域内) 仕様

|                |                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                             |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号 (日付)                                                                                                                                                                                                    | 原規規発第 1803284 号 (平成 30 年 3 月 28 日付け)                                                                                                                                                                        |
|                | 施設名称                                                                                                                                                                                                         | エアスニファ                                                                                                                                                                                                      |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7004}<br>エアスニファ (管理区域内)<br>—                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                             |
| 変更内容           | 改造 (一部移設)                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                             |
| 設置場所           | 第 2 加工棟<br>第 2 粉末受入室、第 2-1 混合室、第 2-1 ペレット室、第 2-1 ペレット検査室、第 2 ペレット保管室、第 2 廃棄物処理室、第 2 出入管理室、第 2-1 燃料棒加工室、第 2 放射線管理室、第 2 分析室、第 2 フィルタ室、第 2 洗濯室、第 2 開発室、第 2-2 貯蔵室、第 2-2 混合室、第 2-2 ペレット室、第 2-2 燃料棒加工室、第 2-1 作業支援室 |                                                                                                                                                                                                             |
| 員数             | 1 式 (50 台)                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                             |
| 一般仕様           | 型式                                                                                                                                                                                                           | 固定ろ紙式                                                                                                                                                                                                       |
|                | 主要な構造材                                                                                                                                                                                                       | 金属製                                                                                                                                                                                                         |
|                | 寸法 (単位: mm)                                                                                                                                                                                                  | 概略寸法: [REDACTED]                                                                                                                                                                                            |
|                | その他の構成機器                                                                                                                                                                                                     | ポンプ ({7022} エアスニファ (排気口) のポンプと共通、第 2 フィルタ室に設置)                                                                                                                                                              |
|                | その他の性能                                                                                                                                                                                                       | 吸気量 (1 検出端当たり [REDACTED] L/分以上)                                                                                                                                                                             |
|                | 核燃料物質の状態                                                                                                                                                                                                     | —                                                                                                                                                                                                           |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の臨界防止                                                                                                                                                                                                   | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                                                                                                                                                                                                | [5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 2 加工棟の床、壁等に固定する。                                                                                                                                              |
|                | 地震による損傷の防止                                                                                                                                                                                                   | [6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 3 類とする。<br>アンカーボルトで床、壁等に固定する。                                                                                                                                                         |
|                | 津波による損傷の防止                                                                                                                                                                                                   | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止                                                                                                                                                                                              | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止                                                                                                                                                                                            | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 閉じ込めの機能                                                                                                                                                                                                      | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 火災等による損傷の防止                                                                                                                                                                                                  | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である金属製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br><br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。                                                                                            |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止                                                                                                                                                                                          | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全避難通路等                                                                                                                                                                                                      | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設                                                                                                                                                                                                   | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。<br><br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。 |
|                | 材料及び構造                                                                                                                                                                                                       | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 搬送設備                                                                                                                                                                                                         | —                                                                                                                                                                                                           |
| 核燃料物質の貯蔵施設     | —                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                             |
| 警報設備等          | —                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                             |

表チー設－４－１ エアスニファ（管理区域内） 仕様

|             |                |                                                                            |
|-------------|----------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 技術基準に基づく仕様  | 放射線管理施設        | [19.1-F1]<br>管理区域における空気中の放射性物質の濃度を計測するため、空気中の放射性物質を集塵するエアスニファ（管理区域内）を設置する。 |
|             | 廃棄施設           | —                                                                          |
|             | 核燃料物質等による汚染の防止 | —                                                                          |
|             | 遮蔽             | —                                                                          |
|             | 換気設備           | —                                                                          |
|             | 非常用電源設備        | —                                                                          |
|             | 通信連絡設備         | —                                                                          |
| その他許可で求める仕様 | —              |                                                                            |
| 添付図         | 図チー設－４－１       |                                                                            |



表チー設-4-2 エアスニファ（排気口） 仕様

|                |                                                                                |                                                                                                                                                                                                             |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号（日付）                                                                       | 原規規発第 1803284 号（平成 30 年 3 月 28 日付け）                                                                                                                                                                         |
|                | 施設名称                                                                           | エアスニファ                                                                                                                                                                                                      |
| 設備・機器名称<br>機器名 |                                                                                | {7022}<br>エアスニファ（排気口）<br>—                                                                                                                                                                                  |
| 変更内容           |                                                                                | 変更なし                                                                                                                                                                                                        |
| 設置場所           |                                                                                | 第 2 加工棟 第 2 排風機室                                                                                                                                                                                            |
| 員数             |                                                                                | 1 式（8 台）                                                                                                                                                                                                    |
| 一般仕様           | 型式                                                                             | 固定ろ紙式                                                                                                                                                                                                       |
|                | 主要な構造材                                                                         | 金属製                                                                                                                                                                                                         |
|                | 寸法（単位：mm）                                                                      | 概略寸法：                                                                                                                     |
|                | その他の構成機器                                                                       | ポンプ（{7004} エアスニファ（管理区域内）のポンプと共通、第 2 フィルタ室に設置）                                                                                                                                                               |
|                | その他の性能                                                                         | 吸気量（1 検出端当たり  L/分以上）                                                                                                       |
|                | 核燃料物質の状態                                                                       | —                                                                                                                                                                                                           |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の臨界防止                                                                     | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                                                                  | [5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 2 加工棟の床、壁等に固定する。                                                                                                                                              |
|                | 地震による損傷の防止                                                                     | [6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 3 類とする。<br>アンカーボルトで床、壁等に固定する。                                                                                                                                                         |
|                | 津波による損傷の防止                                                                     | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止                                                                | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止                                                              | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 閉じ込めの機能                                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 火災等による損傷の防止                                                                    | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である金属製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br><br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。                                                                                            |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止                                                            | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全避難通路等                                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設                                                                     | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。<br><br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。 |
|                | 材料及び構造                                                                         | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 搬送設備                                                                           | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 核燃料物質の貯蔵施設                                                                     | —                                                                                                                                                                                                           |
| 警報設備等          | —                                                                              |                                                                                                                                                                                                             |
| 放射線管理施設        | [19.1-F1]<br>放射性廃棄物の排気口における排気中の放射性物質の濃度を計測するため、空気中の放射性物質を集塵するエアスニファ（排気口）を設置する。 |                                                                                                                                                                                                             |

表チー設-4-2 エアスニファ（排気口） 仕様

|             |                       |   |
|-------------|-----------------------|---|
| 技術基準に基づく仕様  | 廃棄施設                  | — |
|             | 核燃料物質等による汚染の防止        | — |
|             | 遮蔽                    | — |
|             | 換気設備                  | — |
|             | 非常用電源設備               | — |
|             | 通信連絡設備                | — |
| その他許可で求める仕様 |                       | — |
| 添付図         | 図ト-2P設-2-1-1、図チ-設-4-1 |   |

表チー設－5－1 エアスニファ（管理区域内） 仕様



|                |                                                                            |                                                                                                                                                                                                             |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号（日付）<br>施設名称                                                           | 原規規発第 1803284 号（平成 30 年 3 月 28 日付け）<br>エアスニファ                                                                                                                                                               |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7005}<br>エアスニファ（管理区域内）<br>—                                               |                                                                                                                                                                                                             |
| 変更内容           | 改造（一部移設）                                                                   |                                                                                                                                                                                                             |
| 設置場所           | 第 1 廃棄物貯蔵棟 W 1 出入管理室、W 1 廃棄物処理室                                            |                                                                                                                                                                                                             |
| 員数             | 1 式（9 台）                                                                   |                                                                                                                                                                                                             |
| 一般仕様           | 型式                                                                         | 固定ろ紙式                                                                                                                                                                                                       |
|                | 主要な構造材                                                                     | 金属製                                                                                                                                                                                                         |
|                | 寸法（単位：mm）                                                                  | 概略寸法：                                                                                                                     |
|                | その他の構成機器                                                                   | ポンプ（{7023} エアスニファ（排気口）のポンプと共通、W 1 廃棄物処理室に設置）                                                                                                                                                                |
|                | その他の性能                                                                     | 吸気量（1 検出端あたり  L/分以上）                                                                                                       |
|                | 核燃料物質の状態                                                                   | —                                                                                                                                                                                                           |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の臨界防止                                                                 | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                                                              | [5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 1 廃棄物貯蔵棟の床、壁等に固定する。                                                                                                                                           |
|                | 地震による損傷の防止                                                                 | [6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 3 類とする。<br>アンカーボルトで床、壁等に固定する。                                                                                                                                                         |
|                | 津波による損傷の防止                                                                 | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止                                                            | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止                                                          | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 閉じ込めの機能                                                                    | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 火災等による損傷の防止                                                                | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である金属製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br><br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。                                                                                            |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全避難通路等                                                                    | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設                                                                 | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。<br><br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。 |
|                | 材料及び構造                                                                     | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 搬送設備                                                                       | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 核燃料物質の貯蔵施設                                                                 | —                                                                                                                                                                                                           |
| 警報設備等          | —                                                                          |                                                                                                                                                                                                             |
| 放射線管理施設        | [19.1-F1]<br>管理区域における空気中の放射性物質の濃度を測定するため、空気中の放射性物質を集塵するエアスニファ（管理区域内）を設置する。 |                                                                                                                                                                                                             |

表チー設－5－1 エアスニファ（管理区域内） 仕様

|             |                |   |
|-------------|----------------|---|
| 技術基準に基づく仕様  | 廃棄施設           | — |
|             | 核燃料物質等による汚染の防止 | — |
|             | 遮蔽             | — |
|             | 換気設備           | — |
|             | 非常用電源設備        | — |
|             | 通信連絡設備         | — |
| その他許可で求める仕様 |                | — |
| 添付図         | 図チー設－5－1       |   |






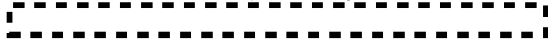
表チー設-5-2 エアスニファ（排気口） 仕様

|                |                                                                                |                                                                                                                                                                                                             |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号（日付）                                                                       | 原規規発第 1803284 号（平成 30 年 3 月 28 日付け）                                                                                                                                                                         |
|                | 施設名称                                                                           | エアスニファ                                                                                                                                                                                                      |
| 設備・機器名称<br>機器名 |                                                                                | {7023}<br>エアスニファ（排気口）<br>—                                                                                                                                                                                  |
| 変更内容           |                                                                                | 変更なし                                                                                                                                                                                                        |
| 設置場所           |                                                                                | 第 1 廃棄物貯蔵棟 W1-1 排風機室                                                                                                                                                                                        |
| 員数             |                                                                                | 1 式（4 台）                                                                                                                                                                                                    |
| 一般仕様           | 型式                                                                             | 固定ろ紙式                                                                                                                                                                                                       |
|                | 主要な構造材                                                                         | 金属製                                                                                                                                                                                                         |
|                | 寸法（単位：mm）                                                                      | 概略寸法：                                                                                                                     |
|                | その他の構成機器                                                                       | ポンプ（{7005} エアスニファ（管理区域内）のポンプと共通、W1 廃棄物処理室に設置）                                                                                                                                                               |
|                | その他の性能                                                                         | 吸気量（1 検出端当たり  L/分以上）                                                                                                       |
|                | 核燃料物質の状態                                                                       | —                                                                                                                                                                                                           |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の臨界防止                                                                     | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                                                                  | [5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 1 廃棄物貯蔵棟の床、壁等に固定する。                                                                                                                                           |
|                | 地震による損傷の防止                                                                     | [6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 3 類とする。<br>アンカーボルトで床、壁等に固定する。                                                                                                                                                         |
|                | 津波による損傷の防止                                                                     | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止                                                                | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止                                                              | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 閉じ込めの機能                                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 火災等による損傷の防止                                                                    | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である金属製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br><br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。                                                                                            |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止                                                            | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全避難通路等                                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設                                                                     | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。<br><br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。 |
|                | 材料及び構造                                                                         | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 搬送設備                                                                           | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 核燃料物質の貯蔵施設                                                                     | —                                                                                                                                                                                                           |
| 警報設備等          | —                                                                              |                                                                                                                                                                                                             |
| 放射線管理施設        | [19.1-F1]<br>放射性廃棄物の排気口における排気中の放射性物質の濃度を測定するため、空気中の放射性物質を集塵するエアスニファ（排気口）を設置する。 |                                                                                                                                                                                                             |

表チー設-5-2 エアスニファ（排気口） 仕様

|             |                     |   |
|-------------|---------------------|---|
| 技術基準に基づく仕様  | 廃棄施設                | — |
|             | 核燃料物質等による汚染の防止      | — |
|             | 遮蔽                  | — |
|             | 換気設備                | — |
|             | 非常用電源設備             | — |
|             | 通信連絡設備              | — |
| その他許可で求める仕様 |                     | — |
| 添付図         | 図ト-W1設-2-1、図チー設-5-1 |   |

表チー設ー6ー1 ダストモニタ（換気用モニタ） 仕様

|                |                               |                                                                                                                                                                                                              |  |
|----------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 許可との対応         | 許可番号（日付）<br>施設名称              | 原規規発第 1803284 号（平成 30 年 3 月 28 日付け）<br>ダストモニタ                                                                                                                                                                |  |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7006}<br>ダストモニタ（換気用モニタ）<br>— |                                                                                                                                                                                                              |  |
| 変更内容           | 改造（サンプリング配管の耐震補強）             |                                                                                                                                                                                                              |  |
| 設置場所           | 第 2 加工棟 第 2 フィルタ室             |                                                                                                                                                                                                              |  |
| 員数             | 1 式（2 台）                      |                                                                                                                                                                                                              |  |
| 一般仕様           | 型式                            | 移動ろ過式                                                                                                                                                                                                        |  |
|                | 主要な構造材                        | 本表（別表 1）に示す。                                                                                                                                                                                                 |  |
|                | 寸法（単位：mm）                     | 概略寸法：                                                                                                                      |  |
|                | その他の構成機器                      | サンプリング配管                                                                                                                                                                                                     |  |
|                | その他の性能                        | 測定範囲（  cpm）、最高検出感度（  Bq/cm³ 以下）          |  |
|                | 核燃料物質の状態                      | —                                                                                                                                                                                                            |  |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の臨界防止                    | —                                                                                                                                                                                                            |  |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                 | ○本体、サンプリング配管<br>[5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 2 加工棟の床、壁等に固定する。                                                                                                                               |  |
|                | 地震による損傷の防止                    | ○本体<br>[6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 2 類とする。<br>アンカーボルトで床面に固定する。<br><br>○サンプリング配管<br>[6.1F-1]<br>耐震重要度分類第 2 類における標準支持間隔以下で配管を支持する。 |  |
|                | 津波による損傷の防止                    | —                                                                                                                                                                                                            |  |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止               | —                                                                                                                                                                                                            |  |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止             | —                                                                                                                                                                                                            |  |
|                | 閉じ込めの機能                       | —                                                                                                                                                                                                            |  |
|                | 火災等による損傷の防止                   | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である鋼製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br>サンプリング配管は不燃性材料である鋼製とする。<br>材料を本表（別表 1-1）及び（別表 1-2）に示す。<br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。                                        |  |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止           | —                                                                                                                                                                                                            |  |
|                | 安全避難通路等                       | —                                                                                                                                                                                                            |  |
|                | 安全機能を有する施設                    | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。<br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。      |  |
|                | 材料及び構造                        | —                                                                                                                                                                                                            |  |
|                | 搬送設備                          | —                                                                                                                                                                                                            |  |
| 核燃料物質の貯蔵施設     | —                             |                                                                                                                                                                                                              |  |

表チー設－6－1 ダストモニタ（換気用モニタ） 仕様

| 技術基準に基づく仕様     | 警報設備等                                                    | [18.1-F1]<br>管理区域における空気中の放射性物質の濃度を計測し、加工施設の安全性を著しく損なうおそれのある濃度に至るまでに異常を検知し、(7011)放射線監視盤（ダストモニタ）により警報を発するダストモニタ（換気用モニタ）を設置する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                |          |            |                |   |   |   |   |
|----------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------|------------|----------------|---|---|---|---|
|                | 放射線管理施設                                                  | [19.1-F1]<br>管理区域における空気中の放射性物質の濃度を計測し、(7011)放射線監視盤（ダストモニタ）により表示するダストモニタ（換気用モニタ）を設置する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |          |            |                |   |   |   |   |
|                | 廃棄施設                                                     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |            |                |   |   |   |   |
|                | 核燃料物質等による汚染の防止                                           | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |            |                |   |   |   |   |
|                | 遮蔽                                                       | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |            |                |   |   |   |   |
|                | 換気設備                                                     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |            |                |   |   |   |   |
|                | 非常用電源設備                                                  | [24.2-F2]<br>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。<br>電源に係る結線図を図リ－他－11(1)、非常用電源設備接続の系統図を図リ－他－11(8)に示す。<br><br>以上を次表に示す。<br><p style="text-align: right;">(○：該当、－：該当なし)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>設備・機器名称<br/>機器名</th> <th>バッテリーに接続</th> <th>非常用電源設備に接続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダストモニタ（換気用モニタ）</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> | 設備・機器名称<br>機器名 | バッテリーに接続 | 非常用電源設備に接続 | ダストモニタ（換気用モニタ） | — | ○ | — | — |
| 設備・機器名称<br>機器名 | バッテリーに接続                                                 | 非常用電源設備に接続                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                |          |            |                |   |   |   |   |
| ダストモニタ（換気用モニタ） | —                                                        | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |            |                |   |   |   |   |
| —              | —                                                        | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |            |                |   |   |   |   |
| 通信連絡設備         | —                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                |          |            |                |   |   |   |   |
| その他許可で求める仕様    | —                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                |          |            |                |   |   |   |   |
| 添付図            | 図ト－2P設－1－2、図ト－2P設－2－1－1、図チ－設－1、図チ－設－6－1、図チ－設－6－2、図リ－他－11 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                |          |            |                |   |   |   |   |

表チー設－6－1（別表1－1） ダストモニタ（換気用モニタ） 材料一覧

| 部位         | 部位名 | 材料 |
|------------|-----|----|
| 強度部材       |     |    |
| ウランを取り扱う部位 |     |    |
| その他        |     |    |


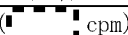

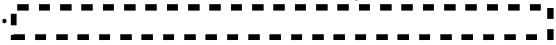
\*  以上の強度を有する材料

表チー設－6－1（別表1－2） ダストモニタ（換気用モニタ）  
配管 主要な材料及び機器

| 設備・機器名         | 部位名      | 主要な材料及び機器                                |
|----------------|----------|------------------------------------------|
| ダストモニタ（換気用モニタ） | サンプリング配管 | 排気ガス：<br>・材料：鋼（SGP）*<br>・機器：手動弁（金属製）、流量計 |

※ メッキ管を含める。

表チー設ー6ー2 ダストモニタ（排気用モニタ） 仕様

|                |                               |                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号（日付）<br>施設名称              | 原規規発第 1803284 号（平成 30 年 3 月 28 日付け）<br>ダストモニタ                                                                                                                                                                   |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7024}<br>ダストモニタ（排気用モニタ）<br>— |                                                                                                                                                                                                                 |
| 変更内容           | 改造（サンプリング配管の耐震補強）             |                                                                                                                                                                                                                 |
| 設置場所           | 第 2 加工棟 第 2 フィルタ室             |                                                                                                                                                                                                                 |
| 員数             | 1 式（1 台）                      |                                                                                                                                                                                                                 |
| 一般仕様           | 型式                            | 固定ろ紙式                                                                                                                                                                                                           |
|                | 主要な構造材                        | 本表（別表 1）に示す。                                                                                                                                                                                                    |
|                | 寸法（単位：mm）                     | 概略寸法：                                                                                                                         |
|                | その他の構成機器                      | サンプリング配管                                                                                                                                                                                                        |
|                | その他の性能                        | 測定範囲（  cpm）、最高検出感度（  Bq/cm <sup>3</sup> 以下） |
| 核燃料物質の状態       | —                             |                                                                                                                                                                                                                 |
| 核燃料物質の臨界防止     | —                             |                                                                                                                                                                                                                 |
| 技術基準に基づく仕様     | 安全機能を有する施設の地盤                 | ○本体、サンプリング配管<br>[5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 2 加工棟の床、壁等に固定する。                                                                                                                                  |
|                | 地震による損傷の防止                    | ○本体<br>[6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 2 類とする。<br>アンカーボルトで床面に固定する。<br><br>○サンプリング配管<br>[6.1F-1]<br>耐震重要度分類第 2 類における標準支持間隔以下で配管を支持する。    |
|                | 津波による損傷の防止                    | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止               | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止             | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 閉じ込めの機能                       | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 火災等による損傷の防止                   | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である鋼製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br>サンプリング配管は不燃性材料である鋼製とする。<br>材料を本表（別表 1-1）及び（別表 1-2）に示す。<br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。                                           |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止           | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 安全避難通路等                       | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 安全機能を有する施設                    | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。<br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。         |
|                | 材料及び構造                        | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 搬送設備                          | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 核燃料物質の貯蔵施設                    | —                                                                                                                                                                                                               |

表チー設-6-2 ダストモニタ (排気用モニタ) 仕様

| 技術基準に基づく仕様      | 警報設備等                                                    | [18.1-F1]<br>放射性廃棄物の排気口における排気中の放射性物質の濃度を計測し、濃度の著しい上昇を検知し、{7011}放射線監視盤(ダストモニタ)により警報を発するダストモニタ(排気用モニタ)を設置する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                |          |                |                 |   |   |   |   |
|-----------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------|----------------|-----------------|---|---|---|---|
|                 | 放射線管理施設                                                  | [19.1-F1]<br>放射性廃棄物の排気口における排気中の放射性物質の濃度を計測し、{7011}放射線監視盤(ダストモニタ)により表示するダストモニタ(排気用モニタ)を設置する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |          |                |                 |   |   |   |   |
|                 | 廃棄施設                                                     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                |          |                |                 |   |   |   |   |
|                 | 核燃料物質等による汚染の防止                                           | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                |          |                |                 |   |   |   |   |
|                 | 遮蔽                                                       | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                |          |                |                 |   |   |   |   |
|                 | 換気設備                                                     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                |          |                |                 |   |   |   |   |
|                 | 非常用電源設備                                                  | [24.2-F2]<br>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。<br>電源に係る結線図を図リ-他-11(1)、非常用電源設備接続の系統図を図リ-他-11(8)に示す。<br><br>以上を次表に示す。<br><p style="text-align: right;">(○:該当、—:該当なし)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>設備・機器名称<br/>機器名</th> <th>バッテリーに接続</th> <th>非常用電源設備に<br/>接続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダストモニタ (排気用モニタ)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> | 設備・機器名称<br>機器名 | バッテリーに接続 | 非常用電源設備に<br>接続 | ダストモニタ (排気用モニタ) | — | ○ | — | — |
| 設備・機器名称<br>機器名  | バッテリーに接続                                                 | 非常用電源設備に<br>接続                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |          |                |                 |   |   |   |   |
| ダストモニタ (排気用モニタ) | —                                                        | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                |          |                |                 |   |   |   |   |
| —               | —                                                        | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                |          |                |                 |   |   |   |   |
| 通信連絡設備          | —                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                |          |                |                 |   |   |   |   |
| その他許可で求める仕様     | —                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                |          |                |                 |   |   |   |   |
| 添付図             | 図ト-2P設-1-2、図ト-2P設-2-1-1、図チ-設-1、図チ-設-6-1、図チ-設-6-3、図リ-他-11 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                |          |                |                 |   |   |   |   |

表チー設-6-2 (別表1-1) ダストモニタ (排気用モニタ) 材料一覧

| 部位         | 部位名 | 材料 |
|------------|-----|----|
| 強度部材       |     |    |
| ウランを取り扱う部位 |     |    |
| その他        |     |    |

\* 以上の強度を有する材料



表チー設-6-2 (別表1-2) ダストモニタ (排気用モニタ)

配管 主要な材料及び機器

| 設備・機器名          | 部位名      | 主要な材料及び機器                                     |
|-----------------|----------|-----------------------------------------------|
| ダストモニタ (排気用モニタ) | サンプリング配管 | 排気ガス:<br>・材料: 鋼 (SGP) *<br>・機器: 手動弁 (金属製)、流量計 |

※ メッキ管を含める。

表チー設ー6ー3 放射線監視盤（ダストモニタ） 仕様

|                |                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号（日付）<br>施設名称                                                                                                          | 原規規発第 1803284 号（平成 30 年 3 月 28 日付け）<br>放射線監視盤                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7011}<br>放射線監視盤（ダストモニタ）<br>—                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 変更内容           | 変更なし                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 設置場所           | 第 2 加工棟 第 2 放射線管理室                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 員数             | 1 式（1 台）                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 一般仕様           | 型式                                                                                                                        | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                | 主要な構造材                                                                                                                    | 本表（別表 1）に示す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                | 寸法（単位：mm）                                                                                                                 | 概略寸法：                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                | その他の構成機器                                                                                                                  | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                | その他の性能                                                                                                                    | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                | 核燃料物質の状態                                                                                                                  | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の臨界防止                                                                                                                | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                                                                                                             | [5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 2 加工棟の床、壁等に固定する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                | 地震による損傷の防止                                                                                                                | [6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 2 類とする。<br>アンカーボルトで床面に固定する。<br>                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                | 津波による損傷の防止                                                                                                                | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止                                                                                                           | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止                                                                                                         | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                | 閉じ込めの機能                                                                                                                   | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                | 火災等による損傷の防止                                                                                                               | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である鋼製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br>材料を本表（別表 1）に示す。<br><br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。<br><br>[11.3-B2]<br>次のケーブル火災対策の取られた第 2 加工棟内に設置する。<br>・火災区画の仕様を維持するために、ウラン粉末を取り扱う設備・機器を設置する火災区画においてケーブルを使用する場合には、ケーブルに対して火災の延焼を防止するための措置を講じる。<br>・使用電圧が 600 V を超えるケーブルについては、JIS C 3005 に定める 60° 傾斜試験で確認した難燃性ケーブルを使用する。<br>・それ以外の電気・計装ケーブルは、難燃性ケーブルを使用するか金属箱等に収容する。ケーブルラックは金属製を、電線管等は金属製又は難燃性プラスチック製を使用する。 |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止                                                                                                       | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全避難通路等                                                                                                                   | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 安全機能を有する施設     | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                | [14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確保するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 材料及び構造         | —                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |


表チー設-6-3 放射線監視盤（ダストモニタ） 仕様

|             |                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 技術基準に基づく仕様  | 搬送設備                             | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|             | 核燃料物質の貯蔵施設                       | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|             | 警報設備等                            | [18.1-F1]<br>{7006}ダストモニタ（換気用モニタ）により、管理区域における空気中の放射性物質の濃度を計測し加工施設の安全性を著しく損なうおそれのある濃度に至るまでに異常を検知し、また、{7024}ダストモニタ（排気用モニタ）により、放射性廃棄物の排気口における排気中の放射性物質の濃度を計測し濃度の著しい上昇を検知し、警報を発する放射線監視盤（ダストモニタ）を設置する。                                                                                                        |
|             | 放射線管理施設                          | [19.1-F1]<br>{7006}ダストモニタ（換気用モニタ）により、管理区域における空気中の放射性物質の濃度を計測し、また、{7024}ダストモニタ（排気用モニタ）により、放射性廃棄物の排気口における排気中の放射性物質の濃度を計測し、表示する放射線監視盤（ダストモニタ）を設置する。                                                                                                                                                         |
|             | 廃棄施設                             | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|             | 核燃料物質等による汚染の防止                   | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|             | 遮蔽                               | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|             | 換気設備                             | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|             | 非常用電源設備                          | [24.2-F1]<br>加工施設の安全性を確保するために特に必要な設備に、バッテリーを内蔵する。これらの設備は、停電時に非常用発電機が起動し電力が供給されるまでの間、内蔵するバッテリーにより40秒以上作動する。<br><br>[24.2-F2]<br>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。<br>電源に係る結線図を図リー他-11(1)、非常用電源設備接続の系統図を図リー他-11(8)に示す。<br><br>以上を次表に示す。<br><br>(○：該当、—：該当なし) |
|             | 通信連絡設備                           | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| その他許可で求める仕様 | —                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 添付図         | 図チー設-1、図チー設-6-1、図チー設-6-4、図リー他-11 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

| 設備・機器名称<br>機器名 | バッテリーを内蔵 | 非常用電源設備に<br>接続 |
|----------------|----------|----------------|
| 放射線監視盤（ダストモニタ） | ○        | ○              |
| —              | —        | —              |




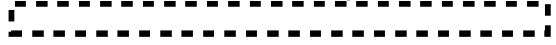
表チー設-6-3（別表1） 放射線監視盤（ダストモニタ） 材料一覧

| 部位         | 部位名 | 材料 |
|------------|-----|----|
| 強度部材       |     |    |
| ウランを取り扱う部位 |     |    |
| その他        |     |    |

\* 以上の強度を有する材料



表チー設ー7ー1 ダストモニタ（排気用モニタ） 仕様

|                |                               |                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号（日付）<br>施設名称              | 原規規発第 1803284 号（平成 30 年 3 月 28 日付け）<br>ダストモニタ                                                                                                                                                                   |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7025}<br>ダストモニタ（排気用モニタ）<br>— |                                                                                                                                                                                                                 |
| 変更内容           | 改造（サンプリング配管の耐震補強）             |                                                                                                                                                                                                                 |
| 設置場所           | 第 1 廃棄物貯蔵棟 W 1 廃棄物処理室         |                                                                                                                                                                                                                 |
| 員数             | 1 式（1 台）                      |                                                                                                                                                                                                                 |
| 一般仕様           | 型式                            | 固定ろ紙式                                                                                                                                                                                                           |
|                | 主要な構造材                        | 本表（別表 1）に示す。                                                                                                                                                                                                    |
|                | 寸法（単位：mm）                     | 概略寸法：                                                                                                                         |
|                | その他の構成機器                      | サンプリング配管                                                                                                                                                                                                        |
|                | その他の性能                        | 測定範囲（  cpm）、最高検出感度（  Bq/cm <sup>3</sup> 以下） |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の状態                      | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 核燃料物質の臨界防止                    | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                 | ○本体、サンプリング配管<br>[5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 1 廃棄物貯蔵棟の床、壁等に固定する。                                                                                                                               |
|                | 地震による損傷の防止                    | ○本体<br>[6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 2 類とする。<br>アンカーボルトで床面に固定する。<br><br>○サンプリング配管<br>[6.1F-1]<br>耐震重要度分類第 2 類における標準支持間隔以下で配管を支持する。    |
|                | 津波による損傷の防止                    | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止               | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止             | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 閉じ込めの機能                       | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 火災等による損傷の防止                   | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である鋼製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br>サンプリング配管は不燃性材料である鋼製とする。<br>材料を本表（別表 1-1）及び（別表 1-2）に示す。<br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。                                           |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止           | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 安全避難通路等                       | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 安全機能を有する施設                    | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。<br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。         |
|                | 材料及び構造                        | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 搬送設備                          | —                                                                                                                                                                                                               |
|                | 核燃料物質の貯蔵施設                    | —                                                                                                                                                                                                               |

表チー設-7-1 ダストモニタ (排気用モニタ) 仕様

|             |                                                        |                                                                                                                                                                                        |
|-------------|--------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 技術基準に基づく仕様  | 警報設備等                                                  | [18.1-F1]<br>放射性廃棄物の排気口における排気中の放射性物質の濃度を計測し、濃度の著しい上昇を検知し、{7013}放射線監視盤(ダストモニタ)により警報を発するダストモニタ(排気用モニタ)を設置する。                                                                             |
|             | 放射線管理施設                                                | [19.1-F1]<br>放射性廃棄物の排気口における排気中の放射性物質の濃度を計測し、{7013}放射線監視盤(ダストモニタ)により表示するダストモニタ(排気用モニタ)を設置する。                                                                                            |
|             | 廃棄施設                                                   | —                                                                                                                                                                                      |
|             | 核燃料物質等による汚染の防止                                         | —                                                                                                                                                                                      |
|             | 遮蔽                                                     | —                                                                                                                                                                                      |
|             | 換気設備                                                   | —                                                                                                                                                                                      |
|             | 非常用電源設備                                                | [24.2-F2]<br>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。<br>電源に係る結線図を図リ-他-11(5)、非常用電源設備接続の系統図を図リ-他-11(8)に示す。<br><br>以上を次表に示す。<br><br>(○:該当、—:該当なし) |
| 通信連絡設備      | —                                                      |                                                                                                                                                                                        |
| その他許可で求める仕様 | —                                                      |                                                                                                                                                                                        |
| 添付図         | 図ト-W1設-1-2、図ト-W1設-2-1、図チ-設-1、図チ-設-7-1、図チ-設-7-2、図リ-他-11 |                                                                                                                                                                                        |

| 設備・機器名称<br>機器名  | バッテリーを内蔵 | 非常用電源設備に<br>接続 |
|-----------------|----------|----------------|
| ダストモニタ (排気用モニタ) | —        | ○              |
| —               | —        | —              |

表チー設-7-1 (別表1-1) ダストモニタ (排気用モニタ) 材料一覧

| 部位         | 部位名 | 材料 |
|------------|-----|----|
| 強度部材       |     |    |
| ウランを取り扱う部位 |     |    |
| その他        |     |    |

\* 以上の強度を有する材料


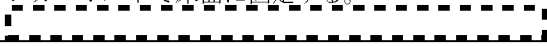
表チー設-7-1 (別表1-2) ダストモニタ (排気用モニタ)

配管 主要な材料及び機器

| 設備・機器名          | 部位名      | 主要な材料及び機器                                     |
|-----------------|----------|-----------------------------------------------|
| ダストモニタ (排気用モニタ) | サンプリング配管 | 排気ガス:<br>・材料: 鋼 (SGP) *<br>・機器: 手動弁 (金属製)、流量計 |

※ メッキ管を含める。

表チー設ー7ー2 放射線監視盤（ダストモニタ） 仕様

|                |                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                             |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号（日付）                                                                                                    | 原規規発第 1803284 号（平成 30 年 3 月 28 日付け）                                                                                                                                                                         |
|                | 施設名称                                                                                                        | 放射線監視盤                                                                                                                                                                                                      |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7013}<br>放射線監視盤（ダストモニタ）<br>—                                                                               |                                                                                                                                                                                                             |
| 変更内容           | 変更なし                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                             |
| 設置場所           | 第 1 廃棄物貯蔵棟 W 1 出入管理室                                                                                        |                                                                                                                                                                                                             |
| 員数             | 1 式（1 台）                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                             |
| 一般仕様           | 型式                                                                                                          | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 主要な構造材                                                                                                      | 本表（別表 1）に示す。                                                                                                                                                                                                |
|                | 寸法（単位：mm）                                                                                                   | 概略寸法：                                                                                                                     |
|                | その他の構成機器                                                                                                    | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | その他の性能                                                                                                      | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 核燃料物質の状態                                                                                                    | —                                                                                                                                                                                                           |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の臨界防止                                                                                                  | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                                                                                               | [5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 1 廃棄物貯蔵棟の床、壁等に固定する。                                                                                                                                           |
|                | 地震による損傷の防止                                                                                                  | [6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 2 類とする。<br>アンカーボルトで床面に固定する。<br>                                                                     |
|                | 津波による損傷の防止                                                                                                  | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止                                                                                             | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止                                                                                           | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 閉じ込めの機能                                                                                                     | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 火災等による損傷の防止                                                                                                 | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である鋼製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br>材料を本表（別表 1）に示す。<br><br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。                                                                          |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止                                                                                         | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全避難通路等                                                                                                     | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設                                                                                                  | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。<br><br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。 |
|                | 材料及び構造                                                                                                      | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 搬送設備                                                                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 核燃料物質の貯蔵施設                                                                                                  | —                                                                                                                                                                                                           |
| 警報設備等          | [18.1-F1]<br>{7025}ダストモニタ（排気用モニタ）により、放射性廃棄物の排気口における排気中の放射性物質の濃度を計測し、濃度の著しい上昇を検知し、警報を発する放射線監視盤（ダストモニタ）を設置する。 |                                                                                                                                                                                                             |
| 放射線管理施設        | [19.1-F1]<br>{7025}ダストモニタ（排気用モニタ）により、放射性廃棄物の排気口における排気中の放射性物質の濃度を計測し、表示する放射線監視盤（ダストモニタ）を設置する。                |                                                                                                                                                                                                             |

表チー設-7-2 放射線監視盤（ダストモニタ） 仕様



| 技術基準に基づく仕様     | 廃棄施設                             | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |          |            |                |   |   |   |   |
|----------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------|------------|----------------|---|---|---|---|
|                | 核燃料物質等による汚染の防止                   | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |          |            |                |   |   |   |   |
|                | 遮蔽                               | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |          |            |                |   |   |   |   |
|                | 換気設備                             | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |          |            |                |   |   |   |   |
|                | 非常用電源設備                          | <p>[24.2-F1]<br/>加工施設の安全性を確保するために特に必要な設備に、バッテリーを備える。これらの設備は、停電時に非常用発電機が起動し電力が供給されるまでの間、バッテリーにより40秒以上作動する。</p> <p>[24.2-F2]<br/>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。<br/>電源に係る結線図及び非常用電源設備接続の系統図を図リ-他-11に示す。</p> <p>以上を次表に示す。<br/>(○：該当、—：該当なし)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>設備・機器名称<br/>機器名</th> <th>バッテリーに接続</th> <th>非常用電源設備に接続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線監視盤（ダストモニタ）</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> | 設備・機器名称<br>機器名 | バッテリーに接続 | 非常用電源設備に接続 | 放射線監視盤（ダストモニタ） | ○ | ○ | — | — |
| 設備・機器名称<br>機器名 | バッテリーに接続                         | 非常用電源設備に接続                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |            |                |   |   |   |   |
| 放射線監視盤（ダストモニタ） | ○                                | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |          |            |                |   |   |   |   |
| —              | —                                | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |          |            |                |   |   |   |   |
| 通信連絡設備         | —                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                |          |            |                |   |   |   |   |
| その他許可で求める仕様    | —                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                |          |            |                |   |   |   |   |
| 添付図            | 図チー設-1、図チー設-7-1、図チー設-7-3、図リ-他-11 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                |          |            |                |   |   |   |   |

表チー設-7-2（別表1） 放射線監視盤（ダストモニタ） 材料一覧

| 部位         | 部位名 | 材料 |
|------------|-----|----|
| 強度部材       |     |    |
| ウランを取り扱う部位 |     |    |
| その他        |     |    |

\* 以上の強度を有する材料

表チー設ー8ー1 ガンマ線エリアモニタ 検出器 仕様



|                |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号 (日付)                                                                                                                                                  | 原規規発第 1803284 号 (平成 30 年 3 月 28 日付け)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                | 施設名称                                                                                                                                                       | ガンマ線エリアモニタ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7009}<br>ガンマ線エリアモニタ<br>検出器                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 変更内容           | 変更なし                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 設置場所           | 第2加工棟 第2-1貯蔵室、第2ペレット保管室、第2-1混合室、第2-1ペレット室、第2-1燃料棒加工室、第2-2混合室、第2-2ペレット室、第2-2燃料棒加工室、第2分析室、第2開発室、第2-2貯蔵室、第2燃料棒保管室、第2-1組立室、第2集合体保管室、第2-1燃料棒検査室、第2輸送容器保管室、第2梱包室 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 員数             | 1式 (17台)                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 一般仕様           | 型式                                                                                                                                                         | 半導体式                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                | 主要な構造材                                                                                                                                                     | 鋼、ABS樹脂                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                | 寸法 (単位: mm)                                                                                                                                                | 概略寸法:                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                | その他の構成機器                                                                                                                                                   | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                | その他の性能                                                                                                                                                     | 測定範囲  μSv/h                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                | 核燃料物質の状態                                                                                                                                                   | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の臨界防止                                                                                                                                                 | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                                                                                                                                              | [5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第2加工棟の壁等に固定する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                | 地震による損傷の防止                                                                                                                                                 | [6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第3類とする。<br>アンカーボルトで壁等に固定する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                | 津波による損傷の防止                                                                                                                                                 | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止                                                                                                                                            | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止                                                                                                                                          | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                | 閉じ込めの機能                                                                                                                                                    | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                | 火災等による損傷の防止                                                                                                                                                | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である鋼製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br><br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。<br><br>[11.3-B2]<br>次のケーブル火災対策の取られた第2加工棟内に設置する。<br>・火災区画の仕様を維持するために、ウラン粉末を取り扱う設備・機器を設置する火災区画においてケーブルを使用する場合には、ケーブルに対して火災の延焼を防止するための措置を講じる。<br>・使用電圧が 600 V を超えるケーブルについては、JIS C 3005 に定める 60° 傾斜試験で確認した難燃性ケーブルを使用する。<br>・それ以外の電気・計装ケーブルは、難燃性ケーブルを使用するか金属箱等に収容する。ケーブルラックは金属製を、電線管等は金属製又は難燃性プラスチック製を使用する。 |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止                                                                                                                                        | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                | 安全避難通路等                                                                                                                                                    | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

表チー設－８－１ ガンマ線エリアモニタ 検出器 仕様

|            |                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 技術基準に基づく仕様 | 安全機能を有する施設                | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。<br><br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。                                                                                                |
|            | 材料及び構造                    | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|            | 搬送設備                      | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|            | 核燃料物質の貯蔵施設                | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|            | 警報設備等                     | [18.1-F1]<br>管理区域における外部放射線に係る線量当量を計測し、加工施設の安全性を著しく損なうおそれのある空間線量率 (500 $\mu$ Sv/h) に至るまでに異常を検知し、{7012}放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) により警報を発するガンマ線エリアモニタ 検出器を設置する。                                                                                                                                                     |
|            | 放射線管理施設                   | [19.1-F1]<br>管理区域における外部放射線に係る線量当量を計測し、{7012}放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) により表示するガンマ線エリアモニタ 検出器を設置する。                                                                                                                                                                                                                |
|            | 廃棄施設                      | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|            | 核燃料物質等による汚染の防止            | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|            | 遮蔽                        | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|            | 換気設備                      | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|            | 非常用電源設備                   | [24.2-F1]<br>加工施設の安全性を確保するために特に必要な設備に、バッテリーを備える。これらの設備は、停電時に非常用発電機が起動し電力が供給されるまでの間、バッテリーにより 40 秒以上作動する。<br><br>[24.2-F2]<br>{8001} 非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003} 非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。<br>電源に係る結線図を図リー他－１１ (１)、非常用電源設備接続の系統図を図リー他－１１ (８) に示す。<br><br>以上を次表に示す。<br><br>(○：該当、—：該当なし) |
|            | 通信連絡設備                    | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|            | その他許可で求める仕様               | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 添付図        | 図チー設－８－１、図チー設－８－２、図リー他－１１ |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

| 設備・機器名称<br>機器名    | バッテリーに接続 | 非常用電源設備に<br>接続 |
|-------------------|----------|----------------|
| ガンマ線エリアモニタ<br>検出器 | ○        | ○              |

表チー設ー8ー2 放射線監視盤（ガンマ線エリアモニタ） 仕様

|                |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                             |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号（日付）                                                                                                                                                   | 原規規発第 1803284 号（平成 30 年 3 月 28 日付け）                                                                                                                                                                         |
|                | 施設名称                                                                                                                                                       | 放射線監視盤                                                                                                                                                                                                      |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7012}<br>放射線監視盤（ガンマ線エリアモニタ）<br>—                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                             |
| 変更内容           | 変更なし                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                             |
| 設置場所           | 第 2 加工棟 第 2 出入管理室                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                             |
| 員数             | 1 式（1 台）                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                             |
| 一般仕様           | 型式                                                                                                                                                         | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 主要な構造材                                                                                                                                                     | 本表（別表 1）に示す。                                                                                                                                                                                                |
|                | 寸法（単位：mm）                                                                                                                                                  | 概略寸法：                                                                                                                      |
|                | その他の構成機器                                                                                                                                                   | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | その他の性能                                                                                                                                                     | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 核燃料物質の状態                                                                                                                                                   | —                                                                                                                                                                                                           |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の臨界防止                                                                                                                                                 | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                                                                                                                                              | [5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 2 加工棟の床、壁等に固定する。                                                                                                                                              |
|                | 地震による損傷の防止                                                                                                                                                 | [6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 2 類とする。<br>アンカーボルトで床面に固定する。<br>                                                                     |
|                | 津波による損傷の防止                                                                                                                                                 | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止                                                                                                                                            | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止                                                                                                                                          | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 閉じ込めの機能                                                                                                                                                    | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 火災等による損傷の防止                                                                                                                                                | [11.3-F1]<br>設備本体を構成する主要な材料は不燃性材料である鋼製とし、それ以外の材料については不燃性又は難燃性材料とする。<br>材料を本表（別表 1）に示す。<br><br>[11.3-F2]<br>配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。                                                                          |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止                                                                                                                                        | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全避難通路等                                                                                                                                                    | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 安全機能を有する施設                                                                                                                                                 | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮するよう設置する。<br><br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。 |
|                | 材料及び構造                                                                                                                                                     | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 搬送設備                                                                                                                                                       | —                                                                                                                                                                                                           |
|                | 核燃料物質の貯蔵施設                                                                                                                                                 | —                                                                                                                                                                                                           |
| 警報設備等          | [18.1-F1]<br>{7008}～{7009} ガンマ線エリアモニタ 検出器により管理区域における外部放射線に係る線量当量を計測し、加工施設の安全性を著しく損なうおそれのある空間線量率（500 $\mu$ Sv/h）に至るまでに異常を検知し、警報を発する放射線監視盤（ガンマ線エリアモニタ）を設置する。 |                                                                                                                                                                                                             |

表チー設－８－２ 放射線監視盤（ガンマ線エリアモニタ） 仕様

| 技術基準に基づく仕様         | 放射線管理施設                          | [19.1-F1]<br>{7008}～{7009}ガンマ線エリアモニタ 検出器により管理区域における外部放射線に係る線量当量を計測し表示する放射線監視盤（ガンマ線エリアモニタ）を設置する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                |          |                |                    |   |   |   |   |
|--------------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------|----------------|--------------------|---|---|---|---|
|                    | 廃棄施設                             | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |                |                    |   |   |   |   |
|                    | 核燃料物質等による汚染の防止                   | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |                |                    |   |   |   |   |
|                    | 遮蔽                               | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |                |                    |   |   |   |   |
|                    | 換気設備                             | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |                |                    |   |   |   |   |
|                    | 非常用電源設備                          | <p>[24.2-F1]<br/>加工施設の安全性を確保するために特に必要な設備に、バッテリーを備える。これらの設備は、停電時に非常用発電機が起動し電力が供給されるまでの間、バッテリーにより40秒以上作動する。</p> <p>[24.2-F2]<br/>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。<br/>電源に係る結線図を図リ－他－11（1）及び非常用電源設備接続の系統図を図リ－他－11（8）に示す。</p> <p>以上を次表に示す。<br/>(○：該当、－：該当なし)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>設備・機器名称<br/>機器名</th> <th>バッテリーに備え</th> <th>非常用電源設備に<br/>接続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線監視盤（ガンマ線エリアモニタ）</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> | 設備・機器名称<br>機器名 | バッテリーに備え | 非常用電源設備に<br>接続 | 放射線監視盤（ガンマ線エリアモニタ） | ○ | ○ | — | ○ |
| 設備・機器名称<br>機器名     | バッテリーに備え                         | 非常用電源設備に<br>接続                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |          |                |                    |   |   |   |   |
| 放射線監視盤（ガンマ線エリアモニタ） | ○                                | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |                |                    |   |   |   |   |
| —                  | ○                                | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |          |                |                    |   |   |   |   |
| 通信連絡設備             | —                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                |          |                |                    |   |   |   |   |
| その他許可で求める仕様        | —                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                |          |                |                    |   |   |   |   |
| 添付図                | 図チー設－1、図チー設－8－1、図チー設－8－3、図リ－他－11 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                |          |                |                    |   |   |   |   |

表チー設－８－２（別表1） 放射線監視盤（ガンマ線エリアモニタ） 材料一覧

| 部位         | 部位名 | 材料 |
|------------|-----|----|
| 強度部材       |     |    |
| ウランを取り扱う部位 |     |    |
| その他        |     |    |

\* 以上の強度を有する材料





表チー設一 9-1 放射線管理施設（その他） 仕様表

| 設置場所                             | 設備・機器名称<br>機器名                   | 変更<br>内容 | 員数         | 技術基準に基づく仕様                                                                                                                         | 添付図     |
|----------------------------------|----------------------------------|----------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟                | {7014}<br>流し<br>—                | 変更<br>なし | 1式<br>(3台) | 放射線管理施設<br>[19.1-F1]<br>第1種管理区域からの退出者の身体の<br>表面の除染を行う流しを備える。                                                                       | 図チー設一 1 |
| 第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟                | {7015}<br>物品搬出モニタ<br>—           | 変更<br>なし | 1式<br>(4台) | 放射線管理施設<br>[19.1-F1]<br>第1種管理区域からの搬出物品の放射<br>性物質の表面密度を計測する物品搬出モ<br>ニタを備える。                                                         | 図チー設一 1 |
| 第1加工棟<br>第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟       | {7016}<br>低バックグラウンド<br>カウンタ<br>— | 変更<br>なし | 1式<br>(4台) | 検出下限（ $\alpha$ 線： $\square$ Bq/試料以下）<br>放射線管理施設<br>[19.1-F1]<br>空気中の放射性物質の濃度及び床面等<br>の放射性物質の表面密度を計測するた<br>め、低バックグラウンドカウンタを備え<br>る。 | 図チー設一 1 |
| 第1加工棟<br>第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟<br>屋外 | {7017}<br>サーベイメータ<br>—           | 変更<br>なし | 1式         | 放射線管理施設<br>[19.1-F1]<br>管理区域における外部放射線に係る線<br>量当量率を計測する又は空気中の放射<br>性物質の濃度及び床面等の放射性物質<br>の表面密度を計測するため、サーベイメ<br>ータを備える。               | —       |
| 第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟<br>屋外          | {7018}<br>熱蛍光線量計（TLD）<br>—       | 変更<br>なし | 1式         | 放射線管理施設<br>[19.1-F1]<br>管理区域における外部放射線に係る線<br>量当量を計測するため、熱蛍光線量計<br>（TLD）を備える。                                                       | —       |
| 第2加工棟                            | {7019}<br>放射線測定装置<br>—           | 変更<br>なし | 1式<br>(1台) | 放射線管理施設<br>[19.1-F1]<br>試料中に含まれるウラン及び放射性不<br>純物の核種を同定するため、放射線測定<br>装置を備える。                                                         | 図チー設一 1 |
| 第1加工棟<br>第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟       | {7020}<br>個人線量計<br>—             | 変更<br>なし | 1式         | 放射線管理施設<br>[19.1-F1]<br>個人被ばく線量を測定するため、個人<br>線量計を備える。                                                                              | —       |
| 第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟                | {7021}<br>呼吸保護具<br>—             | 変更<br>なし | 1式         | 放射線管理施設<br>[19.1-F1]<br>放射性物質の体内摂取を防止するた<br>め、呼吸保護具を備える。                                                                           | —       |
| 屋外                               | {7030}<br>可搬式ダストサンプ<br>ラ<br>—    | 変更<br>なし | 1式         | 放射線管理施設<br>[19.1-F1]<br>空気中の放射性物質の濃度を計測する<br>ため、空気中の放射性物質を集塵する<br>可搬式ダストサンプラを備える。                                                  | —       |

表チー設－9－1 放射線管理施設（その他） 仕様表

| 設置場所                                  | 設備・機器名称<br>機器名         | 変更<br>内容 | 員数  | 技術基準に基づく仕様                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 添付図                |
|---------------------------------------|------------------------|----------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 屋外                                    | {7033}<br>気象観測装置<br>—  | 変更<br>なし | 1 式 | 放射線管理施設<br>[19.1-F1]<br>気象状況を監視及び測定する気象観測装置を備える。<br><br>非常用電源設備<br>[24.2-F1]<br>加工施設の安全性を確保するために特に必要な設備に、バッテリーを備える。これらの設備は、停電時に非常用発電機が起動し電力が供給されるまでの間、バッテリーにより 40 秒以上作動する。<br><br>[24.2-F2]<br>{8005} 非常用電源設備 A 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。                                                                            | 図チー設－1<br>図リ－他－1 1 |
| 第1加工棟<br>第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟<br>事務棟、保安棟 | {7037}<br>警報集中表示盤<br>— | 変更<br>なし | 1 式 | 警報設備<br>[18.1-F2]<br>加工施設の状態を正確かつ迅速に把握するため、警報の移報信号、給排気設備の運転状態に係る移報信号を受け、集中表示する警報集中表示盤を設置する。<br><br>非常用電源設備<br>[24.2-F1]<br>加工施設の安全性を確保するために特に必要な設備に、バッテリーを備える。これらの設備は、停電時に非常用発電機が起動し電力が供給されるまでの間、バッテリーにより 40 秒以上作動する。<br><br>[24.2-F2]<br>{8001} 非常用電源設備 No. 1 非常用発電機、{8003} 非常用電源設備 No. 2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。 | 図チー設－1<br>図リ－他－1 1 |

追第3次 表チ-2-1 ガンマ線エリアモニタ 検出器 仕様


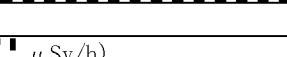

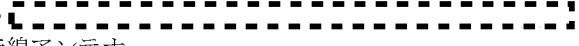
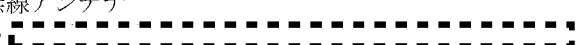
|                |                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号 (日付)                                                                                                                                                                  | 原規規発第 1803284 号 (平成 30 年 3 月 28 日付け)                                                                                                                                                                                     |
|                | 施設名称                                                                                                                                                                       | ガンマ線エリアモニタ                                                                                                                                                                                                               |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7008}<br>ガンマ線エリアモニタ<br>検出器                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                          |
| 変更内容           | 移設 (第 1 加工棟に設置しているガンマ線エリアモニタ 検出器 2 台のうち第 1-1 輸送物保管室に設置している 1 台を、建物の耐震補強工事と干渉するため同室内で移設し、第 1 加工棟の壁への固定を行う。(第 1-1 輸送物搬出入室に設置している他の 1 台については、変更はない。))<br>①ガンマ線エリアモニタ 検出器の一部移設 |                                                                                                                                                                                                                          |
| 設置場所           | 第 1 加工棟 第 1-1 輸送物保管室、第 1-1 輸送物搬出入室                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                          |
| 員数             | 2 台 (各設置場所に 1 台ずつ)                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                          |
| 一般仕様           | 型式                                                                                                                                                                         | 半導体式                                                                                                                                                                                                                     |
|                | 主要な構造材                                                                                                                                                                     | 検出器本体：ABS 樹脂<br>アンカーボルト：鋼                                                                                                                                                                                                |
|                | 寸法 (単位：mm)                                                                                                                                                                 | 概略寸法：                                                                                                                                   |
|                | その他の構成機器                                                                                                                                                                   | —                                                                                                                                                                                                                        |
|                | その他の性能                                                                                                                                                                     | 測定範囲 (  μ Sv/h)                                                                                                                         |
|                | 核燃料物質の状態                                                                                                                                                                   | —                                                                                                                                                                                                                        |
| 技術基準に基づく仕様     | 核燃料物質の臨界防止                                                                                                                                                                 | —                                                                                                                                                                                                                        |
|                | 安全機能を有する施設の地盤                                                                                                                                                              | [5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 1 加工棟の壁に固定する設計。                                                                                                                                                            |
|                | 地震による損傷の防止                                                                                                                                                                 | [6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 3 類とし、第 1 加工棟の壁に固定する設計。                                                                                                                                                                            |
|                | 津波による損傷の防止                                                                                                                                                                 | —                                                                                                                                                                                                                        |
|                | 外部からの衝撃による損傷の防止                                                                                                                                                            | —                                                                                                                                                                                                                        |
|                | 加工施設への人の不法な侵入等の防止                                                                                                                                                          | —                                                                                                                                                                                                                        |
|                | 閉じ込めの機能                                                                                                                                                                    | —                                                                                                                                                                                                                        |
|                | 火災等による損傷の防止                                                                                                                                                                | [11.3-F1]<br>アンカーボルトを不燃性材料である鋼製とする設計。<br>アンカーボルトの材料を別表チ-2-1-1 に示す。<br><br>[11.3-F2]<br>分電盤に配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する設計。<br>配線用遮断器の結線図を図リ-4-1-6 に示す。                                                                         |
|                | 加工施設内における溢水による損傷の防止                                                                                                                                                        | —                                                                                                                                                                                                                        |
|                | 安全避難通路等                                                                                                                                                                    | —                                                                                                                                                                                                                        |
|                | 安全機能を有する施設                                                                                                                                                                 | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮することができる設計。<br><br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができるように、これらの作業性を考慮した設計。 |
|                | 材料及び構造                                                                                                                                                                     | —                                                                                                                                                                                                                        |
|                | 搬送設備                                                                                                                                                                       | —                                                                                                                                                                                                                        |
| 核燃料物質の貯蔵施設     | —                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                          |

追第3次 表チ-2-1 ガンマ線エリアモニタ 検出器 仕様 (続き)

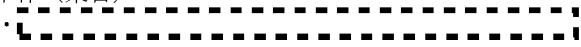
|             |                            |                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 技術基準に基づく仕様  | 警報設備等                      | [18. 1-F1]<br>ガンマ線エリアモニタ 検出器により、管理区域における外部放射線に係る線量当量を計測し、加工施設の安全性を著しく損なうおそれのある空間線量率 (500 $\mu$ Sv/h) に至るまでに異常を検知し、放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) <sup>(1)</sup> により警報を発する設計。<br><u>{7012}放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) の仕様を「チ. 放射線管理施設」に示す。</u> |
|             | 放射線管理施設                    | [19. 1-F2]<br>ガンマ線エリアモニタ 検出器により、管理区域における外部放射線に係る線量当量を計測し、加工施設の安全性を著しく損なうおそれのある空間線量率 (500 $\mu$ Sv/h) に至るまでに異常を検知し、放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) <sup>(1)</sup> により警報を発する設計。<br><u>{7012}放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) の仕様を「チ. 放射線管理施設」に示す。</u> |
|             | 廃棄施設                       | —                                                                                                                                                                                                                          |
|             | 核燃料物質等による汚染の防止             | —                                                                                                                                                                                                                          |
|             | 遮蔽                         | —                                                                                                                                                                                                                          |
|             | 換気設備                       | —                                                                                                                                                                                                                          |
|             | 非常用電源設備                    | [24. 2-F1]<br>ガンマ線エリアモニタ 検出器は、バッテリーを内蔵する設計。<br><br>[24. 2-F2]<br>ガンマ線エリアモニタ 検出器は、非常用電源設備 No.1 非常用発電機 <sup>(2)</sup> 、非常用電源設備 No.2 非常用発電機 <sup>(2)</sup> に接続し、外部電源が喪失しても動作可能な設計。                                            |
|             | 通信連絡設備                     | —                                                                                                                                                                                                                          |
| その他許可で求める仕様 | —                          |                                                                                                                                                                                                                            |
| 添付図         | 図チ-2-1-1、図チ-2-1-2、図リ-4-1-6 |                                                                                                                                                                                                                            |

- (1) 放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) は、次回以降の申請で適合性を確認するが、ガンマ線エリアモニタ 検出器の安全機能の確認は、既存の放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) で行う。また、放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) の適合性確認までの間は、既存の放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) に接続し、安全機能を維持する。
- (2) 非常用電源設備 No.1 非常用発電機、非常用電源設備 No.2 非常用発電機は、次回以降の申請で適合性を確認するが、これらに接続する設備・機器の安全機能の確認は、既存の非常用電源設備 No.1 非常用発電機、非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続して行う。非常用電源設備 No.1 非常用発電機、非常用電源設備 No.2 非常用発電機の適合性確認までの間は、既存の非常用電源設備 No.1 非常用発電機、非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、安全機能を維持する。


追第4次 表チー2-1 モニタリングポスト No.1 仕様

|                |                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号 (日付)<br>施設名称                                                 | 原規規発第 1803284 号 (平成 30 年 3 月 28 日付け)<br>モニタリングポスト                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7026}<br>モニタリングポスト No. 1<br>—                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 変更内容           | 改造 (伝送系の多様性を確保するため、有線式の伝送系に加え無線式の伝送系を有する仕様の機器を新たに設置し、既設の機器を撤去する。) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 設置場所           | 屋外                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 員数             | 1 台                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 一般仕様           | 型式                                                                | シンチレーション式                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                | 主要な構造材                                                            | 本表 (別表 1) に示す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                | 寸法 (単位: mm)                                                       | 概略寸法: (本体) <br>(基礎)                                                                                                                                                                                                                                         |
|                | その他の構成機器                                                          | 無線アンテナ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                | その他の性能                                                            | 測定範囲 (  μSv/h)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                | 核燃料物質の状態                                                          | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 核燃料物質の臨界防止     | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 技術基準に基づく仕様     | 安全機能を有する施設の地盤                                                     | [5.1-F1]<br>モニタリングポストの基礎構造は直接基礎 (べた基礎) とし、自重及び通常時に作用する荷重に加えて、耐震重要度分類に応じて算定する地震力が作用した場合においても、モニタリングポスト本体及び無線アンテナを十分に支持することができる地盤に設ける。<br><br>・支持方法 平板載荷試験で十分な支持性能を有することを確認した表層地盤 (人工盛土) に直接基礎 (べた基礎) で直接支持させる。<br>・基礎構造 直接基礎 (別表 2)                                                                                                                                                                                              |
|                | 地震による損傷の防止                                                        | [6.1-F1]<br>○基礎<br>耐震重要度分類を第 2 類とし、常時作用している荷重と耐震重要度分類に応じて算定する静的地震力が作用した場合に生じる応力度が、基礎の許容応力度を超えない。<br>構造材を本表 (別表 1) に示す。<br><br>○本体、無線アンテナ<br>耐震重要度分類を第 2 類とし、アンカーボルトで屋外に設置した基礎に固定する。<br>強度部材を本表 (別表 1) 及び (別表 3) に示す。<br>○本体 (架台)<br>・ <br>○無線アンテナ<br>・  |
| 津波による損傷の防止     | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

追第4次 表チー2-1 モニタリングポストNo.1 仕様


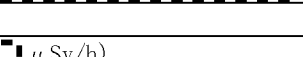

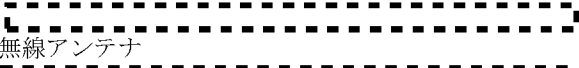

|                   |                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>技術基準に基づく仕様</p> | <p>外部からの衝撃による損傷の防止</p>     | <p>(竜巻)<br/>[8.1-F3]<br/>F1 竜巻に対して本体(架台)が飛来物とならないよう、コンクリート基礎にアンカーボルトにより固定する。<br/>○本体(架台)<br/></p> <p>(落雷)<br/>—</p> <p>(極低温(凍結))<br/>—</p> <p>(火山活動(降下火砕物))<br/>—</p> <p>(積雪)<br/>—</p> <p>(生物学的事象)<br/>—</p> <p>(外部火災(森林火災、近隣工場等の火災、近隣工場等の爆発、航空機落下火災))<br/>—</p> <p>(電磁的障害)<br/>—</p> <p>(交通事故(自動車))<br/>—</p> |
|                   | <p>加工施設への人の不法な侵入等の防止</p>   | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                   | <p>閉じ込めの機能</p>             | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                   | <p>火災等による損傷の防止</p>         | <p>[11.3-F1]<br/>設備本体の主要構造を不燃性材料である鋼製とする。</p> <p>[11.3-F2]<br/>分電盤に配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。配線用遮断器の結線図を図リ-2-1-7に示す。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                   | <p>加工施設内における溢水による損傷の防止</p> | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                   | <p>安全避難通路等</p>             | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                   | <p>安全機能を有する施設</p>          | <p>[14.1-F1]<br/>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮することができるよう設置する。</p> <p>[14.2-F1]<br/>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。</p>                                                                                                                                                                        |
|                   | <p>材料及び構造</p>              | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                   | <p>搬送設備</p>                | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                   | <p>核燃料物質の貯蔵施設</p>          | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

追第4次 表チー2-1 モニタリングポストNo.1 仕様

| 技術基準に基づく仕様     | 警報設備等                                      | [18.1-F1]<br>周辺監視区域境界付近における空間線量率を計測し、原子力災害対策特別措置法施行令第四条に定める放射線量 (5 μSv/h) を検知し、{7027-2}放射線監視盤 (モニタリングポスト) において警報を発する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                |          |           |               |   |   |   |   |
|----------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------|-----------|---------------|---|---|---|---|
|                | 放射線管理施設                                    | [19.1-F1]<br>通常時及び設計基準事故時に周辺監視区域境界付近における空間線量率 (  μSv/h) を計測し、{7027-2}放射線監視盤 (モニタリングポスト) に表示する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                |          |           |               |   |   |   |   |
|                | 廃棄施設                                       | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |          |           |               |   |   |   |   |
|                | 核燃料物質等による汚染の防止                             | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |          |           |               |   |   |   |   |
|                | 遮蔽                                         | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |          |           |               |   |   |   |   |
|                | 換気設備                                       | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |          |           |               |   |   |   |   |
|                | 非常用電源設備                                    | [24.2-F1]<br>停電時に備えてバッテリーを内蔵し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。<br><br>[24.2-F2]<br><u>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。</u><br><u>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機の仕様は「リ、その他の加工施設」に示す。<sup>(1)</sup></u><br><br>以上を次表に示す。 (○：該当、—：該当なし)<br><table border="1" data-bbox="619 1019 1402 1137"> <thead> <tr> <th>設備・機器名称<br/>機器名</th> <th>バッテリーを内蔵</th> <th>非常用発電機に接続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モニタリングポストNo.1</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> | 設備・機器名称<br>機器名 | バッテリーを内蔵 | 非常用発電機に接続 | モニタリングポストNo.1 | ○ | ○ | — | — |
| 設備・機器名称<br>機器名 | バッテリーを内蔵                                   | 非常用発電機に接続                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                |          |           |               |   |   |   |   |
| モニタリングポストNo.1  | ○                                          | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |          |           |               |   |   |   |   |
| —              | —                                          | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |          |           |               |   |   |   |   |
| 通信連絡設備         | —                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                |          |           |               |   |   |   |   |
| その他許可で求める仕様    | [99-F6]<br>有線式に加え無線式の通信方法を有し、伝送系に多様性を持たせる。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                |          |           |               |   |   |   |   |
| 添付図            | 図チー1、図チー2-1、図リー2-1-7、図リー2-1-14             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                |          |           |               |   |   |   |   |

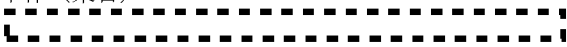
(1) 先行申請において、次回以降の申請で適合性を確認する予定の範囲表 (次回表) に記載していた技術基準に基づく仕様。

追第4次 表チ-3-1 モニタリングポスト No.2 仕様


|                |                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------|-------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応         | 許可番号 (日付)<br>施設名称                                                 | 原規規発第 1803284 号 (平成 30 年 3 月 28 日付け)<br>モニタリングポスト                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 設備・機器名称<br>機器名 | {7027}<br>モニタリングポスト No.2<br>—                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 変更内容           | 改造 (伝送系の多様性を確保するため、有線式の伝送系に加え無線式の伝送系を有する仕様の機器を新たに設置し、既設の機器を撤去する。) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 設置場所           | 屋外                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 員数             | 1 台                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 一般仕様           | 型式                                                                | シンチレーション式                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                | 主要な構造材                                                            | 本表 (別表 1) に示す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                | 寸法 (単位: mm)                                                       | 概略寸法: (本体) <br>(基礎)                                                                                                                                                                                                                               |
|                | その他の構成機器                                                          | 無線アンテナ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                | その他の性能                                                            | 測定範囲 (  μ Sv/h)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                | 核燃料物質の状態                                                          | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 核燃料物質の臨界防止     | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 技術基準に基づく仕様     | 安全機能を有する施設の地盤                                                     | [5.1-F1]<br>モニタリングポストの基礎構造は直接基礎 (べた基礎) とし、自重及び通常時に作用する荷重に加えて、耐震重要度分類に応じて算定する地震力が作用した場合においても、モニタリングポスト本体及び無線アンテナを十分に支持することができる地盤に設ける。<br><br>・支持方法 平板載荷試験で十分な支持性能を有することを確認した表層地盤 (人工盛土) に直接基礎 (べた基礎) で直接支持させる。<br>・基礎構造 直接基礎 (別表 2)                                                                                                                                                                                    |
|                | 地震による損傷の防止                                                        | [6.1-F1]<br>○基礎<br>耐震重要度分類を第 2 類とし、常時作用している荷重と耐震重要度分類に応じて算定する静的地震力が作用した場合に生じる応力度が、基礎の許容応力度を超えない。<br>構造材を本表 (別表 1) に示す。<br><br>○本体、無線アンテナ<br>耐震重要度分類を第 2 類とし、アンカーボルトで屋外に設置した基礎に固定する。<br>強度部材を本表 (別表 1) 及び (別表 3) に示す。<br>○本体 (架台) <br>○無線アンテナ  |
| 津波による損傷の防止     | —                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |



追第4次 表チー3-1 モニタリングポスト No.2 仕様



|                   |                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>技術基準に基づく仕様</p> | <p>外部からの衝撃による損傷の防止</p>     | <p>[8.1-F3]<br/>(竜巻)<br/>F1 竜巻に対して本体(架台)が飛来物とならないよう、コンクリート基礎にアンカーボルトにより固定する。<br/>○本体(架台)<br/><br/>(落雷)<br/>—<br/>(極低温(凍結))<br/>—<br/>(火山活動(降下火砕物))<br/>—<br/>(積雪)<br/>—<br/>(生物学的事象)<br/>—<br/>(外部火災(森林火災、近隣工場等の火災、近隣工場等の爆発、航空機落下火災))<br/>—<br/>(電磁的障害)<br/>—<br/>(交通事故(自動車))<br/>—</p> |
|                   | <p>加工施設への人の不法な侵入等の防止</p>   | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                   | <p>閉じ込めの機能</p>             | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                   | <p>火災等による損傷の防止</p>         | <p>[11.3-F1]<br/>設備本体の主要構造を不燃性材料である鋼製とする。<br/>[11.3-F2]<br/>分電盤に配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。配線用遮断器の結線図を図リ-2-1-7に示す。</p>                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                   | <p>加工施設内における溢水による損傷の防止</p> | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                   | <p>安全避難通路等</p>             | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                   | <p>安全機能を有する施設</p>          | <p>[14.1-F1]<br/>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮することができるよう設置する。<br/>[14.2-F1]<br/>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。</p>                                                                                                                                                   |
|                   | <p>材料及び構造</p>              | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                   | <p>搬送設備</p>                | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                   | <p>核燃料物質の貯蔵施設</p>          | <p>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

追第4次 表チー3-1 モニタリングポストNo.2 仕様


| 技術基準に基づく仕様  | 警報設備等                                      | [18.1-F1]<br>周辺監視区域境界付近における空間線量率を計測し、原子力災害対策特別措置法施行令第四条に定める放射線量 (5 μSv/h) を検知し、{7027-2}放射線監視盤 (モニタリングポスト) において警報を発する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                |          |           |               |   |   |   |   |   |
|-------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------|-----------|---------------|---|---|---|---|---|
|             | 放射線管理施設                                    | [19.1-F1]<br>通常時及び設計基準事故時に周辺監視区域境界付近における空間線量率 (  μSv/h) を計測し、{7027-2}放射線監視盤 (モニタリングポスト) に表示する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                |          |           |               |   |   |   |   |   |
|             | 廃棄施設                                       | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                |          |           |               |   |   |   |   |   |
|             | 核燃料物質等による汚染の防止                             | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                |          |           |               |   |   |   |   |   |
|             | 遮蔽                                         | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                |          |           |               |   |   |   |   |   |
|             | 換気設備                                       | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                |          |           |               |   |   |   |   |   |
|             | 非常用電源設備                                    | [24.2-F1]<br>停電時に備えてバッテリーを内蔵し外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。<br><br>[24.2-F2]<br><u>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。</u><br><u>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機の仕様は「リ、その他の加工施設」に示す。<sup>(1)</sup></u><br><br>以上を次表に示す。 (○:該当、—:該当なし)<br><table border="1" data-bbox="619 1019 1401 1137"> <thead> <tr> <th>設備・機器名称<br/>機器名</th> <th>バッテリーを内蔵</th> <th>非常用発電機に接続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モニタリングポストNo.2</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> | 設備・機器名称<br>機器名 | バッテリーを内蔵 | 非常用発電機に接続 | モニタリングポストNo.2 | ○ | ○ | — | — | — |
|             | 設備・機器名称<br>機器名                             | バッテリーを内蔵                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 非常用発電機に接続      |          |           |               |   |   |   |   |   |
|             | モニタリングポストNo.2                              | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○              |          |           |               |   |   |   |   |   |
|             | —                                          | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | —              |          |           |               |   |   |   |   |   |
| 通信連絡設備      | —                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                |          |           |               |   |   |   |   |   |
| その他許可で求める仕様 | [99-F6]<br>有線式に加え無線式の通信方法を有し、伝送系に多様性を持たせる。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                |          |           |               |   |   |   |   |   |
| 添付図         | 図チー1、図チー2-1、図リ-2-1-7、図リ-2-1-14             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                |          |           |               |   |   |   |   |   |

(1) 先行申請において、次回以降の申請で適合性を確認する予定の範囲表 (次回表) に記載していた技術基準に基づく仕様。

追第4次 表チー4-1 放射線監視盤（モニタリングポスト） 仕様

|                   |                                                                  |                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許可との対応            | 許可番号（日付）                                                         | 原規規発第 1803284 号（平成 30 年 3 月 28 日付け）                                                                                                                                                                             |
|                   | 施設名称                                                             | モニタリングポスト                                                                                                                                                                                                       |
| 設備・機器名称<br>機器名    | {7027-2}<br>放射線監視盤（モニタリングポスト）<br>—                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 変更内容              | 改造（伝送系の多様性を確保するため、有線式の伝送系に加え無線式の伝送系を有する仕様の機器を新たに設置し、既設の機器を撤去する。） |                                                                                                                                                                                                                 |
| 設置場所              | 第 2 加工棟 第 2 出入管理室                                                |                                                                                                                                                                                                                 |
| 員数                | 1 台                                                              |                                                                                                                                                                                                                 |
| 一般仕様              | 型式                                                               | —                                                                                                                                                                                                               |
|                   | 主要な構造材                                                           | 本表（別表 1）に示す。                                                                                                                                                                                                    |
|                   | 寸法（単位：mm）                                                        | 概略寸法：                                                                                                                          |
|                   | その他の構成機器                                                         | 受信器（第 2 加工棟の外壁に設置）                                                                                                                                                                                              |
|                   | その他の性能                                                           | —                                                                                                                                                                                                               |
|                   | 核燃料物質の状態                                                         | —                                                                                                                                                                                                               |
| 技術基準に基づく仕様        | 核燃料物質の臨界防止                                                       | —                                                                                                                                                                                                               |
|                   | 安全機能を有する施設の地盤                                                    | [5.1-F1]<br>安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置された第 2 加工棟の床又は壁に固定する。                                                                                                                                                  |
|                   | 地震による損傷の防止                                                       | [6.1-F1]<br>耐震重要度分類を第 2 類とし、第 2 加工棟の床又は壁に固定する。<br>強度部材を本表（別表 1）及び（別表 2）に示す。<br>○本体（架台）<br><br>○受信器                           |
|                   | 津波による損傷の防止                                                       | —                                                                                                                                                                                                               |
|                   | 外部からの衝撃による損傷の防止                                                  | (竜巻)<br>—<br><br>(落雷)<br>—<br><br>(極低温（凍結）)<br>—<br><br>(火山活動（降下火砕物）)<br>—<br><br>(積雪)<br>—<br><br>(生物学的事象)<br>—<br><br>(外部火災（森林火災、近隣工場等の火災、近隣工場等の爆発、航空機落下火災）)<br>—<br><br>(電磁的障害)<br>—<br><br>(交通事故（自動車）)<br>— |
| 加工施設への人の不法な侵入等の防止 | —                                                                |                                                                                                                                                                                                                 |
| 閉じ込めの機能           | —                                                                |                                                                                                                                                                                                                 |

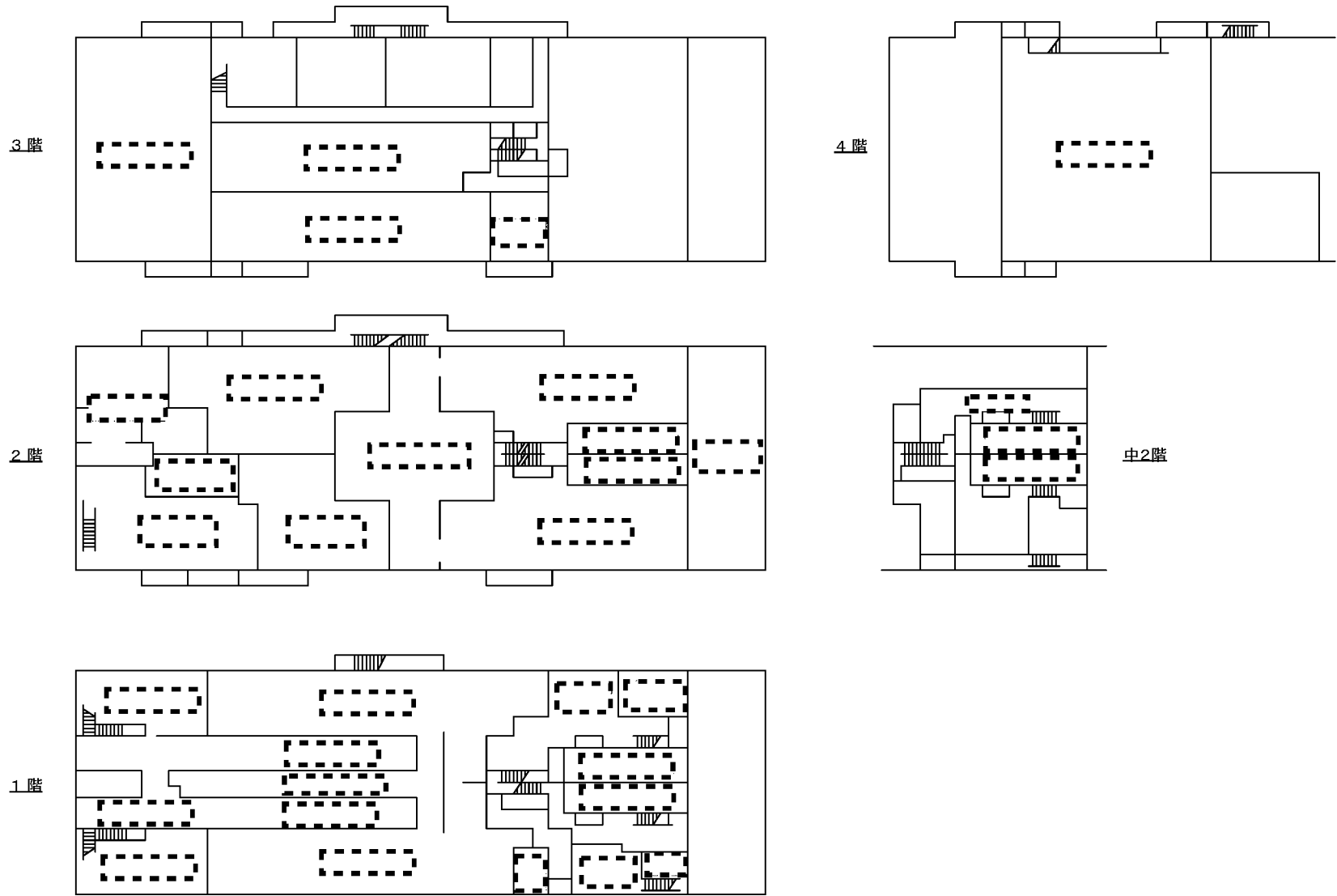
追第4次 表チー4-1 放射線監視盤（モニタリングポスト） 仕様

| 技術基準に基づく仕様        | 火災等による損傷の防止                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | [11.3-F1]<br>設備本体の主要構造を不燃性材料である鋼製とする。<br><br>[11.3-F2]<br>分電盤に配線用遮断器を設け、電気火災の発生を防止する。配線用遮断器の結線図を図リ-2-1-7に示す。                                                                                                      |          |           |                   |   |   |   |   |   |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------|-------------------|---|---|---|---|---|
|                   | 加工施設内における溢水による損傷の防止                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | —                                                                                                                                                                                                                 |          |           |                   |   |   |   |   |   |
|                   | 安全避難通路等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | —                                                                                                                                                                                                                 |          |           |                   |   |   |   |   |   |
|                   | 安全機能を有する施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | [14.1-F1]<br>設計、製作、工事及び検査に当たっては、国内法規に基づく規格及び基準等に準拠し、通常時及び設計基準事故時に想定される温度、湿度、圧力、腐食性雰囲気、放射線等の全ての環境条件において、その安全機能を発揮することができるよう設置する。<br><br>[14.2-F1]<br>当該施設の安全機能を確認するための検査及び試験並びに当該安全機能を健全に維持するための保守及び修理ができる場所に設置する。 |          |           |                   |   |   |   |   |   |
|                   | 材料及び構造                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | —                                                                                                                                                                                                                 |          |           |                   |   |   |   |   |   |
|                   | 搬送設備                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | —                                                                                                                                                                                                                 |          |           |                   |   |   |   |   |   |
|                   | 核燃料物質の貯蔵施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | —                                                                                                                                                                                                                 |          |           |                   |   |   |   |   |   |
|                   | 警報設備等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | [18.1-F1]<br>{7026}モニタリングポスト No.1、{7027}モニタリングポスト No.2により周辺監視区域境界付近における空間線量率を計測し、原子力災害対策特別措置法施行令第四条に定める放射線量（5 μSv/h）を検知し、警報を発する。                                                                                  |          |           |                   |   |   |   |   |   |
|                   | 放射線管理施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | [19.1-F3]<br>{7026}モニタリングポスト No.1、{7027}モニタリングポスト No.2により通常時及び設計基準事故時に周辺監視区域境界付近における空間線量率（  μSv/h）を計測し、表示する。                   |          |           |                   |   |   |   |   |   |
|                   | 廃棄施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | —                                                                                                                                                                                                                 |          |           |                   |   |   |   |   |   |
|                   | 核燃料物質等による汚染の防止                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | —                                                                                                                                                                                                                 |          |           |                   |   |   |   |   |   |
|                   | 遮蔽                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | —                                                                                                                                                                                                                 |          |           |                   |   |   |   |   |   |
|                   | 換気設備                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | —                                                                                                                                                                                                                 |          |           |                   |   |   |   |   |   |
| 非常用電源設備           | [24.2-F1]<br>停電時に備えてバッテリーを内蔵し外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。<br>[24.2-F2]<br><u>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機に接続し、外部電源が期待できない場合でも動作可能とする。</u><br><u>{8001}非常用電源設備 No.1 非常用発電機、{8003}非常用電源設備 No.2 非常用発電機の仕様は「リ、その他の加工施設」に示す。<sup>(1)</sup></u><br><br>以上を次表に示す。 (○：該当、—：該当なし)<br><table border="1" data-bbox="619 1653 1401 1778"> <thead> <tr> <th>設備・機器名称<br/>機器名</th> <th>バッテリーを内蔵</th> <th>非常用発電機に接続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線監視盤（モニタリングポスト）</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> | 設備・機器名称<br>機器名                                                                                                                                                                                                    | バッテリーを内蔵 | 非常用発電機に接続 | 放射線監視盤（モニタリングポスト） | ○ | ○ | — | — | — |
| 設備・機器名称<br>機器名    | バッテリーを内蔵                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 非常用発電機に接続                                                                                                                                                                                                         |          |           |                   |   |   |   |   |   |
| 放射線監視盤（モニタリングポスト） | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○                                                                                                                                                                                                                 |          |           |                   |   |   |   |   |   |
| —                 | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | —                                                                                                                                                                                                                 |          |           |                   |   |   |   |   |   |
| 通信連絡設備            | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                   |          |           |                   |   |   |   |   |   |
| その他許可で求める仕様       | [99-F6]<br>有線式に加え無線式の通信方法を有し、伝送系に多様性を持たせる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                   |          |           |                   |   |   |   |   |   |
| 添付図               | 図チー1、図チー3-1、図リ-2-1-7、図リ-2-1-14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                   |          |           |                   |   |   |   |   |   |

(1) 先行申請において、次回以降の申請で適合性を確認する予定の範囲表（次回表）に記載していた技術基準に基づく仕様。

#### 4. 添付図一覧表

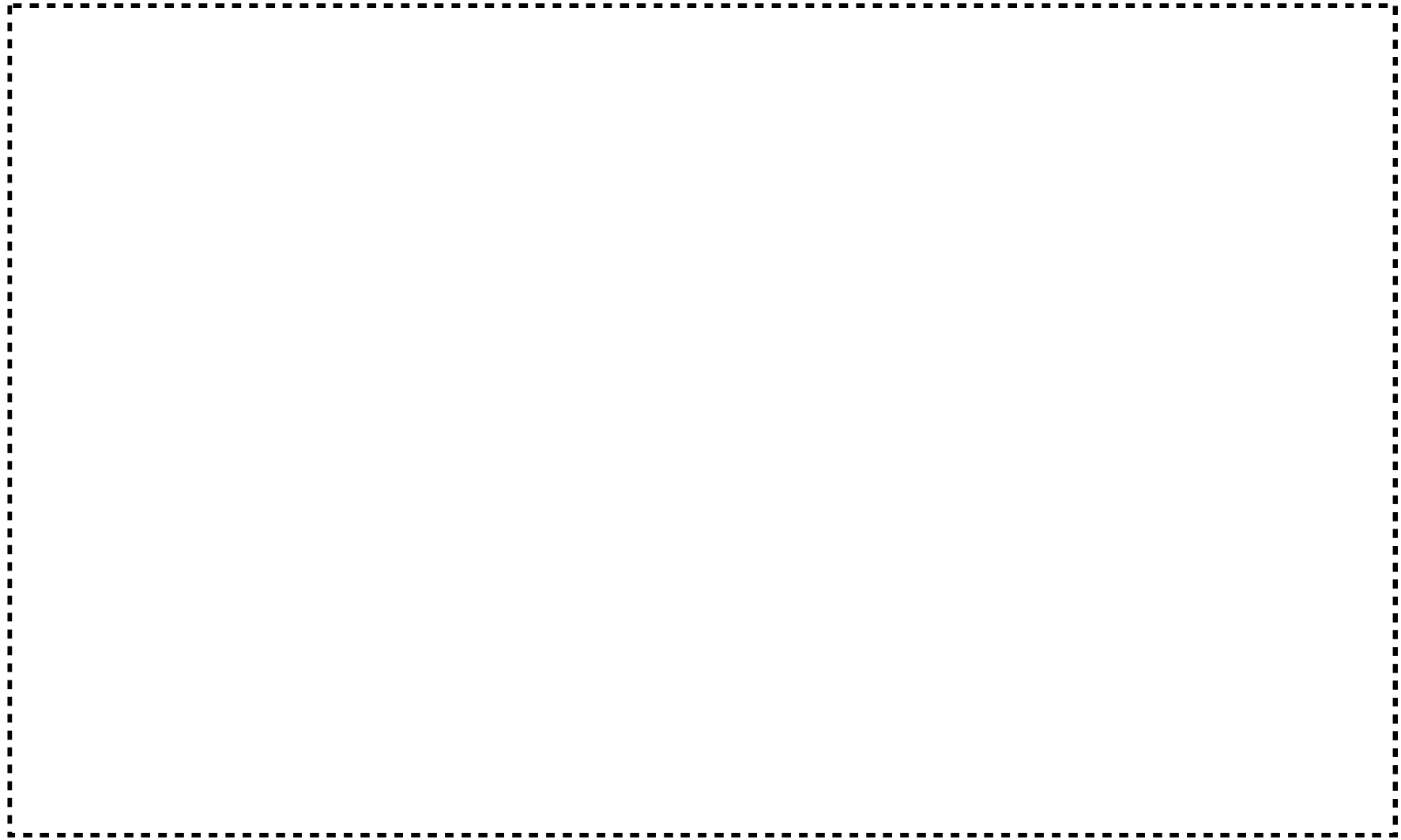
| 番号           | 名称                                      |
|--------------|-----------------------------------------|
| 図チー設ー1 (1)   | 第2加工棟の主要な部屋配置                           |
| 図チー設ー1 (2)   | 本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図 (1階)     |
| 図チー設ー1 (3)   | 本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図 (2階)     |
| 図チー設ー1 (4)   | 本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図 (3階)     |
| 図チー設ー1 (5)   | 本申請で適合性を確認する第1廃棄物貯蔵棟の設備及び機器の配置詳細図 (1階)  |
| 図チー設ー1 (6)   | 本申請で適合性を確認する第1廃棄物貯蔵棟の設備及び機器の配置詳細図 (中2階) |
| 図チー設ー1 (7)   | 本申請で適合性を確認する事業所敷地内の設備及び機器の配置図           |
| 図チー設ー4ー1 (1) | 第2加工棟 エアスニファ 配置図 1階、中2階                 |
| 図チー設ー4ー1 (2) | 第2加工棟 エアスニファ 配置図 2階、3階、4階               |
| 図チー設ー5ー1     | 第1廃棄物貯蔵棟 エアスニファ 配置図                     |
| 図チー設ー6ー1     | 第2加工棟 ダストモニタ 系統図                        |
| 図チー設ー6ー2     | 第2加工棟 ダストモニタ (換気用モニタ)                   |
| 図チー設ー6ー3     | 第2加工棟 ダストモニタ (排気用モニタ)                   |
| 図チー設ー6ー4     | 第2加工棟 放射線監視盤 (ダストモニタ)                   |
| 図チー設ー7ー1     | 第1廃棄物貯蔵棟 ダストモニタ 系統図                     |
| 図チー設ー7ー2     | 第1廃棄物貯蔵棟 ダストモニタ (排気用モニタ)                |
| 図チー設ー7ー3     | 第1廃棄物貯蔵棟 放射線監視盤 (ダストモニタ)                |
| 図チー設ー8ー1     | ガンマ線エリアモニタ 系統図                          |
| 図チー設ー8ー2     | 第2加工棟 ガンマ線エリアモニタ 検出器 配置図                |
| 図チー設ー8ー3     | 放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ)                     |



図チー設ー1 (1) 第2加工棟の主要な部屋配置



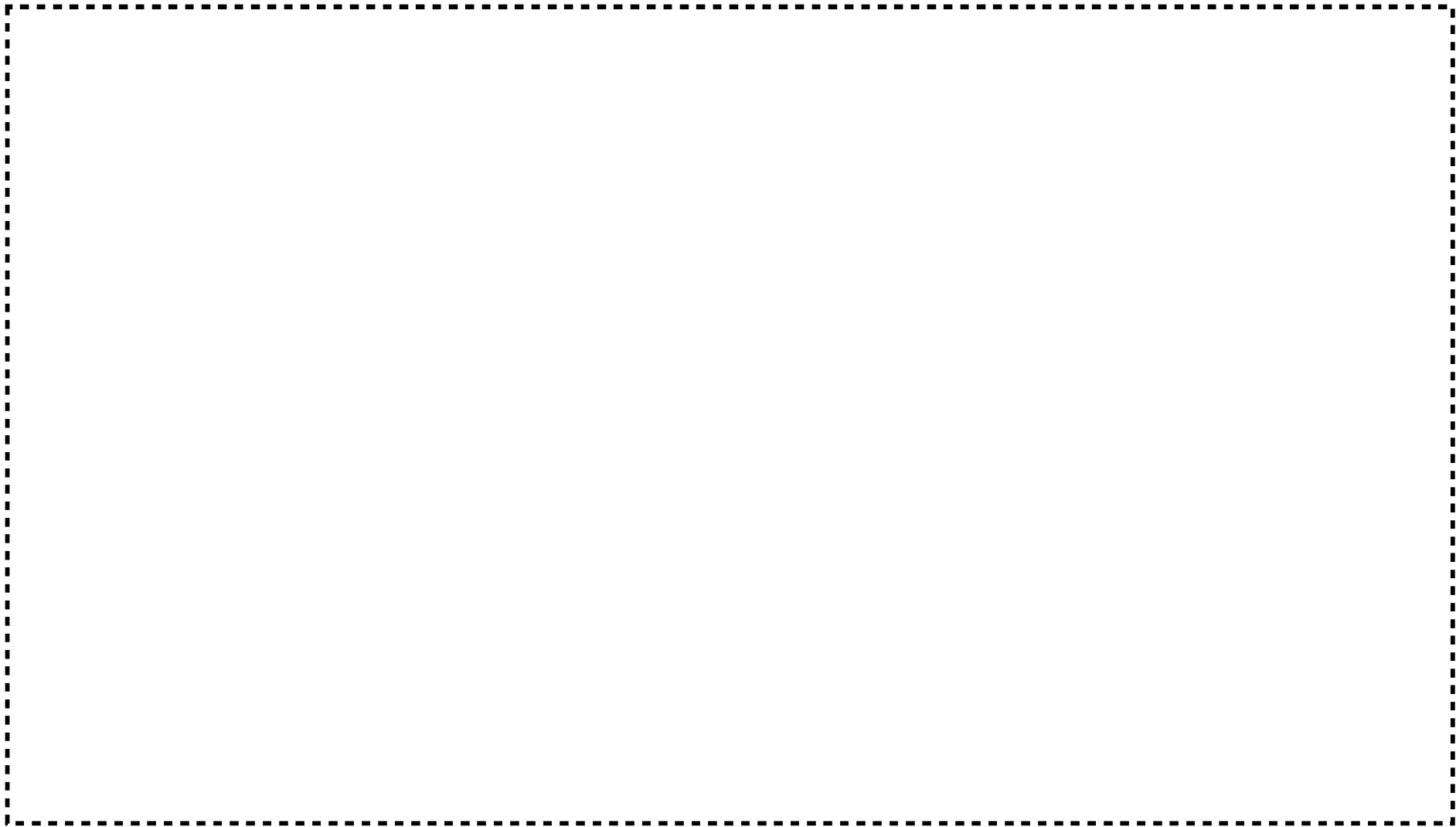
図チー設一（2） 本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図（1階）



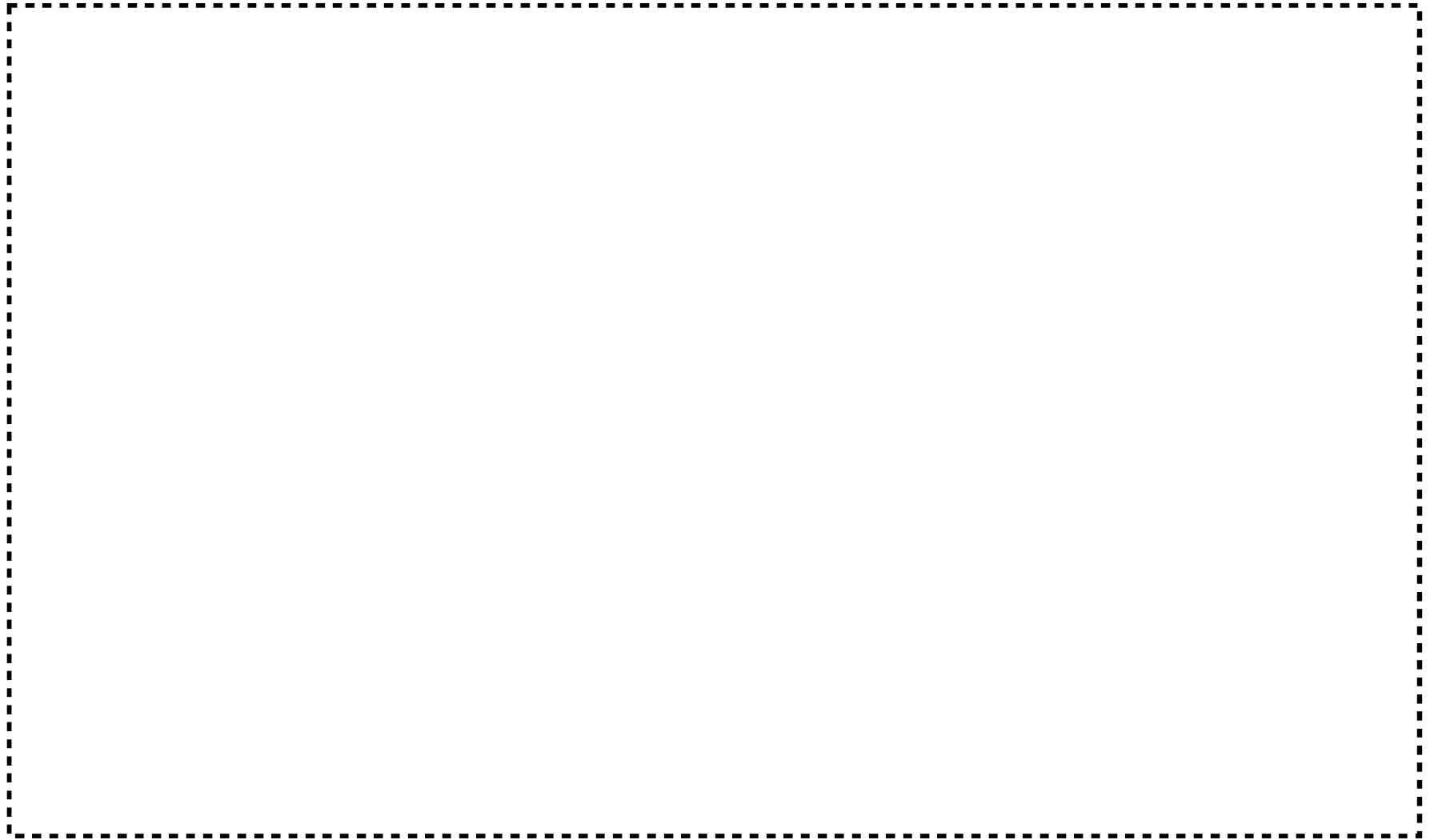
図チー設一 1 (3) 本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図 (2階)



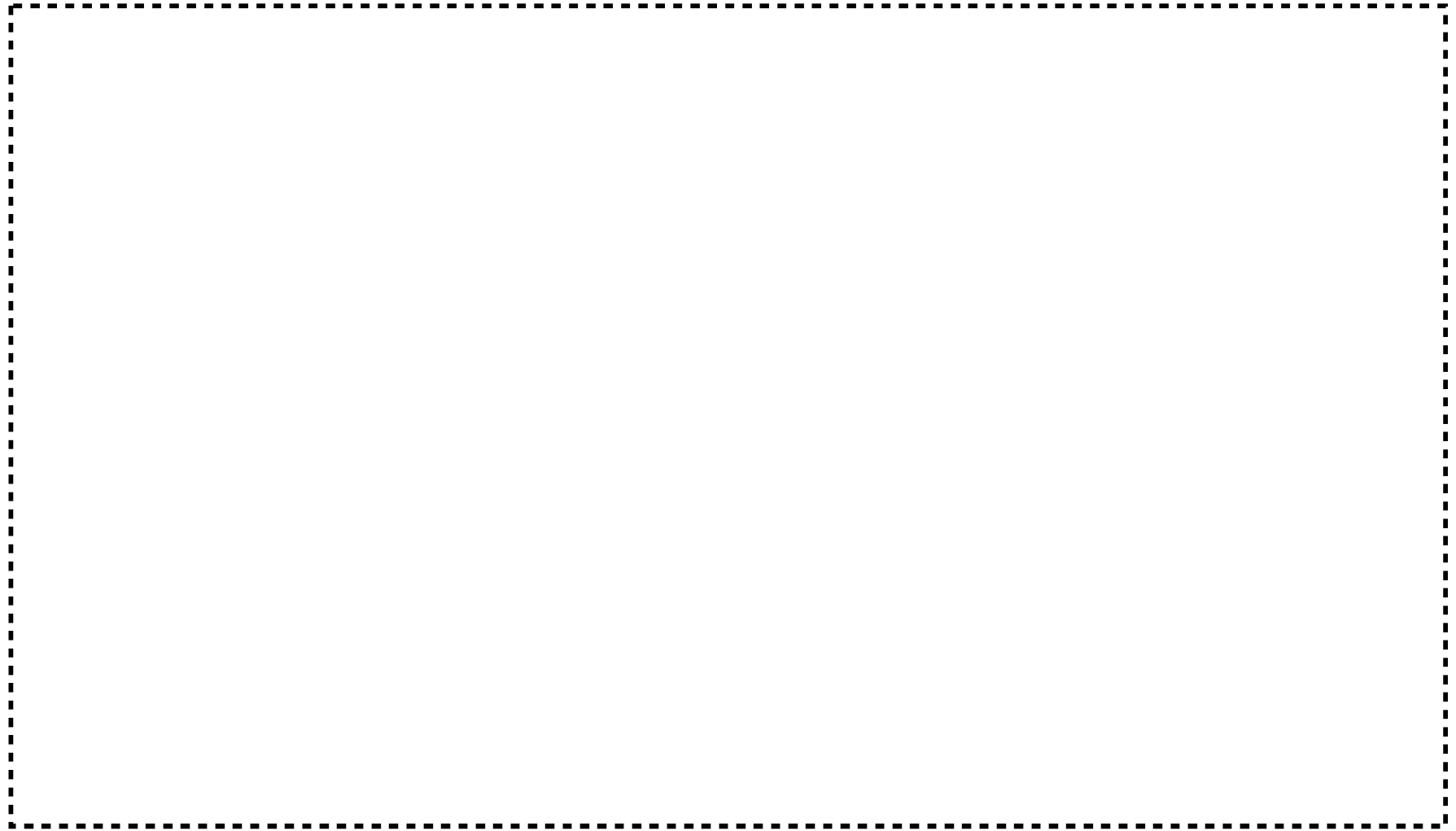
1663



図チー設一 1 (4) 本申請で適合性を確認する第2加工棟の設備及び機器の配置詳細図 (3階)



図チー設一 1 (5) 本申請で適合性を確認する第 1 廃棄物貯蔵棟の設備及び機器の配置詳細図 (1 階)



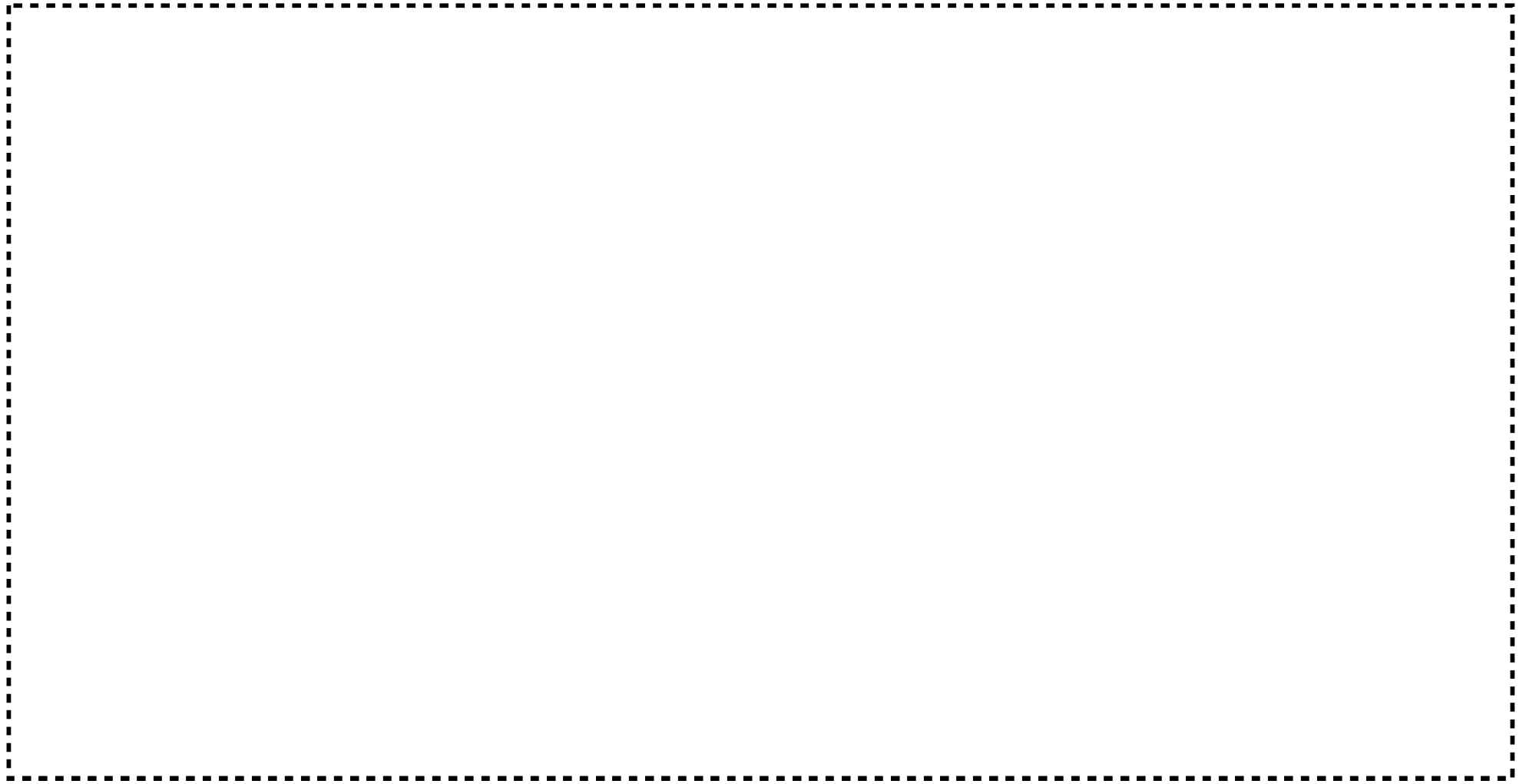
図チー設一 1 (6) 本申請で適合性を確認する第 1 廃棄物貯蔵棟の設備及び機器の配置詳細図 (中 2 階)

1666



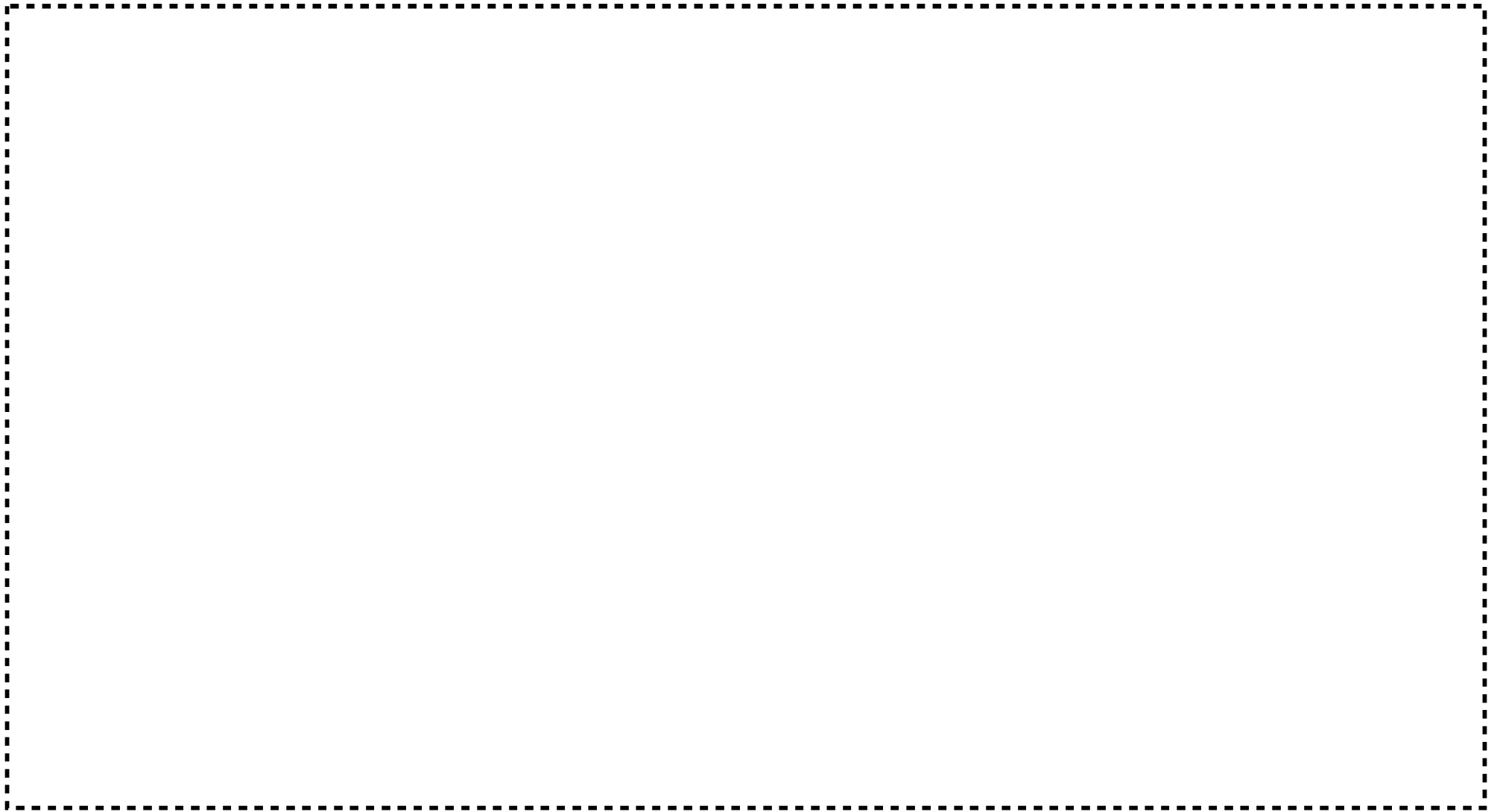
図チー設ー1 (7) 本申請で適合性を確認する事業所敷地内の設備及び機器の配置図

1667

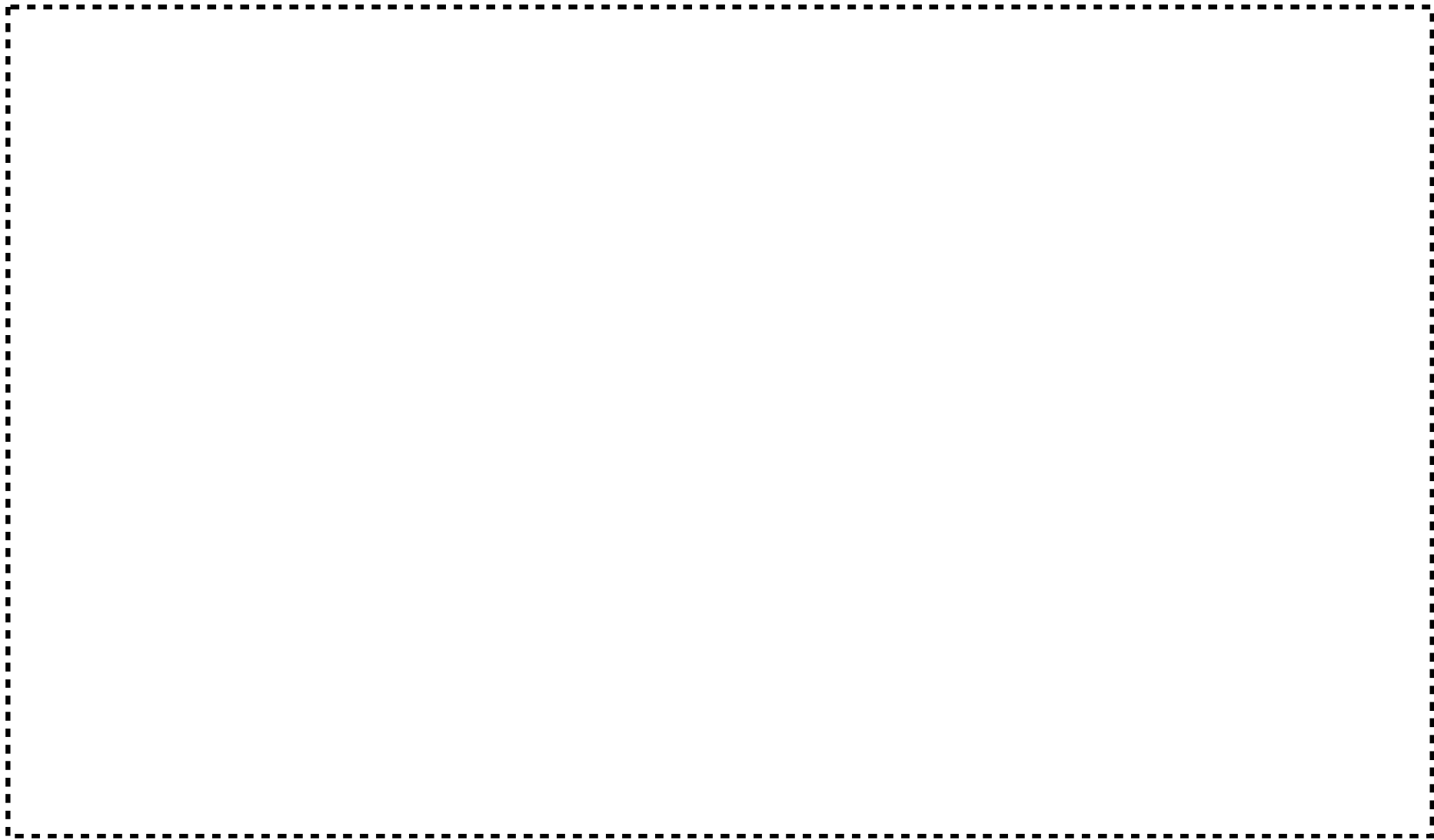


図チー設ー4ー1 (1) 第2加工棟 エアスニファ 配置図 1階、中2階

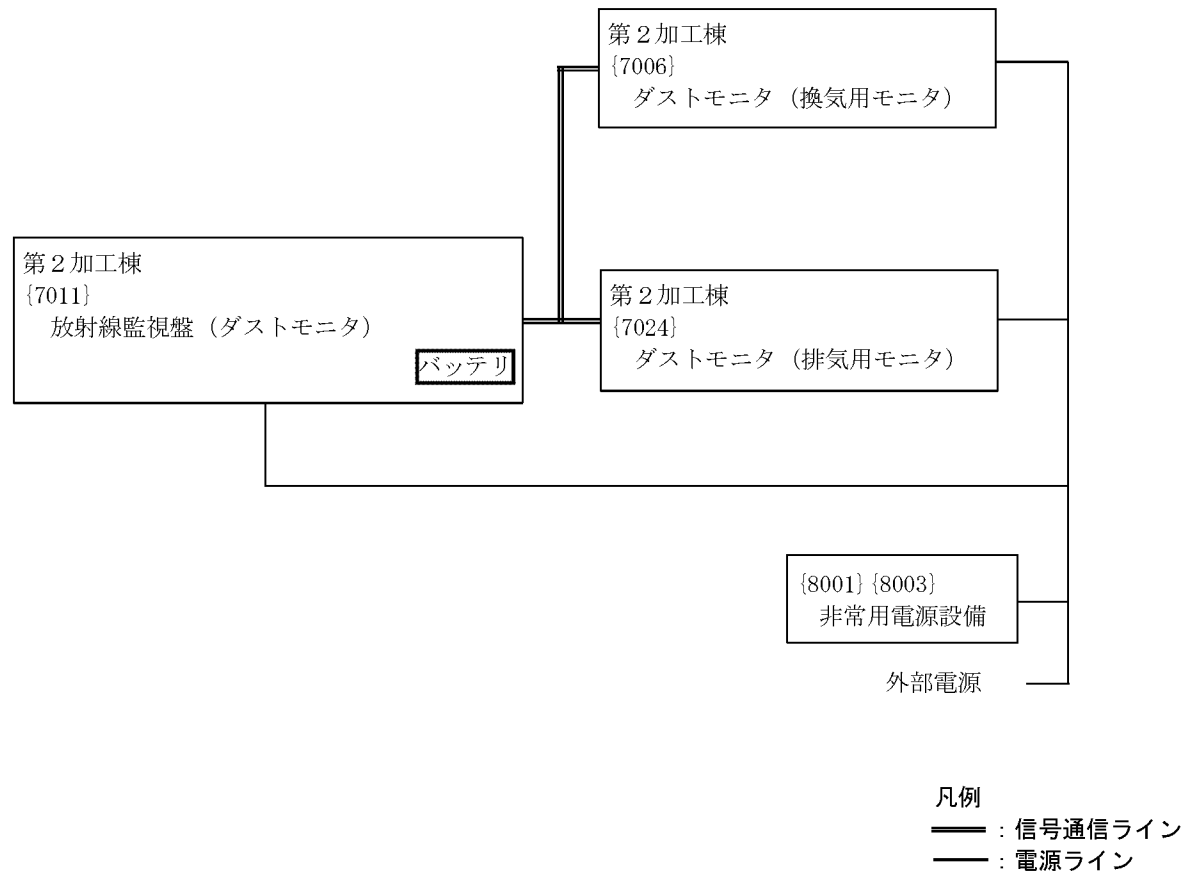
1668



図チー設ー4ー1 (2) 第2加工棟 エアスニファ 配置図 2階、3階、4階



図チー設ー5ー1 第1 廃棄物貯蔵棟 エアスニファ 配置図



図チー設ー6ー1 第2加工棟 ダストモニタ 系統図





図チ一設一6ー2 第2加工棟 ダストモニタ (換気用モニタ)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

(単位 mm)



図チ一設一6ー3 第2加工棟 ダストモニタ (排気用モニタ)

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

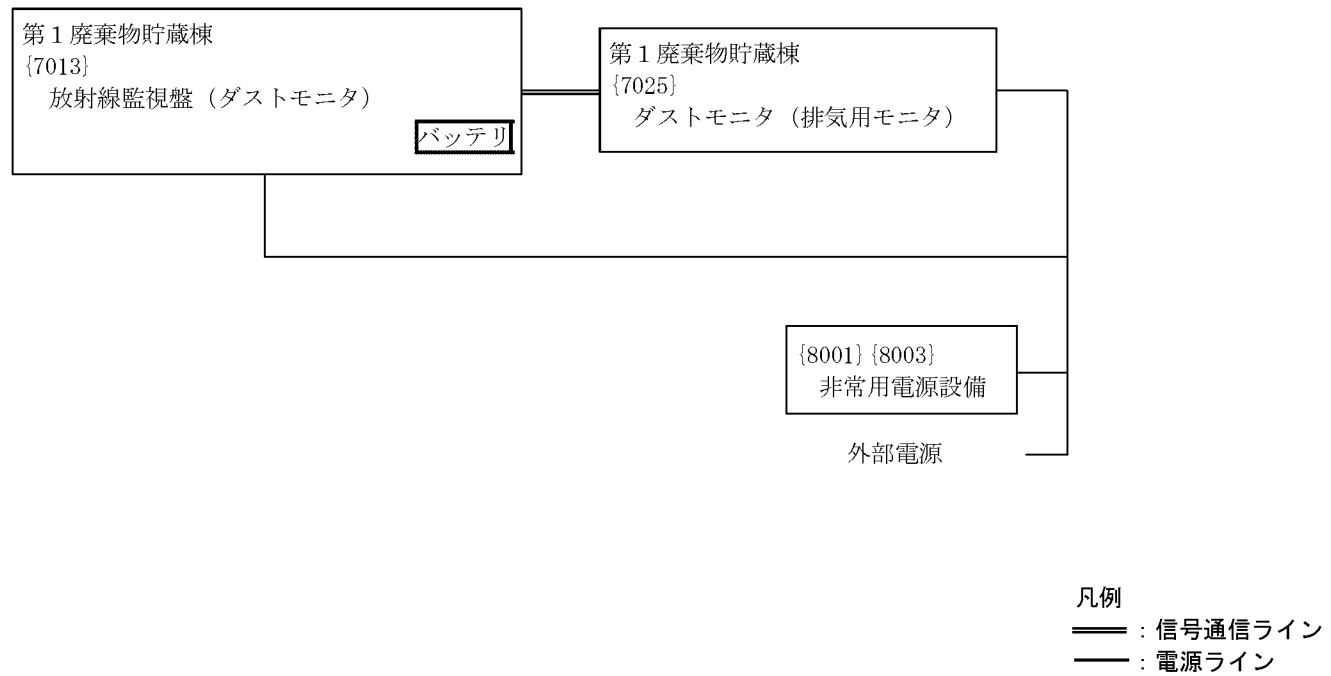
(単位 mm)



図チ一設一6一4 第2加工棟 放射線監視盤（ダストモニタ）

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

（単位 mm）



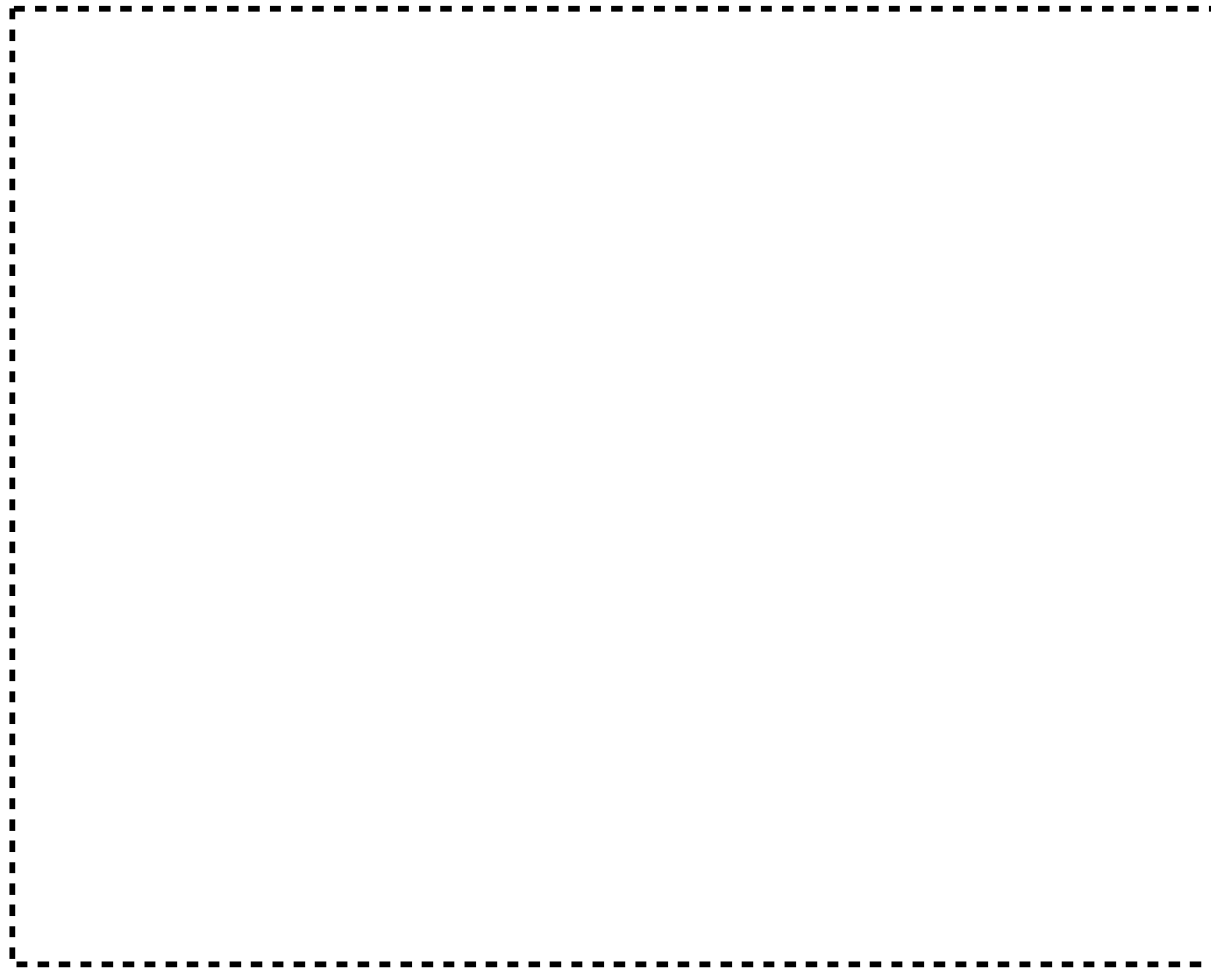
図チー設一7-1 第1 廃棄物貯蔵棟 ダストモニタ 系統図



図チ一設一7-2 第1廃棄物貯蔵棟 ダストモニタ（排気用モニタ）

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

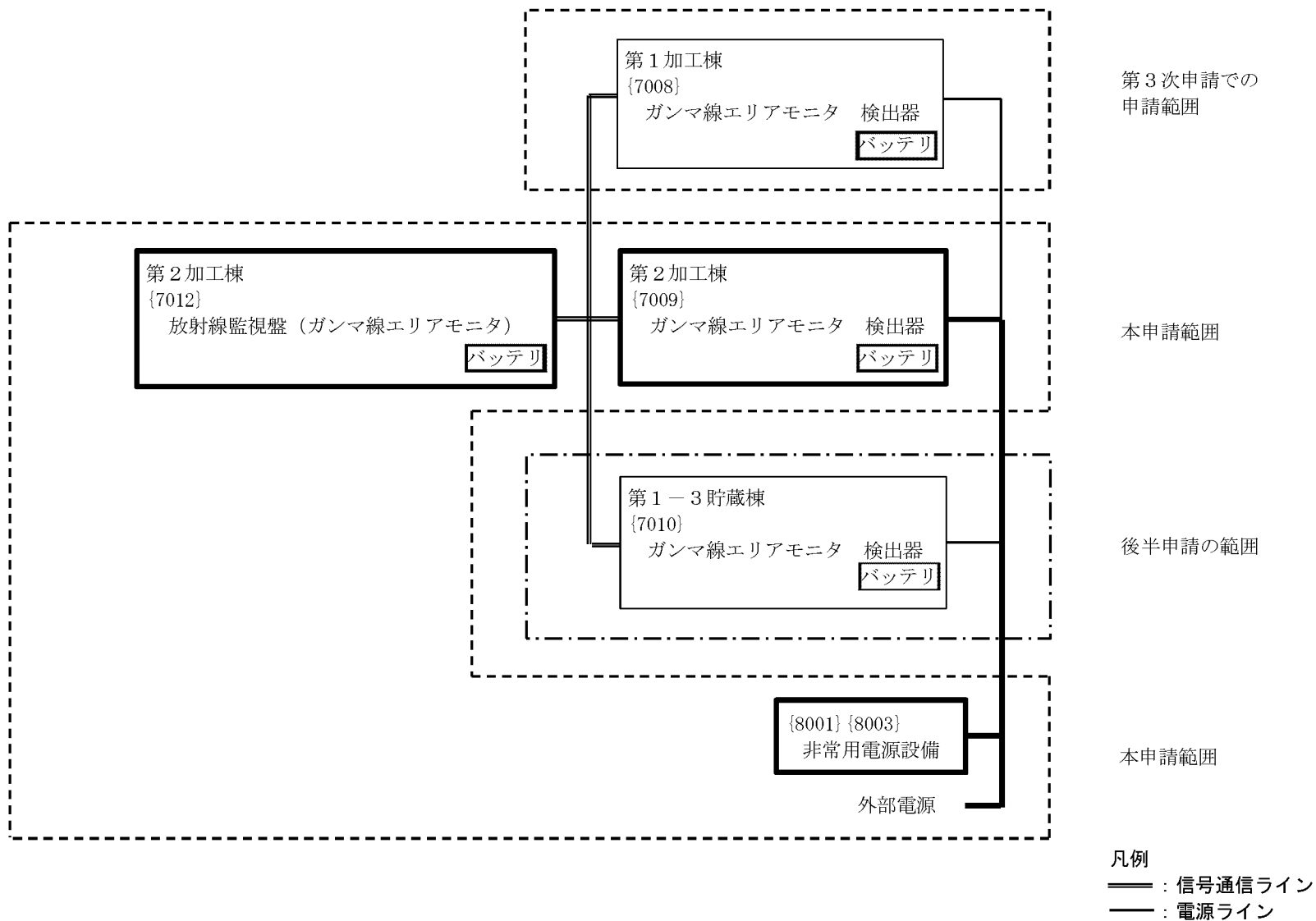
（単位 mm）



図チ一設一7-3 第1廃棄物貯蔵棟 放射線監視盤（ダストモニタ）

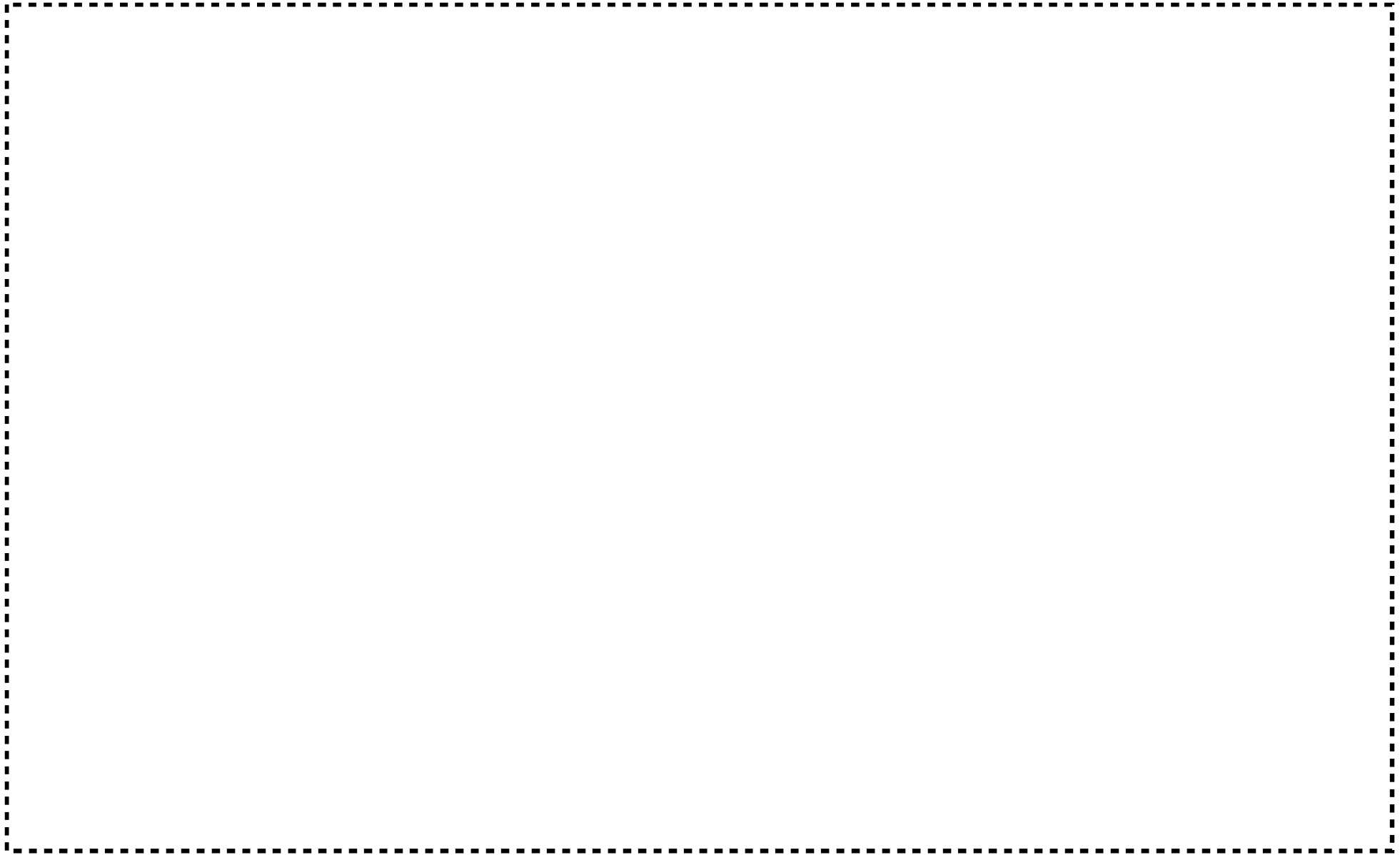
赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

（単位 mm）



図チー設-8-1 ガンマ線エリアモニタ 系統図

1678



図チー設一 8 - 2 第 2 加工棟 ガンマ線エリアモニタ 検出器 配置図





図チー設－8－3 放射線監視盤（ガンマ線エリアモニタ）

赤色線：追加・変更部、 青色線：追加・変更部を示す矢印、拡大範囲を示す枠線及び矢印

（単位 mm）

## 5. 工事の方法

本申請における施設の工事は、加工施設の技術基準に関する規則に適合するように工事を実施し、加工事業変更許可申請書における「加工施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の整備に関する事項」を踏まえた品質管理を行う。工事の実施に当たっては保安規定に基づき（工事）作業計画を策定する。

工事内容を以下に示す。

### a. 改造等を実施する設備・機器

表チー1の変更内容において、新設、増設、追加、更新、改造、移設のいずれかを記載した設備・機器名称 機器名を対象とする。

### b. 変更しない設備・機器

表チー1の変更内容において、変更なしを記載した設備・機器名称 機器名を対象とする。

## (1) 工事上の注意事項

### a. 一般事項

- ・工事の保安については、保安規定に従うとともに、労働安全衛生法に基づき作業に係る労働災害の防止に努める。
- ・工事において使用する工具・機器は使用前に点検を行い、検査に使用する計測器については、校正済みであり、かつ有効期限内のものを使用する。
- ・作業場所は、可能な範囲で区画し、標識・表示等により周知を図り関係者以外の立入りを制限する。また、常に整理整頓に努める。
- ・工事の実施に当たっては、工事手順、装備、放射線管理、連絡体制等を示した（工事）作業計画に従い実施する。
- ・工事の安全対策として、溶接・溶断作業では、防塵マスクの装着、集塵機等の使用により有害物質の吸入を防止する。高所作業では、墜落制止用器具の装着、足場の設置等により作業員、使用工具の落下を防止する。
- ・工事の実施に当たり、資機材や工機の搬入等のための周辺監視区域への人の立入りについては、保安規定に基づき必要な措置を講じることにより、加工施設への人の不法な侵入等を防止する。
- ・工事の完了から加工施設全体としての性能検査を完了するまでの間は、巡視、点検、定期事業者検査並びに保全計画の策定及び保全計画に基づく保全の実施により、安全機能を維持する。
- ・工事に伴う騒音等に配慮し、必要に応じて防音シート等を設置し、周辺環境への影響を低減する。

### b. 放射線管理

- ・管理区域内で実施する作業においては、作業者は、入退出時にあらかじめ定める管理区域出入口を経由するとともに、個人線量計や必要な安全保護具を着用する。

- ・第1種管理区域内における作業においては、作業環境中の放射性物質の濃度の監視結果に基づき、必要な被ばく低減及び身体汚染の防止に係る保護具を作業者に着用させる。
- ・核燃料物質等への近接作業は、時間管理及び離隔距離確保を行うとともに必要に応じて遮蔽材設置により被ばくを低減する。

#### c. 防火管理

- ・工事に当たって、火気作業（溶接、溶断、火花を発生する工具等の使用）を行う場合は、火災防護計画に基づき、作業場所周辺の可燃物の隔離又は不燃性材料による養生等の処置を講じるとともに作業場所に消火器を常備する等の防火対策を実施する。また、必要に応じて、工事で発生する粉塵、ヒュームを処理するための機材を仮設する。
- ・作業エリア外への延焼防止の観点から、作業エリア周辺に可燃物及び危険物がないことを確認する。また、周辺の設備を不燃材シート等により養生する。
- ・火気作業を行う場合には、社内の管理要領に従い、計画書・点検記録等の確認を適宜実施する。

#### d. 異常発生時の対策

- ・現場で異常が発生した場合には、異常時の対応要領に従い、あらかじめ定めた連絡先に通報・連絡するとともに、作業を一時中断する等の必要な措置を講じる。
- ・あらかじめ工事中の安全避難通路を確保する。

### (2) 工事手順

改造等を実施する設備・機器の工事は、以下に示す手順で行う。変更しない設備・機器の工事については、以下に示す手順により検査のみを行う。

原則として、本工事対象設備及び工事の影響が及ぶおそれのある場所に核燃料物質等が存在しない状態で工事を行う。

#### a. 改造等を実施する設備・機器の工事手順

図チー a - 1 に示す手順で改造を行う。

- 1) 改造工事を実施する当事業所又は部品等の加工組立を実施する社外調達先において、当事業所指定の材料を必要に応じて材料証明書等とともに手配し入手する。
- 2) 当事業所指定の製作図をもとに、部品等の加工組立を実施する。
- 3) 加工組立された部品等について当事業所が受入検査を実施する。
- 4) 受入検査完了後、部品等の設置工事を実施する。不要になった部品等は撤去する。
- 5) 各設備・機器について6項に示す検査を実施する。また、加工施設全体としての性能検査を実施する。

#### b. 変更しない設備・機器の工事手順

図チー b - 1 に示す手順で検査を行う。

- 1) 各設備・機器について6項に示す検査を実施する。また、加工施設全体としての性能

能検査を実施する。

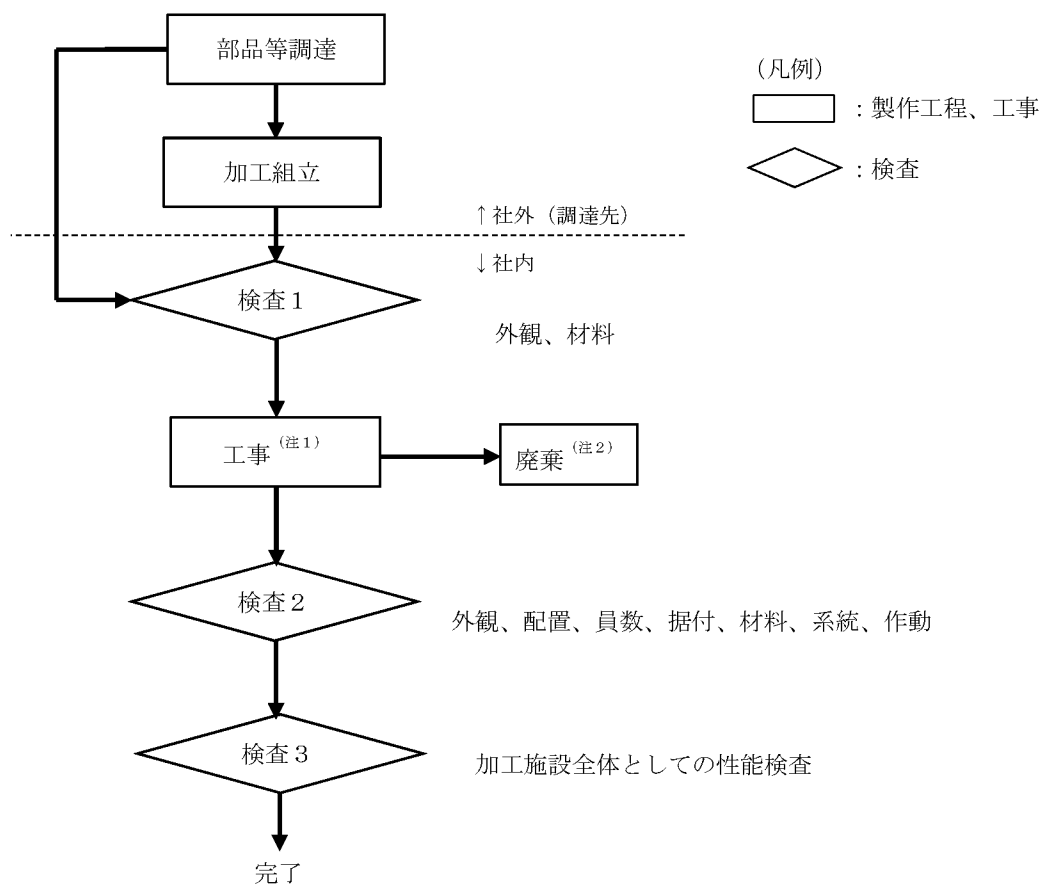
上記に手順を示した工事のほか、これらの工事に付随して本加工施設内で行う必要がある部材の組立加工、資機材や工具の搬出入、足場の設営、廃棄物の仕分け及び解体減容等に係る工事の実施に当たっては、(1)工事上の注意事項に示した事項に従うとともに、以下の措置を講じることにより、加工施設の技術基準に適合した工事とする。

- ・ 工事対象の設備・機器及び工事区画内の影響を受ける設備・機器から、内包する核燃料物質等を他の設備、区画に移動し、核燃料物質等が工事の影響を受けるおそれがなく、これらの設備・機器の安全機能の維持が不要な状態で工事を行う。
- ・ 本工事において建物の臨界防止及び遮蔽能力に影響を及ぼす工事は実施しない。第2加工棟の大型搬入口扉を資機材の搬出入のために開とする場合においては、必要に応じて、定期的な線量当量率の測定を行い、線量告示に定める管理区域に係る値を超えるおそれのないことを確認する。なお、資機材の搬出入ために大型搬入口扉を開とした場合であっても加工施設全体としての遮蔽能力には影響はなく、周辺監視区域及び敷地境界外の人が居住する可能性のある区域境界上の年間の線量は事業許可における評価値を上回ることはない。
- ・ 加工施設の建物の外壁に設置された扉を交換する工事又は資機材の搬出入のために扉を開とする場合には、工事の期間中、人の不法な侵入を防止できるよう閉止する又は監視人による監視を行う措置を講じる。
- ・ 第1種管理区域の境界（屋内間仕切り壁、外壁、これらの壁に設置された鋼製扉及び床）の工事中において、一時的に開口部が生じる場合、若しくは資機材の搬出入のため第1種管理区域上の扉を開にする場合は、保安規定に基づき、前室を設置する等の措置を講じることにより建物の閉じ込めの機能を維持する。
- ・ 工事に伴い、管理区域以外の区域において、線量告示に定める管理区域に係る値を超えるおそれのある場所が生じた場合には、保安規定に基づき一時的な管理区域を設定する。
- ・ 工事に伴い、気体廃棄設備の系統を停止する場合は、別の系統を稼働させることにより第1種管理区域の負圧を維持する又は保安規定に定める閉じ込めに係る措置を講じた上で気体廃棄設備を停止することにより、建物の閉じ込めの機能を維持する。気体廃棄設備を停止することにより所定の換気能力を確保できないおそれのある場合においては、放射線業務従事者に半面マスク等の保護具を着用させる。
- ・ 工事に伴い、火災感知設備、消火設備、放射線管理施設、通信連絡設備等を一時的に停止する場合においては、代替措置を講じることにより、これらの設備が有する安全機能を維持するか、監視対象の設備・機器を停止する等により、安全機能が不要な状態とする。
- ・ 第1種管理区域における工事で撤去した使用予定のない設備・機器、廃材及び除染作業等により発生する核燃料物質で汚染されたものは、必要に応じて第1種管理区域内で解体し、また、保安規定に基づく廃棄物の仕掛品として一時保管した後、200ℓドラム缶に収納し、放射性固体廃棄物の保管廃棄施設で保管廃棄する。なお、本加

工施設における放射性固体廃棄物の現状の最大保管廃棄能力約 11170 本（200 L ドラム缶換算、加工事業変更許可申請書記載値）は、現在の保管廃棄量約 8200 本を踏まえ、新規制基準対応工事に伴い発生する放射性固体廃棄物の保管廃棄量を十分に吸収できることを確認している。

- ・第 2 種管理区域における工事で撤去した設備・機器及び廃材は、保安規定に基づく放射性廃棄物でない廃棄物（NR）に係る措置の手順に従って廃棄する、又は有効利用する。
- ・核燃料物質による汚染のおそれのある部位の工事に伴って汚染の拡大のおそれがある場合は、あらかじめ設備・機器の除染を行う。また、必要に応じてグリーンハウスを設置し、局所排気装置等を使用する等して、汚染の防止を図る。
- ・第 1 種管理区域の設備・機器撤去後の床等の表面は、修復後、ウランが浸透しにくく、除染が容易で腐食しにくい材料（難燃性材料）で塗装を施す。

a. 改造等を実施する設備・機器

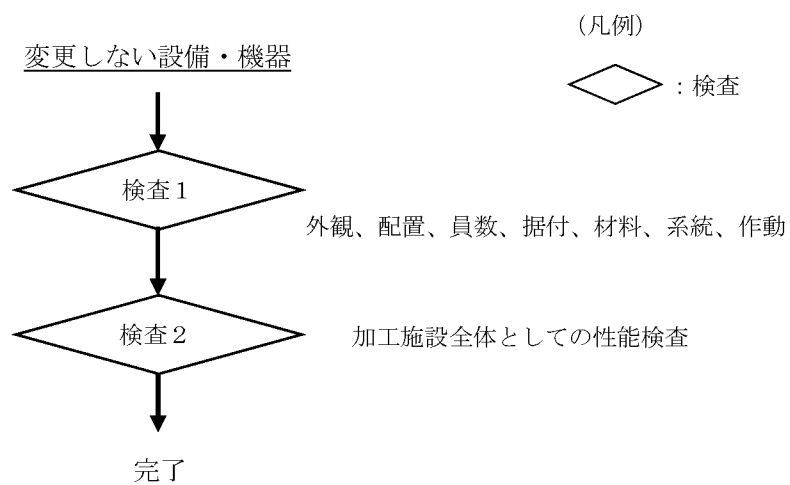


(注1) 原則として、本工事対象設備及び工事の影響が及ぶおそれのある場所に核燃料物質等が存在しない状態で工事を行う。

(注2) 第1種管理区域の使用予定のない設備・機器及び工事等によって発生した廃材は、必要に応じて除染後、ドラム缶等に収納し、放射性固体廃棄物の保管廃棄施設で保管廃棄する。第2種管理区域の使用予定のない設備・機器及び工事等によって発生した廃材は、保安規定に基づく放射性廃棄物でない廃棄物（NR）に係る措置の手順に従って廃棄する。

図チー a - 1 工事フロー

b. 変更しない設備・機器



図チー b - 1 工事フロー

(3) 品質保証計画

本申請における施設の設計及び工事に係る品質保証活動は、加工事業変更許可申請書における「加工施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の整備に関する事項」を踏まえて、保安品質マニュアルとして定める保安品質保証計画書に従って実施するものとする。

(4) 工事中の加工施設の継続使用の理由

放射線管理施設は、放射線被ばくを監視及び管理するため、放射性廃棄物の排気中、排水中の放射性物質の濃度、管理区域における外部放射線に係る線量当量、空気中の放射性物質の濃度、放射性物質によって汚染された物の表面の放射性物質の密度を計測する機能、放射性業務従事者等の出入管理、汚染管理並びに除染等を行う機能を有する。

これらの安全機能を維持するため、本申請において適合性を確認して継続使用する。その後、加工施設全体の性能に関する検査を受検するまでの間においても、安全機能が維持されている状態にする。この間の安全機能の維持に係る運用は保安規定に従って行う。



## 6. 試験及び検査の方法

核燃料物質の加工の事業に関する規則に基づき、使用前事業者検査は次に掲げる方法により行う。

- 一 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法：第1号検査
- 二 機能及び性能を確認するために十分な方法：第2号検査
- 三 その他設置又は変更の工事がその設計及び工事の計画に従って行われたものであることを確認するために十分な方法：第3号検査

また、使用前事業者検査を行うに当たっては、あらかじめ、検査の時期、対象、方法その他必要な事項を定めた検査実施要領書を定めるものとする。

第1号検査及び第2号検査について、変更に係る設備・機器の検査の項目を第チー1表に、検査の方法を第チー2表に示す。

第3号検査については、申請対象の建物・構築物及び設備・機器の全てを対象とする。第3号検査に係る検査の項目及び検査の方法について、第ハー3表に示す。

第チー1表 (1/2) 設備・機器に係る検査の項目

| 施設区分                       | 配置場所          | 設備・機器名称             | 機器名  | 変更内容 | 第1号検査           |    |    |        |      |      | 第2号検査           |
|----------------------------|---------------|---------------------|------|------|-----------------|----|----|--------|------|------|-----------------|
|                            |               |                     |      |      | 設備配置検査          |    |    |        | 材料検査 | 系統検査 | 作動検査            |
|                            |               |                     |      |      | 外観              | 配置 | 員数 | 据付     | 材料   | 系統   | 作動              |
| 放射線管理施設                    | 第2加工棟         | ハンドフットクロスモニタ        | —    | 変更なし | ①-2<br>②        | ①  | ①  | ②      | ①    | ①    | ⑤               |
|                            | 第1廃棄物貯蔵棟      | ハンドフットクロスモニタ        | —    | 変更なし | ①-2<br>②        | ①  | ①  | ②      | ①    | —    | —               |
|                            | 第2加工棟         | エアスニファ (管理区域内)      | —    | 改造   | ①-2<br>②        | ①  | ①  | ②      | ①    | —    | —               |
|                            | 第2加工棟         | エアスニファ (排気口)        | —    | 変更なし | ①-2<br>②        | ①  | ①  | ②      | ①    | —    | —               |
|                            | 第1廃棄物貯蔵棟      | エアスニファ (管理区域内)      | —    | 改造   | ①-2<br>②        | ①  | ①  | ②      | ①    | —    | —               |
|                            | 第1廃棄物貯蔵棟      | エアスニファ (排気口)        | —    | 変更なし | ①-2<br>②        | ①  | ①  | ②      | ①    | —    | —               |
|                            | 第2加工棟         | ダストモニタ (換気用モニタ)     | —    | 改造   | ①-1<br>①-2<br>② | ①  | ①  | ①<br>③ | ①    | ①    | ①-1<br>①-2      |
|                            | 第2加工棟         | ダストモニタ (排気用モニタ)     | —    | 改造   | ①-1<br>①-2<br>② | ①  | ①  | ①<br>③ | ①    | ①    | ②-1<br>②-2      |
|                            | 第2加工棟         | 放射線監視盤 (ダストモニタ)     | —    | 変更なし | ①-1<br>①-2<br>② | ①  | ①  | ①      | ①    | ①    | ①-3<br>②-3<br>⑤ |
|                            | 第1廃棄物貯蔵棟      | ダストモニタ (排気用モニタ)     | —    | 改造   | ①-1<br>①-2<br>② | ①  | ①  | ①<br>③ | ①    | ①    | ②-1<br>②-2      |
|                            | 第1廃棄物貯蔵棟      | 放射線監視盤 (ダストモニタ)     | —    | 変更なし | ①-1<br>①-2<br>② | ①  | ①  | ①      | ①    | ①    | ②-3<br>⑤        |
|                            | 第2加工棟         | ガンマ線エリアモニタ          | 検出器  | 変更なし | ①-2<br>②        | ①  | ①  | ②      | ①    | ①    | ③-1<br>③-2<br>⑤ |
|                            | 第2加工棟         | 放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) | —    | 変更なし | ①-1<br>①-2<br>② | ①  | ①  | ①      | ①    | ①    | ③-3<br>⑤        |
|                            | 第2加工棟         | 流し                  | —    | 変更なし | —               | ①  | ①  | —      | —    | —    | —               |
|                            | 第2加工棟         | 物品搬出モニタ             | —    | 変更なし | —               | ①  | ①  | —      | —    | —    | —               |
| 第1加工棟<br>第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟 | 低バックグラウンドカウンタ | —                   | 変更なし | —    | ①               | ①  | —  | —      | —    | —    |                 |

第チー1表(2/2) 設備・機器に係る検査の項目




| 施設区分    | 配置場所                                  | 設備・機器名称        | 機器名 | 変更内容 | 第1号検査  |    |    |    |      |      | 第2号検査  |
|---------|---------------------------------------|----------------|-----|------|--------|----|----|----|------|------|--------|
|         |                                       |                |     |      | 設備配置検査 |    |    |    | 材料検査 | 系統検査 | 作動検査   |
|         |                                       |                |     |      | 外観     | 配置 | 員数 | 据付 | 材料   | 系統   | 作動     |
| 放射線管理施設 | 第1加工棟<br>第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟<br>屋外      | サーベイメータ        | —   | 変更なし | —      | ①  | ①  | —  | —    | —    | —      |
|         | 第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟<br>屋外               | 熱蛍光線量計(TLD)    | —   | 変更なし | —      | ①  | ①  | —  | —    | —    | —      |
|         | 第2加工棟                                 | 放射線測定装置        | —   | 変更なし | —      | ①  | ①  | —  | —    | —    | —      |
|         | 第1加工棟<br>第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟            | 個人線量計          | —   | 変更なし | —      | ①  | ①  | —  | —    | —    | —      |
|         | 第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟                     | 呼吸保護具          | —   | 変更なし | —      | ①  | ①  | —  | —    | —    | —      |
|         | 屋外                                    | 可搬式ダストサン<br>プラ | —   | 変更なし | —      | ①  | ①  | —  | —    | —    | —      |
|         | 屋外                                    | 気象観測装置         | —   | 変更なし | —      | ①  | ①  | —  | —    | —    | —      |
| 放射線管理施設 | 第1加工棟<br>第2加工棟<br>第1廃棄物貯蔵棟<br>事務棟、保安棟 | 警報集中表示盤        | —   | 変更なし | ①      | —  | ①  | —  | —    | ①    | ④<br>⑤ |

丸数字は、第チー2表 設備・機器に係る検査の方法の検査の方法に対応する。

第チー 2 表 設備・機器に係る検査の方法 (1 / 2)

| 検査の項目                               |    | 検査の方法 <sup>(1)(2)(3)</sup>                    | 判定基準                                                        |
|-------------------------------------|----|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 設備配置検査                              | 外観 | ①-1、①-2 外観を目視又は関係書類等により確認する。(既設) (改造)         | ①-1 外観が各設備の仕様表及び添付図のとおりであること。<br>①-2 使用上、有害な傷及び変形等の欠陥のないこと。 |
|                                     |    | ②配線用遮断器を設けていることを目視又は関係書類等により確認する。(既設) (改造)    | ②配線用遮断器を設けていること。                                            |
|                                     | 配置 | ①配置を目視又は関係書類等により確認する。(既設) (改造)                | ①配置が各設備の配置図のとおりであること。                                       |
|                                     | 員数 | ①設備の員数を目視又は関係書類等により確認する。(既設) (改造)             | ①設備の員数が各設備の仕様表のとおりであること。                                    |
|                                     | 据付 | ①アンカーボルトの径及び本数を目視、測定又は関係書類等により確認する。(既設) (改造)  | ①アンカーボルトの径及び本数が各設備の仕様表の添付図のとおりであること。                        |
| ②据付状況を目視又は関係書類等により確認する。(既設) (改造)    |    | ②建物の壁、柱、はり、屋根、床等にボルト等で固定していること。               |                                                             |
| ③配管の支持間隔を測定又は関係書類等により確認する。(既設) (改造) |    | ③配管の支持間隔が標準支持間隔以下であること。                       |                                                             |
| 材料検査                                | 材料 | ①設備・機器の主要な部材の材料を関係書類等により確認する。(既設) (改造)        | ①設備・機器の主要な部材の材料が各設備の仕様表のとおりであること。                           |
| 系統検査                                | 系統 | ①非常用電源系統に接続されていることを目視又は関係書類等により確認する。(既設) (改造) | ①非常用電源系統に接続していること。                                          |

第チー 2 表 設備・機器に係る検査の方法 (2 / 2)

| 検査の項目                        | 検査の方法 <sup>(1)(2)(3)</sup>                                                                     | 判定基準                                                                                                                                                               |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 作動検査                         | ①-1 線源を接近させ、又は関係書類等により、ダストモニタ (換気用モニタ) が放射線を計数したときの放射線監視盤 (ダストモニタ) に表示される指示値を確認する。(既設) (改造)    | ①-1 測定範囲 (  cpm) の複数の試験点において、基準線量率に対する指示値の指示誤差が JIS Z 4316 に定める許容範囲内であること。      |
|                              | ①-2 ダストモニタ (換気用モニタ) の検出部に線源を接近させ、作動状況を確認する。(既設) (改造)                                           | ①-2 警報設定値 <sup>(4)</sup> 以上の計数率を検出したとき、放射線監視盤 (ダストモニタ) の警報装置が作動すること。                                                                                               |
|                              | ①-3 放射線監視盤 (ダストモニタ) に模擬信号を入力し、作動状況を確認する。(既設) (改造)                                              | ①-3 模擬信号により警報設定値 <sup>(4)</sup> 以上の測定値を与えたとき、放射線監視盤 (ダストモニタ) の警報装置が作動すること。                                                                                         |
|                              | ②-1 線源を接近させ、又は関係書類等により、ダストモニタ (排気用モニタ) が放射線を計数したときの放射線監視盤 (ダストモニタ) に表示される指示値を確認する。(既設) (改造)    | ②-1 測定範囲 (  cpm) 内の複数の試験点において、基準線量率に対する指示値の指示誤差が JIS Z 4316 に定める許容範囲内であること。     |
|                              | ②-2 ダストモニタ (排気用モニタ) の検出部に線源を接近させ、作動状況を確認する。(既設) (改造)                                           | ②-2 警報設定値 <sup>(5)</sup> 以上の計数率を検出したとき、放射線監視盤 (ダストモニタ) の警報装置が作動すること。                                                                                               |
|                              | ②-3 放射線監視盤 (ダストモニタ) に模擬信号を入力し、作動状況を確認する。(既設) (改造)                                              | ②-3 模擬信号により警報設定値 <sup>(5)</sup> 以上の測定値を与えたとき、放射線監視盤 (ダストモニタ) の警報装置が作動すること。                                                                                         |
|                              | ③-1 線源を接近させ、又は関係書類等により、ガンマ線エリアモニタ 検出器にガンマ線を照射したときの放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) に表示される指示値を確認する。(既設) (改造) | ③-1 測定範囲 (  μSv/h) 内の複数の試験点において、基準線量率に対する指示値の指示誤差が JIS Z 4324 に定める許容範囲内であること。 |
|                              | ③-2 ガンマ線エリアモニタ 検出器に線源を接近させ、作動状況を確認する。(既設) (改造)                                                 | ③-2 警報設定値 <sup>(6)</sup> 以上の線量を検出したとき、放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) の警報装置が作動すること。                                                                                            |
|                              | ③-3 放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) に模擬信号を入力し、作動状況を確認する。(既設) (改造)                                          | ③-3 模擬信号により警報設定値 <sup>(6)</sup> 以上の測定値を与えたとき、放射線監視盤 (ガンマ線エリアモニタ) の警報装置が作動すること。                                                                                     |
|                              | ④ 作動試験を行い、正常に作動することを確認する。(既設) (改造)                                                             | ④ 正常に作動すること。                                                                                                                                                       |
| ⑤ 電源を遮断し、作動状況を確認する。(既設) (改造) | ⑤ 電源遮断後、40 秒以上バッテリーにより作動していること。                                                                |                                                                                                                                                                    |

- (1) 「(改造)」は本申請において工事を実施し改造した部分を示し、「(既設)」は改造を伴わない部分を示す。
- (2) 「関係書類等」には過去の検査記録、設置時の工事記録・関連図書・メーカー仕様書並びに非破壊検査・技術評価等による図書及び写真等を含む。
- (3) 材料証明書、関係書類等記録により確認できるものは、工事中又は工事後に検査を行う場合がある。
- (4) 警報設定値は 590 cpm 以下の範囲で設定する。
- (5) 警報設定値は 260 cpm 以下の範囲で設定する。
- (6) 警報設定値は 500 μSv/h 以下の範囲で設定する。

#### 7. 一般産業用工業品の更新や交換等に係る基本方針

一般産業用工業品（原子力施設の安全機能に係る機器、構造物及びシステム並びにそれらの部品（以下「機器等」という。）であって、専ら原子力施設において用いるために設計開発及び製造されたもの以外の工業品をいう。）について、それらが有する安全機能等を踏まえた上で、更新や交換等に係る基本方針を ハ. 成型施設 7. 一般産業用工業品の更新や交換等に係る基本方針 に示す。

リ．その他の加工施設

## 目 次

- リ. その他の加工施設
  - 1. 変更の概要
  - 2. 準拠する主な法令、規格及び基準
  - 3. 設計条件及び仕様
  - 4. 添付図一覧表
  - 5. 工事の方法
  - 6. 試験及び検査の方法
  - 7. 一般産業用工業品の更新や交換等に係る基本方針



## リ. その他の加工施設

加工事業変更許可に基づき、加工施設について次の変更を行う。

設計の基本方針は以下のとおりとする。

- (1) 加工施設は、「加工施設の技術基準に関する規則」に適合する設計とする。
- (2) 加工施設は、加工事業変更許可申請書における「加工施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の整備に関する事項」を踏まえた設計とする。
- (3) 加工施設は、通常時において、加工施設の周辺の公衆、放射線業務従事者に対し原子炉等規制法に基づき定められている線量限度を超えないことはもとより、合理的に達成できる限り放射線被ばくを低減する設計とする。
- (4) 加工施設は、設計、製作、建設、試験及び検査を通じて信頼性を有するものとする。また、誤操作及び設備・機器の故障によっても安全側に作動するインターロック機構等を設けることにより、公衆に対し放射線障害を及ぼすことのないよう設計する。また、深層防護の考え方（発生防止、拡大防止・影響緩和）に基づいて安全機能を設ける。
- (5) 加工施設は、火災等の内的事象、地震、津波、その他想定される自然事象及び航空機落下他の外的事象（故意によるものを除く。）によって、安全機能が損なわれることのない設計とする。
- (6) 加工施設の配置及び構造上の特徴、並びに経年劣化の観点から、保全において留意すべき事項を抽出し、記録する。保全を実施するため、その記録を維持する。
- (7) 保全において留意すべき事項を踏まえて、保全計画を策定し、保全計画に基づき保全を実施する。
- (8) 保全の実施結果及び原子力施設における保全に関する最新の知見を踏まえて評価を行い、保全の継続的改善を図る。

### 1. 変更の概要

変更対象とする施設について、加工事業変更許可との対応及び既設工認との対応並びに変更内容を表リー-1に示す。

ここで、{ }付き番号は、施設の管理番号を示す。管理番号は、「添付書類1 加工事業変更許可との対応に関する説明書」の添1表2に対応している。

### 2. 準拠する主な法令、規格及び基準

変更する施設に関する工事において、準拠する主な法令、規格及び基準は以下のとおりである。

- (1) 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律
- (2) 核燃料物質の加工の事業に関する規則
- (3) 加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則
- (4) 加工施設の技術基準に関する規則
- (5) 原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則
- (6) 日本産業規格（JIS）
- (7) 労働安全衛生法及び関連法令
- (8) 消防法及び関連法令

- (9) 建築基準法及び関連法令
- (10) (一社) 日本建築学会規準・指針類
  - (一財) 日本建築防災協会規準・指針類
  - (一財) 日本建築センター規準・指針類
- (11) 保安規定
- (12) 電気事業法及び関連法令

### 3. 設計条件及び仕様

変更する施設に関する設計条件及び仕様等を表リー建－1～表リー建－3、表リー設－2－1～表リー設－5－3、表リー他－1～表リー他－5に、関係図面を図リー－1－1－1、図リー建－1－1～図リー建－2－3、図リー－2、図リー－設－1～図リー－設－4－9、図リー－他－1～図リー－他－16に示す。

ここで、表リー建－1～表リー建－3、表リー設－2－1～表リー設－5－3、表リー他－1～表リー他－5において、[ ]付き番号は、設計仕様に対する個別の設計番号を示す。設計番号は、技術基準規則の条項番号及び個別番号で構成する。その他許可で求める仕様に対する設計番号は、「99」及び個別番号で構成する。設備・機器に機能を持たせる設計に対しては「F」を、建物・構築物に機能を持たせる設計に対しては「B」をその個別番号に付す。

(例) [4.1-F1]：技術基準規則第四条第1項に対する設備・機器の設計仕様

[5.1-B1]：技術基準規則第五条第1項に対する建物・構築物の設計仕様

[99-F1]：その他許可で求める仕様に対する設備・機器の設計仕様

また、本申請では、先行申請した設計及び工事の計画（第1次申請～第4次申請）における各施設の仕様表を「追表」として示す。追表は仕様表の名称に「追第〇次」を付けて表記し、本申請の対象とする箇所には下線を付す。それ以外の箇所については、先行申請時の仕様表から変更はない。

先行申請において、次回以降の申請で適合性を確認する予定の範囲表（次回表）に記載していた技術基準に基づく仕様は、適合性を確認するための施設の追表に反映している。次回表に記載した仕様が漏れなく仕様表に反映されていることを管理するための表（刈り取り表）を添2参考資料1に示す。

表リ-1 (1) その他の加工施設の変更対象とする施設の加工事業変更許可との対応<sup>(1)</sup>  
及び既設工認との対応並びに変更内容 (建物・構築物)

| 設置場所                                                          | 加工事業変更許可における施設名称 | 本申請における建物・構築物名称<br>機器名     | 既設工認における建物・構築物名称<br>機器名 | 員数 | 変更内容 |                              |
|---------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------|-------------------------|----|------|------------------------------|
| 発電機・ポンプ棟                                                      | 発電機・ポンプ棟         | {1007}<br>発電機・ポンプ棟<br>—    | 発電機・ポンプ棟<br>—           | 1  | 改造   | ①エキスパンションジョイントの設置<br>②外部扉の改造 |
| 第1-3貯蔵棟<br>北側屋外                                               | 遮蔽壁 No. 2        | {1009}<br>遮蔽壁<br>遮蔽壁 No. 2 | 遮蔽壁 No. 2<br>—          | 1基 | 変更なし |                              |
| 第1-3貯蔵棟<br>北側屋外                                               | 遮蔽壁 No. 3        | {1010}<br>遮蔽壁<br>遮蔽壁 No. 3 | 遮蔽壁 No. 3<br>—          | 1基 | 変更なし |                              |
| 以下、先行申請した設計及び工事の計画（第1次申請～第4次申請）において、全部又は一部の事項について適合性の確認を受けたもの |                  |                            |                         |    |      |                              |
| 第1加工棟<br>第1-1輸送<br>物保管室                                       | 遮蔽壁 No. 1        | {1008}<br>遮蔽壁<br>遮蔽壁 No. 1 | 遮蔽壁 No. 1<br>—          | 1基 | 変更なし |                              |
| 第1加工棟<br>第4-1廃棄<br>物貯蔵室、第4<br>-8廃棄物貯<br>蔵室、第4-9<br>廃棄物貯蔵室     | 遮蔽壁 No. 4        | {1011}<br>遮蔽壁<br>遮蔽壁 No. 4 | 遮蔽壁 No. 4<br>—          | 1基 | 変更なし |                              |
| 第1加工棟 北<br>側屋外                                                | 防護壁 No. 1        | {1012}<br>防護壁              | —                       | 1基 | 新設   |                              |
| 第1加工棟 北<br>側屋外                                                | 防護壁 No. 2        | 防護壁 No. 1                  |                         |    |      |                              |

(1) 添付書類1に加工事業変更許可における施設名称と設工認における施設名称の対比、当該施設の設工認への対応状況を示す。